

造業者ニ對シテ、其ノ勢力ニ對抗スルコトガ出来マセズ、其ノ影響下ニ不明瞭ナル統制ヲ行フテ居ルコト、更ニ製造業者ハ製造利益ノミナラズ、營業利益ヲ確保セシメテ、或ハ別働隊タル第一次特約店ト結託シ、化成肥料、配合肥料ノ自家消費ヲ増加シ、寧ロ中樞配給統制機關ニ妨害的態度ニ終始スル有様デアリマス、政府ハ宜シク當面ノ行懸リヲ棄テテ、強力ナル政府獨白ノ案ヲ樹立シマシテ、非利益主義肥料事業ノ廢行ニ關シテ、中央ヲ以テ、地方ヲ以テ、現在ノ配給統制下デハ、中央ヲ以テ、地方ヲ以テ、直シテ見テ、地方ヲ以テ、相剋摩擦、配給ノ不圓滑、偏在、運送、開取引等々一切ノ罪惡ニ陥ルヲ防止スルコトハ至難デアラウト考ヘルノデアリマスガ、尙ホ政府ノ是等ニ對スル所見ヲ伺ヒタイト思フノデアリマス

○島田國務大臣 只今成島君ノ御述ニナリマシタ點ニ付キマシテモ、先般他ノ機會ニ於テ御答申シタ考ヘテ居リマスガ、御述ニナリマシタ事柄ハ洵ニ御尤モダト思ヒマス、御尤モダト思ヒマスケレドモ、現在ニ此ノ機關ヲ以テ至ラシムル爲ニ、一足飛ニ總テ廢行スル、斯ウ云フコトニ付キマシテハ、事實問題トシテ、相當ノ長階ヲ踏ンデ行カナケレバナラヌト云フコトヲ御考ヘ願ヒタイトナリマス、總テ私共ノ考ヘテ居ル所謂改革ト云フモノハ革新トカ云フモノニ付キマシテモ、其ノ目標トスル所ニ對シマシテ、足飛ニ行クコト云フコトハ、困難ナ事柄アルノデアリマス、ソレヲ遲延遠送シテ居ル所ニ弊害ガアリ、同時ニソレヲ除リ急進的ニ進メテ行クコト云フ所ニモ破綻ガアル、斯ウ云フ風ニ考ヘナケレバナラヌノデアリマ

シテ、是ハ所謂漸進ト云フコトノ意味ノ中ニモ、急ニ進ンデ行クノ極メテ緩慢ニ行クノ行キ方ガアリマスケレドモ、先ツ漸次ニコヘ行ク、サウシテ成ベク急イデ行クト云フ、斯ウ云フ氣分ヲ持ツテ進メテ行クト云フコトガ肝要デハナカラウカト斯様ニ考ヘテ居リマス、只今ノ御説ハ私ハ同感デアリマスケレドモ、之ニ向ツテ進進シ、一足飛ニ行クコト云フコトハ、相當ノ考ヲ要スルコトデアラウト思フ、隨テ先ツ此ノ會社ニ付テ言ヘバ、此ノ會社ヲ成立セシメテ、サウシテ、此ノ會社ヲ以テ、一吉ニ是キマシテハ、有價買ノ肥料ニ付テモ借考ヘテ、サウシテ此ノ肥料方面ニ於ケル生産、配給、消費ノ問題ヲ完全ニ解決シテ行クコトニシテ行クノガ國家トシテ執ルベキ安全ナル途デアラウ、斯ウ云フ風ニ考ヘマシテ、私ハ只今御質問ノ要旨ニ付テ大體ノ方針トシテハ、之ニ賛意ヲ表スル次第デアリマスガ、今一足飛ニ行クコト云フコトニ付テハ、御答スルコトヲ躊躇シナケレバナラヌヤウナ次第デアリマス

○成島委員 其ノ次ハ私ハ有價肥料ノ問題ヲ御答シタイト思フノデアリマス、農林省ハ去ル二月一日以來、大豆、魚肥、一切ノ有價肥料ノ統制ヲ行フ會社ヲ設立シマシテ、目下配給ヲ開始サレテ居リマスガ、此ノ會社ノ設立經過及ビ事業經過ノ概要ヲ御説明願ヒタイト思フノデアリマス、要テ肥料ノ不足ヲ假ニ三十萬噸補フノニ約九十萬噸ノ大豆ヲ要シマスガ、目下歐洲向大豆ノ輸出ガ杜絶シテ居リマスノデ、是ハ一昨日カ小平委員ノ質問モアツタヤウデアリマスガ、滿洲國大豆ハ對策如何デハ十分内地ニ供給出来ル管デハナイカト考ヘ

ルノデアリマスガ、之ニ對スル對策ヲ御説明願ヒタイト思フノデアリマス  
○重政政府委員 有價肥料配給會社ハ前年ノ十二月中旬ニ設立ヲ致シマシテ、本年ノ二月一日ニ事業ヲ開始致シタ次第デアリマス、大豆、魚肥ハ二月一日現在ニ於テ輸入業者ガ手持ヲ致シテ居リマス大豆、魚肥及ビ二月一日以後ニ於テ滿洲國カラ輸入セラレマス大豆、魚肥ハ全部此ノ有價肥料配給會社ガ一手ニ買取ルコトヲ致シタノデアリマス、只今御述ニナリマシタヤウニ、二月分ト致シマシテ十五萬噸ノ大豆、魚肥ヲ配給シマシテ、現在ニ於テ此ノ現物ノ配給ヲ五シツツアルコトヲ現狀デアリマス、尙ホ三月四月分ハ近ク是ガ賣出ヲ致ス豫定ニナツテ居リマス  
ソレカラ魚肥ニ付テデアリマスガ、魚肥ハ朝鮮産ノ鱈鱈油ニシテ内地ニ供給セラレルモノノ全部此ノ會社ガ買取ツテ、各府縣ニ割當供給ヲ致スコトニ相成ツテ居リマシテ、朝鮮産大羽鱈約十萬噸ヲ配給スル見込デアリマス、是ハ先程モ申述ベシマシタ通り、前年ハ五萬噸デアリマシタマシタ通り、本年ハ五萬噸デアリマシテ、約其ノ倍額ノ供給ガ出来ルコトヲ考ヘテ居ル次第デアリマス  
ソレカラ大豆、魚肥ニ付キマシテ只今御述ニナリマシタガ、前年小平委員カラ色々御質問ガアツタノデアリマスガ、是ハ色々滿洲國大豆ノ出廻ノ事情及ビ大豆ノ生産ノ事情等ニ依リマシテ、必ズシモ當面滿洲國當局ト吾々ノ方ト協定ヲ致シマシタ數量ヲ輸入ヲ致スコトハ、樂觀スルコトガ出来ナインデアリマス、大體ニ於テキマシテハ、前年程度ヲ下ラサル程度ノ大豆、魚肥ノ輸入ガ可

デアリマス、何レニシテモ、其ノ數量ハ僅カナ數量デアリマスノデ、供給ヲ受ケルコトニナツテ居リマス  
○成島委員 私人又アトデ商工大臣、陸軍大臣、總理大臣ニ質問スルコトヲ保留シテ、是デ打切ツテ置キマス  
○河野委員 大臣御見エニナラヌヤウデアリマスカラ、極ク事務的ナ問題ニ付テ御尋致シマス、第一ニ御尋スルノハ、確安ノ會社別生産費、主要ナル會社五ツ程御説明願ヒタイト思ヒマス

○重政政府委員 生産費ハ御承知ノヤウニ重要肥料統制法ニ依ツテ別則ノ付イテ法律ノ權限ニ基キテ報告ヲ取ツテ調査ヲ致シテ居リマスノデ、而モ法律ニ依リマシテ、現ニ其ノ職ニ在ル者又ハ其ノ職ニ在リタル者ハ之ヲ出スコトガ出来ヌト云フ法律ノ條項ニナツテ居リマスノデ、各社ノ區別ニ付テノ生産費ニ付テハ御勸誘願ヒタイト思ヒマスガ、ソレ等ヲ綜合致シマシテ所謂中庸生産費ト云フモノヲ吾々ガ行政ノ價格政策ノ對象ニ致シテ考ヘテ居リマスモノヲ御示シテ致シタイト考ヘマス、是ハ資料トシテ御要求ニナツテ居リマシテ、實ハ今日御配リヲスル積リデアリマシタケレドモ、一寸何カ數字ニ誤ガアルノデ、今刷リ代ヘテ、間ニ合ヘバモウ今日中ニ御配リヲシタイト考ヘテ居リマス、讀ンデ見マス、内地ニ於ケル確安製造會社ノ確安適當中庸生産費實額、昭和十三年下期昭和十四年上期平均、原料費及ビ電力費四十六圓三十七錢、製造費二十一圓六十八錢、特許費及ビ保險料六十六錢、營業費及ビ總掛費四十四圓六錢、荷造費出荷費及ビ運賃十三圓三十九錢諸稅二圓三十一錢、計、直接生産費九十四圓五十七

錢、企業利潤及ビ銷却二十三圓八十三錢總計百十四圓四十四錢デアリマス  
○河野委員 只今ノ御説明デアリマスガ、重要肥料統制法ニ依ツテ調査シタ所ノ生産費調査表ハ出来ナイト云フコトデアリマスケレドモ、凡ソ重要肥料統制法ヲ制定ノ當時ノ常識ト、今日ノ肥料政策ヲ論議スベキ常識トノ間ニハ非常ニ懸隔ガアルト私ハ思フ、政府ハ一層出シタ法律ニ何時マデモ拘泥ツテ居ツテ、其ノ法律ガ餘リ要ラナクナツテモ、其ノ法律ニ拘ラレテ政策ヲ論議スル際ニ支障ノアルヤウナコトハ、私ハ甚ダ遺憾ニ思ツテ居ル、今日ノ肥料ノ常識カラ參リマシレバ、當然各工場ノ生産費十分ニ檢討致シマシテ、其ノ基礎ニ基キテ、何處ノ工場ハドウ云フ風ニ扱ニスル、何處ノ工場ハドウ云フ風ニ扱ニスルト云フコトデアリカケレバ、將來増産ノ獎勵ハ出来ナイト私ハ思フ

○委員長退席、成島委員長代理著席  
例ヘバ、本法施行ノ上ニ於キマシテモ、工場管理ノ問題ガ起ラデ參リマシタ場合ニ、此ノ工場ハ生産費ガ高イトカ此ノ工場ハ生産費ガ安イトカ、工場ハドウ云フ風ニ扱ニシテ、此ノ會社ニ依ツテ管理シタ方ガ宜シイトカ、宜シクナカラウカ云フヤウナ問題ヲ論議スルノニ、只今ノヤウナコトデアハ將來論議ガ出来ナカラウト思フ、宜シク將來重要肥料業ノ法ノ改正ヲ致シマシテ、サウ云フヤウナモノハ止メテシマフト云フコトニシナケレバ十分ノ論議ハ出来ナカラウト思ヒマス、併シ今此ノ際ハサウ云フコトヲ申シテモ仕方ガナイノデアリマスガ、今少シ立入ツテ只今ノ御説明ニ付テ御尋致シマス、其ノ平均生産費カラ安イト

ハ一體幾ツ位アツテ、高イモノハ一體幾ツ位アルカ、高イ工場ガ一體幾ツ位アツテ、ソレヨリ安ク出来ル工場ハドウ位アルカト云フコトヲ此ノ際御説明願ヒタイト思ヒマス  
○重政政府委員 安イモノガ五ツデアリマス、高イモノガ四ツデアリマス  
○河野委員 ソレ等ノ平均生産費ヨリモ高イ四ツノ會社、是等ニ付テハドウ云フ點ニ付テ改良改革ヲスレバ、ソレガ平均生産費以下ニ下リ、又下ゲ得ル見込ガアルノカナイノカ、現狀ノ儘ヲ以テシテ下ゲ得ル見込ガアルノカナイノカ、ト申シマスノハ、本法施行後ニ於キマシテ、當然問題ニナリマスノハ、是等ノ生産費ノ高イ會社ガ必ズヤ本法案ニ基キ新會社ニ依ツテ工場管理ノ對象トナルベキ會社ト私ハ思フノデアリマス、是等ノ工場管理ヲ致シマシタ際ニ、ドウ云フ點ニ付テ改良スルコトニ依ツテ是等ノ生産費ガ低廉スル見込ガアルノカナイノカ、サウ云フ方途ハアルノカナイノカト云フ點ハ如何デスカ

○重政政府委員 是ハ先づ經營ノ合理化ト云フ點ニ於テモ色々アラウカトモ思フノデアリマス、更ニ一面ニ於キマシテハ技術的ナ點ニ於テモアルト思フノデアリマス、或ハ他ノ「コーラス」ノ廢止ニ依ル確安製造設備ノ現在ノ設備ニ加ヘルト云フヤウナコトニ依ツテ非常ニ其ノ會社ガ合理的ニナラウテ来ルト云フヤウナ、個々ノ會社ニ付テ考ヘテ見マスレバ、色々サウ云フ點ガアラウト思ハレルノデアリマス

○河野委員 只今政府委員ノ御述ニナリマシタヤウナコトハ、技術的ノ改良ハ是ハ又別ノ議論ニ致シマスケレドモ、經營ノ合理

化デアルトカ、又設備ノ一部改良デアルトカ云フヤウナコトハ、當然今日確安製造企業ヲ意圖シテ居ラレヤウナ會社ニ於キマシテハ、何レモ我國ニ於ケル相當ノ製造部門ノ資本系統デアリマス、是等ノ優秀ナ資本系統ガ只今政府委員ノ申サレヤウナ程度ノコトヲヤラヌト云フコトモ、吾々想像ガ出来ナイシ、ナリ得ヌト云フコトモ想像ガ出来ナイ、問題ハ技術的ニ是ガ改正出来ルカ出来ナイカ、技術者ニ適任者ヲ得ルコトガ出来ルカ出来ヌカト云フコトガ、一番懸ツテ大キナ問題ダト思フ  
(成島委員長代理著席)  
更ニ又サウ云フ點ヲ考慮致シマシテモ、ドウシテモ安イ電力ガ持テナイ、安イ電力ヲ取ルコトガ出来ナイト云フヤウナ已ムヲ得サル價格ノ製造「コスト」ノ高イト云フモノモアルノデハナカラウカトモ思ヒマスノデ、是等ハ單ニ工場ノ管理ヲスルコトニ依ツテ生産「コスト」ヲ下ゲルト云フコトハ、私ハ殆ド不可能デアリカト思フノデアリマスケレドモ、此ノ點ニ付テハ既ニ御調査ガアルノカナイノカ、アルトスレバ、今平均價格ヨリモ高イ會社ニ付テハ、一體ノ程度ニ下ゲ得ル御確信ガアルノカナイノカト云フ點ニ付テ、モウ少シ突進シテ御説明願ヒタイ、私ガ此ノ御尋ヲ致シマス所以ノモノハ、本會議デモ申上ゲマシタ通り、此ノ法律ハ如何ニモ姑息ナ法律デアリ、不徹底ナ法律デアリ、惡イモノダケ集メテ良イモノヲ作ラウ、「マイナス」バカリ集メテ「プラス」ヲ生ミ出サウト云フ所ニ此ノ法律ノ難點ガアル、「プラス」ト「マイナス」ヲ集メテ平均價格等出ストカ、「マイナス」ニ加ヘルニ大キナ「プラス」ヲ加ヘテ全部ヲ或ル程度マデ上ゲヨ



將來ニ非常ニ惡影響ヲ來スト思フ、惡イ操  
作ヲヤルヤウナ場合ガ起ツテ來ルト思フ、  
又徒ニ不安ヲ醸成スルト思フ、別ノコトニ  
ナリマスカラ私ハ甚ダ深クハ申上ダマセヌ  
ガ、政府ハ一方ニ於テ補助金ヲ持ツテ出  
デニナル、恐ラク政府委員ノ御話ハ、石炭  
ト電力ダケデハナク、行政ノ運用ニ於テト  
御シヤルケレドモ、補助金ヲ持ツテ居デ  
ニナル、其ノ他色々今日ノ時節柄政府運  
用ノ妙ヲ期スル各種ノ條件ガアルト云フコ  
トニナリマスノデ、サウ云フコトハ尙モ増  
産獎勵ヲシナケレバナラス場合ニ餘リ御考  
慮ニハ御入レニナラス方宜イダラウト思  
フ、會社ノ數モ大シテ多クハナイ、先程御  
示シノヤウニ平均生産費ヨリモ安イモノガ  
五ツ、高イモノハ五ツ、僅ニ五ツカ六ツノ  
問題デアル、シテ見レバ是等ノ中ノドウ云  
フ風ナ工場ハ斯ウダト云フコトガ直ダ御話  
ガ出來ルダラウト思フ、而モハ數箇月後  
ニハ當然サウ云フ事態ガ起ツテ來ルト思  
フ、デアリマスカラ、モウ少シ具體的ニ御  
説明ニナツタ方明朗ニナル、先程ノ御話  
ノヤウニ石炭ト電力トカ云フモノヲ政府  
ニ依存シナケレバ、ドウシテモ旨ク行カ  
ナイト云フヤウニ現在ノ經濟事情ニ於テ、非  
常ニ惡條件デアリマセウシ、其ノ他生産費  
ノ非常ニ高イモノト云フコトモ一ツノ條件  
デアリマセウ、又更ニ工場ノ能率ト實際生  
産額トノ間ニ非常ニ開キノアルモノト云フ  
コトモ一ツノ條件デアリマセウ、是等ノ何  
レノ部分ニ該當スルモノガ工場管理ノ對象  
ニナルカ、唯希望スルモノダケオヤリニナ  
ルノカ、此ノ一點ニ付テ更ニ御伺致シタイ  
○重政政府委員 今御述べニナリマシタヤ

ウナ色々々技術的方面ニ於テ、或ハ經營ノ  
方面ニ於テルケル増産ノ能率ヲ舉ゲルコトノ支  
障ニナルヤウナ條件ノアル工場ニ付テ、是  
ガ工場管理ノ條件ニナル譯デアリマシテ、  
是ハ先程モ御説明申上ダテ通りノ考ヲ致シ  
テ居ルノデアリマス  
○河野委員 ドウモ御話ガ分ラナイ、此ノ  
點ガ惡イ、斯ウ云フコトニナレバ、其ノ點  
ヲ會社自ラ改良改善スレバ、工場管理ノ對  
象ニナラスコトニナツテ來ハシマセヌカ、  
具體的ニ伺ツテ置キマスガ、先程御示シ  
ナリマシタ平均生産費ヨリモ高イ工場ハ工  
場管理ノ對象トナルベキモノナリト云フ譯  
ニハ參リマセヌカ、ドウデスカ  
○重政政府委員 是ハサウ簡單ニハ參ラナ  
イト思ヒマス、今御話ノヤウニ、此ノ點ガ  
惡イト云フ、管理ノ條件ニナルモノガ消滅  
シテ能率ガ直チニ上ルヤウニスレバ、ナニ  
モ管理ヲスル必要ハナイモノト私ハ考ヘテ  
居ルノデアリマシテ、サウ云フコトハ理窟  
デアツテ、實際ノ今マデノ過去ノ經過ニ顧  
ミ、又ハドウ云フ風ニナルト口デ言ツテ見  
タ所デ、サウ云フコトガ出來ルカ出來ナイ  
カハハ客觀的ニ見レバ分ルコトデアリマ  
スノデ、サウ云フ管理ノ條件ガ直チニ消滅  
スルカドウカト云フヤウナコトハ客觀的ニ  
之ヲ見テ認定シ、ソレガ直チニ出來ルモノ  
ナラ管理モ何モスル必要ハナイデアツテ、  
サウ云フモノハ從來通りノ經營ニ委セテ置  
ケバ結構デアルト考ヘルノデアリマス  
○河野委員 ドウモ能ク分リマセヌ、政府  
ノ考ヘ方ハ大分私ト違フノデス、政府ガ何  
カ良イ要素ヲ持ツテ居ルナラバ、惡イモノ  
ヲ自分デ經營シ、新會社ガ良イ條件ヲ持ツ  
テ居ルナラバソレヲプラスニスルカラ宜クナ

ルコトニナルデアリマセウガ、新シク出來  
ル會社ト雖モ何ニモ條件ヲ持セガ無イ、  
非常ニ優秀ナ技術者ヲ抱ヘテアル譯デモナ  
イ、石炭ニシロ、電力ニシロ、是ハ工場管  
理デアラウガナカラウガ、與ヘレバ與ヘラ  
レル、ドウモ分リマセヌガ、此ノ點ハ大臣  
ニ伺フコトニシテ此ノ程度ニシテ置キマス、  
次ニ、外安ノ輸入價格ハ一體ドウ位ニナ  
ツテ居リマスカ、承リタイ  
○重政政府委員 是ハ色々々ニナツテ居リマ  
スガ、大體ニ於テ適當リ二百二十個位ニナ  
ツテ居ルト考ヘマス  
○河野委員 サウシマス、適當リ二百二  
十個ノ外安ノ明年度ニ於キマシテハ相當多  
量ニ御入レニナルヤウナ豫算ヲ吾々ハ發見  
シナイノデアリマスガ、大體政府ハ明年度  
ニ於キマシテハ、外安ヲサウ薄山御入レニ  
ナラヌデモ、確定ニ付テハ此ノ法律ガ出來テ  
工場管理ヲサウテ大體間ニ合セテ行ケルト  
云フ御見込デアリマスカ、乃至ハ此ノ法律  
ニ依ツテ新會社ガ出來テ、其ノ新會社ガ外  
安ノ輸入ヲサウテ、ソコニ「マイナス」ガ生  
レタモノハ内地ノ確定ニ之ヲ轉嫁シテ之ヲ  
配給サセルト云フヤウナ方策ヲ御執リニナ  
ル積リデアリマスカ、其ノ何レノ方法ヲ御  
執リニナル積リデアリマスカ  
○重政政府委員 現在ノ所デハ、來肥料年度  
ニ於テ果シテドレダケノ外安ヲ輸入シナケ  
レバナラスカト云フコトニ付テハ、ハツキ  
リ見込ガ立ツテ居リマセヌ、出來ルダケニ  
ハ内地ノ現有能率ノ高度ニ働カセマシテ、  
外貨ノ支拂ヲ節約致シタイト考ヘテ居リマ  
ス、若シモ外安ノ輸入ヲ致シマス場合ニ於  
キマシテ、是ガ差額ノ損失ヲドウ云フ風ニ  
ナルカト云フ點ニ付キマシテモ、尙ホハツ

キリ決定ハ致シテ居リマセヌガ、今御述べ  
ニナリマシタヤウニ内地確定ニ平均的ニ負  
擔セシメルノモノツノ方法デアリマスシ、  
又政府ガ會社ニ對シテ助成ヲスルト云フ行  
キ方モノツノ方法デアラウカト考ヘマス  
○河野委員 ソレハ色々々方法デアリマセウ  
ケレドモ、其ノ方法ガ吾々ノ總キタイ所デ  
アリマス、明年度ニ於キマシテハ外安ヲ輸  
入セズシテ、内地生産スル確定ヲ以テ圓  
滑ナル配給ガ出來ル御見込ガ一體アルデア  
リマセウカ、ドウデアリマセウカ、如何ニ  
工場ヲ管理シマシテモ、電力、石炭ヲドウ  
ヤルト御シヤイマシタ所ガ、其ノ程度ノコ  
トデ足リルカドウカ、最近政府ガ農林大臣  
初メ頻ニ啖呵ヲ切ラレマスヤウニ、豫定ノ  
モノハ配ルト御シヤルガ、其ノ豫定ガ非常  
ニ少イ豫定方ノデアツテ、農民ノ要求スル  
ダケ——又此ノ要求デ議論ガアルトイケマ  
セヌガ、要求モ減茶ヲ要求ト云フ譯デアリ  
マセヌ、過去ニ於テ政府ガ先程モ成島君カ  
ラ申サレマシタヤウニ、確定ハ此ノ程度ノ  
消費量ガアルダラウト云ツテ、想定セラレ  
タ程度ノ確定ヲ配給スルト云フコトデナケ  
レバナルマイト思フ、私モ先程成島君ノ御  
質問ヲ伺ツテ居ツテ斯ウ云フ感シガシタ、  
政府ハ新シイ會社ヲ作ツテ増産ノ獎勵ニ必  
要ナ時ニ出ス材料ト、自分ガ足りナクテ困  
ツテ居ル時ニ出ス材料トノ間ニハ、議會ニ  
出ス材料ノ間ニモ開キガアルヤウナ感シガ  
シタ、ドウシテモ新シイ會社ヲ作ラセウ  
トカ、確定會社ニ對シテハ免稅ニスルトカ、  
是マデニシナケレバ、確定ノ需給ハ圓滑ニ行  
カナイト云フ時ニ出ス材料ハ需要ヲ非常ニ  
大キク見積ル、所ガ今度ハ才前ノ方ハソソ  
ナニ出シテモ駄目ダツト攻立テル時ハ確定

ノ需要ヲ少ク見積ル、恐ラク島田農林大臣  
ノ頭ノ中ニハ最小限度ヲ「マイナス」シタヤウ  
ナ確定ノ需要量ノ數字ガ入ツテ居ルノダラ  
ウト思フ、二三年前ニ出シタ數字——恐ラ  
ク昨年モサウデセウガ、サウ云フ數字ハ恐  
ラク島田農林大臣ノ頭ノ中ニハ毛頭ナカラ  
ウト思フ、デアリマスカラ地方ノ農民ノ側  
カラ致シマス、島田農相ガ肥料ニ付テハ  
心配サセヌ、肥料ハ豫定ダケノモノハ配ル  
ト云フ、ソレガ新聞ニ其ノ儘出マスノデ、  
農家ノ方デハ、是ハ有難イ、豫定ダケノモ  
ノハ來ルサウダト思フ、豫定ダケト云フノ  
ハ自分達ガ必要ナダケト云フ解釋ヲ農村デ  
ハシテ居ツテ、政府ノ言ハレルヤウナ八割  
トカ、六割トカ、五割トカ云フモノヲ豫定ト  
ハ考ヘテ居ナイ、増産ニ必要ナダケノモノ  
ハ來ルモノダト思ツテ居ル、ソレダケ寄越  
シテ初メテ島田農林大臣ノ啖呵ノ切リ榮エ  
ガアルノデアリマス、必要ナダケノモノヲ渡  
サズシテ、豫定ダケノモノハ渡ス積リダト  
云フヤウナ啖呵ハ、モウト小サナ聲デ細々ト  
言フベキ啖呵デアル、是ハ非常ニ農村ノ心理  
ヲ迷ハシメルノデ、愈々春肥ノ必需期ニナリマ  
ス、逆效果ヲ來スノミデ決シテ、好イ效果ハ與  
ヘナイ、議會中ハ有ユル委員會ニ於テ心配ハ  
サセヌト云ハレル、ソレガ新聞ニ出ル、議會ノ  
アル間ハ百姓ハ今ニ來ルダラウト思ツテ持  
ツテ居ルガ、愈々議會モ終ツテ本當ニ來ナイ  
コトニナルト、其ノ時ハヒドイコトニナル  
ト御考ニナラナケレバナラス、今ノ御話デ  
モ來肥料年度ニ於テ外安ヲ幾ラ入レルト  
云フコトハ考ヘテ居ラス、内地ノ確定間  
ニ合ハス積リダト云ハレルガ、吾々ドウ算  
盤ヲ入レテ見テ内地ノ確定間ニ合フ筈  
ハ全然ナイト思フ、又來年モ八割、七割、六

割ト云フヤウニスレバ別デアリマス、國內  
デ出テ來ル確定ヲ對象ニシテ、之ヲ何割ツ  
ワ分ケヨウカト云フ分ケ前決メテ、ソレ  
ダケノモノヲ渡スト云フナラバ、是ハ要ル  
ダケ渡スノデキナイ、此ノ點ハ重政君ニ私  
ガ諄々ト申サヌデモ能ク分リダラウト思  
ヒマスガ、前年度同様ト云フ答辯ハ吾々迷  
ヒ易クテ甚ダ困ル、一體配給量ガ前年同様  
ト云フノハ、去年ガ平年度ナラバ宜シイ、  
ソレヲ去年通りニ渡スト御シヤルト、來年  
ニナツテ今年ノ大騒ぎ通り渡スト云フコト  
ニナツテ、是ハ大變ダ、今日ヨリモ好クナ  
ルト云フコトデナケレバナラス、即チ昨年  
ヨリモ好クナルト云フコトデナケレバナラ  
ス、少クトモ一昨年カ一昨年程度ニナル  
ノデナケレバイカヌデアリマス、チニア  
ラズシテ前年度ノモノハ配給スル積リダ  
ト云ハレテ數字ニ關レラレヌコトハ、非常  
ニ將來ニ迷ヒヨ給ス、又世間ニ迷ヒヨ深メ  
ルモノダト私ハ思フ、隨テ此ノ機會ニ今ノ  
生産豫定數量デドノ程度ニ配給ガ出來ルモ  
ノカ、來年ノ確定ノ配給計畫ヲ承リマシテ、  
成程ソレナラバ外安ノ輸入ヲ御考ニナラス  
ノモ御尤モダト云フヤウニ吾々ノ納得ノ行  
クヤウニシテ誠クニアラザレバ、吾々ハ安  
心ガ出來ナイ、何時デモ政策ガ後手後手ニ  
ナツテシマフト、其ノ爲ニ却テ不安ヲ來シテ、  
ソレガ買高トナリ賣低トナリ、配給ヲ益シ不  
調滑ニスル基ニナルト私ハ思ヒマスノデ、  
此ノ機會ニ明確ニ來年ニ對シテ政府ハドウ  
云フ見込デアリマシテ、外安ノ輸入ヲ幾ラ  
カ、ドウシテモ此ノ程度ノ外安ハ入レルト  
イカスト云フ御考ヲナカト云フコトヲ一ツ  
御示願ヒマス、サウ三年五年先キコトハ  
宜シイカラ、來年ダケノコトヲ一ツ此ノ際

明瞭ニシテ置イテ戴キタイト思ヒマス  
○重政政府委員 今ノ御話ハ勿論今年ノハ  
月以降來年ノ七月マデノ來肥料年度ノ御話  
ダラウト思ヒマス、是ハマダ來年ノ物動計  
畫ガ決定シテ居リマセヌノデ、其ノ數字ニ  
付テ申上ゲルコトハ一寸差控ヘナケレバナ  
リマセヌガ、勿論今色々御言葉モアリマ  
シタケレドモ、吾々ト致シマシテハ斯ウ云  
フ時局デアリマスカラ、肥料ノ消費數量ニ  
付テ農家ニ於テ節約ノ出來ルダケハ節約  
シテ費フコトハ勿論デアリマス、併シナガ  
ラ吾々ノ立場トシテハ、肥料ノ重要性ニ鑑  
ミテ、出來得ル限り支拂ノナイヤウニ供給  
ヲ致シタイ、サウ云フ考ノ下ニ現在物動計  
編成ヲ致シテ居ルヤウナ次第デアリマス、  
隨テ然ラバ外安ニ御ダモノガ幾ラアルカ、  
斯ウ云フ御話デアリマスガ、是ハ物動計畫  
ガ決ツテ居リマセヌノデハツキリ數字ヲ申  
上ゲ難ネノデアリマス、併シナガラ本年  
ノ如ク外安ノ入手ガ困難ナ場合ニ於キマシ  
テハ、必要ニ應ズレバ確檢費連其ノ他ノ輸  
入モ致スコトニナリマスシ、兎ニ角無擔賃  
肥料ノ總量ニ於テ出來得ル限り支拂ノナイ  
ヤウニ供給ヲ致シタイト云フ考ノ下ニヤツ  
テ居ルノデアリマス  
○河野委員 私ハ決シテ言葉尻ヲ捕ヘテ兎  
十角言フ者デアリマセヌケレドモ、先日  
モ本會議ニ於テ特ニ農林大臣ニ其ノ點ヲ  
私ガ駄目ヲ押しタ、所ガ農林大臣ハ來年  
ノコトハ絕對ニ心配サセヌト御シヤル、  
ソレガ地方ニ傳ハツテ地方デハ非常ニ  
變ナ氣持ヲ起シテ居ル、農林大臣ガアア  
言フケレドモ、一體肥料ガ自分ノ近所ニ  
一ツモナイハドウ云フ譯ダラウト云フ  
コトデ、行先キハドウナルノカト云フ、

問合セノ手紙ガ非常ニ澤山來ルノデアリ  
マス、所ガ物動計畫ノ内容ニ付テ私ハ勿論  
申スコトヲ差控ヘマス、秘密會ノ内容デアリ  
マスカラ差控ヘマス、併シナガラ秘密會ニ  
於テ御示ヲ願ヒマシタコトハ吾々ガ常識ト  
シテ持ツテ居リマス、其ノ吾々ノ前デ農林  
大臣ガアア云フ高言ヲ吐カレルトハ少シ  
ドウカト思フ、過般ノ物動計畫ノ御説明ノ  
中ニ於テ吾々ハ肥料ニ付テモ一部同ヒマシ  
タ、ソレヲ今政府委員ノ御話ノヤウニ明年  
度ノ物動ニ付テハ今相談中ダト云フナラバ、  
吾々ガ此ノ間本會議ニ於テ伺ツタ物動計畫  
ハ、アレハ實物ノ物動計畫ト云フコトニナ  
ル、アノ際ニ吾々ハ少クトモ肥料ニ付テ一  
部分物動計畫ヲ拜聴シタノデアリマス、數  
字モ憶エテ居リマス、憶エテ居リマスガ、  
其ノ數字ヲ基礎ニシテ吾々ガ考ヘテ見マス  
ケレバ、農林大臣ノ御シヤルヤウナ高言  
ハ出テ來ナイト思フノデアリマス、又農  
林大臣ノヤウナ高言ヲ仰シヤルナラバ、  
適當ナル方策ガナケレバ、アア云フ啖呵ハ  
切レナイ筈デアリマス、然ルニ今重政君ノ  
御話ノヤウニ、是カラ色々考ヘルトカ、是  
カラ話ヲスル、相談ヲスルトカ、其ノ上デ  
色々外安ノ問題モ考ヘルシ、其ノ他ノ方策  
モ考ヘル、乃至ハ又新會社ニ是等ノ問題ヲ  
扱ハス場合ニ於テモ其ノ上デ考ヘルト云フ  
コトデハ「ピン」ガ合ワテ來ナイ、内地ノ  
確定ノ製造高ガ是ダケアル、是ダケアルケ  
レドモ、製又非常ニ早急ダトカ非常ニ石  
炭難トカ思ハル原因ノ爲ニ是ダケノモノ  
ガ出來ナクナツタ場合ニ、サウ云フコトガ  
當然考ヘラレルト云フナラバ、今ノアナタ  
ノ御説明ハ吾々ハ諒承スルノデアリマスガ、

サウデハナイ、初カラ技ニ物動計畫トシテ  
吾々ガ何ツタ其ノコトガ疑問ヲ起サザルヲ  
得ヌヤウナ數字デアツタト私ハ記憶スルノ  
デアリマス、此ノ點ハ何レ大見エマシ  
テカラ申上ゲマスガ、政府ニ於テモ秘密會  
ヲ要求サレナリシテ其ノ點ハ明瞭ニ  
シテ載キタイ、物動計畫ノ内容ハ申サレ  
ト言ハレマスケレドモ、先日何ツタ物動計  
畫ト今ノ御説明トノ間ニハ食違ヒガアル、  
ソレデハ諒承出來ス筋合デアリマス、隨テ  
適當ナル機會ヲ御設ケテ上ツレ等ノ點ニ付  
テ明瞭ニ御示シテ頂ヒタイ

ノ下ル部分ハ實ハサウ多ク期待スルコトハ  
出來ナカラウト考ヘルノデアリマス、尙ホ  
現在ノ如ク電力ノ供給ガ滑ラカニ行カナ  
時ニハ或ル程度設備ヲ多ク持ツテ居ルト云  
フコトガ非常ニ便宜ナクデアリマシテ、満  
水期ニ於キマシテハ相當程度電力ヲ節約致  
シ、降水期ニ於テハ電力ノ供給ヲ増加スル  
ト云フコトニ致シマシテモ、過磷酸ノ製造  
工程ガ極メテ簡單デアルト云フコトカラ、  
能力ト鑛石サハ現實ニアレバ、實ハ配給上  
支障ナク是ガ附ツテ行ケルノデアリマス、  
サウ云フ關係カラ致シマシテ、其ノ點ニ付  
テハ餘リ現在ノ所考ヘテ居ラナイノデアリ  
マス

○河野委員 サウシマスト法文ニアリマス  
工場管理ノ場合ハ保安ニ限ツテ想像サレ  
ノデアリマスガ、他ノモノニハナイト云フ  
風ニ想像シテ宜シイノデアリマスガ  
○重政政府委員 他ノモノニハ絶対ニナイ  
トハ、個々ノ場合ヲ考ヘマスト、サウ云フ  
風ニハ申セマセガ、主トシテ保安ニ付テ  
考ヘテ居ルノデアリマス  
○河野委員 他ノモノニ付テ想像出來ルモ  
ノハ一體ドウ云フモノデアリマスガ  
○重政政府委員 石灰窒素ニ付テモ同様ニ  
考ヘテ居ルト思ヒマス

○重政政府委員 ソレハ御話ノ通りデアリ  
マシテ、適當ナル委員會ニ圖ルノモノツノ方  
法デアラウト思フノデアリマス、或ハ又委  
員會デナクモ何等カノ制度ト申シマスガ、  
サウ云フ相談スルヤウナモノヲ一ツ作りマ  
シテ、出來ルダケハ公ニヤリタイト云フ  
考ヲ持ツテ居リマス  
○河野委員 サウシマスト今政府ノ考ヘテ  
オ居デニナルノハドウ云フ委員會ニ相談サ  
レ、ドウ云フ組織ニ協議サレカ、無論既  
ニ御腹案ガアルト思ヒマスガ、若シナイト  
スレバ、私ハ本會社ノ如クニ政府出資ヲ爲  
シテ而モ其ノ配當ニ付テ保證スルモノニ  
付テハ當然斯クスキモノダト思フノデア  
リマスガ、之ニ對スル御意見ハ如何デアリ  
マスガ

○重政政府委員 過磷酸ノ工場能力ハ現狀  
ニ於キマシテハ或ル程度過剩ニナツテ居  
マス、隨テ其ノ能力ヲ他ノ方ニ轉用スルコト  
ニ依ツテ生産「コスト」ガ下ルデハナイカト  
云フ御質問デアリマスガ、御承知ノヤウニ過  
磷酸工場モ色々他ノ方面ニ其ノ設備ヲ轉用  
致シテ居ル工場モ相當アルノデアリマス、  
私カラ申上ゲルマデモナク、過磷酸ノ値段  
ヲ決定致シマス主要ナル部分ハ鑛及ビ硫  
酸デアリマシテ「ランニング・コスト」ガ大部  
分ニナツテ居リマス、隨テ製造設備ノ償却等  
ハ實ニ僅カクナモノニナツテ居リマスノデ、  
御設ノヤウニ此ノ能力ヲ限定シテ他ノ藥品  
或ハ化成肥料ヲ作ツテ居リマス以外ノモノ  
ヲ全然計算カラ度外視致シマシテモ「コスト」

○河野委員 今ノ過磷酸ノ場合、餘剩能力  
ト申シマスガ、程度ノ問題デ政府委員ノ御  
説明ノヤウナコトニナルダラウト思ヒマス  
ガ、一體今アリマス工場能力ハ恐ラク三  
百萬噸位アルノチヤナイカト思ヒマスガ、  
ドウ云フコトニナリマセウカ、而モ製造致  
シマスモノハ多クテ百七八十萬噸私ハ思  
フガ、違ヒマセウカ  
○重政政府委員 大體製造ハ二百萬噸位ノ

○河野委員 サウ云フ必要ノ有無ト云フヤ  
ウナコト、乃至ハ株ノ肩替リスルト云フヤ  
ウナ條件、是等ニ付テ他ノ國策會社ニ付テ  
今政府委員ノ御示シニナリマスヤウニ、相  
手方ト會社ト相談シテ、ソレヲ認可スルト  
云フダケデヤル場合ハ私ハ少カラウト思フ、  
大抵ノ場合適當ナル委員會ナリ何ナリニ掛  
テ之ヲ決定シテ居ルヤウニ思フノデアリマ  
スガ、此ノ點ハ如何デアリマスガ

○重政政府委員 大體今ノ見込デハ重要肥  
料委員會等ニ之ヲ諮ツテヤツカラドウカ  
ト云フ考ヘ方ヲ持ツテ居ル次第デアリマス  
○河野委員 重要肥料委員會ハ其ノ委員  
會結成ノ當時ニ於キマシテ、又其ノ法案  
ガ衆議院ヲ通過致シマシタ當時ニ、衆議院  
ニ於テ非常ニ強イ意味デ附帶決議ヲ付ケマ  
シタ、其ノ決議ノ精神ガ其ノ後ノ委員會ノ  
運用ノ上ニ於テ實施セラレテ居ラスヤウニ  
私ハ思フ、當時ノ吾々衆議院ノ附帶決議ハ、  
荷モ重要ナル肥料政策ヲ運行ニ付テハ、本  
委員會ニ諮問シテ、又政府ニ於テモ是等ノ  
點ハ委員會ニ相談シテヤルノデアルカラ御  
心配ナクト云フコトデ、當時ノ連記簿ヲ御  
覽ニナレバ分リマスヤウニ、議會ヲ通過シ  
タモノデアリマス、所ガ委員會ハ年ニ一回  
カ一回、保安ノ公定價格ヲ決ムルカ、過  
磷酸ノ公定價格ヲ決ムルカ云フヤウナ場  
合ニ於テノミ開カレ、斯ウ云フ會社案ヲ

作ラウト思フガドウカ、其ノ他所謂肥料政  
策上ノ問題ニ付テ委員會ガ開カレタ場合ハ  
絕對ニナイノデアリマス、是ハ政府ノ議會  
ニ對スル非常ナル食言デアルト私ハ思フ、  
此ノ點ニ付テハ今モ御話ノ通りニ、現局長  
ノ御考ガ非常ニ私ハ妥當ダト思フ、サウ云  
フモノニ付テ委員會ニ掛ケテ運行スルコト  
ガ非常ニ適當ダト思フガ、若シサウデナイ  
ト云フコトニナリマスト非常ニ困リマス、  
ノミナラズ此ノ法律ニハサウ云フ點ニ付テ  
觸レテ居リマセ、本法運用ノ上ニ於テ重  
要ナル問題ハ肥料委員會ニ諮問シテ運用スル  
ノデアルト云フコトニ付テハ明確ナル御答  
辯ヲ此ノ際願ツテ置キタイト思フノデアリ  
マス

上ニ於テ政府ハ當時ノ議會ニ御説明ニナリ  
マシタヤウナコトニ至ツテ居リマセウカ  
ハ、何ト諒解ヲ求メラレテモ吾々遺憾ニ思  
ヒマス、今後ニ於テモ十分サウ云フコトノ  
ナイヤウニ願ヒタイト思ヒマス  
更ニ進ンデ御詳致シマスガ、現在ノ肥料  
國策會社、日本保安ニシマシテモ、日本過  
磷酸ニシマシテモ、是等ノ會社ノ首腦部ハ  
何レモ業者ノミヲ以テ結成セラレテ居ル、  
業者ノ集合體ト云フコトニナリマシテ、何  
レノ點カラ見マシテモ、國策會社ヲシイ句  
ガシナイ、生産者ノミヲ以テ結成セラレテ  
居リマシテ、消費者方面ノ代表ヲ何等考慮  
シテ居ラス、公正ナルベキ第三者ガ介入シ  
テ居ラスト云フコトハ、多年ニ亙ツテ吾々  
其ガ遺憾ナリト考ヘ居ツタ點デアリマシテ、  
偶々政府ノ任命スル所ノ御役人サン出ノ人ダ  
トカ、乃至ハ是等ニ關係アル人ノミデア  
カ云フ程度ノ人ガ一二見聞サレルノミデア  
ツテ、之ヲ以テ公正ナル肥料政策ヲ運行  
シテ居ルトハ、吾々考ヘニキイ場合ガ多イ、  
本法案ニ依ル會社成立ノ場合ニ於テ、若シ  
モ前同様ナコトデアリマスナラバ、非常ニ  
遺憾ナル點ガ多ク起ツテ來ルト思ヒマス、法  
律案ノ内容ヲ見マシテモ、理事長トカ其ノ  
他首腦部一二ニ付テハ政府ノ任命スル所ト  
フコトニナツテ居リマセウカ、他ノ理  
事、首腦部ニ於キマシテハ何レモ株主ノ中  
カラナル、株主トハ即チ製造業者デアルト  
云フコトデアリマス、配給ノ業者モ入ラ  
ナケレバ、消費者ノ側モ入ラヌト云フコト  
ニナリマシテ、國策會社ノ精神ヲ没却シタ  
モノデアルト私ハ思フ、之ニ付テ政府ノ御  
所見ハ如何デスカ

○重政政府委員 是ハ今河野委員ノ御述ニ  
見ハ如何デスカ

○重政政府委員 是ハ今河野委員ノ御述ニ  
見ハ如何デスカ

○重政政府委員 同様ニ今ノヤウナ實收ノ  
場合デアリマストカ、或ハ既設會社ニ對ス  
ル投資ノ場合ニ於ケル資金ノ問題デアリマ  
ストカ云フ重要ナル問題ニ付キマシテハ、重  
要肥料委員會ニ掛ケテヤリタイト云フ考  
ヲ持ツテ居リマス、序ニ申上ゲテ置キマス  
ガ、重要肥料委員會ノ運用ガドウモ十分  
ニ行ツテ居ナイト云フ御叱リヲ受ケテ譯デ  
アリマス、是ハ一面ニ於キマシテ、配給方  
面ニ付キマシテハ、農林計畫委員會ニ對シ  
テ配給其ノ他ニ付テ色々ナコトヲヤウテ居  
マスシ、大體此ノ委員會ノ組織ハ兩委員會  
ノ間ニ於テ度々會ヒマスヤウナ組織デアリ  
マスノデ、便宜上兩委員會ヲ運用シテヤウ  
テ居ルト云フコトニナツテ居リマス、御諒  
承ヲ戴キタイト思ヒマス

○河野委員 御話ノ通りノ點モアリマス  
ケレドモ、例ヘバ有機肥料株式會社ヲ作  
ルニシテモ、何レノ委員會ニモ御相談ハナ  
カウツラウト思フ、恐ラク肥料政策運行ノ

○重政政府委員 是ハ今河野委員ノ御述ニ  
見ハ如何デスカ

○重政政府委員 是ハ今河野委員ノ御述ニ  
見ハ如何デスカ

○重政政府委員 同様ニ今ノヤウナ實收ノ  
場合デアリマストカ、或ハ既設會社ニ對ス  
ル投資ノ場合ニ於ケル資金ノ問題デアリマ  
ストカ云フ重要ナル問題ニ付キマシテハ、重  
要肥料委員會ニ掛ケテヤリタイト云フ考  
ヲ持ツテ居リマス、序ニ申上ゲテ置キマス  
ガ、重要肥料委員會ノ運用ガドウモ十分  
ニ行ツテ居ナイト云フ御叱リヲ受ケテ譯デ  
アリマス、是ハ一面ニ於キマシテ、配給方  
面ニ付キマシテハ、農林計畫委員會ニ對シ  
テ配給其ノ他ニ付テ色々ナコトヲヤウテ居  
マスシ、大體此ノ委員會ノ組織ハ兩委員會  
ノ間ニ於テ度々會ヒマスヤウナ組織デアリ  
マスノデ、便宜上兩委員會ヲ運用シテヤウ  
テ居ルト云フコトニナツテ居リマス、御諒  
承ヲ戴キタイト思ヒマス

○河野委員 御話ノ通りノ點モアリマス  
ケレドモ、例ヘバ有機肥料株式會社ヲ作  
ルニシテモ、何レノ委員會ニモ御相談ハナ  
カウツラウト思フ、恐ラク肥料政策運行ノ

○重政政府委員 是ハ今河野委員ノ御述ニ  
見ハ如何デスカ

○重政政府委員 是ハ今河野委員ノ御述ニ  
見ハ如何デスカ

○重政政府委員 同様ニ今ノヤウナ實收ノ  
場合デアリマストカ、或ハ既設會社ニ對ス  
ル投資ノ場合ニ於ケル資金ノ問題デアリマ  
ストカ云フ重要ナル問題ニ付キマシテハ、重  
要肥料委員會ニ掛ケテヤリタイト云フ考  
ヲ持ツテ居リマス、序ニ申上ゲテ置キマス  
ガ、重要肥料委員會ノ運用ガドウモ十分  
ニ行ツテ居ナイト云フ御叱リヲ受ケテ譯デ  
アリマス、是ハ一面ニ於キマシテ、配給方  
面ニ付キマシテハ、農林計畫委員會ニ對シ  
テ配給其ノ他ニ付テ色々ナコトヲヤウテ居  
マスシ、大體此ノ委員會ノ組織ハ兩委員會  
ノ間ニ於テ度々會ヒマスヤウナ組織デアリ  
マスノデ、便宜上兩委員會ヲ運用シテヤウ  
テ居ルト云フコトニナツテ居リマス、御諒  
承ヲ戴キタイト思ヒマス

○河野委員 御話ノ通りノ點モアリマス  
ケレドモ、例ヘバ有機肥料株式會社ヲ作  
ルニシテモ、何レノ委員會ニモ御相談ハナ  
カウツラウト思フ、恐ラク肥料政策運行ノ

○重政政府委員 是ハ今河野委員ノ御述ニ  
見ハ如何デスカ

○重政政府委員 是ハ今河野委員ノ御述ニ  
見ハ如何デスカ

キマシテハ、農家方之ヲ使用致シマスル方  
面カラ考ヘテ見マシテ、サウ云フモノヲ奨  
勵スルコトガ實際ノ肥料政策トシテノ巧ク  
實情ニ當ルカドウカガ非常ナ問題ニ相成ル  
ノデアリマス、高度化成ニ致シマスレバ、  
運賃モ「セーブ」出來ルシ、色々良イ所モア  
ル譯デアリマスケレドモ、自ら又生産費モ  
現在ノ所デハ必ズシモ安クナイト云フコト  
モアリマス、ソレカラ又現狀ニ於キマシテ  
ハ、割當配給ヲ致シマス際ニ於ケル不便  
モ考ヘテ見ナケレバナリマセソデ、色々  
ノ事情カラ致シマシテ、現在ノ所デハ大々  
的ニ之ヲ獎勵スル行キ方ハ執ツテ居ラナイ  
ノデアリマス、併シナガラ是ノ相當數量ノ  
製造ヲ許可致シテ居ルヤウナ次第デアリ  
マス、只今御述ベニナリマシタヤウニ將來  
ノ行キ方ト致シマシテハ、恐ラク農家ノ肥  
料知識ノ向上ニ伴ヒマシテ、高度化成ノ發  
達ガ漸次促進シテ行クコトヲ考ヘマ  
ス

○河野委員 私ノ申スノハ、例ヘバ「アン  
モホス」硫酸アンモニアコトヲ言ヒマシタケ  
レドモ、サウデナシニ、全ク吾々ガ想像セ  
ザル新シイ肥料ガアルノチヤナイカ、化學  
ノ研究ノ結果サウ云フモノハ創造出來ナイ  
カ、又サウ云フモノヲ製造スル必要ガアル  
ノデハナイカ、例ヘバ第一次歐洲大戰當時  
獨逸ハ空中窒素固定ノ工業ヲヤツタ、ソレ  
ニ依ツテ獨逸ハ奮起シテ、大イニ歐洲大戦  
ニ付テ色々トヤツタ、サウ云フヤウニ今日  
化學常識ヲ超越シタヤウナモノヲ革新的ニ  
綜合シテ研究サス必要ガアルノデハナイカ  
ト思フガ、肥料化學部門ニ於テハ世界ニ相  
當進レテ居ルト思ヒマス、其ノ特許權ニシ  
テモ外國カラ買ツテ來テ居ル現狀ニ於キマ

シテハ、何ト云フモ進シテ居ルトハ申セ  
ナカラウト思フ、又農業ノ指導ノ上ニ於テ  
モ、只今御話ノヤウニ高度ノ化成ヲ使ヒコ  
ナス常識ニ多少缺ケテ居ルト云フコトデ  
ハ、相共々ニ進レテ居ル、現在日本ニア  
ル程度ノ肥料デナシニ、最モ進シテ世界  
ニナイヤウナ肥料ヲ作ルヤウニ研究スル必  
要ガアルノデハナイカ、ソレデナケレバ日  
本ノヤウニ多量ノ肥料ヲ必要トスル農業經  
營ノ上ニ於テハ、ドウシテモ巧ク行カナイ  
デハナカラウト考ヘ、方ヲスル必要ガアル  
ノデハナカラウト考ヘ、斯ウ思フノデアリマス、  
ソレニハドウシテモ現在肥料ニ關係シテ居  
リマスル各種ノ資本ヲ大同シ、大統制ヲ  
シテ、大キナ力デ之ニ向ツテ進シテ行ク  
デナケレバ出來ナカラウト考ヘ、ソレデア  
リマスケレドモ、之ニ付テハ如何デゴザイマ  
スカ、局長ノ所見ヲ一ツ伺ツテ置キタイト  
思ヒマス

○重政政府委員 勿論將來ノ問題ト致シマ  
シテハ、サウ云フヤウニ必要ガアラウト考  
ヘマス、隨テ之ニ付キマシテハ國トシテモ  
相當ナ力ヲ入レテ行カナケレバナラウト考  
ヘテ居ル次第デアリマス  
○河野委員 次ノ御話ヲ致シマスガ、此ノ  
會社ガ出來マスル、從來區々トシテ居リ  
マスル肥料ノ手續料、有機質、配合、窒素、  
磷酸ト云フヤウナ手續料ハ、之ヲ統制スル  
御考デアリマスカドウデアリマス、竝ニ  
是デ肥料ノ方ノ手續料ノ關係ハ一體ドウ  
云フコトニナリマスカ、是等ニ付テハドウ  
云フ御考デオ居デニナリマスカ、私ハ是非  
トモ肥料ノ方ノ配給手續料モ、肥料ノ方モ、  
一貫シテ配給手續料ガ公正ニ決定スル必要  
ガアル、斯ウ思フノデアリマスガ、當局ハ

ドウ御考ニナリマスカ、又ソレヲヤルトス  
レバ何時サウ云フコトヲオヤリニナルカ、  
御示シテ願ヒタイト思ヒマス  
○重政政府委員 此ノ會社ニ於テ無機質肥  
料ノ一元配給統制ヲ致シマスコトハ、當  
然サウ云フコトニナルカト考ヘテ居リマス、  
ソレカラ有機質ノ手續料ノ問題ニ付キマシ  
テモ、今述ベラレマシタヤウニ出來ルダケ是  
ハ飼料、肥料ニ付テ手續料ヲ合理的ニ決  
メテ行カナケレバナラウト考ヘテ居リマス  
○河野委員 之ヲ成ベク早ク一ツオヤリ願  
ヒタイ、ヤルニ付テハ一體配給組織ノ問題  
ガ當然考ヘラレト思ヒマス、ソコデ配給  
組織ニ付テ現狀維持ノ何時マデモ産業組  
合トカ商人側トカ云フコトヲ考ヘテ居ルコ  
トハ間違ヒデアリマス、是ハ度々論ゼラレ  
タ問題デアリマスカラ、私ハ時間ヲ要シマ  
スノデ幾ニハ多ク申シマセマスガ、少クモ  
ソレヲ實行スル際ニ刷新的ニオヤリニナツ  
タ方ガ妥當ダト思フ、オヤリニナラナケレ  
バ何時マデ行ツテモ同様ナコトヲ繰返スノ  
ミデアラウト、ソコニ國策會社ガ出來マシタ  
以上ハ、府縣ニモソレノ地方ノ實情ニ依  
ル一本ノ配給機關ガ出來テ然ルベキダト思  
フ、而モ産業組合ト商人ト畫一シタ所ノ組  
織ヲ作ツテ然ルベキダト思フ、是等ニ付テ  
ハ既ニ度々論ゼラレタコトデアリマスカラ、  
ソコハ所見ヲ申上テテ總メテ御考ヲ伺フコ  
トニ致シマス、是非ハ今マデノヤウニ中  
央デハ法律ニ依ツテヤルノハヤルガ、サウ  
デナイ地方ノ方ニハ思ヒ及ボサナイト云フ  
コトデ、地方委セノ問題ヲ取上ゲテ、ドウ  
云フ方法デカ農村ノ最モ便宜ニナリマスヤ  
ウニ、一貫シテ配給機構ヲ作りニナルト  
云フコトヲ是非ヤツテ裁キタイ、ノミナラ

ズ硫酸ニ付テハ最近特約店主義ヲ撤廢サレ  
タヤウデアリマスケレドモ、過磷酸ニ付テ  
モ同時ニサウ云フコトヲヤルコトガ妥當ト  
私ハ思ヒマスガ、是等ニ付テハドウ云フ御  
考デアリマスガ、連ニ斯クスベキモノト思  
ヒマスガ、其ノ時期ハ一體ドウ云フコトニ  
ナリマスガ、御答ヲ願ヒマス  
○重政政府委員 配給機構ノ問題ニ付テ履  
御質問ガアツタデアリマスガ、私個人ノ  
考ト致シマシテハ、理想トシテハ全然御同感  
デアリマスガ、唯之ヲ實行致シマス場合ニ  
ハ、肥料ノ配給ハ申上ゲルマデニナラナ  
機關ガ「ストップ」シテハ非常ナ支障ヲ起ス  
ノデアリマス、ソレカラ又新機構ヲ作ル爲ニ  
非常ナ混亂ガ生ズルト云フコトデアツテハ、  
却テ所期ノ生産ニ支障ヲ生ズルト云フ處ガ  
アリマスノデ、其ノ邊ヲ能ク十分ニ見合ヒマ  
シテ、刷新ヲヤリマス時ハ斷乎トシテ法  
改正ヲヤラナケレバナラウト考ヘテ居ル  
デアリマス、急イデ漸次其ノ方向ニ向ツテ  
改革ヲ致シテ行キタイト考ヘテ居ル次第  
デアリマス、ソレカラ硫酸ニ付テ第一次特  
約店撤廢ト同様ニ過磷酸ニ付テモ行フ必要  
間デアリマスガ、其ノ時期如何ト云フ御質  
問デアリマスガ、是ハ理論的ニハハ硫酸同  
様ニ過磷酸ニ付テモ第一次特約店ノ撤廢ト  
云フコトハ考ヘラレルトデアリマスガ、併シ  
過磷酸ハ硫酸ト比較シマシテ、硫酸ハ比較的  
ニ新シイモノデアリマスガ、過磷酸ハ御承知  
ノヤウニ非常ニ古イ取引ノ關係ニナツテ居  
リマス、ソレノ事情ヲ異ニ致シテ居リマ  
スノデ、理論的ニハ直チニ同様ニヤルト  
云フ譯ニモ參ラナイ所モアラウト考ヘル  
ノデアリマス、併シ是モ出來ルダケ連ニ合理  
的ナ組織ニ改メテ行カナケレバナラウト考

ヘテ居リマス  
○河野委員 先程御話シタヤウニ恐ラク過  
磷酸ニ付テハ製造會社ノ數モ非常ニ多ク、  
非常ニ區々デアルト云フコトガ配給統制ノ  
上ニ支障ヲ來スダラウト思フ、サウ云フ問  
題ガ色々絡マツテ來ルカラ、此ノ際一氣ニ  
過磷酸、硫酸ニ付テハ全企業合同ヲヤツタ  
ラドウカ、サウスレバ特約店モ何モカ一  
遍ニナクナツテシマツテ、簡單明瞭デアツ  
テ、一番合理的統制ガ出來ル、是程便宜ナ  
モノガアルニ拘ラズ、此ノ事ニ出ズシテ、  
中途半端ニ生温イ譯ノ分ラナイヤウナモノ  
デ惡イ所ダケ取ツタヤウナ法律案ニナツテ  
シマフト云フコトハ、甚ダ私ハ遺憾ニ思フ、  
結局會社ヲ作ツテ見テ所ガ其ノ會社ハ今ノ  
日本硫酸過磷酸ト其ノ外ノ細カチモノニ  
ツ三ツヲ集メテ營業上合同シタト云フ程度  
ノモノデアツテ、本質的ニ内容的ニ非常ニ  
空疎ナモノナル虞ガアルト思フ、尤モ重  
役ノ淘汰ガ出來ルトカ或種ノ營業上ノ合理  
化ハアリマセウケレドモ、吾々ノ本質的ニ  
狙フ所ハ増産デアリ配給ノ圓滑デス、其ノ  
點ニ付テハ法律ノ内容ガ空疎デアル、結果  
ガ甚ダ不安デアルト云フコトヲ思ハザル  
得スノデアリマシテ、是ハ此ノ機會ニ申上  
ゲテハ失禮カモ知レマセウケレドモ、一言  
申上ゲテ置キタイト思ヒマス、米ニシロ肥  
料ニシロ農林省ノ考ヘ方ハ今ノ實情ニ合  
ザル考方ノミシテ居ラレ、先日米米ノ委  
員會デ申上ゲタガ、世間官ヲ通リ農林省ハ  
荷見君以下米ノ餘ル政策ヲ知ツテ居ツテ、  
足リ又政策ヲ知ラス、長年餘ルコトバカリ  
ヲ研究シテ居ツテ、足ラナクナツタ場合ノ  
コトヲ考ヘス、法律亦然リ、常識悉ク亦然  
リ、ソレデドウシテモ其ノ裁ガ切レス、

白米ト玄米ヲ論議シテモ、ドウシテモ其ノ  
コトガ切レラズ、肥料ノ問題ニシテモ同様  
デアリマス、我國ノ肥料政策、殊ニ硫酸政  
策ハ生産者保護デアル、或ル一定ノ公定價  
格ヲ定メテ外交ニ對抗シテ行ク、サウシテ  
生産者ヲ保護シテ此ノ工場ノ立ツヤウニシ  
テ行クト云フコトヲ以テ硫酸政策ノ根本ト  
シテ參ツ  
(委員長退席、成島委員長代理著席)  
其ノ頭ガドウシテモ切レラズ、肥料製造業  
組合ト云フヤウナモノニナツテ居ツテドウ  
シテモ其ノ頭ガ切レラズ、デアルカラヤル  
事爲スコトガ其ノ裁ヲ一歩モ出ズシテ、農  
村ノ爲ノ肥料ト云フコトニ轉換ガシ切レナ  
イノデハナカラウト考ヘ、今マデハ一朝有  
事ノ際ニ對シテ、硫酸工業ノ或ル程度マデニ  
シテ置カナケレバナラウト云フノデ、製造  
工場ヲ保護シ、製造業者ヲ維持スルト云フ  
コトニ急デアツタ、外交ノ輸入ニ對スル制  
限ヲ加ヘルト云フコトデ、總テサウ云フ頭  
デ考ヘラレテ持越サレテ居ル、一部ノ部長サ  
ンガ送ルトカ、局長サンガ送ルトカ、課長  
ガ送ツテモ其ノ大部分ヲ構成シテ居ル技術  
官ノ頭ハサウ云フ方向ニ行ツテ居ル、デス  
カラデツテ上ゲル法律マデガドウシテモ其  
ノ裁ガ切レラズ、例ヘバ或ル工場ノ名前ガ  
變ツタ所ガ工場其ノモノハヤチヤントアル、  
其ノ工場方アツテ其ノ工場ガ動イテ居レバ  
硫酸ハ出テ來ルノダト云フ考ヘ方デ、工場  
ノ名前ガ變ルトカ或ハ會社ノ名前ガ變ルト  
云フコトハ問題デナイ、ソレハ別ノ方面デ  
考ヘテヤレバ宜イノダト云フコトニ進シテ  
行カスト巧ク行カスト思フノデアリマス、ソ  
コマデ進ムコトニ依ツテ急務中ノ急務デア  
ル肥料ヲ豫定シテ居ル取ルコトガ出來

ルダラウト思フ、其ノ點ヲ特ニ御考慮ヲ願  
フツテ、サウ云フコトハ何等ノ御遠慮ナクド  
シテ所信ニ向ツテ進シテ裁キタイ、今  
ノ御答辯デモ急イデ適當ニヤツテ行クト云  
フコトデ、摩擦ヲ起サヌヤウニ云フコト  
デアリマスケレドモ、割當制度斷行ノ當時  
アレバ政府ハオヤリニナツテ、割當制度ヲ  
ヤルト同時ニ配給ノ統制ヲヤルコトガ當然  
ダ、一方ダケヤツテ一方ハ片附ケズニ置カ  
レタカラ今日ノ如クバ「ニナリ」減茶減  
茶ニナリ、各地ニ於テ支障ガ起ツテ來ルト  
思フ、私共割當ヲヤルナラバ配給ノ新制ヲ  
ヤルコトハ當然ダト云フコトデ、同時ニ並行  
シテ進マレバ、コトナコトニナラナカツタ  
ト思フ、ソレデ是モ今直チニ政府ニ於テハ  
計畫サレマシテ、此ノ肥料最盛期ヲ過ギタ七  
八月頃カラ掛ツテ、ドシ「サウ云フ」方向  
ニ進マレシコトヲ希望シテ私ハ次ニ移リマ  
ス

府縣ノ價格ガ不統一デアル、是ハ詳シイ  
コトハ言ヒマセ、十分御承知ト思ヒマス  
各府縣ニ於テソレノ肥料ノ價格ガ減茶減  
茶ニナツテ居ルト云フ現狀ニ置カレテ居リ  
マスガ、是等ハ今日一體ドウ云フコトニナ  
ルカ、有機質、無論サウデアリマス、無機  
質ニ付テハ是ハバラ「ニナツテ」居リマセ  
ウケレドモ、有機質ニ付テハバラ「ニナ  
ツテ」居ル、殊ニ一部ノ配合肥料ニ付キ又ハ  
有機質ノ統制會社ヲ統制セザル部分ノ肥料  
ニ付テモサウ云フ問題ガアリマス、是ハ中  
央ノ公定價格ガ各府縣ノソレノ「操作」ヲ  
禁ズルコトニシナケレバ、價格ニ依ツテ自  
分ノ縣ニ集メヨウト云フヤウナコトヲスル  
府縣知事ガアリマスルト、其ノ爲ニ非常ニ

偏在スルト云フコトニナリマスルカラ、此  
ノ點ヲ一ツ明瞭ニ御答辯ヲ願ヒタイ、モウ  
一ツ序デニ申上ゲテ置キマスガ、先日重政  
君ノ御答辯ニ依リマス、今日肥料ノ配給  
ガ非常ニ不調ノ部分ガアル、其ノ部分ニ  
付テハ是等ノ原因ガアルト云フ御話ガアリ  
マシタガ、其ノ原因ノ外ニ、先程申上ゲタ  
手續料ノ不統一ト云フコトモ主ナル原因ニ  
ナツテ居ルト思フ、手續料ノ少イモノニ付  
テハ、配給ニ付テ熱意ヲ缺イテ居ル、甚ダ  
怪シカラスコトデアリマスケレドモ、サウ  
云フ實情ガ各地ニ見ラレテ居ルト云フコト  
ニ付テ、一ツ特ニ御考慮ヲ願ハナケレバナ  
ラウト思フノミナラズ、此處デ特ニ伺ツテ  
置キ、申上ゲテ置カナケレバナリマセウ  
トハ、撒粕ノ公定價格ハ既ニ御決定ニナツ  
タノカドウカ、玉粕ノ方ハ御決定ニナツ  
ヤウデアリマスケレドモ、撒粕ノ方ハ一體  
御決定ニナツタノカナラヌノカ、ナラヌト  
スレバ、ドウ云フ譯デ御決定ニナラヌノカ、  
何時頃御決定ニナルノカ、是等ニ付テ承ツ  
テ置キタイト思ヒマス  
○重政政府委員 撒粕ノ公定價格ハ、先日  
來板粕、玉粕ノ公定價格ヲ決メマシタ直後  
カラ關係省ト協議ヲ續ケテ居リマスノデ、  
是ガ繼リ次第公定價格ヲ發表致ス積リデゴ  
ザイマス、ソレカラ各府縣デバラ「ニ有  
機質ノ肥料ノ値段、公定ト申シマスガ、  
協定價格等ニ依ツテ認可價格ヲ決メテ居ル  
ト云フヤウナ御話デアリマスガ、サウ云フ  
事實ハアリマス、ソコデアリマス、政府  
サウ云フヤウナモノニ付キマシテハ、政府  
ニ於テ價格ヲ公定致シタイト云フ實圖ノ下  
ニ目下研究致シテ居リマスノデ、是モ遠カ  
ラズ價格ヲ公定スルコトガ出來ルダラウト

考へて居ります、大豆粕ニ付キマシテハ、玉粕ニ付テハ既ニ御承知ノ通り價格ヲ公定致シテ居ります

ドモ、サウ云フヤウナ手續上ノコトデ多ク少遅レテ居ルコト云フ程度ノコトデアリマシテ、出來ルダケ早ク協議ヲ進マシ

○河野委員 御答辯デアリマスガ、玉粕ガ決ツテ撤粕ガ決ラヌト云フハ一體非常ニオカシト思フ、元ノ大豆ノ値段ハ公定セラレテ居ルケレドモ、其ノ大豆カラ出來ル所ノ玉粕ノ値段ト、撤粕ノ値段ノ間ニ、凡ソ過去ノ常識モアリ、商習慣モアルニ拘ラズ、是ガ決定ニナラナイト云フコトハ、吾

○河野委員 恐ラク商工省デ又鬼ノ角言ツテ居ルノデアラウト思ヒマスガ、一體斯ウ云フモノヲ決メルノニ、農林省ガ決メ

吾ノ想像以外ノ特別ナ複雑ナ事情ガアルノデアリマスガ、吾々ノ常識デハ、玉粕ト撤粕ハ當然同時ニ公定サルベキモノト思フノデアリマス、特ニ私ガ強ク此ノ點ヲ申シ

○重政政府委員 御承知ノヤウニ、大豆粕ノ大連埠頭渡シテ三四日満洲デ決メテ、七月三十日マデハ三四日ヤルト云フ話デアリマシタガ、現在デハ三四日二十錢ニナツテ居

來家畜飼料ハ主トシテ撤粕ヲ使ツテ居ツタ、其ノ意味カラ申シマシテ、玉粕ノ方ハ決ツタガ、撤粕ガ決ラヌト云フハ、何カ特別ニ撤粕ノ方ヲ安クシテ下サナラバ結構デアリマスケレドモ、玉粕ト同様若クハソレ以上ノ比率デ御決定ニナルトシマス、

○重政政府委員 最後ニ一ツ特ニ明瞭ニ何ツテ置キタイノデアリマスガ、今日ノ如クニ肥料ノ統制價格ガ各品目ニ付テ、全面的ニ一本建ニ依ツテ決定セラレマスルト、肥料ノ取引ガ非常ニ不調ニナル、例ヘバ引取ガ遅レル、最盛期ニ總テモノヲ消費者側ニ於テ買ハウト云フコトニナリマスルト、其ノ爲ニ因ツテ起ル障礙ハ誰ガ負擔スルカ、

○重政政府委員 大體從來ノ取引ノ比率モアルコトハ今御述べニナツタ通りデアリマスガ、併シ一面又撤粕ノ生産費ノ調査モ一應致サナケレバナラヌト云フ、ソレ等ノ調査モ致シタノデアリマスガ、併シ先程申上ゲマシタヤウニ、玉粕ノ價格公定ノ直後カラ引續イテ關係省ト協議ヲ致シテ居りますノ

○河野委員 御承知ノヤウニ、大豆粕ノ大連埠頭渡シテ三四日満洲デ決メテ、七月三十日マデハ三四日ヤルト云フ話デアリマシタガ、現在デハ三四日二十錢ニナツテ居

○重政政府委員 御承知ノヤウニ、大豆粕ノ大連埠頭渡シテ三四日満洲デ決メテ、七月三十日マデハ三四日ヤルト云フ話デアリマシタガ、現在デハ三四日二十錢ニナツテ居

○重政政府委員 御承知ノヤウニ、大豆粕ノ大連埠頭渡シテ三四日満洲デ決メテ、七月三十日マデハ三四日ヤルト云フ話デアリマシタガ、現在デハ三四日二十錢ニナツテ居

○重政政府委員 御承知ノヤウニ、大豆粕ノ大連埠頭渡シテ三四日満洲デ決メテ、七月三十日マデハ三四日ヤルト云フ話デアリマシタガ、現在デハ三四日二十錢ニナツテ居

○重政政府委員 御承知ノヤウニ、大豆粕ノ大連埠頭渡シテ三四日満洲デ決メテ、七月三十日マデハ三四日ヤルト云フ話デアリマシタガ、現在デハ三四日二十錢ニナツテ居

○重政政府委員 御承知ノヤウニ、大豆粕ノ大連埠頭渡シテ三四日満洲デ決メテ、七月三十日マデハ三四日ヤルト云フ話デアリマシタガ、現在デハ三四日二十錢ニナツテ居

○重政政府委員 御承知ノヤウニ、大豆粕ノ大連埠頭渡シテ三四日満洲デ決メテ、七月三十日マデハ三四日ヤルト云フ話デアリマシタガ、現在デハ三四日二十錢ニナツテ居

○重政政府委員 御承知ノヤウニ、大豆粕ノ大連埠頭渡シテ三四日満洲デ決メテ、七月三十日マデハ三四日ヤルト云フ話デアリマシタガ、現在デハ三四日二十錢ニナツテ居

○重政政府委員 御承知ノヤウニ、大豆粕ノ大連埠頭渡シテ三四日満洲デ決メテ、七月三十日マデハ三四日ヤルト云フ話デアリマシタガ、現在デハ三四日二十錢ニナツテ居

○重政政府委員 御承知ノヤウニ、大豆粕ノ大連埠頭渡シテ三四日満洲デ決メテ、七月三十日マデハ三四日ヤルト云フ話デアリマシタガ、現在デハ三四日二十錢ニナツテ居

○重政政府委員 御承知ノヤウニ、大豆粕ノ大連埠頭渡シテ三四日満洲デ決メテ、七月三十日マデハ三四日ヤルト云フ話デアリマシタガ、現在デハ三四日二十錢ニナツテ居

○重政政府委員 御承知ノヤウニ、大豆粕ノ大連埠頭渡シテ三四日満洲デ決メテ、七月三十日マデハ三四日ヤルト云フ話デアリマシタガ、現在デハ三四日二十錢ニナツテ居

○重政政府委員 御承知ノヤウニ、大豆粕ノ大連埠頭渡シテ三四日満洲デ決メテ、七月三十日マデハ三四日ヤルト云フ話デアリマシタガ、現在デハ三四日二十錢ニナツテ居

○重政政府委員 御承知ノヤウニ、大豆粕ノ大連埠頭渡シテ三四日満洲デ決メテ、七月三十日マデハ三四日ヤルト云フ話デアリマシタガ、現在デハ三四日二十錢ニナツテ居

○重政政府委員 御承知ノヤウニ、大豆粕ノ大連埠頭渡シテ三四日満洲デ決メテ、七月三十日マデハ三四日ヤルト云フ話デアリマシタガ、現在デハ三四日二十錢ニナツテ居

○重政政府委員 御承知ノヤウニ、大豆粕ノ大連埠頭渡シテ三四日満洲デ決メテ、七月三十日マデハ三四日ヤルト云フ話デアリマシタガ、現在デハ三四日二十錢ニナツテ居

○重政政府委員 御承知ノヤウニ、大豆粕ノ大連埠頭渡シテ三四日満洲デ決メテ、七月三十日マデハ三四日ヤルト云フ話デアリマシタガ、現在デハ三四日二十錢ニナツテ居

○重政政府委員 御承知ノヤウニ、大豆粕ノ大連埠頭渡シテ三四日満洲デ決メテ、七月三十日マデハ三四日ヤルト云フ話デアリマシタガ、現在デハ三四日二十錢ニナツテ居

○重政政府委員 御承知ノヤウニ、大豆粕ノ大連埠頭渡シテ三四日満洲デ決メテ、七月三十日マデハ三四日ヤルト云フ話デアリマシタガ、現在デハ三四日二十錢ニナツテ居

○重政政府委員 御承知ノヤウニ、大豆粕ノ大連埠頭渡シテ三四日満洲デ決メテ、七月三十日マデハ三四日ヤルト云フ話デアリマシタガ、現在デハ三四日二十錢ニナツテ居

○重政政府委員 御承知ノヤウニ、大豆粕ノ大連埠頭渡シテ三四日満洲デ決メテ、七月三十日マデハ三四日ヤルト云フ話デアリマシタガ、現在デハ三四日二十錢ニナツテ居

○重政政府委員 御承知ノヤウニ、大豆粕ノ大連埠頭渡シテ三四日満洲デ決メテ、七月三十日マデハ三四日ヤルト云フ話デアリマシタガ、現在デハ三四日二十錢ニナツテ居

○重政政府委員 御承知ノヤウニ、大豆粕ノ大連埠頭渡シテ三四日満洲デ決メテ、七月三十日マデハ三四日ヤルト云フ話デアリマシタガ、現在デハ三四日二十錢ニナツテ居

○重政政府委員 御承知ノヤウニ、大豆粕ノ大連埠頭渡シテ三四日満洲デ決メテ、七月三十日マデハ三四日ヤルト云フ話デアリマシタガ、現在デハ三四日二十錢ニナツテ居

○重政政府委員 御承知ノヤウニ、大豆粕ノ大連埠頭渡シテ三四日満洲デ決メテ、七月三十日マデハ三四日ヤルト云フ話デアリマシタガ、現在デハ三四日二十錢ニナツテ居

○重政政府委員 御承知ノヤウニ、大豆粕ノ大連埠頭渡シテ三四日満洲デ決メテ、七月三十日マデハ三四日ヤルト云フ話デアリマシタガ、現在デハ三四日二十錢ニナツテ居

○重政政府委員 御承知ノヤウニ、大豆粕ノ大連埠頭渡シテ三四日満洲デ決メテ、七月三十日マデハ三四日ヤルト云フ話デアリマシタガ、現在デハ三四日二十錢ニナツテ居

○重政政府委員 御承知ノヤウニ、大豆粕ノ大連埠頭渡シテ三四日満洲デ決メテ、七月三十日マデハ三四日ヤルト云フ話デアリマシタガ、現在デハ三四日二十錢ニナツテ居

○重政政府委員 御承知ノヤウニ、大豆粕ノ大連埠頭渡シテ三四日満洲デ決メテ、七月三十日マデハ三四日ヤルト云フ話デアリマシタガ、現在デハ三四日二十錢ニナツテ居

○重政政府委員 御承知ノヤウニ、大豆粕ノ大連埠頭渡シテ三四日満洲デ決メテ、七月三十日マデハ三四日ヤルト云フ話デアリマシタガ、現在デハ三四日二十錢ニナツテ居

○重政政府委員 御承知ノヤウニ、大豆粕ノ大連埠頭渡シテ三四日満洲デ決メテ、七月三十日マデハ三四日ヤルト云フ話デアリマシタガ、現在デハ三四日二十錢ニナツテ居

○重政政府委員 御承知ノヤウニ、大豆粕ノ大連埠頭渡シテ三四日満洲デ決メテ、七月三十日マデハ三四日ヤルト云フ話デアリマシタガ、現在デハ三四日二十錢ニナツテ居

○重政政府委員 御承知ノヤウニ、大豆粕ノ大連埠頭渡シテ三四日満洲デ決メテ、七月三十日マデハ三四日ヤルト云フ話デアリマシタガ、現在デハ三四日二十錢ニナツテ居

○重政政府委員 御承知ノヤウニ、大豆粕ノ大連埠頭渡シテ三四日満洲デ決メテ、七月三十日マデハ三四日ヤルト云フ話デアリマシタガ、現在デハ三四日二十錢ニナツテ居

○重政政府委員 御承知ノヤウニ、大豆粕ノ大連埠頭渡シテ三四日満洲デ決メテ、七月三十日マデハ三四日ヤルト云フ話デアリマシタガ、現在デハ三四日二十錢ニナツテ居

○重政政府委員 御承知ノヤウニ、大豆粕ノ大連埠頭渡シテ三四日満洲デ決メテ、七月三十日マデハ三四日ヤルト云フ話デアリマシタガ、現在デハ三四日二十錢ニナツテ居

○重政政府委員 御承知ノヤウニ、大豆粕ノ大連埠頭渡シテ三四日満洲デ決メテ、七月三十日マデハ三四日ヤルト云フ話デアリマシタガ、現在デハ三四日二十錢ニナツテ居

○重政政府委員 御承知ノヤウニ、大豆粕ノ大連埠頭渡シテ三四日満洲デ決メテ、七月三十日マデハ三四日ヤルト云フ話デアリマシタガ、現在デハ三四日二十錢ニナツテ居

○重政政府委員 御承知ノヤウニ、大豆粕ノ大連埠頭渡シテ三四日満洲デ決メテ、七月三十日マデハ三四日ヤルト云フ話デアリマシタガ、現在デハ三四日二十錢ニナツテ居

○重政政府委員 御承知ノヤウニ、大豆粕ノ大連埠頭渡シテ三四日満洲デ決メテ、七月三十日マデハ三四日ヤルト云フ話デアリマシタガ、現在デハ三四日二十錢ニナツテ居

○重政政府委員 御承知ノヤウニ、大豆粕ノ大連埠頭渡シテ三四日満洲デ決メテ、七月三十日マデハ三四日ヤルト云フ話デアリマシタガ、現在デハ三四日二十錢ニナツテ居

○重政政府委員 御承知ノヤウニ、大豆粕ノ大連埠頭渡シテ三四日満洲デ決メテ、七月三十日マデハ三四日ヤルト云フ話デアリマシタガ、現在デハ三四日二十錢ニナツテ居

○重政政府委員 御承知ノヤウニ、大豆粕ノ大連埠頭渡シテ三四日満洲デ決メテ、七月三十日マデハ三四日ヤルト云フ話デアリマシタガ、現在デハ三四日二十錢ニナツテ居

○重政政府委員 御承知ノヤウニ、大豆粕ノ大連埠頭渡シテ三四日満洲デ決メテ、七月三十日マデハ三四日ヤルト云フ話デアリマシタガ、現在デハ三四日二十錢ニナツテ居

○重政政府委員 御承知ノヤウニ、大豆粕ノ大連埠頭渡シテ三四日満洲デ決メテ、七月三十日マデハ三四日ヤルト云フ話デアリマシタガ、現在デハ三四日二十錢ニナツテ居

北支ナリ、朝鮮ナリ、臺灣ナリニ流レテ行クト云フコトニナルノデハナイカト云フ風ニ私ハ考ヘテ居ウタノデアリマシテ、ソレガ爲ニ私ハ此ノ會社ノ設立ヲ極度ニ急イデ、同時ニ此ノ配給ノ筋途ヲ立テルコトヲ履行シテ、大體ノ目安ガ立チマシテ、會社ニ於テモ十萬圓額ノ買物ヲ推スルコトガ出來ルト云フ目安ノ付イタ所デ、急イデ公定價格ヲ決メテヤウナ大第デアリマス、御話ノヤウニ其ノ間九・一八ノ價格地地ツテ置イテ其ダ格シカラス、斯ウ云フ御叱リヲ蒙ル譯デアリマスガ、實ハ他ニ私トシテハドウモ策ヲ見出し得ナカウタノデアリマス

○松本委員 九・一八デ放ツテ置カレテ、九・一八ガ守ラレテ居ルナラバ何等ノ問題ハナイノデアリマス、九・一八以上ノ高イ間相場デ、サウシテソレレ二月一日ノ全部ノ買物ヲ新シイ會社ガ引取ツタ、サウシテ其ノ後一月ノ間ト云フモノハ公定相場ヲ決メルベクシテ決メナイ状態ニ放置サレタカラ、九・一八ガ嚴正ニ守ラレテ居ウタナラバ、何等ノソコニ疑問ハナイノデアリマスガ、九・一八ガ果シテ嚴正ニ守ラレテ、サウシテ二月一日ニ新會社ニ賣買ガ引取ラレタ、斯ウ御認メニナルノデアリマス

○重政政府委員 其ノ點デアリマスガ、私少シ誤解シテ居リマシタガ、ソレハ九・一八ノ價格デ買物シタモノモアリマスシ、ソレカラサウデナイモノニ付キマシテハ、地方ノ長官ナリ、或ハ經濟部長ノソレレノ證明書等ガ提出サレマシテ、詰リ認メ可價格トシテ之ヲ認メテ居ルモノニ付キマシテ、ソレヲ其ノ價格デ買物ヲ致スト云フコトニシタヤウニ私ハ存ジテ居リマス

○松本委員 押返シテ言フ必要ハアリマセ

スガ、要スルニ九・一八デナイ所ノ相場ト云フモノガ立ツテ居ウタ、ソレガ二月一日ニ全部新會社ガ引取ツタ、隨テソコデ新シイ相場ガ示メサレナカレバナラナイ、其ノ示サレルベキ時期ハ成ベク早イ方ガ當然デアリ、又宜イコトデアアル、所ガソレハ一月掛ツタ、其ノ一月掛ツタノハ長過ギルチヤナイカ、ドウシテ長ク掛ツタカ、其ノ點ヲ御話シタノガ初メノ私ノ御尋デス

○重政政府委員 ソレハ先程一寸其ノ點ヲ申上ゲタノデスガ、値段ヲ決メル以上ハ、其ノ値段デ取引スル見透シガ付ク必要ガナカレバナラヌト云フ考ヘ方ヲ致シタノデアリマス、丁度滿洲ニ於ケル專管會社ガ、値段ガ決メテ現物ヲ持テ持テズニヤツテ、非常ニ困ツタト云フヤウナ前例モアリマスノデ、サウ云フヤウナ關係デ、多少ニ價格ノ公定ヲ發表致シマスニ遅レタノデアリマス

○松本委員 宜シユウゴザイマス、併シ河野君カラモ御話ノアツタ通りニ、撒豆粉ノ値段モマダ御指定ニナラス、是モ何時マデモ引張ラレルト、農民トシテモ隨分迷惑ナコトガ澤山御エテ來マスシ、サウ云フ不安定ナ状態ト云フモノハ私ガ申上ゲルマデモナク、對策部長ガ能ク御承知ノ通り、皆困ルコトナノデスカラ、一ツ速ニ御指定ニナルヤウニ御願ヲシテ置キマス、私ノ御尋申上ゲタノハ、主トシテ對滿事務局ニ御尋シタカウタノデアリマスガ、資料ヲ讀イテ居ルマセヌノデスガ、資料ヲ讀イテ居ル時御尋待ツテ居ルト、隨分手間ガ掛ツテ委員會ガ濟ンデシマフカモ知レマセヌカラ、竹内サシカラノ口頭ノ説明宜シウゴザイマスカラ、大豆ノ滿洲ニ於ケル出廻狀況ノ前年ノ

分ニ比較シテ御示シテ願ヒマス、一番先ニ滿洲ノ大豆ノ生産高ニ對シテ御示シテ戴イデ、ソレカラ出廻ノ狀況、輸出ノ狀況、移出入ノ狀況ト云フヤウナコトヲ御願致シマス

○竹内政府委員 生産高カラ申上ゲマスト、本年ノ滿洲大豆ノ生産ハ、實ハ第三回收穫豫想マデ正式ノ發表調査ヲ終ツテ居リマシテ、實收調査ト云フモノハ出來テ居リマセヌ、第三回收穫豫想高ハ四百五十五萬ト云フコトニナツテ居リマス、是ハ前年ニ比較致シマス、前年ハ四百六十二萬四千ト云フコトニナツテ居リマス、最近ノ種々ナル情報ヲ綜合致シマス、此ノ第三回收穫豫想ヨリモ、或ハ多少惡イノチヤナイカト云フコトヲ察イテ居リマス、次ニ出廻ノ狀況デゴザイマスガ、是ハ先般來豫算總會其ノ他ニ於テモ屢、御質問ノアリマシタ如ク、種々ナル事情ガアリマシテ、此ノ生産豫想高ニ對シテモ尙且宜シクナイノデアリマス、先般御要求ニナリマシタ資料デハ十五年ノ二月マデノ御要求ガゴザイマシタガ、月別ノ正確な數字ハ、實ハ十四年一杯シカ分ツテ居リマセヌガ、二月ハ滿鐵其ノ他ノ調査ニ依ツテ推算致シタ所ニ依リマス、約五十三萬四千、是ハ前年ハ百二十五萬ト云フコトヲ申上ゲナカレバナラス譯デアリマス、唯一言附加ヘテ置キマス、本年ハ專管會社ノ公定價格ノ決定以來、色々ナ事情ガゴザイマシテ、從前ノ如キ出廻ニ多少變調ヲ來シマシテ、即チ從前ニ於キマシテハ大豆トシテ第三回或ハ日本ニ輸出セラレルモノノ外、國內デ油ヲ搾ラレマシテ豆粕ノ形デ出ルモノ、詰リ製油ハ殆ド大連、

營口、哈爾濱ト云フヤウナ主要地行ハレタノデアリマスガ、本年ハ是ガ所謂地場ノ小サイ油房デ相當豆ガ潰サレテ油ニナツタ、サウ云フ現象モアルヤウデアリマス、是ハ御尋ノ外ニナルカト思ヒマスガ、豆粕ノ方ノ輸出狀況ハ前年ニ比ベマシテ相當殖エテ居リマス、ソレカラ豆粕ノ日本向輸出ハ、是ハ滿洲國ノ方ノ統計デゴザイマスカラ、必ズシモ日本ノ同月ノ輸入統計ト一致致シマス、前年計リ十三年ハ一萬五千噸程度デアリマシタモノガ、十四年十月ハ八萬四千噸、十一月ニ於テハ前年ノ五萬噸程度ノモトガ、十四年ハ七萬六千噸、十二月ハ前年ハ八萬六千噸トナツテ居リマスモノガ、十四年ニハ十四萬噸、一月ハ前年十二萬六千噸ノモノガ、本年ハ一十一萬九千噸、二月以降ハハツキリ分リマセヌガ、率直ニ申シマス、本年ノ二月ハ或ハ多少落ちルノデアリマス、十月以降ノ通計カラ見マス、此ノ二月マデハ豆粕ノ日本向輸出ハ多少増加シテ居ル、コンナヤウナ状態デアリマス、ソレカラ第三回輸出ハ非常ニ微々タルモノデアリマシテ、昭和十三年ノ十月カ至十二月マデニ付テ見マス、十三年ノ十月乃至十二月ハ僅ニ一萬二千噸ト云フ風ニ、殆ド一割ニモ足リナイ數字ニナツテ居リマス、ソレハ十五年ニナリマシテモ情勢ハサウ違ツテ居リマセヌデ、月々一萬噸足ラズノ輸出シカナイ、斯ウ云フ情勢デゴザイマス

○松本委員 只今御説明ヲ讀イタ資料ニ基

イテ二三御尋致シタイノデアリマスガ、大豆ノ出廻ガ相當惡イト云フコトハモウ隠セナイ事實デゴザイマス、政府ノ豫想ト云フモノハ時々違ヒ勝チデアリマシテ、竹内サシノ豫算總會ノ二月初メノ頃ニ於ケル御説明デハ、今年ノ大豆ノ出廻ハ一月後レニナツテ居ル、今ノ所出廻ハ良クナイケレドモ、其ノ内ニ良クナルト云フコトデアツタガ、結局ハサウハ行カナカウタト云フノガ事實デアリマス、ソレガ由ツテ來ウタ原因ハ何ニ基イテ居ルカト言ヘバ、是ハ色々觀察ノ仕方モゴザイマセウケレドモ、專管會社ガ七回ト云フ一本ノ値段ヲ決メテ、之ヲ以テ收買スルト云フ此ノ事ガ大豆ノ出廻ヲ相當惡クシタコトト私共ハ考ヘルノデアリマスガ、對滿事務局ノ御見解ハ如何デゴザイマセウカ

○竹内政府委員 只今ノ御質問ノ點デゴザイマスガ、値段ノ問題ニ付キマシテハ實ハ先程河野委員カラ豫算總會ニ於テ御質問ガゴザイマシテ、値上ノ事情ニ付テハ對滿事務局總裁カラ明日アタリ答辯致スコトニナツテ居リマスノデ、其ノ値段ノ點ハ御尋承願ヒタイト思ヒマスガ、今ノ七回ト云フ値段ハ、是モ御承知ノ如ク歐洲戰勃發前ニ、當時滿洲ノ大豆ノ價格ハ所謂「ブロッグ」主トシテ日本國內ノ價格騰貴ニ刺戟サレマシテ相當値上リラシタ結果、歐羅巴向輸出ハ價格ノ關係デ色々障礙ガゴザイマシテ、ソコデ一種ノ輸出促進ト云フヤウナ意味ヲ以テマシテ當時ノ時價ヨリモ相當下ゲテ七回ト致シマシタコトハ御承知ノ通りデアリマス、ソレガ所謂出廻不振ノ一ツノ原因ニナツタコトハ、御承知ノ通り私共モ肯定致ス所デアリマス

○松本委員 只今御説明ノ中ニ、從來油ヲ搾ルニハ大連トカ營口トカ云フヤウナ主要ナ土地デ搾ラレタ、併シ今年ハ地方ノ小サナ油房デ油ガ搾ラレルト云フコトガアツタ、是亦所謂專管會社ノ買上値段ガ民衆カラ歡迎サレナイコトカラ來タ一ツノ現ハレト思フノデアリマスガ、是ハサウ云フコトヲ竹内サシニ御伺スルノモドウカト思ヒマスケレドモ、一體斯ウ云フヤリ方ヲ滿洲國政府ガ採ルコトガ、日滿支ノ經濟「ブロッグ」ヲ形成シテ滿洲國ノ經濟ノ活動ヲスル上ニ適當ナルモノデアアルカドウカト云フコトヲ日本政府トシテハ考ヘテ戴イテ然ルベキコトデアナイカ、對滿事務局トシテモサウ云フ點ニ付テ考慮ヲ盡サレタコトト思ヒマスガ、一體斯ウ云フ結果ニナルト云フ豫想ノ下ニアア云フ制度ニ御賛成ニナツタノデゴザイマセウカ、サウ云フコトハ考ヘズニ御賛成ニナツタノデゴザイマセウカ、幸ニ承レルモノナラバ承リタイト存ジマス

○竹内政府委員 今ノ出廻ノ惡クナツタ原因ト致シマシテハ御承知ノ價格ノ點モゴザイマシタシ、同時ニ是ハ御承知ノ如ク專管會社デ考付キマシタノハ昨年ノ夏デゴザイマシテ、而モ是ガ實施ハドウシテモ新舊出廻期カラ始メナカレバ色々ノ點デ支障ガアルト云フコトデ、十一月一日カラ會社ガ營業ヲ開始シタ譯デアリマス、其ノ間非常ニ準備ノ期間モ短ウゴザイマシテ、之ヲ實行スルトハ一ニ粗漏ガアツタコトハ、已ムヲ得ヌコトトハ言ヒナガラ、私共實ハ遺憾ニ感ジテ居ル所デゴザイマス、併シ實行ヲ始メマシテカラ實際ノ狀況ヲ見マシテ遺漏ノアツタ點ヲ著々整備致シマシテ、唯其ノ整備ノ途上ニ於テ所謂技術ト云フヤウナモノ

ガ色々ニ利用サレ、豫定ノ如キ收買成績ヲ擧ゲナカウタコトト考ヘラレルトデゴザイマスガ、此ノ抜道モ何回カ改正致シマシテ、此ノ二月上旬ニハ略、遺漏ノナイヤウナ體制ハ出來テ居ルノデゴザイマス

○松本委員 遺漏ノナイ體制ト云フコトハドウ云フコトカ私能ク分リマセヌガ、結局滿洲ノヤウナ事情ノ所ニ斯ウ云フ高度ノ統制制度ヲ布クコトガ一體適當カ、適當デナイカト云フ根本問題ガ殘ルト思ヒマス、併シソレヲ竹内サシニ御尋申上ゲテ見ヤ角論議致シテモ仕方ガナイト思ヒマスガ、此ノ點ヲ委員會會デ御尋致シタイ範圍ハ斯ウ云フヤウナ出廻リノ狀態デ果シテ日本政府ガ期待スルダケノ大豆及ビ大豆粕ノ供給ガ滿洲カラ仰ゲルカドウカ、此ノ點ニ付テハ仰ゲルヤウナ御説明ガアツタヤウニモ思ヒマス、マダ遺漏ノ出來テ來ナイカラ拜見シテ居ナイノデアリマスガ、多分前回ノ豫算委員會會デト思ヒマスガ、竹内サシカラ、幸カ不幸カ歐洲向ケノモノガ行カナカウタカラ、日本ニ大量來ルダラウト云フヤウナ御説明ガアツタヤウニ新聞ハ傳ヘテ居リマス、其ノ點ニ付テノ御見透シヲ伺ヒタイノデゴザイマス

○竹内政府委員 先般豫算委員會ニ於テ御答申上ゲマシタノハ、斯ウ云フ風ニ御答申上ゲタ積リデゴザイマス、又事實記録簿モサウナツテ居ルト思ヒマス、是ハ總裁カラモ答辯ガゴザイマシタガ、出廻不振ノ一番大キナ原因ハ滿洲ノ不作ト云フコトデアリマス、是ハ先程計數モ申上ゲマシタガ、要スルニ前年ニ比ベマシテ、大豆ノミナラズ、他ノ雜穀全般ニ互ツテ約一割五分ノ減收ト云フコトニナツテ居リマス、唯其ノ時申上ゲタノハ、不作デハアルガ、他面從來約百萬噸ノ輸出ヲシテ居ウタ第三回向ケ輸出ト云フモノガ、色々ノ原因デ當然非常ナ減リ方ヲシテ居ル、是ハ又滿洲國當局トシテハ現在ニ於テハ第三回輸出獎勵ハ決シテ致シテ居リマセヌ、此ノ日本ノ事情ヲ考ヘマシテ、極力日本ニ對シテ大豆、豆粕ヲ寄越ス、此ノ方策ニ依ツテヤウツテ居リマス、ソレト船隻其ノ他ノ事情モアリマシテ、第三回輸出ガ非常ニ減ツテ居リマスカラ、生産減タケ日本ニ來ルモノガ減ルコトハナカラウ、即チ生産減ガアリマシテモ、日本ニ來ルモノハソレガ直グニ響イテソレダケ減ルト云フヤウナコトハナラヌ、斯ウ云フ風ニ申上ゲタ積リデアリマス

○松本委員 サウ致シマス、結局斯ウ承ツテ宜シウゴザイマスガ、日本政府ガ期待シテ居ル所ノ大豆、豆粕、數字ハ今覺エテ居ナイノデアリマスガ、ソレダケノ量ハ確ニコチラニ載ケルモノト、斯ウ考ヘテ宜シイノデアリマセウカ

○竹内政府委員 滿洲國ト致シマシテハ、其ノ期待數量ニ達セシムベク全力ヲ擧ゲテ諸般ノ方策ヲ講ジテ居リマスガ、何分ニモ生産高自體ガ、今申上ゲタヤウニ第三回豫想ヨリハ或ハ多少減ツテ居ルヤウナ事情モゴザイマス、ソレカラ實際現況ニ現ハレテ居ル收買成績ハ先程申上ゲタヤウナコトナノデアリマシテ、全力ヲ擧ゲテヤウツテ居ルガ、唯此ノ結果ガドウナルカト云フコトハ今ノ所申上ゲラレナイ譯デアリマス、併シ他面此ノ位減ルダラウト云フコトモ、實ハ吾等ハ机上デハアリマスガ、生産高、第三回輸出見込高ナドカラ計算致シマス、ドウモサウ減ルトモ考ヘラレマセヌノデ、

實ハ甚ク曖昧ナコトニナツテ申譯アリマセ  
ヌガ、此ノ程度デ御諒承願ヒタイと思ヒマ  
ス

○松本委員 ソコデ農林當局ニ御尋スルノ  
デアリマスガ、結局滿洲國ノ實情ハ斯ウ云  
フコトデ、精々御出シハ下サルデアラウト  
思ヒマスガ、中々日本政府ノ期待スル通り  
出ルトモ一寸吾々ノ常識デハ考ヘラレナイ  
ノデ、サウスルト、アレモ足リナイ、是モ  
足リナイト云フ所ヘ持ツテ來テ、滿洲カラ  
得ラレル所ノ大豆、豆粕ノ供給モ不十分デ  
アルト云フヤウナコトガ出テ來ルノデス  
ガ、是ハ農林當局トシテドウ御考デアリマ  
セウカ、ドウ云フ對策ヲ御持チテゴザイマ  
セウカ

○重政政府委員 實ハ只今松本サンノ御話  
ノヤウニ、滿洲國デ引受ケルト言ハレテモ、  
吾々ト致シマシテハ、客觀情勢ニ依ツテ之  
ヲ判斷シナケレバ、後デ取返シノ付カスコ  
トニナリマスノデ、當然引受ケラレラゲケ  
ノモノハ耳ヲ插ヘテ出テ來ルトハ期待ガ出  
來ナイヤウナ事情ニアリマスノデ、非常ニ  
困ツテ居ルデアリマス、ソレニ對シマシ  
テハ、先ヅ今考ヘテ居リマス案ト致シマシ  
テハ、幸ニシテ本年ハ朝鮮ノ魚肥ガ増加シ  
テ居リマス、先程モ申上ゲマシタヤウニ、  
是ガ例年約五萬噸内地ニ移入セラレルモノ  
ガ、本年ハ少クモ十萬噸ハ來ララウト  
思ヒマス、此ノ十萬噸ヲ以テ補填ヲ致シマ  
スコトガ一ツ、ソレカラ、是ハドノ程度行  
クカマダ見透シガ付キマセヌガ、雜粕ヲ出  
來ラゲ獲得スルコトニ今努力致シテ居リ  
マス、是ハ麻實粕デアリマストカ、或ハ菜  
種ノ粕デアリマストカ(松本委員)何處デア  
リマスカ(菜種ノ粕ハ印度カラ輸入ヲ致シ

マシテ、サウシテ、是ハ油ヲ搾ツテ油ヲ出  
ス、ソレデ粕ダケコチラヘ止メルト云フコ  
トニ致シマシテ計算ヲ立テマス、大體外  
貨ノ關係ハトシテニ參ルト云フヤウナ計  
算ニナリマスノデ、場合ニ依レバ無爲特  
輸入モヤウタラドウカト云フヤウナコトモ  
考ヘラレマス、マア色々雜粕ノ方面ニ於テ  
出來ラゲケノ努力ヲ致シテ居ルト云フヤウ  
ナ次第デアリマス、現在ノ所デハ其ノ程度  
ノコトデアリマシテ、他ニ實ハ名案モ持ツ  
テ居ラナイデアリマス、唯幸ニシマシテ  
確安ノ製造ガ多少好轉ヲ致シテ參フテ居リ  
マスノデ、是ガ或ル程度ノ目安ガ付キマス  
レバ是ハ大豆粕ノ補填ニ或ル部分ハ使ヘル  
ノチヤナイカト云フ風ナ考モ致シテ居リマ  
ス

○松本委員 モウ足リナイモノハ足リナイ  
ト仰シヤツテ載イタ方ガ宜イ、河野君カラ  
モ御話ガアツタノデスガ、足リナイト云フ  
コトニナレバ農民ハ其ノ覺悟デ行キマス、  
足リナイモノヲ足リルカノヤウニ仰シヤラ  
レテ足リナイノハ一番困ル、向フノ出廻リ  
ガ惡クテ足リナイモノハ如何ニ對策部長ガ  
骨ヲ折ラレテモドウモ其ノ點ハ仕樣ガナイ  
ノデアリマスカラ、別ニ何等カノ方法ヲ講  
ジテ貰フヨリ外仕方ガアリマセヌガ、今日  
其ノ大豆、大豆粕ノ出廻リガ——大豆粕ノ  
方ハ宜イト仰シヤルノデアリマスガ、大豆  
ノ出廻リガ宜シクナイ、其ノ時ニ、是ハ私  
共唯道途ノ風説トシテ聞イタコトデアリマ  
スカラ其ノ眞偽ノ程ハ分リマセヌガ、陸軍  
ノ方デ馬糞トシテ相當多量ノ大豆ガ御入用  
ダト云フヤウナコトノ御話合ガ出テ居ルト  
云フコトヲ承ツテ居リマスガ、如何デアリ  
マスカ

○重政政府委員 左様デアリマス、陸軍ノ  
方デ大豆トシテ年額約九萬噸程度ノモノデ  
アラウカト思ヒマスガ、サウ云フ要求ガ出  
テ居リマス

○松本委員 九萬噸ト云フコトデアアルナラ  
バ吾々ノ聞イタ所ヨリ大變少イノデスガ、  
吾々ノ聞イタ所デハ、大體月二萬噸位欲シ  
イノダト云フヤウナコトノ話ガアル、若シ  
假ニ月二萬噸トスレバ二十四萬噸、只デサ  
ヘ少イ所ヘ、軍部ノ入用トアレバ何ヨリモ  
優先スルデセウ、スルト農村ノ方ハ益、缺乏  
シテ來ル、斯ウ云フ情勢ガ來ルノデスカラ、  
サウ云フコトモ對策ヲ御研究ニナワテ戴キ  
タイ、ソレカラ農村ニハ農材デソレダケノ  
警告ヲ與ヘテ戴キタイ、ソレデ、對策部長  
ニ小言ヲ申ス譯デモ何デモアリマセヌガ、  
實際ノヤラレ方ヲ私共拜見致シテ居リマス  
ト、ドウモ嬉シガラセテ後デ結局困ラセル  
コトガアル、例ヘバ、最近ニモ農材ニ對スル  
「セメント」ノ配給ニ付テ、二月二十三日頃  
ニ指令ヲ出シテ、サウシテ是ハ二月中引  
取ラナケレバ無効ダト言フ、ソコデ指定サ  
レタ「セメント」會社ヘ行クト、ソコナモノ  
ハ無い、結局五日カ六日ノ間ニ引取ラウト  
シテモ無い、指圖ハ貫ツタガ、結局ハ取レ  
ナイデ、實ハスト云フコトニナツテ來ル、  
ソレデ農林省ニ行クト、オ前ニハ指圖ヲヤ  
ツタデハナイカ、割當ヲヤツクデハナイカ  
ト言フガ、併シ事實ハ貫ヘヌ、斯ウ云フコ  
トガ出テ來ル、斯ウ云フ時代デスカラ、仕  
事ヲオセリニナルニ於テ、サウ云フコト  
ハ澤山出テ來ララウト思フガ、田舎ノ者  
ハ正直デスカラ、實ヘルト言ヘバ直グ貫ヘ  
ルト思ツテ居ル、ソコハ十分御斟酌ヲ戴イ  
テ居ルコトトハ存ジマスガ、イケナイモノ

ハイケナイノダト云フコトヲハツキリ言ツ  
テ、對策ヲ講ジロ、斯ウ仰シヤツテ戴イタ  
方ガ宜イヤウニ存ジマス、其ノ點ハ勿論御  
如才ハナイト思ツテ御信賴申上ゲテ置キマ  
ス

話ノ序デアリマスカラ、對滿事務局ノ方  
ニ伺フノデスガ先刻御示シノ通り滿洲國ノ  
大豆ノ第三國向輸出ト云フモノハ、申スマ  
デモナク歐羅巴戰争以來ハ激減ヲシテ居ル、  
此ノ事ハ滿洲國ニ於ケル所ノ有ル産業計  
畫、其ノ他ノ物資ノ輸入等ニ直チニ影響シ  
テ來ルト云フコトガ考ヘラレル、其ノ點ニ  
付テ滿洲國側ノ對案ト云フモノハ、何等  
カ立ツテ居ルノデアリマセウカ

○竹田政府委員 今御示シノ如ク、滿洲國  
ノ所謂外貨獲得ノ大宗デアリマス大豆ノ輸  
出ガ現在ノ如キ情勢ニアリマスト云フコト  
ハ、爲替計畫上滿洲國トシテモ洵ニ苦慮シ  
テ居ル所デゴザイマス、唯御話ノ是ガ産業  
建設計畫ニドウ云フ影響ヲ及ボスカト云フ  
コトニ付キマシテハ、御承知ノ如ク滿洲國  
ノ産業建設資材ノ大半ハ日本カラノ供給資  
材デアツテ居ルノデゴザイマス、併シ勿論  
第三國カラノ輸入資材モ相當大キイ譯デア  
リマスカラ、斯ノ如キ爲替情勢ノ下ニ於キ  
マシテハ、滿洲國トシテハ計畫遂行上相當  
ナ困難ガ出テ參ル譯デアリマス、之ニ對處  
スル方法トシテハ所謂重點主義ト云フコト  
ヲ強化致シマシテ、能フ限り最モ基本的  
ナ、例ヘバ鐵デアルトカ、石炭デアルトカ  
云フヤウナモノニ主力ヲ注ギマシテ、十分  
ナラザル資材ヲ最モ有效ニ使ツテ、而モソ  
レガ滿洲ニモ、又日本ニモ役立つ如キ效果  
ヲ擧ゲルモノニ集中シテ行ク、斯ウ云フナ  
リ方ニ依ツテ現在ノ資材不足ニ處シテ行カ

ウ、大體斯ウ云フ建前デソレ——具體案ヲ  
立テテ實行シテ居リマス

○松本委員 其ノ點デ多少伺ヒタイ點モア  
リマスケレドモ、ソレハ本委員會ノ問題デ  
ゴザイマセヌカラ止メテ置キマス、先刻ノ  
御說明ノ中ニ、滿洲國トシテハ歐洲向ケノ  
大豆ノ輸出ノ促進ハ致サナイノデアルト云  
フヤウナ御言葉ガアリマシタガ、印度政府  
ガ滿洲向ノ「ガンニー・パダ」ノ賣渡シヲ  
シナイ、斯ウ云フコトデアリマスガ、是ハ  
英國ノ日本及ビ滿洲國ニ對スル非常ナ非友  
誼ノ行爲ト思ハレルノデス、第三國向、  
殊ニ歐洲向ノ輸出ヲシナイ、又出來ナイト  
云フ實情デアアルニ拘ラズ、英國ガサウ云フ  
態度ヲ執ツテ居ルト云フコトハ是ハ又別  
ノ立場カラ賣メナケレバナラスト云フコト  
ニナルノデスガ、此ノ點ニ付テ滿洲國ガ歐  
洲、殊ニ英國ナドガ敵國ト目指シテ居ル所  
ノ國ニ對スル供給ヲ致シテ居ラスト云フヤ  
ウナコトニ付テ、英國ノ理解ヲ得ルダケノ  
手段ヲ勿論講ジテ居ルコトト存ジマスガ、  
サウ云フコトヲ承ルコトハ出來マセヌデセ  
ウカ

○竹内政府委員 速記ヲ止メテ宜ウゴザイ  
マスカ

○熊谷委員 速記ヲ止メマス

(速記中止)

○松本委員 私ハ是デ宜シウゴザイマス

○熊谷委員 速記ハ本日ハ是ニテ散會  
致シマス、明日ハ午前十時ヨリ開會致シマ  
ス

午後五時十分散會



第七十五回帝國議會 院 日本肥料株式會社法案委員會會議錄(速記)第六回

付託議案 日本肥料株式會社法案(政府提出) 第八九號

會議

昭和十五年三月十二日(火曜日)午前十時三十分開議

出席委員左ノ如シ

委員長 熊谷 直太君

理事成島 勇君 理事山田 六郎君

理事原 惣兵衛君

森田重次郎君

田中 邦治君

小平 重吉君

西川 貞一君

平野 力三君

吉田 賢一君

小野 寅吉君

村上 國吉君

國光 五郎君

野溝 勝君

松村 光三君

三月十一日委員松本忠雄君辭任ニ付其ノ補

闕トシテ森田重次郎君ヲ議長ニ於テ選定セ

リ

同月十二日委員岩瀨亮君及小山亮君辭任ニ

付其ノ補闕トシテ松村光三君及吉田賢一君

ヲ議長ニ於テ選定セリ

出席政府委員左ノ如シ

司法省刑務局長 黒川 涉君

農林省政務次官 岡田喜久治君

農林省臨時農 村對策部長 重政 誠之君

本日ノ會議ニ上リタル議案左ノ如シ

日本肥料株式會社法案(政府提出)

○農谷委員長 ソレデハ前會ニ引續イテ日

本肥料株式會社法案ノ質疑ヲ續ケマス、倉

元君、野溝君ノ質問ノ申出ガアリマスケレ

ドモ、御見エニナリマセヌカラ國光君ニ發

言ヲ許シマス、國光君

○國光委員 私人農林大臣ニ二三御尋ヲ申

上ゲタイコトガアリマスガ、ソレハ後日機

會ヲ與ヘテ裁クコトニ致シマシテ、米穀應

急措置法案審議ノ際ニ農林大臣ニ御尋シタ

ノデアリマスガ、農林大臣ハ事情ヲ能ク承

知シナイカラト云フコトデ、對策部長ニ聽イ

テ吳レト云フコトデアリマシタノデ、其ノ儘

實ハ大難把テ話ヲシタノミデ質問ヲ止メテ

置イタルデアリマス、對策部長カラ御答ヲ  
願ヒマス、肥料配給ノ一元的ノ統制ガ出來  
レバ、斯ウ云フコトヲ申上ゲル必要ハナイ  
ト思ヒマスガ、今日マデノ當局ノ御答辯ニ  
依リマス、其ノ必要ヲ認メテ居ラレテモ、  
客觀情勢ノ上カラ中々困難デアルカラ徐々  
ニヤルトカ云ツタウツ、農林大臣モ、又  
對策部長モ御答ヲシテ居ラレル、私共ハ何  
處マデモ此ノ肥料ノ配給ハ一元的デナクテハ  
ナラス、ソレデナクテハ現下ノ肥料事情ヲ克  
服スルコトハ出來ナイト思フテ居ルノデア  
リマスケレドモ、ソレガ容易ニ實現ガ出來  
ナイト致シマスナラバ、此ノ對策制ニ付テ  
農林省ノ不徹底ナ態度ヲ改メテ戴カナケレ  
バナラス、改メテ戴カナケレバナラスト云フ  
ヨリモ、寧ロ從來ノヤウナ不徹底ナ態度ヲ  
繰返シテ貫ツテハ實ニ困ルト思フノデアリ  
マス、舊イコトヲ探シ出シテ御尋ヲ申スコ  
トハ議事ノ進行ノ上カラモ甚ダ好マシクナ  
イコトデアリマスガ、ソレヲ一ツ申上ゲナ  
クテハ筋ガ分リマセヌ、此ノ一月乃至七月  
ノ肥料配當ノ際ニ農林省ノ執ラレマシタ態  
度ハ、甚ダ私ハ不徹底極マルモノデアツテ  
遺憾ニ存ズルノデアリマス、即チ昨年ノ十

一月十八日附テ農林、商工兩大臣ノ肥料制  
當ノ決定ニ付テノ通牒ガ出テ居ルノデアリ  
マスガ、其ノ通牒自體ガ私ハ寧ロ必要ハナ  
イモノ位ニ思フテ居ルノデアリマス、同時  
ニ北海道ヲ初メ十一府縣ヲ特ニ名指シテ、  
對策部長及ビ商工省ノ振興部長ノ連名ノ通  
牒ガ出テ居ルノデアリマス、而モ其ノ通牒  
ガ出テ居ルノデアリマス、又十二月ノ二日ニ對策  
部長名ノミデアア云フ通牒ガ出テ居ルノデ  
アルガ、アレハ十四年ノ一月ニ出シタル所ノ農  
林商工兩大臣ノ連名通牒ト趣旨ガ全ク同一  
デアツテ、決シテソレヲ變更スル譯デハナ  
イト云フコトノ斷リヲ言フテ居ラレル、其ノ  
當時ノ讀賣新聞ニモ其ノコトガ出テ居リマ  
スガ、私共ハ一體對策部デドウ考ヘテオ居  
デナルカ、既ニ十一府縣ヲ名指シテ特別通  
牒ヲ出サレル以上ハ、其ノ認メテ居ラレル  
コトハ極ク難カナ書振リニハナツテ居リマ  
スケレドモ、兎モ角モオ前ノ所ハ産組下商  
人系統トノ對當ニ於テ不當ナコトヲ八月乃  
至十二月ニヤツテ居ルカラ、是非ソレヲ改  
メ、斯ウ言ハヌバカリノ通牒デアルノデ  
アリマス、是ハ一體ドウ云フ積リテ出サレ  
タノデアリマスガ、私共山口縣ノ實際ノ割  
當決定ニ當リマシテ、昨年ノ八月カラ十二  
月マデハ兎ニ角一時間バカリデ済ンデシマ  
ツタ、ソレガ今度ハ二日掛リデヤツテ、サ  
ウシテ到頭答申ヲ得ナイデ、知事ノ裁斷ニ  
任セナケレバナラスヤウナ混亂ニ陥ツタノ  
ハ、全ク是ハ此ノ通牒ヲ受ケテ餘波デア  
ルノデアリマス、斯ウ云フコトヲ何時モ繰返

ジテ貫ツテハ、地方ハソレデナクテモ配給  
上ニ色々ナ故障ガアツテ困ツテ居ル所ニ持  
ツテ行ツテ、商人系統ヲ刺戟シテ、サウシ  
テ何ボカデモ言ウタラ、商人ハ何ボカニナ  
ルト云フヤウナ考ヘ方ヲ持タセルヤウナ通  
牒ヲ出サレルト云フコトハ、甚ダ以テ遺憾  
千萬ダト思フノデアリマス、此ノ特別通牒  
ヲ出シニナリマシタ御事情ヲ一ツ承ツテ  
置キタイト思フノデアリマス  
○重政政府委員 御指摘ニナリマシタ事柄  
ニ付キマシテ、色々御迷惑ヲ掛ケマシタコ  
トニ付キマシテハ、洵ニ遺憾ニ思フ次第デ  
アリマスガ、御承知ノヤウニ從來ハ肥料配當  
ニ付キマシテモ關係省ト協議致シマシテ、  
サウシテ兩省ノ名前ヲ以テ總テ運ブト云フ  
コトニナツテ居ツタノデアリマスガ、最近  
ニ於キマシテハ是ガ農林省ノ專管トナリマ  
シタ關係上、コチラダケノ考ヘ方デ進ムコ  
トガ出來ルト云フヤウニ考ヘラレマスノデ、  
再ビサウ云フヤウナ御迷惑ヲ御掛ケスルコ  
トハナカラウカト考ヘテ居リマス、唯今ノ  
御質問ノ御趣意ニ依リマシテ、當時私ノ考  
ヘテ居リマシタ事柄ノ成行ニ付テ、一應御  
説明ヲ申上ゲタイト考ヘマス、實ハ只今御  
指摘ニナリマシタ昭和十四年十一月十八日  
ノ農林商工兩大臣名ノ通牒ノ第六項ニ依リ  
マシテ、商人ヨリ産業組合及同聯合會ニ販  
賣スルモノハ之ヲ商人系統ノ實積ニ含ムト  
云フ註釋ヲ付ケテ通牒ヲ致シテ居ツタノデ  
アリマス、之ニ依リマシテ只今御述ニナリ  
マシタヤウニ、既ニ是ガアル以上ハ爾餘ノ

通商ハ必要ガナカラウト云フ風ニ一應考ヘラレタノデアリマス、併シ一面カラ考ヘマ...

ノコトガナイヤウニ、特ニ御聲明ノ通りニ御...

機構ノ問題ヲ彼此レ言フノデハナイ、機構...

ノ通商ヲ出サナケレバナラナカウツ、ソレ...

實有ルカ無イカト云フコトヲ一ツ確メテ見  
タイ、又サウ云フモノニ對シテハドウ云フ  
御態度ヲ御執リニナルカ、是ハ新聞見マ  
シタカ、或ハ産業組合ノ雜誌見マシタカ  
分リマセシガ、岐阜縣デハ商人系統ニ持ッ  
テ行ツテ割當ラレタモノヲ全部産業組合  
合會ノ方ニ戻シテ渡シテ、其ノ手配配給シ  
テ居ルト云フコトヲ聞イテ居ルノデアリマ  
スガ、果シテ岐阜縣ニサウ云フ例ガアル  
デセウカ、商人系統ニ割當テタモノヲ全部  
産業組合系統ガ實際ノ配給ハ割當テラレテ  
居ル、ソレデ實際ノ配給カラ言フト、岐阜  
縣ト云フモノハ一元的配給ニナツテ居ルト  
云フ風ニナルノデス、サウ云フ事實ガアル  
ノデアリマスルカ、ソレヲ一ツ承リタイ

○重政政府委員 ソレハ私能ク存ジテ居  
マセシゴザイマス、至急ニ取調ベマシテ  
適當ノ機會ニ又御報告ヲ致シタイと思ヒマ  
ス

○國光委員 是ハ私ハ新聞見マシタカ維  
誌見マシタカ、ドウモ茲ニ出所ヲハツキ  
リ申上ゲル譯ニハ行キマセシガ、唯噂話ノ  
程度ニ考ヘテ裁イテ宜シノデアリマスガ、  
斯ウ云フ實例ガ假ニ事實デアルトスル場合  
ニ、之ヲ肥料割當制ノ所謂對策部長ノ仰  
シナル配給實績ト云フモノヲ本トシテ肥料  
割當ヲスルト云フ其ノ原則ニ當テテ、此  
ノ儘ニ割當制ニテ實際ノ配給ハ  
カ、各産業組合系統ニ以テ實際ノ配給ハ  
ナツテ居ルノダガ、ナハリ割當ハ商人ノ既  
得權ト申シマスガ、高橋ト申シマスガ、ソ  
レハ何處マデモ認メテ行ツテ、ナハリ商人  
ノ割當ヲスルト云フ御積リデアリマスカ、  
現實ノ問題トシテ、御調ニナツタ上デ、岐  
阜縣ニ限ラス、他ノ縣デモサウ云フ事例ガ

アツクシテ、ソレニ對スル當局ノ御態度  
ヲ一ツ承ツテ置キタイ

○重政政府委員 是ハ一元的配給ヲ致ス、  
形ハマアドウナリマスカ別ト致シマシ  
テ、サウシテ其ノ場合ニ相當ノ犧牲者ヲ  
出スト云フ場合ニ於キマシテ、是ハ犧牲ヲ  
構ハズ必要ガアレバヤラナケレバナラスコ  
トモアリマスガ、兎ニ角國トシテ一應ノ  
方針ガ立チマスレバ、是ハ斷乎タル方法ニ  
出ヅルコトガ出來ルト思フノデアリマスガ、  
今御指摘ニナリマシタヤウナ場合ニ於キマ  
シテモ、現状ノ儘ニ於キマシテハ從來ノ實  
績ヲ標準トシテ、地方ノ實情ヲ加味シテ區  
分ヲ決メルト云フ原則ハ一應其ノ儘適用  
ガ、意味ハ多少違ツテ居リマスケレドモ、  
致サレリマシテハナイカト云フ風ニ考ヘルカ  
第デアリマス、唯其ノ場合ニ於テハ、商人  
ニ於キマシテハ商人ニ對スル手數料ト云フ  
コトガ問題ニナルノデアラウト考ヘル次第  
デアリマス

○國光委員 今ノコトヲ御講シマスノハ、  
私ノ方ノ山口縣デソレガアツタノデス、事  
實上若シ一元的ノ配給ヲ農林省ガ色々ナ事  
情デ以テ申サ即時ニ行ハレトスルナラ  
バ、寧ろソレヲハツキリ認メタ方ガ是ハ穩  
ニ行ク、私ノ山口縣デハ、話ノ次第デハ商  
人系統ニ割當テラレタ所ノ二〇%ト云フモ  
ノハ、産業組合系統ノ手數料ノ配給ヲ  
ケレドモ、ソレト云フコトニナレバソレハ  
ケレドモ、ソウナルトモウ商人系統ノ人々  
ハ、今ノアツタノ仰シナル手數料ト云フモ  
ノノ關係カラシテマルデハ手ガ離レテシ  
マフ、ダカラ其ノ肥料ヲ取扱フト同時ニ他  
ノ部分ノ商賣モツツ行ク、ソレノ請リ  
何ト申シマスカ、一ツノ種ニナル、ソレデ

難シクタイノデスケレドモ、僅ニ二〇%  
ト云フモノヲ此ノ割當制ノ精神ニ基イテ各  
町村ニ割當テルト云フコトハ、配給スルト  
云フコトハ實際ニ出來ス、是ハ採算上モ連  
モイケナイ、ソレデカラ、採算上サウ云フ  
コトヲヤツテモ損ダカラ、吾々ニ委シカラ  
宜カラウ、肚チヤ委シクテ仕方ガナイガ、  
將來配給ノ實績ノ上ニ商人系統ガマルデ  
ミナシサレテシマツタノハイケナイコトニ  
ナルカラ、マダヤツテ居ラナイケレドモ、一  
元的配給ニ至ル暫定ノ處置トシテ、其ノ  
實績ハ重シクシテ、併シサウ云フコトハ先  
デ實績何時マデモ認メテヤル、斯ウ言ッ  
タ方ガ却ツテ一元的ノ配給ヲ促スノニ都合  
ガ好イ、山口縣ハサウ云フコトヲ農林省ガ  
ハツキリ言ツテシマハレタラ、サウ云フ風  
ニナツテシマフコトヲ請合フ、ソレデアリ  
マスカラ此ノ點ニ付キマシテハ對策部トサ  
レマシテモ、根本的ニ一ツ考ヘ方ドウス  
ルトカ、兎ニ角一元的ノ配給ガ適當デア  
ルト云フコトガ、農林大臣ガ本會議ノ席  
上デモ述ベテ居ラレ、ソレガ宜イニハ違  
ヒナイ、唯ソレガ實現ヲスルノニ困難ダ  
ト云フデアリマス、ソレニ近イノデス、今  
御話ノナハリ岐阜縣ノ如キデモ、一元的  
配給ニナツテ居ル、如何ニモ現在ノ制度カ  
ラ言フト不自然極マルト思フノデアリマス  
ニ配給ヲサレルモノデアリマスカラ、適期  
ニ適正ニ來ル、其ノ方ガ案口宜イノデア  
ル之ヲ是非私ハ御答辯ヲ望ムノデアリマセ  
スガ御答辯直シテハヒクタイと思フ、モウ一ツ此  
ノ問題ニ付キマシテ最後ニ申シテ置キタイ  
ト思ヒマスノハ、先程ノ兩部長ノ通牒モ宜  
シウゴザイマスガ、之ニ付テ地方局長ノ通

○國光委員 本年ノ一月乃至七月ノ割當  
決定スル際ニハ、十二月ニ決メラレタノデス  
カラ、去年ノ八月乃至十二月ノ實績ハマダ  
現ハレテ居リマセシデシタガ、今度ハハツ  
キリ是ガ現ハレテ居ル譯デアリマスカラ、  
ソレガ基ニ出來ル譯デス、ソレヲ過去ノ十  
三年ノ分ヲ基ニスルト云フコトニナルト、新  
タナ事情ト云フモノハ一ツモ料酌サレナ  
イ、サレテモ程度ガ極メテ少イト云フコト  
ニナリマス、殊ニ昨日デシタカ眞鍋君ノ質  
問ニ對シテ、商人系統ノ配給ガ非常ニ遅  
レテ居ル、何處カ通牒ヲ出シタト云フコト  
デアリマスガ、ソレドコロデハナイ、吾々ハ  
今日調ベテ居リマスガ、配給ノ實際ノ實績  
ヲ見マスト割當ト云フモノノ精神ヲ全然没  
却セラレテ居ル、其ノ實例ヲ私共ハ立派ニ  
明ニ提ヘテ居ル、八月カラ十二月マデノ間  
ノ分ヲ、例ヘバ甲ノ町村ニ割當テタル所ノ  
ノ乙ノ町村ニ割當シタリ、ソレヲ米穀ト引替  
ニナツタリサウ云フコトガ非常ニ行ハレテ  
居ル、是ハ先刻私ガ申上ゲマシタ通り二〇%  
ト云フヤウナ權ナモノヲ割當テラレテ居  
マスカラ、商人ノ頭カラスルト、採算上ソナ  
馬鹿ナコトハナレナイ、ナレナイカラ易キ  
付タ、易キニ付キマスカラ、甲ノ町村ニ割  
當テラレテ自分ノ二〇%ノ中ニ入ツテ居  
モノヲ、乙ノ町村ニ割當テラレテ配給シテ  
居ル、是ハモウ私ノ縣デハアチラコチラニ  
澤山アル、私共ハ其ノ材料ヲ皆調べ上ゲテ  
居ル、斯ウ云フコトデ、實際ノ配給ト云フ  
ノガ非常ニ遅レテ、折角適期ニ配給シテヤ  
ラウ、斯ウ思ツテ居ルモノガ遅レル爲ニ、  
通牒マデ出サレナケレバナラスト云フ状態

際ガ出テ居ル、之ヲ一體對策部長ハドウ御  
考ニナルノデスカ、米ノ問題ナラバ治安ノ  
維持トカ云フコトデ、内務省ガ米穀問題ニ  
乘出サレルト云フコトハ當然ト思フノデア  
リマスガ、肥料問題ニ對シテ内務省ノ地方  
局長ガ特ニ地方官ニ對シテ通牒ヲ出サレ  
タ、其ノ通牒ニハ何ト書イテアツタカト云  
フト、農林省ノ言ハレル言ヒ分ト實際ニ於  
テ一ツモ變リガアリマセシ、本年八月乃至  
十二月ノ割當決定ノ際ニ見ルニ地方ニヨリ  
テハ其ノ割當適正ヲ缺キ種々紛議ヲ惹起シ  
タルモノアル前例ニ鑑ミ今回ノ決定ニ當リ  
テハ右通牒ノ趣旨ニ從ヒ必要アラバト云々  
アルガ、是ハ農林省ノ仰シタルコト一ツ  
モ變ラナイ、農林省ガ地方官ニ出シニ  
ナルコトヲ、横ツチヨカラ内務省ガソナ  
出過キタコトヲセラレ、是ハ一體農林省  
ハ何ト御考ニナリマスカ、治安ノ關係ト云  
フモノハ内務省當然ノ職責ダカラオヤリニ  
ナツテモソレハ當然ノコトデアリマスケレ  
ドモ、肥料ノ割當マデニ地方局長ガ通牒ヲ  
出サレルト云フコトハ、吾々想像スルニ、  
結局兩部長ノ通牒ダケデハ地方中々聽カ  
ナイ、ソレデ地方局長ガ通牒ヲ出シタラ直  
ダ改メララウ、改メララウケレナク無理ニ  
デモヤララウ、斯ウ云フノダラウト思  
フ、農林省ハ勿論此ノ通牒ニハ御關與サレ  
タトハ思ハス、是ハ高工省ガ關與サレテ居  
ルノダラウト思フ、農林省トシテハ迅速千  
萬ナコトダラウト思フ、私ハ思ヒマスガ、是  
ノ下ハ私共ノ縣ノ實情ヲ見ルノ、地方ノ人  
刺戟スルコト共シイモノガアル、是ハ吾々  
想像スルニ商工省ノ振興部長ガ通牒ヲ出  
シタケレドモ、地方デハ八月乃至十二月ニ  
ハ〇%對二〇%トシテ置イテ、アノ通牒ガ

デ、而シテ其ノ配給ノ方針ヲ、甲ノ町村ノ  
モノヲ乙ノ町村ニ割當シタリサレテハ甲ノ町  
村ノモノハ迅速千萬デス、サウ云フコトガ  
アリマスカラ、十三年ノ實績ト云フモノハ、  
テンデ割當制ト云フモノガ出來ス以前ノモ  
ノデアリマスカラ、之ヲ其ノ材料ニ御使  
ニナルト云フコトハ斷ジテ止メテ裁キマシ  
テ、モウ現ニ實績ガハツキリシテ居ル、ハ  
ウキリシテ居ラレバナラス答ノ十四年ノ  
八月乃至十二月ノ分ノ實績ニ依ツテ、色々  
事情ヲ斟酌シテ決定スル、モウ商人系統ノ  
配給ガ極メテ不適正ニ行ハレテ居ルト云フ  
コトノ證據ガ歴然トシテ現ハレテ居ル、吾  
吾ハ其ノ材料ヲ澤山持ツテ居ル、一元的配  
給ト云フモノノ目標ニ進ム爲ニハ、サウ云  
フコトモ是ハ明カニハツキリサシテ、ソレニ  
進ム一ツノ道程ノ中ニ是ハ織込シテ行カ  
レバナラスト私ハ思フ、農業者ノ爲ニサウ  
シナケレバナラスト思フ、是非ハ一ツ此  
ノ次ノ八月乃至十二月ノ肥料割當ヲ御決定  
ニナル際ノ材料ニハ、モウ古イモノハ御使  
ヒニナラスト云フヤウナコトニシテ裁キ  
イト思フノデアリマス

割當ノ關係ハソレデ一應打切りマスガ、  
モウ一ツ割當ニ付キマシテ實際困ワテ居  
マスノハ、供出ノ工場ヲ御指定ニナルヲ  
ス、之ヲ何トカ地域のニ御考直シテ願ヒ  
イ、是ハ事實上出來ル話ダと思フ、私ノ縣  
ニ於キマシテハ、例ヘバ一萬何千處ノ確安  
ト云フモノガ、縣内ニアル宇部、高野、ス  
カラ八幡ノ日鐵ト大牟田ノ東洋高野、斯ウ  
ナツテ居ル、所ガ石炭關係ノ一ノ日發ノ石  
炭ノ手當ノ爲ニ關門ノ方ノ石炭ハ一切其ノ  
間ニ利用ガ出來ナイ、ソレデアリマスカラ、  
東洋高野ノ分モ、日鐵ノ分モ一入ラナイ、

出タカラト云ツテ變ヘル譯ニ行カナイ、斯  
ウ云フ風ダカラ何トカ地方局長カラ通牒ヲ  
出セバ、地方長官モソレチヤ仕方ガナカラ  
ウ、經濟部長モ仕方ガナイト云フコトニナ  
ルト思ツテ出シタノデセウ、是ハ農林省ト  
シテハ御迷惑千萬ダと思ヒマス、サウ云フ  
肥料配給ニ内務省地方局長ガ通牒ヲ出スコ  
トニ付テ、農林省ハドウ云フ風ニ御考ニナ  
ルカ、私ハ地方局長ノ意圖モ聽キタイと思  
フテ居ルノデス、實際不屆千萬ナ話デス、  
是ハ聖代ニアルマジキ干渉デス、知事ニ直  
接話サレラバマダ宜イトシテ、明ニ十  
二月六日附テ通牒ヲ出シテ居ラレ、之ヲ  
對策部長ハドウ御感ジニナリマスカ、其ノ  
御感ジヲ聽キタイ

○重政政府委員 其ノ通牒ハ只今御話ニナ  
リマシタヤウニ實ハ吾々トシテハ全然知ラ  
ナカツタノデアリマス、大分アツタカラサ  
ウノ話ヲ地方ノ方カラ聞イテ知ツタノデア  
リマシテ、迂迴ト云ヘバ迂迴デアツタ譯デ  
アリマスガ、サウ云フ事情デアリマスガ、地  
方局長ハ無論地方長官ニ對シテ色々指令セ  
ラレルトコトガ出來ルノデアリマスガ、其ノ  
問題ハ或ハ御想像ノ通り、振興部長等トモ  
御連絡ニナツテサレタモノカモ知レマセ  
スガ、私ノ方トシテハ何等御依頼シテ居  
マセシ、其ノ内容ハ只今御話ニナリマシタ  
通り別ニ變ツタコトモナイ事柄デアリマス  
ガ、併シ政府部内ノコトデアリマスカラ、  
ヤハリサウ云フモノハ假ニソレガ内容ノ變  
ラスモノデアツテモ、是ハ相互ノ事務ノナ  
連絡ヲ執ツテ出シタ方ガ宜イノデハナイ  
カ、又サウシテ實ハ困ルト云フ風ニ考  
ヘテ居ルノデアリマス、此ノ事ニ付キマシ  
テ地方局ノ方ヘモ一應遺憾ノ意ヲ表シテ置

○國光委員 サウアルベキコトダと思フノ  
デアリマス、實際ニ農林省ヲ見縦ツタヤウ  
ナ態度デス、無論ソレニ農林省ガ御關係ニ  
ナツテ居ラウナドトハ夢サラ思ツテ居リマ  
セシ、失禮千萬ナヤリ方ダと思フ、今後ハ  
肥料行政ガ農林省ノ專管ニナリマスカラ、  
此ノ問題ニ付テ今後斯ウ云フコトガ起ルベ  
キ虞ハナイノデアリマスガ、要スル商工農  
林兩省ノ間ノ摩擦ト云フカ何カガ、結局コ  
レナコトヲ生ミ出シタノデアリマス、ソレ  
ニ鑑ミマシテモ是非一元的配給ヲヤル必要  
ガアル、私ハドウシテモ農林省ガ一段ノ勇  
氣ヲ出サレテ之ヲ解決セラレナケレバナ  
スモノダト思フノデアリマス

ソコデモウ一ツ割當ノ關係ニ付テ御話シ  
テ置キタイノデアリマス、此ノ八月カラ十  
二月マデノ分ハ七月マデニ決メナケレバナ  
ラスノデアリマスガ、其ノ時ニハ何時ノ配  
給實績ヲ以テ決メニナルコト積リデアリマ  
スカ、今マデハ昨年ノ八月カラ十二月マデ  
ノ分モ今年ノ一月カラ七月マデノ分モ、共  
ニ十三年中ニ於ケル配給實績ヲ基トシテ、  
ソレニ色々ナ事情ヲ加味サレテ決定スルコ  
トニナツテ居ラ、今度ノ八月以降ノ下半  
期ノ分ノ御決定ハ何ヲ基ニシテ配給實績ヲ  
決メサセヨウト云フ農林當局ノ御意向デア  
リマセウカ、ソレヲ一ツ何ツテ置キマス

○重政政府委員 マダ其ノ點ニ付キマシテ  
ハ決定ヲ致シテ居リマセシガ、是ハ考ヘ方  
トシテ、十三年ノ配給ノ實績ニ諸種ノ事情  
ヲ加味シテ行クト云フ考ヘ方モアリマスル  
シ、或ハ又十四年ノ消費實績ト云フモノガ  
分レバ、ソレニ依ツテ行クノガ宜イト云  
フコトニモナラウト思ヒマスガ、ソレ等ノ

今デハ多少入ツタセウケレドモ、此ノ二  
月ノ半頃マデハマルデ入ラナイ、十二月ノ  
分ガ、日鐵デシタカ、高壓デシタカ、殘ツテ  
居タ、サウ云フノデアリマスカラ、是ガ宇  
部寮素ノ分ハ當リ前ニ一月ノ分ハ一月ノ割  
合、二月ノ分ハ二月ノ割合ト云フヤウニ入  
ツテ来マスガ、ドウシテモ入ツテ来ナイモ  
ノガアル、今ノヤウナ運輸事情ノ下デハド  
ウシテモイケンナイ、斯ウ云フ事情デアリマ  
スカラ、縣内ニ宇部寮素ト云フ硫酸製造會  
社ガアルノダカラ、山口縣ノ分ハソレニ割  
當テテ貴ヒサヘスレバ、假ニ量ハ少クテモ  
適期ト云フコトハ保證出來ル、例ヘバ磷酸  
ニシタ所デサウデス、過磷酸デモ、是モ五  
ツモ六ツモアル、ソレデ縣内アリマス所ノ  
彦島ナリ或ハ小野田ナリニ按分テ割當テテ  
貴ヘバ宜イガ、遠方ノ割當ダカラソレガ又  
来ナイ、サウ云フコトニナリマスカラ、是  
ハ一ツ地域的ニ供出工場ノ御指定ト云フモ  
ノハ、割當ノ際ニ再考シテ裁キタイト思フ  
ノデアリマスカ、ソレハ實際ノ事情トシテ  
ドウデアリマスカ

○重政政府委員 是ハ從來ハ色々配給上ノ  
事情モアツタコトト思フノデアリマスカ、  
御話ノヤウニ是ハ出來ルダケ運送等ニ付テ  
モ「セーヴ」モ出來ルコトデアリマスカ、ソ  
レカラ適期配給ト云フコトニ付テモ、必要  
ナコトデアリマスカ、出來ルダケサウ云  
フ風ニ致スヤウニ中樞機關ノ方ニ話ヲスル  
コトニ致シマスカ

ゴザイマスカ、大體對策部長ニ對シテハ、  
主トシテ割當制ノ今後ノ改善方法ニ付キマ  
シテ御意見ヲ承リタイト云フ積リデアツタ  
ノデアリマス、唯最後ニ是ニ肥料ノ供給確  
保ノ問題デアリマスカ、之ヲ最後ニ御尋シ  
私ノ質問ヲ打切りタイト思ヒマス

私ノ山口縣ハ、昨年ノ十二月マデノ割當ノ出  
來マシタ時ノ事情ガ非常ニ惡カツタ爲ニ、實  
際ニ今硫酸ノ配給ガ困ツテ居ル、ソコヘ持ツ  
テ行ツテ今度三月、四月ニ於ケル硫酸ノ配給  
ト云フモノガ約二千七百噸バカリアル、其ノ  
二千七百噸バカリノ所ヲ二百噸ダケ殘シテ、  
アトハ全部智利硝石ニ代ヘラレテシマフト  
云フコトデアル、是ハモウ硫酸配給カラ言  
ヘバ、硫酸ハ智利硝石ヲ以テ代ヘルコトガ  
出來ルト云フコト方通牒ノ第六項カニアリ  
マスカラ、其ノ通りヤツタノダカラ言分ハ  
アルマイト仰シヤルカモ知レマセヌガ、併  
シ今ニナツテ此ノ硫酸ガ智利硝石ニ代ヘラ  
レルト云フコトニナリマスカ、之ヲ使用ス  
ルノニ縣トシテハ非常ニ困ル、遅レテモニ  
ハ使ヘナイ、サウシテ硝石ノ元肥ニモ使ヘナ  
イ、モウ蜜柑カ何カ果樹ニデモ持ツテ行ク  
ヨリ外途ガナイト云フコトニナル、幾ラ智  
利硝石ヲ今ニナツテヤラレテモドウニモナ  
ラナイ、當局ノ方デハ、今ノヤウニ硫酸ヲ  
智利硝石ニ代ヘルコトガ出來ルト云フコト  
方通牒ニモ出テ居ルノダカラ、或ハ硫酸ト  
同様ダト斯ウ仰シヤルカモ知レマセヌガ、  
實際ノ事情ハ、實ニ硫酸ノ持越ノナイノニ  
困ツテ居ル、サウシテソレハ麥肥ニモ使ベ  
ナイシ、稻肥ニモ使ヘナイ、麥肥ニハ時期  
ヲ失シテ居ル、稻肥ニハ使ヒヤウガナイ、  
斯ウ云フノデアリマス、困ツテ居ルノデアリマス、  
大體一月乃至七月ノ間ノ配給ハ、硫酸ニ關

スル限リモウ堅ク讀取フ、斯ウ云フコトニ  
ナツテ居ルニ拘ラズ、今ノヤウナ現實ニサ  
ウ云フ困ツタ事情ガ出來テ居リマスカ、今  
後はハ、農林大臣モソレヲ保證シテ居ラレ  
マス同時ニ、對策部長モ一月乃至七月  
月一ソレカラ先ハマダ見込ハ立タナイケ  
レドモ、一月カラ七月マデハ讀取フ、六月乃  
至七月マデニ非常ニ重點ガ置カレテ居ルノ  
デス、尙更困ルノデス、硝石ノ元肥ニ非常ニ  
心配ヲ致シテ居ルノデアリマスカ、同時ニ  
運タナルト云フト、農林省ハ打切ラレルコ  
トガアルノデアリマスカ、此ノ場合ハドウ  
ナサルノデアリマスカ、打切ラレルノデス  
カ、例ヘバ七月マデニソレガ出來ナイト云  
フコトニナレバ、ハヤ過キタノダカラ、アレ  
ハ一万噸ト云ウタノダガ、九千噸ダト云フ  
コトニナルノデスカ、前ニハサウ云フ例ガ  
アツタ、昨年ノ八月カラ十二月マデノ割當  
ノ時ニハサウ云フ實例ガアツタ、尤モ是ハ  
今ノ割當ガ決マル以前ニ、聯合會ノ方デ手  
當ラシテ居ツタモノガ、其ノ後ニ入ツタカ  
ラソレダケノモノヲ打切ラレタラウガ、  
サウ云フコトヲオキリニナルト、全ク兩方  
カラ攻メラレルト云フ立場ニナツテ困ルノ  
デアリマス、其ノ點ニ對スル對策部長ノ御  
所見ヲ承リタイ

○重政政府委員 只今御述ニナリマシタ  
一 七月ノ硫酸ニ付テ、農林大臣ノ御  
言明ニナリマシタ十分確保出來ルト云フ趣旨  
ハ、今ノ硝石ヲ以テ代用スルモノハ代用ス  
ルモノトシテノ趣旨デアリマシテ、其ノ點  
ハ國光サンノ今御述ニナリマシタ所ニ依ル  
ト、多少誤解ガアルヤウデアリマスカ、  
此ノ機會ニ申添ヘテ置キマスカ、硝石ヲ以  
テ代用スルコトハ、既ニ各府縣ニ通牒ヲ出  
シテ居ルノデアリマス、是ハソレトシマシ  
テ、言ツタダケノモノハ出ス、斯ウ云フ意  
味デアリマス、硝石ヲ以テ代用スル部分ガ、  
硫酸ニ致シマス約六萬噸足ラズ位アラウ  
カト思ヒマスカ、ソレハ差引イテ殘リノ硫  
安ニ付テノ趣旨デアリマスカ、左様ニ御  
諒承願ヒタイト思ヒマス

ソレカラ山口縣ニ對スル硝石ノ硫酸代用  
トシテノ配當ガ少シ多過ギルト云フ御話デ  
アリマス、是ハ先般モ別ノ機會ニ於テ御話  
ヲ聽キマシテ、多少其ノ嫌ヒガアルヤニ私  
ハ實ハ考ヘテ居ルノデアリマス、能ク是ハ  
内情ヲ調査致シマシテ、十分調整致シタイ  
ト考ヘテ居リマス

ソレカラ限月ヲ繰延ベザルヲ得ナイ事情  
ガ起ツテ繰延ベタ場合ニ、アト打切ルコト  
ガアリハシナイカト云フ御話デアリマスカ、  
是ハ今回出來ルダケ限月通りニヤリタイト  
云フ趣旨ヲ以テ、一生懸命ニヤツテ居ル次  
第デアリマス、多少遅レルト云フコトモ或  
ル程度アリマスカ、ソレハ遅レマシ  
テモ大シクコトハナイト考ヘテ居ル次第  
デアリマス、隨テソレ打切ルコト云フヤウナ  
コトハ恐ラクアルマイト考ヘテ居リマス

○國光委員 兎ニ角硫酸ハ智利硝石ヲ以テ  
代ヘルコトガ出來ルト云フコトニナツテ居  
ルノデアリマシテ、又今ノヤウナ御答辯ニ  
ナルダラウト思ツタノデアリマスカ、實際  
ハ今ノヤウニ麥肥ニモ使ヘスシ、硝石ノ元肥  
ニモ使ヘヌト云フ事情ガアリマスカ、今  
御述ニナリマシタヤウニ、出來ル限リノ調  
整ヲ御願シタイ、實際ニハ困ツタ問題デア  
リマス、是ダケ希望シテ置キマスカ、私ノ對  
策部長ニ對スル御尋ハ大體之ヲ以テ打切リ  
マシテ、又農林大臣ガ出ラレマシタ際ニ御

同致シタイト思ヒマス

○熊谷委員 今マデ内地ニ入  
リマシタ實績ト申シマスカ、是ハ統計ノ取  
リ方デ多少狂ヒガアリマスカ、其ノ點ハ  
豫メ御諒承ヲ願ヒタイト思ヒマスカ、前年  
ノ十月即チ本特産年度ノ初メカラ本年ノ二  
月マデニ、内地ニ輸入ヲ致シマシタ約  
四十萬九千噸ニ上ツテ居ラウト思ヒマス、  
ソレデ滿洲ノ方ト吾々ノ方トノ交渉デハ、  
三月以降六七月ノ交マデニ於キマシテ、約  
五十萬噸程度ノ輸ニ付テ、入レテ貴ヒタイ  
ト云フ交渉ヲ致シテ居ル次第デアリマス、  
是モ或ル程度其ノ目鼻ハ付イテ居ルノデア  
リマス、其ノ確信ノ問題ニナリマスカ、  
中々難カシイ話デアリマスカ、現在ノ豆ノ  
出越狀況、大連ノ油房ノ製造能力及ビ現實  
ノ製造狀況等、客觀的ナ諸般ノ條件ヲ綜合  
考査シテ見マス、是ハ中々五十萬噸ハ愚  
カ、四十萬噸ガ一體行タノカ行カヌノカト  
云フコトヲ實ハ心配ヲ致シテ居ルヤウナ次  
第デアリマス、サウ云フヤウナ次第デアリ  
マシテ、輸ノ輸入ニ付キマシテハ必ズシモ  
樂觀ヲ許サナイ事情ガアルト考ヘテ居ル次  
第デアリマス

ハ相當大豆粕ニ期待ヲ持ツテ居ル譯デアリ  
マス、然ルニ一頃ハ農林省デハ、是ハ相當  
確信ガ持テ居ルノダト云フヤウナ御發表ヲナ  
サツテ居ツタノデ、特ニ其ノ期待ヲ持ツテ  
居ツタ、其ノ後大分曖昧ナ態度ニ變ツテ來  
テ居ル、ソコニ色々複雑ナ事情ガアルダラ  
ウト思フ、最初ハ宜イト言ツテ居ツタガイ  
ケナクナツタノデ、其ノ後ノ對策ニハ非常  
ニ困ツテ居ル、斯ウ云フノデス、ソコデ唯  
確信ガナイトカ、或ハドウモ困難デアルト  
カ言ツテ、何カソコニ一脈見込ガアリサウ  
ナ、ナササウナト云ツタヤウナコトダト、  
農民ノ今年ノ肥料ニ對スル態度ト云フモノ  
ハドウモハツキリシナイヤウナコトニナル  
ト思フ、見込ガナイナラナイ、アルナラア  
ルト其ノ點ハツキリ出來ナイモノデスカ、  
若シ滿洲カラ入ラナイコトニナルト、何カ  
ソコニ或ル事情ガアルノカ、ナイ管ハナ  
イト思フ、實際アル管ノモノガ出テ來ナイ  
ト云フノデスカ、出テ來ナイト云フノニ  
ハ何カ理由ガアルニ違ヒナイ、其ノ根本的  
ナ理由ト云フモノガ、日本ノ現實ヲ以テシ  
テ如何トモスルコトガ出來ナイト云フノナ  
ラバ、是モ亦萬已ムヲ得ナイダラウ、斯ウ  
思フノデス、ソレデ私ノ御伺致シタイ要點  
ハ、一體ドウ云フ點ガ難點トナツテ大豆粕ガ  
出ナイヤウニナツテ居ルノデアルカ、滿洲  
トノ交渉デ困難ダト日サレテ居ル事情ヲ一  
ツ率直ニ承リタイト思ヒマス

○重政政府委員 屬、サウ云フ點ニ付テハ他  
ノ委員カラモ御質問ガアツタノデアリマシ  
テ、一應御答ヲ申上テ居ツタノデアリマ  
スカ、重ネテノ御質問デアリマスカ、重  
複致シマスカレドモ一應申上テ見タイト  
思ヒマス、是ハ實ハ滿洲國トノ交渉ニ於テ

ハ難點ガアルト云フ次第デアリナイノデアリ  
マス、今私ガ申上テマスカ、三月カラ七  
月マデノ間ニ五十萬噸モ是ガ來ルト云フコ  
トニナレバ、要スルニ當リ約東ノ履行シ  
テ尙未餘ガアルト云フコトデアリマス、所  
ガ私ト致シマシテハ滿洲國ガ承知シタト云  
フコトデ、日本ノ農村ニソレヲ其ノ健適用  
シテ割當ヲスルト云フコトハ出來ナイノデ  
デアリマス、客觀情勢ニ於テ其ノ履行ガ確カナ  
リヤ否ヤト云フコトヲ見究メザル以上ハ、  
此ノ配給ガ出來ナイコトハ當然ナコトデア  
ラウト思フノデアリマス、ソコデ只今御質  
問ニナリマシタ確信アリヤト云フコトニ對  
シテハ、私ハ確信ヲ持ツテ居リマセヌカ  
ラ其ノ通りヲ申上テタノデアリマス、  
然ラバナゼ滿洲國ガサウ云フ風ニ約束シテ  
是ガ履行ニ努力スルト云フニ拘ラズ、確信  
ガ持テナイカ、斯ウ云フコトニ相成ル譯デ  
デアリマスカ、ソレハ當初去年ノ十月末頃  
デアリマシタカ、或ハモツト前デアリマシタ  
致シマシタ、同時ニ對日輸出シテ百七  
萬噸ヲ持ツテ來ルコトハ、第一回ノ收穫豫想  
ガ四百七十八萬噸アルト云フ豫想ノ下ニ致サ  
レタノデアリマス、所ガ其ノ後最近ニ至リ  
マシテハ三百八十萬噸ト云フ豫想ニナツテ  
居リマス、サウシマスト其ノ間八九十萬噸  
ノ減收ガアルト云フコトガ、出越ガ惡イ  
ト云フコトノ非常ニ大キナ原因ニナツテ居ル  
コトト思フノデアリマス、非常ニ不作デア  
ル、斯ウ云フコトガ最近ニ至ツテ分ツタ、  
其ノ爲ニ吾々トシテハ其ノ情勢ガ非常ニ變  
ウテ來ルダラウト云フ想像ヲ持ツタノガ第  
一デアリマス、ソレカラ地場消費ガ非常ニ  
殖エテ居リ、例年ノ殆ド一倍半、餘計ニ見

達ムノニアツテハ殆ド二倍ニモ地場消費ガ  
殖エテ居ルダラウト云フヤウナ豫想モ行ハ  
レテ居ル位デアリマシテ、三百八十萬噸ノ  
中二百萬噸ハ地場消費ニナルダラウト云フ  
ヤウナ考ヘ方行ハレテ居ルノデアリマス、  
サウ云フ風ニ見テ參リマスカ、假ニ地場消  
費ガ二百萬噸ト致シマシテ對外輸出餘力ハ  
殘リ百八十萬噸シカナイト云フ勘定ニナツ  
テ參ルノデアリマス、之ニ依ツテモ豆及ビ  
粕ニナツテ輸出セザルベキ數量ガ如何ニ例  
年ニ比シテ少イカト云フコトハ想像ガ御付  
キニナルト思ヒマスカ、ソレ等ノ原因ニ依  
リマシテ、豆ノ出越ガ十分ニ行カナイト考  
ヘテ居ルノデアリマス、吾々ト致シマシテ  
ハ非常ニ心配ヲ致シマシテ、此ノ問題ニ付  
デアリマスカ、不幸ニシテ益々惡イ狀況  
ガ重ナツテ今日ニ至ツテ居ルト云フ狀況  
デアリマシタ、色々豆ノ出越促進ノ爲ノ強制  
收買ト云フヤウナコトモ考ヘラレ、又サウ  
云フコトモ言ハレテ居リマスカ、之  
ヲ單ニヤツタトシテモ、豆ガ相當出テ來ル  
カト云フコトニ付テハ尙ホ私共トシテハ確  
信ヲ持ツコトガ出來ナイ狀態ニアルノデア  
リマス、吾々ノ大體ノ見當デアリマスカ、  
十分調査ニ基イテヤルト云フ譯デアリ  
マセヌガ、需給推算其ノ他色々出來ルダ  
ケノ資料ニ付テ、又現實ノ豆ノ出越リ狀況  
等カラ見テ、今後ニ於テ三十萬噸ノ粉ガ來  
レバ先ツ宜イト云フ見當ヲ持ツテ居リマス、  
ソレデハ困ルデハナイカト云フ御心配、御質  
問ガ當然ニ出ルト思ヒマスカ、兎ニ角非常  
ニ困難デアリマスカ、或ル程度ノ難  
ダメトシテモ吾々トシテハ見當ヲ付ケテ政  
策ヲ實行スルノデナレバ、其ノ場ニ當ツ

○森田委員 是非一ツハツキリシテ裁  
キタイト思フノデアリマスカ、農民トシテ

第六期第十一號 日本肥料株式會社法務委員會議錄 第六回 昭和十五年三月十二日

五五



現在ノ制當案ヲ作ツタヤウナ次第デア  
リマス、殆ド是ハ過去ニ於ケル其ノ地方ノ  
搬入ノ實績ト云フモノヲ其ノ儘採用シテ居  
ルノデアリマス、大體ニ於テハ只今申シマ  
シタヤウニ四月中旬マデニ貫ヒタイト云フ  
ヤウナコトデアラウト思ヒマスガ、然ラバ  
其ノ後ハ要ラナイノカト云ハバサウデハナ  
イ、作物ノ關係上モ其ノ後ニ於テモ要ル  
モノガアラウト思フノデアリマス、ソコデ  
實際、過去ニ於テノサウ云フ事實ニ基キ  
テ、ソレヲ尊重致シマシテ北海道、東北、  
北陸ニ於テハ現在ノヤウナ制當案ヲ作ツタ  
次第デアリマス、併シナガラ過去ノ時代ニ  
於ケル硫安ノ情勢、今日ニ於ケル硫安ノ情  
勢ト云フモノハ、自ら其ノ間量ニ於テ差異  
ガアリマスノデ、少イ場合ニ於テハ「ストッ  
ク」モ少イコトデアリマスノデ、出來ルダ  
ケ早ク貫ヒタイト云フコトハ決シテ御無理  
トハ考ヘマセス、デアリマスカラ出來得ル  
限リ御意旨ニ副フヤウニ致シタイト考ヘマ  
セガ、現在ノ所直チニ左様致シマスト云フ  
程度ニハ參ツテ居ラナイノデアリマス、御  
意旨ヲ御伺申シタイコトハ硫安  
「アンモニヤ」ノ製造デアリマス、之ヲ現在  
ノ日本ノ工業ノ合理化ニ依ツテ相當量増産  
ガ出來ル可能性ガアルト聞クノデアリマス、  
即チ鐵工業乃至日鐵アタリデヤウテ居ル大  
工場ノ經營、是カラ出テ來ル瓦斯デアリマス、  
之ヲ合理的ニ硫安ニ轉化シテ行ク、サウス  
ルト少クモ硫安ノ生産ト云フモノハ一箇年

ニ百万噸ハ増産出來ルト云フ風ナ意見ガ學  
者ノ間ニ唱ヘラレテ居ルノデアリマスガ、  
果シテサウ云フ可能性ガアルト云フコトヲ  
農林省デ御認メニナツテ居ラレカドウ  
カ、ソレニ對シテノ御研究ガアリマスナラ  
バ一通リ伺ツテ置キタイト思ヒマス  
○重政政府委員 其ノ問題ハズツ以前カ  
ラ硫安製造界ニ於ケル一ツノ宿題トモラレ  
テ居リマシテ、私モ數年前八幡ノ製鐵所ヘ  
行ツテサウ云フ意見モ述べテ見タコトガア  
リマシマスガ、兎ニ角廢瓦斯ヲ利用致  
シマシテ硫安ヲ製造致シマスコトハ、工業  
的ニ可能デアアルコトハ申スマデモナイコト  
デアリマス、現ニ大牟田ノ東洋高壓ニ於テ  
ソレヲヤウテ居ルノデアリマス、東洋高壓  
ハ御承知ノヤウニ三池製鐵所ト合併シテ東洋  
高壓ニナツテ居リマスガ、其ノ元ノ三池製  
鐵所ノ製造法ト云フモノハ、是ハ三井製鐵所  
「コータス」廢瓦斯ヲ使ツテヤウテ居ツタ  
「コトリス」廢瓦斯ヲ使ツテヤウテ居ル次  
デアリマス、ソレハ現在マダヤウテ居ル次  
第デアリマス、此ノ廢瓦斯ヲ利用ノ可能デ  
アルコトハ勿論デアリマスガ、唯現  
在日鐵其ノ他ニ於キマシテ廢瓦斯ヲ使ツテ  
居リマスノハ、ヤハリ燃料トシテ使ツテ居  
ルノデアリマス、之ヲ若シモ硫安製造用ニ  
取ルナラバ、ソコニ燃料ノ石炭ヲ多ク使用  
スルト云フコトニ當然ナツテ參ルノデアリ  
マシテ、實際的ノ問題ト致シマシテハ石炭  
ノ問題トソコニ絡ムコトガ考ヘラレルノデ  
アリマスガ、併シ吾々ノ方面カラ申シマス  
レバ、斯様ナ瓦斯ヲ初カラ燃料ニ使フト云  
フコトハ非常ニ資源ノ浪費デアル、一應此  
ノ中ニアリマスル混合瓦斯ヲ取ツテ硫安ヲ  
製造シテ、其ノ残りノ瓦斯ヲ燃料ニ題スト  
云フコトデ、ソレガ爲ニ初カラ此ノ瓦斯ヲ

要ト致スコトニ相成ラウカト思フノデアリ  
マス、サウ云フ關係デアリマスカラ、私能  
ク和蘭及ビ白耳義方面ノ硫安ノ製造工場ト  
鐵工業トノ關係ハ存ジマセスガ、是ハ我國  
ニ於キマシテモヤハリ合理的ニ之ヲ利用セ  
ントスレバ、寧ろ硫安會社ト製鐵會社ガ相  
竝ンデ行クト云フコトガ必要デハナイカト  
云フ風ニ考ヘテ居リマス  
○森田委員 是ハ非常ニ大キイ問題ダト思  
ヒマス、我國ニ於ケル硫安ノ生産ハ百二十  
万噸デゴザイマスガ、ソノナ程度ノモノダ  
ト云フノデアリマスガ、ソレニ對シテ百萬  
噸ノ増産ガ出來ル、斯ウ云フ計畫ガ立ツト  
致シマスレバ、是ハ日本ノ肥料界ニ取ツテ  
ハ決シテ輕キニ付スベキ問題デハナイ、今  
日電力ガ不足デ若干ノ補充ガアツタトカ、  
ナカツタトカ云フヤウナコトガ問題ニナツ  
テ居ル、併シ根本的ニ經營ノ合理化ヲヤル  
コトニ依ツテ、百萬噸ノ増産ガ可能ダト云  
フコトニナリマスレバ、是ハ農林省デ相當  
力ヲ入レナケレバナラナイコトデハナイ  
カト思フ、是ダケ百姓ガ困ツテ、サウシテ  
眞劍ニナツテ、肥料ノ問題ニ付テオ五ニ汗  
水流シテ議論シ合ツテ居ル、唯議論シテ農  
林省ノヤウナコトガ善イトカ惡イトカ云フ  
コトヲ批判シテ見タ所デ、今マデノヤウナ  
批判ノ爲ノ批判デハ私ハ意味ヲ成サナイト  
思フ、所ガ斯ウ云フコトデ經營ノ合理化ヲ  
ヤリマス、今申シマス通りニ百萬噸ノ増  
産ガ出來ルト云フコトニナリマスレバ、先  
ヅ肥料ノ根本ガ是デ一應解決ガ付イタモノ  
ト見テ宜イ、ソコデ農林省トシテ果シテ之  
ヲ日本ノ農業界ノ爲ニ一ツ奮發シテヤウテ  
見ヨウト云フ御決意ヲナサル御氣持ガアリ  
マスカドウカ、其ノ點ヲ一ツ承リタイ

燃料ニ題ス場合ト、今ノ残りノ瓦斯ヲ題ス  
場合トノ差額ニ付テハ石炭ヲ以テ補給スル  
ト云フ方策ニ出ナケレバイカスト云フコト  
ハ、是ハ只今御話ニナリマシタ通りデアリ  
マス、今回ノ日本肥料株式會社法ニ於キマ  
シテ、此ノ會社ガ或ハ肥料ノ製造ニ投資ヲ  
爲シ、或ハ自ら經營ヲ爲スト云フヤウナ規  
定ヲ置イテ居ルノデアリマス、サウシテ積  
極的ニ製造方面ニ乘出サウト云フ考ヘ方ヲ  
持ツテ居ルノデアリマスガ、サウ云フ場合  
ニ於ケル先ヅ第一ノ目標ト申シマスガ、サ  
ウ云フモノハ、御述ニサリマシタヤウナモ  
ニ付テ實ハ考ヘテ居ルヤウナ次第デアリ  
マス  
○森田委員 モウ少シ其ノ内容ニ付テ承ツ  
テ、後デ商工大臣ニ御禮シタイト思ツテ  
居ルノデアリマスガ、今ノ瓦斯ヲ燃料ニ利  
用シテ居ルト云フコトデ、石炭ノ問題ニ關  
聯シテ來ルコトハ當然ノコトト思フノデア  
リマス、併シ是モ聞ク所ニ依リマス、出  
テ來ル瓦斯ノ五割方水素デアアル、ソレデ五  
割ノ水素ヲ利用スルト云フコトガ硫安ノ基  
本ニナルモノデ、後ノ殘サレタ五割ノ瓦斯  
ト云フモノハ是ハ寧ろ水素ヲ分離スルト燃  
力ガ強クナルノデ、大體分離シナイ時ノ七  
割ノ燃料ヲ持ツコトニナル、結局三割ダケ  
割ノ燃料ヲ持ツコトニナル、結局三割ダケ  
石炭ヲ補給スレバ宜イノダト斯ウ云フ風ニ  
聞イテ居ルノデアリマスガ、此ノ點ニ對シ  
テ其ノ通りデアアルカドウカト云フ點ヲ一ツ  
伺ヒタイト思ヒマス  
○重政政府委員 サウ云フ點ニナルト實ハ  
私モ能ク存ジテ居リマセスガ、瓦斯ノ燃料  
トシテノ量ハ、石炭自體ニ依ツテモ違フコ  
トト思ヒマスガ、三池製鐵所アタリデ元ヤウ  
テ居リマシタ時ノ話デハ、四割位ノ減耗ニ

ドウモ本當ト思フ、例ハ日本鋼管ガア  
ワテ、ソコカラ相當ナ瓦斯ガ出テ來ル、八  
幡製鐵所ト何故之ヲヤラナイノデアルカ、  
サウスト日本ノ特殊會社ガカラダト言フ、  
特殊會社トシテ製品ガ一定ノ程度儲カ  
ウニ利潤ガ確保サレテ居ル、利潤ガ確保サ  
レテ居ルモノデスカラソレヲ合理化スル必  
要ガナイ、本當ニアレガ合理化サレルト云  
フコトニナレバ、一面今ノ製鐵會社ヲヤ  
ト同時ニ、ソレト並行シテ一ツノ會社トシ  
テ確定シテ附屬會社ガ出來ルト云フノ  
ガ、大體資本經營ノ合理化ノ上カラ考ヘテ  
當盤ノ歸結ナラザル、ソレヲヤラナイノ  
ハ今ノ製鐵ダケデ固ニ合ワテ居ルカラデア  
ル、ソコヲ國家トシテ非常ニ考ヘナケレバ  
ナラス、若シ是ガ製鐵會社ト、附屬サル  
確定會社ト一緒ニナツテヤルト云フコトニ  
ナルト、生産費ト云フモノハモット安クナ  
ツテ來ル、生産費ガ安クナツテ來レバ、此  
處デ製鐵シタモノハモット安ク提供サレ  
テ、今ノ日本ノ低物價政策カラ見ルトハ  
保障シテ居ルモノダカラ、ソレデ「コスト」  
ヲ下ゲルト云フコトニ付テ一向考ヘナイノ  
ダ、ソレガ此ノ確定會社ガ附設サレナイ根  
本ノ原因ダト云フ風ナ説ヲ私ハ聞イテ居  
ルデアリマス、無論私モ專門ニ其ノ方ヲ研  
究シタノデアリマス、果シテドウ  
カ分リマセシガ、恐ラク此ノ學者ノ説ハ本  
當ダト云フ氣持ガスルノデアリマス、之ニ  
對シテ對策部長サン如何ニ御考ニナツテ居  
ラレマスカ、御同致シマス

○重政政府委員 御説ノヤウニ販賣價格ヲ  
保障セラレバ、更ニ廣ク申上ゲマシレバ  
色々ノ統制ヲ強化セラレバ、反面ニ於キ  
マシテサウ言フヤウナ技術ノ向上ヲ阻止  
スルト云フコトハ、非常ニ心配ニナル事柄  
デアリトデアリマス、例ハ鐵ニ付テ申シ  
マシテモ、生産費ノ安イモノハ安ク買ヒ、  
高イモノハ高ク買フト云フヤウナ行方デ參  
リマスレバ、生産費ガ安イト云フコトノ原  
因ハ色々經營ニ於ケル冗費ノ節約、或ハ經  
營ノ合理化ト云フコトニ依ツテ、又經費ガ安  
クナル一面ニ於テハ技術ノ向上ニ依ツテ生  
産過程ニ於ケル「コスト」ガ安クナル、或ハ原  
料ガ安イ、色々ナ理由ニ依フテ安イノデア  
リマス、ソレヲ各々申上ゲテヤウナ所謂  
ノ上デ考ヘテ合理的ナ行キ方ヲ考ヘマシ  
マシ、技術ノ進歩ヲ阻害シ、經營ノ合理化ヲ  
阻害スルト云フヤウナコトニ陥リ易イ弊害  
ガアラウト思フノデアリマス、今ノ日本製  
鐵ノ實績其ノ他ニ付テハ能ク承知ヲ致シテ居  
リマセシノデ、具體的ニソレガドウデア  
ルト云フコトヲ申上ゲネルノデアリマスガ、  
併シナガラ假ニサウデアツタトシテモ、サ  
ウ言フヤウナ單純ナ理由デ易キニ就クト  
モ考ヘラレヌノチヤナイカ、是ハ御承知ノ  
ヤウニ、確定ノ製造ト申シマスモノハ相當  
ノ固定資本ヲ要サナケレバナラナイ工業デア  
ルノデアリマス、ト同時ニ非常ニ高價ノ工  
業デアリ、非常ニ高價ノ工業デアルノデア  
リマシテ、謂ハバ非常ニ進シテ高級ノ工業  
ノ部類ニ屬スルモノデアリマスノデ、其ノ  
製造技術等ニ於テモ極メテ優秀ナル技術ヲ  
必要ト致ス關係モアリマシテ、一般ノ輕工  
業其ノ他ノヤウニ、簡單ニ金サヘアレバ出  
來ルト云フヤウナ種類ノモノト違ヒマス、  
假ニ今直チニサウ云フコトデ、此ノ廢瓦斯  
ノ利用ノ事業ヲ起スト云フ決意ガアツタト

シテモ、少クトモ是ガ建設ニハ通常ニ於テ  
兩三年ハ掛ル、如何ニ早クヤツテモ一年半  
ハ掛ルト云フヤウナ從來ノ現狀デアリマス、  
ノデ、唯單純ニサウ云フヤウナコトダケデ  
恐ラク是ガ完全ト云フコトハ出來ナイノデ  
ハナイカト私ハ感ズルノデアリマス、併シ  
ソレ等ノ内容ニ付テハ、日本製鐵其ノモノ  
ニ付テノ知識ガ私アリマセシノデ、何トモ  
的確ナコトハ申上ゲ難キ次第デアリマス  
○森田委員 只今ノ御答辯デ、原則的ニハ  
私ノ申上ゲタコトト大體同ジ考フ御持チニ  
ナフテ居ルト是調スルコトガ出來ルト思  
フデアリマス、ソレデ結局只今申上ゲマ  
タウナ事情ガ、相當大キイワノ邪魔ニ  
ナツテ居リマシテ、ソレデ是ガ出來ナイノ  
ダト云フ風ハ私ハ聞タノデアリマス、無論  
レ一ツデアルトハ申上ゲマセシガ、ソレガ  
重要ナ一ツノ邪魔ニナル條件デアル、サウ  
致シマス、是ハ國家トシテ相當思フ致サ  
ナケレバナラス點デハナイカ、今日農民ノ  
犧牲ト云フモノハ非常ニ大キイモノデア  
リマス、而モ是ハ肥料ノ問題ガ若シ旨ク行カ  
スト云フコトニナリマス、來年ノ食糧問  
題ニモ直ダ影響ヲ及ボシテ來ルノデアリ  
マス、國家ノ力デ今ノ資本ノ上ニ或ル一ツノ  
計畫ヲ御持チナサレテ、強イ力デ之ヲ實現  
スルト云フコトガ非常ニ大切ナ事ダト思  
フデアリマス、只今ノ部長サンノ御答辯  
ハ一トモ部長サンノ御立場カラ是レ以上ノ  
答辯ヲ得ルコトハ無理ナ所ガアルト思  
デアリマスガ、何レハ商工大臣、農林大  
臣、陸軍大臣等ニ對シテモ此ノ實情ヲ能ク  
話シマシテ、サウシテ是非ハ早ク着手シ  
テ貴ハナケレバナラナイ、此ノ事變ガ二年

三年繼續スルト云フコトニナレバ、來年ハ  
又是ヨリ不足ニナルト云フコトハ、今日  
カラ考ヘテ置イテ宜イコトデアリナイカト思  
ヒマス、ドウカ其ノ際ニハ部長サンノ  
手許デ十分御計畫ヲ御定メ下サイマシテ、  
國策トシテ實現方御努力ヲ御願申上ゲタイ  
ト思ヒマス、是ダケノ希望ヲ申上ゲマシテ  
私ノ質問ヲ打切りマス、大臣ニ對スル質問  
ハ留保シテ置キマス  
○熊谷委員 野澤君  
○野澤委員 同僚諸君カラ本法案ニ關  
テ致シマシテ色々質問蒙ラセテアリマス  
ノデ、重要シタ點ハ成ベク選ケマシテ、數  
點ニ互フテ質問ヲ致シタイト思フノデア  
リマス  
先ツ第一ニ本法ノ粗ヒドコロハ、肥料ノ  
偏在防止トカ、適期ノ配給、生産ノ確保ト  
云フヤウナ所ニ重點ガ置カレテアルヲシテ  
見受ケルノデアリマス、ソレハ結構ナコト  
デアリマス、併シ果シテ現在ノ機構ヲ以テ  
シテ、以上ノ目的ガ達シ得ラレカドウカ、  
非常ニ疑問ニ思ツテ居ル者デアリマス、此  
ノ點ニ付キマシテハ本會議ニ於キマシテモ、  
私農林大臣ニ其ノ點ヲ述ベテ答辯ヲ求メ  
デアリマスガ、サウ云フ野澤君ノヤウナ  
不安ヲ與ヘルヤウナコトハ成ベク避ケ  
テ一トハ申シマセシケレドモ、慎シク貴  
タイト云フ意思表示デアリマシテ、マア政  
府ヲ信賴シテ貴ヒタイト云フコトデア  
リマス、私ハ唯政府ヲ信賴スルトカ、信賴シ  
ナイト云フコトハ兎ニ角、一應計畫シタ  
デ特ニ其ノ目的ガ達セラレナイト云フコト  
ニナリマスト非常ニ不幸ニナリマスノデ、  
改メテ又委員會ノ席上ニ於キマシテ、以上  
ノ點ノ具體的ナ目的解決ニ關スル御所見ヲ

政府委員カラ御示願ヒタイト思フノデア  
リマス  
○重政政府委員 配給統制ニ付キマシテハ、  
御承知ノヤウニ物ガ足ラナクナツテ參リマ  
スレバ、一層配給統制ノ強化ヲ必要トスル  
コトハ申スマデモナイコトデアルト思  
デアリマス、現在ニ於キマシテハ配給統制  
ノ中樞機關ヲ中央ニ設ケマシテ、各肥料別  
ノ配給統制ヲ實行致シテ居ルノデアリマ  
ス、之ニ依リマシテ窒素、磷酸加里等各種  
肥料ノ間ニ於ケル調和アル配給ガドウモ實  
現ガ困難デアルト思フノデアリマス、是ハ  
肥料ヲ使用スル農家ノ側カラ見、又配給肥  
料ヲ製造スル側カラ見マシテ、調和アル配  
給ト云フコトガ極メテ必要デアルトハ豫  
本豫本望セラレテ居ツタ所デアリマス、隨  
テ政府ニ於キマシテモ、現狀ニ於キマシテ  
モ少クトモ一段ノ調和アル配給ガ致シタイ  
ト云フ考ヲ以テマシテ、色々中樞機關ノ實  
務ニ當ツテ居ル者ヲ一堂ニ會シテ協議ヲ致  
シタコトモアルノデアリマスガ、實行上サ  
ウ云フコトデアツテハ遺憾ノ點ガ多ク、隨  
テ是ハドウシテモ此ノ各種肥料ノ一元配給  
統制ヲヤルコトガ必要デアルト云フコトヲ  
深く感ジタ次第デアリマス、ソコデ此ノ法  
案ヲ提案ヲ致ス考フ持ツタデアリマス、  
ソレガ第一點デアリマス、ソレカラ生産確  
保ノ問題ニ付キマシテハ、先程來森田委員  
其ノ他カラ色々御質問モアリ、御答申  
上ゲタ通り、現在ノ狀態ニ於キマシテハ、  
電力ノ問題及ビ石炭ノ問題、或ハ燐礦石ノ  
問題、船ノ問題、殆ド政府ガ御世話ヲ致  
シテ其ノ原料ヲ供給ヲ致シテ居ルヤウナ現  
狀ニナツテ居ルノデアリマス、而モ各製造  
家ト云フモノハ各一家ヲ成シテ居リマシテ、

五ニ技術ノ融通ハ之ヲ拒否スル、或ハ資本  
ノ關係其ノ他ニ依リマシテ、經營ニ惡イコ  
トガ分ツテ居ツテモ合理化ノ中キヤラナイ  
ト云フヤウナ諸種ノ事情ガアルコトハ、私  
申上ゲルマデモナイ所デアリマス、サウ云  
フヤウナコトガ製造能力ニ非常ニ影響ヲ及  
ボシマシテ、能率ガ惡イト云フコトニナル  
ノデアリマス、サウ云フヤウナ工場モ必ズ  
シモ少クナイト云フ實情ニアルノデアリマ  
ス、ソコデ是等ノ經營ノ能率ノ惡イモノハ、  
一方ニ於テ政府ハ原料ノ供給ニ付テ懸命ノ  
努力ヲ致シテ、肥料ノ重要性ニ鑑ミテ、一  
應デモ多クノ肥料ノ製造ヲ期待ヲ致シテ居  
ルニ拘ラズ、サウ云フ技術的ノ能率十分  
デナイ、或ハ經營上ノ能率十分デナイト  
云フヤウナ事柄ニ依リマシテ、確定ノ製造ガ  
十分ニ行カナイト云フコトハ、少クトモ是ハ  
現下ノ時局ニ於テハ好マシクナイ、隨テサウ  
云フヤウナ工場ニ付キマシテハ、政府ハ工場  
ノ經營ノ管理ヲ此ノ新會社ニ依ツテ爲サシ  
メル、或ハ更ニ進シテサウ云フモノハ工場  
ノ買収ヲスルト云フヤウナコトヲ此ノ會社  
ニ爲サシマシテ、サウシテ少クトモ現在  
ノ製造設備ノ工場能率ト云フモノハ百パー  
セントトニ上ゲテ、サウシテ生産ノ確保  
ヲ圖リタイ、更ニ又先程來色々廢瓦斯ニ付  
テノ問題ガ御質問ガアツタノデアリマスガ、  
サウ云フヤウナ場合ニ於キマシテモ、斯ウ  
云フヤウナ半官半民ノ會社ヲシテ中間ニ立  
タシメテ話ヲ付ケサス方ガ、唯單純ニ資本  
系統ノ違ツテ居ル民間ノ會社ガ交渉スルコ  
トヨリカ、話ガ難マリガ早ク、實現ノ可能  
性ガアルト云フヤウナコトモ考ヘラレルノ  
デアリマス、少クトモサウ云フ「コスト」  
廢瓦斯或ハ製鐵事業ニ伴フ所ノ廢瓦斯ナド

ヲ利用致シマシテ確定ノ製造事業ヲ起スト  
云フヤウナコトニモ、積極的ニ斯ウ云フ會  
社ヲシテ當ラシムルコトガ適當デアルト云  
フ考ヲ以テマシテ、此ノ法案ヲ提案ヲ致シ  
タヤウナ次第デアリマス  
○野澤委員 偏在防止ノ點デ、現在ノ配給  
機構、殊ニ中樞の配給機關ヲ樞軸トシテヤ  
ツテ行クト云フ御話デアリマシタガ、私ハ  
ナイカト思ヒマス、ナゼカナラバ、現在ノ  
ハ結局結果ニ於キマシテ偏在ガ起ルノデハ  
ナイカト思ヒマス、ナゼカナラバ、現在ノ  
配給機構ノ中樞機關ト云フモノハ、製造組  
合カラ此ノ日本肥料會社ニ行キ、ソレカラ  
ソレヲ通シテ今度ハ全購辦乃至ハ指定販賣  
店ニ行クト云フ關係ニナツテ居リマス、全  
村ノ購辦組合ニ流レサウシテ農家ニ渡ル、  
片一方ノ指定販賣店ノ商人ノ方ハ、府縣  
卸商業組合ニ流レ、ソレカラ町村ノ小賣商  
組合ニ流レテ農家ニ渡ル、斯ウ云フ機構  
ノデアリマス、斯ウ云フ機構デアルト結局  
中間ノ幾多ノ機構ヲ經テ行クノデアリマシ  
テ、農家ノ手ニ渡ルマデニハ是ハ容易ダハ  
ナイノデアリマス、特ニ問題ハ、只今ノ對  
策部長ノ御意見ニ依リマス、偏在防止ヲ  
シタリ、或ハ生産ノ確保ヲスル、其ノ目標  
ノ下ニ此ノ法案ヲ作ツタト云ヒマスケレド  
モ、事實ハ中キアナクナラナイヤウニハ  
行カナイト思ヒマス、例ハ製鐵組合カラ  
會社ニ行ク場合ニハ、十貫目入一噸ニ付テ  
三錢ノ手数料ヲ取ル、ソレカラ今度ハ其ノ

會社カラ指定販賣店ニ流レル時分ニハ二錢、  
指定販賣店カラ卸商ニ行ク場合ニハ四錢、  
卸商カラ小賣商ニ行ク場合ニハ八錢、合セ  
テ一噸ニ付テ十六錢モ手数料ヲ取ラレテ居  
ルノデアリマス、是ハ配給機構ニ缺陷ガア  
ルノデアリマス、配給機構ノ缺陷ト云フコ  
トモ一ツデアリマスガ、斯ウ云フ段階ヲ經  
テ行キマスルト、例ハ指定販賣店ナラバ  
賣店ニ肥料ガ「ストック」シテ、ソレガ中キ卸  
商業組合ニ流レナイヤウナ場合モアルシ、  
卸商業組合カラ小賣商業組合ニ流レナイヤ  
ウナ場合等、幾多複雑ナ事情ガアルノデア  
リマス、デアリマスルカラ、現在ノ中樞的  
配給機構ト云フモノヲ改革致シマシテ、サ  
ウシテ偏在ヲ防止スルト同時ニ、配給ノ圓  
滑ト云フコトモ考ヘナケレバナラナイト私  
ハ思ヒマス、ソレニハ「メーカー」カラ直ダ  
農家ニ渡ルト云フヤウナコトモ出來マセシ  
ガ、モット簡易ニ之ヲ考ヘテハドウカ、其  
ノ方法ト致シマシテハ、幾段階モアル所ノ  
此ノ機關ヲ整備統制スル御考ガ當局ニアル  
カナイカト云フコトヲ御聽キシタイト思  
フノデアリマス  
○重政政府委員 商人ノ系統ヲ通ジテ流レ  
マス此ノ機構ニ付キマシテハ、今御指摘ニ  
ナリマシテヤウニ、色々改善ヲスベキコト  
ハ多クアラウト思フノデアリマス、ソレ等  
ノ點ニ付キマシテハ、極力今後改善指導ヲ  
加ヘテ行キタイト考ヘテ居ル次第デアリマ  
ス、唯一言附加ヘテ申上ゲテ置キマスガ、  
製造工場カラ現物ヲ積出シマスノハ、直チ  
ニ小賣ノ所マデ積ミマスノガ大部分デア  
ルノデアリマス、各府縣ノ各購辦受渡ハ大體  
於テ致ス關係上、途中ノ指定商トカ、或ハ府  
縣ノ卸商ト云フヤウナ手ヲ通ズルト申シマ





ノ内容ヲ解スルニ苦シム者デアリマスガ、當局ノ意見ヲ一ツ承リタイト思ヒマス

○重政政府委員 勿論非常な數字ガ殖産ト相成ルノデアリマスガ、却ツテ表面倒減ト云フコトガアリマシテモ、結局究極ノ配給統制ノ大目的ヲ遂行スル爲ニ整理ヲシテ行クト云フ考ヘ方デ、著々ト施設ヲ行フテ行クニ於テハ大シクコトハナイダラウト云フコトヲ申上ゲタノデアリマシテ、具體的ニ申上ゲマス、人數ガ四万人ノ者ガ三百人殖産エタカラソレ直グドウト云フコトハナクシテ、此ノ機構ノ整備ト云フコトカラ申上ゲマスレバ、其ノ四万人ト云フモノニ付テハ小賣商或ハ卸商或ハ指定商、サウ云フモノ、一體指定商ヲ廢メルカ廢メスカ、或ハ其ノ配給ヲ致シマス場合ニ、各町村ヲ擔任スル所ノ商人ヲ指定スルカ云フヤウナ、他ノ方面ニ於ケル色々ナ配給統制強化ノ手段ガ實ハ重要デアルト云フ意味ニ於テ申上ゲタノデアリマシテ、ソレハ多クナイコトガ結構デアルトコトハ勿論デアリマス

カ、此ノ系統機關ガ何トカ整理出來ナイモ、ノデセウカ、實際問題トシテアナタノ仰シヤル通りニ、肥料ハ必要ナ時ニ速ニ配給ヲサレルト云フコトデナクテハ、幾ラ肥料ヲ多ク配給サレテモ何ニモナラヌ、ソレハ御尤モデアリマス、併シテ斯ウ云フヤウナ幾ツモノ機關ヲ通シテ來ルト云フト、ソレハ例ヘバ肥料ハ其ノ機關ヘ行クテハ又渡ス、又渡スト云フ譯デアリマセウケレドモ、指圖ト云フモノガナケレバドウモ斯ウモ身動キガ取レヌノデアリマスカラ、サウ云フ點ニ付テハ整理シヨウトシテ居ルナラバ、一ツ政府ノ御所見ヲ率直ニ御馳キシタイ、今一ツハ、斯ウ云フ風ニ手數料ヲ澤山取ラレタノデハ、實際ニ於テ此ノ法案ノ趣旨ニモ私ハ固ハナイコトダト思フノデス、其ノ二ツノ點ヲ考ヘ合セル時ニ、政府ト致シマシテハドウ云フ風ニ今シヨウト考ヘテ居ルノカ、或ハドウ云フ方向ニ之ヲ持ツテ行カウト云フノカ、其ノ御考ノ點ヲ此處デ御話ヲ願ヒタイト思ヒマス

○重政政府委員 今ノ配給ノ段階ニ付キマシテハ、理想ト致シマシテハ、出來ルダケ簡略ニ致スコトガ宜シト云フ考ヘ方ヲ持ツテ居ルノデアリマス、併シハ現行ノ問題デアリマスルノデ、直ニ理想ヲ實現スルト云フヤウナコトハ、却ツテソレガ爲ニ混亂ヲ來スト云フコトデアリマスレバ、斯ウ云フ重大ナ時局下デアリマスルノデ、直接ソレガ食糧生産ニ影響ヲ及ボスト云フヤウナコトモアリマスルノデ、一乃兩斷ニ吾々ノ理想ヲ實現スルト云フコトハ餘程考ヘナケレバナラス、斯様ニ考ヘテ居ル次第デアリマス、ソレカラ手數料ノ問題ニ付テハ御意見デアリマシタガ、是ハ實ハ私他ノ

ヤハリ農業生産用ノ資材等ヲ取扱ツテ居リマスガ、サウ云フヤウナモノカラ見マス、肥料ノ配給ノ爲ニ必要スル經費ト申シマスカ、其ノ手數料ト云フモノハ、恐ラク他ノ如何ナル物資ニ比較シテモ、肥料クヲ手數料ノ安イモノハナイイデハナイイカト云フ風ニ、最近感ズルヤウナツタノデアリマス、二錢、四錢八錢ト致シマシテモ、是ガ十四錢、中樞機關ガ三錢取りマシテモ十七錢、是デ品物ハドウカト申シマスレバ、一依ニ付テ四圓何ガシト云フヤウナモノデ、結局配給經費トシテ支拂フモノハ是ダケダト云フコトヲ見テ見マス、又之ヲ批評スル者カラ言ヘバ、切手ヲ賣ル歩戻シニモ當ラヌチヤナイイカト云フ風ニモ言ハレルノデアリマス、成程考ヘテ見レバソレニ近イヤウナコトニモ、物ニ依ツテハナルヤウニ考ヘラレルノデアリマシテ、若シ無機質肥料ガ統制ヲ行ク場合ニハソレモマダ行ケルノデアリマスガ、全部ノ重要肥料ニ付キマシテ、右邊買大豆類、魚肥等ノ肥料ニ付テモ統制ヲ加ヘマスレバ、是ハ餘程其ノ手數料ノ問題ハ再検討ヲ致ス必要ガアルノデハナイイカト云フ風ナ考モ致シテ居ルノデアリマス、今野濤サシノ御話ハ御尤モトハ思ヒマス、ケレドモ、一而ニ於キマシテハ今私ガ迷マシタヤウナ事情モアリマス、是等ノ點ニ付テハ將來ニ於キマシテハ十分研究ヲ致シマシテ、合理的ニ致シタイト云フ風ニ考ヘテ居ル次第デアリマス

○野濤委員 配給關係ノ質疑ハ是デ打切りマシテ、私ガ次ニ質問シテ見タイト思フコトハ、肥料ノ生産原價ニ付テデアリマス、日本農業者地肥農業デアルトコトハ、是ハ今

○野濤委員 分リマシタ、サウ云フ風ノ御説明ヲ承レバ理解出來マス、ソコゾソレニ關聯シテ居ルノデアリマスガ、先程對策部長ノ御所見ヲ承リマス、原則トシテ肥料ハ製造工場カラ直接農家ノ手ニ渡ルコトガ一番良イノダト云フコトヲ言ハレテ居リマス、又御尤ダト思ヒマス、サウデナクテハナラヌト思フノデアリマスガ、ソコデ其ノ方向ニ段々御努力ヲサレテ居ルコトハ能ク分ルノデアリマス、ケレドモ、今ノ段階モノ段階ノアル所ノ此ノ系統機關ト申シマセウ

ノ肥料狀況、特ニ破安デスガ、破安ト云フモノハ其ノ消費量ニ於テモ、生産量ニ於テモ我國ハ世界第一ト云フコトニナワテ居ル譯デアリマス、然ルニ其ノ日本ノ生産量或ハ消費量ヨリズツト差チル所、世界第二第三ノ英國及ビ獨逸ヲタリデハ、生産量ガ少クトモ完全ニ自給自足ヲナツテ居ルノデアリマス、日本ニ於キマシテハ生産量ガ多ク消費量モ大體生産量ト同ジ程度ニ行ツテ居ツテ、サウシテ肥料ノ供給ガ圓滑ヲ缺クト云フコトハ、是ハ何處カニ私ハ缺陷ガアルト思ヒマス、サウ云フ點ハ私達ガ申上ゲルマデモナク、對策部長ハ御承知ノコトトシマシテモ、ドウカ今後ノ肥料計畫ニ對シマシテモ一ウ思切ワテ計畫ヲ立テラレマシテ、一日モ早ク今日ノ肥料ノ混亂ヲ防止スルコトニ努メテ戴キタイト思フノデアリマス

○重政政府委員 重要ナル産業ノ中デモ、物資ガ不足致シマス、自ラ願位ヲ付ケザルヲ得ナイノデアリマス、是ハ電力ノ消費調整ノ際ニ於キマシテモ、第一種需用ハ先ヅ軍用デアツタノデアリマスガ、肥料ノ製造ノ方ハ、是ハ破安及ビ石灰窒素ノ工場ニ對スル供給ガ第一種需用トシテ最優先供給ヲ認メタノデアリマス、外貨獲得ノ爲ニ必要ナル輸出用製品ヲ製造致シマス工業ハ儲カ第二種ノ乙類デアツタカト思ヒマス、第二種ノ甲類ハ生産業充工場ニ付テデアツタ付テモチウ云フ「ランキンダ」ガ設ケラレタノデアリマス、ソレカラ又吾々ノ方ノ關係ノ今御述べニナリマシタヤウナ問題ニ付テ考ヘマシテモ、戰爭目的ヲ完遂致シマス爲ニハ金モ必要デアル、外貨ノ獲得モ必要デアルガ、併シ何ト申シマシテモ食糧ノ充實ト云フコトガ第一デナケレバナラス、是ハ場合ニ依レバ軍需工場ヨリモ優先シテ、破安及ビ石灰窒素工場ニ電力ヲ供給シナケレバナラス、又或ル部面ニ於テハサウ云フ風ニ致シテ居リマス所以ノモノハ、畢竟破安及ビ石灰窒素ハ食糧ヲ作ル爲ニハ必要資材デアルト云フ所カラ來テ居ルノデハナイイカト云フノデアリマス、此ノ意味カラ考ヘテ見マス、物ノ足ラヌ時デアリマスノデ、食糧、農産物ヲ第一位トシ、勿論其ノ他ノ物モ、殊ニ有用ノ農作物ノ生産ハ極メテ必要ナコトデアリマス、ケレドモ、已ムヲ得ズ是ハ食糧ニ優先セザルヲ得ナイト云フコ

○野濤委員 戰爭目的ヲ遂行スル爲ニ何ト云フコトハ承知致シテ居リマス、ガ其ノ立テ方ガ枝葉末節デアリマシテ、幾度カチウ云フ法案ヲ閣下シテモ略下法案ノ目的ヲ達シテ居ラナイ、デアルカラ私ハ其ノ法案ハ不完全ナ法案デアツタト思フ、今其ノ不完全ナ法案ヲ責メテハアリアマセウケレドモ、大體ニ於テ長期抗戰ト云フ心構ヘヨシタ以上、恐ラク此ノ食糧問題ト云フ重大ナル問題ヲ考ヘル時ニ、肥料ヲ考ヘナケレバナラナイノデアリマス、サウ云フ點ニ對シテモツト思切ツタ方針ヲ政府ハ其ノ當初ニ於テ考ヘテ居ツタカドウカ、今日ト雖モマダ私達カラ見ルナラバ、此ノ肥料法案ニ依ツテ無機質肥料ノ問題ナリ、或ハ其ノ他ノ肥料ノ問題ナリガ片付クトハ決シテ思ヘナイ、此ノ程度ノ嚴重ノモノデハ、幾ラ出シテモ結局目的ヲ達シ得ルコトハ出來ナイト思フ、私ハ其ノ點ニ對シテ、政府ハ本當ニ斯ウ云フ風ニスルナラバ完全ニ肥料問題ノ解決ガ出來得ルト云フ肚ヲ示シテ貰ヒタイノデアリマス

○野濤委員 戰爭目的ヲ遂行スル爲ニ何ト云フコトハ承知致シテ居リマス、ケレドモ、今其ノ立テ方ガ枝葉末節デアリマシテ、幾度カチウ云フ法案ヲ閣下シテモ略下法案ノ目的ヲ達シテ居ラナイ、デアルカラ私ハ其ノ法案ハ不完全ナ法案デアツタト思フ、今其ノ不完全ナ法案ヲ責メテハアリアマセウケレドモ、大體ニ於テ長期抗戰ト云フ心構ヘヨシタ以上、恐ラク此ノ食糧問題ト云フ重大ナル問題ヲ考ヘル時ニ、肥料ヲ考ヘナケレバナラナイノデアリマス、サウ云フ點ニ對シテモツト思切ツタ方針ヲ政府ハ其ノ當初ニ於テ考ヘテ居ツタカドウカ、今日ト雖モマダ私達カラ見ルナラバ、此ノ肥料法案ニ依ツテ無機質肥料ノ問題ナリ、或ハ其ノ他ノ肥料ノ問題ナリガ片付クトハ決シテ思ヘナイ、此ノ程度ノ嚴重ノモノデハ、幾ラ出シテモ結局目的ヲ達シ得ルコトハ出來ナイト思フ、私ハ其ノ點ニ對シテ、政府ハ本當ニ斯ウ云フ風ニスルナラバ完全ニ肥料問題ノ解決ガ出來得ルト云フ肚ヲ示シテ貰ヒタイノデアリマス

○野濤委員 對策部長ハ試案ヲ持ツテ居ラレルヤウニ思ヒマス、ケレドモ、其ノ試案ヲ斯ウ云フ處上デ發表スルコトハドウカト思フコトデアリマス、私ハソレ以上ハ御馳致シマセウガ、此處デ參考マデニ申上ゲテ置キタイコトハ、日本ノ今日マデ

次ニ御考シタイコトハ肥料ノ制當ニ付テデアリマスガ、戰時下ニ於キマシテハ食糧ノ生産確保ヲシナケレバナラヌ、ソコデ先ヅ重要農産物重點ニ於キマシテ肥料ノ制當ヲサレタト云フコトデアリマス

(原委員長代理退席、委員長著席)

此ノ戰爭目的ヲ遂行スルニハ、食糧ノ生産確保モ必要デアリマスガ、一而外貨ノ獲得モ必要デアルコトニナツテ居リマス、然ルニ一方ニ於テハ食糧ノ生産確保ヲ獎勵シ、一方ニ於テハ外貨ノ獲得、農産物ノ獎勵ヲシテ居ル、獎勵ヲシテ居ル點ハ同ジコトデアリマスガ、今度物ヲ與ヘルト云フ時ニナルト之ヲ區別スルコト云フコトハ、私ニハドウシテモ解セナイノデアリマス、戰爭目的ヲ遂行スルコト云フ此ノ一點ニ集約シテ居ル農産物ノ増産計畫、其ノ農産物ノ増産計

トニ相成ルノデハナイイカト思フノデアリマス、サウ云フ意味合ニ於キマシテ御承知ノヤウニ破安ニ付テハ米麥八割、其ノ他用六割ト云フコトニ已ムヲ得ズ致シタ次第デアリマス、御承認ヒタイト思ヒマス

○野濤委員 戰爭目的ヲ遂行スル爲ニ何ト云フコトハ承知致シテ居リマス、ケレドモ、今其ノ立テ方ガ枝葉末節デアリマシテ、幾度カチウ云フ法案ヲ閣下シテモ略下法案ノ目的ヲ達シテ居ラナイ、デアルカラ私ハ其ノ法案ハ不完全ナ法案デアツタト思フ、今其ノ不完全ナ法案ヲ責メテハアリアマセウケレドモ、大體ニ於テ長期抗戰ト云フ心構ヘヨシタ以上、恐ラク此ノ食糧問題ト云フ重大ナル問題ヲ考ヘル時ニ、肥料ヲ考ヘナケレバナラナイノデアリマス、サウ云フ點ニ對シテモツト思切ツタ方針ヲ政府ハ其ノ當初ニ於テ考ヘテ居ツタカドウカ、今日ト雖モマダ私達カラ見ルナラバ、此ノ肥料法案ニ依ツテ無機質肥料ノ問題ナリ、或ハ其ノ他ノ肥料ノ問題ナリガ片付クトハ決シテ思ヘナイ、此ノ程度ノ嚴重ノモノデハ、幾ラ出シテモ結局目的ヲ達シ得ルコトハ出來ナイト思フ、私ハ其ノ點ニ對シテ、政府ハ本當ニ斯ウ云フ風ニスルナラバ完全ニ肥料問題ノ解決ガ出來得ルト云フ肚ヲ示シテ貰ヒタイノデアリマス

トニ相成ルノデハナイイカト思フノデアリマス、サウ云フ意味合ニ於キマシテ御承知ノヤウニ破安ニ付テハ米麥八割、其ノ他用六割ト云フコトニ已ムヲ得ズ致シタ次第デアリマス、御承認ヒタイト思ヒマス

○野濤委員 戰爭目的ヲ遂行スル爲ニ何ト云フコトハ承知致シテ居リマス、ケレドモ、今其ノ立テ方ガ枝葉末節デアリマシテ、幾度カチウ云フ法案ヲ閣下シテモ略下法案ノ目的ヲ達シテ居ラナイ、デアルカラ私ハ其ノ法案ハ不完全ナ法案デアツタト思フ、今其ノ不完全ナ法案ヲ責メテハアリアマセウケレドモ、大體ニ於テ長期抗戰ト云フ心構ヘヨシタ以上、恐ラク此ノ食糧問題ト云フ重大ナル問題ヲ考ヘル時ニ、肥料ヲ考ヘナケレバナラナイノデアリマス、サウ云フ點ニ對シテモツト思切ツタ方針ヲ政府ハ其ノ當初ニ於テ考ヘテ居ツタカドウカ、今日ト雖モマダ私達カラ見ルナラバ、此ノ肥料法案ニ依ツテ無機質肥料ノ問題ナリ、或ハ其ノ他ノ肥料ノ問題ナリガ片付クトハ決シテ思ヘナイ、此ノ程度ノ嚴重ノモノデハ、幾ラ出シテモ結局目的ヲ達シ得ルコトハ出來ナイト思フ、私ハ其ノ點ニ對シテ、政府ハ本當ニ斯ウ云フ風ニスルナラバ完全ニ肥料問題ノ解決ガ出來得ルト云フ肚ヲ示シテ貰ヒタイノデアリマス

トニ相成ルノデハナイイカト思フノデアリマス、サウ云フ意味合ニ於キマシテ御承知ノヤウニ破安ニ付テハ米麥八割、其ノ他用六割ト云フコトニ已ムヲ得ズ致シタ次第デアリマス、御承認ヒタイト思ヒマス

明示スル上ニ於テ、私ハ言ヒ足りナイモノ  
ガアリハセスカト思フノデアリマス、私ハ  
長野縣デアリマシテ養蠶地帯デアリマスダ  
ケニ、特ニ此ノ點ニ對スルニ非常ニ強  
クイデアリマス、對策部長カラモ度々此ノ  
點ニ付キマシテハ御意見ヲ聽キマシタケ  
レドモ、長野縣ノ諸君ハ、政府ノ方針ガ、外  
貨獲得ノ爲ニ一生懸命ニ増産計畫ヲヤレト  
云フ譯デ、有ニル犧牲ヲ拂ツテヤツテ居ル  
際ニ、肝心要メナ資材ガ配給サレナイト云  
フコトハ情ナイ、特ニソレモ長野縣ノ要望  
ト致シマシテハ、十二三万噸ノ要望ガアツ  
タノデス、ソレガ一月カラ七月マデニ於テ  
ハ五万五萬噸位シカ配給ニナツテ居ラナ  
イ、斯ウ云フ譯デ殆ド五割ニモ満たナイヤ  
ウナ配給ノサレ方デハ、政府ノ増産計畫ト  
云フ方針ニ遺憾ナガラ副ビ得ナイ、ト言ツ  
テ國策ニ副ハナイト云フ譯ニモ行カナイシ、  
一體ドウシタラ宜イカト云フ譯デ、長野縣  
ト致シマシテハ非常ニ失望シテ居ル譯デア  
リマス、最近政府ニ於キマシテハ智利硝石  
ナドヲ入レマシテ、碓安ノ供給量ノ中ニ織  
込ンデアルヤウニ思ヒマスケレドモ、例ヘ  
バ智利硝石デモ私達長野縣ノ養蠶ト致シマ  
シテハ宜イノデアリマス、斯ウ云フ困難ナ  
實情ニアル養蠶地帯ニ、政府トシテハ智利  
硝石ダケデモ供給量ヲ多クスルト云フ御所  
見ハナイデセウカ、一定ノ供給量ガ決定  
テ居ルカラモウ駄目ダト云フ譯デ、決定的  
ナモノトシテ之ヲ扱ハウトスル御方針デ  
アリマスカ、斯カル氣ノ毒ナ而モ國策ノ線  
ニ沿ハウトスル實情ニアル養蠶地帯ニ對シ  
マシテハ、智利硝石ノ方ダケデモ供給ノ點  
ニ付テ御考ヲ下サル御所見ハナイデアリマ  
セウカ、如何デアリマセウカ

○重政政府委員 御尤モナ御心配デアルト  
思フノデアリマス、先般、智利硝石ヲ碓安  
ニ代替致シマス爲ニ配當致シタノデアリマ  
スガ、其ノ際ニ於キマシテモ、成分的ニ申  
シマシテモ智利硝石ヲ碓安ト代ヘタ方ガ、  
智利硝石ガ歩ガ宜イト云フヤウナ配當ノ致  
シ方ヲ致シテ居ルヤウナ譯デアリマス、今  
御述ベニナリマシタヤウナコトモ多少考ヘ  
マシテ、サウ云フ風ヲ取扱フ致シタノデア  
リマス、更ニ今後智利硝石等モ増配スル考  
ハナイカト云フ御質問デアリマスガ、只今  
ノ所デハ入ツテ參リマス智利硝石ハ大體ノ  
目安ヲ付ケマシテ、代替用トシテ配當致シ  
テ居リマス、今直チニサウ云フ方面ニ對シ  
テ之ヲ増配スルコト云フヤウナコトハ申上  
ゲ兼ネルト思フノデアリマス、併シ是ハ總  
テ有ニル養蠶ノ肥料及ビ無機質ノ肥料ニ付キ  
マシテ將來更ニ檢討致シマシテ、尙ホ餘裕  
ガ出マスレバ、勿論是ハ各府縣ニ對シテ増  
配ヲ致シテ行キタイト云フ考ヲ持ツテ居リ  
マスガ、只今ノ所今直チニドウツト云フコト  
ハ申上ゲ兼ネルト思フノデアリマス

○野澤委員 ソレデハ其ノ點ハ希望ダケ述  
ベテ置キタイト思ヒマス、只今直グドウト  
云フコトハ出来ナイト云フ當局ノ御意見デ  
アリマスガ、私ガ申上ゲマシタ通り、養蠶地  
帯ハ非常ニ肥料ノ問題ニ付テ混亂致シテ居  
ル譯デアリマス、所謂先入觀念ト申シマス  
カ、差別待遇ヲサレタト云フヤウニ解釋シ  
テ居ルノデアリマスガ、事情ハアナクノ仰  
シナル通り私達モ説明シテ居リマスケレド  
モ、納得シナイシ、又國策ノ遂行ノ上ニ於  
テモ遺憾ナコトダト思ヒマスカラ、一ツ此  
ノ希望ヲ容レルヤウニ御努力ヲ願ヒタイト  
云フ風ニ思ツテ居リマス

次ニ刑事局長サンニ質問ヲ簡單ニ致シタ  
イト思ヒマス、農村ハ肥料問題テ非常ニ混  
亂ヲシテ居リマス、混亂ヲシテ居ル其ノ主  
ナル理由ト致シマシテハ、配給ノ圓滑ヲ缺  
イテ居ルト云フコトデアリマス、ソコデ政  
府ト致シマシテハ配給ノ圓滑ヲ期スベク色  
色努力サレテ居ルヤウデアリマスガ、中々  
思フヤウニ行カナイノデアリマス、機構ガ  
アリマシテモ色々ノ機關ニ於テノ指圖ガア  
リマス、其ノ指圖ガナイト申シテ行カナ  
イト云フコト、今一ツハ最近ニ於テハ各肥  
料トモ公定價格ガ出来テ來マシテ、餘程統  
制サレテ來タヤウデアリマスガ、公定價格  
ト非公定價格ノ肥料ガアリマス、ソコデ一  
定數量シカ配給サレナイノデアリマスカラ、  
配給ノ上ニ於テモ色々ノ理由ヲ付ケテ  
中々面倒ナノデアリマス、又公定價格ガア  
レバ手數料ダケデナイ儲ケハ出来マセス、  
デスカラ今ノ商人ガ全部インチキト云フ  
譯デアリマセウカケレドモ、狡イ商人ハ何  
トカ機構外ニ於テ一ツ儲ケル方法ハナイカ  
ト云フ譯デ考ヘタ結果、公定外ノ肥料ヲ賣  
ツテ儲ケル、是ハ公定價格ガアリマセウカ  
是デ儲ケヨウト云フコトデス、配合肥料ニシ  
テモ、化成肥料ニシテモ同ジコトデアリマ  
スガ、兎ニ角公定外肥料ニ依ツテ儲ケルベ  
ク努力シテ居ル、即チ公定外ノ肥料ヲ買ツ  
テ與レナケレバソレヲ賣ラナイト云フヤウ  
ナ商人ガ中ニハ出テ來タ、其ノ爲ニ需給ノ  
圓滑ヲ缺イテ居ル、最近ニ於テモ東京朝日  
新聞ナドニモ出テ居リマシタシ、御承知ノ  
コトト思ヒマスケレドモ、肥料燃料ノ關取  
引、關東有數ノ豪商ヲ檢舉、茨城縣那賀漢町  
二丁目肥料商、同縣肥料商業組合理事長花

順序デアリマスガ、一應此處デオ聴キシテ  
置キタイト思フノデス、斯ウ云フ通牒ハ兩  
省協議ノ上デ出スコトニナツテ居リマス  
カ、或ハテンノバラノ相談モナク出ス  
コトニナツテ居ルノデスカ

○重政政府委員 從來ハ大體兩省ニ於テ協  
議シテ通牒ヲ出シテ居リマシタガ、肥料行  
政ノ農林省專管ト云フコトニナリマシテ以  
來ハ、農林省關係ダケ出シテ居リマス  
○野澤委員 ソレハワカシイデスネ、是ハ  
專管ヲヤツテ以後、十四年十一月二日ニ商  
工省振興部長ノ名デ以テ出シテ居ル通牒、  
此ノ中ニ面白クナイ點ガアリマスシ、今一  
ツハ十一月三十日ニ、是ハ通牒デアリマ  
セスケレドモ、全肥料商ノ聯合會議ニ行ツ  
テ妹川振興部長ガ演說サレタ、ソレニモ非  
常ニ不滿ナル點ガアルノデス、商人ト農民ト  
消費者團體トノ抗争ヲ激化サセルヤウナ文  
書ガ一部アルノデスガ、斯ウ云フヤウナ點  
ニ付テ今御話ヲ聽クト、農林省專管ニナツ  
テ以來ハ農林省ダケデ通牒ヲ出スコト云フコ  
トデスガ、本當ニソレハヤラレテ居ルノデ  
スカ

○重政政府委員 其ノ十一月ノ當時ハ兩省  
共管ノ形ニナツテ居タト思ヒマスガ、十  
二月ノ初メカラ專管ト云フコトニ儘カナツ  
タコトト考ヘテ居リマス、ソレカラ尙ホ今  
御指摘ニナリマシタ通牒及ビサウ云フ内容  
ニ付キマシテハ、私チヨツトモ存ジテ居リ  
マセウカ、唯商業組合關係ニ付キマシテ  
ハ、現在ニ於キマシテモ、商工省ガ商業組  
合ノ一般監督ニ付テハ主管ヲ致シテ居ルコ  
トニナツテ居リマス

○野澤委員 是ハソレ位ニシテ置キマスガ、  
ドウデスカ、斯ウ云フ點デ色々斯ウ云フ風  
ニ問題ガ起ツテ來テ、政府ノ方デモ非常ニ  
御厄介ダト思ヒマス、之ヲアナクノ仰シヤ  
ルヤウニモツト簡易化シテ、本當ニ農民ノ  
所ニ肥料ガ迅速ニ渡ルヤウナ方法ガ他ニア  
リトスルナラバ、ソレニ向ツテ一ツ邁進サ  
レルヤウニシテハドンナモノデセウカ、具  
體的ニ申スナラバ、今ノ實績數量ト云フモ  
ノハ、今マデノ農家ニ於テハ金ニ餘裕ノア  
ル者、ソレカラ商人ノ方ニ於キマシテハ極  
ク自由ニ扱ツテ居ツタノデアリマスカラ、  
其ノ數量ハ相當多イ、斯ウ云フヤウナ關係  
ニナツテ居ル、此ノ實績數量ヲ基準ニシテ  
配給スルト云フ所ニ、私ハ今日ノ肥料配給  
ニ對スル割當ニ於テ色々ノ混亂ガ起ツテ來  
タ大キナ原因ガアルト思フ、デアリマスカ  
ラ、モツト之ヲ迅速ニ且ツ簡易ニ割當サレ  
ル方法ガアルトシタラバ、其ノ途ヲ選ン  
デ貰ツタ方ガ宜イト思フ、ソレニハドウシ  
テモ農民ニ於ケル農産物生産者團體タル農  
會ヲ中心ニシテ配給スルコトガ一番妥當デ  
ハナイカト云フ風ニ考ヘテ居ル者デアリマ  
ス、ソレハナゼカト申シマス、御承知ノ如  
ク農會ハ生産者團體デアリマシテ、農産物  
ノ指導ニ當ツテ居ル譯デアリマス、デアリ  
マスカラ此ノ農作物ニ對シマシテハ碓安ガ  
必要デアルトカ、或ハ加里ガ必要デアルト  
カ、或ハ石灰燐素トカ過燐酸トカ、サウ云  
フ無機質ガ必要デアルトカ、又此ノ農作物  
ニ付テハ斯ウ云フ有機質ガ必要デアルトカ、  
又是ハドウ云フヤウニ配合シナケレバイカ  
スト云フヤウナコトノ分ルノヘ、此ノ農會以  
外ニハ私ハ一寸ナイト思フ、又土壤ノ問題  
ニ致シマシテモ、此ノ土壤ニハ無機質ガ必  
要デアルトカ、有機質ガ必要デアルトカト云  
フコトハ、ヤリ専門家デナケレバ分ラナイ、

事情等アリマスノデ、本年ノコトハ最早  
言ウテ及バナイ點ガ多クアルノデアリマス  
ルガ、明肥料年度ニ於キマシテ、明肥料年  
度ニ於ケル肥料供給ノ目標ハ何處ニ置カレ  
ルノデアルカ、破安、石灰炭素、過磷酸等  
ニ對シマシテ具體的ニ御示ヲ願ヒタイ、大  
體事變ガ起リマシテヨリ我國ノ米穀ノ需給  
ノ關係ヲ考ヘテ見マス、天祐ノ爲ニ  
私ハ敢テ天祐ト申シマスガ、供給方順調ニ  
進ンデ居ル、敢テ私ハ躊躇ガアツタトハ思  
ハナイ、併シナガラ、消費ガ餘リニモ急激ニ  
増加シタ、其ノ消費ノ増加ニ追付クコトガ  
出来ナイ爲ニ需給ノ關係カラ言ヒマス、  
米穀ノ供給ガ、不足シタコトニナリ、食糧問  
題ニ付テ色々ノ問題ガ起ツタノデアリマス、  
一面肥料ノ點カラ言ヒマス、肥料ハ供給  
ノ數量ガ抑ヘラレテシマツタ、大體ノ目標  
ガ昭和十二肥料年度ノ實績ニ基キテ十三年  
ノ供給ヲナサレ、又十三年ノ實績ニ基キテ  
十四年度ノ供給ヲナサレヨウトシテ居ル、  
隨テ計畫通り順調ニ行ツテモ、十二至實績  
ニ釘付ニサレシマツタ、米ハ増産シナケレ  
バナラナイガ、ソレニ必要ナル肥料ノ供給  
ハ引當ガナイ、サウ云フ状態ニナツテ居ル、  
ソレデ農林大臣ハ肥料ノ供給ニ付テハ安  
心ヲセヨ、當局ヲ信賴セヨ、斯ウ言ハレテ  
居ルノデアリマスガ、此ノ次ノ十五肥料年  
度ニ於キマシテハ、米穀ノ増産計畫ニ相應  
シテ、ソレニ必要ナル肥料ノ供給ヲ確保ス  
ベク計畫サレテ居ルノデアルカドウカ、其  
ノ點ニ付テ御同致シタイト思ヒマス

○重政政府委員 明肥料年度ノ肥料供給ノ  
目標ガドウデアルカ、斯ウ云フ御質問デア  
リマスガ、是ハ前同モ他ノ委員カラ色々御  
質問ガアツタノデアリマス、現在ノ所尙ホ  
明年度ノ物動ガ決定致シテ居リマセヌ、目  
下相談中デアリマス、殊ニ最近ニ至リマシ  
テハ、物動ノ決定スルノガ多少遅レルノデ  
ハナイカト云フヤウナ考ヘ方ヲ持ツテ居リ  
マスノデ、吾々ノ方ト致シマシテハ早急ニ、  
暫定ノニ吾々ノ方ノ物動ハ早ク決メテ貰ヒ  
タイト云フノデ、折衝ヲ遂ゲテ居ルノデア  
リマス、隨テ其ノ數字ニ付テ、十分ノ御説  
明ヲスルコトハ差控ヘナケレバナラヌト思  
フノデアリマスガ、要スルニ増産ノスルコ  
トヲ前提ニシテ供給方面ニ付テ考ヘルカ、  
斯ウ云フ結論ノ御質問デアリマスガ、其ノ  
點ハ勿論左様デアリマシテ、増産所要部分  
ヲ含メタ需要量ト云フモノニ對應シテノ物  
動ヲ決定致シタイ、斯ウ云フ考デヤツテ居  
ル次第デアリマス

○西川委員 サウ云フ御質問ガオアリダラ  
ウカトモ初メカラ豫想シテ居ツタノデアリ  
マスガ、私ハ今少シの確ナ御答ガアツテ然  
ルベキト思フノデアリマス、物動計畫ハ  
マダ最後の決定ハナイノデアリマセウケ  
レドモ、併シナガラ十五年度ノ豫算編成ニ  
當リマシテハ、所謂物動ノ見合セテ編成  
サレテ居リ、ソレニハ物動ノ概算ガ大體省  
ノ方ニ廻ツテ居ル譯デアリマス、モウ既ニ  
今日ニ於キマシテハ、大體ノ輪廓ハ分ツテ  
居ル譯デアリマス、只今ノ御答ニ依リマ  
スト、増産ニ必要ナル肥料ヲ引當ニシテ計  
畫ヲ立テルト云フヤウナ方針デアルト云フ  
風ニ伺ツタノデアリマスガ、然ラバ各肥料  
ニ付キマシテ、當肥料年度ノ實績以上ニ、  
増産分ニ對スルモノガ供給ヲサレル計畫  
ダ、是ハ的確ニ左様ニ解シテ宜シイノデア  
リマスガ、即チ過去二年ハ前年度ノ釘付ケ  
テ來タヤウニ吾々ハ解シテ居リマスガ、今  
度ハサウデナイ、其ノ點ガケハ的確ニ左様  
ニ心得テ宜シウゴザイマスカ

○重政政府委員 是ハ各種ノ肥料ニ依リマ  
シテ非常ニ事情ガ異ツテ居ルト思フノデア  
リマス、吾々ト致シマシテハ今御述ニナリ  
マシタヤウニ、釘付テナクヤリタイト云フ  
考ヲ持ツテヤウテ居ルノデアリマス、サウ  
シテ又吾々ノ言フ通りノ物動ノ決定ガアツ  
タト致シマシテモ、其ノ後ニ於ケル或ハ船  
隻ノ關係デアリマス、場合ニ依レバ著シ  
ク其ノ内容ガ變ルト云フヤウナ場合モナイ  
トモ限ラナイノデアリマス、是ハ今年ノ物  
動ニ於テモサウ云フヤウナ苦イ經驗ヲ嘗メ  
タデアリマスガ、尙且ツ肥料ノ特殊性ニ鑑  
ミテ、政府ト致シマシテモ他ノ物資ニ優先  
シテ、物動ニ於テモ肥料ハ特別扱ト云フ所  
マデ進ミマシテ、漸ク今日ノヤウナ状態ニ  
ナツテ居ルト云フヤウナ次第デアリマス、  
サウ云フヤウナ事情デアリマスノデ、今私  
此處デハウキリトソレヲ申上ゲ兼テハ、最善ノ努  
力ヲ致シテ御極旨ニ副フヤウニ致シタイト  
考ヘテ居ル次第デアリマス

○西川委員 前申上ゲマシタヤウニ、本年  
ノ配給實績ノコトハ實ハ基準ニナラヌト思  
フノデアリマス、是ハ臨時突發の事故故  
爲ニ斯ク減少シテ居ルト思フノデアリマス  
カラ、本年ノ配給計畫、詰リ前肥料年度ノ  
實績以上ニ明年度ハスル御見込デアアルカド  
ウカト伺ヒタイノデアリマスガ、大體サウ  
云フ風ノ御答デアツタノデアリマス、  
前肥料年度ニ比較シテ増産サレルモノト解  
シテ宜シイト思フノデアリマス、其ノ點デ  
先ツ破安ダケニ付テ御同致シマスガ、其ノ  
計畫ハ日滿ヲ通ジテノ生産力デヤツテ行ケ  
ルノデアルカ、又外安ノ輸入ヲ計畫ノ中ニ  
含ンデ居ルノデアアルカ、生産資材ニシテ十  
分供給サレルナラバ、破安ノ生産力ニ於テ  
ハ所要ノ生産力ヲ日滿ノ範圍ニ於テ持ツテ  
居ルノデアアルカドウカ、此ノ點ヲ御同致シ  
置キマス

十三年デアリマシタカ、現在ノ破安ノ増産  
並ニ配給統制法ノ制定ノ場合、其ノ案ヲ審  
議致シマスル際ニハ、現在ノ破安ノ生産力  
ヲ以テシテハ需要量ヲ供給スルコトガ出来  
ナイノデ、生産力ノ擴充ヲスル必要ガアル  
ノデ、斯ウ云フ説明ガアツタヤウニ思フ  
デアリマス、又生産力擴充四箇年計畫ノ中  
ニモ、破安ノ増産計畫ナルモノハ含ンデ居  
ルト思フ、隨テ私共ハ此ノ生産力ヲ擴充ス  
ルニアラズンバ、所要ノ破安ノ供給ガ不可  
能ニナルノデハナイカ、現在ノ生産力中間  
ニ合フト云フノハ、需要ヲ抑制スルカラデ  
アル、需要量ダケヲ供給シヨウトスルナラ  
バ、生産力ニ於テ不足ヲスルノデハナイ  
カト考ヘテ居ル者デアリマスガ、其ノ點  
ニ付テハウキリシテ御答ヲ願ヒタイト思フ  
ノデアリマス

○重政政府委員 ソレハ御説ノ通りデアリ  
マス、私ガ只今申上ゲマシタノハ、來肥料  
年度ノ破安ニ付テ滿洲及ビ本邦内ニ於ケル  
破安工場ニ對シテ、生産資材ヲ優先的ニ潤  
澤ニ供給スルコトヲ前提ニシテ申上ゲタ  
デアリマス、斯ノ如キコトハ、普通ノ状態  
ニ於テハ、實際問題トシテハ出来ナイ事柄  
デアアルノデアリマシテ、多クノ場合ニ於キ  
マシテハ、設備能力ニ對シテ六割乃至七割  
ト云フノガ、實際ノ狀況ニ於ケル生産ノ實  
績ニナツテ參ツテ居ルノデアリマス、サウ  
云フ關係カラ致シマスレバ、只今御述ベニ  
ナリマシタヤウニ、一面ニ於テ消費ヲ抑制  
致シマシテ尙且ツ足ラナイト云フ状態ハ、  
或ル程度出テ來ルト思フノデアリマス、普  
通ノ状態ニ於キマシテハ、御承知ノヤウニ、  
年々破安ニ付キマシテハ約二十萬噸前後ノ  
モノガ消費ガ増加致シテ參ツテ居ツタノ

デアリマス、サウシテ製造ノ方ハ只今申上  
ゲマシタヤウニ、大體設備ノ六七割ト云フ  
モノガ製造實績ニナツテ居リマス、關係  
上、此ノ生産力擴充ヲ致サナケレバ、到底  
需要ヲ賚フコトガ出来ヌト云フ實情ニナツ  
テ居ルノデアリマス、併シナガラ事變後ニ  
於キマシテハ、消費ヲ極度ニ制限致シテ居  
リマス關係上、斯ウ申シマシテハ言葉ガ  
強クナリマスガ、消費ノ節約ト云フコトヲ  
一面ニ於テヤツテ居リマスカラ、十三年ノ  
消費實績ヲ見マシテモ、前年ニ比シテ四萬  
噸程度ノ消費増シカナイト云フ實情デアリ  
マシテ、從來年々二十萬噸ノ消費増デアツ  
タモノガ、三萬噸トカ、四萬噸ト云フ程度  
ニシカ増加致サナイト云フコトニナリマス  
ノデ、先程申上ゲマシタヤウニ、又通常  
以上ニ時局下ニ於ケル資材ノ潤澤ナル供給  
ガ許サレルナラバ、來肥料年度ニ於テハ、  
或ル程度ノ賚ヒガ付タノデアリマシテ、斯ウ  
云フ風ニ申上ゲタ次第デアリマシテ、決シ  
テ生産力擴充ノ必要ナシト云フ趣旨ニ於テ  
申上ゲタノデアリマシテ御諒解ヲ戴キタイ  
ト思ヒマス

○西川委員 大體御答辯ノ趣旨ハ能ク分ツ  
タノデアリマスガ、私共ガ考ヘマスノニ、  
米穀ノ消費ガ急激ニ増加致シテ居リマス  
ガ如クニ、肥料ニ對スル需要ハ之ヲ抑制セ  
ズニ自然ニ伸バシマシタナラバ、是非非常  
ニ増加スベキ趨勢ニアルト思フデアリマ  
ス、是ハ米穀ノ増産ヲ彌ガ上ニモ要求サレ  
マスルモノト、又農産物ノ價格等モ相當ニ  
昂騰シテ來テ、肥料ニ對スル購買力ガ非常  
ニ増加シテ來タ、隨テ農村ガ要求スルダケ  
ノ肥料ノ供給シヨウトスル建前カラ見マス  
ルト、相當ニ生産力ノ擴充計畫ヲ遂行シナ

カツタナラバ到底間ニ合ハナイ、只今ノ御  
答辯ハ次ノ肥料年度ニ所要ノ破安ハ現在ノ  
設備ニ於テ生産資材ガ若シ潤澤ニ供給サレ  
レバソレデ大體間ニ合フノデアラウト云フ  
ヤウナ御見込ノヤウデアリマシタガ、尙ホ  
次々ニ需要ハ急激ニ増加シテ來ルニ違ヒ  
ナイノデアリマス、而モ破安工業タルヤ、  
著手シテモ直チニ生産ヲ見ルト云フ譯ニハ  
行カヌノデアリマスカラ、將來ニ備ヘテ、  
十分ニ此ノ生産力ノ擴充ガ計畫サレ、著  
著遂行セラレナカッタナラバ、何時マデ經  
ツテモ肥料ノ不安ヲ免カレルコトハ出来ナ  
イ、肥料ノ供給ニ於ケル窮乏ヲ農民ハ免  
レ得ナイノデアリマスガ、之ニ對スル實行  
狀況ハドウナツテ居ルカ、又生産力擴充計  
畫ニ於テ計畫サレテ居ルコトノ實行狀況ハ  
ドウナノデアアルカ、其ノ點ヲ御説明願ヒタ  
イト思ヒマス

○重政政府委員 生産力擴充計畫ハ著々ト  
實行致シテ居ルノデアリマス、昭和十六年  
度ノ終マデニ約五十萬噸ノ生産力ヲ増加擴  
充致ス計畫ノ下ニ實行致シテ居ルノデアリ  
マスガ、御承知ノヤウニ、資材ノ關係等數  
次ニ互ル減少等モアリマシテ、必ズシモ理  
想的ニ進行状態ニハナツテ居リマセヌガ、  
實行ハ著々ト致シテ居ルヤウナ次第デアリ  
マス

居リマスルコトハ非常ニ大ナルモノガアル  
ノデアリマス、隨テ當局トサレマシテハ滿  
洲國側ト協力サレマシテ、此ノ計畫ヲ完遂  
セシメル爲ニハ出來ルダケノ努力ヲシテ載  
カナクテハナラヌト思フ、私共ハ開ク所ニ  
依リマスレバ、獨逸ニ於キマシテハ何トカ  
シテ食糧ヲ少シデモ多ク輸入シテ蓄積シテ  
置キタイト云フ金額ノ下ニ、何トカシテ穀物  
ナリ其ノ他ノ食糧ヲ送ツテ與レルナラバ機  
械ハ作ル、機械ハ現ニ作ツテ居ル、ドンナ  
困難ヲ打開スルシテモ機械ヲ作ツテ出ス  
ヤウニスルカラ、其ノ代價トシテノ穀物其  
ノ他ノ食糧ヲ一ツ供給シテ貰フヤウニシテ  
イト云フコトヲ屢々折衝シテ來テ居ルヤウニ  
モ聞イテ居ル、今少シ日本政府ニ熱意ガア  
ラナラバ、アノ滿洲國安ノ計畫ノ如キモ  
停頓セズニ完遂スルコトガ出來ルノデハナ  
イカ、此ノ點ハ我が政府ト致シマシテ、特  
ニ肥料當局ニ於キマシテハドレダケノ手段  
ヲアノ問題ノ爲ニ盡サレタカ、ハ相當ニ  
手段ヲ盡シテ載クコトハ、實ニ確安ノ供給  
ヲ確保シマシムルコトヲミデナク、  
此ノ會社ニ投資致シテ居リマスル資金ノ性  
質ニ鑑ミマシテモ、農民ノ最モ熱烈ニ要求  
スル所デアルト思フ、私ハ此ノ際ニ對シ  
テ一體ノ程度ノ手ヲ盡サレタカ、モウ盡  
スベキ手段ナクシテアノ停頓ノ狀況ニ陥ッ  
タノデアルカ、又將來ニ於テドウシヨウト  
サレテ居ルノデアルカヲ此ノ際御馳キシタ  
イノデアリマス

○重政政府委員 滿洲國安ノ製造計畫ハ、  
設立後四年後ニ製造スルコトヲヤウナ計畫  
ヲ著々進行致シテ居ツタノデアリマスガ、  
御承知ノ通りニ歐羅巴戰爭ニナリマシテ機  
械ガ入ラヌト云フヤウナ事情カラ、停頓ヲ

致シテ居ルヤウナ狀況ニ相成ツテ居ルノデ  
アリマス、勿論滿洲ノ大豆ハ相當獨逸ニ年  
年輸出ヲ致シテ居ツタノデアリマス、此ノ  
大豆ヲ送レバ或ハ其ノ機械ガ「シベリア」ヲ  
通ツテコウチニ持ツテ來ルト云フヤウナコ  
トモ考ヘラレルモノデアラウトハ想像ガ出  
來ルノデアリマスガ、併シ滿洲ノ大豆ヲ獨  
逸ニ持ツテ行クコト自體ガ既ニ困難ナ狀況  
ニアル次第デアリマシテ、之ヲ「シベリア」  
ヲ通ツテ向フ「運ブト」言ツテ見タ所デ、是  
ハ畢竟出來ナイ相談デアアル、或ハ船ヲ以テ  
大豆ヲ獨逸ニ運ブト云フコトモ、是ハ今日  
ノ狀況ニ於テハ絶望ノ狀況ニナツテ居ルノ  
デアリマス、而モ一面ニ於キマシテ、滿洲  
ニ於ケル資材ノ問題ハ益々窮乏ニナツテ參  
ル、一面又内地ノ方、滿洲ノ食糧、滿洲  
ノ雜穀ニ對スル國內ノ需要ト云フモノモ著  
シク緊要ノ度ヲ加ヘテ參ツテ居リマス關係  
上、實ハ三年後ニ於テサウ云フ計畫ヲ完遂  
スル爲ニ、ソレ等ノ現實ノ問題ヲ總テ犧牲  
ニ致シテヤルト云フ程ノ勇氣ハ、實ハ私ト  
致シマシテハ現在ノ所ハ持ツテ居ラナイノ  
デアリマシテ、内地ニ持ツテ參リマスルモ  
ノヲ假ニ向フ「送ル」コトガ出來マシテモ、  
之ヲ割愛シテ向フ「送ル」コトモ如何  
カト實ハ考ヘラレルノデアリマス、併シ左様ナ  
決意ヲ吾々ノ方デ致シマシテモ、現實ノ問  
題トシテ殆ド不可能ナ狀況ニナツテ居ルト  
云フヤウニ考ヘテ居ル次第デアリマス、併シ  
ナガラ只今御述ニナリマシタヤウニ、獨逸  
トシテハ機械ハ必ズ送ルト云フコトハ當初  
カラ申シテ參ツテ居リマス、如何ナル困難  
ヲ經テモ約東シテ機械ハ必ズ受渡ラヌルト  
云フ申入ラシテ居リマシテ、其ノ機械ノ註  
文ニ對シテ支拂ツタ所ノ手付ハ返シテ與レ

ナイ狀況ニナツテ居リマス、何レソレ等ノ  
機械ハ輸入致スコトガ出來ルト考ヘテ居ル  
次第デアリマス

○西川委員 只今御答ニ依リマス、滿洲  
ニ於ケル穀物ノ供給狀況、殊ニ大豆ニ對ス  
ル供給狀況カラシテ獨逸ニ對スル輸出ヲス  
ルコトガ困難ニナツタノガ、詰リ機械ノ代  
價トシテ大豆ヲ送リ出スコトガ困難ニナツ  
ノガ、隨テ日本ニ取ル大豆ヲ止メテマダ將  
來ノ爲ニ獨逸ニ送ル譯ニ行カナイノダト云  
フヤウニ拜聴シタノデアリマスガ、滿洲ノ  
大豆ノ供給計畫、本年日本ニ輸入サレマス  
數量ノ計畫ガ立ツタト思フノデアリマス  
ガ、其ノ當時ノ計畫ニハ獨逸ニ對スル輸出  
ト云フモノハ存置サレテ居ナカッタノデス  
カ、詰リ豫メ是ダケノモノハ毎年獨逸ニ出  
シタコト云フ豫想ヲ、他ノ方面ニ廻ス爲ニ食込  
シタ譯デスカ

○重政政府委員 當初ニ於ケル大豆ノ輸出  
計畫ト致シマシテハ、六十萬噸ト云フ計畫  
ヲ滿洲ニ於テ立テテ居リマシタ、所ガ歐羅  
巴ニ向ケテ出シマス六十萬噸ト云フモノガ  
事實問題トシテ殆ド是ハ絶望ノ狀況ニナツ  
タ、斯ウ云フ狀況デアリマス、勿論其ノ中  
ニハ或ハ船ト大豆ト「ボーター」デ大豆ヲ  
輸出スル等、若干ツツ輸出スル計畫ヲ履行  
シタモノモアル譯デアリマスガ、大體ニ於  
テ半數以上ト云フモノハ歐羅巴ニ出ナイ、  
他ノ方面ニ出テ金ヲ取ルトカ、或ハ必要ナ  
物ト換ヘルトカ云フヤウナコトニ使ハレテ  
居ル次第デアリマス

○西川委員 只今事實上不可能ニナツタト  
云フノハ、輸送關係ノコトデアルト思ヒマ  
スガ、實ハ先刻モ對策部長ハ「シベリア」鐵  
道ヲ經由シテ大豆ヲ送ルコトハ出來ヌ相談デ

マシテハ三百八十萬噸ノ實收額ト云フコト  
ニナツテ居リマス、其ノ間非常ナル減收ニ  
ナツテ居ルノデアリマス、尙ホ一面地場消  
費ガ非常ニ増大ヲ致シテ居ル現在ニ於テハ、  
或ハ百六七十萬噸ト謂ハレ、或ハ二百萬噸  
ト唱ヘラレテ居ルヤウナ情勢デアリマシテ、  
殆ド平常ノ場合ニ於ケル地場消費ノ二倍近  
クニモナツテ居ルヤウナ狀況デアリマスノ  
デ、今ノ歐羅巴向ケノ豆ハ、ソレ等ノ計算  
ノ違ヒニ依リマシテ殆ド皆食ハレテシマフ  
ト云フ計算ニナリノデアリマス、吾々ト致  
シマシテハ此ノ歐羅巴向ケノ大豆ガ歐羅巴  
へ出ナイト云フコトニナレバ、其ノ豆ハ全  
部内地ニ廻ルト云フ計算デアリマシテ、  
マスガ、今申上ゲマシタヤウナ事情ノ爲ニ、  
ソレ等ノモノハ全部其ノ地場消費ノ増大、  
減產ト云フ二ツノ事柄ノ中ニ消エテシマフ  
ト云フ狀況ニ今日ナツテ居ルヤウニ承知致  
シテ居リマス

○西川委員 是等ノ大豆ガ將來ノ生産ニ備  
ヘル機械ニモ變ラズ、又當面ノ需要ヲ充足  
スル内地ノ消費ニモ充テルコトハ出來ズ、專  
ラ減產ト地場消費トニ消エテシマツタト云  
フコトハ洵ニ遺憾千萬ナコトデス、而モ吾  
吾カラ考ヘラレルニ、減產デ是ダケ減ツタノ  
ダ、是ダケ地場消費ガ積エタノダト云フノ  
ハ、一ツノ數字ノ辻褄ヲ合セル説明デア  
カモ知レナイ、減產ノ名ノ下ニ、又地場消  
費ノ名ノ下ニ、何處カニ大豆ハ逃ゲツツア  
ルノカモ知レナイ、單ニ豆ガ逃ゲツツアル  
ト云フコトダケヲ考ヘマスルト、極メテ單  
純ナヤウデアリマスルガ、決シテ是ハ單  
純ナ事實デアナイト私ハ思フ、此ノ滿洲ニ  
於ケル大豆ガ、日本ト致シマシテモ國力ノ  
將來ニ及ボス影響ガ極メテ大キイ、獨逸ニ

於テハ是ガ手ニ入ルカ手ニ入ラナイカト云  
フコトガ、實ハ獨逸ガ戰爭ヲ續ケルコトガ  
出來ルカドウカト云フ關係ニ今ナツテ居  
ル、此ノ問題ハ深刻ニ御考ヘナツテ、更ニ  
深キ研究ヲ爲ス必要ガアルノチヤナイカ、  
可ナリ重大視シテ、警戒ノ眼ヲ以テ滿洲ノ  
大豆ノ問題ヲ見ル必要ガアルノチヤナイカ  
ト吾々ハ考ヘラ、其ノ點ニ付キマシテハ當  
局ノ御注意ヲ喚起シテ置キタイト思フ

ソレカラ滿洲ノ大豆ノ出廻リガ圓滑ヲ缺  
イテ居リマス事情ニ付テハ、先刻森田委員  
カラモ色々御質問ニナツテ居ツタヤウデア  
リマスガ、私ハ此ノ問題ニ付キマシテハ  
是以上餘リ問ヒマセヌガ、唯私ガ最モ憂慮  
シテ居ルノハ、今春ノ時付ニ於テドウデア  
ルカ、若シ價格ノ抑ヘ方ガ餘リニ當ラシ  
タ爲ニ出廻リガ惡クナツタ、併シナガラ後  
タ爲ニ出廻リガ惡クナツタ、併シナガラ後  
デ價格ヲ上ゲテ見タ所デ、又其ノ次ハ上ル  
ダラウ、モツト持ツテ居レ、上ルカモ知レ  
ナイト云フヤウニ見テ來ルノハ當然デア  
ル、殊ニアチラノ人ハサウ云フ風ナ感じハ日本  
人ヨリモ餘程過敏ナノデアルカラ、値段ヲ  
上レバ上レ程大豆ハ隠レカモ知レナイ、  
イ、餘所ニ消エカモ知レナイ、隨テ價格  
ヲ上ゲテ所デ出廻リヲ促進スルコトニハナ  
ラヌデアラウト云フ御見解モ私ハ一應正シ  
イト思フ、所ガ價格政策ガ若シ間違ヘル所  
ガアツタナラバ、本年ノ作付ニ影響スル所  
ガアリハシナイカ、本年ノ作付ニ大ナル影  
響ヲ齎シタト致シマシタナラバ、是ハ單ニ  
滿洲國ノ問題チヤナイ、滿洲ノ經濟ノミ  
ノ問題チヤナイ、日滿ヲ通ジテハ非常ナ  
重大ナ結果ニナルト思フノデアリマスガ、  
此ノ點ニ對シテ當局ノ御見込ハドウデア  
リマスカ

○重政政府委員 滿洲當局ガ今回大豆ノ値  
段ヲ或ル程度——七圓カラ八圓五十錢ト、  
一圓五十錢ヲ引上ゲマシタ理由ノ第一ト致  
シテ居リマスコトハ、今西川委員ノ御述ベ  
ニナリマシタ今春ノ播種ヲ十分ニヤラシタ  
イト云フ趣旨ニ於テ、値段ヲ上ゲタノデア  
ルト云フ風ニ承知ヲ致シテ居ルノデアリマ  
ス、果シテソレガ一圓五十錢ノ値上ニ依ッ  
テ十分ニ今春ノ播種ガ出來ルカドウカト云  
フコトニ付テハ、私能ク情勢ヲ認識致シマ  
スガ、目的ハソコニ置イテ今回ノ値上ヲ致  
シタト云フコトヲ承知致シテ居リマス

○西川委員 只今ソレダケノ値上ニ依ツテ  
果シテ作付ニ支障ガナイカドウカト云フコ  
トノ内容ニ付テハ、十分知ラナイト云フ仰  
セデアリマスガ、私ハ日本ノ肥料當局トシ  
テハソコノ程度ノ關心チヤイカスト思フノ  
デス、滿洲ニ於テハ大豆ガ餘計出來ルカ出  
來ナイカト云フコトハ、實ニ日本ノ肥料界  
ニ直接關イテ來ル問題デアル、是ハモツト  
深ク肥料當局トシテハ御調査ニモナリ、又  
發言ヲサレル必要ガアルト思フ、私ハ此ノ  
關係ハ非常ニ重大ニナルト思フ、是ハ滿洲  
ノ農業ト日本ノ農業ト云フモノヲ全然別個  
ノ見地カラ考ヘナクチヤナラヌ、日本ニ於  
テマシテハ假令米ノ値段ガ安クゴザイマシ  
テモ、農民ノ土地ニ對スル愛着心ガ非常ニ  
強イ、自分ノ耕作スベキ土地ハドウシテモ  
耕作サナクチヤナラヌ、ソレハ算定定耕  
スノチヤナイ、茲ニハ一種特別ノ日本農民  
特有ノ愛土觀念ガアル、其ノ愛土觀念ニ基  
イテ土地ヲ耕作シテ居リマスカラ、農産物ノ  
價格ガ作付ニ及ボス影響ハ割合日本デハ少  
イチヤナイカト私ハ思フ、ソレト今一ツ日

スルコトニナレバ作りハシマセス、彼等ハ大豆ハ食ル爲ニ作ルノデハナイ、金ニ換ヘル爲ニ作ル、隨テ百圓ヲ投ジテ作ツタモガ八十圓ニシカナラナイト云フコトニナラナラバ、是ハ斷ジテ作りハシマセス、隨テ私共滿洲ヲ觀察致シマシテモ、滿洲ヲ研究致シマシテモ、滿洲ニ於テ色々ノ政策ヲ行ハレル方ハ、眞ニ滿洲農村ノ實情ヲ理解シテ居ラレカ、滿洲農民ノ心理ヲ理解サレテ居ルカト云フコトニ付テ多大ノ疑問ナクテ、滿洲國ノ政府ノ内ニ在ツテ、農務司ノ内ニ在ツテ著實ニ研究シテ居ル若イ技術者ナリ若イ職員ノ本當ニ滿洲ヲ知ツテ居ル者ガ非常ニ憤慨シテ居ル、自分等ハコンナニ眞面目ニ眞實ニ研究シテ、斯ウシテテハナラズト云フテ居ルケレドモ、自分等ノ上ノ方ノ人ハ始終日本ト入代リシテ本當ニ滿洲ヲ理解シテ居ナイ、ソレガ爲ニドウモ政策ガウマク行カナイノゴト云フコトハ、私共ノ旅行者ガ左様ナコトヲ考ヘルノチヤナイ、滿洲國ノ政府ノ内ニ在ツテ本當ニ地ニ著イタ研究ヲシ、調査シテ居ル人ガサウ云フ感ヲ持ツテ居ルノデアリマス、デアリマス、カ、日本ノ政府當局、特ニ肥料當局トシマシテハ、サア其ノ値段ヲ上ゲタノハ其ノ意味デハ上ゲタノダガ、其ノ値段ガ果シテウマク行クモノデアラウカ、其ノ點ハ分ラズト云フヤウナ態度デハイケナイト思フノデス、又滿洲ノ大豆ノ色々ノ配給計畫ト申シマス、ソレ等ノ樹立ニ對シマシテモ、ドウモ日本ノ當局ノ關心ガ薄イト云フ風ニ從來聞イテ居ル、今後ニ於キマシテモ是ハ重大ナル關心ヲ以テ、重大ナル發言ヲサレル必要ガアルト思フノデアリマス

スルガ、之ニ對シテ當局トシテ今後ドウ云フ風ノ御考ヲ以テ臨マウトシテ居ルカ、モウ一度御答ヲ願フテ置キタイ

○重政政府委員 吾々ト致シマシテハ滿洲ノ大豆ノ問題ニ付テハ非常ニ關心ヲ實ハ持ツテ居ルノデアリマス、今後ニ於キマシテモ、此ノ大豆及ビ大豆ノ問題ニ付キマシテハ、向フノ當局ト十分ナル協議ヲ遂ゲテ行キタイト云フ考ヲ持ツテ居リマスノデアリマス、併シナガラ滿洲自體ト致シマス、大豆以外ニ色々ノ難題ガアリマシテ、ソレ等ノ問題ニ關聯シテ色々考ヘラレレコトハ當然デアルト思フノデアリマス、吾々モサウ云フ問題ニ付テモ色々意見モ持ツ、實ハ話合モ致スノデアリマスガ、唯ヤハリ是ハ獨立國ハ獨立國デアリマシテ、日滿經濟「プロット」ニハ開達アリマセスガ、其ノ政策ノ實行ニ當リマシテハ、實ハ内地ト十分ナル相談ヲ遂ゲテラレタ譯デモナイヤウニ聞イテ居ルノデアリマス、吾々ト致シマシテハ滿洲國當局ノサウ云ツタヤウナ色々ノ政策ヲ尊重スル建前ニ於テ、内地ノ關係ヲ調整スルコト云フコトヲ參ツテ居ルヤウナ次第デアリマス、今後ニ於キマシテモ是ハ十分連絡ヲ取ツテ、萬遺憾ナキヲ期シタイト考ヘテ居リマス

○西川委員 滿洲國ハ獨立國家デアリマスガ故ニ、滿洲國ノ事情ニ依ツテ其ノ産業經濟政策ヲ決メラレレコトハ、是ハ已ムヲ得ヌコトデアリマス、併シナガラ獨立國デアリマス、ソレモ、日本トシテ是ハ特殊ノ關係デモアリ、又對滿事務局等ニ於キマシテ十分ナル連絡ヲ維持ハルモノト私共考ヘテ居ル、又其ノ連絡ガ完全デナ

イナラバ、是ハ政治機構ノ上ニ於テ吾々ト別個ノ見地カラモ考ヘナクテハナラヌコトニナルデアリマスガ、ドウカ當局ニ於キマシテハ向フノ勞働賃銀ノ關係、殊ニ山東カラ入テ來ル苦力ノ關係、滿洲ノ穀物ノ運送關係ト云フヤウナコトヲ能ク資料ヲ取寄セラレ、又現地ニ人ヲ派遣サレマシテ十分ニ研究サレマシテ、サウシテ明年度ニ於ケル滿洲大豆ナリ大豆ノ内地ノ供給確保ニ向ツテ、斯ウ云フ風ニヤレバ萬遺憾ナイダラウト云フ確信ノアル所ヲ、對滿事務局ヲ通ジテナリ、其ノ他盡スベキ手段ヲ十分ニ御盡シニナラシコトヲ私ハ希望シテ置キマス

更ニ滿洲ニ於ケル大豆ノ公定價格ト、内地ノ無償肥料會社、今度出來マシタ無償肥料ノ中樞機關ニ於テ賣出シテ居リマス大豆ノ價格ト、ドウ云フ關係ニ於テ定メラレテ居リマス、其ノ數字ヲ——是ハ既ニ委員會ニ御示シニナツタカモ知レマセスガ、若シ御示シニナツテ居リマスレバ宜イデスケレドモ、サウデナカクテナラバ、大豆ハ幾ラデ、其ノ實銀ハ幾ラデ、運賃ヲドウ見テ、無償肥料價格ハ斯ウ出シタノゴト云フコトヲ御説明願ヒタイト思ヒマス

○重政政府委員 大豆箱ノ大連埠頭渡方三圓二十錢デアリマス、ソレカラ積込賃、船賃、積卸賃、其ノ他大連カラ積込ミマスモノト其ノ他ノ方面カラ積込ミマスモノト一定ノ比率ガアルノデアリマスガ、現實ノ問題ハ其ノ比率ニ依ラズシテ積込ムコトニナルト思フノデアリマス、ソレカラ一兩更ニ此ノ運賃ノ値上リ及ビ積込賃ノ値上リト云フヤウナモノモ考ヘナクテバナラヌ、而モコチラノ公定價格ハ、此ノ七月三十日マデハ假令如何様ノ經費ガ上リマシテモ釘付ニシナケレバナラヌト云フヤウナ關係デ、色々サウ云フヤウナ問題ニ付キマシテ平衡資金ヲ——給賃、ソレカラ積込賃、積卸賃、或ハチウ云フヤウナモノノ外ニ平衡資金ヲ決メテ居ルノデアリマス、更ニ各驛「レール」渡ノ値段ヲ決メテ居ルノデアリマシテ、内地ヘ運賃ヲ決メテ居ルノデアリマシテ、内地ヘ入りマシテ消費地マデ持ツテ行キマス其ノ運賃ヲ見マシテ、有機肥料會社ノ全國各驛「レール」渡ノ消費地ニ於ケル渡價段ト云フモノヲ、更ニ四圓三十二錢ト決メタ次第デアリマス

○西川委員 サウスルト大體此ノ四圓三十二錢ハ、現在ノ滿洲國ノ大豆ノ公定價格ニ比較シマシテ、合理的ノ値段ダト、斯ウ云フ風ニ當局ハ承認サレタ譯デゴザイマス、ネ——ソレデ此ノ四圓三十二錢ノ値段ハ、現在ノ確安其ノ他ノ重要肥料ノ現在ノ公定價格ヲ決メマシタ其ノ當時ノ大豆箱ノ値段ニ比較致シマシテ、ドウ云フ割合ニナツテ居ルノデスカ

○重政政府委員 今ノ四圓三十二錢ノ玉箱一枚ノ値段ハ、大體ニ於キマシテ九・一八ノ値段ト同ジ程度ノモノデアルト考ヘテ居ルノデアリマス、勿論九・一八ノ値段ハ兩クハツキリハ致シテ居リマセスガ、調査シテ見マスト四圓三十二錢、大體四圓三十二錢ガラミ、或ハ消費地ニ於テハソレヨリ稍高イト云フヤウナコトニナルカモ知レマセスガ、大體ソコラ邊ノ見當ト御承知ヲ願フテ宜カラウト思ヒマス、九・一八ノ當時ニ於ケル確安ノ値段ハ現在ノ値段段アル譯デアリマス、カ、大體私共ハソコヲ基準ニ致シテ考ヘテ居ル次第デアリマス

ウ云フコトニナルト思ヒマス、併シナガラ九・一八當時ニ於テ豆箱ガ非常ニ暴騰ヲ致シテ居ツタト思フ、所ガ一方他ノ無償肥料ノ重要肥料ノ公定價格ハ餘程前ニ定メタカラ、釘付ニシテ居ル譯デス、ソレデ居ル譯デス、ソレデ此ノ現在ノ公定價格ヲ定メマシタ當時ノ値段段——アレハ昭和十三年ノ何月カニ決ツタモノデアラガ、其ノ後踏襲シテ來テ居ルト思ヒマスガ、其ノ當時ノ豆箱ノ値段段ト比較致シマストドウ云フ工合ニナリマス

○重政政府委員 私ハ一寸其ノ當時ノ値段ハ記憶致シテ居リマセス

○西川委員 是ハ深川ノ値段段モ宜イノデス、何モ全國ヲ一ツノ御調ニナル必要ハアリマセス、ソレハ一ツ御調ニナツテ貰ヒタイ、是ハ課長ナリ事務官アタリハ知ツテ居リマセス

○重政政府委員 一寸今分リマセス

○西川委員 ソレデハ次ノ問題ニ付テ御承致シマス、先般本會議ニ於キマシテ、商工大臣ハ何處マデモ低物價政策ヲ堅持シテ行ク、併シナガラ生産ヲ増加スルト云フコトハ絕對ニ必要デアルカラ、其ノ必要ナル限度ニ於テハ適正價格ヲ作ツテ行カナクテハナラヌト云フコトハ、増稅委員會等デモ色々御説明ニナツタ、併シナガラ米トカ、肥料トカ、石炭、鐵ト云フヤウナモノハ何處マデモ値上ラシナイト云フコトヲ斷言サレテ居ラレレノデアリマス、其ノ點ハ農林省トシテハ、一體此ノ肥料ハ將來何處マデモ公定價格ハ上ゲナイト云フコトヲ行カレレノカドウカ、勿論此ノ肥料ノ値段ハ上ゲザルコトヲ國民ハ希望スル、農民ハ特ニソレヲ切望スル、併シナガラヨリ大ナル希望ハ、

潤澤ナル供給ヲ受ケタイト云フコトノ方、農民ノ更ニ大キナ希望ナンドアル、肥料ノ値段ハ安イニ越シタコトハナイ、勿論安クナクテハナラナイガ、同時ニソレガ爲ニ肥料ノ供給ガ減少スルト云フコトハ、少々肥料ノ値段ガ上ルヨリモツト苦シイノデアツテ、値段ガ安クシテ潤澤ナル供給ト云フコトハ無理ナ注文カモ知レマセスケレドモ、併シ其ノ無理ナ注文ヲ致シテ居ル、或ハ若シ多少ノ値上リヲ以テ潤澤ニ供給ガ出來、今日ノヤウナ窮乏ヲ見ズニ濟ムナラバ、多少ノ値上リハ忍ブカモ知レナイ、併シナガラ此ノ際ハ何處マデモ値上ラシナイト云フコトヲ押通シテ、値上ラセズニ所要量ノ供給ヲスルダケノ方策ヲ勉メテ遂行サレル方針デアラカドウカ、其ノ點ヲ御明示願ヒタイト思ヒマス

○重政政府委員 是ハ私カラ御答辯ヲ致スニ適サナイ事項ダト思ヒマス、又他ノ適當ノ機會ニ大臣カラ御答辯ヲ致スコトニ致シタ方宜カラウト思ヒマス

○西川委員 大體省内地打合せガ出來テ、議ヲ經ツテ居ルナラバ部長カラデモ宜シウゴザイマス

○重政政府委員 サウ云フコトハ吾々トシテハ中々簡單ニハ申サレナイト思フノデアリマス、今西川君ノ御述ニナリマシタヤウニ、要點ハ何處マデモ必要ナ數量ヲ提供スルト云フコトヲ第一義デナケレバナリマセス、カト云フテ、又値段ガ無暗ニ高イト云フコトハ是モ因ツタコトデアリマス、要スルニ適正價格ヲ以テ之ヲ供給スルナラバ、是ハソレデ宜イノデアリカ、唯斯ウ云フヤウナ重要物資ニ付テ、適正價格以下デ之ヲ置ク必要ガアリ、他ニ其ノ理由ガアルナラ

バ、是ハ政府方何等カノ方法ヲ講ジナケレバナラヌ、斯ウ云フコトニナルト私ハ思フノデアリマス、肥料當局ト致シマシテハ、只今ハ今ノヤウナ考ヘ方ヲ致シテ居ル次第デアリマス

○西川委員 ソレデハ其ノ肥料價格ノ方針ニ付テハ他ノ機會ニ於テ大臣ニ御同致シマスガ、肥料當局トシマシテハ現在ノ肥料ノ公定價格ヲ以テ適正價格ナリト認メラレテ居ルノデアリマス、又色々ノ方面カラ御研究ニナツテ、ドウモ適正價格トシテハ少シ安イノダ、モツト高クシナケレバナラヌノダト云フ風ニ御考ニナツテ居ルカドウカ、是ハ肥料當局トシテ御考ヲ御同致シマス

○重政政府委員 現在ノ値段ハ相當安イ値段デアツテ、適正價格ハモツト高イト考ヘテ居リマス

○西川委員 ソレデハ今度追加豫算ニモ計上サレテ居ルヤウデアリマス、此ノ確安ノ製造會社等ニ對スル補助金デスカ、助成金デスカ、サウ云フモノノ交付ハ、現在ノ肥料ノ價格ガ適正デナイ、寧ろ安イ、併シナガラ適正價格ガ少シ高クナルトスルナラバ、ソレハドウモ色々國策上面カラカカラ、ソレヲ補償スル、斯ウ云フ意味デアリマス、ソレヲ補償スル、斯ウ云フ意味デアリマス

○重政政府委員 豫算ノ計上ハ、重要肥料ノ供給ヲ確保スル目的ニ使用スルコト云フ建前ニ於テ計上致シテ居ル譯デアリマシテ、現在ノ販賣價格ヲ以テ致シマシテハ肥料ノ供給ヲ確保スルコトガ出來ナイ、斯ウ云フ建前ニ於キマシテ豫算計上致シテ居ルノデアリマス

○西川委員 此ノ豫算ノ製造業者ニ對スル交付ハ、ドウ云フコトヲ標準ニ交付サレレ

豫定デアリマス

○重政政府委員 是ハ吾々ガ色々調査致シマシタ資料ニ基キマシテノ適正價格ト云フモノ、及ビ其ノ他ノ製造資材ト考ヘラレマモノノ電力等ニ付テノ値上リト云フヤウナモノヲ綜合的ニ考慮致シマシテ、交付致ス積リデゴザイマス

○西川委員 當局ニ於テハ各會社毎ニ精密ナル生産費ト云フモノノ御調査ガ出來テ居ルノデアリマス、ソレカラ又現在此ノ確安ノ製造方法ニ依リマシテハ、例ハ電力等ヲ適當リ非常ニ餘計ニ要スルモノト、然ラザルモノトアリ、色々製造方式ノ違フコトニ依リマシテ、ソレノ生産資材ノ重ミガ異ツテ來ルト思フノデアリマス、サウ云フ點ヲ一ツノ御調査ニナツテ、サウシテ各別々ニ甲ノ會社ハ増産適當リ何程ヲ交付シ、乙ノ會社ハドウデアルト云フ風ニ御與ヘニナルノデアラカ、ソレカラ又大體適正價格ト云フモノヲ既マレテ、其ノ適正價格トノ差額ト見レキモノニ對シテ生産數量ニ比例シテ交付サレルノデアリマス、其ノ點ノ方針ヲ承リタイト思ヒマス

○重政政府委員 謂ハバ今御述ニナリマシタ中間ノヤウナ形ニナラウト思ヒマス、個々ノ會社ノ一ツノ二付テ各異ニシタヤリ方ヲスルト云フコトハ考ヘテ居リマセスガ、併シナガラ著シク其ノ兩者ノ間ノ生産費ガ異ツテ來ル筋合ニアル、例ハ不定ニ電力ヲ供給致シテ居リマシタ當時ト、今日ノ供給電力ニ依ル場合ノ電力料金ト云フモノハ、著シクソコニ差異ガ出來マス、サウ云フヤウナ特殊ナル數種ノ會社ハ、是ハ他ノ會社ト區別ヲ致シテ交付サレナケレバナラヌト云フ風ナ大體ノ心組ミテ居ル譯デアリ

○西川委員 又豫算ノ上ニハ加里鹽等ノ代用品等ノ施設ヲスル爲ニ、例ヘバ木灰ノ蒐集トカ、保存施設等ニ對スル補助金ナルカ、或ハ又畜舎ノ改良等ニ對スル補助金ナドモ百數十萬圓計上サレテ居ルカノヤウニ見テ居ルアリマス、是等ハドウ云フ風ニシテ御配付ニナル御方針デアリマスカ一寸伺ヒタイと思ヒマス

○重政政府委員 是ハ私詳シイコトハ十分承知致シテ居リマセヌ、恐ラク木灰ノ蒐集等ニ付キマシテハ、農業團體等ヲ通ジテ交付スルと思ヒマス、或ハ畜舎ノ改良及ビ新設ニ對シマシテ、畜舎ノ床ヲ「コンクリート」ニ敷キニシテ固メマシテ、糞尿ヲ流スヤウナ構造ニスルコトニ對シテハ、從來ヤウテ居ルヤウナ方法ヲ助成金ヲ交付スルノデアラウト考ヘマス

○西川委員 ソレハアナタノ方ノ係デハナイノデスカ  
○重政政府委員 サウデス  
○西川委員 助成金ガアナタノ方ノ係デナケレバ、政務次官カラ御説明願ヒマス  
○岡田政府委員 仔細ニ互ツタコトニ付テハ私存ジテ居リマセヌ、農務局カラ御答サセルコトニ致シマス

○西川委員 此ノ際承リタイコトハ、加里鹽ハ本年度ヨリモ明年度ハ多少宜クナルデアラウト云フ御答辯デアリマシタガ、ソレハ本年ガ非常ニ惡カウツタカラ、之ニ依ツテ稍、宜クナルデアラウト云フ意味グラウト思ヒマス、加里鹽ノ需要量ガ十分ニ供給サレルト云フ御見込デハナイと思フノデアリマス、隨テ之ヲ補フ意味ニ於キマシテ、木灰ノ蒐集施設等ノ如キハ非常ニ重要デア

ル、又極メテ有效ナル、隨テ從來農林省ハ色々ノ補助金トカ助成金トシテ僅カナ金額ヲ計上サレテ居ラレ、サウシテ一府縣ニ對シテ一萬圓カ二萬圓位ヲ割當テラレ、ソレデ縣下二百町村モ三百町村モアル所ヘ持ツテ行ツテ、五箇町村カ十箇町村カラ選ンデ行ク、又其ノ町村ノ中ニ何百戸ト云フ農家ガアルノデ、其ノ中デ補助金ニ浴スル者ハ二戸カ三戸位デアツテ、全國ニ見ルト始ド潤フ所ハ僅カナノデアリマス、唯豫算面ニ現ハレマス、成程加里鹽對策トシテ此處ニ載ツテ居ルヤウデアリマスガ、其ノ實效タルキ洵ニ微々タルモノニナツテ居ル、併シテ今度ノ加里鹽ノ對策ハソノ中申詳ノナコトデハイカスト思ヒマス、ソレハ徹底的ニナルベキデアル、全國希望ノ者ニハ全部ナルベキデアル、豫算ノ建前ガドウナツテ居ルカ、サウ云フ小サイ事マデハ私ハ聴カチクテモ宜イノデスカ、ソレガ分レバ御馳キシタイノデアリマス  
ソレカラモウ一ツ伺ヒタイノハ、資料ト申シマシテモ主トシテ「セメント」デアラウト思ヒマスガ、其ノ「セメント」ニ對シテハ商工省ト十分協議ガ進ンデ居ルカドウカ、又企業院等ト其ノ協議ガ十分進ンデ居ルカドウカ、現在ヤウテ居ル早害應急施設ニ對スル事業費モ、ソレニ伴フ「セメント」ノ配給ヲシテ與レテ居ラス、商工省ニ行キマスト、農林省ノ事務當局ガ此ノ豫算ノ組ム時ニ吾々ト打合セテ居ラスノダカラ、吾々ノ方デ早害對策ニ對スル「セメント」ノ必要ダト云フコトハ全然實ハ考ヘテ居ナカウタ、ソレデ金ハ出シタケレドモ物方出テ來ナイカラ、其ノ事業ハ遂行出來ナイデ困ツテ居ルト云フコトニナル、此ノ加里鹽ノ補

給對策ノ一ツトシテ木灰ノ蒐集設備ヲサレルコトハ非常ニ宜イコトデアリマス、又畜舎ノ改良等モ非常ニ宜イコトデアリマス、是等ニ對シテ希望ノアル所ニハ普通ノニソレヲ交付シ得ル建前ニナツテ居ルカ、又ソレニハ實ガ附イテ居ルカ、所謂空ノ紙幣デアルカ、或ハ資料ノ實ガ附イテ居ルカドウカ、此ノ點ハ次官御分リニナルナラバ此ノ際御答願ヒタイ  
○重政政府委員 ソレハ豫算ヲ組ム前カラ商工省ト交渉致スヤウナ手續ニナツテ居リマセヌ、是ハ來年度物動ニ於キマシテ、之ヲ組入レルカ、入レナイイカト云フ問題ニナリ「セメント」ノ問題ニ付キマシテハ、ハ折衝ヲ致シマシテ、三月分トシテ決定ヲ致シマシタ三五千噸ノ中デ、既ニ各府縣ニ配當致シテ居リマス、今御述べニナリマシタヤウナ早害ノ問題ヤ色々ノ問題、急ヲ要スル自給肥料ノ「サイロ」ノ問題モ此ノ中ニ含メマシテ、縣當局ニ於テ緊急ヲ要スルモノカラ之ヲ使フヤウニ致シテ居ル次第デアリマス、ソレガ有效ニナリマセバ、更ニ電力石炭等ノ關係ニ依リマテ、多少増配ガ出來ル見込デゴザイマス

○西川委員 此ノ農業技術ノコトハ能ク分リマセケレドモ、併シ大體私共ノ地方ノ農民ノ言フ所ニ依リマス、加里鹽ハ木灰ヲ蒐集シサレバヤレル、加里ガナイト云フコトハ私共ニ取ツテサウ大シク問題デハナイ、併シソレヲヤルニ付テハ私共ノ地方デモ或ハ農會等ガ補助金ヲ出シテヤラセテ居リマスガ、「セメント」ヲ木灰蒐集ト附ケテヤウテ居ル、隨テ加里ハ外國カラ輸入シナクテモ宜イ、ソレヲ輸入スル代リニ「セメント」ヲ配給スレバ宜イノデアリマス、石炭ガ足りナイ爲ニ「セメント」ガ餘計生産ガ出來ナイナラバ、加里ヲ輸入シナケレバナラス、ソレヨリモ加里ヲ輸入スル資金ヲ以テ石炭ヲ輸入シテ、「セメント」ヲ餘計作ツテ、ソレヲ振當テテモ論理ノ辻褄ハ合フ譯デス、是等ノ農業資料ニ付テハ、部長ハアナタノ所デヤウテ下サル問題トシテ、特ニ商工省トモ相談シ、閣議ニモ十分御掛ケニナツテ、折角補助金ヲ御出シニナルナラバ、其ノ補助金ニ資料ヲ附ケテ戴クコトニ御盡力ヲ願ヒタイと思ヒマス、是ハ私ノ希望デゴザイマス  
次ニ御馳キシタイノハ、此ノ日本肥料株式會社ナルモノハ、現在ノ肥料事情ノ下ニ於テ、是ガ一ツノ肥料對策ニナルカドウカニ付テハ、多大ノ疑問ヲ私ハ持ツザルヲ得ナイ、此ノ會社ハ現在アル過機酸肥料ト破安トノ中樞機關トシテ、ソコニ分レテ居ルモノヲ一ツニスルモノデアルノデスカ、ソレトモ又二ツニスルト同時ニ内容ガ變ツテ來ルカドウカ、今後ノ事業ノヤリ方變ツテ來ルノデアルカ、從來通りデアルカ、又此ノ會社ノ目論見書ナンカ此ノ委員會ニモ御出シニナリマシタガ、ドウ云フ風ナ内容ニナツテ居ルノデアリマス、此ノ點ヲ御伺シタイ  
○重政政府委員 唯備會社ト日本破安會社ガ一緒ニナルト云フ譯デアリマセヌ、之ヲ吸收シテ、政府ガ半額ノ出資ヲシテ之ニ日本肥料株式會社設立シテ、肥料ノ配給統制ノ強化ヲ致ス、斯ウ考ヘテ居ル次第デアリマス、ソレカラ更ニ生産ノ方面ニ付キマシテハ午前モ色々御質問ガアリマシテ、大體御答辯申上テ置イタ次第デアリマス、

積極的ニ例ヘバ製鐵關係ノ廢瓦斯トカラ云フヤウナモノヲ利用シテ製造ヲ致シマス所ノ硫酸製造會社ノ新設デアリマストカ、或ハ既存ノ會社ニ對シテサウ云フ事業ヲ附加致シマシテ、ソレニ對スル投資ヲ致シマストカ、或ハ又現狀ニ於キマシテハ非常ニ原料、資材ニ付テノ供給ニ政府ハ狂奔致シテ居ルノデアリマスケレドモ、經營ノ關係及ビ技術ノ關係ガドウモ皆ク行カナイ、其ノ爲ニミス、此ノ貴重ナル原料ヲ提供致シナガラ、其ノ能率ガ上ラナイト云フノモアルノデアリマス、サウ云フヤウナモノヲ此ノ會社ニ依リマシテ、必要ニ依ツテ工場ノ管理モ致シ、場合ニ依ツテハ製造會社ノ買収モ致シテ、サウシテ能率ヲ上げテ、少クモ現在ノ製造設備ノ出來ル限リハ能率ヲ高度ニ發揮シテ製造能力ヲ殖サウ、ソレカラ又一面ハ新シイ製造事業ニ對シテモ、必要ニ應ジテ工場ノ經營モ圖ル、或ハ投資モシタイト云フ考カラ、此ノ會社ヲ設立シヨウト云フコトヲ考ヘタ次第デアリマス

○西川委員 只今御説明ニナリマシタ點ハ、私ハ當局ノ希望トシテハ兩カアルベキダト思フ、又一ツノ御理想ダト思フ、現實ニサウ云フコトガヤレル御見込デスカ、又ヤル豫定ガアルノデスカ、現實ノ問題トシテ……  
○重政政府委員 是ハヤレル見込デ考ヘテ居リマス、豫定ト申シマスト具體的ナ問題ニナリマスノデ、是ハ政府ガ今直チニ此處デドレドレノ會社ノ工場管理ヲヤルトカ、或ハ之ヲ買収スルトカト云フコトハ一寸申上テ兼テマスケレドモ、是ハヤレルモノト確信致シテ居リマス

○西川委員 現在ノ硫酸ニ關スル限リハ、硫酸アンモニヤノ増産及配給統制法ニ於テモサウ云フ途ガ開イテアルト思フ、併シナガラ實際ハソレハ一ツモ實行シテ居ラナイ、例ヘバ滿洲硫酸ノ如キスラモ其ノ事業ガ一大停頓ヲセザルヲ得ナイヤウナ状態ニアル、ソレカラ工場ノ管理ト云フコトヲ言ハレマスガ、現在ノ工場ノ經營者ガ皆ク行カナイ、ソレハ斯ウ云フ電力ノ狀況ノ下ニ於テハ、斯ウ云フ資料ノ狀況ノ下ニ於テハ、ソレハ皆ク出來ナイヤウナ建前ニ初メカラ出來テ居ル工場チヤナイイカト思フノデスカ、ソレハ此ノ會社ガ管理シサレバサウ云フ工場チヤモ大イニ成績ヲ得、能率ヲ學ガレコトガ出來ルノダト云フコトハ、ドウモ私共ニハ分ラヌノデスカ、之ヲ吾々ガ納得シ得ルヤウニ具體的ニ色々ノ資料ヲ御持チテアリマセウカラ、ソレニ基イテ今少シ具體的ニ、單ニ確信ガ御アリニナツタリ、サウ云フ理想ヲ御持チニナツテ居ルダケデナシニ、今ノ斯ウ云フ風ナ會社ハ斯ウ云フ事情ノ出來ルノダ、此ノ會社ハ斯ウ云フ事情ノ出來ルノダト云フ風ニ、一ツ御説明ヲ願ヒタイ  
○重政政府委員 一例ヲ舉ゲマセバ、貴重ナル電力ヲ供給シテ、サウシテ政府ノ豫定シタ所ノ石灰窯素ガ造レスト云フヤウナ状態ガアル場合ニ、是ハ他ノ製品トノ牽聯ノ關係モアツタリスル場合ニ於キマシテハ、是ハ如何ナル方法ニ依ツテ其ノ所要ノモノヲ出スカト云フコトモ二ツノ問題デアリマス、ソレカラ又技術的ノ方面ニ於テ考ヘテ見マセバ、色々ナ問題ガアルノデアリマス、電力ノ供給ハ出來タガ、「コータス」ガナイト云フヤウナ不始末モ出テ居ルコトモ考

ヘラレル、ソレ等ガ唯或ル時期ニ於テノミサウデアアルナラバ、是ハ勿論問題ハアリマセヌガ、併シナガラ是ハ大體ニ於テ其ノ會社ノ經營ノ陣容ナリ、經營ノ前途ヲ考ヘテ見レバ、ドウモ放ツテ置イテハイカストカ、或ハ又技術的方面ニ於テ硫酸ノ母液ニ「アンモニヤ」ヲ通ス場合ニ於テノ能率ガ惡イ、而モソコヲ改善スルコトヲ會社ニ依ツテ肯ジナイト云フヤウナ、色々ナ關係ガ具體的ニアルコトヲ承知致シテ居ルノデアリマス、ソレ等ノ點ノ改善ヲ是非ハ急ガナケレバナラス、斯ウ云フ時局ニ於テ洵ニ是ハ必要デアルト考ヘテ居ルノデアリマス、若シ此ノ日本破安會社ガサウ云フヤウナ工場經營管理ト云フ程度マデ至ラズシテ、技術ノ改善ガ出來、經營ノ能率ノ増進ガ出來ルナラバ幸デアルト私ハ考ヘルノデアリマセヌガ、併シナガラ場合ニ依レバ此ノ會社ヲシテ經營ノ管理マデヤラシメルト云フ壯志ヲ決メテ掛ラナケレバ申上テ困難ナコトデアルト考ヘル次第デアリマス  
○西川委員 大體御説明ニナリマシタヤウナコトハ、現在既ニアル法律デモ出來ルノチヤナイイカ、ソレカラ又國家總動員法ノ如キ、何デモ出來ルヤウナ法律モ法律トシテハ備ワテ居ルト思フ、大體私ハ、是ハ少シ當局ニ對シテ脈味ニ問エルカモ知レマセヌケレドモ、ドウモ法律ガ御作リニナツテ、而モ遠大ナル理想ニ基キ法律ヲ御作リニナツテ、割合ニ當面解決シナケレバナラスヤウナコトニ手ガ抜ケテ居ルノチヤナイイカト云フヤウナ感シガ非常ニ私ハスルノデスカ、ソレハ斯ウ云フ事情デス、例ヘバ米ノ問題デモ、昨年ノ秋カラア、云フ米界ノ一ツト混亂状態ガ生ズルト云フコトハ、私共



ラ何處ニヤレト云フ指圖ヲスル、ソレダケ  
デ濟シテシマフ、然ルニ此ノ會社ガアル爲  
ニ此ノ會社ノ帳簿ノ上ヲ一週通ラナケレバ  
ナラス爲ニ、少クとも一週間、長ケレバ一  
箇月位ノ日數ガ掛ル、此ノ會社ガアルガ爲  
ニ吾々ハ何處ニ運バナケレバナラスカ知  
レナイ、同トシテドウシテモ此ノ會社ガナ  
ケレバナラス絶對的ノ理由ガアルカラバ、  
其ノ理由ヲ一ツ御説明ヲ願ヒタイ

〔委員長退席、成島委員長代理著席〕

○重政政府委員 西川サンノ仰シヤルコト  
モ一ツノ御説デアルト思ヒマスガ、統制事  
業ノヤリ方ニ付キマシテ、全部細カクイ所マ  
デ政府デヤルト云フ行キ方モ一ツノ行キ方  
デアラウト思ヒマス、併シナガラ大本ヲ政  
府ガ握ツテ、實際ノ實務ヲ斯ウ云フヤウナ  
半官半民ノ機關ニ委ネマス、或ハ之ヲ  
一種ノ政府デヤリマシテ特別ノ法人ニ委ネ  
ルトカ云フヤリ方ヲスルト云フコトモ、是  
ハ一律ニドウトハ申サレマセムガ、物ニ依  
リマシテハサウ云フ行キ方ノ方宜シイト  
云フヤウナモノモアラウト思フデアリマ  
ス、現ニ是ハ餘計ナコトデアリマスガ、私  
ガ獨逸ニ居マシタ當時ニ、今ノ「ナチス」政  
府ガヤウテ居リマシタ統制等ヲ見マシテモ、  
ヤハリ斯ウ云フヤウナ行キ方デ當初ハヤツ  
テ居ツタヤウデアリマス、順次其ノ後ニ於  
キマシテ、或ハ一應斯ウ云フヤウナ機關ヲ  
設ケテヤリマシテ置イテ、或ル時期ニ於テ  
政府ガ其ノ機關ヲ吸收スルト云フヤウナヤ  
リ方ヲヤウテ居ツタヤウニ、私ハ記憶致シ  
テ居リマスガ、是ハ兎ニ角一律ニドウト云  
フコトハ私ハ申サレナイト思フデアリマ  
ス、西川サンノ御意見モ確ニ御意見デ  
アルト思フデアリマスガ、私ハ此ノ一般

的ノ問題ハ別ト致シマシテ、肥料ノ問題ニ  
付キマシテ現下ノ情勢ニ於キマシテハ、斯  
ウ云フモノデアルト云フコトノ方ガ私ハ宜  
カラウト考ヘテ居リマス

○西川委員 私人トモ部長ノ御考ト  
ハマルデ反對ノ考ヲ持ツゾデス、他ノ問題  
ハ兎モ角トシテ、肥料ノ問題ハコソナ會社  
ハモウ要ラスチヤナイカト思ヒマス、肥料  
位私ハ統制ノ徹底シテ居ル商品ハ他ニ今ハ  
ナイト思フ、先刻モ御話ニナツテ居ツタヤ  
ウニ、肥料ハ切手ヨリモ手數料ガ少イ、其  
ノ切手ヨリモ少イ手數料ヲ以テ配給ガ出來  
テ居ルト云フコトハ、如何ニ是ガ統制ノ軌  
道ニ乗ツテ居ルカト云フコトガ分ル、肥料會  
社ノ人達ニ私共ガ會ヒマシテモ、アノ重要  
肥料統制法ノ出來タ時分ノ會社ノ言分ト、  
今日ハマルデ本質的ニ人間ガ變ツテシマツ  
テ居ル、肥料ハモウ統制ト云フコトニ付テ  
ハ可ナリ徹底シテ居ル、徹底シテ居ルカラ  
切手ヨリモ少イ手數料デ配給ガ出來テ居  
ル、切手ヨリモ少イ手數料デアアルノ  
ニ、此ノ會社ノ取分ハ割合多イゾデス、  
是ハアノタノ能ク御承知ノ實務カラ考ヘテ  
御覽ナサイ、此ノ肥料ヲ動かシテ實際ノ消  
費者ノ耕作地ノ傍マデ運シテ行ツテ僅カノ  
手數料デアアルト、帳簿ダケヲイヂツテ、  
時々電話ノ應答ヲスル位デ取ル手數料ト比  
較シテドウデス、是ハ眞實ニ冷靜ニ御考ニ  
ナツタラ、其ノ取分ハ成程多イト御氣付  
キナルデアラウト思フ、サウシテ此ノ會  
社ハ餘リ役ニハ立ツテ居リマセムヨ、只今  
政府ハ大綱ダケヲ握ツテ居ツテ、小サイ事  
ハ會社ニヤラセルト云ハレルガ、會社ハ小  
サイ事ヤウテ居リマセム、小サイ事ヲ會  
社ヘ聽キニ行タト分ラヌ、分ラヌカラバ已ム

ヲ得ズ農林省ニ聽クト分ルデアリマス、農  
林省ノ方ガ餘程小サイ事ガ徹底シテ居ル  
例ヘバ此ノ二月分ノ割當額安ガ會社カラ出  
テ居ルカ、マダ出テ居ラヌカ、ソレガ今ノ  
確安會社デハ分ラナイゾデス、ソコデ農  
林省ニ聽クト分ルシ、農林省ニ手配シテ買  
フト徹底シテ直グ確安ガ來ルヤウニナル  
ガ、會社ニ何處懸合ツテモ來ナイト云フノ  
ガ實情デアアル、ソコデ農民、肥料ノ消費者  
ハ、此ノ會社ガ何ボカノ手數料ヲ取ル、其  
ノ手數料ノ負擔ガ厭ダト云フヨリモ、斯ウ  
ノ手數料ガアル爲ニ要ラス所ニ手數ヲ掛  
ケルト云フコトヲ非常ニ嫌ツテ居ル、此ノ  
點水掛論ニナツテ、當局トシテハ此ノ會社  
ガ不要デアルトハ今御答ニナラヌデセウガ  
御五ニ眞實ニ考ヘテ、若シ斯ウ云フモノヲ  
存置シナケレバナラスヤウナ變テ空氣ガア  
ルナラバ、ソコナモノハ一ツ解消セシメテ  
モウ少シ配給機構ヲ明朗化シ、簡易化シテ  
行ツタウニ御五ニ努力シテ方宜イゾデハ  
ナイカト思フ私ハ此ノ問題ヲ更ニ詳々トハ  
繰返シマセム、尙ホ色々御説明ヲ聽イテカ  
ラ吾々ノ考ヲ決メナケレバナラスト思ヒマ  
スガ、更ニ別ノコトニ付テ御聽キシタイコ  
トハ、此ノ委員會ノ第一日ニ眞實委員カラ  
指摘サレタ問題ニ關聯スルデアリマスガ、  
其ノ時從來割當額肥料、又中樞機關カラ  
費用シテ居ルノニ、指圖ヲマダシテ居ラヌ、  
諸ノ實際ニ配給シテ居ラヌト云フ數字ヲ舉  
ゲテ御説明ニナツタヤウデアリマスガ、ソ  
レヲ各府縣別ニ商人系統ガ幾ラデ、組合系統  
ガ幾ラト云フコトニ付テハ、既ニ參考資料  
デモ御出シニナリマシタカ、御出シニナツテ  
居ツテ、私ガ戴イテ居ラナイノナラバ後戴  
イテ宜イガ、若シ御出シニナツテ居ラナイ

ナラバ、此ノ際一寸説明シテ戴イテ、尙ホ後  
デ詳細ナル數字ヲ出シテ戴キタイ  
○重政政府委員 資料トシテハ出シテ居リ  
マセム、是ハ色々關係モゴザイマスゾデ、實  
ハサウ云フ數字等ニ付テハ申上ゲタクナカ  
ウツノデアリマスガ、段々質問應答ヲスル内  
ニサウ云フコトニナツテ參ツタヤウナ次第  
デアリシテ、専ラ申上ゲタノハ過渡期ノ灰  
ニ付テ配給會社ヲシテ調べサセタノデアリ  
マスガ、ソレニ依リマス、十五年二月二十  
九日報告到著現在ト云フノ來テ居ルノデ  
アリマスガ、是ハ全國ヲ一律ニ見ルノモ一  
ツノ見方デアリマスガ、全國的ニハ餘リ大  
シクコトハナクテモ、其ノ府縣ニ行ケバ大  
變ナコトデアリマスガ、實ハ各府縣別ニ  
私ハ強硬ノ態度ヲ持ツテ居ルノデアリマス、  
御示シニ從ツテ假ニ全國的ノモノヲ申上ゲ  
マス、全聯關係ニ於テ二月分ノ割當額  
五萬四千八百三十一噸デアリマス、二十九  
日マデニ到着シナイ、所謂指圖ノ來ナイ數  
量ガ四百二十六噸デアリマス、是ハ岩手  
縣ガ八十噸、兵庫五十噸、千葉ガ二百九十  
五噸ト云フコトニナツテ居リマス、商人關  
係ノ方ハ、是ハ何レモ單肥デアリマスガ、  
過燐酸石灰ノ二月分ノ割當額合計八萬四千  
五百九十一噸ニナツテ居リマスガ、其ノ中  
指圖ノ來ナイモノガ二萬二千二百十四噸ト云  
フコトニナツテ居リマス、是ガ各府縣別ニ  
ナリマス、商人關係デモ巧ク行ツテ居ル  
縣モアルシ、餘リ巧ク行カナイ縣モアルト  
云フ譯デアリマス、今ノヤウナ數字ニナリ  
マスカラ、全體各府縣ノ商人ノ統制團體ガ  
何レモガ若シク惡イト云フコトハハナラナ  
イノデアリマス、府縣別ニ依ツテ非常ニ差  
異ガアルト云フコトヲ申上ゲテ置キマス

○西川委員 是ハ由々シキ問題デアルト  
思フ、現在農家ハ肥料ノ缺乏ニ苦シンデ居  
ツテ、一日モ早く肥料ノ配給ヲ待ツテ居ル  
ガ、現ニ中樞機關ノ方デハ賣出シテ居ルノ  
ニ、其ノ配給業者ガ配給ヲ怠ツテ居ルト見  
ナクテハナラス、而モ全聯關係ト商業團  
體ノ關係トハ比較ニナラナイゾデスガ、全  
聯關係ノ五萬四千八百三十一噸ノ中カラ  
四百二十六噸位ノコトハ、色々ノ事情デ已  
ムヲ得ナイコトガアラウト思フガ、一方デ  
八萬四千五百九十一噸カラ二萬二千二百十  
四噸モ指圖ヲシナイモノガアルト云フニ至  
テハ、言語道斷ノ話デアルト云ハザルヲ得  
ナイゾデアリマス、一體斯ウ云フヤウナ事  
情ガ何ノ爲ニ起ワタノカ、寧ろ配給能力ノ  
ナイ所ニ割當テラナイカ、又割當ヲ  
受ケタモノガ配給ノ意思ト熱意ヲ有シナイ  
ゾデハナイカ、切手ヨリモ安イ手數料ダカ  
ラ、コソナモノヲ扱ツタ所デ商賣ニナラヌ  
ト云フノデ、配給ノ熱意ヲ有シナイノカ、  
配給ノ能力ヲ有シナイノカ、ソレトモ他ニ  
何カノ原因ガアルト見テ居ラレマスガ、ソ  
レヲ御答願ヒマス

○重政政府委員 是ハ的確ニ私調査ヲ致シ  
テ居リマスゾデ申上ゲマセムガ、色々  
ノ理由ガ考ヘラレレノデアリマス、例ヘバ  
一月二月ニ引取ルモノデアリマシテモ、ヤ  
ハリ春肥ニ當テルモノデアリマスカラ、早  
ク引取レバ金利息數ガ損デアルカラ、成ベ  
ク施肥ニ直而シテ引取ツタ方ガ得デアルト  
云フヤウナ算盤勘定モアラウカト思ヒマス、  
或ハ又統制團體ノ一内部ニ於ケル組合員ノ  
取扱上ノ協定ト申シマスガ、比率ト申シマ  
スカサウ云フヤウナコトニ付テハ話合ガ付  
カナイト云フコトモアラウト思フデアリ

マス、ソレカラ又統制團體ト商業組合ノ  
内部ニ於ケル事務上ノ處理ノ問題ト云フコ  
トモ、實際問題トシテアルノデハナイカト  
云フ風ニ考ヘテ居ルノデアリマス

○西川委員 只今御説明ニナリマシタコト  
ニ於キマシテモ、私ハ配給ノ一ツノ確性ト  
云フモノヲ現ハシテ居ルト思フ、吾々ノ所  
ニモ頻々トシテ、肥料ハ廻ラヌト云フ電報  
ヲ寄越シテ居ルヤウナ状態デ、非常ニ肥料  
ノ配給ヲ急イデ居ル、其ノ時ニ當ツテ金利  
合敷料ノ算盤勘定ヲシテ居ツテ配給ヲ怠ツ  
テ居ルト云フコトモ、又統制ノ内部ノ色々  
ナ事情ニ基テカチウ云フヤウナコトモ、  
是等ハ割當テラレタ其ノ者ガ配給ニ付テ不  
確性ヲ持ツテ居ルコトヲ只今ノ御説明ノ  
何レノ點カラ考ヘ得ルゾデス、此ノ明カ  
ナル事實カラ見マシテモ、吾々ガ年來叫  
デ居ルヤウニ配給ノ一元化ヲ御願ニナラ  
ナイ限リ、其ノ問題ハ解消シナイト思フ  
（成島委員長代理退席、委員長著席）  
當局デハ之ヲ一體ドウ處置サレラレマスガ、  
其ノ月ニ割當額タモノヲ其ノ月ニ指圖ヲシ  
ナカワケ者ニ對シテハ、其ノ次ノ月ニハモ  
ウ割當テナイ、ソレハモウ配給ノ能力ガナ  
イ、配給ノ熱意ガナイト云フノ點ニ對シテ  
給スルコトノ出來ル配給機關ニ割當テラレ  
ルノカ、ドウ云フコトヲ今後ノ根本方針ト  
シテ執ツテ行カレル御考デアルカ、先日ハ  
當座ノ措置トシテ對策部長ノ御述ニナリマ  
シタコトヲ承ツタノデアリマスガ、今後ノ  
根本對策トシテ、配給機構ノ一元化ニ付テ  
御考ニナツテ居ルカ、或ハ又其ノ月ニ指圖  
ヲシナカワケ者ノハ翌月カラハ其ノ方ニハ  
割當テナイト云フヤウナ措置デモ、御執リ  
ニナルノカ、其ノ根本方針ヲ一ツ承ツテ置

キタイ  
○重政政府委員 府縣ニ依リマシテハ旨ク  
行ツテ居ル所モアルノデアリマスカラ、一  
律ニ之ヲドウト云フコトニハ現在ノ所デハ  
考ヘテ居リマセム、唯是ガドウシテモ配給  
ヲセシムルニ適當デナイト認メラレルヤウ  
ナモノニ付キマシテハ、根本的ニ其ノ當該  
府縣ニ於テ考ヘナケレバナラスト考ヘテ居  
ル次第デアリマス、ソレ等ノ點ニ付キマシ  
テハ此ノ最盛需要期ガ過ギマシタラ、一ツ  
根本的ニ十分研究ヲシテ見タイト考ヘテ居  
リマス、尙ホ從來ノ配給ノヤリ方ト云フコ  
トニ付テ、實ハ各地方ニ於テ十分ナル御認  
識ガナカワケト申シマスガ、チウ云フヤウ  
ナコトモ一面ニ於テハ理由ガアルノデハナ  
イカト考ヘテ居リマス、ト申シマスノハ、  
是等ノ統制團體、配給機關ニ付テハ監督指  
導ニ付テ、多少特定ノ府縣ニ付テハ十分デ  
ナイヤウナモノモアルノデハナイカト考ヘ  
テ居ルノデアリマス、併シナガラサウ云フ  
コトヲ言ツテ見テモ始マラナイ話デアリマ  
シテ、現ニ最盛需要期ヲ控ヘテ居ル際デア  
リマスカラ、暫定處置トシマシテハ眞實チ  
ンニモ違ベマシタヤウニ、商人及ビ産業組  
合系統ノ直轄區分ト云フヤウナコトヲ云キ  
スル場合デハナイノデアリマス、要スルニ  
農家ノ手ニ必要ナ時期ニ物ガ渡ルト云フコ  
トガ大前提デアアルカラ、是ハ斷乎手處置  
ヲ執ル、適切ナル應急措置ヲ圖ツテ、目的  
ニ到達スルヤウナ配給上ノ措置ヲ執ルヤウ  
ニ到達スルヤウナ次第デアリマス  
○西川委員 此ハ此ノ點ニ付テ當局ニ深刻  
ニ徹底的ニ御考ヲ願ヒタイト思フ、寧ろ現在  
ノ肥料配給上ノ問題ハソコニ焦點ガアルノ  
デス、中樞機關ガ二ツアルノヲ一ツニスル

ト云フコトヨリ、寧ろ此處ニ焦點ガアルト  
思フゾデス、現在ノ色々ノ農業政策ノ途  
行ト共ニ、私ハ商人系統ニ割當ラレタ肥料  
ハ實際ニソレハ配給ヲシナイ、サウ云フ數  
ガ只今ノ所デハ益々増加スルト思フ、ソレデ  
現在ハ肥料ノ使用ノ統制ヲシテ居ラレ、  
例ヘバ何ニ付テハ是レ、又之ニ付テハ  
肥料ヲヤリナイヤウニト云フヤリ方デセ  
ウ、サウ云フヤリ方ヲスレバ、ドウシテモ是  
ハ肥料配給ノ最終ノ單位ガ個人デハナクナ  
ルゾデス、個人ニ肥料ヲヤツタノデハ、個人  
ニ肥料ヲ任シタノデハ其ノ個人ガ何處ニ其  
ノ肥料ヲ入レルカト云フコトニナツテ統制  
ガ出來ナイ、肥料ノ配給統制ノ最終ノ單位  
ハ、部落團體ニドウシテモナルゾデス、所  
謂農事組合ト云フヤウナ組合ニ行ツタウニ  
ナラザルヲ得ナイ、ソレニサセナクテハ總  
テノ農林政策ヲ圓滿ニ遂行スルコトハ出來  
ナイ、最小單位ガ一ツノ團體ニナリマス、  
團體ハハナリ一ツノ系統的ノ配給ヲスル方  
ガ便利ダカラ、ドウシテモ系統的ノ配給機關  
ニ依存スルコトニナル、ソコデドウシテモ  
現在ノ農林省ノ政策ヲ遂行セラレマス爲ニ  
ハ、ソレトシテ行ツテ肥料配給ハ一元化ノ點  
ヲオ通リニナラス、山口縣ノ如キハ非常  
ニ産業組合ガ發達シテ居ツテ、此ノ割當額  
モ八對二ノ割當額ヲシテ居ル、此ノ割當額  
買付ケテ居ル、所ガ産業組合ノ八割ノ方ハ  
足りナイイナリナイト噴ク言ツテ來テ居リ  
マスガ、二割ノ割當額ヲシテ居ル商人系統  
ハ、二割デモ今指圖ノ出來ヌモノガ隨分ア  
ル、アナタノ方ノ統計ニモ相當割ツテ居ル  
ト思フ、所ガ昨年ノ秋ハ、其ノ八對二デハ  
少シ産業組合ノ方ガ取りヤウガ多イカラ



レヲ變更シテハドウカト云フヤウナコトヲ  
通牒サレテ大問題ヲ起シテ、摺ツタ採シタ  
ノ結果、ヤハリ八對二ニハシタノデスガ、  
其ノ八對二デスラ二ノ方ハ配給ヲ實際シテ  
居ラス、ソレハ配給ノ出来マセヌヤウナ機  
構ニナツテ居ルノデス、サウナラザルヲ得  
ナイノデス、此ノ政策ノ遂行ニ伴ウテ諸般  
ノ結制ヲ進行スルニ伴ウテサウナラザルヲ  
得ナイ、事態ガサウ進行シテ居ルニモ拘ラ  
ズ、其ノ點ニ付テ配給ノ一元化ヲ御圖リニ  
ナラナイカラ、サウ云フ混雜モ生ジ、必要  
ナル肥料ガ必要ナル消費者ニ行届カスト云  
フコトニナル、此ノ點ヲ御解決ニナルノ  
ガ私ハ現在ノ肥料界ノ事情ニ於テ一番必  
要ナコトトダ思フノデス、丁度御提案ニナ  
ツテ居ルヤウナ法案ハ、昨年アノ日本米穀  
株式会社ヲ作ツタヤウナモノデ、作ツテ  
見タ所ガ何ノ役ニモ立タナカウタト云フヤ  
ウナコトニナル、ソレヨリモモト重大ナ  
去年ノ春爲スベキコトヲ爲サナカウタ、其  
ノ結論ガ今出テ來テ居ル、斯ウ云フコトニ  
ナルト思フ、先日ハ小平委員カラモ地方ノ  
配給ノ一元化ト云フコトニ付テ御質問ガア  
ツタヤウニ、私モ一寸聽イテ居リマシタガ、  
私ノ趣旨トハ違フカモ知レマセヌ、此ノ問  
題ヲ解決サレコトガ當面緊急ノ要務デハ  
ナイカ、今年ノ肥料界ノ如クニ切迫シタ肥  
料状態ノ下ニ於テ、中樞機關ヲ産ミ出シタ  
ガ、ソレニ指圖ヲ出サナイ、消費者ノ手ニ  
配給シヨウトシナイ、ソレガ八萬萬ノ中ニ  
二萬餘萬モアル、サウ云フヤウナコトデ停  
滯シテ居ルコトハ、是ハ由々シキ問題デア  
ル、配給業者ヲ責メルダケデハイケナイノ  
デス、其ノ機構ノ整備ヲ怠ツテ居ル當局其  
ノモノニモ重大ナ責任ガアルト云フコトヲ

御考ニナラナクテハナラナイノデス、此ノ  
問題ハドウ御解決ニナラウトシテ居ラレ  
カ、此ノ點ニ付テ御意見ヲ承ツテ置キタイ  
○岡田政府委員 段々御指摘ノ問題ハ御話  
ノ如ク御注意スベキコトト考ヘテ居リマ  
ス、實ニモ對策部長カラ御話申上ゲマシタ  
通り、既ニ當局トシマシテハ謂ハバ嚴重ナ  
ル通牒ヲ發シマシテ、之ニ對スル種々ノ調  
査考慮ヲ致サセツアルヤウナ次第デアリ  
マス、尙ホ併シナガラ全ク御話ノ通り斯様  
ナ傾向乃至現象ガアルコトニ付キマシテハ、  
其ノ原因ヲ探究致シマシテ、一段ノ解決ヲ  
圖ルト云フ事ニ出ルノガ相當デアラウト考  
ヘマスノデ、此ノ點ニ付キマシテハ十分令  
後ニ於テ調査研究ノ上、相當ナ措置ヲ講ジ  
タイト思ツテ居ル次第デアリマス、御諒承  
ヲ願ヒマス

○西川委員 當局ガ嚴重ナル通牒ヲ出サレ  
タリ、慎重ニ調査研究ナサレタリシテ居  
テハ、是ハ實際間ニ合ハヌノデス、一彼岸越  
エテノ事ヲ肥「ト」言ヒマシテ、彼岸ハモウ眼  
ノ前ニ迫ツテ居ル、ソレダノニ今麥ノ肥  
届カナイ、中樞機關ヲ産ミ出シテ居ルケレド  
モ、配給機構ノ整備ヲ致シテ居ラナイ爲ニ  
届カナイト云フコトニナツテ居ルノデスカ  
ラ、是ハ迅速ニ一ツサウ云フ徹底シタ措置  
ヲ御執リニナラナイトイカヌ、此ノ頃ハ社  
會情勢ノ進行ニ對シテ當局ノ考ヘルコトガ  
少シ遅レ出シタ、一時ハ官僚ノ獨善デア  
トカ、官僚ガドウデアアルトカ言ツテ、少シ  
行過ギトカ先走リトカ言ハレマシタガ、此  
ノ頃ハ事變以來モウ時勢ノ進行ニ對シテ官  
僚ノ考ノ方遅レ出シタ、是ハ明ニ遅レテ  
居ル、此ノ點ニ付テハ大イニ猛省シテ、重政  
部長ノ如キ一大勇氣ヲ出シテ當面ノ要求ス

ル施設ヲ斷行サレルヤウニ御努力アラシ  
トヲ希望致シマス、尙ホ私ハ色々質問ガア  
リマスガ、ソレハ肥料ノ價格ニ對スル農林  
大臣ノ根本方針ヲ御聽キシタ上デナイト質  
疑ガ出來マセヌノデ、其ノ點ダケ保留シテ  
打切りタイト思ヒマス、農林大臣ニ質問シ  
マシテ、其ノ問題ニ關聯スルコトニ付テ尙  
ホ質問ヲ繼續シタイト思ヒマス。

○熊谷委員長 ソレデハ本日ハ農林大臣モ  
御見エニナリマセヌカラ此ノ程度ニ止メテ  
置キマシテ、明日ハ午前十時ヨリ開會致シ  
マス、本日は是ニテ散會致シマス  
午後五時三十一分散會

昭和十五年三月十三日印刷

昭和十五年三月十四日發行

衆議院事務局

印刷者 内閣印刷局

第七十五回帝國議會 院 日本肥料株式會社法案委員會會議錄(速記)第七回

付託議案 日本肥料株式會社法案(政府提出) (第八九號)

會議

昭和十五年三月十三日(水曜日)午前十時三十分開議

出席委員左ノ如シ

- 委員長 熊谷 直太君
- 理事 山田 六郎君 理事原 惣兵衛君
- 眞鍋 儀十君 森田重次郎君
- 小野 寅吉君 田中 邦治君
- 村上 國吉君 小平 重吉君
- 國光 五郎君 西川 貞一君
- 吉田 賢一君 平野 力三君
- 松村 光三君

出席政府委員左ノ如シ

- 農林政務次官 岡田喜久治君
- 農林省臨時農村對策部長 重政 誠之君
- 電氣廳長官 平井出貞三君

本日ノ會議ニ上リタル議案左ノ如シ

○熊谷委員長 ソレデハ是ヨリ前會ニ引續

イテ開會致シマス——平野君

○平野委員 私ハ日本肥料會社法案ニ付テ、政府當局ニ種々ナル點ニ付テ質疑ヲ致シタ  
イト思ヒマス、先ツ第一ニ御致シタイノ  
ハ、今回ノ法案ハ新ニ日本肥料會社ト云フ  
モノヲ御作りニナルト云フ點ニ重點ヲアル  
ノデアリマスガ、此ノ點ハ先輩同僚諸君  
カラモ屢々本委員會ニ於テ御質問ガアリマシ  
タガ、御當局ノ答辯ニ對シテマダ私ハ十分  
満足ガ出來ナイノデアリマス、此ノ日本肥料  
會社ナルモノノ内容ニ付テハ、法文ニ依ッ  
テ明ニナツテ居リマスガ、前議會ニ於テ米

第六類第十一號 日本肥料株式會社法案委員會會議錄 第七回 昭和十五年三月十三日

穀配給統制法案ガ上程サレタ時ニ相當議論  
ヲシテ、私共モ多大ノ疑問ヲ持ツテ、斯ウ  
云フ半官半民ノ會社ヲ御作りニナルコトニ  
依ツテ、政府ノ考ヘテ居ル目的ハ達セラレ  
ナイノデハナイカ、率直ニ言フナラバ、中  
途半端ナモノデアアル、專賣ニ行クト云フノ  
ナラバソコマデ進ンダラ宜シイシ、サウデ  
ナイト云フナラバ、寧ロ現狀ノ機構其ノモ  
ノデ、弊害ノアル所ヲ相當大膽ニ處理スル  
コトノ方ガ適切デハナイカト言ツタノデア  
ルガ、又シテモ斯様ナ半官半民ノ會社ヲ御  
作りニナツテ、政府ノ方デハヤレノダト  
云フコトヲ議會デ言ハレルガ、實際ヤウデ  
見ルト豫期ノヤウニハ參ラス、遠イ話ハ別  
トシテ、現ニ日本米穀會社ハ今日半身不隨  
ニ陥ツテ何等ノ用ヲ爲サナイ、其ノ原因ハ  
何處ニアルカト云フハ、要スルニ米ガ不足ニ  
ナツテ來レバ、日本米穀會社ト云フモノハ  
駄目デ、將來日本肥料株式會社ガ出來マシ  
テモ、肥料ノ増産ト云フ點ニ於テ一ツノ障  
礙ヲスルナラバ、又此ノ會社ハ半身不隨ニ陥  
ツテ遂ニ用ヲ爲サス、斯ウ云フ結果ニナルコ  
トヲ多大ニ憂フルノデアリマスカラ、當局ニ  
於カレマシテハ、此ノ會社ヲ作レバ、左様ナ  
心配ハナイ、本會社ニ依ツテ現在ノ増産並  
ニ配給等ノ點ハ、斯ノ如キ方法ニ依ツテ期  
待ニ反シナイヤウニヤレルノダト云フ點ヲ、  
モウ少シ詳シク納得ノ行クヤウニ御説明願  
ヒタイト思フノデアリマス

○重政政府委員 此ノ會社ノ目的ト致シマ  
スル所ハ、屢々御説明申上デマシタヤウニ、  
第一ハ配給統制ノ強化デアリマス、現在ハ  
硫安、石灰窒素、過磷酸石灰、加里、各別  
別ノ中樞的機關ニ依ツテ配給ヲサレテ、其  
ノ間ノ調整ガ十分ニ行ツテ居ラナイノデア  
リマス、是ガ調和アル配給ヲ必要トスルコ  
トハ、既ニ各方面カラ要望ヲ致サレテ居ル  
ヤウナ次第デアアルノデアリマシテ、其ノ調  
和アル配給ヲ致スト云フコト、ソレカラ更  
ニ現在ノ配給ノ中樞機關ノ方ニ於キマ  
シテモ、或モノハ第一ニ特約店ヲ廢シテ直  
賣ヲスルト云フ方面ニ進ンデ行ツテ居リ、  
或モノハ尙ホ其處マデ行カスカト云フモノモ  
アリマスシ、段階ト申シマスガ、統制ノ強  
化セラレル度合ト云フモノガ各異ツテ居ル  
ノデアリマス、是等ノ點モ、斯ウ云フ半官  
半民ノ會社ニ依ツテ、ヤハリ製造業者モ資  
本ノ參加ヲ致シテ居リマス、謂ハバ自分達  
モ半分ハ發言權ノアル會社ニ依ツテ、政府  
ノ考ヘ方ト相俟ツテ統制ヲヤツテ行クト云  
フコトニナレバ、政府ガ一刀兩斷的ニヤルヨ  
リ穩カニ、而モ圓滑ニ統制ノ強化ガ行ハレル  
ト考ヘテ居ル次第デアリマス、申上ゲルマデ  
モナク政府單獨デ、斯ウ云フ澤山ノモノヲ  
相手ニ致シマス場合ニ於ケル統制ハ、決シ  
テ十分ニ行カナイノデアリマス、政府モ民  
間モ互ニ一致協力シテ、初メテ其ノ目的ヲ  
貫徹スルコトガ出來ルノデアリマスカラ、  
政府ノミニ依ツテ一刀兩斷的ニ、色々ナ強  
化ノ方策ヲ執ルヨリ、斯ウ云フモノニ依ッ  
テヤラシメタ方ガ、圓滑ニ行キ得ルト考ヘ  
テ居ル次第デアリマス

更ニ生産確保ノ問題デアリマスガ、生産  
確保ニ付キマシテハ、生産力擴充計畫ヲ立  
テマシテ、著々其ノ實行ヲ致シテ居ルノデ  
アリマスガ、是モ十分ニ行ハレテ居ラスト  
云フコトヲ、遺憾ナガラ申上ゲザルヲ得ナ  
イノデアリマスガ、兎ニ角生産擴充ノ一部  
門ト致シマシテ、此ノ硫安等ニ付キマシテ  
ハ、増産ノ施設ガ行ハレテ居ルノデアリマ  
スガ、此ノ會社ヲ作ルコトニ依リマシテ、  
更ニ一段ト之ニ拍車ヲ掛ケ、ソレカラ又民  
間ノ會社ニ依ツテ中々實現ガ困難デアルト  
云フヤウニ、屢々他ノ委員カラモ御質疑ニナ  
リマシタ、所謂廢瓦斯ノ利用ニ依ル硫安ノ  
製造ト云フヤウナ問題モ、斯ウ云フ會社ニ  
依ツテ之ヲ實行セシメルト云フコトガ、極  
メテ適當デアルト考ヘテ、此ノ會社ノ設立ヲ  
考ヘタ次第デアリマス、尙ホ現在ノ生産能  
力、生産設備ヲ一〇〇%ニ能率化シテ行ク  
ト云フ意味カラ參リマス、ヤハリ斯ウ云  
フ半官半民ノ會社ガ、場合ニ依リマシテハ、  
或ハ經營上ニ於テ、或ハ技術上ニ於テ、能  
率ノ惡イ會社ニ對シマシテ、工場經營ノ管  
理ヲ爲サシメテ、現在ノ設備ニ依ツテ、最  
大數量ノ生産ヲ舉ゲシメルト云フ趣旨カラ  
致シマシテモ、此ノ會社ヲ設立スル必要ガ  
アルト考ヘタ次第デアリマス

○平野委員 實際問題トシテ硫安ハ硫安、  
過磷酸ハ過磷酸ト、斯ウ云フ風ニ分レテ居  
ル方ガ、専門的ニナツテ宜イノデハナイカ  
ト云フ議論モアルト思フノデアリマス、ソ  
コデ御時シタイノハ、現在日本硫安ト磷酸

肥料會社ト云フアルコトニ付テ、何處ニ特  
別ニ二ツテ居ルコト云フコトノ不便ガ  
アルカ、之ヲ合セルトド云フ點ニ利益ガ  
アルコト云フ點ヲ、モウ少シハツキリ利害  
得失ヲ御説明ヒタイと思ヒマス

○重政政府委員 兩方ガ分レテ居リマス  
ト、只今申上ゲマシヤウニ、確安ハ確安デ  
單獨ニ配給ニナリ、過燐酸ハ過燐酸ヲ配給ニ  
ナルノデアリマス、所ガ配合肥料ヲ製造致  
シマス時ニ、確安ヲ賣ツタノデアリマス、ソコデ  
料ノ製造ハ出來ナイノデアリマス、ソコデ  
是ハ兩方ガ調和アル配給ヲ致サナケレバ  
ラナイノデアリマス、更ニ農家ノ使フ方カ  
ラ申シマシテモ、確安ヲ配給ヲ受ケタノト過  
燐酸ノ配給ヲ受ケタノトノ間ニ、一箇月モ  
間ガアルト云フコトデアレバ、農家トシテ  
ハ數回ニ互ツテ施肥ヲスルコトカ、或ハ最終  
ニ配給ヲ受ケル時デナイト、施肥ガ出來ナ  
イト云フヤウナ關係ニアラナイデアリマス、  
是等ノ點ガ施肥ヲスル農家ノ方ナリ、或ハ  
配合肥料製造家ノ方ナリ、調和アル配給ヲ  
スルノ要望ガアル所以デアリマス、  
尚ホ別々ニ分レテ居ル方ガ宜イト云フ  
ヤウナ御話ガ先程アツタノデアリマスガ、  
併シ之ヲ販賣スル方、或ハ配給スルモノヲ  
受ケル方ハ、一ツノ同じ者ガアルノデアリ  
マス、隨テソコニ色々ナ配給上ノ問題トシ  
テ、或ハ荷物ノ積合セデアリマストカ、サ  
ウ云フヤウナ實際ノ受渡上ノ問題ニ於キマ  
シテモ、是ハ不便ナト申シマスカ、經費ヲ  
節減スルコトノ出來ル點モ、多クアラウト  
思フノデアリマス、實際問題ト致シマス  
是ハドウシテモ一本ノモノデアラナケレ  
バ、則チ滑ナル配給、而モ迅速ニ調和アル配  
給ハ、到底出來ナイト考ヘテ居ル次第デア  
リマス

○平野委員 其ノ次ハ、斯ウ云フ會社ノ性  
質トシテ、官行ク場合ハ宜シイガ、何カ  
調子ガ悪クナツタ場合、政府ト會社トノ間  
ニ責任ノナスリ合ヒノヤウナ事ガ起ルコト  
ヲ豫想スルノデアリマスガ、此ノ點ニ付テ  
サウ云フ御心配ガナイカ、ドウ見テ居ラレ  
ルカ、ソコデ此ノ會社ノ社長ハ大體ドウ云  
フ方面ノ人ヲ選ブ積リカ、同時ニ此ノ會社  
ヲ監督スル監督官ト云フモノガ、第二十六  
條ニアルヤウデアリマスガ、此ノ監督官ニ  
ハドウ云フ人ガ其ノ任ニ當ルカト云フ點ノ  
御説明ヲ願ヒタイと思ヒマス

○重政政府委員 責任ノナスリ合ヒト云フ  
ヤウナ御懸念デアリマスガ、私自身ノ考ハ、  
是ハ共同責任デ現在ニ於テモツテ居ル積  
リデアリマス、斯ウ云フモノヲ作  
ツテ何カ政府ノ責任ヲ轉嫁シテ、知ラヌ類  
ヲヤル手段ニ使フト云フ風ニ御考ヲ載クコ  
トハ、洵ニ遺憾デアリト私ハ考ヘルノデア  
リマス、サウ云フ責任ガアルト云フコトカ  
云フコトデ、是カラノ肥料ノ配給其ノ他生  
産確保、供給ノ問題ト云フヤウナモノハ、  
片ガ付カズ問題ト私ハ考ヘテ居ルノデア  
リマス、是ハ當局トシテ假ニ何カノ失策ニ  
依ツテ其ノ責任ヲ日本確安ナラ日本確安ニ  
轉嫁シテ見タ所デ、ソレデ政府ハ知ラヌト  
云フコトデ片ガ付カナイト私ハ思フノデア  
リマス、是ハ政府モ民間モ一到協力ヲシテ、  
十分ニ了解ヲシ合ツテ、其目的ノ貫徹ヲスル  
ト云フ行キ方デナケレバ、到底私ハナリ切レ  
ナイコトデアリト考ヘテ居ルノデアリマス、隨  
ヒマシテ此ノ會社ヲ作ツテ、責任ヲ政府ガ轉嫁  
スルト云フヤウナ御心配ヲ載クト云フコトハ、  
洵ニ遺憾デアリト私ハ考ヘテ居ル次第デア  
リマス

○平野委員 其ノ次ハ、斯ウ云フ會社ノ性  
質トシテ、官行ク場合ハ宜シイガ、何カ  
調子ガ悪クナツタ場合、政府ト會社トノ間  
ニ責任ノナスリ合ヒノヤウナ事ガ起ルコト  
ヲ豫想スルノデアリマスガ、此ノ點ニ付テ  
サウ云フ御心配ガナイカ、ドウ見テ居ラレ  
ルカ、ソコデ此ノ會社ノ社長ハ大體ドウ云  
フ方面ノ人ヲ選ブ積リカ、同時ニ此ノ會社  
ヲ監督スル監督官ト云フモノガ、第二十六  
條ニアルヤウデアリマスガ、此ノ監督官ニ  
ハドウ云フ人ガ其ノ任ニ當ルカト云フ點ノ  
御説明ヲ願ヒタイと思ヒマス

○重政政府委員 責任ノナスリ合ヒト云フ  
ヤウナ御懸念デアリマスガ、私自身ノ考ハ、  
是ハ共同責任デ現在ニ於テモツテ居ル積  
リデアリマス、斯ウ云フモノヲ作  
ツテ何カ政府ノ責任ヲ轉嫁シテ、知ラヌ類  
ヲヤル手段ニ使フト云フ風ニ御考ヲ載クコ  
トハ、洵ニ遺憾デアリト私ハ考ヘルノデア  
リマス、サウ云フ責任ガアルト云フコトカ  
云フコトデ、是カラノ肥料ノ配給其ノ他生  
産確保、供給ノ問題ト云フヤウナモノハ、  
片ガ付カズ問題ト私ハ考ヘテ居ルノデア  
リマス、是ハ當局トシテ假ニ何カノ失策ニ  
依ツテ其ノ責任ヲ日本確安ナラ日本確安ニ  
轉嫁シテ見タ所デ、ソレデ政府ハ知ラヌト  
云フコトデ片ガ付カナイト私ハ思フノデア  
リマス、是ハ政府モ民間モ一到協力ヲシテ、  
十分ニ了解ヲシ合ツテ、其目的ノ貫徹ヲスル  
ト云フ行キ方デナケレバ、到底私ハナリ切レ  
ナイコトデアリト考ヘテ居ルノデアリマス、隨  
ヒマシテ此ノ會社ヲ作ツテ、責任ヲ政府ガ轉嫁  
スルト云フヤウナ御心配ヲ載クト云フコトハ、  
洵ニ遺憾デアリト私ハ考ヘテ居ル次第デア  
リマス

○平野委員 其ノ次ハ、斯ウ云フ會社ノ性  
質トシテ、官行ク場合ハ宜シイガ、何カ  
調子ガ悪クナツタ場合、政府ト會社トノ間  
ニ責任ノナスリ合ヒノヤウナ事ガ起ルコト  
ヲ豫想スルノデアリマスガ、此ノ點ニ付テ  
サウ云フ御心配ガナイカ、ドウ見テ居ラレ  
ルカ、ソコデ此ノ會社ノ社長ハ大體ドウ云  
フ方面ノ人ヲ選ブ積リカ、同時ニ此ノ會社  
ヲ監督スル監督官ト云フモノガ、第二十六  
條ニアルヤウデアリマスガ、此ノ監督官ニ  
ハドウ云フ人ガ其ノ任ニ當ルカト云フ點ノ  
御説明ヲ願ヒタイと思ヒマス

○重政政府委員 大體製造業者、配給業者  
農民ノ消費者方面ニ於キマシテハ、全購聯  
ト云フノデヤウテ居リマスガ、斯ウ云フ重  
要肥料業者等ニナツテ參リマス、  
ハリ委員會ノ仕事ノ内容ニ依リマシテ、或  
ハサウデナイト、詰リ農家ト云フヤウナ方  
ヲ限ラレタル委員ニスルト云フコトヨリモ、  
更ニ第三者デアアルガ實際農家ノ事情ニ十  
分通曉セラレ、同時ニ經濟ノ方面ニ於テモ  
十分ナル知識ヲ有セラレト云フ方ノ方ガ、  
ドウモ重要肥料業者等ノ委員ニハ宜イ  
ノチヤナイカト云フ考ヲ私ハ持ツテ居ル  
デアリマスガ、併シハ御意見デアリマスガ  
ラ、尙ホ十分ニ研究ヲ致スコトニ致シタイ  
ト考ヘマス

○平野委員 大體製造業者ニ重點ガアルト  
解釋シテ宜シイノデスカ、製造業者ガ多ク  
ノ株ヲ持ツト云フコトニナリマスガ  
○重政政府委員 此ノ場合ニ於キマシテハ、  
製造業者ガ現在出シテ居リマス金額ハ千三  
百萬圓程——日本確安ト購配會社ノ資本ヲ  
寄セマスカラ、其ノ位ニナリマス、殘ル資本  
ハ千二百萬圓位ニシカナリマセマス、其  
ノ關係カラ致シマシテ、多少今御述ベニナ  
リマシヤウナコトガ起リ得ルと思ヒマス、  
併シナガラ此ノ場合ニ於キマシテハ、政府ガ  
半額ノ出資ヲ致シテ居リマスカラ、民間ガ  
ケノ資本ニ依ツテ色々國策的ノ配給會社ヲ  
作ル場合ト比ベテ、御心配ノ點ハ餘程樂ニ  
ナツテ參ルト云フ風ニ考ヘテ居リマス

○平野委員 是ハ私ハ一ツノ持論ナノデス  
ガ、ドウモ今御説明ノヤウニ大體政府ガ半  
分持ツテ、後ハ殆ド製造業者ガ持ツ、斯ウ  
云フコトニナルヤウニ思ハレノデス、全  
購聯ガ消費者代表者トシテ入ルヤウニ御説  
明ガアリマシタガ、全購聯ハ配給業者デア  
リ、又消費者側ト云フコトニナルノデ、全  
購聯其ノモノノ本質カラ行ケバ、此ノ際ハ  
消費者ト云フヨリハ、事口配給業者ト云フ  
コトニナルノデハナイカ、眞ニ日本肥料會  
社ガ農民ニ親シミヲ持チ、又此ノ會社ガ政  
府御説明ノ如ク、日本肥料界ニ於ケル殆ド

○重政政府委員 御尤モデアリマス、ソレ  
等ノ點ニ付キマシテハ急ニ一ツ研究致シマ  
シテ、御懸念ニ出來ルダケ副ヤウニ致シ  
タイト考ヘマス

○平野委員 此ノ會社ノ株ニ付テハ委員長  
ニ御願シマスガ、大臣カラ一ツ御答辯願ヒ

○重政政府委員 理論ト致シマシテハ、私  
少シモ平野君ノ御意見ニ異議ヲ挾ム者デ  
ハナイノデアリマス、色々吾々ノ方デ簡便  
家等ヲ果メテ御意見ヲ拜聴シタリスル委員  
會モ、出來ルダケサウ云フコトニ致シタイ

○重政政府委員 理論ト致シマシテハ、私  
少シモ平野君ノ御意見ニ異議ヲ挾ム者デ  
ハナイノデアリマス、色々吾々ノ方デ簡便  
家等ヲ果メテ御意見ヲ拜聴シタリスル委員  
會モ、出來ルダケサウ云フコトニ致シタイ

中心トナツテ、有ニル肥料ヲ將來統制ヲシ  
テ、一種ノ專賣制ノ基礎ヲ成スト云フヤウ  
ナ御考デアリトスルナラバ、此ノ株ト云フ  
モノニ付テハ産業組合、全購聯ヨリ、モウ  
一步掘下ゲタ眞ノ耕作者代表、眞ノ農民代  
表ト云フモノモ、此ノ株ヲ何ガシカ持チ得  
ルノ途ヲ開カレテ、實際ノ耕作者自身モ此  
ノ會社ニ對シテ、自分ノ會社デアリト思ヒ、  
親シミヲ持ツ程度ニ、此ノ會社ノ門戸ヲ開  
放サレト云フコトガ、私ハ此ノ會社ニ對  
スル根本方針トシテ一ツ御採用ニナツタラ  
ドウカ、從來ノ半官半民ノ會社ノヤウニ政  
府ガ半分株ヲ持ツテ居ルカラ安心シロト云  
フ御説明デハ納得シマセス、ソレハ政府ガ  
半分持ツテ居ツタツテ、政府自身ニ農民ガ  
斯ウ云フ問題ニ付テハ懷疑のニナツテ居ル  
時デアリマスカラ、折角此ノ會社ガ出來テ、  
吾々モ法案成立ニ賛成スルストスルナラバ、  
此ノ會社ガ出來テ、農民諸君ニ對シテモ、  
君等モ此ノ會社ニ依ツテ本當ニ肥料ノ製造  
配給ガウマク行クノダト云フヤウナ説明ヲ  
全國ノ農民諸君ニ與ヘルトスレバ、其ノ結  
果ガドウデアルト云フコトハ、假ニ株式ヲ  
持ツテ爭フノデナイニシテモ、此ノ會社ニ  
付テハ、地方ノ實行組合デアルトカ、其ノ  
他農業ノ地方部落團體ニ於テモ何ガシカノ  
株ヲ持テルノダト云フヤウナ途ヲ開カレタ  
ラドウカト思フノデアリマスガ、之ニ對ス  
ル御所見ヲ承リタイ

○重政政府委員 理論ト致シマシテハ、私  
少シモ平野君ノ御意見ニ異議ヲ挾ム者デ  
ハナイノデアリマス、色々吾々ノ方デ簡便  
家等ヲ果メテ御意見ヲ拜聴シタリスル委員  
會モ、出來ルダケサウ云フコトニ致シタイ

○重政政府委員 理論ト致シマシテハ、私  
少シモ平野君ノ御意見ニ異議ヲ挾ム者デ  
ハナイノデアリマス、色々吾々ノ方デ簡便  
家等ヲ果メテ御意見ヲ拜聴シタリスル委員  
會モ、出來ルダケサウ云フコトニ致シタイ

増産ニ關スル問題ガナイヤウニ思フノデア  
リマス、第九條ノ三號ト云フノハ要スルニ  
「肥料ノ製造、肥料製造事業ニ對スル投資其  
ノ他肥料供給確保上必要ナル事業」ト云フコ  
トニナツテ居ル、第十一條ハ肥料製造業者  
ニ對シテ本會社ガ管理權ヲ有スル、斯ウ云  
フコトニナル、重政對策部長カラモ先程、  
本案ガ通過スレバ増産政策ニ付テモ多大ナ  
ル貢獻ヲ爲シ得ルト云フ御答辯ガアリマシ  
タガ、此ノ第九條ノ三號ト第十一條ノ發効  
トニ依ツテ、具體的ニハドウ云フヤウナ増  
産ノ政策ガ立テラレテ居ルノカト云フコト  
ヲ聽クノデアリマスガ、此ノ第九條ノ三號  
ノ肥料ノ製造ト云フノハ、會社自ラガ肥料  
ノ製造ヲアルト云フコトニナルノデスカ  
○重政政府委員 先程御答辯致シマシタガ  
一寸附加ヘテ置キマス、平野サシノ篤農家  
ノ如キ者モ加ヘルト云フ御趣意ハ、私實ハ  
非常ニ贊成ヲ致ス次第デアリマス、サウ云  
フ趣意カラ、實ハ此ノ肥料政策ハ政府ガ  
ガヤルノデナイト云フ行キ方デ、現在ニ於  
キマシテモ各町村及ビ各郡、或ハ縣モアラ  
ウカト思ヒマスガ、サウ云フ所ノ農林計畫  
委員會肥料部會ニハ篤農家等モ出來ル限リ  
其ノ中ニ加ヘテ、オ五方ニハ決メルノダト  
云フ氣持ヲ以テヤツテ行キタイト云フノデ、  
實ハ現在ヤツテ居ルヤウナナリ方ニ致シタ  
課デアリマス、唯中央ニ一ツ設ケテアリマ  
ス所謂重要肥料業ノ委員會、斯ウ云フモノ  
ニ付テノ委員ヲ考ヘマス際ハ、多少今ノヤウ  
ナ御考、平野サシノ篤農家ノ如キ  
ト云フ、其ノ趣旨デ人選ヲスル必要ハアリ  
マスケレドモ、御示ニナツタヤウナ事例其  
ノモノヲ直チニ適用スルト云フコトハ實ハ  
如何カト云フヤウニ私考ヘマシテ、先程來

ノヤウナ御答辯ヲ申上ゲテ次第デアリマス  
ソレカラ只今御質問ニナリマシタ製造  
問題デアリマスガ、是ハ此ノ會社ガ自ラ必  
要ニ應ジテ製造工場ヲ經營スル、斯ウ云フ  
考ヘ方ヲ持ツテ居ル譯デアリマス  
○平野委員 ソレハ此ノ會社自體ガ製造工  
場等ヲ將來建テルト云フ意味ニ解シテ宜シ  
イノデアリマスガ  
○重政政府委員 差當リノ問題ト致シマシ  
テハ、新設工場ト云フコトヲ考ヘル前ニ、能  
率ノ悪い工場ノ管理、更ニ進ンデハソレガ  
買収、或ハソレニ對スル投資ト云フコトヲ  
考ヘテ居ルノデアリマス、ソレカラ先程モ  
申上ゲマシタヤウニ資源ノ利用、廢瓦斯ノ  
利用ト云フヤウナコトカラ致シマシテ、サ  
ウ云フ新ナル會社ヲ設立スル場合ニ、此  
ノ會社ガ投資ヲスルト云フヤウナコトヲ差  
當リノ問題トシテハ考ヘテ居ルノデアリマ  
ス、自分自ラ獨力ヲ以テ製造工場ヲ經營ス  
ルト云フコトヲ第一義ニ考ヘテ居ル譯デア  
アリマセ  
○平野委員 ソレカラ三號ノ一番最後ノ  
「肥料ノ供給確保上必要ナル事業」是ハドウ  
云フコトヲ想像シテ居ラレマスガ  
○重政政府委員 是ハ原料ノ共同購入、例  
ヘバ資材ノ配給ヲ此ノ會社ニ依ツテヤツテ  
行クト云フヤウナコトヲ考ヘテ居ルノデア  
リマス  
○平野委員 第十一條ノ管理ノ問題デアリ  
マスガ、端的ニ申シマス、第十一條ノ全  
體ノ根本精神ト云フモノヲ一ツ承リタイ  
ノデ、即チ他ノ製造工場ニ對シテ此ノ會社  
ガ管理ヲスル、斯ウ云フコトノ具體的場面  
ト云フモノハ、ドウ云フ場面ヲ指イテサ  
ウナツテ居ルカト云フコトヲ一ツ御説明願

ヒタイ  
○重政政府委員 製造業者、所謂事業家ニ  
ハ事業家トシテノ氣質ガアルノデアリマシ  
テ中々ソノ所ハ算盤ツクデモ難カシイ所  
ガアルコトハ御承知ノ通りデアリマスガ、  
サウ云フヤウナ色々ノ關係カラ致シマシテ、  
技術ノ進歩ト申シマスガ、自分ノ所ノ工場  
ハ技術ガ餘リ巧クナイ、隨テ製造能率ガ悪  
イト云フコトハ知リナガラ、中々ソレニ技  
術ヲ貸シテヤラウト云フ他ノ會社ノ申出モ  
ナケレバ、又借リヨウト云フ者モナイ、ソ  
レデ吾々ノ所デハサウ云フヤウナコトヲ考  
ヘマシテ、斯ウ云フ際ニ出來ルダケ一應デ  
モ多クノ確安ヲ増産スル必要ヲ認メテ、サウ  
云フ懇談會ヲ開イテ見タノデアリマスガ、  
中々ア、ダスウダト云フコトデ物ニナラナ  
イ、サウ云フヤウナコトデ、技術上能率ガ  
非常ニ悪い、具體的ニ申上ゲマスレバ、硫酸  
ノ母液ニ「アンモニヤ」瓦斯ヲ通シテ確安ノ  
結晶ヲ得マス場合ニ於テ、其ノ場合ニ於ケ  
ル「アンモニヤ」瓦斯ノ「ロス」、是ノ歩合ニ  
依ツテ相當確安ノ製造業ニ影響ヲ持ツテ來  
ルノデアリマスガ、サウ云フヤウナ問題デ  
アリマストカ、或ハ更ニ瓦斯ノ發生ノ所デ  
アリマストカ、サウ云フヤウナ色々ノ技術上  
ノ問題カラ致シマシテ能率ノ悪い工場ガア  
ル譯デアリマス、ソレカラ又經營上ノ問題  
トシテモ、色々舊イ因縁ニ依ツテ中々改革  
ノ出來ナイト云フヤウナモノモアリマスガ、  
リマス、ソレ等ガ主サモノデアリマスガ、  
サウ云フヤウナ場合ニ於テ其ノ經營ヲ一時  
此ノ會社ニ委ネル、サウシテ確安製造ノ法  
律上ノ名義及ビ計算上ノ損益ト云フモノハ  
製造業者ガ持ツテ居ル、サウシテ日本肥料  
會社ガ經營ノ指導監督ヲヤツテ行クト云フ

ヤウナコトヲ致シマシテ、所謂製造工場ノ  
經營ノ完備ヲ致シマシテ、サウシテ能率ノ  
悪い製造會社ノ能率ヲ上ゲテ、現在ノ設備  
ヲ出來ルダケ高度ニ能率ヲ上ゲマシテ、一  
應デモ多クノ確安ノ製造ヲ得タイト云フ趣  
旨ヲ以テ此ノ規定ヲ置イタ次第デアリマス  
○平野委員 サウシマス、此ノ會社ガ五  
千萬圓ノ五倍ダケノ肥料債券ヲ發行出來ル  
ト云フ意味ハ、只今御ヤツタヤウニサウ  
云フ會社トカ、或ハ優良ナラザル會社  
等ノ設備ノ改善其ノ他ノ補助等ニ廻サレル  
分量ガ相當大部分デアルト、斯ウ解釋シテ  
宜シイカ  
○重政政府委員 ソレハサウデハアリマセ  
ス、此ノ肥料債券ノ發行ハ、前ニ御質問ニ  
ナリマシタ肥料ノ製造工場ヲ自ラ設置スル  
場合、或ハ既設工場ヲ買収スル場合ト云フヤ  
ウナ製造事業ヲ自ラ營ム場合ニ、肥料債券  
ノ發行ヲ致ス必要ガ起ツテ來ルト考ヘルノ  
デアリマス、第十一條ノ規定ニ依リマシテ  
ノ經營管理、之ヲヤリマス場合ニハ、別ニソ  
レ等ノ能率ノ悪い會社ニ對シテ補助ヲスル  
考ハ持ツテ居ラナイノデアリマス、計算上  
ノ損益或ハ製造ノ法律上ノ名義ト云フヤウ  
ナモノハ、依然トシテ能率ノ悪い會社ハ其  
ノ會社ガ持ツテ居ルノデアリマス、唯此ノ  
日本肥料會社ハ經營ノ指導監督ヲスルト云  
フコトデアリマスノデ、ソレニ補助ノ關係  
等ハ生ジナイヤウニ考ヘテ居リマス  
○平野委員 其ノ點ハ大體分リマシタ、次  
ニ御同致シタイノハ確安ニ付テデアリマス、  
一體重要肥料業統制法ガ議會ニ上程サレマ  
シタ當時、當局ノ確安ニ對スル御説明ハ、  
日本ノ確安ト云フモノハ非常ニ急遽力ヲ發

展ラシテ、外國ニマデ輸出ヲスル位ナ趨勢ヲ  
迪ツテ居ル、斯ウ云フヤウニ吾々ハ了承シ、  
且又戰爭ガ一朝始マツタヤウナ場合ニ於キ  
マシテハ、確安ノ増産ガ減ツテ、吾々ハ我國ノ  
農民ニ對シテ非常ニ困ルコトハナイカト云フ  
ヤウナコトヲ、當時ノ商工大臣、農林大臣ニ  
續々聽イタノデアリマスガ、左様ナ心配ハナイ  
ト云フコトデアノ法案ニ贊成ヲシタノデア  
リマス、其ノ後ノ確安界ノ趨勢ヲ見ルト、  
此ノ肥料統制法ガ出タコトニ依ツテ、何ダ  
カ此ノ統制法ニ對スル反抗意識ヲ以テ陰ニ  
陽ニ増産ヲ怠ツテ參ツタ、言ヒ換ヘマスレ  
バ肥料統制法ニ依ツテ肥料ノ値段ヲ決定シ  
タ、ソレデハ利潤ガナイト云フコトヲ基準  
ト致シマシテ、漸次確安ノ生産ト云フモノ  
ガ減少ヲシテ來タ、斯様ニ大體解釋ヲシ得  
ルト思ヒマスガ、此ノ點ニ付テ重政對策部  
長ハ如何ナル感想ヲ持ツテ居ラレマスガ、  
過去數年來確安ノ面白クナクナツテ參リマ  
シタ根本原因ヲ一ツ此ノ際明ニ願ヒタイト  
思ヒマス  
○重政政府委員 重要肥料業統制法ヲ實施  
致シマシタノハ、隨カ昭和十一年デアルト  
思フノデアリマスガ、其ノ以後ニ於キマシ  
テモ段々増産ハ出來テ居リマス、新設ノ會  
社ノ數カラ致シマシテモ、茲ニ四社カ五社  
位ハ出來テ居ルコトト思フノデアリマス、  
ソレカラ又製造設備ノ方カラ行キマシテモ  
相當ナ増産設備ガ出來テ居リマス、只今御  
述ニナリマシタヤウナコトハ、私ハ現實ノ  
問題トシテハ大局的ニ見テ起ツテ居ラスト  
考ヘルノデアリマス、唯併シナガラ確安ノ  
販賣値段ノ決定ニ付テ、詰リ確安ノ販賣  
値段ガ適正價格デアルカナイカト云フコト  
ガ問題デアリマシテ、サウ云フ點ガココ兩

三期ノ確安ノ値段ノ決定期ニ於テハ、多少  
今カラ考ヘマス決定スル場合ニ十分デナ  
カツタ點モアツタノデアリナイカト、云フ風  
ニ、自分トシテハ考ヘルノデアリマス、サ  
ウ云フ風ナコトガ多少一般ニハ確安ノ製造  
ニ付テノ興味ヲ失ハシメタノデアリナイカト  
云フヤウナ心配ヲ一般デ御持チニナリ、  
又當業者モサウ云フコトヲ多少言ヒ觸ラ  
シ——言葉ハ悪いデスケレドモ、サウ云フ  
コトヲ當業者ノ方面カラ言フト云フヤウナ  
ラウト思フノデアリマス、併シナガラ去年  
ノ確安製造ノ會社ニ對スル資材ノ提供ヲ致  
シマス場合、之ヲ選定ヲ致シマス際ニ於キ  
マシテモ、實ハ主要資材供給ニ關シマシテ  
ハ、其ノ要求ハソレ以上ニ相當アツタノデ  
アリマス、サウ云フヤウナ現狀ニナツテ居  
リマス、大體ニ於キマシテハ今御述ニナリ  
マシタヤウナコトハナイノデアリナイカト考  
ヘテ居ルノデアリマス  
○平野委員 結局確安ノ増産ガ今日必要量  
ニ伴ツテ居ナイト云フノハ、價格ガ釘付ニ  
ナツテ居ルカラダ、斯ウ云フヤウニ大體製  
造業者ハ言ツテ居ルヤウニ私ハ思フノデア  
リマスガ、別ノ議論デ言フナラバ、肥料統  
制法ガナクテ、價格ヲ放任シテ置ケバ、必  
ズシモ今日ノヤウニ確安ガ少イモノデハハ  
無論値段ハトテツモナク甚ダシク不合理ナル  
値段ニナツテ來ルカモ知ラヌケレドモ、生  
産其ノモノハ必ズシモ減退シテ居ナイ、斯  
ウ云フコトニナルノデアリナイカト云フ點ガ  
一點、ソレカラ農民ノ方カラ見マスルト、  
今日デハドウ云フコトヲ言ツテ居ルカト云  
ヘバ、値段ガ安イトカ高イトカト云マコト

ノ議論ヨリモ、物ガナイト云フコトノ議論  
ナンデ、値段ヲ安クシテ賣ツテ呉レルト云  
フコトニ付テハ感謝スルケレドモ、値段ガ  
安イト云フコトノ爲ニ品物ガナイト云フコ  
トニナルナラ、結局高イ物ヲ買ハナケレバ  
ナラス、斯ウ云フコトニ實際問題ガナツテ  
居ルノデアリマスガ、此ノ邊ハ一體ドウ云  
フヤウニナルベキモノカト云フコトハ、是  
ハ肥料バカリデナク、石炭ニ付テモ、炭ニ  
付テモ、米ニ付テモ、有ニル問題ガ今日此  
ノ議會ヲ通ジテ此處ニ集中サレテ居ルノデ  
ハナイカト考ヘルノデアリマス、ソコデ御  
尋ヲ致シタイノハ、肥料ニ對シテ五千萬圓  
デスカ、補助金ヲ御出シニナル、斯ウ云フ  
コトニナツテ居ルコトハ吾々承知シテ居ル  
ノデアリマス、是ハ他ノ委員諸君カラモ或  
ハ質疑ガアツタラウト思ヒマシテ、恐縮デ  
アリマスガ、此ノ五千萬圓ト云フモノハ如  
何ナル數字ヲ根據シテ此ノ數字ヲ割出シ  
テ居ラレルノカ、言換ヘマスレバ、確安一  
應ニ對シテ是レノ意味カラ是ダケノ金  
ヲ出スナラバ是ダケノ確安ガ出來ルト云フ  
ヤウナ計算ノ根據ガアルノカ、先ヅ取敢ズ  
此ノ程度儲ケルト思ハレラカ、五千萬圓  
ノ補助金ヲ以テヤツテ見ヨウト云フノデア  
ルカ、此ノ五千萬圓ト云フ數字ノ根據ヲ一  
ツ明カニ願ヒタイ  
○重政政府委員 合計致シマシテ三千万圓  
餘リデアラウト思ヒマス、是ガ豫算ノ根據  
ニナツテ居リマスモノハ、平均適當ニ致  
シマシテハ幾位ニナルカ、一寸私今記憶  
致シテ居リマセマスガ、詰リ肥料ノ生産費ノ  
増高スル會社、例ヘバ不定時電力ヲ供給電  
力ニ置キ換ヘテ増産ヲスルヤウナ會社、ソ  
レカラサウデナイ生産費ハ一般並ニ増高

ヲシテ行クト云フ會社ト、大體ニ二ツノ會  
社ヲ確安ニ付テハ分ケマシテ、サウシテ電  
力料金ノ値上リ、製造總數ト云フヤウナモ  
ノヲ見合シテ、ソレカラ生産總數ト、一般  
ノ生産費増高ト、現在ノ公定價格トノ差額ト  
云フヤウナモノヲ見合ヒマシテ、サウシテ計  
算ヲ致シタモノデアリマス、大體是ガ御協  
費ヲ得テ助成金ヲ交付致シマス場合ニ於キ  
マシテモ、何カ左様ナ考ヘ方ヲシテ是ガ交  
付ヲ致シタイト云フヤウニ考ヘテ居リマス  
○平野委員 載キマシタ資料ニ依リマス、  
中庸生産費ト云フモノハ百十四圓四十錢、  
現在ノ公定値段ハ九十九圓デアアル、サウス  
ルト此ノ間約十五圓ノ開キガアリマス、デ  
アリマスカラ常識カラ云ツテ一應ニ付テ十  
五圓ツツノ補助ヲスレバ各製造會社ハ利益  
ガアルカラ、工場能率ヲ相當豐富ニ發揮ス  
ル、斯ウ云フ風ニ解釋シテ宜シイノデスカ、  
其ノ十五圓ノ意味ガ此ノ三千万圓ノ補助金  
ト云フモノノ根據ニナツテ居ルト解釋シテ  
宜シウゴザイマスガ  
○重政政府委員 御配リヲ致シテ居リマス  
資料ノ百十四圓四十錢ト申シマスノハ昭和  
十三年下期カラ十四年上期ノ平均ノモノデ  
アリマス、而モ此處ニ現在ノ色々ノ生産費  
ノ費目ガ舉ゲテアリマスガ、是等ノ費目ハ  
實際問題トシテハ現在尙ホ昂騰ヲ致シテ居  
ルモノガアルノデアリマス、ト申シマスノ  
八十二年下期ガ此ノ中ニ入ツテ平均セラ  
レテ居リマス、關係上九、一八ノ程度ノ所  
マデハ此ノ十三年下期ノ實績ヲ以テ訂正  
ヲシテヤラナケレバナラスト云フコトニナ  
ルノスデアリマス、或ハ又其ノ後以ノ公定  
價格ガ出來ルト云フヤウナコトデ、公定價  
格ガ新ニ出來テ九、一八ヨリ値段ガ上ルト

第六期第十一號 日本肥料株式會社法案委員會會議錄 第七回 昭和十五年三月十三日

云フヤウナモノモ中ニハアルノデアリマス、隨テ是ハ適正價格トシテ、今期ノ破産ノ適正價格トシテ之ヲ百十四圓四十錢ト宜シイカト申シマス、尙ホ補正ノ或ル程度致サナケレバナラヌト云フコトニテラウカト思ヒマス、然ラバ、其ノ補正ヲ致シマスモソレト現在ノ九十九圓ノ公定價格トノ差額、之ヲ生産者數ニ掛ケテモノ方算算ノ内容ヲ爲スト云フ御質問ニテラウテ來ルダラウト思ヒマスガ、ソレハチウ云フ部分モアリマスガ、更ニ先程申上テタヤウニ、不定時電力ヲ火力ヲ焚イテ其ノ電氣ヲ以テ補給スルト云フヤウナ部分ガ相當大キイ生産費ノ部分ヲ成ス製造方法ヲ採用シテ居リマス會社ニアリマシテハ、ソレデハ到底増産ハ出來ナイノデアリマシテ、更ニソレニ對シテハ相當ノ助成金ヲ交付シナケレバ、到底供給ノ確保ト云フコトハ達セラレナイノデアリマス、ソコデソレ等ノモノニ付キマシテハ、通常ノ場合ニ於ケル、詰リ不定時電力ノ場合ニ於ケル電力料、補給電力ノ電力料金ノ差額ト云フヤウナモノヲ算出致シマシテ、一應ヲ掛合セテ、サウシテ一應當リニ對スル單價ヲ計算致シマシテ、豫算ヲ組ンデ居ルノデアリマス、ソレ等ノモノヲ合計致シマシテモノガ、即チ今御質問ニナリマシタ二千萬圓餘ノ金額ニナルノデアリマス

○重政政府委員 是ハ今申述ベマシタヤウナ、大體豫算ノ性質ニ從テ交付ヲ致ス考テ居ルノデアリマス、是ハ別ニ製造會社ノ方カラ、俺ノ方ヘドウノ斯ウノト云フコトハアルマイト考ヘテ居リマス

○重政政府委員 是ハ今申述ベマシタヤウナ、大體豫算ノ性質ニ從テ交付ヲ致ス考テ居ルノデアリマス、是ハ別ニ製造會社ノ方カラ、俺ノ方ヘドウノ斯ウノト云フコトハアルマイト考ヘテ居リマス

○重政政府委員 是ハ今申述ベマシタヤウナ、大體豫算ノ性質ニ從テ交付ヲ致ス考テ居ルノデアリマス、是ハ別ニ製造會社ノ方カラ、俺ノ方ヘドウノ斯ウノト云フコトハアルマイト考ヘテ居リマス

○重政政府委員 是ハ今申述ベマシタヤウナ、大體豫算ノ性質ニ從テ交付ヲ致ス考テ居ルノデアリマス、是ハ別ニ製造會社ノ方カラ、俺ノ方ヘドウノ斯ウノト云フコトハアルマイト考ヘテ居リマス

ト致シマシテハ一面ニ於テ此ノ豫算ノ御協賛ヲ得レバ、先程申上テマシタヤウナ方法ニ依リマシテ豫算ノ交付ヲ致シマスルト同時ニ、權力ニ依テ原料即チ電力及ビ石炭ノ供給ト云フヤウナモノカラ制出シマシタ數ヲ製造スベキコトヲ命ズル積リテ居ルノデアリマス、先日新聞ニ發表シテ置キマシタガ、臨時措置法ニ基テ破産其ノ他化學肥料ノ生産命令ノ規定ヲ、明日アタリニ官報ヲ以テ公布ヲ致ス答ニテ居リマス

○重政政府委員 是ハ臨時措置法ニ依リタル積リテ居リマス

○重政政府委員 是ハ臨時措置法ニ依リタル積リテ居リマス

○重政政府委員 是ハ臨時措置法ニ依リタル積リテ居リマス

○重政政府委員 是ハ臨時措置法ニ依リタル積リテ居リマス

○重政政府委員 唯ソコニ條件ヲ申上テタイト思ヒマスノハ、他ノ委員カラ先達テモ御質問ガアリマシタガ、此ノ原料ノ供給デアリマス、石炭及ビ電力ノ供給ガ平生以上ニ潤澤ニ供給アルト云フコトガドウシテモ先決ノ條件ニテラザルヲ得ナイノデアリマシテ、製造設備ヲフルニ動カシテ、サウシテ朝鮮ニ於テモ本年ノ夏カラ増産ヲ或ル程度致スコトニテラウテ居リマス、サウ云フモノモ出來、ソレカラ滿洲ニ於ケル破産ノ生産ト云フモノモ普通ニ參リマシテ、サウシテ從來通り約二十萬噸ナラ二十萬噸ト云フモノガ内地ニ入ツテ來ルト云フヤウナ前提ヲ用ヒテ行ケバ、平野君ノ今ノ御質問ニ稍近クコトニ相成ルノデアリカト云フ風ニ考ヘルノデアリマス、ガカラ普通ノ状態ニ於キマシテハ、尙ホ所要ノ需要量ヲ充スニハヤハリ多少ハ外安ニ

額ル、或ハ智利硝石ニ頼ルト云フヤウナコトヲ當然考ヘナケレバナラヌノデアリマス、ト云フ風ニ考ヘラレルノデアリマス

○平野委員 此ノ點ハ私ノミナラズ、殆ド全委員ノ諸氏並ニ農民ノ全ク聽カントスル所デアリマシテ、本案ニ賛成スル贊成シヤイト云フコトモ、只今對策部長御説明ノヤウニ、會社ノ製造工場ノ内容ヲ調査出來テ居ル、法律ニ依テ製造命令モ出セル、補助金モ三千万圓組ンダ、サウシテ農林大臣ハ、是デ農民諸君ヨリ來年度ノ肥料ハ安心セヨ、斯ウ云フ御演説ガアツタニモ拘ラズ、只今對策部長ノ、併シナガラ唯一點ノ疑念ガアルト云フヤウガ疑念ニナツタラ、是ハ大問題ナラ、是ハ單ニ政府ヲ責メルト云フバカリデナク、吾々モ實際重大ノ責任ガアルノデ、此ノ點ハ唯一點疑念ガアルト云フヤウナ御答辯デナク、全ク大丈夫ダト云フコトヲ一ツ御質問ヲ私ハ得タイト思フ、其ノ一點ノ疑念ト云フモノヲ根本的ニナクスルト云フ方法ハナイノデスカ、全ク大丈夫ダト云フ風ニ...

ハ肥料ノ重要性ニ鑑ミテヤラナケレバナラヌ、又ヤル覺悟デアルノデアリマスルガ、是等ノ點ハ相當重要ナ問題デ、吾々ダケデ之ヲドウスルト云フコトモ出來マセヌノデ、御希望ニ副フヤウニハツキリ御答辯ガ申上テ兼ネマス、是ハ對策部長ダケヲ御責メシテモ無理ダト云フコトモ分リマスルシ、對策部長ノ御努力ニ對シテハ固ヨリ私ハ能ク知ツテ居リマス、併シ其ノ點ガハツキリ出來スト云フコトデアレバ、結局ヤハリ疑問ガ殘ルノデス、私ハ色々細カイトハ時間ノ關係上省略シマスガ、端的ニ農村ノ憂ヘテ居ルノハソコナラ、私ハソコハ斯ウ云フコトチヤナカラウカト思フノデス、結局此ノ問題ハ、私共ガ米ノ委員會ノ時ニ實ハ保留ヲシテ居ル點ナラ、實ハ米ノ問題ト肥料ノ問題ガ一ツノ委員會ニ掛カレバ徹底的ニ究明スベキ筈デアツタノデス、對策部長御説明ノヤウニ、成程石炭ト電力ガ思フヤウニナラナケレバ、工合ガ悪イ、是ハモウ分り切ツタコトデアル、所ガ石炭ニシテモ電力ニシテモ絕對ナイト云フモノデハナイ、他ノモノヲ犧牲ニスレバアルノデス、是ハモウ分り切ツタコトデア、如何ニ石炭ガナイ電力ガナイト云フツタ所デ、何レヲ優先ニスルカ、何レヲ絕對ニスルカト云フ問題ナラ、サウスレバ、米ノ委員會ニ於テ農林大臣御説明ノ如ク、食糧ト云フモノハ國家ノ一番根本ダ、是ガ一番大切ナ問題デア、何ハナタツテモ食糧ガナイ位困ルモノハナイト云フコトヲ、一ツ基本的ニ農民ニ強要サレラナラバ、石炭ト電力ガ農林當局ノ思フヤウニナラナイカラ、破産ガ

思フヤウニ配給出來ナカツタト云フ議論ハ成立タヌト思フ、極端ニ言ハバ是ハ聊カ無責任デアリナイカ、結局農務局長アタリガ例ノ増進計畫ニ付テ、唯所謂補給トカ、或ハ耕種ヲ改善スルトカ並ニ立テテ居ルケレドモ、農民ニ聞イテ見ルト全ク問題ニナツテ居ナイ、農務局長ノ問題デアリナイ、言ハレバ破産ヲ相當豐富ニ造ツテ農村ニ出何處ノ省トモ諸ツテ石炭電力ヲ必要量ダケハ持ツテ來テ肥料會社ニ廻スカドウカ、是ガ日本ノ肥料問題ノ根本ニナルノデス、ドウモ只今對策部長ノ如ク、一點ダケ疑問ガアツテ御答辯ガ出來ナイト云フコトハ、答辯トシテハ諒承スルケレドモ、事實ノ問題トシテハ、此ノ委員會ニ於テ、石炭モ電力モ他ノ有ルモノヲ取ツテ來テ破産ダケハ間ニ合ハセルト、是ダケハ一ツ大臣カラ私ハ答辯ヲ願ヒタイ、斯ウ思フノデアリマス

○重政政府委員 是ハ又後刻大臣ニモ申上ゲマシテ大臣カラ御答辯ヲ願フコトニ致シマス、今ノ御話ハ來年度ノ問題デア、ト考ヘルノデアリマス、勿論私ト致シマシテハ、何物ニモ優先シテ現在ノ如ク電力及ビ石炭ノ是等ノ方面ニ對シテ供給ヲヤラサナケレバナラヌ、又ヤラナケレバナラヌト云フ覺悟ハ持ツテ居ルデアリマス、ソレカラ唯正味ノ需要量ト云フコトガ實ハ一ツ問題ニナルト思フノデアリマス、併シ斯ウ云フ時局下デアリマスカラ、潤澤ナル製造ト云フコトハ、是モ程度ノ問題デアリマスガ、出來ルダケ消費ノ合理化圖ツテ、合理的ニ必要ナル量ノ供給ト云フ意味ニ今解釋ヲ致サナケレバナラヌト考ヘルノデアリマスガ、少タトモ本肥料年度ノ如キコト

ニハ、普通ニ行ツテモ、來年度ニ於テハ絕對ニナラヌト考ヘルノデアリマス

○平野委員 ソレハ私ハ區切りヲ致シテ置キマスガ、此ノ七月マデノ問題ニ付テハ既ニ農村デハ相當諸メヲ付ケテ居ル農家ガ多イ、是ハ色々配給其ノ他ニ手落ちガアツテ、今此處ドドウ言ウテモ仕様ガナイ、併シ問題ハ大臣ガ來年度ダケハ困ラセスト云フ議會ニ於ケル答辯デア、是ハ實際問題トシテ、若シ此ノ期待ヲ農民トシテ裏切ラレバヤウナコトガアレバ、私ハ米ナシカ出來スト思フ、出來スト云フコトハ別ニ政府ニ嚇カシ文句ヲ言フノデアリマセヌガ、吾々トシテモ現在農民ニ對シテドウ云フコトヲ言ツテ居ルカト云フ、マア此ノ議會ノ間ニ何トカ肥料政策ト云フモノヲ確立スルト云フコトデ、吾々モ農民ヲ有メテ居ル側デア、ソコデ別ニ大臣ノ責任トカ、政府ノ責任トカ、議員ノ責任トカ云フコトヲ拔キニシテモ、本當ニ黙トシテ排作シテ居ル農民ニ來年度ノ肥料問題ニ合ハスト云フコトデアツタラ、私ハ日本ノ食糧政策ノ危機、單ニ食糧政策ノ危機ノミナラズ、農民ノ思想、農村ニ於ケル所ノ動搖ト云フモノハ免レヌト私ハ思フ、要約スレバ、對策部長御説明ノヤウニ、石炭ト電力ト破産工場ニ先ニ取ツテ來ルカ取ツテ來ナイカト云フ問題デアツテ、不可能カ不可能デナイカト云フ問題デア、歐羅巴ノ戰爭ガ始ツテ加里ガ來ルカ來ナイカト云フ問題ハ、農民モ直ダニ諒解スルケレドモ、破産工場ト云フモノヲ「スル」ニナリサヘスレバ日本デ出來ルチヤナイカ、利益ガナイカラ工場ヲ閉カシテ居ナイノチヤナイカ、或ハ農林省ガ石炭ト電力ヲ取ツテ來レバヤレルモノ

フヤラナイノチヤナイカ、斯ウ云フヤウナ  
點ニ付テハ最後ニハ農民ハ承知ヲシナイイ  
ヤナイカ、承知ヲシナイト云フコトハドウ  
云フコトニナツテ現ハレルカト云フコトハ、別  
ニ承知シナイカラト云フコトトナラズ、別  
譯デモナイガ、具體的ニハ色々ナ問題ガア  
ルダラウケレドモ、結局生産ガ減少スル、  
所期ノ米穀政策ト云フモノハ果シテナイ、  
サウナレバ廻リ廻テ農林當局ノ責任デア  
リ、吾々ノ責任デアルト云フコトニナルカ  
ラ、此ノ點ダケハ一ツ確固タル御方針ヲ此  
ノ際ニ於テ御言明ヲ願フテ置キタイ、斯様  
ニ思ヒマス

ソレカラモウ一ツ承リタイコトハ、ソレ  
デハ斯ウ云フ調査ハアリマスガ、破安ノ方  
ヘ石炭ト電力トヲ完全ニ取ツテシマツタラ、  
ドウ云フ事業ニドウ云フ影響ガアルノデス  
カ、サウ云フ御研究ハアリマスガ  
○重政政府委員 是ハ中々具體的ニハ難シ  
イコトト思フノデアリマス、私ノ所デハソ  
レハ分リ難ネルノデアリマス、當リ前ニ水  
力發電ガ行キサヘスレバ、影響ナシニ行ケ  
ル譯デアリマスガ、併シ湯水期等ニ於テハ  
今ノ破安ノ不定時電力等ハ當然若段ノ時ヨ  
リ減ルコトニナツテ居リマス、ソレヲ減ラ  
サナイデ火力ヲ補給シテヤルト云フコトヲ  
考ヘナケレバナラナイノデアリマスカラ、  
サウ云フ時ニ多少他ノ工業ニ影響ヲ及ボス  
場面モ出テ來ルト思ヒマスガ、一寸是ハ分  
リ難ネマス  
○平野委員 私人ハ或ル意味ニ於テ無理ナコ  
トヲ認イテ居ルヤウデアリマスガ、實際  
カラ言ヘバソレ位ノ御研究——發表出來ナ  
イ部分モアルカモ知レマセウケレドモ、研  
究ヲヤウテ然レベキデハナイカト思フ、農

民ハドウ云フコトヲ言ツテ居ルカト云フト、  
例ヘバ東京ノ電車ナンカ止メテシマツテ肥  
料ヲ作ツタラ肥料ハ出來ルチヤナイカ、何  
處カ一ツノ工場ヲ休シテシマツテ電力ヲ供  
給スレバ肥料ハ開ニ合フチヤナイカ、米ガ  
ナイト云フナラバハ代ヘラレナイ、今電  
力ハナイト言ツテモ斷分無駄ニ使ツテ居ル  
ト云フヤウナ漠然タルモノデハアルケレドモ、  
相當具體ニ關レタ説ヲ吾々ハ聽カサレルノ  
デス、對策部長ハ權々言ハレルガ、ドウモ  
雨ガ降ラナクテ電力ガナカクツタカ、石炭ノ  
供給ガ不十分デアツタカラト云フヤウナ口  
實デ破安ガ間ニ合ハナイト云フコトニナル  
ト大問題ダカラ、如何ニ電力ガナイ、石炭  
ガナイト言ツテモ、日本ノ絕對量ニ於テハ  
或ル程度ノモノガアルノダカラ、之ヲドウ  
シテモ破安工場ニハ絕對開ニ合セル、其ノ  
場合ニハドウ云フ事業ガドウ云フコトニナ  
ラナイト云フ、或ハ國家ガドウナルト云フ、  
ソレ破安工場ニ全部電力石炭ヲ廻シ場合  
ニハ何處ニドウ云フ事業ノ影響ガアルカラ  
ヤレナイノダ、是ダケハ一ツ此ノ際答辯出  
來ナケレバ、企業院ナリ或ハ他ノ省ト御打  
合セテ願フテ、成ルベクナラシムコトヲ御  
於テ或ル程度ノ暗示ヲ與ヘテ貰ヒタイ、之  
ヲ一ツ希望シテ置キマス

○重政政府委員 比較的ニ不定時電力ヲ使ツ  
テ居リマス工業ト云フモノガ、所謂今回電  
力ノ消費統制令ヲ施行致シマス際ニ當ツテ  
見マス、是ガ何レモ重要ノ産業ニナツテ  
居ルノデアリマス、之ニ使ヒマス電力ノ  
パーセンテージト云フモノハ相當大キ  
イモノガアルノデアリマス、破安及ビ石炭  
空素ノ關係ダケデモ、所要致シマス電力量  
ハ四千万、キロワットノ位アルカト記憶致シ  
テ居リマスガ、相當大キイ數字ニナリマス  
ノデ、ソコデソレ等ニ「フル」ニ提供スレバ  
自然他ノモノヲ制限スルコトニナル、所ガ  
他ノモノヲ制限スルノモ或ル程度マデ參リ  
マスツレガ一ツノ社會ノ問題ニナツテ參  
ルト云フ、自ラ制限ノ限度方アルノデアリ  
マス、現在ノ所デモ電氣鐵道デアリマス  
カ、其ノ他電車デアリマストカ云フヤウナ  
モノモ、是ハ出來ルダケ制限ヲ現在ニ於テ  
致シテ居ルノデアリマス、其ノ關係ハ一ツ  
或ル程度御考ヲ戴イテ置キタイと思ヒマス  
詳シイコトハ尙ホ一ツ能ク打合セマシテ適  
當ノ機會ニ御話ヲ申上ゲマス

○平野委員 ソレカラ尙ホ一ツ、是ハ對策  
部長ナドハ、地方カラ陳情ニ來テ色々申上  
ゲルノデ、ドウチカト云フハ耳ニ賑ガ出來  
ルヤウニナツテ、十分御認識ハアルダラウ  
ケレドモ、マダ農民ノ本當ノ實情ニ付テ御  
考ノ及バナイ點ガアルノデアリマス、只今  
モ電力ガナケレバ社會問題ガ起ルト云フヤ  
ウナコトヲ言ハレマシタガ、來年ノ肥料政  
策ヲ誤ララソレコソ米ハ出來マセウ、  
私ノ手許ニハ澤山農林カラソレニ付テ深刻  
ナ手紙方來テ居リマスケレドモ、時間ノ關  
係上ソレハ申上ゲマセウガ、實際政府ニ於  
テ縣廳其ノ他ヲ通ジテ御調ニナルコトト、  
實際百姓ガ總ヘル所トハ大分距離ガアル、  
今日ハドウツチカト云フハモウ農民ハ諦メテ  
シマツテ、俗ノ言葉言ヘバ、モウヤケ氣  
味ニナツテ來テ居ル、肥料ガ來ナイナラ  
ナイイ宜イ、已ムヲ得ナイ場合ハ自分ノ食  
ヲダケデモ作ツテ置クコトヲ云フヤウナ氣分ニ  
實際ナツテ居ル、此ノ思想ガ本當ニ蔓延シ  
テ行ケバドウナルカ、農林大臣ガ七十五議

ルコトハ、補ハレナイヨリハ宜シイガ、今  
日豆粉、魚肥ト云フモノニ對シテ、破安ノ  
配給ノ少イ所ニ於テハ之ヲ賈ヘルヤウニシ  
テ居ルケレドモ、豆粉ト破安及ビ魚肥ト云  
フモノハ其ノ含有窒素分ニ於テ甚シク差  
アルト云フコトハ御承知デアリマセウ、現  
ニ是ハ昭和十一年ノ統計デアリマスケレ  
ドモ、窒素分百匁當リト云フモノカラ計算  
シマスルト、破安ガ含ンデ居ル窒素分ト云  
フモノハ百匁十八錢五厘デアル、所ガ大豆  
粉ニナリマスルト四十五錢二厘、正ニ三倍  
デアリマス、魚肥ニ至リマスルト驚ク勿レ  
六十四錢四厘、破安ヲ以テ致シマスルナラ  
バ十八錢五厘デアル空素ト云フモノガ、  
二厘カラ六十四錢四厘ト云フコトニナルノ  
デス、而モ是ハ私ノ計算ニ依リマスルト、  
破安一俵買ツテ掛ケルモノハ、豆粉ヲ買ツ  
テ掛ケマスルト金額ニ於テ約五倍ノモノヲ  
買ツテ掛ケナケレバナラナイ、豆粉ハ統制  
外ニナツテ居リマスルカラ破安ヨリ値段ガ  
高キ、魚肥ニナリマスルト、魚肥ハ今年朝  
鮮ニ於テ豐漁デアツタト云フテ對策部長ハ  
如何ニモ安心ノヤウナ御話ニナリマスケレ  
ドモ、ソレハ豐漁デアツテモ吾々ガ買ツテ  
手ニ入レルト云フコトニナリマス、破安  
一俵ヨリハ驚ク勿レ農民ハ七倍ノ金ヲ拂  
ナケレバナラズ、此ノ五倍乃至七倍ノ金ヲ  
拂ツテ掛ケル農民ノ苦痛ト云フモノニ對シ  
テ一ツ御認識ガ願ヒタイコトガ一點ト、モ  
ウ一ツハ魚肥ト豆粉ト云フモノヲ直ダ土  
壤ニ加ヘテ之ヲ肥料トスルト云フコトハ、  
國家政策ノ大局カラ見マシテハ多少質問  
ノ策デアリマス、私ハ企業院ニ對シテモ  
之ヲ一ツ懸キタイト思フノデアリマスガ、

此ノ點ハ特ニ此ノ問題ダケデアリマスカラ、  
此ノ席上ヘ企業院總裁ヲ呼ビマセウケレド  
モ、委員長カラ一ツ御話キテ願フテ然レベ  
キ機會ニ答辯ヲ願ヒタイノデスガ、魚肥及  
ビ大豆粉ト云フモノヲ牛馬ガ食ツテ、之ヲ  
糞ニ致シマシタ場合ニ於テハ空素分ト云フ  
モノハ尙ホ八割含ンデ居ル、言換ヘマスナ  
ラバ、牛馬ガ豆粉ヤ魚肥ヲ食ツテ糞ニス  
ルナラバ、空素分ト云フモノハ尙ホ肥料トナ  
ツテハ八割ハ出ル、ソレカラ豚ノ場合ニ於キ  
マシテモ同様デアリマス、ソレカラ糞ニナ  
レマスナラバ、八割五分空素ガ出ル、言  
換ヘマスナラバ、豆粉ト云フモノハ直チニ  
一遍牛馬ニ食ハス、或ハ糞ニ食ハシテ、ソ  
レガ糞ニナツテ、ソレヲ肥料ニ加フルト  
云フコトガ、是ハ國家經濟上カラ言ヒマシ  
テモ、空素分ノ經濟ト云フモノハ如何ニモ  
此ノ方ガ合理的デアルト云フコトハ御承知  
デアリマセウ、而シテ今日飼料ガナイト云  
フコトカラ糞ヲ殺シタリ、或ハ豚ヲ殺シタリ  
シテ居ルト云フ現狀カラ見マスルナラバ、  
是レ位私ハ不經濟ナコトハナイト思フノデ  
ス、破安ガ足ラスカラト云フテ豆粉ヤ魚肥  
ヲ直ダ土壤ニ加ヘルト云フ政策ハソレハ應  
急ノ處置トシテハ已ムヲ得ナイカモ知レマ  
セウケレドモ、破安對策ノ根本ト云フモノ  
サヘ立チマスナラバ、ヤハリ豆粉ト云フモ  
ノハ一旦飼料トシテ牛馬、或ハ糞ニ食ハ  
シテ、ソレカラ糞トナツテ出タモノヲ肥料  
トスル、斯ウ云フヤウニヤウテ行タコトガ  
私ハ肥料政策ノ根本カラ行キマシテモ、又  
日本ノ物資全體カラ申シマシテモ當該デア  
ルト思フノデス、此ノ意味ニ於テ尙且ツ破  
安ノ増産ト云フコトハ絕對デア

○委員長退席、山田委員長代理者席  
破安ノ増産コソハ正ニ我國ノ農業政策ノ中  
樞、根幹ニ關レタ今日ノ趨勢デアルト云フ  
コトニ對シテ、私ハ對策部長ノ再認識ヲ得  
タイト思フノデアリマスガ、之ニ對スル  
御所見ヲ承リタイト思ヒマス  
○重政政府委員 大豆粉及ビ魚肥ト、破安  
ノ成分價格ガ著クシ遠フ、隨テソレニ對シ  
テ破安ノ代用トシテノ大豆粉ヲ使フ場合ニ  
ハ農民ガ非常ニ苦痛デアルト云フヤウナ御  
質問デアリマスガ、ソレハ御尤モナコトデ  
アリマス、併シ唯私、申上ゲルマデモナイ  
コトト思ヒマスガ、申上ゲテ置キタイコト  
ハ、有機質ノ肥料ハ有機質ノ肥料トシテノ  
價值ガアルノデアリマス、無機質ノ肥料ハ  
無機質ノ肥料トシテノ價值ガアルノデアリ  
マシテ、只今御述ニナリマシタヤウナ、吾  
ガ方針上デヤリマス所謂成分價格ト云フ  
モノダケデ參リマスレバ、只今御述ニナリ  
マシタ通りデアリマス、併シナガラ有機質  
ハ有機質トシテノ特殊ノ性質ヲ持ツテ居ル  
ノデアリマス、肥料知識ト申シマスガ、肥  
料ノ性能上ニ付テ大ナル注意ヲ拂ハズシテ  
モ有機質ノ方ハ施用スルコトガ出來ルノデ  
アリマス

(山田委員長代理退席、委員長著席)  
併シ化學肥料ニナリマス、其ノ邊ノ所ハ  
相當ニ細心ノ注意ガ必要デアル、色々有機  
質特有ノ施肥上ノ有利ナ點モアルノデアリ  
マス、併シナガラ非常ニ其ノ値段ガ違フト  
云フコトハ、農民ノ肥料經濟ノ立場カラ見  
レバ、御述ニナリマシタ通りデアリマス、  
ソコデ今回ハ吾々ト致シマシタハ、其ノ不  
均衡ヲ豫メ考ヘマシテ、或ル程度是ハ農家  
ノ肥料代ノ支出ト云フモノヲ均分化スル必

要ガアルノデアリカト云フ風ナコトヲ考  
ヘテ、實ハ今回ノ臨時配合肥料ノ設計ニ於  
テハ、有機質ヲ其ノ中ニ加ヘルト云フ或ル  
程度考ヘタ次第デアリマス、是ハ全く今御  
述ニナリマシタヤウナ點ヲ多少トモ緩和致  
スト云フ考ヘ方デ、サウ云フヤウナコトヲ  
致シタ次第デアリマス  
ソレカラ魚肥及ビ大豆粉ヲ一度家畜ノ腹  
ヲ通シテ肥料ニスルコトガ合理的デアル、  
サウ云フヤウニ考ヘレバ、要スルニ破安ガ  
我國ノ農業ノ根幹ヲ成スモノデアルト云フ  
ヤウナ御話デアリマスガ、是ハ私全然同意  
デアリマス、併シナガラ魚肥及ビ大豆粉ガ  
御承知ノヤウニ我國ニ於テ肥料トシテ使ハ  
レテ居リマス歴史ハ極メテ古イノデアリマ  
ス、ソレガ爲メ農家ノ施肥ノ慣行ト云フコ  
トヲ、此ノ肥料政策ヲ致ス際ニハ相當考慮  
ヲ致サナケレバナラズト云フ實情ニ相成ツ  
テ居ルノデアリマス、出來得ル限リ斯ウ云  
フ肥料成分價格ノ割高ナモノハ、肥料成分  
價格ノ安イモノニ換ヘテ行クト云フ趣旨ノ  
獎勵モ或ル程度致シタノデアリマスガ、併  
シ施肥慣行ト云フモノハ中々一朝一夕ニシ  
テ改マルモノデハナイノデアリマシテ、ヤ  
ハリ舊時代カラ使ツテ居リマス魚肥、或  
ハ日露戰爭後カラ使ツテ居リマス大豆粉ト  
云フモノノ肥料トシテノ農家ノ施用上ノ慣  
用ト云フモノハ、牢固タルモノガアルノデ  
アリマス、其ノ意味ニ於キマシテ、魚肥及  
ビ大豆粉ト云フモノヲ肥料トシテ施用スル  
ト云フコトハ、或ル程度普通ノ年ニ於キマ  
シテモ已ムヲ得ナイモノガアルト考ヘテ居  
ル次第デアリマス、併シナガラ是等ノ點ハ  
漸次改善ヲセラレテ、有機質ハ堆肥、既肥  
ニ依ツテ賙ヒ、アトハ化學肥料ニ依ツテ行

タト云フヤウナ時代が早晩到来スルコトハ  
考ヘラレドアリマス、今日ノ此ノ差迫  
ツタ現狀ニ於キマシテハ、只今御述ニナ  
リマシタヤウニ、是ハ今ノヤウナ理想ト申  
シマスガ、サウ云フ點カテ考ヘテ多少逆戻  
リト云フヤウナ形モアルヤウニ御考ヲ載ク  
コトニナルカモ知レマセスガ、是ハ已ムヲ  
得ザル臨機ノ處置トシテ執ラザルヲ得ヌ所  
デアリノデアリマスカラ、此ノ點ハ御詳承  
ヲ戴キタイと思ヒマス

○平野委員 私モ聊カ農村問題ヲ研究シテ  
居ルノデ、無機質バカリヤレバ土壤ニ必ズ  
シモ良クナイト云フコトモ承知シテ居ルノ  
デスガ、今ノ豆粕、魚肥ト云フモノハ、硫酸  
ガナイ爲ニ特別ニ配給サレテ居ルノデアリ  
マス、ソレデ從來カラノ慣習ヲ以テ使ツテ  
居ル豆粕魚肥ト云フモノヲ私ハ今議論シテ  
ハ居ラス、是ハ企業院ナドニ對シテモ御説  
ト思フ、農林省トシテモサウ云フ點ヲ得タイ  
チレバ分ルと思フ、一遍家畜ノ腹ヲ通シ  
テ肥料ニスレバ、家畜モ助カリ、土壤モ助  
カリ、農民モ助カルト云フコトガアルニ拘  
ラズ、電力ヲ與レヌ爲ニ、硫酸ガナイ爲ニ  
サウ云フ無駄ヲシテ居ル、是ハ國家經濟上  
損デハナイカ、斯ウ云フ點ハ一ツ企業院ニ  
モ農林省カラ十分話ヲセラレテ、サウシテ  
現在折角滿洲カラ來ル所ノ大豆粕ハ家畜ヲ  
通シテ肥料ニスル、一方硫酸ハ電力ヲ以テ  
相當ニ造ツテ行クト云フ位ノコトハヤレナ  
イコトデハナイノデアリ、其ノ爲ニ難ヲ  
殺シタリ、豚ヲ殺シタリスルト云フコトノ  
將來ノ恐ルベキ結果ト云フモノハ説明スル  
マデモナイノデアリマスカラ、私ハ此ノ點  
ニ付テ特ニ一ツ當局ノ御反省ヲ促シテ置キ

マシテ、次ノ質問ニ入りタイと思ヒマス、  
米麥重點主義ト云フコトヲ御決メニナツタ  
ヤウデアリマスガ、是ハ農林省デ何時頃御  
決定ニナツタノデアリカ  
○重政政府委員 昨年十一月ノ半バ頃ニ  
農林計畫委員會ノ肥料部會ヲ開キ、サウシ  
テソレニ諮問ヲ致シマシテ決定ヲ致シタノ  
デアリマス  
○平野委員 其ノ時ニハ硫酸ガ足ラナカワ  
タコトヲ前提トシテ決定シタノデアリマセ  
ウカ  
○重政政府委員 サウデゴザイマス  
○平野委員 其ノ硫酸ガ足ラヌト云フ時  
ニ、當然豆粕魚肥ト云フ問題ニ頭ヲ運ラサ  
ルベキデアリカ、其ノ時分ニ豆粕ニ對スル  
統制ヲ放任セラレテ、豆粕ヲ全國ニ調査  
ヲ御始メニナツテ、何處ノ會社ニドレダケ  
持ツテ居ルト云フコトハ、確カ一月ノ十七  
日ノ省令ヲ御發表ニナツタと思ヒマスガ、  
昨年十一月ノ半バ頃ニ米麥重點主義ト云  
フコトヲ決メテ、硫酸ガ足ラヌ、農産資材  
ニハ豆粕ヲヤラナケレバナラスト云フコト  
ヲ考ヘラレタ時ニ、ナゼ豆粕ニ對スル統制  
ヲ考ヘラレナカッタカ、一月十七日マデノ  
間ニ豆粕ハ勝手ニ商人ガ開取引ヲシタリ買  
占ラシタリ、或ハ其ノ他自由經濟ノ儘ニ購  
弄シテ居ルコトニ對シテ、何等方法ヲ考ヘ  
ラレナカッタノハドウ云フ譯カ、是ハ放置  
シテ別ニサウシナイデモ宜イト云フ御考デ  
アツタカ、ソレヲ一ツハツキリ伺ヒタイ  
○重政政府委員 御承知ノヤウニ豆粕ノ統  
制ト云フコトハ、簡單ニサウ言ヘバ統制ト  
言ヘマスガ、是ガ制當ヲ致シマスマデニナ  
リマスノニ相當ノ準備ガ要ルノデアリマス、  
屢ニ申上デマスサウニ、私ハ十月ノ初メカ

ラ今日ノ豆ノ状態ノ足ラヌコトヲ想像致  
シマシテ、極力出廻リニ付テノ色々ノ努力  
ヲ致シタノデアリマス、同時ニ大豆粕ノ統  
制ニ付キマシテハ、先年ノ夏頃カラ色々案  
ヲ練ツテ居タノデアリマス、十月ニ於キ  
マシテハ現在ノ有機肥料配給會社ヲ設立ス  
ル準備ニ取掛ツタノデアリマス、是等モノ  
尙月バカリノ間デ大車輪ヲ各當業者ヲ集メ  
シメテ今日ニ至ツタヤウナ次第デアリマス、  
其ノ時ニ其ノ統制ヲ同時ニ實行ガ出來ナカ  
ツタコトハ遺憾デアリマス、併シナガラ米  
麥重點主義ヲ決定スル前カラ、大豆粕ノ統  
制ニ付テハ手ヲ染メテ準備ヲ致シタ次第デ  
アリマス  
○平野委員 是ハ一ツ對策部長或ハ政務次  
官カラ蠶絲局長ニ御相談ヲ願フテ、次ノ機  
會ニ御答辯ヲ願ヒタイ、米麥重點主義ノ結  
果ニ對スル肥料ハ四割減サレテ居ル、是  
ハ農民ニハ五割モ手ニ入ラヌコトニナルト  
云フコトハ事實ガ證明シテ居ル、桑ノ施肥  
ハ三月末ヲ以テ終ルノデアリマシテ、私山  
梨縣デアリマスガ、養蠶ヲ主トシタル農民  
カラ聞イテ見ルト今日マダ來テ居ナイ、或  
ル者ハ相當ニ八割位入レタ者モ例外トシテ  
ハアリマスガ、大半ハ殆ド五割以内、斯ウ  
云フコトニナツテ居ル、ソコデ伺ヒタイノ  
ハ、今カラ三年以前デアリマスガ、山梨縣、  
東京府方面ニ於テ養蠶ノ大被害ガ起ツタ、  
是ハ未曾有ノ大被害デアリ、統計ノ示ス所  
ニ依レバ收穫ノ八割減デ、二三割位ヨリ取  
レナカッタ、無論是ハ晚秋蠶デアリマス  
カラ御調ニナルト分リマスガ、其ノ時ニド  
ウ云フコトガ原因デ一體取レナカッタカト  
云フコトカラ議論ニナリマシテ、是ハ蠶

任問題モ起ルデアラウト思ヒマスノデ、明  
解ナル御答辯ヲ願ヒタイ、政務次官カラデ  
モ次會ニハワキヲ御答辯ヲ願ヒタイ  
○岡田政府委員 只今ノ御答ニ付キマシテ  
ハ蠶絲局長カラノ御答辯ヲオモデアラウ  
ト思ヒマスガ、若シ御希望ナラバ一應私ノ  
所存ヲ申上ゲテモ宜シウゴザイマス  
○平野委員 ソレハ責任ヲ以テ御答辯願  
レバ宜シイガ、蠶絲局長ト御相談ノ上デ結  
構デアリマス  
○岡田政府委員 ソレデハ何レ又蠶絲局長  
ト能ク相談致シマシテ御答辯致シマス  
○平野委員 ソレデハソレヲ保留シマシテ、  
時間ガアリセスカラ最後ニ一ツ伺ヒマス、  
配給問題デアリマスガ、是ハモウ先聲同僚  
ノ諸氏カラ諸々質疑ガアツタノデアリマス  
カラ、私ハ細カクイコトハ御答シマセヌ  
私ハ米ノ委員會デモ申上ゲタノデアリマス  
ガ、町村ニ於ケル生産努力ト云フモノヲ調  
査セラレテ、其ノ町村ニ必要ナル制當ガ決  
ツタナラバ、今度出來タ會社カラ町村ニ向  
ツテ制當ガ直グニ行ク、産組トカ商人ト  
カ云フ議論デナク、此處ニハ町村ニ制當テ  
ラレタ數字ヲ持ツテ來テ居リマスガ、是ハ  
省略シマスガ、皆ドウ言ツテ居ルカト云フ  
ト、縣カラ斯ウ云フ制當ガ來テ居ルケレド  
モ、産業組合カラ貰フノデアリカ、商人カ  
ラ貰フノデアリカト云フコトガ曖昧デア  
ル、結局産業組合カラ貰フノガ常道デア  
ルと思フテ居ル、産業組合カラ受ケ  
テ數量ガ足ラナカッタ、農民ノ中デモ實イ  
人ハ商人ノ方カラ開取引ヲ以テ買ツテ來テ  
漸ク肥料ヲ補ツタ、斯ウ云フ聲ヲ懸ヘテ居  
ルノハ洵ニ切實ナルモノガアル、率直ニ言  
フナラバ眞面目ナ農民ホド馬鹿ヲ見ル、安

イ高イノ問題デハナイ、手ニナカワタト云  
フコトハ自分ノ作物ニ養分ヲ與ヘラレナカ  
ラ、斯ウ云フヤウニ産業組合カラ、商人カ  
ラナドト云フ議論ヲスルヨリ町村ニ制當テ  
タナラバ、政府ガスバツト與レバ宜イ、  
斯ウ云フ議論ヲ農民ガシテ居ル、現ニ農村  
ニ於テハドウ云フコトヲ言ツテ居ルカト云  
フト、戦死者ノ葬式モ町村ガヤツテ居リマ  
ス、税金モ町村ガ取立テ納メテ居ル、勤  
國家ヘ出シテ居ル、其ノ兵隊ヲ町村デ調ベ  
ケハ産業組合カラ貰フノカ、商人カラ貰フ  
ノカ、ドウチカラ貰ヘルカ、ドウ云フコト  
カ分ラヌト云フコトデハ、政府ハ一體何ヲ  
シテ居ルノカ、此ノ議論ニ對シテ當局ハ何  
ヲ以テ御答ニナルカ、又ドウセラレバ御考  
デアリカ、之ヲ一ツハワキリ御答願ヒタ  
イ  
○重政政府委員 ソレハ從來ト雖モ町村ニ  
産業組合ノ方カラ幾ラ持ツテ行キ、商人ノ  
側カラ幾ラ持ツテ行クト云フコトハ明ニナ  
ツテ居ルノデアリマスガ、不幸ニシテ今御  
述ニナリマシタヤウナ事例ノアリマスルコ  
トハ、洵ニ遺憾デアリマス、此ノ配給以後  
ニ於キマシテハ、結局農會ニ於テソレ等ノ  
點ノ統制ヲ執ツテ行クコトニナツテ居リマ  
スノデ、假ニ從來チウ云フ疑念ガ起ツタ地  
方ニ於キマシテモ、將來ハチウ云フコトハ  
起ラナイコトニナルダラウト考ヘテ居リマ  
ス  
○平野委員 是ハ一ツ農林大臣カラ次會ニ  
答辯ヲ願ヒタイと思ヒマスガ、私ハ米ノ問  
題ト關聯スルノデ、結局政府ガ此ノ肥料會  
社ヲ御作りニナツテ、稍々專賣ニ近イ肥料政

策ヲ御執リニナツタトスルナラバ、町村ニ  
制ヲ振フタ所ノ肥料ト云フモノハ、政府ガ  
絕對責任ヲ以テ必ズ配給スル、而シテ私共  
ヲシテ言ハシムルナラバ、其ノ配給シタ肥  
料ト米ヲ交換スル、現在政府ガ采發政策ノ  
上ニ於テモ、米發給特別會計法ト云フモ  
ノニ依ツテ相當大量ナル米ヲ買上ゲヨウト  
云フコトヲ苦心サレデ居リマス、是ハ撲々  
議論シマシタヤウニ價格政策デモ、權力政  
策デモ買ヘナイ、買ヘナイカラ仕方ガナイ  
ト言フ、ソコデ私ハ稍々肥料ノ專賣ニ近イ此  
ノ日本肥料會社ト云フモノガ出來タナラバ、  
此ノ會社カラ直チニ町村ニ向ツテ必要ナル  
所ノ生産力ニ應ジタル肥料ヲ配給シテ、其  
ノ配給シタ肥料ガ、其ノ年ノ米ノ生産  
ト云フモノヲ基準トシテ賣與ヘルニシテ  
米ヲ以テ肥料ヲ取ル、政府ハ其ノ米ヲ賣  
テ肥料代金ニ換算スルト云フ、斯ウ云フ  
單純ナル米發、肥料ノ關聯セル新式對策  
ヲ立テテ貰ツタラドウカ、斯ウ云フ私ハ考  
ヘ方ヲ持ツテ居ル、時間ガアリマセスカラ  
之ニ對スル詳細ハ私ハ避ケマス、又米ノ委  
員會ニ於テモ稍々述ベタコトデアリマスル  
ガ、斯ウ云フ單純ナル集荷配給ト云フモノ  
イカト云フ考ヘ方ヲ持ツテ居ルノデアリマ  
スガ、之ヲオヤリニナル御意思ガアルカド  
ウカト云フ點ニ對スル御答辯ヲ願ヒタイ  
○重政政府委員 配給機構ヲ貫徹スルト云  
フ點ニ付キマシテハ、私屢ニ申上ゲマシタ  
ル通り、理想トシテ私ハチウアラネバナラ  
ヌト考ヘテ居ルノデアリマスガ、之ヲ今御  
述ニナリマシタヤウニ、町村ヲ中心ニシテ  
米ノ集荷ト云フヤウナ意味モ持ツシテ、米

絲局長モ其ノ當時ノ議會ニ於テ答辯シ  
テ居ラレマスガ、要スルニ天候ガ惡カワ  
ク、ソレニ付テ色々研究シテ見マス、天  
候ガ惡カワタ爲ニ桑ノ養分ガナカワタ  
云フコトデアリ、即チ養分ノ足ラザル桑ヲ  
蠶ニ食ハシタト云フコトガ、アノ未曾有ノ  
養蠶ノ大被害ニナツタ原因デアリ、今改メ  
テ議論スルノデハナクシテ、是ハ既ニ過去  
ニ於テ經濟論デアリ、實論デアリ、特約  
組合等ニ於テ特別ニ肥料ヲ配給シタリ、色  
色ナ方法ヲ講ジタリシテ居ル所ノ養蠶地帯  
ニ於テハ、サウデナカワタト云フ事例ガア  
ルノデアリマス、要スルニ桑葉ノ惡イモノ  
ヲ食ハシタ蠶ガ全滅デアリ、私ハ米麥重點  
主義ハ主義トシテ反對ハ致シマセスガ、斯  
ノ如ク桑ニ對シテ肥料ヲ半減サレテ、其ノ  
桑ニ依ツテ飼ヒマス所ノ養蠶ニ對シテハ、  
今年或ハ非常ナル養蠶ノ不作ヲ來シマシ  
イカ、此ノ點ヲ私ハ憂フルノデアリマス、  
之ニ對シテ蠶絲局長ハ現在ドウ云フ考ヲ持  
ツテ居ルカ、又農林當局ハ米麥重點主義ト  
云フ如何ニモ立派ナ主義ヲ決メタヤウニ言  
ツテ居ラレカ、此ノ養蠶地帯ハ桑ノ被害  
カラ斷ル減收ヲ來シテ居ル、小麥モ勿論重  
大デアリカモ知レナイガ、斷ル外貨獲得ノ  
上カラ見マシテ最モ重大デアリマス、養蠶  
地帯ニ於テハ國家經濟カラ申シマス、斷  
ヲ賣ツテ米ヲ買ツテ居ルト云フ状態デアリ  
マスカラ、必ズシモ輕視スル産業デアリ  
ト思フノデアリマス、此ノ米麥重點主義ノ  
結果、現在桑ニ對スル肥料ガ養蠶地帯ヲ調  
ベルト半分ヨリ來テ居リマセス、其ノ結果  
養蠶ニ及ボス所ノ大被害ト云フモノガ豫想  
チレル、之ニ對シテ何カ御考ヲ持ツテ居  
レルカ、或ハ御考ガナイカ、是ハ當局ノ責

ト肥料ト關聯ヲ持ツテサウ云フ風ニヤ  
ルカドウカト云フ御質問デアリマスガ、是  
ハ蠶絲ニ付キマシテ、養蠶ニ多ク御答デアリ  
私實ハ今拜聴致シタ譯デアリマスガ、ソレ  
等ノ點ニ付キマシテハ十分研究ヲ致シマシ  
テ、出來ルダケ肥料配給上ニ遺憾ナイヤウ  
ナヤリ方ニ致シタイト考ヘテ居リマス  
○平野委員 尙ホ承リタイ點ガアリマスル  
ガ、是ハ多少條文等ニ關スルコトデアリマ  
スルカラ、他ノ機會ニ願ヒタイと思ヒマス、  
私ノ大體ノ質疑ハ此ノ邊デ一先ツ終ルコト  
ニシテ蠶キマシテ、大臣ニ對スル保留ノ質  
問、ソレカラ只今ノ蠶絲局長ニ對スル保留  
ノ質問、ソレカラ企業院總裁ニ對スル質問、  
豆粕、魚肥ト云フモノヲ家畜ノ腹ヲ通シテ  
肥料ト爲ス、斯カスレバ硫酸ノ増産ト同ジ  
ヤウナコトニモナリ、必要ナル方面ニ電力  
ヲ増スコトニモナルノデアリマスカラ、是  
ハ一ツ企業院總裁ニ反省ヲ促シタイ、新蠶  
ニ思フノデアリマシテ、此ノ三點ニ付テ委  
員長カラ然ルベク御配慮ヲ願ヒマス  
○熊谷委員長 何レ機會ヲ見マシテ、サウ  
云フ取計ヒヲ致シマス、ソレデハ是ニテ休  
憩ヲ致シマス、午後八時半カラ開會致シ  
マス  
午後零時三十分休憩  
午後一時五十分開議  
○熊谷委員長 ソレデハ午前二引續イテ開  
會致シマス  
○森田委員 一寸議事進行ニ付テ 今日  
ハ大臣ハお見えニナルノデセウカ ナラス  
ノデセウカ  
(速記中止)  
○熊谷委員長 吉田君

○吉田委員 最近ノ需給一般ノ狀況ニ付テ先ツ御質問シタイノデスガ、若シ秘密ヲ要スル數字事項ニ互ルノデアレバ、ソレハ速記ヲ止メテ御答辯ヲ願フテ結構ト思ヒマスカラ、左様ニ御含ミヲ願ヒマス、私ハ肥料對策ノ結論ヲ得ル爲ニハ、最近ノ需要ト供給ノ實情ヲ相當明確ニスルノデナケレバナラス、例ヘバ増産對策ニシテモ、價格對策ニシテモ、配給對策、消費對策等ハ前提ノ供給情況ヲ明カニセバ立ツテ來ナイト考ヘマス、ソレデ此ノ點ハ出シニナツタ資料ニ依ツテ明確ニスル範圍モアリマスケレドモ、昭和十三年マデシカゴザイマセス、十三年後ノ肥料狀況ハ米穀ノ事情ト關係ヲ持チ、又一般物資價ノ關係ニ於キマシテ事情ノ激變ガアツタト思ヒマス、ソレデドウシテモ極ク近接シタル狀況ヲ明ニシタイト思ヒマス、就キマシテハ先ツ硫安、過燐、石灰、石灰窒素、加里鹽、豆粕、魚肥等ヲ含ミマシテ、概略デ宜シウゴザイマスカラ、十四年度ニ於ケル需給ノ狀況ヲ一ツ御説明ヲ願ヒタイト思ヒマス

○重政政府委員 硫安ニ付キマシテハ大體今秋肥トシテ制當ヲ致シテ居リマス六十六万三千四萬ト制當量ハ、完全ニ配當ヲ致シ得ル確信ヲ持ツテ居リマス、ソレカラ過燐酸ニ付キマシテモ同様デアリマス、八十八万九千餘ト制當ヲ致シテ居リマスガ、是モ配給ヲ現實ニ致シ得ル——燐礦石ノ輸入等ニ付キマシテ多少ノ困難ハアルト想像ヲサレマスケレドモ、大體ニ於キマシテ確實ニ配給ガ出來ル見込ヲ持ツテ居ルノデアリマス、石灰窒素ニ付キマシテモ七十九萬九千餘程度ノ配給制當ヲ致シテ居ルト思ヒマスガ、之ニ付テモ制當通りノ配給ハ大體ニ於テ出來ル見込デ居ルノデアリマス、大豆粕ニ付キマシテハ先日モ申上ゲタノデアリマスガ、去年ノ十月カラ今年ノ一月マデニ入りマシタ數量ハ約四十萬噸前後ニナルト思ヒマス、其ノ後二月以降六七月頃マデニ入りマス大豆粕ハ、現狀ニ於キマシテハ大體四十萬噸ト推定ヲサレレノデアリマス、大豆粕ニ付キマシテハ豆ノ出廻其ノ他ノ關係ガアリマシテ確實ニ見透スコトハ中々困難デアリマスガ、現在ノ所デハ大體サウ云フヤウニ考ヘテ居ルヤウナ次第デアリマス、魚肥ニ付キマシテハ今年ハ多少量ガ多イノデアリマス、内地ニ於テモサウデアリマス、朝鮮カラ内地ニ參リテモサウデアリマス、朝鮮カラ内地ニ參リマス魚肥ハ十萬噸程度ハ確實ニ入ルト云フ風ニ考ヘテ居ル次第デアリマス

○吉田委員 今御述ノ數字ハイツカライツマデノ制當ノ數量デゴザイマスカ  
○重政政府委員 一月カラ七月マデノモノデス  
○吉田委員 サウシマス、之ニ對應シマシテ先ツ生産計畫ノ方面デハ何程ノ生産ガ見込マレテ居ルヤウナデゴザイマセウカ  
○重政政府委員 硫安ニ付キマシテハ只今申上ゲマスヤウニ、是ダケノ制當ノ數量ハ確實ニ供給ヲ致ス確信ヲ持ツテ居ルノデアリマス、是ハ御承知ノ電力調整令ノ實施ニ依リマシテ、硫安會社及石炭窒素工場ニ對スル電力ノ供給ガ或ル程度増加ヲ致シマシタノデ、最近ニ於キマシテハ其ノ製造量ガ多少好轉ヲ致シテ參ツテ居リマスカラ、サウ云フ風ハ確實ヲ得テ居ル次第デアリマス、然ラバ果シテドレダケノ増産ガ出來ルカト云フコトニ付キマシテハ、今調査ヲ致シテ居ルノデアリマス、是ハ分リ次第適當

ノ機會ニ御説明ヲ申上ゲタイト考ヘテ居リマスガ、曩ノ推定ニナリマスモノデ、是ハ有ル角度カラ檢討致ス必要ガアリマスノデ、ソレノ係ニ於テ今檢討ヲ致シテ居ルヤウナ次第デアリマシテ、兎ニ角多少好轉ヲ致シテ居リマス、其ノ檢討ノ付キ次第或ハ増配ヲ爲シ得ルモノナラバ直チニ増配ヲ爲シタイ、斯様ニ考ヘテ居ル次第デアリマス  
○吉田委員 増産ノ問題ニ付キマシテハ別ノ觀點カラ少シ伺フコトニシタイト思ヒマス、今明ニシタイト望ミマシタノハ、此ノ制當ニ對スル生産ノ見込量ガ何程アルカ、詰リ實績ノ見込ハ別ノ方面カラ付イテ居リマスガ、制當ヲ是ダケナサツタニ對スル生産ノ見込ハ、制當量ニ限ラレテ居ルノカ、ソレ以上デアルノカ、明ニシタイト思ヒマス、ソレカラモウツハ八月カラ十二月マデノ制當ノ御説明ガ願ヘレバ尙ホ結構デアリマス、八月カラ十二月マデノ生産ノ實績、生産ノ推定量、此ノ二ツガ明カニナレバ尙ホ結構デス、御説明ヲ願ヒマス  
○重政政府委員 實ハ御承知ノヤウニ本年ハ早魃ノ爲ニ製造方面ニ於キマシテ著シイ變動ガアリマシタノデ、去年ノ八月カラ十二月マデノ製造ノ推定ト云フヤウナ——其ノ當時ノ推定ハ全然實績ト違ツテ居リマスノデ、是ハ申上ゲテモ却テ御了解ヲ難シシメルダケノコトデアラウト思フノデアリマス、去年ノ八月カラ十二月マデニ制當マシタ數量ハ、硫安ニ於キマシテ三十二萬七千七百三十六噸ト云フモノデアリマス、ソレカラ石灰窒素ハ七萬一千二百七十八噸ト制當デアリマス、ソレカラ過燐酸石灰ハ四十萬二千七百三十二噸ト制當デアリマス

量ナル鐵道貨物ガ滯留致シタヤウナ關係等ニ依リマシテ、硫安等ハ多少出荷ガ圓滑ニ受渡ガ行カナイト云フヤウナ點モアツタラウト思フノデアリマス、併シ實際ニ中央ノ中樞機關ノ方ノ調ニ依リマシテ、十二月ノモノデ出荷ノ遅レト云フヤウナモノハ、今御示シナリマシタヤウナ程度ノ大量ノモノデハナイノデアリマス、ハツキリシタ數字ハ私覺エテ居リマセスガ、儘力制當量三十二萬七千七百三十六噸ト云フ量ニ對シテ、三萬噸足ラズノモノデハナカウツカト考ヘテ居ルノデアリマシテ、殆ソド順調ニ此ノ中央機關ノ出荷スルコトハシタト云フヤウナ調ニナツテ居ルト記憶ヲ致シテ居リマス、ソレガ今申上ゲマスヤウナ鐵道ノ貨物ノ滯留或ハ雪ノ關係ニ依ツテ行カナイ、色々ナ事情ニ依リマシテ、出荷ガ遅レタト云フヤウナ——出荷ガ遅レト申スヨリ受渡ガ遅レタト云フヤウナ事情ニナツテ居ルノデハナイカト考ヘテ居ル次第デアリマス、尙ホ十二月頃ノ製造ガ非常ニ好タナカウツガ爲ニ、不渡ガ出來タノデハナイカト云フヤウナ御想像デアリマスガ、是ハ御承知ノヤウニ今年デアリマス、大體ニ於キマシテ硫安會社ノ製造シタモノハ此ノ春肥ノ間ニ漸次「ストック」ニナツテ翌年度ニ繰越サレルノデアリマス、サウシテ此ノ春肥ニ大量ノ製造數量「オーバー」シタ數量ノ出荷ガシナケレバナラヌト云フノガ、此ノ肥料ノ動キノ實態デアリマシテ、隨ヒマシテ十一月、十二月ノ製造ガ窮屈ニ——減産ヲ致シテ居リマシテモ大體ノ場合ニ於キマシテハ、此ノ出荷ニ支障ヲ生ズルト云フ程度ニ至ルニハ餘程ノ減産デナケレバナラナイト云フ風ニ考ヘテ居ルノデアリマス、勿

論十一月、十二月ニ於テ相當ノ減産ヲ來シタコトハ事實デアリマスガ、ソレハ減産即出荷ノ遅延ト云フコトデハ恐ラクナイト考ヘテ居リマス  
○吉田委員 十二月ニ五割モ減産シタト云フ想像ヲスル者ガアリマスガ、ソノナニ澤山ノ減産デハナカウツカトデスカ  
○重政政府委員 恐ラクサウ云フコトハナイト思ヒマス、儘力月産七萬噸位ハ出來テ居ルコトト思ヒマス  
○吉田委員 前年カラ持越シマシタモノガ肥料年度ノ初頭ニ何程アツタデセウカ、或ハナカウツカデセウカ、其ノ點ヲ先ツ伺ツテ置キマス  
○重政政府委員 ソレハ六萬六千七百噸ノモノハ持越シテ居リマス  
○吉田委員 何レニシテモ相當額ノ減産ガアツタヤウニ判斷ヲ致シマスガ、減産ノ原因ガ早魃ノミデハナイ、電力飢饉ノ原因、一般原料入手難ノ原因、努力不足等ガ主タル減産ノ原因デアッタノカ否ヤ、ソレカラ尙ホ製造ノ能力ハアリ、努力原料等ノ供給ハアツタケレドモ、價格ガ引合ハスノデ減産ヲシタ事情ガアルノカ否ヤ、減産ノ原因ニ付テ御詳シタイノデアリマス  
○重政政府委員 減産ノ原因ハ今御述ニナリマシタヤウニ早魃ガ主タルモノデアリマス、早魃ニ依リマシテ水力電氣ノ供給ガ極度ニ減ツタ、之ヲ補充スル爲ニ火力發電ニ依ツテ補充ヲシナケレバナラヌ、所ガ石炭ガ十分ニナイト云フコトデ此ノ供給電力ガ著シク減ツタト云フコト、及ビ早魃ニ依リマシテ工場用水ガ不足ニナツタ爲ニ、石灰法ニ依リ製造工場ニ於テモ減産ヲ餘儀ナク

セラレタト云フヤウナ事情ガ、減産ノ最モ大ナル原因デアリマス、ソレカラ値段ノ關係製造ヲシナクナツタ部分ガアリハシナイカト云フノデアリマスガ、其ノ點ハ出來ルダケ吾々トシマシテハ、精神的ニサウ云フコトノナイヤウニ努メテ參ツタノデアリマス、併シナガラ、ヤハリ是ハ各硫安工場ノ經營ガ非常ニ惡イト云フコトニナリマスノデ、卑近ノ例デアリマスガ、職工デアリマストカ、或ハ技術者ト云フヤウナ者ガ段々ニ逃ゲテ行ク、ソレヲ引止メルニハ普通ノ會社デ支給スル給料ヨリ以上ノモノヲ出シテモ、尙且ツ先行見込ナシト云フコトヲ選ゲテ行クヤウナ者ガアル、色々サウ云フ點ニ於キマシテ一般ノ經營方面ニ於ケル、或ハ技術的方面ニ於ケル能率ノ或ル程度低下セシメル危險ガアツタト云フコトハ、申上ゲルコトガ出來ルト思フノデアリマス、併シナガラ御承知ノヤウニ、硫安工業ハ餘程進歩シタモノデ、多額ノ固定資本ヲ必要トスル工業デアリマスノデ、一時的ニ經營ガ非常ニ抽イト云フコトニ依ツテ、ソレガ爲ニ直チニ製造工場ノ運轉ヲ休止スルカ何トカ云フコトハナカウツカトデアリマス  
○吉田委員 磁キ落シマシタガ、前年ノ消費ト供給ノ制當量ノ比較ハドウナツテ居リマスカ  
○重政政府委員 今材料ヲ持ツテ居リマセスノデ數字ハハツキリ分リマセスガ、大體ヲ申上ゲマス、春肥ノ方ハ前年ノ消費量ノ八割三分位カト思ヒマス、秋肥ハ大體前年ノ消費程度ノモノヲ配給致シマス、ソレカラ過燐酸石灰ハ前年ノ消費料ノ殆ド一〇〇%、秋肥及ビ春肥ヲ通ジテ大體前年度消費量程度ノモノヲ配ツテ居リマス、石灰窒

素ハ秋肥ニ付テハ大體前年同様ニ配ツテ居リマス、春肥ニ付キマシテハ前年ノ消費ニ對シテ五割二分程度ニ當ツテ居リマス、ソレカラ加里鹽ニ付キマシテハ、是ハ秋肥、春肥ヲ通ジマシテ非常ニ少量デアリマシテ、約四分ノ一乃至三分ノ一程度ニシカ當ラヌト考ヘマス  
○吉田委員 前年ノ硫安「アンモニヤ」ノ消費量ハ百七十六萬噸位ト云フ推定ハ事實デゴザイマスカ  
○重政政府委員 ソレハ内外地ヲ通ジマシテ百八十一萬噸ト云フコトニ消費量ハナツテ居リマス、内地ダケニ致シマスト百十萬噸餘リニナラウト思ヒマス  
○吉田委員 政務次官ニ御尋致シマス、政府ハ一方デ米麥其ノ他農産物ノ増産計畫ガゴザイマスガ、之ニ對シテ硫安ガ前年ノ消費量ノ八割、加里鹽ニ至ツテハ四分ノ一、斯ウ云フコトニナリマス、増産計畫ト云フモノハ、其ノ方カラ崩レテシマフ、斯ウ云フコトニナツテ、農林省ノ主管事項デアリ肥料生産ノ方針ト、増産計畫ノ方針ガ一致シナイコトニナルト思フノデスガ、如何デスカ  
○岡田政府委員 御尋ノ次第八一應如何ニモ御尤モデアリマシテ、米ノ委員會ニ於キマシテモ、屢ニ同ジヤウナ問題ガ論議サレタマシテ、尙モ同ジヤウナ問題ガ論議ナシテハアリマセスガ、併シ何ヲ申シマシテモ今日ノ時節柄デアリマシテ、遺憾ナガラ肥料ノコトガ十分ニ届キ難ネル、然ラバドウスルカト云フコトニナリマス、申上ゲタ通り一ツニハ自給肥料其ノ他極力代用肥料ノ配給ニ依リマシテ、其ノ不足ヲ補フト云フコトガ一ツノ手段デアラウト



思ヒマス、又併せて農林省トシマシテハ、他面品種ノ改良アルトカ、其ノ外病害蟲ノ驅除アルトカ、豫テ申上ゲマシタ通り、各種ノ手段方策ニ俟チマシテ、言ハバ人爲ノ力ニ依リマシテ肥料ノ不足ヲ補フツテ、尙且ツ目的トスル相當ノ増産ヲ達成セバナラス、斯様ナ方策ヲ以テ臨ンデ居ルノデアリマシテ、其ノ間一面矛盾ノ感ガナイデハアリマセウガ、努力ヲ以テ之ヲ補フト云フ諸般ノ方策ニ出ル次第デアリマスコトハ、御承知トシテ思ヒマス。

○吉田委員 既ニ相當ノ減産ヲシテ事實ハ明カデアリマス、其ノ減産ニ對シテ今御答辯ニナリマシタヤウニ、諸般ノ御努力ヲスルコトハ御尤モナコトデアリマスガ、自給肥料ニ致シマシテモ、努力ノ缺乏、其ノ他家畜等ノナクテナツテ居ル事實等、色々ノ原因カラ十分ニ生産ガ出来ナイト云フコトハ常識ニナツテ居リマス、加之化學肥料、特ニ硫酸ニ付テ相當ノ減産ヲシテ居リマス、此ノ減産ノ原因ハ今對策部長カラ御述ニナツタ所デ明カデアリマスガ、今後ノ生産ニ依ツテ過去ノ缺陷ヲ補フダケノ生産ガ出来ルコト否ヤ、成程割當量ダケハ何トカ配給ガ出来ルヤウニスル自信ガアルト仰シヤウテ居リマスケレドモ、私ハ其ノ方面カラ自信、決心ヲ承ハルノデハナクシテ、物理的ニ、具體的ニ生産ガ過去ノ減算カラ回復スルコトノ可能ナルヤ否ヤ、之ニ付テ御答ヲ願ヒタイ。

○重政政府委員 本年ノ七月マデニ、即チ此ノ存肥ニ關シテハ減産ヲ取返スコトガ可能ナルカドウカト云フコトニ付テハ、電力ノ供給ヲ潤澤ニ致シ、石炭ノ供給ヲ潤澤ニ致シテ「フル」ニ工場ヲ運轉セシメ

テモ、二月ノ十日頃カラ電力消費調整令ガ實施ニナツタ關係上、是ハ困難ナコトデア

○吉田委員 サウシマスト、ヤハリ春肥ノ供給、又ソレカラ後ノ見込ニ付テハ相當心配スベキ實情ニアルト判斷スルノデアリマ

○吉田委員 然ラバ大體ドレ程ノ増産ヲ爲スコトガ理想ト云フヨリモ、具體的ニドレ程ノ増産ヲ爲スコトガ諸般ノ事情カラ考ヘテ適當ナ増産目標ダト云フコトニナルノデ

テモ、二月ノ十日頃カラ電力消費調整令ガ實施ニナツタ關係上、是ハ困難ナコトデア

○吉田委員 サウシマスト、ヤハリ春肥ノ供給、又ソレカラ後ノ見込ニ付テハ相當心配スベキ實情ニアルト判斷スルノデアリマ

○吉田委員 然ラバ大體ドレ程ノ増産ヲ爲スコトガ理想ト云フヨリモ、具體的ニドレ程ノ増産ヲ爲スコトガ諸般ノ事情カラ考ヘテ適當ナ増産目標ダト云フコトニナルノデ

アリマセウカ

○重政政府委員 是ハ色々ノ見方ガアルト思フノデアリマスガ、吾々ハ専ラ硫酸ノ需要ノ方面カラ見テ、一應ノ増産計畫、生産擴充ノ計畫ヲ立テル必要ガアル、更ニ又硫酸ガ東洋及太平洋沿岸ニ於テ優秀ナル海外ノ市場ヲ持ツテ居ルコトヲヤウナコトカ

○吉田委員 只今五十萬噸ト云ハレマシタ

○重政政府委員 他ノ肥料ニ付テノ増産計畫ハドウナツテ居リマスカ

○重政政府委員 過磷酸石灰ハ製造設備ハ現在需要數量ヲ「オーバー」シテ居ルヤウナ

○吉田委員 是ハ専ラ電力ノ關係ニ俟ツテ居ル

○重政政府委員 自給肥料ノ増産獎勵ト云フコトハ、通常ノ場合ニ於キマシテモ中々色々ノ事情ヲ困難ガアルノデアリマスガ、殊ニ此ノ戰時下ニ於キマシテ、農村ノ努力

不足及ビ畜力ノ減少ト云フヤウナコトカラ致シマシテ、必ズシモ此ノ自給肥料ノ増産ト云フコトハ易シイ仕事デハナイノハ今御述ニナリマシタ通りデアリマス、併シナガ

○吉田委員 ソレデハ御答ヲ申上ゲテ置キマス

○熊谷委員 吉田君、一寸御話しシマスガ、電氣廳ノ長官ガ見エテ居リマスガ、若シ其ノ方ガ先ニシテ戴ケルヤウナラ...

○吉田委員 ソレデハ御多忙ノ中デアリマ

○熊谷委員 日發ニ對スル損失補填ガ考慮

キマシテハ、特ニ政策料金トシテ安クシテ、全體トシテ「コスト」ハ變ラナイガ、一面ニ於テハサウ云フモノニ安クシ、一面ニ於テハ高イモノモ幾分アルト云フ風ニシテ、肥料ノ増産等ヲ獎勵シヨウト云フヤウナコトヲ言ツタノデアリマス、所ガ御承知ノ通り、早賦トカ、石炭不足トカ、或ハ炭質低下等ノ理由ニ依リマシテ、電氣ガ不足シテ來テ全然思ヒモ寄ラズ結果ニナツタノデアリマス、併テ斯様ナ事態ニナリマス、御承知ノ通り肥料ニ對シテハ所謂特殊電力デアリマシテ、電氣ガ餘ツタ場合ニナルト云フ契約ニナツテ居リマス、隨テ料金モ七八分位安クナツテ居リマス、電氣ガ足ラナクナツテ居ルカラ、ソチラハ電氣ガ送レナイ、併シ一面ニ於テハ肥料ノ増産ト云フコトハ國策トシテドコマデモヤツテ行カナケレバナラス、而モ契約上電氣ガ行カスト云フコトハ甚ダ遺憾ナルノデアリマス、農林省御當局ト協議シマシテ、假令湯水期デ電氣ガ足ラヌ場合デアツテモ、相當ノ電氣ヲ確保スル必要ガアルト認メマシテ、現實ノ問題トシテハ、今日デモ相當電氣「フル」

○吉田委員 日發ニ對スル損失補填ガ考慮

不足及ビ畜力ノ減少ト云フヤウナコトカラ致シマシテ、必ズシモ此ノ自給肥料ノ増産ト云フコトハ易シイ仕事デハナイノハ今御述ニナリマシタ通りデアリマス、併シナガ

○吉田委員 ソレデハ御答ヲ申上ゲテ置キマス

○熊谷委員 吉田君、一寸御話しシマスガ、電氣廳ノ長官ガ見エテ居リマスガ、若シ其ノ方ガ先ニシテ戴ケルヤウナラ...

○吉田委員 ソレデハ御多忙ノ中デアリマ

○熊谷委員 日發ニ對スル損失補填ガ考慮

キマシテハ、特ニ政策料金トシテ安クシテ、全體トシテ「コスト」ハ變ラナイガ、一面ニ於テハサウ云フモノニ安クシ、一面ニ於テハ高イモノモ幾分アルト云フ風ニシテ、肥料ノ増産等ヲ獎勵シヨウト云フヤウナコトヲ言ツタノデアリマス、所ガ御承知ノ通り、早賦トカ、石炭不足トカ、或ハ炭質低下等ノ理由ニ依リマシテ、電氣ガ不足シテ來テ全然思ヒモ寄ラズ結果ニナツタノデアリマス、併テ斯様ナ事態ニナリマス、御承知ノ通り肥料ニ對シテハ所謂特殊電力デアリマシテ、電氣ガ餘ツタ場合ニナルト云フ契約ニナツテ居リマス、隨テ料金モ七八分位安クナツテ居リマス、電氣ガ足ラナクナツテ居ルカラ、ソチラハ電氣ガ送レナイ、併シ一面ニ於テハ肥料ノ増産ト云フコトハ國策トシテドコマデモヤツテ行カナケレバナラス、而モ契約上電氣ガ行カスト云フコトハ甚ダ遺憾ナルノデアリマス、農林省御當局ト協議シマシテ、假令湯水期デ電氣ガ足ラヌ場合デアツテモ、相當ノ電氣ヲ確保スル必要ガアルト認メマシテ、現實ノ問題トシテハ、今日デモ相當電氣「フル」

○吉田委員 日發ニ對スル損失補填ガ考慮

不足及ビ畜力ノ減少ト云フヤウナコトカラ致シマシテ、必ズシモ此ノ自給肥料ノ増産ト云フコトハ易シイ仕事デハナイノハ今御述ニナリマシタ通りデアリマス、併シナガ

○吉田委員 ソレデハ御答ヲ申上ゲテ置キマス

○熊谷委員 吉田君、一寸御話しシマスガ、電氣廳ノ長官ガ見エテ居リマスガ、若シ其ノ方ガ先ニシテ戴ケルヤウナラ...

○吉田委員 ソレデハ御多忙ノ中デアリマ

○熊谷委員 日發ニ對スル損失補填ガ考慮

キマシテハ、特ニ政策料金トシテ安クシテ、全體トシテ「コスト」ハ變ラナイガ、一面ニ於テハサウ云フモノニ安クシ、一面ニ於テハ高イモノモ幾分アルト云フ風ニシテ、肥料ノ増産等ヲ獎勵シヨウト云フヤウナコトヲ言ツタノデアリマス、所ガ御承知ノ通り、早賦トカ、石炭不足トカ、或ハ炭質低下等ノ理由ニ依リマシテ、電氣ガ不足シテ來テ全然思ヒモ寄ラズ結果ニナツタノデアリマス、併テ斯様ナ事態ニナリマス、御承知ノ通り肥料ニ對シテハ所謂特殊電力デアリマシテ、電氣ガ餘ツタ場合ニナルト云フ契約ニナツテ居リマス、隨テ料金モ七八分位安クナツテ居リマス、電氣ガ足ラナクナツテ居ルカラ、ソチラハ電氣ガ送レナイ、併シ一面ニ於テハ肥料ノ増産ト云フコトハ國策トシテドコマデモヤツテ行カナケレバナラス、而モ契約上電氣ガ行カスト云フコトハ甚ダ遺憾ナルノデアリマス、農林省御當局ト協議シマシテ、假令湯水期デ電氣ガ足ラヌ場合デアツテモ、相當ノ電氣ヲ確保スル必要ガアルト認メマシテ、現實ノ問題トシテハ、今日デモ相當電氣「フル」

○吉田委員 日發ニ對スル損失補填ガ考慮

アリマス。○平井出政府委員 其ノ通りデアリマス、唯御承知ト思ヒマスガ、四分マデノ配當ノ保證ニナツテ居リマス。

○吉田委員 日發ノ損失補填ト、ソレカラ電力ヲ生産「コスト」ノ内容ト致シマシテ、又肥料會社ニ對スル損失補填、斯ウ云フ風ニ二途ニ出テ居ルヤウニ思フノデアリマスガ、一體此ノ補填スルカ補償スルカ云フ政策ハ、下デアリマシテ、本當申シマス、サウ云フコトハ洵ニ例外ニ屬スベキ筈デアリマスノデ、サウ云フモノハ成ルベク種類ヲ少クシテ、種類ヲ少クスルコト云フコトハ、總テ根本ノ政策ノ實行ヲ調整シテ行ク所以デアラウト考ヘルノデアリマスガ、肥料會社ニモ製造ニ補填ガアリ、電力會社ニモ補填ガアルト云フ風ナニ本建見タヤウナ行キ方デナシニ、調整シテ合理化スル途ハナイノデアリマセウカ。

○平井出政府委員 サウ云フ風ナトモ御尤モノヤウニモ伺ハレマスガ、今日ニ於テハ全體ノ政府ノ政策ヲ何處ヘ持つテ行クカト云フコトニマデ決マツテ居ナイモノデスカラ、殊ニ一面假ニ總テノ補助政策ト云フヤウナモノヲ整理シマシテ、電力ヲ安クシテ發送會社ニ補給金ヲ十分ニ出スト云フコトニナレバ、又御話ノ通り是モ一ツノ御尤モノ考デアリマスガ、先程モ申上ゲマシタ通り、發送會社ノ補給金ハ、今日デハ是ハ變ヘルコトガ出來ル問題デアリマスガ、四分シカ保證シテ居ナイ、隨テ總テノ電氣料金ヲ安クシテモ他ノ方ノ補助ヲ止メテ發送電ヲ集中スルト云フコトニナリマスト、發送電ノ出資者、株主ニ對シテモ、永久ニ四分ト云フヤウナコトデハ無論イカス

ノデアリマスカラ、其ノ邊ニ考ヘ直サナケレバナラス事情モアル譯デアリマシテ、今ノ所ハ先程申上ゲマシタ通り原價デ賣ルト云フ程度ニシカナツテ居リマセウ。

○吉田委員 實ハ低物價政策ノ根本原則ノ問題ト、増産ノ關聯ト、ソレカラ増産政策、補償金制度ト云フモノノ統一ノ關聯致シマシテ、今御尋致シタヤウナ譯デアリマスノデ、一方日發方損シタカラ之ニ對シテ補償ヲシテヤラウ、製造會社ガ損シテ居ルカラ又之ニ補償ヲシテヤラウト云フノデアアルガ、其ノ内容ヲ吟味シテ見ルト、電力ノ値段ノコトモ關聯ヲ持つテ居ルヤウデアリマシラガ、何トカ斯ウ云フコトニ付テハ、農林當局、逓信當局ノ間ニ、モウ少シ協議ヲ遂ゲテ進んで行カレル途ハナイモノカト思フノデアリマスガ、是ハ議論ニナリマスカラ止メテ置キマス、農林政務次官ニ御尋致シマス、肥料ノ價格政策ノ問題、是ハ商工當局ニ御尋スルノガ本筋デアアルノデアリマスガ、何レモ關聯ヲ持つテ居リマスカラ御尋シテ置キマス、肥料ノ價值ガ、此ノ間モ大豆箱ノ公定價格ニ依ツテ若干値上ガ示サレテ居リマスシ、又事實成行キデ、間ノ有價物價ノ取引ガアルノデ、將來ノ低物價政策ノ標本ヲ肥料ニ置タト云フコトガ、肥料ノ増産計畫ト相違ンデ米穀對策、食糧政策トモ關聯ヲ持チ、非常ニ重大ナル點デアルト考ヘルノデアリマス、低物價ヲ堅持スルト云フヨリモ、更ニ進んで價值ヲ下ゲルト云フ方向ヘ増産ト共ニ進メテ行クコトハ出來ナイモノデアリマセウカ、御意見ヲ伺ヒタイト思ヒマス。

○岡田政府委員 考ヘ方ト致シマシテハ洵ニ其ノ通りデアリマシテ、出來マスモノナラバ、價值ヲ低物價政策ノ線ニ沿ツテ維持スルト云フヨリモ、一步進メテ之ヲ低下スルト云フ所マデ行カネバナラスト云フコトハ、全ク御考通りダラウト思ヒマス、肥料デアリマストカ、石炭デアリマストカ、米デアリマストカハ、或ル意味ニ於テ基本資材ト申シマセウカ、或ハ國民ノ生活安定上有用缺クベカラザル基本需要ノ品物デアリマスルカラ、斯様ナモノニ對シテハ、全ク左様ニ致シタイノデアリマス、デアリマシレバ、例ヘバ石炭ノ如キモ、昨年ノ秋ニハ折角是ノ引下ノ政策マデ執ツタ譯デアリマスガ、實際ニ於テ向ホサウ云フ政策ガ諸物價ノ情勢ニ對照致シマシテ、是ガ許サレナイト云フ關係カラ、此ノ上トモ低下スルト云フヤウナ理想ニ離ルコトハ、實際ニ於テ出來得ナイ情勢デアリマシカト思ヒマス、デアリマスルカラ、其ノ事ハ常ニ念頭ニ置イテ考フベキコトデアリマスガ、現實ノ情勢如何ト云フコトニナリマスルト、言フベクシテ行ヘナイ、極メテ困難ナル、隨テセメテ之ヲ低物價政策ノ中軸ト致シマシテ、引上ゲルヤウナコトノナイヤウニト云フコトヲ堅持スル方ガ、現實ノ問題トシテハ、極メテ實際ニ重大ナル問題デアリマシト云フガ如ク大體考ヘテ居ル次第デアリマシ。

○岡田政府委員 考ヘ方ト致シマシテハ洵ニ其ノ通りデアリマシテ、出來マスモノナラバ、價值ヲ低物價政策ノ線ニ沿ツテ維持スルト云フヨリモ、一步進メテ之ヲ低下スルト云フ所マデ行カネバナラスト云フコトハ、全ク御考通りダラウト思ヒマス、肥料デアリマストカ、石炭デアリマストカ、米デアリマストカハ、或ル意味ニ於テ基本資材ト申シマセウカ、或ハ國民ノ生活安定上有用缺クベカラザル基本需要ノ品物デアリマスルカラ、斯様ナモノニ對シテハ、全ク左様ニ致シタイノデアリマス、デアリマシレバ、例ヘバ石炭ノ如キモ、昨年ノ秋ニハ折角是ノ引下ノ政策マデ執ツタ譯デアリマスガ、實際ニ於テ向ホサウ云フ政策ガ諸物價ノ情勢ニ對照致シマシテ、是ガ許サレナイト云フ關係カラ、此ノ上トモ低下スルト云フヤウナ理想ニ離ルコトハ、實際ニ於テ出來得ナイ情勢デアリマシカト思ヒマス、デアリマスルカラ、其ノ事ハ常ニ念頭ニ置イテ考フベキコトデアリマスガ、現實ノ情勢如何ト云フコトニナリマスルト、言フベクシテ行ヘナイ、極メテ困難ナル、隨テセメテ之ヲ低物價政策ノ中軸ト致シマシテ、引上ゲルヤウナコトノナイヤウニト云フコトヲ堅持スル方ガ、現實ノ問題トシテハ、極メテ實際ニ重大ナル問題デアリマシト云フガ如ク大體考ヘテ居ル次第デアリマシ。

○岡田政府委員 其ノ點亦如何ニモ御尤モ申シマセウカ、或ハ配給方策ノ徹底ト申シマセウカ、何レニシマシテモ、比較的進ンダ方面ノ状態ニナツテ居ルノデアリカ、言フマデモナク肥料ノ配給ニ付キマシテハ、此ノ事變ニ直而スルト云フヨリモ、事變以前カラ風ニ致シ著眼セラレテ居リマシテ、早クヨリ肥料業新制度アルトカ、或ハ肥料配給統制デアルトカ、斯様ナ諸政策ガ行ハレマシテ、著トシテ進行シテ來テ居リマシラガ爲ニ、今日ニ於キマシテハ、何レカト云フト非常ニ進ンダ行キ方デアアルト申シテモ宜イノデアリマシカト思ヒマス、但シ決シテ今日ノ狀況ガ満足ナモノデアリマセウカ、一段ノ整備ヲ考ヘ、一段ノ徹底ヲ圖ラナケレバナラスコトハ亦言フマデモナイコトデアリマス、大體今日ノ肥料ノ配給ノ實相ハ、産業組合或ハ又商業組合兩建トデモ申スベキヤウニ意味合ニ於テ、是ガ消費者ノ手ニ流レテ行クヤウナ状態デアリマシテ、或者ハモウ一步進メテ、之ニ對シテ一元化ノ主張ヲ爲シ、或ハ産業組合一本建ガ宜イデアリマシカトカ、様々ナ主張ガナイデハアリマセウカ、何レモソレ等ノ主張ニハ理由ノアルコトデアリ、傾聴スベキ意見デアアルノデアリマスガ、併シ斯様ナ經濟機構ノ問題ハ、ヤハリ社會全體トシテノ調和ヲ得ナケレバナリマセウカ、必ズシモ理想ニミ趣ツテ直チニ之ヲ一元化徹底ト

云フ譯ニハ參ラナイノデアリマス、併シ實際ノ情勢ハ段々是方進ミ、行キマシテ、少クトモ無用ノ中間段階ト云フモノガ漸次整理サレトカ、或ハ更ニ配給機構ニ付テモ、一層ノ整備完成ヲ致シタイト云フ考デアリマシテ、此ノ點ニ付キマシテハ決シテ怠ラズ、一般情勢ノ進歩ニ從ヒマシテ、一層ノ整備ヲドウシテモ圖ラナケレバナラスト云フ考デアリマシテ、大體今日ノ情勢トシテ理想ノ域ニ進マセナケレバナラス、斯様ナ考ヘ方ヲ持つテ居ル次第デアリマス。

○吉田委員 尙ホ伺ツテ置キマスガ、肥料價格ハヤハリ近頃流行スル適正價格トカ云フサウ云フ觀念デ、マダ公定サレテ居ラヌモノハ公定サレテ行クコトニナルノデアリマセウカ、然ラバ其ノ適正價格トハ何ゾヤト云フコトニモナルノデアリマスガ、一般ニハヤハリ物價騰貴ノ趨勢ニ押サレテ、更ニ公定サレル肥料ノ公定價格ガ相當高クナルデアラウト專ラ推定シテ居ルヤウデアリマスガ、如何デゴザイマセウカ。

○岡田政府委員 御尋ノ點ハ、適正價格ト云フモノノ意味ノ解釋ニ依ツテ或ハ違フカモ知レマセウカ、概略申シテ見マスレバ、肥料ノ中デモ硫酸ノ如キハ、其ノ沿革ニ付テ考ヘテ見マシテモ、世ニ所謂公定價格ト云フヤウナ經濟政策ニ則ツテ生レタモノデアリマセウカ、逸早く是方國民ノ必需品デアアル食糧ノ基本資材デアアルト云フヤウナ見地カラ、先以テ此ノ價格ヲ上ゲナイト云フ低物價政策ニ順應致シテ定メテラタモノデアリマシカト思ヒマス、デアリマスカラ、生産費ヲ基準トシテ適正ト云フヤウナ問題ニ依ラズシテ、何處マデモ一般物價ノ暴騰、

昂騰ヲ來サシメナイト云フヤウナ考ヘ方カラシテ抑ヘテシマツタ價值デアリマスノデ、今日はガ結局ドウシテモ生産費ニ償ハナイト云フヤウナ情勢ガ現ハレテ來ルニ際シマシテハ、御承知ノヤウニ補償ノ制度ヲ以テ生産費ヲ償ツテヤル、斯ノ如クシテマデ尙且ツ元來ノ價格ヲ維持シヨウト云フノデアリマスカラ、或ル意味ニ於テ是ガ適正價格ト云フモノヲ離レテ、モウ一步進メテ低物價ノ價格ヲ決定セラレテ居ルモノデアリマシカト解釋シテ居ル譯デアリマス、但シ其ノ他ノ有價物價ノ如キハ左様ナ譯ニハ參リマセウカ、大豆箱ニシテモ、或ハ魚箱類ニシテモ、一般ノ生産者ノ手ニ依ツテ是方段々生産セラレテ居リマスノデ、是等ハドウシテモ生産費ト云フモノヲ特ニ見ザルヲ得マセウカ、其ノ生産費ナルモノハ一般ノ經濟情勢乃至低物價情勢ニ依ツテ是方非常ナ増減高低セラレルモノデアリマスノデ、最近ニ至ツテ是ガ一種ノ公定價格ガ決定シタノデアリマスガ、之ニ付テハ或ル程度マデ或ハ適正價格ト云フヤウナ見地ニ於テ之ヲ考ヘザルヲ得ナイ、斯ウ云フコトニモナツテ來ルノデアリマシカト思ヒマス、是ハ申上ゲタ通り適正價格ト云フモノノ解釋ニモ依リマスガ、私ノ説明ガ當ルヤ否ヤ疑問デアリマシカ、大體左様ナ情勢ニ置カレテ居ルノデアリマス。

○吉田委員 政府ハ魚肥ニ付テ價格ヲ公定スル意思ハゴザイマセウカ。

○重政政府委員 サウ云フ考ヲ以テ今調査ヲ進メテ居リマス。

○吉田委員 所ニ依リマス非常ニ珍重ガリ、調査ガツテ居ルノデアリマスガ、サウ云フ方針デアアルナラバ、速ニ決メル方ガ宜クハナイカト思フノデアリマスガ、具體化ハ近イノデゴザイマセウカ。

○重政政府委員 成ルベク速ニヤリタイト思ツテ、今ソレノ關係方面ト協議ヲ致シツツアルヤウナ次第デアリマス。

○吉田委員 昨年ノ八月以降産業組合、商人團體ノ配給ノ實績ノ比較率、割合ト云フノハ大體ドウ云フコトニナツテ居リマスカ、細カク數字ハ宜シイガ……

○重政政府委員 昭和十四年八月乃至十二月、昨年ノ秋肥ニ於テハ産業組合系統ガ五〇%、商人系統ガ五〇%ト、平均シテ大體半々ノ取扱ニナツテ居リマス。

○吉田委員 其ノ取扱ニ對スル實績ノ比較ハドウ云フヤウニナルノデアリマセウカ。

○重政政府委員 是ハ大體ニ於テ恐ラク是デ實行シテ居ツタコト考ヘテ居リマスガ、地方ノ事情ニ依ツテハ或ハ多少増減ガアツタカト思ハレル所デアリマスガ、其ノ實績ニ付テハマダ報告ヲ受ケテ居リマセウカ。

○吉田委員 既ニ八月經過スルノデアリマスガ、ソレモ尙ホ多少シモ報告ガナクテ實績ガ分ラナイト云フコトハ、監督ノ立場ニアル政府トシテハ如何カト考ヘマス、此ノ實績ノ情勢如何ニ依リマシテハ、將來ノ對策ノ上ニソレノ考慮シマシテ、配給機構ノ完成ヲ期セネバナラスト思フノデアリマスガ、如何デアリマセウカ。

○重政政府委員 十二月デアリマスカラ、切メノ八月カラ見レバ御示ノヤウナコトニナリマスガ、必ズシモ怠慢ト御叱リヨラヌル程ノコトモナイノチヤナイカト考ヘマス、此ノ取扱區分ノ通りニヤツタカヤラナイカト云フコトガ、將來ノ配給ノ問題ニ實ハ大ナル關係ヲ持つコトハ私ハ餘リ期待ヲ致シ

テ居ラナイノデアリマス、要點ハ屢申述ベマス通り、此ノ比率ガドウアラウトモ、現實ニ取扱ツテ居ルモノガ農家ノ手ニ現實ニ必要ナ時期ニ、必要ナ場所ニ於テ必要ナ數量ヲ渡シ得ルヤ否ヤ、斯ウ云フコトガ一番根本ノ問題デアアルト思フノデアリマス、假ニ取扱フ量ハ非常ニ少クテモ、是ガ適正ニ圓滑ニ迅速ニ、今申シマシタ目的ヲ遂行スルコトガ出來ナイナラバ是ハ非常ニ考ヘナケレバナラナイ、斯ウ云フコトニナツテ參ルノデアリマス、又其ノ反對ニ多量ニ扱ツテ居リマシテモ、其ノ目的ヲ完全ニ遂行スルモノニ付テハ、是ハ又別ナ意味ニ於テ考慮スル、斯ウ云フヤウニナラウト思フノデアリマス。

○吉田委員 此ノ御尋ヲスル勸誘ハ、勿論農家ノ立場ニ於テ政府ノ思ツテ居ラレルヤウナ實績ガ舉ツテ居ラヌ非常ニ不幸ナ事實ヲ多ク見ル爲ニ尋ネタノデアリマス、澤山ナ例モアリマスガ、今朝私ノ所ニ參リマシタ手紙ガアリマスノデ、此ノ事實ヲ御披露シマシテ配給實績ノ問題ガ如何ニ重大デアアルカト云フコトノ參考ニ供シテ置キマス、是ハ兵庫縣ノ多可郡黒田庄ト云フ村デアリマス、此ノ村農會ノ報告ニ依リマス、割當量ガ硫酸「アムモニヤ」ガ二万五千六百五十貫、石灰窒素ガ千九百二貫、過磷酸石灰ガ二万三千四百七十貫、加里鹽ガ九百四十貫、是ハ一月カラ七月マデノ分デアリマスガ、之ニ對シマシテ幾ラ割當ガ實施サレタカト云フト、硫酸二千五百貫ダデアリマス、ソレ以外何モ來テ居ナイ、サウ云フ事實ガゴザイマス、ソレカラ地方ニ依リマスト商人ガ肥料ヲ抱キマシテ出サスト云フヤウナコトヲ屢、農家カラ聞クノデアリマス、

魚肥ノ如キモ朝アルト云フテ夕方ニ行ケバ  
ナイト言フ、夕方ニナイト言フテ翌朝  
ルト云フナウナ、チウ云フ不義ナ事  
モ随分アルノデアリマス、サレバトテ私  
ハ商人團體ヲ排斥スルト云フ意味デハ毫  
モナイノデアリマスガ、此ノ機構ト實績  
ノ如何ハ直接農家ニ大キナ影響ヲ與ヘテ居  
リマスノデアリマス、御所見ハ如何  
ヤウナ事實ガゴザイマスガ、御所見ハ如  
何デアリマセウ

○重政政府委員 地方ニ依リマシテ其ノ配  
給受渡關係ガウマク行カナイト云フヤウナ  
事實アリマス、先達モ過燐酸石灰ニ付テ著  
シイチウ云フ事例ガアリマシタノデ、各地  
方長官ニ注意ヲ促シタヤウナ次第デアリマ  
ス、唯今御所見ニナリマシタ其ノ材料ハ、  
一月カラ七月マデノ總量ダケガソコニ載ッ  
テ居リマスガ、ソレガ限月別ニドウ云フ風  
ニナツテ居ルカト云フコトガ實ハ問題デア  
ルノデアリマス、總量ノ割當ノ受渡ハ何月  
ニヤルト云フコトガ其ノ材料デ御分リニナ  
レバ、モウ少シ其ノ點ハハツキ致スト思  
フノデアリマスガ、兎ニ角此ノ受渡問題ノ  
重大デアルコトハ、今御述ニナリマシタ通  
リニ私モサウ考ヘテ居ル次第デアリマス、  
此ノ點ニ付キマシテハ一層注意ヲ致シマシ  
テ、各機關ヲ總動員致シマシテ、施肥ニ支  
障ノナイヤウニ受渡ヲシナケレバナラス、  
新注ニ考ヘテ居リマス

○吉田委員 詳シイ限月ノ配給實績ト云フ  
コトヲ仰シツテ居ラレタト思ヒマスガ、  
石灰燐素モ過燐酸石灰モ加里鹽モ、一月カ  
ラ之ヲ受ケルコトニナツテ居ラタノデアリ  
マス、ソレガチツトモ來テ居ラタト云フノ  
デアリマス、デアリマスカラサウ云フ細カ  
イ問題ヨリモ、農家ガ斯ウ云フコトノ爲ニ  
非常ニ困ラテ居ルコト云フ事實ニ對シテ一ツ  
注意ヲ喚起シタノデアリマス、ソコデ斯  
ウ云フ風ナコトガ到ル處ニアルトシマス、  
是ハ一體何處ノ責任ニナルノデアリマス、  
農林省ノ責任デアルカ、地方府縣廳ノ責任  
デアルカ、産業組合乃至ハ商人團體等、サ  
ウ云フ所ニ具體的ナ責任ガアルノデアリマ  
セウカ、責任ノ關係ニ付テハドウ云フ風ニ  
思料ナサツテ居ルデセウカ

○重政政府委員 責任ハ勿論農林省ニモア  
ル譯デアリマス、勿論地方長官ニモ其ノ責  
任ハアリマス、ソレヲ受渡スル中樞機關  
ニモアレバ、商人團體ニ於テモ各、幾分ノ  
責任ハ皆分擔ヲ致サナケレバナラスノデア  
リマスガ、要點ハ今責任ガ有ルカ無イト  
カ言ウテ見タ所デ、是デ物ハ片付カスト考  
ヘテ居ルノデアリマス、官民一體トナツテ、  
此ノ際受渡ノ重要デアルコトヲ十分ニ認識  
致シテ、各、其ノ部署ニ從ツテ全力ヲ擧ゲ  
テ肥料ノ配給ヲ致スト云フ積リニナラナケ  
レバ、農林省ガ獨リ頑強ツテ見テモ、私ハ  
到底此ノ受渡ノ完全ナル遂行ハ出來ナイト  
考ヘテ居ル者デアリマス、隨テ互ニ聯繫致  
シマシテ、ソレ等ノ機關ガ各、同一ノ目的ニ  
向ツテ十二分ニ努力ヲ致シテ初メテ其ノ受  
渡ガ完全ニ遂行出來ルノデアリマス、然ル  
ニ其ノ途中ニ於テ受渡ノ非常ニ遲延ヲ來シ  
テ、農家ノ施肥ニ非常ニ支障ヲ生ゼシムル  
ヤウナ事態ヲ發生セシメタト云フヤウナモ  
ノガ中間ニアルト致シマスナラバ、サウ云  
フモノニ對シテ斷乎トシテ適切ナル機體ノ  
措置ヲ執ラナケレバナラスト考ヘテ居ル次  
第デアリマス

○吉田委員 ソレカラ配給ノ問題ニ付テハ  
昨年ノ關西ノ旱害地ニ對シテ特別ノ考慮ヲ  
シテ置タ必要ガアルコトヲ私ハ本會議ノ處  
上デモ申上テ置イタノデアリマスガ、大  
體左様ナ線ニ沿フテ當局ハ配給ノ措置ヲ講  
ゼラレテ居ルト思ヒマスガ、御所見トイ  
ハ、旱害地ニ對シテ何カ特別ノ御慮置ヲ執  
ツテ居ラレコトガアルデセウカ

ルヤウデアリマスガ、特ニ旱害地ニ對シマ  
シテ、普通ノ預金部ノソレデナシニ、産業  
組合ノ貯金ヲ持ツテ來ルコトヲ此ノ際具體  
的ニ考慮セラルベキデアリデアアラウカト  
考ヘテ居ルノデアリマス、尤モ是ハ旱害地  
ノ村ニ於ケル復興其ノ他ノ永久對策等ト見  
ミ合セマシテ、此ノ貯金ハ使用スベキデナ  
イカト思ツテ居ルノデアリマスガ、之ニ對  
スル御意見ヲ承リタイ

○岡田政府委員 御話ノ趣ハ一般ノ産業組  
合ノ貯金ノ増加ニ付キマシテ、之ヲ最モ經  
濟的ニ蓄積シテ居リマス旱害地方ニ對シ  
タラドウデアラウト云フ意味デアルト存ジ  
マス、サウデアラウトシマスレバ、如何ニモ  
御尤モナ次第デアリマスガ、組合ノ事業ハ御  
承知ノ如ク一應餘利貯金ニ付キマシテハ中  
央ニ段々集ツテ居ルヤウナ次第、又旱害  
地方デ必要デアリマスレバ、産業組合ヲ通  
ジテ借入ヲ受ケルコト云フヤウナコトニナ  
ラウト思ヒマス、ソレデ必要ナ借入資金  
デアリマスレバ、適當ニ其ノ途ハ開カレル  
ノデアリナイカト思ツテ居リマスガ、ソレト  
モ別ノ意味ノ御慮デアリマセウカ、其ノ邊  
ハツキリ致シマスガ、一應ノ御答ヲ致シ  
マシテ、更ニ必要ガアレバ御尋ねヒマス

○吉田委員 旱害地ノ實情ニ付テハ、地方  
當局モ治安其ノ他ノコトヲ考慮シマシテ、  
餘リ新聞等ハ實情ヲ報道スルコトヲ好マナ  
カツタ事實ガアルノデアリマス、ソレデ、  
經濟的打撃ガドクニ深刻デアルト云フ實  
例ガ餘リ知ラレテ居ラスノデアリマス、所  
ガ事實ハ小作農デ收穫無クヤウナ農家ニ  
於キマシテハ、負債ガ殖エ、負債ニ依ツテ  
漸ク越年シタト云フ實例ガ随分アルノデ  
ザイマシテ、ソレガ爲ニ村ヲ棄テテ都會ニ

走ツテ行クト云フ實例スラ出テ居リマス、  
ソコデサウ云フ状態ニ於キマシテ、次ノ肥  
料準備ノ爲メ信用組合ニ金ヲ借りニ行ク  
ガ、信用組合ハ相當ノ保證ガナケレバ貸サ  
ナイト云フコトガ随分アリマス、保證ニハ  
何千圓以上ノ資産ヲ有スルコト認定サレタ三  
人以上ノ判ガ必要デ、サウ云フ所スラ實ハ  
アルノデアリマシテ、今御述ベニナリマシ  
タ信用組合ヲ通ジテ借ラレルト云フコト  
ハ、普通ノ場合デゴザイマシテ、私ハ旱害  
地ニ對スル經濟ノ力ヲ補助シテヤルト云フ  
觀點カラ、特ニ大率ナ肥料ノ準備ヲ遲ラセ  
ナイ爲ニ萬全ノ策ヲ講ジテ行クコトガ、各  
種増産計畫ノ立場カラ見マシテ最モ必要  
ダト思ヒマス、旱害地ニ對シテ二十八  
億圓モアリマスル産業組合資金ヲ何トカ還  
元シマシテ、低利デ融通スルト云フ途ヲ進  
ンデ農林省ガ特殊ナルコトガ、是方村ニ  
對シテ最モ此ノ際適切ナ方法デアリカト考  
ヘマス、サウ云フ特別ノ事情ニ對スル  
具體的ナ方策トシテ考ヘ承リタイ、斯ウ  
云フ點ニ質問ノ要旨ヲ置イテ居リマス

○岡田政府委員 御等ノ意見ハ能ク誠意致  
シマシタ、實ハ只今産業組合關係ノ經濟更生  
部長モ居リマセウ、實際ナラテ居ル巨  
額ノコトハ御答スル準備ガアリマセウガ、  
旱害地ニ對スル救済デアリマストカ、其ノ  
他ノ施設ト云フモノハ徹底ヲ缺キ得ナイモ  
ノデアリマスカラ、被害地ノ現状カラ申シマ  
スレバ甚ダ自由ナ點ガアルデアリマセウ  
ガ、一應ハ兎ニモ角ニモ應急施設ニ付キマ  
シテモ、恒久施設ニ付キマシテモ、國トシマ  
シテモ、ソレノ補助ノ手段ヲ講ジテ居ル  
次第デアリマス、併シ是等方道子ニ個人ノ  
方面ニ對シテ十分行届キ得ル十否ヤハ疑問

○重政政府委員 實ハ旱害地ニ於テ特ニ肥  
料ガ多量ニ要ルト云フヤウナ御陳情ガ色々  
アツタノデアリマスガ、是ハ今以テドウ云  
フ理由カ、私ハ明ニ分リマセウ、旱害地  
ニ於テ植付ヲシナイト云フヤウナ場合ニ於  
テハ、少クトモ施肥ヲシタモノガ土壤中ニ  
殘ツテ居ルカ、或ハ又作付スベキモノハ肥  
料ノ製當ヲ受ケタガ、作付ヲモズニ其ノ肥  
料ヲ持テテ居ルコト云フヤウナ場合ニ於テハ  
其ノ肥料ヲ春ニ於テハ餘計ニ使フコトガ出  
來ルト云フヤウナ、色々反對ノヤウナコト  
モ考ヘラレルトデアリマシテ、其ノ邊ハド  
ウモ十分ニ理解ガ出來ナイノデアリマス、  
併シ斯ウモ致サナケレバナラスト思ツテ居  
リマス、旱害地ノ爲ニ統制肥料外ノ  
モノニ付テテ手當ヲ非常ニ旱害地方ノ人々  
ハ後ラシテ居ル、其ノ爲ニ旱害地方ノ人々  
有價買肥料等ニ付テテ人手ガ非常ニ後レ  
テ居ル、旱害ノ爲ニ春肥ノ手當ガ例年ヨリ  
モ非常ニ後レテ居ルコト云フ關係カラ致シマ  
シテ、有價買肥料ノ配給等ニ付テハ、チウ  
云フ意味合ニ於テ旱害地方ノ府縣ニ付テハ  
特別ノ考慮ヲ施サシムルノデアリナイカト  
云フ風ヲ考ヘ方ヲ持ツテ居ルノデアリマス

○吉田委員 只今御說明デ、其ノ前段ノ  
旱害地ハ肥料ヲ少ク使ツタリ、餘シタリシ  
テ居ルト想像ノ出來ル點カラ、多量ニ要ル  
レバソレニ近イカトモ存ジマスケレドモ、  
其ノ前提ガ實ハ能ク分ラズノデ……

○吉田委員 是ハ専ラ製造シテ居ル會社ト  
副産物ヲ造ル會社ト、主ナルモノハ十四、  
十四、二十八社ト思ヒマス、ソレト比較シ  
マシテ、實績ガ餘リ少イノデ、斯クハ質問  
ヲスルノデアリマシテ、之ニ對スル製造  
ニ必要ナル原料、電力、努力其ノ他資材等  
ガ供給セラレラナラバ、ソレ位マデ生産數  
量ヲ擧ゲ得ルコト云フ御見込ガアルノカナ  
イカト云フコトヲ伺ヒタイノデアリマス



○重政政府委員 ソレハ地方的ナチウ云フ

集荷ノ會社ヲ作ルト云フ趣旨デアルカモ知

ラント思ヒマスガ、其ノ水産當局トノ聯關

等ニ付キマシテハ私十分存ジテ居リマセヌ

○森田委員 只今ノ御答辯デアリマスガ、

是ハ實際驚クベキ關取引ト云フカ、詰リ高

イ價格ヲ買ハレテ居ル、殊ニ大豆粕方來ナ

イト云ツタヤウナコトガ明カニナツテカ

ラ、非常ニ高イ値ヲ賣ラレテ居ル、サウシ

テ斯ウ云ツタヤウナモノハ農民ニ非常ナ不

平ヲ持タセル因ニナル、買フ方ハ一向統制

シテ與レナイ、賣ルモノダケハ關取引ヲ抑

ヘ切レナイ、斯ウ云フコトニナツテ來

ル、ソコデ米ノ値段ダケハ公定チレテ居

テ、是ハ關取引方出來ナイト云フ所ニ非常

ナ農民トシテノ不平等出來ル因ガアルヤ

ウデアリマス、無機肥料ニ付キマシテハ

色々ノ御施設ヲナサツテオ居デニナルノデ

アリマシテ、是ハ比較的分量ガ少クテモ公

平ニ行渡ルヤウナ形ニナツテ居ルコトハ、

御施設ノ效果ノ現ハレタ所ダト實ハ考ヘテ

居ル譯デアリマスガ、ドウカ是等ノ點ニ付

キマシテ、殊ニ東北地方ハ相當魚粕ナドノ

多イ所デアルニ拘ラス、今度ハ相當今申上

ゲマシタヤウナ形ノ不平等濃厚ニアルヤウ

デアリマスカラ、是等ノ點ニ付テハ速ニ何

等カノ御對策ヲ御立テ下サルヤウニ御願シ

ザイマセウカ

○熊谷委員長 ソレデハ本日ハ是ニテ散會

致シマス 午後四時十一分散會

(「異議ナシ」下呼フ者アリ)

昭和十五年三月十四日印刷

昭和十五年三月十四日發行

衆議院事務局

印刷者 内閣印刷局

日本肥料株式會社法案委員會會議錄(速記)第八回

付託議案  
日本肥料株式會社法案(政府提出)  
(第八九號)

(二四七)

會 議  
昭和十五年三月十四日(木曜日)午前十時二  
十九分開議

出席委員左ノ如シ

委員長 齋谷 直太君

理事 成島 勇君 理事 山田 六郎君

理事 原 惣兵衛君 理事 河野 一郎君

眞鍋 儀十君 森田重次郎君

田中 邦治君 村上 國吉君

吉植 庄亮君 小平 重吉君

國光 五郎君 西川 貞一君

平野 力三君 松村 光三君

同日委員倉元一君辭任ニ付其ノ補闕トシ

テ吉植庄亮君ヲ議長ニ於テ選定セリ

出席國務大臣左ノ如シ

大藏大臣 櫻内 幸雄君

農林省臨時農林對策部長 重政 誠之君

農林省臨時農林對策部長 重政 誠之君

農林省臨時農林對策部長 重政 誠之君

農林省臨時農林對策部長 重政 誠之君

農林省臨時農林對策部長 重政 誠之君

農林省臨時農林對策部長 重政 誠之君

農林省臨時農林對策部長 重政 誠之君

農林省臨時農林對策部長 重政 誠之君

農林省臨時農林對策部長 重政 誠之君

農林省臨時農林對策部長 重政 誠之君

農林省臨時農林對策部長 重政 誠之君

農林省臨時農林對策部長 重政 誠之君

農林省臨時農林對策部長 重政 誠之君

農林省臨時農林對策部長 重政 誠之君

農林省臨時農林對策部長 重政 誠之君

農林省臨時農林對策部長 重政 誠之君

農林省臨時農林對策部長 重政 誠之君

農林省臨時農林對策部長 重政 誠之君

農林省臨時農林對策部長 重政 誠之君

農林省臨時農林對策部長 重政 誠之君

農林省臨時農林對策部長 重政 誠之君

農林省臨時農林對策部長 重政 誠之君

農林省臨時農林對策部長 重政 誠之君

農林省臨時農林對策部長 重政 誠之君

農林省臨時農林對策部長 重政 誠之君

農林省臨時農林對策部長 重政 誠之君

農林省臨時農林對策部長 重政 誠之君

農林省臨時農林對策部長 重政 誠之君

農林省臨時農林對策部長 重政 誠之君

農林省臨時農林對策部長 重政 誠之君

農林省臨時農林對策部長 重政 誠之君

農林省臨時農林對策部長 重政 誠之君

農林省臨時農林對策部長 重政 誠之君

農林省臨時農林對策部長 重政 誠之君

農林省臨時農林對策部長 重政 誠之君

農林省臨時農林對策部長 重政 誠之君

農林省臨時農林對策部長 重政 誠之君

農林省臨時農林對策部長 重政 誠之君

農林省臨時農林對策部長 重政 誠之君

農林省臨時農林對策部長 重政 誠之君

農林省臨時農林對策部長 重政 誠之君

農林省臨時農林對策部長 重政 誠之君

農林省臨時農林對策部長 重政 誠之君

農林省臨時農林對策部長 重政 誠之君

農林省臨時農林對策部長 重政 誠之君

農林省臨時農林對策部長 重政 誠之君

料ノ生産配給ト云フ問題ニ付テ、此ノ儘ニ  
シテハ置ケナイ、是ハドウシテモ肥料會社  
ナルモノヲ作テ更ニ統制ヲ強化シナケレ  
バナラス、チウ云フコトカラ出資シテ、此  
ノ肥料會社ヲ作ルコトニナフタノダラウト  
思フノデスガ、現在ノ配給機構、統制機構  
ノ上ニ、斯ウシテ置ケナイ、斯ウ云フ  
ヤウナ不都合ガアルノダ、現在ノヤウデハ  
駄目ナノダ、斯ウ云フ點ヲハツキリ御座キ  
致シタイト思フノデアリマス、之ヲモツト  
直サナクテハナラス、モツト良クシナケレ  
バナラス、現在ノ儘デハ到底拾ケナイ大敵  
陷ガアルノダ、斯ウ云フ點ガオアリニナル  
ノダ、日本肥料會社ナルモノヲ作ラナケレ  
バナラスト云フコトニナフテ來タノダラウ  
ト思ヒマスカラ、其ノ點ヲ御座キシタイト  
思ヒマス

ト云フヤウナコトデ、ソレガ非常ニ不便デ  
アルト云フコトデ、是ハ當業者ノ間並ニ農  
家ノ方面カラ、此ノ中樞機關ノ統一、チウシ  
テ配給ヲ強化スルコト云フコトノ主張、要求  
ガ從來極メテ熾烈ニ行ハレテ居ワタノデア  
リマス、其ノ要望ニ應ヘル意味ニ於キマシ  
テモ、此ノ法律案ヲ提案致シテ次第デアリ  
マス、更ニ現在ハ其ノ上ニ別々ニ各肥料ニ  
付テ配給ガ行ハレテ居リマスノデ、配給ノ  
ヤリ方ト云フモノガ必ズシモ統一セラレテ  
居ラナイノデアリマス、チウ云フヤウナ關  
係モアリマスノデ、之ヲ整理統合シマシテ、  
チウシテ調和スル統一アル配給ヲ致シタイ、  
チウシテ配給ノ強化ヲ致シタイト云フノガ  
第一ノ理由デアリマス、更ニ生産方面ニ於  
キマシテモ、供給ノ確保ヲスル爲ニ積極的ニ  
此ノ會社ヲシテ製造ニ、チウシテ行ク、  
製造能率ノ至イ工程ニ付テハ、此ノ工場ガ  
必要ニ應ジテ其ノ管理ヲチウシテ、現在ノ設  
備ヲ改良スルガ能率ヲ高度ニ致シマシテ、  
チウシテ現在ノ設備ニ於テ最大ノ能率ヲ舉  
ゲテ生産ヲ上ゴウト云フ趣旨或ハ又新ニ  
製造工場ヲ建設致シマス場合、斯ウ云フヤ  
ウナ半官半民ノ會社ガ其ノ中ニ入ワテ、  
チウシテ、ソレヲ計畫シ、其ノ實行ニ當ル  
ト云フ方ガ適切デアル場合ガ少クナイノデ  
アリマスカラ、チウ云フ場合ニ於キマシテ  
ハ、此ノ會社ハ其ノ方面ニ對シテ投資ヲス  
ルナリ、或ハ實際上ノ工場建設ノ仕事ニ當  
ルト云フヤウナコトヲチウシテ意味ニ於  
キマシテ、此會社ヲ設立致シタイ、斯ウ云

フ風ニ考ヘテ居ル次第デアリマス  
○山田委員 斯ウ云フ會社ヲ作ラネバナラ  
スト云フコトガ、地方農家及ビ各府縣ノ要  
求デアルト云フ御説明デアリマスガ、其  
ノ點ニ付テ非常ニ私ハ疑問ヲ持ツテ居ル、  
此ノ統制會社ガ開業ル爲ニ總テノモノノ配  
給ガ不調滑ニナリ、或ハ偏在ヲシ、生産ガ  
減ルト云フノハ是マデノ實情デアリマスガ  
カラ、一般國民ノ大多數、農家ノ大多數ハ、  
成ベク統制ヲ免レタイ、自由ニ肥料ヲ求  
メタイト云フヤウナ意思ヲ非常ニ今日デ  
ハ強ク持ツテ居ルと思フノデアリマス、  
併シ是ハ政策ノ必要上ドウシテモ統制ヲ  
モンケレバナラスト云フコトニナフテ  
來テ居ルノハ、是ハ別問題デアリマス  
ガ、一般農家ノ希望トシテハ、何トカシ  
テ此ノ總テノ統制ヲ免レ、チウシテ自由ニ  
立場ニ立ツテチウシタイト云フコトハ、是  
ハ、モウチウベカラザル事實ト思フテ居  
ル、併シ今日ノ所デハ、總テガ統制下ニ  
押込シテシマハナケレバナラスト云フヤ  
ウナ時代デアリマスカラ、已ムヲ得ズソレ  
ニ屈服シテ居ルト云フノガ實際ノ實情ダラ  
ウト思フ、ソレデ此ノ肥料問題ニ對シマシ  
テモ、今日ノ所ノ苦痛ト云フノハ、是マデ  
何人カノ人カラ質問ガ繰返サレタノデアリ  
マスガ、此ノ苦痛モ統制ノ爲デアルト云フ  
コトヲ皆強ク考ヘテ居ルヤウデアリマス、  
デアリマスガ、是ハ一般農家ガ好ムト好  
マケルト云フ間ハズ、斯ウ云フ工合ニシテ行  
カナケレバナラヌノデアリマス、是ハ現在

第六類第十一號 日本肥料株式會社法案委員會會議錄 第八回 昭和十五年三月十四日



ニ於テ迅速ニ御處理ヲ願フコトガ、割當ノ  
 限月ヲ完全ニ履行スル前提ノ要件ニナラナ  
 ケレバナラヌト云フコトデアリマス、中央  
 ニ對スル御懇請、御要求ニ對シテ吾等ト致  
 シマシテ十分拜應致シ、努力致サナケレ  
 バナラヌト考ヘテ居リマスガ、地方ニ於テカ  
 レモ、中央ト相呼應シテ、一致協力シテ此  
 ノ受渡シヲ完全ニ遂行スルコト云フ一致ノ態  
 勢ヲ執ツテ、此ノ最盛需要期ヲ乘切ルト云  
 フコトニ致サナケレバ、到底此ノ割當ノ限  
 月ノ時期ヲ守ツテ受渡シヲ完了シテ行クコ  
 トハ困難ナコトニ相成ラウト思フコトデア  
 リマス、吾等ト致シマシテハ、最善ノ努力ヲ  
 致ス積リデアリマスノデ、ソレ等ノ點モ御  
 含メテ上御協力ヲ願ヒタイト考ヘテ居ル次  
 第デアリマス、尙ホ一言附加ヘテ申上ゲマ  
 スガ、限月別ノ割當ニ付キマシテハ、北海  
 道、東北及北陸地方ニ對シマシテハ、從  
 來ノ配給ノ限月ノ實績ヲ其ノ儘ニ配給致ス  
 コトニ割當テ致シタノデアリマス、決シ  
 テ普通ニテ居リマシテ場合ト違ヘテ、  
 ソレヲ後ニ遲延シテ配給ヲ致ス豫定ノ割當  
 ニハナラズテ居リマシテデアリマス、此ノ限  
 月割當ニ從テ受渡シヲ遂行致シテ參リマ  
 スレバ、大體時期ノ關係ニ於キマシテハ、  
 普通ノ場合ニ於ケル通りノ肥料ガ流レテ行  
 クト云フコトニ相成ルノデアリマス、唯肥  
 料ノストックノ總量ガ普通ノ場合ニ比ベテ  
 少イ關係モアリマスノデ、多少ソコニ不完  
 全ナコトハアリマスノデ、併シナガラ  
 大體ニ於キマシテハ、肥料ニ支障ヲ生ズル  
 云フコトハ、サウ多クナイコト考ヘテ居  
 ルノデアリマス、地方ニ依リマスレバ、去  
 年ノ暮ニ此ノ春使ヒマス肥料ヲ入手シナ  
 ケレバ氣力ナラヌト云フ地方モアル位デア

リマシテ、從來ノ農家ノ慣行カラ申セバ非  
 常ニ早ク引取ルモノト、サウデナイ所トガア  
 ルコトハ御承知ノ通りデアラウト思フコト  
 アリマスガ、斯ウ云フ際デアリマスノデ、  
 精神的ニ多少ノ空腹ヲ農家ガ感ジマシテモ、  
 是ハ已ムヲ得ナイコトデアルト考ヘテ居ル  
 ノデアリマス、ソレ等ハ現下ノ肥料ノ情  
 勢ヲ十分認識セシメテ、サウシテ少クモ  
 施肥ニ支障ノナイ限リハ、是ハ事情ヲ諒察  
 シテ、耐ヘテ貰フ外ハ仕様ガナイコトデア  
 ルト考ヘテ居リマス、併シ吾等ノ方ト致シ  
 マシテハ、餘裕ノ付キマスル限リ限月ノ繰  
 上ヲ致シテ、要望ニ應ヘタイト考ヘテ居ル  
 次第デアリマス

○山田委員 中央ハ中央トシテ努力ハスル  
 シ、豫定通りノ配給ハシタイ、併シ地方ハ  
 地方ト相當ニ骨ヲ折ラナクチャイカヌゾト  
 云フヤウナ意味ノ御言葉ガアリマシタガ、  
 是ハ私ハ意外ニ思フノデ、肥料ノ配給ト  
 云フノハ、殆ド農林省ガ全部一手ニ之ヲ支  
 配シテ居ラテ、サウシテ各會社ト云フヤ  
 ウナモノモ、地方ニ於ケル肥料商、或ハ商  
 業團體、産業團體ト云フヤウナモノハ、若  
 農林省ノ命令ノ下ニ、總テガ其ノ方針ニ依  
 ツテ進シテ來テ居ルト云フヤウナ實情ナ  
 デ、デアリマスカラ地方ノ人ハ地方トシ  
 テ努力セヨト言ツテモ、元ノ組織デアツタ  
 ナラバ、各肥料會社ニ行ツテ交渉スル、  
 或ハ是等ノ販賣店ニ行ツテ交渉スルコト云  
 フヤウナコトニナルノデアリマス、今日デ  
 ハ中々サウ云フコトニハイカナイ、又地方  
 ノ各府縣ハ各府縣デソレソレノ方針ヲ立テ  
 テ居ラレラレ管デアルト云フガ、是ハ殆ドナ  
 イノデアリマス、日本全國各府縣ト云フモ  
 ノハ、肥料ニ對シテ何等ノ方針モ持ツテ居ラ

ハ二回近い、一回幾ラト云フ運賃ヲ拂ハネ  
 バナラヌカラ東地デハ五回ニナル、其ノ五  
 回ノ時分ニ袋ガ滿洲ノ公定價格ハ九十一錢  
 デアリマシタガ、非常ニ缺乏ノ爲ニ間賣買  
 ノ公定價格ガ二回五十錢デアル、デスカラ  
 二回五十錢ノ袋ノ代ヲ拂ヒ、一回幾ラノ運  
 賃ヲ拂ツタナラバ、七回ノ中カラ殆ド殘  
 ルモノガ二回カ三回ト云フコトニナツテシ  
 マフカラ、ソナナ値段デ一依ノ豆ヲ買ハ  
 ト云フ計畫ハ無謀モ甚シイ、デアリマス  
 カラ之ヲ食糧ニ廻シ、或ハ北支ノ方ヘ融通  
 ヲスル、或ハ貯藏ヲシテシマフ、或ハ甚シ  
 キニ至ツテハ高價カラ購入レナイ地方サヘ  
 アリ、人夫賃ヲ拂ツテハ引合ヌノデアル、デ  
 アリマスカラ豆ノ足リナイト云フコトハ  
 昨年ノ十一月ニ既ニ明ニ分ツテ居ル、ソレ  
 ヲ一月下旬十一月ニナツテ豆ノ輸入ガ少イ  
 ナドト懸クハ不思議ナ事ナラナイ、是ガ若  
 シ民間ノ實業家ノ仕事デアツタナラバ、既  
 ニ其ノ時分ニ訂正シテシマフ、最近ニ於テ  
 一期方遅テ何ノ效果モナイ、斯ウ云フ次第  
 デアリマスカラ、疾ウニ分ツテテナクテハ  
 ナラヌ、斯ウ思フノデアリマス、配合肥料  
 等ヲ作ルニ對シテモ我ガ福島縣ノ如キニ至  
 ツテハ、甚シイコトハ、其ノ設計ガ三割乃至  
 四割ト云フ豆粕ヲ使フ設計ニナツテ居リマ  
 ス、其ノ三割乃至四割豆粕ヲ使フト云フコ  
 トハ、窒素肥料ノ爲ニ豆粕ヲ補フト云フコト  
 カラ出發シタノデアリマス、所ガ最近ニ至リ  
 マシテ其ノ豆粕ガ入ツテ來ナイカラ、單肥  
 デアルコトニシヨウ、サウスルト三割乃至  
 四割ト云フ澤山豆粕ガ入ラヌノデアリマ  
 スカラ、ソレガ入ラナイノヲ補フ爲ニ硫  
 安ヲ寄越ストカ、或ハ石灰窒素ヲ寄越スト

ス、ソレ等ハ總テ農林省ノ指揮命令ニ依ツ  
 テ働イテ居ルモノ、斯ウ云フ風ニ吾等ハ見  
 テ居ルノデアリマス、現ニ昨年中肥料ノ配給  
 ヲ定メルト同時ニ、肥料ノ多クヲ配合肥料  
 ヲ全國ニ配布スル計畫ヲ農林省ガ立テテ、  
 之ヲ各府縣ニ強ヒラレタ、私共ノ福島縣等  
 モ配合肥料ガ非常ニ多イ數量ニナツテ居  
 マスカラ、何ノ爲ニ配合肥料ガコソナニ多  
 イカ、肥料ガ潤澤ナ年デアリマシタナラバ  
 宜シイノデ、今日ノヤウニ肥料ガ非常  
 ニ不足シテ、満足ニ渡ツテモ前年ノ七割、  
 一步減マレバ前年ノ半額以下ヨリ手ニ入ラ  
 スト云フヤウナ時期ニナツテ、斯様ニ配合  
 肥料ヲ多クスルト云フコトハ困ツタコトダ、  
 其ノ地方々々ニ依ツテ、例ヘバ澁谷ハ餘リ  
 多クナコトモ宜イノダ、窒素分ガ多クカツ  
 ナラバ百姓ガ出來ルノダト云フヤウナ地方  
 モアリ、或ハ窒素肥料ハ地元ノ自給肥料ニ  
 依ツテ何トカ補ヒ得ルカラ、澁谷分ガ欲シ  
 イト云フヤウナ農家モアル、ソレハ土質ノ  
 關係ニ依ルノデ、ガカラ肥料ノ少イ年モ  
 配合肥料ヲ少クシテ單肥ヲ多クシテ、サ  
 ウシテ地方々々ノ實情ニ依ツテ適當ニソレ  
 ヲ施肥セシメルト云フコトハ、肥料經濟ノ  
 上ニ於テ缺クベカラザルコトト吾等ハ思  
 フノデアリマス然ルニ農林省ハソレニ反對  
 シテ、前年ノ配給額ヲ縮シテ、配合肥料ヲ非  
 常ニ多ク全國ニ強ヒラレテ居ルト云フコト  
 ノ趣旨ガ、吾等ハハドウシテモ了解スルコ  
 トガ出來ナイノデアリマス、ソレデ此ノ配  
 給肥料ガ農林省カラ非常ニ強ヒラレマシテ  
 モ、其ノ強ヒラレタ趣旨ヲ無視シテ單肥ニ  
 カヲ入レテ居ル地方ハ、肥料ノ配給割合  
 ニ關係ニ行ツテ居ル、東北地方ノヤウニ農  
 林省ノ言フ所ヲ尊重シテ、配合肥料ヲ多ク

デアリマス、強制ヲ致シテ配合肥料ヲ無理  
 ニ作ラヌコトヲ吾等トシテ致シタ  
 デハナイノデアリマス、御諒承ヲ願ヒタイ  
 ト思ヒマス

○山田委員 ソレハ強制ハシナイ、併シ配  
 合肥料ヲ多ク使ハシタガ宜カラウト云フ  
 通譯ヲ出シタト云フコトデアリマス、ソ  
 レハドナラデモ宜シイノデアリマス、ソ  
 レデ過去ノコトヲサウ繰返シテモ何ノ利益  
 モナイヤウデアリマス、將來斯ウ云フ  
 コトヲ又繰返スコトニナレバ容易ナラヌコ  
 トデアリマス、今二三御間ヲ致シタ  
 イノデアリマス、ソレハドウ云フ譯デア  
 ルカト云フト、此ノ豆粕ガ非常ニ不足シタ  
 ヲ云フ問題ニ付テ隨分質問ヲ重ネラレタノデ  
 アリマス、是等ニ對シマシテハ農林省  
 ノ餘リニモ緩慢ナルニ私共ハ驚クノデアリ  
 マス、昨年ノ十一月滿洲ニ參リマシタ際ニ  
 滿洲ノ豆粕ト云フモノハ四百万噸ト見テ居  
 ルケレドモ、其ノ半分モ集ラヌト云フコト  
 ハモウ殆ド滿洲ノ輿論デアル、是ハ何人デ  
 モ知ラナイ人ハナイノデアル、デアリマス  
 ルカラ、ソレヲ一月ノ下旬カラ二月ニ入ル  
 頃ニナツテカラ滿洲ノ豆粕ガ非常ニ減ル  
 ダト云フコトヲ氣付イタナドト云フコトハ、  
 餘リニ官僚式ナリ方デアリカト思フノ  
 デアリマス、ソレハドウシテデアリカト云  
 フト、昨年ノ十月カラ十一月ニ私ハ滿洲ニ  
 居ツタノデアリマス、其ノ時ハ豆  
 粕入レル最中デアルケレドモ、此ノ專管公  
 社デハ豆ノ値ガ非常ニ安イ爲ニ、油房ト  
 間ニ買入ノ競争ヲシテ居リマシタコトモ御  
 承知ノ通りデアル、サウシテ其ノ當時ハ大  
 連ニ於ケル相場ガ七圓位デアル、大連ニ於  
 ケル七圓ト云フノハ奥地カラ持ツテ來ルニ

カ云フコトデアツタレバ理窟ガ付ク、然ル  
 ニ事實ハ三割乃至四割ト云フ澤山ノ豆粕ガ  
 手ニ入ラヌカラ使ハズニ、後ノ肥料ヲヤル  
 カラ、初メ千俵確定シタ町村ニ對シテハ六  
 百俵ヲヤルノダ、豆粕ガ四割減ツタダケ  
 數量ニ付テ減ルノダ、斯ウ云フ割當ヲ現  
 今ヤツテ居ルノデアリマス、是ハ實ニ困ツ  
 タコトデアルト云フノデ、縣ノ配給ノ方  
 主任肥料官ニモ幾タビカ交渉ヲ重ネタノデ  
 アリマス、ケレドモ、是等ノ人々ハ今日ノ  
 所デハドウスルコトモ出來ナイ、其ノ内何  
 トカナラウカ知ラヌガ、先ツサウ云フ風ニ  
 スル外ナイ、今年ノ配給七割位ノモノヲ、  
 豆粕ノ不足ノ爲ニ四割更ニ減ラサレテ六割  
 ニナリマス、ヤハリ前年ニ比較シテ四割  
 ト云フ肥料ノ配給額ヲ受ケルコトガ出來ナ  
 イ、斯ウ云フ狀況ニナツテ居ル、ガカラ之ニ  
 對シマシテモ確定或ハ石灰窒素ノ不足、或  
 ハ豆ノ不足等モ既ニ昨年中ニ分ツテ居ルコ  
 トデアラカテ疾ウニ準備シナケレバナラヌ  
 苦デアツタト思フ、私ハ驚クベキコトハ  
 一月下旬ニナツテ小平氏ニ會ツタ所ガ、逆モ  
 滿洲ニハ袋ガナクテ豆モ高粱モ出スコトガ  
 出來ヌ、ソレデ袋ヲ準備ニ來タト云フ話デ  
 アツタ、幾ラ要ルノカト聽イタラ千二百萬ナ  
 ケレバドウスルコトモ出來ナイ、ソレガ一  
 月下旬デアル、私ハ斯ウ云フ點ヲ見マシテ、  
 如何ニ政府事業或ハ官吏ノ人々ガ主トシテ  
 ヤツテ居ル産業ト云フモノハ實ニ驚クベキ  
 緩慢ノモノデアル、先ガ見エナイモノデア  
 ル、是、困ツテ來テ初メテ與銀スルモノデア  
 ルト云フコトヲ痛切ニ感ジタノデアリマス  
 ガ、此ノ日本肥料會社モ斯ノ如キ方針デ今  
 後ヤツテ行ツタナラバ、是ハ農家ニ對シテ  
 恐ルベキ苦痛ヲ與ヘル結果ニナルデヤナイ

カ云フコトデアツタレバ理窟ガ付ク、然ル  
 ニ事實ハ三割乃至四割ト云フ澤山ノ豆粕ガ  
 手ニ入ラヌカラ使ハズニ、後ノ肥料ヲヤル  
 カラ、初メ千俵確定シタ町村ニ對シテハ六  
 百俵ヲヤルノダ、豆粕ガ四割減ツタダケ  
 數量ニ付テ減ルノダ、斯ウ云フ割當ヲ現  
 今ヤツテ居ルノデアリマス、是ハ實ニ困ツ  
 タコトデアルト云フノデ、縣ノ配給ノ方  
 主任肥料官ニモ幾タビカ交渉ヲ重ネタノデ  
 アリマス、ケレドモ、是等ノ人々ハ今日ノ  
 所デハドウスルコトモ出來ナイ、其ノ内何  
 トカナラウカ知ラヌガ、先ツサウ云フ風ニ  
 スル外ナイ、今年ノ配給七割位ノモノヲ、  
 豆粕ノ不足ノ爲ニ四割更ニ減ラサレテ六割  
 ニナリマス、ヤハリ前年ニ比較シテ四割  
 ト云フ肥料ノ配給額ヲ受ケルコトガ出來ナ  
 イ、斯ウ云フ狀況ニナツテ居ル、ガカラ之ニ  
 對シマシテモ確定或ハ石灰窒素ノ不足、或  
 ハ豆ノ不足等モ既ニ昨年中ニ分ツテ居ルコ  
 トデアラカテ疾ウニ準備シナケレバナラヌ  
 苦デアツタト思フ、私ハ驚クベキコトハ  
 一月下旬ニナツテ小平氏ニ會ツタ所ガ、逆モ  
 滿洲ニハ袋ガナクテ豆モ高粱モ出スコトガ  
 出來ヌ、ソレデ袋ヲ準備ニ來タト云フ話デ  
 アツタ、幾ラ要ルノカト聽イタラ千二百萬ナ  
 ケレバドウスルコトモ出來ナイ、ソレガ一  
 月下旬デアル、私ハ斯ウ云フ點ヲ見マシテ、  
 如何ニ政府事業或ハ官吏ノ人々ガ主トシテ  
 ヤツテ居ル産業ト云フモノハ實ニ驚クベキ  
 緩慢ノモノデアル、先ガ見エナイモノデア  
 ル、是、困ツテ來テ初メテ與銀スルモノデア  
 ルト云フコトヲ痛切ニ感ジタノデアリマス  
 ガ、此ノ日本肥料會社モ斯ノ如キ方針デ今  
 後ヤツテ行ツタナラバ、是ハ農家ニ對シテ  
 恐ルベキ苦痛ヲ與ヘル結果ニナルデヤナイ

カ云フコトデアツタレバ理窟ガ付ク、然ル  
 ニ事實ハ三割乃至四割ト云フ澤山ノ豆粕ガ  
 手ニ入ラヌカラ使ハズニ、後ノ肥料ヲヤル  
 カラ、初メ千俵確定シタ町村ニ對シテハ六  
 百俵ヲヤルノダ、豆粕ガ四割減ツタダケ  
 數量ニ付テ減ルノダ、斯ウ云フ割當ヲ現  
 今ヤツテ居ルノデアリマス、是ハ實ニ困ツ  
 タコトデアルト云フノデ、縣ノ配給ノ方  
 主任肥料官ニモ幾タビカ交渉ヲ重ネタノデ  
 アリマス、ケレドモ、是等ノ人々ハ今日ノ  
 所デハドウスルコトモ出來ナイ、其ノ内何  
 トカナラウカ知ラヌガ、先ツサウ云フ風ニ  
 スル外ナイ、今年ノ配給七割位ノモノヲ、  
 豆粕ノ不足ノ爲ニ四割更ニ減ラサレテ六割  
 ニナリマス、ヤハリ前年ニ比較シテ四割  
 ト云フ肥料ノ配給額ヲ受ケルコトガ出來ナ  
 イ、斯ウ云フ狀況ニナツテ居ル、ガカラ之ニ  
 對シマシテモ確定或ハ石灰窒素ノ不足、或  
 ハ豆ノ不足等モ既ニ昨年中ニ分ツテ居ルコ  
 トデアラカテ疾ウニ準備シナケレバナラヌ  
 苦デアツタト思フ、私ハ驚クベキコトハ  
 一月下旬ニナツテ小平氏ニ會ツタ所ガ、逆モ  
 滿洲ニハ袋ガナクテ豆モ高粱モ出スコトガ  
 出來ヌ、ソレデ袋ヲ準備ニ來タト云フ話デ  
 アツタ、幾ラ要ルノカト聽イタラ千二百萬ナ  
 ケレバドウスルコトモ出來ナイ、ソレガ一  
 月下旬デアル、私ハ斯ウ云フ點ヲ見マシテ、  
 如何ニ政府事業或ハ官吏ノ人々ガ主トシテ  
 ヤツテ居ル産業ト云フモノハ實ニ驚クベキ  
 緩慢ノモノデアル、先ガ見エナイモノデア  
 ル、是、困ツテ來テ初メテ與銀スルモノデア  
 ルト云フコトヲ痛切ニ感ジタノデアリマス  
 ガ、此ノ日本肥料會社モ斯ノ如キ方針デ今  
 後ヤツテ行ツタナラバ、是ハ農家ニ對シテ  
 恐ルベキ苦痛ヲ與ヘル結果ニナルデヤナイ

カ云フコトデアツタレバ理窟ガ付ク、然ル  
 ニ事實ハ三割乃至四割ト云フ澤山ノ豆粕ガ  
 手ニ入ラヌカラ使ハズニ、後ノ肥料ヲヤル  
 カラ、初メ千俵確定シタ町村ニ對シテハ六  
 百俵ヲヤルノダ、豆粕ガ四割減ツタダケ  
 數量ニ付テ減ルノダ、斯ウ云フ割當ヲ現  
 今ヤツテ居ルノデアリマス、是ハ實ニ困ツ  
 タコトデアルト云フノデ、縣ノ配給ノ方  
 主任肥料官ニモ幾タビカ交渉ヲ重ネタノデ  
 アリマス、ケレドモ、是等ノ人々ハ今日ノ  
 所デハドウスルコトモ出來ナイ、其ノ内何  
 トカナラウカ知ラヌガ、先ツサウ云フ風ニ  
 スル外ナイ、今年ノ配給七割位ノモノヲ、  
 豆粕ノ不足ノ爲ニ四割更ニ減ラサレテ六割  
 ニナリマス、ヤハリ前年ニ比較シテ四割  
 ト云フ肥料ノ配給額ヲ受ケルコトガ出來ナ  
 イ、斯ウ云フ狀況ニナツテ居ル、ガカラ之ニ  
 對シマシテモ確定或ハ石灰窒素ノ不足、或  
 ハ豆ノ不足等モ既ニ昨年中ニ分ツテ居ルコ  
 トデアラカテ疾ウニ準備シナケレバナラヌ  
 苦デアツタト思フ、私ハ驚クベキコトハ  
 一月下旬ニナツテ小平氏ニ會ツタ所ガ、逆モ  
 滿洲ニハ袋ガナクテ豆モ高粱モ出スコトガ  
 出來ヌ、ソレデ袋ヲ準備ニ來タト云フ話デ  
 アツタ、幾ラ要ルノカト聽イタラ千二百萬ナ  
 ケレバドウスルコトモ出來ナイ、ソレガ一  
 月下旬デアル、私ハ斯ウ云フ點ヲ見マシテ、  
 如何ニ政府事業或ハ官吏ノ人々ガ主トシテ  
 ヤツテ居ル産業ト云フモノハ實ニ驚クベキ  
 緩慢ノモノデアル、先ガ見エナイモノデア  
 ル、是、困ツテ來テ初メテ與銀スルモノデア  
 ルト云フコトヲ痛切ニ感ジタノデアリマス  
 ガ、此ノ日本肥料會社モ斯ノ如キ方針デ今  
 後ヤツテ行ツタナラバ、是ハ農家ニ對シテ  
 恐ルベキ苦痛ヲ與ヘル結果ニナルデヤナイ

カ云フコトデアツタレバ理窟ガ付ク、然ル  
 ニ事實ハ三割乃至四割ト云フ澤山ノ豆粕ガ  
 手ニ入ラヌカラ使ハズニ、後ノ肥料ヲヤル  
 カラ、初メ千俵確定シタ町村ニ對シテハ六  
 百俵ヲヤルノダ、豆粕ガ四割減ツタダケ  
 數量ニ付テ減ルノダ、斯ウ云フ割當ヲ現  
 今ヤツテ居ルノデアリマス、是ハ實ニ困ツ  
 タコトデアルト云フノデ、縣ノ配給ノ方  
 主任肥料官ニモ幾タビカ交渉ヲ重ネタノデ  
 アリマス、ケレドモ、是等ノ人々ハ今日ノ  
 所デハドウスルコトモ出來ナイ、其ノ内何  
 トカナラウカ知ラヌガ、先ツサウ云フ風ニ  
 スル外ナイ、今年ノ配給七割位ノモノヲ、  
 豆粕ノ不足ノ爲ニ四割更ニ減ラサレテ六割  
 ニナリマス、ヤハリ前年ニ比較シテ四割  
 ト云フ肥料ノ配給額ヲ受ケルコトガ出來ナ  
 イ、斯ウ云フ狀況ニナツテ居ル、ガカラ之ニ  
 對シマシテモ確定或ハ石灰窒素ノ不足、或  
 ハ豆ノ不足等モ既ニ昨年中ニ分ツテ居ルコ  
 トデアラカテ疾ウニ準備シナケレバナラヌ  
 苦デアツタト思フ、私ハ驚クベキコトハ  
 一月下旬ニナツテ小平氏ニ會ツタ所ガ、逆モ  
 滿洲ニハ袋ガナクテ豆モ高粱モ出スコトガ  
 出來ヌ、ソレデ袋ヲ準備ニ來タト云フ話デ  
 アツタ、幾ラ要ルノカト聽イタラ千二百萬ナ  
 ケレバドウスルコトモ出來ナイ、ソレガ一  
 月下旬デアル、私ハ斯ウ云フ點ヲ見マシテ、  
 如何ニ政府事業或ハ官吏ノ人々ガ主トシテ  
 ヤツテ居ル産業ト云フモノハ實ニ驚クベキ  
 緩慢ノモノデアル、先ガ見エナイモノデア  
 ル、是、困ツテ來テ初メテ與銀スルモノデア  
 ルト云フコトヲ痛切ニ感ジタノデアリマス  
 ガ、此ノ日本肥料會社モ斯ノ如キ方針デ今  
 後ヤツテ行ツタナラバ、是ハ農家ニ對シテ  
 恐ルベキ苦痛ヲ與ヘル結果ニナルデヤナイ





○山田委員 縣外移出ヲ禁シテ其ノ縣内ニ相當ノ有機肥料ガアルト云フ縣ニ對シテハ、今後ノ配給ニ考慮スルト云フコトデアリマ

スルガ、此ノ考慮ガ非常ニ危險デアリマ  
ルカラ、餘程實情ヲ調査シテオカリ下サ  
スト、大變ナ影響ヲスルト思ヒマスルカラ、  
十二分ニ實情ヲ御調査ノ上ニ考慮シテ配  
キタイト云フコトヲ附加ヘテ御願致シテ置  
キマス

○村上委員代理 山田君、大藏大臣が見

○森田委員 確安ノ増産ニ關スル根本的  
國策ノ點ニ付キマシテ、大藏大臣ノ御所見  
ヲ伺ヒタイト思ヒマス、出來ルガケ簡單ニ  
申上ゲマスガ、事ハ相當重大ト思ヒマス  
ルノデ、ドウカ其ノ意味ヲ御見解ヲ御漏シ  
下サイマスレバ幸ダト思ヒマス、今ノ日本  
ニ取ツテ色々ノ方面ニ重大ナ問題ガ起ツテ  
居ルコトハ無論デアリマスルガ、銃後ニ於  
ケル最モ根本的ナ問題ハ食糧政策御チ食糧  
ノ充實ニアルコトハ、是ハ何人モ異論ヲナ  
イ所ダト思ヒマス、而シテ此ノ食糧ノ充實  
ヲ圖ル爲メ根本的ナ問題ハ肥料ノ十分ナル  
供給ニアルコトモ是レ明カナ所デアリマス、  
然ルニ本年ハ無機肥料ニ致シマシテモ、有  
機肥料ニ致シマシテモ、農林省デ御計畫ナ  
サレテ居タコトアラ、昨年ト比ベテ相當減  
テ居ルカ、ソレヲ果シテ思フ通りニ供給  
ガ出來ルカドウカト云フコトデアリマス、  
非常ナ御苦心ヲサツテオ居デノヤウデア  
リマス、私等ト致シマシテモ地方ノ歸リマ  
スレバ、非常ニ肥料供給不足ノ聲ヲ聞カサ  
レルノデ、實ニ苦心慘情ヲ見ルルコトナ  
第デアリマス、結局此ノ點ヲ要請メテ考ヘ  
マスト、私等ハドウシテモ増産計畫ヲ圖  
ラナケレバナイイモノダト云フ結論ニ達

○櫻内國務大臣 國策會社デアル日鐵ノ

○櫻内國務大臣 國策會社デアル日鐵ノ  
「フアイネス」即チ煉鐵爐カラ出マス所ノ瓦  
斯ヲ利用シテ、其ノ瓦斯ノ成分ヲ分解致シ  
テ有效ニ之ヲ使ツテ硫酸「アンモニア」ヲ造  
ルト云フコトガ、製鐵事業ノ爲ニモ、又硫  
安事業ノ爲ニモ經濟的ナイカト云フ御話デ  
アリマスガ、私ノ承知致シテ居リマスル所  
ニ依リマス、今日熔煉爐カラ出マス所ノ  
瓦斯ハ色々ナモノニ使ハレテ居ルコト思ヒマ  
ス、即チ「ベンゾール」デアルトカ、或ハ種  
種ナル化學的品物ガ澤山ニ生産サレテ居ル  
ト思ヒマス、而シテ今日製鐵所ガ發達致シ  
マシタ結果、製鐵所ノ中ニ「スラ」製業ヲ  
營ンデ居ル者モ或ハアルト存ジマス、斯様  
ナル場合ニ於テ、其ノ出マス所ノ瓦斯ヲ有  
效ニ使フコト云フ事柄ハ御話ノ通り實ニ國家  
ノ爲ニナルコトデアリマシテ歡迎スベキコ  
トデアリマス、就中御話ノ如ク確安ハ現在  
ニ於テ是ラ不足致シテ居ルノデアリマシテ、  
日本ノ需要ハ最早二百万噸ニ垂ント致シテ  
居ツテ、年々更ニ二百万噸乃至二十萬噸增加  
致ス場合デアリマシテ、而シテ國內及外朝産、  
滿洲ニ於テ生産スル額ガ百七十八萬噸ニ過  
ギナイノデアリマスカラ、斯ウ云フ場合ニ  
於テ、其ノ瓦斯ノ餘力ガアルト致シマスナ  
ラバ、之ヲ利用スルコトハ最モ適切ナル方  
策デアラウト思ヒマス、唯之ヲ利用シテ行

○森田委員 非常ニ御親切ナ御答辯ヲ承

○森田委員 非常ニ御親切ナ御答辯ヲ承  
致シマシタ、唯一點御願致シテ置キタイコ  
トハ、農林省ト致シマシテハ無論ニ御異  
存ガナイ筈ダト私ノ思フノデアリマス、聞  
ク所ニ依レバ農林省ガ御答辯ヲ云フ氣持  
デハ無論御所ナリ、日本鋼管會社ナリハ當  
ッテ見タト云フ事實ガアルヤウデアリマス、  
併シ片方ハ商工省、片方ハ農林省ト云フコ  
トガアツタノデアリマセウカ、或ハ他ニ  
ッノ國策會社トシテ鐵一方デ間ニ合ツテ居  
ル、ソコハ餘計ナモノヲ横ヘ附ケテヤラス  
デモ構ハスノダ、斯ウ云フコトト云フヤウ  
ニ動イテ呉レナカウツト云フコトヲ聞イテ  
居リマス、是ハ洵ニ遺憾ナコトト思ヒマ  
ス、若シ農林省ガ最初計畫ナサレタヤウニ、  
何年か前ニ是ガ實現サレタト致シマスレ  
バ、今日斯ノ如ク肥料ノ飢饉ヲ呈セズニ  
濟ンダノデナイイカト考ヘマシテ、國家ノ  
爲ニ洵ニ遺憾ダト思フノデアリマス、ソコ  
デ此ノ點ニ付キマシテハ大藏大臣ニ、農林  
省、商工省或ハ實業經營ノ任ニ當ツテ居  
ル重役ノ方々ヲ御降下サイマシテ、此ノ

肥料會社案ガ出來上ルト、農林省トシテハ  
其ノ方面ニ相當力ヲ入レテ見タイト云フ考  
ヲ以テ色々資本ヲ投入シテ計畫ナドガアルヤ  
ウニ何ツテ居リマスカラ、サウ云フ工合ニ  
御取計ヲ御願致シタイト思フノデアリマス、  
之ニ對スル御所見ヲ承リタイト存ジマス  
〔村上委員代理 委員長著席〕  
○櫻内國務大臣 御話ノヤウナ各省間ニ於  
ケル摩擦等アラウトハ存ジマセウカ、若  
シ何等カ其ノ間ニ意思ノ疏通シナイ點ガ  
アリト致シマスレバ、ソレハ疏通致サウニ  
努力致ス考デアリマス、殊ニ當業者トシテ  
モ製鐵「コスト」ヲ安クスルト云フ關係モ  
アリ、殊ニ現在ノ國策ニ副テ專用デアリマ  
スガ故ニ、若シ餘地ガアル、又出來得ル可  
能性ガアルナラバ、必ずヤ是等ノ業者モ協  
力致ス考ヘルノデアリマス、此ノ點ニ付  
キマシテハ、御話モアリマス、能ク注  
意ヲ致シマシテソレノ方面ニ十分研究  
ヲ致サウニ話ス考デアリマス

○森田委員 洵ニ私ノ御願致シタコトニ

○森田委員 洵ニ私ノ御願致シタコトニ  
ウツテ合ワタ御答辯ヲ得マシテ、私トシテ  
ハ此ノ上ナイ喜ビニ存スル者デアリマス、  
實際現在ノ日本ハ全體ノ統制關係ヲ見テ居  
リマス、下ノ者ニ非常ニ強ク當ツテ居ル  
ガ、上ノ事業關係ニ於テハ一般的ニ世間ニハ  
分ラナイト云フ關係デアルカ曖昧模糊トシ  
タ中ニ、マダ合理化スベキ點ガ幾ラモアル  
ヤウニ氣持ガアルノデアリマス、私共ガ斯  
ウ云フ點ガデモ明ニシテ、政府ニ御願  
申上ゲル所ハ御願申上ゲ、サウシテ今申上  
ゲタヤウナ形ノ合理化ヲ御願致シ、犧牲ナ  
ドモ、上モ下モ一致スル形ヲ日本ノ國難ヲ  
打開スベキモノダト考ヘテ居ル次第デアリ  
マスカラ、ドウカ只今ノ點ハ議會終了後此

御願致シタイコトハ、是ハ燃料ニ使フコト云フ  
コトデアリマスガ、水素ハ燃料トシテ力ガ  
弱イ、之ヲ分割スルト殘リ五割ノ瓦斯ハ燃  
力トシテ七割ニナルノダサウデアリマス、  
瓦斯ノ割ハ五割デアリマスケレドモ、水素  
ヲ抜クコトニ依ツテ燃料ガ強クナリ七割ニ  
ナル、サウストル後ノ三割ダケヲ石炭或ハ  
其ノ他ノモノデ補給スルト云フコトニナリ  
マス、其ノ方面ハ燃料トシテハ極メテ簡  
單ニ片ツクコトニナルノデアリマス、サウ  
ストル後サレテ五割ノ水素ヲ日本ノ現在ノ  
鐵工所ニ、私ノ申上ゲタヤウナ企業ヲ附設  
スルト、百万噸ノ増産ハ可能ダト云フコト  
ニナル、日本ノ現在ノ硫酸「アンモニア」ノ  
製造能力ハ二百万噸ト云フノデアリマス  
ガ、現在ハ二百万噸或ハ三百万噸程度  
ノモノダト云フノデアリマス、サウ致シマ  
ス、其ノ附屬スル企業ニ依ツテ百万噸ノ  
増産計畫ガ出來ルト云フノデアアル、而シテ  
ノ百万噸ノ増産計畫ガ出來テ、是ハ鐵工所  
ノ經營ノレ自體トシテモ合理化ノ意味ニ於  
テ、生産費ガ非常ニ安クナツテ行クモノダ、  
斯ウ云フ事柄ノ意見デアアルノミナラズ、實  
際モ此ノ意見ニ對シテハ贊成シテ居ル  
デアリマス、又農林當局ニ此ノ點ニ付テハ  
事實論トシテハ贊成ヲサツテ居ルノデア  
リマス、サウ云フヤウニ若シ其ノ企業ガ成  
立ツテ、サウシテ鐵工業トシテモ「コスト」  
ガ下ルヤウナ經營ニナル、詰リ合理化サレ  
ルト云フコトニナリマス、結局ニ於テ生  
産サレル鐵ノ値段モモツト安クシテ宜イト  
云フ結論ガソコニ導キ出サレテ來ル、鐵ハ  
御存ジノ通り非常ニ大事ナ産業ノ基本トナ  
ルノデアリマスルカラ、其ノ鐵ノ方モ下ツ  
テ行タト云フコトニナリマス、詰リ大



万四千五萬噸ノ割當ヲ致シタト云フ協合ニナ  
ツテ居ルノデアリマシテ、百二十萬噸ノ割  
内ニ於ケル生産ガ上ルト致シマスレバ、是  
ハ現在ノ割當ノヤウナサウ窮屈ナコトデナ  
シニ割當ガ出來ルノデアリマシケレドモ、  
現行ノ割當ノ状況カラ見マシテ、百二十萬  
噸ト云フコト到底見込ミ得ヌト云フノデ、  
春肥ノ割當ニ直而致シマシテハ九十萬噸  
「ベリス」デ考ヘタルデアリマス、左様ニ御  
諒承ヲ願ヒタイト思ヒマス

○吉植委員 サウスルト此ノ一月カラ七月  
マデノ生産豫想ノ六十六萬五千噸ト云フ數  
字ト、今ノ九十萬噸ノ數字ノ關係ハドウナ  
ツテ居リマスカ

○重政政府委員 九十萬噸ハ本肥料年度ノ  
製造總量ノ豫定ヲ見込ミ得ヌデアリマス、  
秋肥ニ既ニ三十二萬噸消費ヲ致シタ協  
合ニナツテ居リマスノデ、九十萬噸カラ其  
ノ残り引イタモノ約六十六萬噸ト云フ  
モノガ、今回ノ春肥ニ割當テラレベキ内地  
ノ生産量ト云フコトニナルデアリマスガ、  
先程申上ゲマシタ通りニ、割當量ハ六十六  
萬四千五萬噸ヲ割當テテ居リマスガ、ソレハ  
輸入硝石等ヲ考慮致シマシテ、六十六萬四  
五千噸ノモノヲ割當テテ、斯ウ云フ關係ニ  
ナツテ居リマス

○吉植委員 サウスルト、豫想ガ六十萬  
噸見込ミ得ヌトシマス、ドウシテモ月額九萬噸近  
ク出ナケレバナラヌコトニナリマスガ、サ  
ウスルト今ノ一月ノ製造業組合出荷ガ、前  
年同期ニ比シテ四割五分減ツテ居ル、過去  
ノ實績ヲ説明サレテ居リマスガ、サウスル  
マデ、前ニ部長ノ數千萬噸減ト云ハレタ數字  
ハ當該ラヌノデ、數千萬噸ニ上ツテ居ルモノ  
ト思ヒマスガ、大體一月二月ニ於ケル漏水

狀況、電力減退ノ狀況ニ於テ、常識デモ相  
當ノ減産ヲ豫想サレル管ナンデアリマスガ、  
細カイ數字デナクテ宜シウゴザイマス、大  
體ノ程度カ、ドウモ數千萬噸デハナイ筈ト  
思フノデスガ、其ノ點ヲ一ツ承ツテ置キタ  
イ

○重政政府委員 御承知ノヤウニ一般ノ製  
造ノ豫定ハ各月平均ノ製造豫定ヲ立テテ居  
リマセス、漏水期ト豐水期ガアリマス關係  
上、漏水期ニ於キマシテハ自ラ其ノ製造豫  
定ハ少イ、豐水期ニ於テハ製造豫定ハ多  
イト云フ月別ノ製造豫定ヲ立テテ居ルノデ  
アリマス、一月ノ如キハ時期ト致シマシテ  
ハ漏水ノ時期デアリマスノデ、其ノ他ノ豐  
水期ニ比較致シマシテ製造ノ豫定モ自ラ減  
ジテ來ルノデアリマス、實績ノ大體ヲ申  
上ゲマシテ、一月ハ約八萬噸製造ヲ致シ  
テ居リマス、ソレカラ今御質問ノ趣意ガ私  
十分分込メナイノデアリマスガ、實ハ配給  
ノ方ハ配給ガ一月ニハ四割五分シカ配給シ  
テカワラト云フヤウナコトハ、私ガ申上ゲ  
タコトトハ實ハ今思フヤウナ具體的ナ或  
ハ他ノ委員カラサウ云フヤウナ具體的ナ或  
ル地方ニ付テノ御質問ガアツタト覺エテ居  
リマスガ、製造ガ順調ニ行キマシテモ、配  
給ノヤリ方ガ惡クレバ受渡ハ出來ナイト云  
フコトニナルデアリマス、製造ガ十分ニ  
行カナイカラ配給ガ十分ニ行カナイト云フ  
ヤウナ事情ハ今日ノ所デハ起ツテ居リマセ  
シテモ起ツテ居リマセス、確定ニ致シマ  
シテモ起ツテ居リマセス、ソレデ度々申上  
ゲマシヤウニ、去年ノ年末ニ於ケル鐵道ノ  
運賃ハ百万噸ト云フモノガ貨物ニ比シテ、非  
常ニ廉價ト云フモノガ貨物ニ比シテ、非  
常ニ廉價ト云フモノガ貨物ニ比シテ、非

ル、斯ウ云フ行キ方デ、縣内ニ於ケル調節  
ヲ、丁度吾々ガ全國ノ早稲地方ニ對シテハ  
早ク持ツテ行ク、遅稲地方ニ對シテハ遅ク  
持ツテ行クト云フヤウナ調節ヲ致シテ居ル  
ト同様ノ調節ヲ圖ツテ裁カナケレバナラヌ  
ト思フノデアリマス、只今御述ニナリマシ  
タヤウニ、六月ノ製造ノモノガ農家ニ渡ツ  
テモ是ハ殆ド意味ヲ成サヌト云フヤウナ御  
言葉デアリマスガ、今私ノ申述ベタヤウナ  
實情ガゴザイマスノデ、吾々ト致シマシテ  
ハ必ズシモ御意ノヤウナコトデモアルマイ  
出ルルデケハ早ク農家ノ手ニ渡ルヤウニ  
配給上ノ敏捷圓滑ヲ圖ラナケレバナラヌ  
ト云フコトハ深ク考ヘテ居ルノデアリマス、  
此ノ點ニ付キマシテハ、本委員會ニ於テ  
モ申上ゲタノデアリマスガ、是ハ吾々ガ  
ケデハ到底出來ナイノデアリマス、此ノ配  
給ノ事務ニ携ツテ居ル所ノ各ノ機關ガ一  
致協力ヲシテ總動員ヲシテ、此ノ配給ノ圓  
滑迅速正期スルト云フ目標ニ向ツテ一  
致ノ態勢ヲ以テ協力ヲ致サナケレバナラヌ、  
斯ウ云フ風ニ考ヘテ居ル次第デアリマス

○吉植委員 今ノ御答辯ガ成程一應ハ安心  
ガ付ク氣持ガ致シマスガ、併シ餘程其ノ點  
ハ政府ノ方デ計畫ヲ以テ臨ンデ下サイマセ  
ヌト、唯普通一般ノ角度デヤツテ裁タト、  
私ガ心配シタヤウナ結果ニナルト思ヒマス、  
ト申シマスノハ、私、部長其ノ他當局カラ  
屢々承ツテ居ルタノデアリマスガ、例ノ確  
安、石灰窒素ヲ米麥中心主義ニ置イテ、他  
ハ六割五分、米麥ハ八割五分、斯ウ云フ御  
話ヲ聽キマシタガ、是ハ、委員會デモ御  
聽キノコトト思ヒマスガ、同一農民ガ之ヲ  
使用スル際ニ、單ナル獎勵デアルトカ、或

マス、サウスルト關係ニ依ツテ一部分ニ於テ  
ハ此ノ受渡ガ十分ニ行カナイ、或ハ又地方  
的ニハ吹雪ノ關係等ニ依ツテ一時翌月ニ廻  
ルトカ、ソレカラ又地方ニ依リマスレバ、  
地方ニ於ケル配給機關ノ指圖等ガ著シク遅  
レタ爲ニ、荷物ノ積出シ難クナリト云フヤ  
ウナ事實、色々サウ云フヤウナ理由ニ依リ  
マシテ受渡ガ遅レタコトト私ハ想像致シテ  
居ルノデアリマス、確定ナリ過渡期其ノモ  
ノハ、吾々ノ割當テマシタ月限月通リノ配給  
ヲ致シマシテ支障ヲ來サヌコトニナツテ居  
リマス、殊ニ確定ノ如キハ事實問題ト致シ  
マシテ、相當程度ハ線上ニ配給ヲ致スコト  
ニナツテ居ルヤウニ私ハ承知ヲ致シテ居ル  
ノデアリマス、配給ノ遅延ト云フコトト生  
産ノ實績ト云フコトトガ、直チニ因果關係ヲ  
持ツト云フコトハ現在ノ所デハナイヤウナ  
實情ニナツテ居リマス、ソレデ此ノ配給機  
關ノ活動ト云フコトト重點ヲ置キマシテ、  
此ノ指圖ヲ靈活ニ中央機關ニ對シテシメ  
ルヤウニ、此ノ受渡上ノ圓滑敏捷ヲ圖ルヤ  
ウニ、各地方長官等ニ對シテモ進言ヲ致シ  
テ居ルヤウナ狀況ニナツテ居リマス

○吉植委員 實ハ過渡期電力ニ關スル色々ノ  
質疑應答アタリヲ聞イテ居リマシテモ、此  
ノ電力ノ不確實性ト云フコトト、ソレカラ  
又石炭ニ依ル確定製造ニ於テ優良炭デ行キ  
マスノト、粗悪炭デ行キマスノトデハ、製  
造能力ニ於テ同一設備デモ直グニ二割、三  
割ノ減産ヲ來ス、斯ウ云フコトト到ル處ノ  
委員會デ亦ツテ居リマシタ、サウスルト一  
二月トノ漏水期ニ石炭價騰、其ノ上ニ  
優良炭價騰ト云フコトト相繼ニ行ケレバ、大  
減産ヲ來シテ居ルノチヤナイカ、斯ウ云フ

ハ取ナル指導方針ト云フヤウナコトトハ到  
底出來マセヌノデ、米麥低價政策ヲ今日政  
府ガ執ツテ居リマス時ニ、他ノ生産品、生  
鮮食糧其ノ他ハ今カラ政府ガ統制ニ乗出シ  
テ居ルヤウデゴザイマスガ、今マデハ野放  
圖ニ之ヲ抛置シテ居リマシタ、雜穀ハ値上  
リニナツテ居ル、其ノ他一般農産物ノ値上  
リノ中ニ於テ獨リ米麥ノミガ統制ヲ食ハネ  
バナラヌト云フ状態ニナツテ居リマシテハ、  
如何ニ政府ガ米麥中心主義ヲ唱ヘテ、肥料  
ヲ其ノ方ニ向ケヨウト致シマシテモ中々行  
キマセス、是ナドモ農會法ノ改正ト云フヤ  
ウナ本日上程ニナリマスガ、通達致シマ  
シタ曉ニハ、何カソコニ又一ツノ途ガ開カ  
レルコトト思ヒマスガ、只今マデノ方針デ  
ハ到底其ノコトモ行ハレナイト思ヒマスガ  
レドモ、只今申上ゲマシタヤウニ、六月以  
降ノ六月、七月ノ二十萬噸近イ確定ト云フ  
モノガ米作ニハ到底向カナイイ、麥作ニハ  
勿論向カナイコトニナツテ居リマスカラ、  
餘程此ノ米麥中心主義ト云フコトト計畫的  
ニ、或ル意味ニ於テハ強制的ニ之ヲ農村ニ  
實施致シマセヌト重大ナ結果ヲ來スト思ヒ  
マス、昨年ノ實績ニ比ベマシテ、私ガ一寸  
算盤ヲ當ツテ見マシタ、一月カラ七月マデノ  
實績約三十萬噸バカリ昨年ニ比ベテ今度ノ  
豫想ガ其ノ通り行キマシテモ是リマセス數  
字ニナツテ居リマス、其ノ上ニ増産計畫ノ  
分マデ入レマシタ四十萬噸以上ノ不足ヲ來  
スト云フ數字ガ出テ居リマスノデ、其ノ乏  
シキ中ニ外安ヲ入レ、智利硝石ヲ入レ、色々  
ナ工作ヲ行ケタト、ソコニ滿洲ノ大豆ヲ  
持ツテ來テ、初メノ農林省ノ計畫ニ於テハ  
三十九萬噸ノ大豆硝石確定代リニ入レテ補  
フ付ケヨウトシタ計畫モ、今日ハ實行不可

能ト云フヤウニ私ハ迷ジテ居リマス、今  
日農村ニ歸リマシタ何ヨリモ肥料ヲドウシ  
テ與レマスカ、肥料ガ來ナケレバ米麥收穫  
マセヌト云フノガ農村一般ノ心持デアリマ  
ス、此ノ點農林省トシテモ色々御苦心ノ存  
スル所トハ思ヒマスガ、此ノ際數字ニ付テ  
ドコガドウト云フ御答辯ヲ煩ハスコトハ避  
ケタ方ガ宜イト思ヒマスガ、御答辯ハ願  
ヒマセスガ、兎ニ角足リナイト云フコトト  
ハ、部長ニ於テモ御承知ノコトト思ツテ居  
リマス、唯辻褄ヲ合セテ、數字上足リル、  
斯ウヤツテ行ケバ是ルノダカラ安心シ  
サイト言ツテモ、農村自體ハソレデハ安心シ  
テ居リマセヌ、ソレヨリモ寧ロ、斯クハ  
斯クハ點デ努力ハシテ居ルノダガ、此處マデハ  
行クガアトハ行キサウモナイ、アトハ農林省  
デモ計畫ガアルヤウデゴザイマスガ、豆ヲ  
碎イテ綠肥ヲ採ルト云フ方向デアルトカ、  
或ハ堆肥製造ニ依ツテ之ヲ切抜ケテ行クト  
カ、其ノ方ノ増産獎勵ト云フモノト是ハ伴  
ガ、此ノ方モ唯通り一遍ノ増産計畫デハド  
ウニモナルマイカト考ヘマス、ソコデ私共  
ガ調査シマシタ所ニ依リマス、藥百貫ヲ  
以テ確定ニ百貫、是デ堆肥ヲ造リマス  
堆肥ガ約二百貫出來マス、而モ是ハ連成堆  
肥デゴザイマス、一箇月乃至一箇月半デ出  
來マスノデ、マダ十分間ニ合フ時期デアリ  
マス、其ノ成分ハ百貫ノ堆肥ニ於テ窒素ガ  
一貫、過磷酸ガ六百、加里ガ一貫、  
斯ウ云フ成績ガ出ルト思ヒマス、サウスル  
ト加里鹽ニ於テハモウ日本ノ内地ニ於テ  
獲得スル希望ハ政府モ堆肥ヲ居リマセウシ、  
農村モ堆肥ヲ居リマス、其ノ際此ノ連成  
堆肥ニ依ツテ、ナキ所ノ加里鹽マデモ一時

ウ終ツテ居リマスガ、米ノ方モ大體ニ於テ  
關西並ニ九州ノ一部ト云フヤウナ所以外  
ハ、六月中ニ田植ガ済ンデシマフ、六月ニ  
製造ヲレマシタ確定ガ配給ヲ見ル時ニ、  
餘程改善ヲシマシテモ、只今ノ一月ノ  
配給實績ガ四割五分減ト云フヤウナ數字ヲ  
見テモ分リマス通り、六月一杯ニ出來タ確  
安ガ七月一杯ニ農村ニ配給相成ルト云フヤ  
ウナコトハ到底想像モ出來マセス、縱シバ  
七月一杯ニ配給ニナリマシテモ、是ハ餘程  
特殊技術ノ發達シタ農民デナイ限りハ、確  
安ヲ七月ニナツテ追肥ニ用ヒルト云フコト  
ハ收穫ノ安定ヲ缺キマシテ、却テ惡結果ヲ  
來スコトガ多イデアリマシテ、サウスルト  
スト六月七月製造分約十八萬噸餘リハ、是  
ハ政府ノ豫算ニハ載ツテ居リマシテモ、農  
民ノ本當ニ米ヲ作レ立タナイ部分ト思  
ヒマスガ、之ニ付テドウ御考ニナリマスカ  
○重政政府委員 六十六萬四千五萬噸ノ春肥  
ニ對スル確定ハ是ハ全部米作ニ充ガフ爲ニ  
考ヘテ居ルノデアリマス、六月  
七月ノ餘ニ於キマシテ尙ホ確定ヲ施與スル  
作物ハ御承知ノ通りデアラウト思フノデア  
リマス、現ニ桑ノ如キハ其ノ時期ニ於キマ  
シテ追肥ヲヤラナケレバナラヌト云フヤウ  
ナ事情モアラウト思フノデアリマス、私達  
ノ方ト致シマシテハ、過去ノ各府縣ニ於ケ  
ル限月ノ實績ヲ基準ニ致シマシテ、配給ノ  
限月ヲ定メテ居ルノデアリマスガ、具體的  
ニドウト云フコトハ、申上ゲ難クナリマスガ、  
サウスルト實情カラ割當テテ居ル限月別割當  
ノ數量ヲ決メテ居ルノデアリマスルカラ、  
是ハ各府縣ニ於カレテモ、各府縣内部ニ於  
テ、早ク施與スル所ニハ早イ限月ノモノヲ  
持ツテ行ツテ使フ、遅クテ宜イ所ハ遅ク

第六期第十一號 日本肥料株式會社法案委員會議錄 第八回 昭和十五年三月十四日

一四

一四五

トシマシテ全國十三大都市其ノ他ノ都市ニ於テハ、塵芥ト云フモノハ非常少數量ニ上ツテ見マシテ、深川塵芥堆場ニ於テマシテ之ヲ處理致シテ居リマス、扇機ヲ用ヒテ之ヲ燃焼シテ灰ニシテシマヒ、其ノ灰ヲ民間ニ拂下セテ居ル、一年ニ三千噸カド拂下セテ居ル、此ノ塵芥ヲ始末スルノ二十五年間掛ツテ居ルコト云フヤウナコトモ聞イテ居リマス、所デ今堆肥材料ニ困ツテ居リマス農村ニ取ツテハ實ニ天與ノ堆肥材料デアリマシテ、此ノ堆肥材料ニ依ツテ作りマシテ堆肥ハ、普通ノ農家作リマス堆肥ニ比ベマシテ成分モ非常ニ多クイノデゴザイマス、例ハ普通堆肥ノ肥液ト云フモノハ百貫ノ中デ、前ニハ硬安方一貫宛ト申上ゲマシタガ、此ノ方デハ二貫宛以上ニナラフ居ル、鑄鐵ガ六百宛デアリマスモガ此ノ方ハ九百四十宛ニ相成ツテ居ル、加里ガ一貫宛デアリマシタガ此ノ方ガ一貫七百九十宛、其ノ他ノ有機物ガ四十二貫出ル、斯ウ云フヤウナ成分ニ相成ツテ居リマスカラ、此ノ塵芥ヲ農家ノ方ニ巧ク處理セシムルコト云フヤウナ途ヲ執リマシテ、是ハ肥料飢饉ノ年ニ當リマシテ大イナル救済材料トナルモノト存ジテ居リマス、農家はガ欲シイノデアリマスガ、御承知ノ通り、ガソリン「ガソリン」モ、其ノ爲ニ運搬ガ不可能ニ相成ツテ居リマス、是ハ塵芥、他ノ委員モアウツテ話デ、私モ農林總局ガ其ノ點ハ申述ベタノデアリマスガ、外國カラ外米ヲ輸入シテ居リマス、コトニ比ベマシタ、此ノ際ニ要シマス所ノ「ガソリン」ト云フモノハ、同ジ海外ニ金ヲ支拂フニ致シマシテモ、米ノ何十分の一、ハ計画的ニヤラナケレバナラズト云フ風ニ考ヘマシテ、折角今マデ所管ノ方面ニ於テ計畫ヲ立テテ居ル次第デアリマス。

○吉植委員 ソレニ付キマシテハ私共ノ方ノ實情ヲ、多少参考ニオナリカト思ヒマス。カラ申述ベマスガ、只今農村ニハ糞ガドクシテシタツテ居リマス、糞ノ原料トシマズ製紙工場、或ハ馬糞其ノ他特ニ軍ノモノガアリマスガ、是ハ致シ方ガナイデアリマセウガ、兎ニ角一把三錢四錢ト云フ値段ヲ以テ取引サレテ、是ガ農家ノ手カラ離レテ居リマスカラ、一刻モ早ク此ノ糞ヲ考ヘ、糞ノ移出禁止令ト云フヤウナモノヲ設ケテ「併シ」ハ糞ノ移出禁止令デアナリマセヌノデ、各町村カド他町村ヘノ移出禁止令ト云フヤウナ者マデ行キマセヌト、折角此ノ糞計畫ガ立チマシタ、實行ニ著手シヨウトスル時ニ、糞ガナナルト云フヤウナ心配ガ多クイノデゴザイマスカラ、是ハ一ツ御参考ニ供シテ戴キタウゴザイマス、御承知ノ通りニ地足袋ガアリマセヌノデ、山ニ行ツテ袋ヲ州ツテ來テ堆肥ニスルニハ、地下足袋ガアリマセヌノ十分ニ參リマセ、平野ニ於キマシテハ軍供出ノ乾草ノ割當數量ヲ確保スル爲ニ「刈ツテ」居リマスカラ、草ガナクナツテ居リマス、殊ニ冬ニナリマシテ霜ニ打タレマシタ草ハ殆ド容量ガアリマセヌ、四月ニナツテ草ガ萌エ出シマシテ、之ヲ堆肥ニ積マウトスル時ニハ勞力不足、糞糞期ニ向フ時デ其ノ假ガゴザイマセヌ、ドウシテモ糞ニ頼ル外ナイ時ニ、糞方以上ノヤウナ譯デアリマスカラ、此ノ點一ツ特ニ御注意願ヒタイノデアリマセ、

次ニ一ツ御参考シタイコトハ、東京ヲ中心トシマシテ全國十三大都市其ノ他ノ都市ニ於テハ、塵芥ト云フモノハ非常少數量ニ上ツテ見マシテ、深川塵芥堆場ニ於テマシテ之ヲ處理致シテ居リマス、扇機ヲ用ヒテ之ヲ燃焼シテ灰ニシテシマヒ、其ノ灰ヲ民間ニ拂下セテ居ル、一年ニ三千噸カド拂下セテ居ル、此ノ塵芥ヲ始末スルノ二十五年間掛ツテ居ルコト云フヤウナコトモ聞イテ居リマス、所デ今堆肥材料ニ困ツテ居リマス農村ニ取ツテハ實ニ天與ノ堆肥材料デアリマシテ、此ノ堆肥材料ニ依ツテ作りマシテ堆肥ハ、普通ノ農家作リマス堆肥ニ比ベマシテ成分モ非常ニ多クイノデゴザイマス、例ハ普通堆肥ノ肥液ト云フモノハ百貫ノ中デ、前ニハ硬安方一貫宛ト申上ゲマシタガ、此ノ方デハ二貫宛以上ニナラフ居ル、鑄鐵ガ六百宛デアリマスモガ此ノ方ハ九百四十宛ニ相成ツテ居ル、加里ガ一貫宛デアリマシタガ此ノ方ガ一貫七百九十宛、其ノ他ノ有機物ガ四十二貫出ル、斯ウ云フヤウナ成分ニ相成ツテ居リマスカラ、此ノ塵芥ヲ農家ノ方ニ巧ク處理セシムルコト云フヤウナ途ヲ執リマシテ、是ハ肥料飢饉ノ年ニ當リマシテ大イナル救済材料トナルモノト存ジテ居リマス、農家はガ欲シイノデアリマスガ、御承知ノ通り、「ガソリン」ガ「ガソリン」モ、其ノ爲ニ運搬ガ不可能ニ相成ツテ居リマス、是ハ塵芥、他ノ委員モアウツテ話デ、私モ農林總局ガ其ノ點ハ申述ベタノデアリマスガ、外國カラ外米ヲ輸入シテ居リマス、コトニ比ベマシタ、此ノ際ニ要シマス所ノ「ガソリン」ト云フモノハ、同ジ海外ニ金ヲ支拂フニ致シマシテモ、米ノ何十分の一、

食糧ヲ確保スルコトガ日本ノ興亡ノ岐路デアルト云フヤウナ立場ニ於テハ、各戸ニ強制的ニ之ヲ増産セシムルコト云フ案ヲ用ヒレバ直チニ實行出來ルデアリマセヌカラ、假ニ五百六十萬戸アリマス農家ノ中約四百萬戸ニ五畝歩ツツノ薩摩芋増産ヲ割付ケル、サウシマスト、五畝歩デ、日本ノ平均收穫量ニシマシテ百七十五貫ト云フ收穫量ヲ得ルコトガ出來ルカラ、ココデ四百萬戸ノヤルト云フト、忽チニ六億何千萬貫ノ薩摩芋馬鈴薯ガ出來ル、一戸五畝歩ツツ全戸數ガ作ルト云フコトハ苦痛デゴザイマセウガ、特殊事情ノ農家百六十萬戸ヲ除イテ残りノ四百萬戸ノデ之ヲ作ルコトハ、大シタ苦痛デアリタ、云フコトヲ吾等話合ワクノデアリマスガ、速成堆肥ノ如キモノモ左様ノ計畫ニシテ、ドレンダケノ硬安方ドウ足リナイカラ、ドレダケノ加里量ガドウ足リナイカラト云フコトハ、能ク當局ニ於テハ御分リノ答デアリマスカラ、然ル上ハ米七千五百萬石ヲ穫ルニハアドレダケノ糞肥ナリ速成堆肥ナリデ之ヲ補ハネバ相成ヌカ、其ノ時ニ此ノ堆肥ハ強制的ニ各農家ニ之ヲ行フ可能性アルモノニ向ツテ、各戸何百貫或ハ何千貫増産ト云フ方針ニ出ラレルナラバ、直チニハ確實ニ獲得ガ出來ルノデゴザイマスガ、サウデナクシテ單ナル一片ノ指導獎勵デアリマシテハ、是ハ中々容易ナコトデアリナイと思ヒマス、政府ハソコマデ積極的ニ突進シテナタル必要アリト確信致シマスガ、ドウ御考ナリマスガ。

○重政政府委員 甘藷ノ増産ニ付キマシテモ御説明ノヤウニ漫然タル指導獎勵ノ増産デアハ、中々大増産ト云フヤウナコトハ困難ナコトト考ヘマスガ、ドウカ出來ル限リ是ト思ヒマスガ、サウ云フ點ニ御考及ビニナリマシタウカ、又將來御考下サイマセウカ、此ノ點ヲ御伺致シテ置キマス。

○重政政府委員 塵芥及ビ糞尿ノ肥料資源トシテノ利用ニ付キマシテハ、御説明ノ通りニ極メテ大切ナコトデアリマス、既ニ御承知ノヤウニ名古屋市ニ於キマシテハソレ等ノモノヲ相當ナ設備ヲ致シマシテ、是等ヲ活性化シテ處理シ肥料ニ産ミ出シテ居ルヤウナ事情ニ相成ツテ居ルデアリマス、東京市ニ於キマシテハ既所ノ水洗式等ニナラト云フヤウナコトモ聞イデ居ルノデアリマスガ、東京市ノ附近ノ農村ニ糞尿ノ還元スル必要ガアルト云フコトハ御説明ノ通りデアリマス、「ガソリン」ノ御話ガ出マシタガ、實ハ之ヲ近郊ニ運ビマス爲ニ要スル「ガソリン」ニ付キマシテハ、特別ナ考慮ヲ致シマシテ是ガ配給ヲ考ヘテ居ルヤウナ次第デアリマス、又神戸、大阪等ノ大都市ニ於ケル糞尿等ヲ、或ハ船ヲ以テ他ノ府縣ニ運ブト云フヤウナ計畫モアルニ聞イテ居ルノデアリマスガ、政府ト致シマシテハサウ云フヤウナ御計畫ニ對シテハ出來ルダケ御援助ヲ致シマシテ、ソレ等ノモノノ肥料資源トシテノ利用増進ニ努メタイト云フ考ヲ持ツテ居ル次第デアリマス。

○吉植委員 最後ニ一ツ御参考シマシタ東京市ニ於テ糞尿ヲ、東京市ニ糞尿ニ利根川ヲ運航スルナリ、利根川ノ下流ニ下ルナリノ計畫ヲ立テマシテ、附近ノ農村ニ配給スル、斯ウ云フコトニ付テノ御考ハドウデスカ。

○重政政府委員 具體的ニサウ云フ御計畫ガアレバ十分ニ伺ツテ見タイと思ヒマスガ、又ソレ等ノコトモ漸次計畫致シマシテ此ノ資源ノ利用ニ努メナケレバナラズト考ヘテ居リマス、併シ御承知ノヤウニサウ云フヤウナ汚物ヲ配給致シマスノニハ、受ケル方ニ於キマシテモ或ル程度ノ設備ガ必要デアラウト思フノデアリマス、而シテ其ノ設備トシテソレ等ノコトハ十分考ヘナケレバナラズト考ヘテ居リマス。

○吉植委員 只今東京附近ノ町村ニ於テハ「ガソリン」ニ依ル配給方法ヲ執ツテ居リマシテ、是ガ糞尿運搬ノ地元デ遺リマシタ「トラクター」ニ依ツテ運バレマシタモノヲ受ケテ居ルマシタ、御承知ノヤウニ「ガソリン」ガ缺乏ニナリマシテカラハ、東京市ヲ中心トシテ十數里ノ半径内ノモノガ配給ヲ受ケマシタノガ、段々縮小サレテ今日ニ來テ居ル譯デアリマス、何レ大川筋上流下流ニ是ガ配給ヲ受ケルコト云フヤウナコトニナリマシレバ、河岸ニ運搬設備ヲ地元ニ於テ造ルコトハ容易ナコトト存ジマス、是非ハハ一ツ農林省トシテモ、肥料ガ足りナイデ困ツテ居リマス時ニ、肥料ガムシ「糞」ラレテ、而モ東京灣沿岸ノ海苔業者、其ノ他漁業者ニ運搬及ボシテ居ルノデアリマシタカラ、國家ト致シマシテモ、ヤハリ是ハ善處スベキ責任ガアルト信ジマス、ドウカ今一段ト積極的ニ此ノ處理方ニ付テハ、御折衝ヲ願ヒタイト存ジマス。

ソレカラモウ一ツ御参考シタイノデアリマスガ、私實ハ補給令今日此處ニ出シ拔ケニヤツテ參リマシテ、前ニ斯ウ云フヤウナ點ニ於テ質疑應答ガアリマシタカ存ジマセウガ、若シアリマシタラ、アツタカラ其ノ速記録ヲ見ロト仰シヤツテ下サレバ、ソレデ宜シウゴザイマス、此ノ配給會社ニ依リ

又ハ何百分ノ一デ濟ム數字ト吾々ハ考ヘマス、外國ヘ金ヲ支拂フテ此ノ「ガソリン」ヲ買ツテ來ルト云フヤウナ所マデ行ツテ、斯様ナモノヲ糞尿ニ與ヘルト云フ御處置ニ出テ貰ヒタイと思ヒマスガ、ドウデゴザイマセウカ、序デアリマスカラモウ一ツ附加ヘテ申上ゲテ置キマスガ、東京、大阪、名古屋、京都、神戸、横濱、此ノ六大都市デ毎日出來マス糞尿ノ量ガ百五十萬貫アリマス、其中堆肥致シタル飼料ニナリマスモノガ七十一萬一千貫ト云フ推定ニ相成ツテ居リマス、ソレニ東京市デケル糞尿ガ三萬五千石アリマス、三萬五千石ノ糞尿ト、東京デケデ一日四十萬貫ノ堆肥材料ガ出來マス、此ノ三萬五千石ノ糞尿ト四十萬貫ノ堆肥材料トヲ以テ堆肥ヲ製造致シマスト、今申述ベマシタ肥液ト云フモノハ更ニ五〇%ノ増進ヲ見ルト思ヒマス、斯ウ云フ事情ニ相成ツテ居リマス、此ノ糞尿ハ御承知ノ通り東京市ニ持ツテ行ツテ糞尿ヲ居ルノデアリマシテ、是モヤハリ「ガソリン」ガナイ爲ニサウナツテ居リマスガ、東京市ニ持出スモノハヤハリ石炭ニ依ル所ノ曳船ニ依ツテ持出シテ居ルト存ジマスガ、之ヲ逆ニ東京市ニ糞尿ヲ所ノ糞尿ヲ利根川ヲ遊リ或ハ荒川ヲ遊ツテ、此ノ大キナ川ノ上流下流ニ給與スルト云フセウニスレバ、東京市ニ糞尿ヲ沿岸住民ガ困ツテ居リマスコトニ比較シテ、東京市ノ清掃トモナリマス、反面或ハ東京市ニ持ツテ行キマスヨリモ行程ガ長クナルナラバ、其ノ長クナツタ行程ガケノモノハ糞村カラ支拂ハシメルト云フコトニシテ、糞村ニ配給スルヤウニ致シマシタナラバ、糞村ニ糞尿ヲ配與スル所大ナルモノガアル

マシテ肥料ヲ配給スルト云フコトハ、一體是ハ手數料主義ヲ原則トシテ行クノカ、營利主義ヲ原則トシテ行クノカ、此ノ點ヲ承ツテ置キマス。

○重政政府委員 勿論手數料主義行クノデアリマシテ、營利主義デアリマセヌ。

○吉植委員 實ハ私ノ縣アタリデハ昨年糞肥配給ニ當リマシテハ、商人系統、産組系統ノ二本建ヲ以テ配給ニ當ラセマシタ、サウ致シマスルト、産組系統ハ御承知ノ通り手數料主義デ是ノ配給ニ當リマシタ、商人系統ノ方ニ於キマシテモ團體ヲ持マシテ、ヤハリ手數料主義ニ對シテ配給ヲ致シマシタ、其ノ中機關ガ二錢、問屋四錢、小賣業八錢、斯ウ云フヤウナ立派ナ統制ヲ整ヘテ配給シタノデアリマシタガ、諸君實際ニ於テ行ハレタ所ヲ見マシルト、御承知ノ通り、利ヲ探グ出スノガ商人デゴザイマシタ、商業ト云フ中ニハ手數料ト云フ意味ハ含ンデ居リマセヌ、營利ト云フコトガ商業ノ根本精神ニナツテ居リマス、其ノ商人ヲ廢業セシメズシテ、營利ヲ旨トスル商人ガ、商人ト名乗リツツ手數料主義ノ社會政策的團體ノナルコトヲヤツタト云フコトデ、ソコニ矛盾ガ生ジマシテ、ドウシテモ商業ノ魂、即チ商魂ガ是ハ八眼視スルコトガ出來ナカワタモノト見エマシテ、此ノ配給ニ當ツテハ、問屋業ヲ營ンデ居リマス者ガ、自己ノ勢力範圍ニ多數直營小賣場ヲ持、マシタ、自己ノ四錢ト其ノ小賣カラ來ル手數料八錢ト合計十二錢ヲ食ルト云フ結果、配給數量ト結果ハ、當然他ノ廣汎ナル地域ニ配給スベキ所ノ肥料ガ乏シクナリマシタ結果、或村ニハ零、或村ニハ一割八分、或村ニハ三



タ爲ニ葉質不良デアツタ、其ノ爲ニ軟化病方出タト云フコトニナツテ居ルノデアリ...

フヤウナコトモ色々御話ガゴザイマシテ考究致シテ居ルノデアリマス、斯ウ云フヤウ...

タケレドモ通ラナカツタノカ、或ハ御主張ニモナラナカツタノデアリカ、是ハ實ニ養...

ヤウナコトニナツテ居ルノデアリマス、此ノ際ハ此ノ際ニナツテ居ルノデアリマス...

作ツテ之ヲ割當テルカ、或ハ又平等ニ割當テルガ宜イカ、或ハ「ランキンダ」ヲ作ル際...

其ノ次ハ、養蠶地帯ハ硫安ガ貫ハナイ關係上豆粉ヲ使用スル、斯ウ云フコトニナリ...

モ、申サセウ行カヌ點モアルノデアリマス、又人爲的ニ高クスルヤウナコトハ却テ弊害...

農民ハ之ニ對シテ溜レル者ハ糞ヲモ摘ムドンドン、ヤル、製絲家ガドウ云フ譯デ石灰...

○平野委員 大變譯イヤウデスガ、モウ一遍承ツテ置キタイノハ、不幸ニシテ私ガ愛...

○吉田政府委員 養蠶地帯ニ於ケル一大問題デアリマスガ、本日ハ肥料ノ委員會デアリ...

○平野委員 ソレカラ最近養蠶地帯、山梨縣等ニ於テハ斯ウ云フ事柄ガ現ハレテ居ル...

○重政政府委員 石灰ハ實ハ肥料ト云フ譯ニハ參ラナイノデアリマス、御承知ノヤウ...





ヨ同ヒタイ  
○重政政府委員 最高ノ生産費ニ割引ヲ加ヘタモノヲ以テ、詰リ最高ノ生産費主イデ此ノ値段ハ決メルモノデアリマセ、此ノ中ノ生産費ノ算出ヲ致シマスハ、各社ノ生産費ト製造數量ト云フヤウナモノヲ見合セマシテ、所謂調和平均シテソレヲ出シ、トニナツテ居リマス、隨テ結果カラ申セバ、先程御配リシテ生産費決定法ハ決メテ致シマス、生産費ガソレヨリ以下ノモノガアリ、生産費ダケガソレ以上ノモノガアルノデアリマス  
○森田委員 サウスルト一體公道価格ナルモノニ依ツテ損ヲスルヤウナ製造業者モ出テ來ルト云フヤウニナラウト思ヒマスガ、其ノ點ハドウナルノデモカ  
○重政政府委員 ソレハ程度ノ問題デラウト思ヒマス、損ヲスル會社ト云フ風ハ御覽ヲ載クヨリハ、普通ノモノノ利率ガ假ニ八分ト云フ風ハ見込ミマシテ、サウ云フヤウナ會社ノ利率ガ三分ニナリ、或ハ四分ニナリ、詰リ儲ケガ少イト云フ風ハ御覽ヲ載イタ方ガ宜カラウト思ヒマス

○森田委員 言葉ハドツチデモ宜イノデスガ、結局サウスルトハハリ損ヲサセナイト云フ程度ノ價格ヲ決メルトニナルノデアリマセウ、サウスルト最モ生産費ノ掛ル會社デモソレニ幾ラカ利ヲ見ルト云フヤウナ形ノ公道價格ニナルノデアリデセウカ  
○重政政府委員 ソレハ要スルニ各社ノ生産費ノ間ノ開キガ非常ニ莫大ナルノガアルカナイカト云フコトニ問題ガ懸ツテ來ルト思ヒマスガ、現狀ニ於キマシテハ平均ノ生産費カラ行ケバ、直接生産費ヲ割ルト云フヤウナコトニナル會社ハ恐ラク極メテ

○森田委員 結局生産費ハ割ラス、サウスルト若干ノ利潤ヲ恐ラクハアルドラウト思フノデス、殊ニ斯ウ云フ統制ヲシテ居ルノデアリマスカラ、損ヲサセマデ會社ガヤツテ居ルトハ考ヘラレナイノデアリマス、サウスルトハハリ多數アル中ノ生産費ガ比較的多ク掛ツタ會社、ソレモ若干ノ利潤ヲ見ルヤウナ形デ公道價格ガ出來テ居ルノダラウト思フノデス、其ノ中庸ノ標準價格カ何トカ云フ言葉ハ假ニアツテモ、ドウモ中庸ト云フコトハ双方ノ平均ヲ取ツテ中庸デハナイノデセウカラ、其ノ點マダハツキリ致シマセ  
○重政政府委員 是ハ一定ノ生産費ノ中庸ノ生産費ヲ算定シマスコトニ方針ヲ決定シテ居リマスカラ、ソレニ依ツテ重要肥料業ヲ統制法ヲ運用致シテ今日ニ至ツテ居ルノデアリマス、今御述ニナリマシヤウニ、イカ減ト申シテハ甚ダ言葉ガ惡イノデアリマスガ、吾々ノ所デイカ減ニ細工ヲシテ中庸ノ生産費ヲ出スコトハ出來ナイコトニナツテ居リマス、隨ヒマシテ生産費ノ安イノト高イノト、極端ト極端ト間ニ非常ナ開キガアル場合ハ、是ハ御覽ヲヤウニ已マラ得ズ直接生産費ヲ割ツテモ仕方ナイト云フコトニ運用上ナツテ居ルノデアリマス、所ガ事實上ノ問題ト致シマシテハ、幸ニシテサウ云フヤウナ問題ニハナラナイノデアリマス、或ハ會社ニ依ツテハ全然其ノ利率ハ見込ミ得ナイト云フ會社モ、小サイ會社ハハ一ツ位アルカモ知レマセ、併シ是モ

償却ノ點ニ付テ我々思ヘスナラバソレ何トカ行ケル、實際問題トシテハ行ケルト云フコトニナルノデアリマス、合理的償却ハ勿論出來ナイコトニナリマスガ、直接生産費ヲ割ルト云フ所マデハ至ツテ居リマセマシガ、結局大體ニ於テ同ジヤウナ見方ニナルトハ、私ハサウ云フ等ガアルモノダラウト云フ前提ノ下ニ考ヘテ、肥料ノ増産ヲ圖ル爲ニ今度助成金ヲオヤリナサルト云フ御計畫ノヤウデゴイマスガ、サウスルト其ノ助成スト標準ハ一體何處カラドウ云フヤウニシテ其ノ價格ガ決マテ來ルノデゴイマスガ、其ノ點ハツツ...

○重政政府委員 今回助成ヲ致シマスニ付テノ豫算ノ算出内容デアリマス、是ハ前回モ他ノ委員カラ御質問ガアリマシテ、御答ヲシテ置イタノデアリマスガ、大體標準ノ中庸ノ生産費ノ根據ニ致シマシテ適正價格ト云フモノヲ一應考ヘマシテ、現在ノ公道價格トノ差額ト云フモノガ一ツノ標準ニナルノデアリマス、此ノ中ニ生産費ノ非常ニ掛ル、詰リ製造方法ニ依ツテハ此ノ時局下ニ於テ非常ニ生産費ガ著シク増嵩ヲ致ス會社ガアルノデアリマスガ、サウスルト會社ニ付キマシテハ別個ノ取扱ヲシテ多額ノ助成金ヲ與ヘル、其ノ他ノ會社ニ對シテハ助成金ノ交付ヲ薄ク致ス、大體今申上ゲタヤウナ助成金ノ交付ノ致シ方デヤリタイト云フノデ、其ノ意味ニ於テ豫算計上シテ居ル次第デアリマス  
○森田委員 ソコ御同致シタイノハ、先

體ニ於テ製造業組合決定メタモノヲ政府ガ轉送ヲシテヤツテ居ルノデアリマセ、是ハ能ク御承知ノ通りドラウト思ヒマス、之ヲ決定スルノニハ相當ニ政府トシテモ苦心シテヤツテ居ルノデアリマス、其ノ材料ガ今御要求ニ依ツテ提示致シマシタ生産費ニナツテ居ルノデアリマス、此ノ生産費モ實ハ製造業組合等ニ於テハ中々ノ内容ノ生産費ハ各社ガ出サナイノデアリマス、政府ハ法律ニ依ツテ是ガ報告ヲ求メテ居ルデアリマス、其ノ爲ニ政府トシテモ責任ガアリマスカラ、是ハ法律ニ依ツテ其ノ職ニ在リタル者若クハ職ヲ去ツタ後ト雖モ、職ニ在リタル時代ニ知ツタ所ヲ後代表ハス者ハ罰則ノ適用ヲ受ケルト云フコトニナツテ居ル位ノモノデアリマシテ、其ノ材料ニ基イテ政府ハ合理的な値段ノ認可ヲ致シマス、範疇ニ高クヤツテ來タモノハ之ヲ修正シテ變更認可ヲ致スト云フヤウナコトニ相成ツテ居ルノデアリマス、只今色々御述ニナリマシタ點ハ、私ソレモ一ツノヤリ方デアルト考ヘマスガ、各社ノ製造ノ生産費ノ實積ニ依ツテソレヲ個々ニ違ヘテ買上ゲルト云フヤウナ行キ方ソレコトガ、生産確保ノ上カラ行ケバ相當ノ「ブレイキ」ニ相成ルコトト考ヘテ居リマス、ソレハ或ハ先程申シマシタヤウニ、會社ニ依ツテハ大イニ技術的ニ改良ヲ施セバ能率ガ上ル會社モアルノデアリマス、或ハ經營上ノ失費ノ多い會社モアルノデアリマス、或ハ又原料ガ特別ノ關係ニ依ツテ安く提供セラレテ居ルト云フヤウナ製造ノ條件ト云フモノガ各社ニ依フテ色々違フテ居ルノデアリマス、ソレヲ高ク付テ所ヘ其ノ健全高ク買上ゲ、安イ所ヘ

大イニ勉強シテ安クヤリ、或ハ又傍系會社等ニ依ツテ安く原料ヲ特別ニ供給サシテ居ル、中ニハ鐵道省ニ納入ヲ致シ石炭ノ値段ヨリモ、其ノ確安會社ニ提供スル石炭ノ値段ダケ言ツテモ儘カ六圓位モ安イト云フヤウナモノモ、一例ヲ舉ゲレバアルノデアリマシテ、サウスルトハ、石炭ヲ六圓安ク提供シタカラ生産費ガ六錢安クナツテ居ルモノヲ、ソレヲ安く買上ゲレバ、自然供給スル方ノ原料ヲ高クシテシマフコトニモナルノデアリマス、色々サウ云フヤウナ事情ガ確安製造ノ工場ニ付テハアルノデアリマスカラ、一律ニ之ヲドウト云フコトニハ、中々簡單ニハ私ハ參ラヌト云フ風ニ考ヘテ居ルノデアリマス、其ノ點ニ付キマシテハ、御覽ヲヤウニ將來ニ於キマシテ十分ニハ研究スル餘地ガアラウト思ヒマスガ、現在ノ所デハ大體今ノ肥料製造業組合ノ運用ニ依リマシテ、目的ヲ達スルコトガ出來ルト云フヤウナ確信ヲ持ツテ居ル次第デアリマス

○森田委員 其ノ點ニ付キマシテハ一ツ特別ナル御研究ヲ頼ハシタイト思ヒマス、其ノ問題ニ付テハ其ノ程度ニ致シテ置キマス、次ニモ一ツ御同致シタイノハ、此ノ點ハ私實ハ、此ノ會社ガ出來タ場合ト、ソレカラマダ合併セラレナイ以前ノ、詰リ今ノソレトヲ比ベテ、配給機構ノ上ニドウ云フ變化ガアルノデアリカト云フコトヲ御尋致シタノデアリマスガ、アノ際抽象的ナ御答ヲ得タノデアリマス、ソレヲモウ少シ具體的ニ實ハ御同致シタイノデアリマスガ、御採ヘ戴キマシテ此ノ資料ニ依リマスカラ、日本確安ノ配給機構ハ製造業者ガ上ノ方ニアリマシテ、是ハ是デ宜シイノデアリマス

ノ方ハ關聯ヲ持ツコトニナルノデアリマスガ、差等ノアルモノニ或ル特定ノ標準ヲ定メテ、其ノ標準ニ依ツテ補助スル、斯ウナツテ居リマス、サウスルト生産費ノ下ノ相當掛ルヤウナ所ハ、生産費ノ安イ所ヨリ比較的多クノ助成金ガ行クト云ツタヤウナコトニナルヤウニ考ヘルノデアリマス、サウスルトニ個別の實情ニ應ジテ色々待遇ヲナサル、斯ウ云フコトニナリマスナラバ、私ハ先程部長サンノ御セラレマシタヤウナ、此ノ會社ニ卸賣スル際ノ價格ト云フモノハ、一ツノ標準ニ依ツテ決定セズニソレノ生産費ニ應ズルヤウナ意味ニ於テ之ヲ買取ツテ、サウシテ此ノ會社ノ一定シタモノニスル、斯ウ云フノガ價格ヲ定メル上ニ於テ有意義デハナイカ、ソレヲ元ノヤウナ形デ此ノ組合ニダケ委テ、形ハ認可デスカラ、如何ニモ農林省デ抑ヘテ居ルヤウニハ見エルノデアリマスカレドモ、大體ニ於テハ恐ラク此ノ組合ノ總意決定法ニ任セテ置タト云フコトニ付テハ、相當不安ヲ感ズルヤウナ氣ガ致シマス、隨ヒマシテ今度新ニ此ノ會社ガ出來ルノデアリマスカラ、之ヲ契機トシテ今申上ゲタヤウナ個々ノ製造業者ト此ノ會社トノ折衝ニ依ツテ適當ナル價格ト買上ゲ、此ノ會社ニ於テ標準化スル、斯ウ云フノガ私ハ最モ理論的デアリ、且ツ肥料政策ノ上カラ考ヘテモ適當ナ方法デハナイカ、斯ウ思フノデゴイマスガ、此ノ點ニ對シテ御所見ヲ御同致シマス  
(河野委員長代理退席、委員長著席)

○重政政府委員 現在ノ中樞機關ニ對スル各製造業者ノ賣渡價格ヲ政府ガ認可スルニ當リマシテハ、今御述ニナリマシタヤウニ大

ウハ中々參ラス、事實問題トシテ中々サウハ參ラス、ソレカラ根本ノ問題ニ於テモ、假ニ斯ウ云フモノガ出來マシテモ、全購聯ハアツタ方ガ宜イノデアリカト云フコトヲ私ハ考ヘテ居ルノデアリマス、御承知ノヤウニ、割當ト申シマシテモ、屬申上ゲマスカウニ實際ノ荷物ヲ運ブト云フコトデアリマス、其ノ爲ニ色々ナ旋回ノコトヲ具體的ニ何處ノ工場カラ一日ドレダケ運バト云フヤウナコトトカ、ソレ等色々ナコトヲ全國ノ縣ノ聯合會カラ一々此ノ中樞機關ニ申出ルカ、全購聯ナラ全購聯ト云フヤウナ所デ之ヲ繼メテ、サウシテ又相互間ニ於ケル按排モスルト云フコトデアツタ方ガ實際問題トシテハ宜イノデアリマス、其ノ意味ニ於テハ少クモ斯ウ云フモノハ必要デアルノデアリカト云フ風ニ考ヘテ居ル次第デアリマス

○森田委員 只今ノ部長サンノ御答ニ依リマス、舊來ノ色々ノ關係ガアルカラ、ソコで繼メタ方ガ都合宜イドラウト云フヤウナ御答辯ノデアリマスガ、若シサウ云フヤウナ理解デアリマス、恐ラクハ全購聯ト云フヤウナモノモハ存在ノ價值ヲ持フコトニナルノデアリデセウカ、是ハ理論的ニ考ヘテ斯ウ見ラレルトデアリマス、併シ實際上ノ問題トナリマス、コンナモノハ必要ガナイノデアリマスカラ、先程ノ部長サンノ御意見ノ通り、此ノモノハナクナルノダ、是ガナクナルノダト云フコトニナリマスレバ、ソレト同ジヤウナ段階ニ於テ全購聯ト云フヤウナモノガ成立ツテ居タノデアリカラ、ソレハアレバ連絡ガ取レルノデアリマセウカレドモ、併シ大シタ役割ヲスルモノデアリ、殊ニ今度ノヤウナ大キナ立

第六期第十一號 日本肥料株式會社法案委員會會議錄 第八回 昭和十五年三月十四日





第七十五回帝國議會 院

日本肥料株式會社法案委員會會議錄速記第九回

付託議案 日本肥料株式會社法案(政府提出) (第八九號)

會 議 昭和十五年三月十五日(金曜日)午前十一時七分開議

- 出席委員左ノ如シ 委員長 熊谷 直太君 理事成島 勇君 理事山田 六郎君 理事原 惣兵衛君 理事河野 一郎君 眞鍋 儀十君 森田重次郎君 小野 寅吉君 田中 邦治君 村上 國吉君 吉植 庄亮君 小平 重吉君 國光 五郎君 西川 貞一君 平野 力三君 同日委員吉田賢一君辭任ニ付其ノ補闕トシテ石坂繁君ヲ議長ニ於テ選定セリ 出席國務大臣左ノ如シ 農林大臣 島田 俊雄君 商工大臣 藤原銀次郎君

出席政府委員左ノ如シ 農林省臨時農 村對策部長 重政 誠之君 本日ノ會議ニ上リタル議案左ノ如シ 日本肥料株式會社法案(政府提出) ○熊谷委員長 ソレデハ前會ニ引續キマシテ日本肥料株式會社法案ノ委員會ヲ開會致シマス 眞鍋君 ○眞鍋委員 大變御親切ニ説明ヲシテ戴キマシタノデ、大體ノ所私共諒解致シマシタ、唯茲ニ一ツ最後ニ質問ト申シマスヨリモ、希望ト云ツテ言葉ヲ表現シテ方宜イカ、或ハ警告ト申シテ方合ワテ居ルカ、此ノ會社ノ使命職能ニ鑑ミマシテ、是ガ人的要素ノ構成ニ付テ政府ノ意見ヲ伺ヒ、私ノ希

望モ申述ベテ見タイト思フノデアリマス、現在ノ所國策會社ト云フモノハ、國策會社自體ノ統制時代ニ入ツテ居ルト思ヒマス、ソシテ是ハ又再編制ト申シマスカ、再整理ト申シマスカ、サウ云フ時代ニモ入ツテ來テ居ルト思フノデ、中ニハ損スルトキハ政府ガスルンダ、ダカラ宜イチヤナイカト云フヤウナコトデ、責任逃レヲ言ハレルヤウナ國策會社モアルヤウデ、デステレドモ廻リ廻ツテソレハ結局國民ガ損害ヲ轉嫁サレルノデ、現ニ發送電ノ如キハ今度ノ豫算デ二千四百萬圓ノ要求ヲサレテ居リマス、ソレガ電氣ガ豐富ニ且ツ低廉ニ私共ノ需要ヲ滿シテ呉レタト云フ際ニ二千四百萬圓デアレバ、是ハ國民ハ全ク文句ハアリマセ、ケレドモ豐富デモナク低廉デモナク、損ハ國民ガ更ニ負ハナケレバナラヌト云フヤウナコトニナリマス、國策會社ニ對スル國民ノ考ヘ方ト云フモノハ遠ツテ來ルノデ、是ハ東北振興ニシマシテモ、東北興業ニシマシテモ同様デ、ソコデ政府ハ政府ガ出資ヲスルト云フ國策會社ノ創立ニ當リマシテハ、是ガ人的要素ニ付テ餘程慎重ニ考ヘテ戴カナケレバナラヌト思ヒマス、肥料ノ配給ガ不調滑ニナル、成程運輸其ノ他ニ理由ガ色々アリマセウケレドモ、其ノ根本ヲナスモノハ人的融和デアリマス、現ニ有機肥料ノ如キハ、之ヲ御拵ヘニナリマス時ニ天降リノモノデアリ、肥料配給會社デアリナガラ全肥商聯ヲ一ツモ入レヌデ、全肥商聯ガケガ之ニ入ツテ居ルト云フヤウナ

構成ヲシテ居ラレマスガ、斯ウ云フコトハ假令義理ニシテモ、肥料ニ關スル全肥商聯デアレバ之ヲ其ノ「メンバ」ノ中ニ加ヘテ、例ヘバ全肥商聯ガ三ツ入ル時ハ全肥商聯ガ一行カレナケレバナラヌト思ヒマスガ、只今ノ所サウデナイコトニ依ツテ精神上ノ不融和ガ配給上ノ不調滑ノ一ツトシテモ私ハ現ハレテ來テ居ルト思ヒマスガ、此ノ點ニ對シマシテハ政府ハ左様ナ、第三者ガ見テ不公平ナ人的構成ハ今度ハシナイ、斯ウ云フ風ニ御考デゴザイマセウカ、有機ノ方ニ全肥商聯ヲ入レナカワテ理由、及ビ今度ノ會社ニハ左様ナコトガナイト云フ發言、先ハ之ヲ一ツ伺ツテ見タイト思ヒマス ○島田國務大臣 今日ノ日本肥料株式會社ノ組織ニ付キマシテハ、只今眞鍋君ノ御述ベニナルヤウナ御意見ヲ十分參酌致シマシテ、公正妥當ナル組織ト致スヤウニ致シタイト考ヘテ居リマス、尙ホ全肥商聯ヲ入レナカワテ理由ハ、是ハ過去ニ既ニ出來タモノデアリマスガ、此ノ事ニ付キマシテハ又將來ノ機會ガアリマシタラ、尙ホ御意見ノ點ハ十分ニ注意ヲ致シマス ○眞鍋委員 大臣ガ其ノ創立當時ニ只今ノ地位デアラレナカワテカラ、御分リニナツテ居ラヌカモ知レマセウガ、昨日ノ御答辯ニ依ツテ、雖ニ二ツノ有機無機ノ會社ハ、適當ノ時期ニ於テ合併サレルト云フ御言明ニナツテ居ル以上ハ、有機ノ方ノ解決ヲシテ行クコトガ一ツノ前提ニナルト思ヒマス

カラ、對策部長カラ只今ノ御答辯ヲ承リタイト思ヒマス ○重政政府委員 有機ノ方ニ全肥商聯ガ入ツテ居リマセウハ、只今モ御述ベニナリリマシタヤウニ、當時何モ吾々ノ所デ天降リ的ニヤツクノデハ實ハナカワテデアリマス、唯最盛需要期ニ直而致シマシテ會社ヲ作り、サウシテ御承知ノヤウニ有機ノ取引ト云フモノハ、極メテ複雑ナモノニナツテ居リマスノデ、實際ニ之ヲ取扱ツテ居ルモノデアルト云フ考ヘ方ヲ致シタノデアリマス、全肥商聯ヲ入レマシタノハ御承知ノ通りニ大豆粕等ニ付キマシテハ、殆ド全肥商聯ハ全取扱數量ノ四〇%ニモナツテ居ルノデアリマス、是ハ謂ハバ大手デアツクノデアリマス、全肥商聯ニ付キマシテハ全然其ノ取扱ガアリマセ、ソレデ全肥商聯ノ組織員デアル各商人ノ方々ハ、大手ヲ全部御集リテ願ツテ御協力ヲ願ツタト云フヤウナ解釋ニ依リマシテ、現在ノ會社ノ機構ト云フモノガ成ツテ居ルノデアリマス、今度ノ日本肥料株式會社ノ組織ニ付キマシテハ、只今大臣ノ御述ベニナリマシタヤウニ、十分御意見ヲ斟酌シテ合理的ナ機構ニ致シタイト考ヘテ居ル次第デアリマス ○眞鍋委員 只今ノ對策部長ノ答辯ハ矛盾ガアリマス、全肥商聯ハ實績ヲ持タヌ、サウ云フコトデ御入レニナラナカワテスレバ、此ノ全肥商聯ト同様ニ實績ヲ持タヌモノデア東部配合組合ガ入ツテ居リマス、實績ヲ持タヌデ全肥商聯ガ入ラナカワテ言ヒ

ナカラ、自分達ニ都合ノ好イ東部配合組合ハ、實績ガナクシテ入ッテ居ル、而モ是ハ任意組合デアル、任意組合ノ東部配合組合ガ、實績ヲ持ッテ之ニ參加スルコトヲ認メ、全肥商聯タケテ認メナカッタコトヲ理由ハ、只今ノ御答辯デハ私ニハ納得ガ出来マセス

○島田國務大臣 眞鍋君ノ御質問ノ、御趣旨ハ農林大臣トシテ能ク諒承致シマシタ、又東部肥料會社ト無機質ノ今回ノ會社トガ合同スルヤウナコトガアリマス場合、又今後ノ處置ト致シマシテハ自分ノ今申上ゲマシテ、適正妥當ナ組織ヲスルヤウニ致シタイト思ヒマスカラ、此ノ點ハ一ツ其ノ意味ヲ以テ御諒承願ヒタイト思ヒマス

○眞鍋委員 ドウモ大臣ニサウ言ヘルト、私モソレ以上申上ゲルトモ餘リ人情ガナイヤウデアリマスカラ、是デ止メマスガ、御答辯マデニ御記憶願ヒタイノハ、此ノ有機肥料ノ職員ノ機構ハ百十二名居リマス、其ノ中全肥商聯カラ五十六名居リマス、サウシテ全肥商聯ノ職員ノナイ者ガ四十三名居リマス、其ノ外ニ學生ガ十三人、是ガ肥料ニ關係ノアル會社ノ人的構成デアリマス、私ハ其ノ一々ノ氏名モ此處ニ持ッテ居リマシテ、其ノ所屬モハツキリ致シテ居リマスガ、過去ノコトデアリマスカラ、斯ウ云フコトモアルノダト、ソレヲ大臣ガ頭ノ中ニ入レテ置カレテ、今度ハ一ツ融和ノ出来ルヤウナ、納得ノ行々ノ構成デ進マレンコトヲ切望致シマス、只今ノ東部配合組合ノ如キモ、之ヲ成ルベク指導サレ誘掖シテ戴キマスコトハ、私共モ決シテ反對スル者デアリマセス、之ヲ東部配合組合

ヲサウ云フ風ニ御指導ニナリマス共ニ、日本ニハマダ古昔ノ中心トスル中部ノモアル、阪神尼崎ヲ中心トスル西部ノモアル、門司熊本ヲ中心トスル九州ノモアルノデアリマス、同ジ面倒ヲ見ルナラバ各配合組合一視同仁デ御誘掖ノ願ヒタイト思ヒマス、此ノ戴キマシタ「肥料關係法規」通過中ノ第二ノ重要肥料業統制法施行規則中、昭和十五年一月十五日農林省令第三號ヲ以テ改正サレタ第一條ノ配合肥料ノ部分、之ニハ「製造數量常年額五百萬ト達セザルモノ」及「産業組合及産業組合聯合會ノ行フモノ」ト云フ項ヲ挿入シテ御公布ニナリマシタ、即チ此ノ前記四ツノ配合組合ト云フモノハ、之ニ依リマシテ公認團體ヲ作レト云フ農林省ノ御意思デアルト思ヒマシタノニ、此ノ四ツノ配合組合ハ未ダ同一行動ヲ執ラズデ居リマスガ、是ハ農林省態々改正法ヲ御出シニナリマシタ建前カラ、近ク聯合スルヤウニセラレタケレバナラス、只今ノ所四地域ヲ「プロダクト」形成シテ居リマスモノヲ統一スルヤウニ御盡力ニナル御願ヒデアリマスガ、全部ノ下工作ヲスツカリ行渡ラセテ、其ノ上ニ組立テ此ノ肥料政策ヲナカレバナラスト思ヒマスガ、ソレダケノ準備工作ハ出来テ居リマスガ、當局ニ御働致シマス

○重政政府委員 是ハ只今御述ニナリマシタヤウニ、其ノ法令ニ依リマシテ全國ヲ打ツテ一丸ニシテ配合組合ヲ作ルコトニナツテ居リマス、實ハ御承知ノヤウニ最盛需要期ニ直面シテ居リマスノデ、一而ニ於テハ「ドン」ノ原料其ノ他ヲ配給セナカレバナラスト云フヤウナ事情モアリマス致シマシテ、延ビ「ニ」實ハナツテ居ルノデアリマ

スガ、是ハモウ現在ノ所デハ一度ソレハ「業者」御集リヲ願フテ、吾々ノ方カラ御話スレバ、ソコデ大體設立ノ手續ヲ進行シ得ル程度ニナツテ居リマス

○眞鍋委員 御信用申上ゲテ宜シウゴザイマスガ、既ニ公布後「二月」モ経過致シマシテ、只今ノ御話ノ通りニ最盛期ニナツテ居ル、是ガ原料ノ購入ナドモモ色々文句ガ付ケラレテ居ル、配給ガ問題ナラスト云フ問題モ、ヤハリソコカラ根柢シテ居リマス、又販賣上ノ諸掛、配給地區、サウシタヤウナモノモ協定ガ付カス、私ノ聞ク所デハ、中部ト西部ト九州ノ方トハ、政府ノ御働メニ從ツテ、早急合併ヲシテ宜シイト云フ意見ノヤウダケレドモ、東部ダケガ中々私共ノ公表ヲ願ルヤウナ問題ガ内ニシテ居ル爲ニ願調ニ合作ガ付カス、其ノ問題ガ解決スレバ則満手協定ハ付クト、斯ウ春間ノ傳ヘテ居リマス、東部配合組合ハ、重政農林對策部長ガ創立總會ニ出席セラレ、其ノ他始終此ノ幹部諸君トハ親交ガアルレラ管デアリマスカラ、若シ赤字ガアルトスレバ、其ノ赤字ガドウ云フ譯デ出来テ來カ、ソレヲ「カバ」レバ爲ニハドウシテ行カ、マサカ「バ」カハ二錢五厘ニ上ゲテ辻褄合セルト云フヤウナコトハアリハシマスマイケレドモ、一般農民ガ迷惑ヲ轉嫁サレナイヤウニ、特別ニ御注意ガ願ヒタイト思ヒマス、私ガ深入リヲシナイデモ、アナタノ方デ深入リヲサレテ居ルカラ、能ク事情ハ私ヨリモ御承知ト思ヒマスカラ、此ノ點ハ一刻モ早ク四地域「プロダクト」ガ解消サレテ、肥料ノ配給問題ノ上ニ好影響ヲ齎ラサレテヤウニ御盡力ガ願ヒタイト思ヒマス、此ノ問題ニ付テハ少し私モ言ヒタイコトハアリマス

○熊谷委員長 河野君 致シマシタカラ、極ク一部ノ問題ニ付テ大臣カラ重ネテ御答ヲ戴キタイト思ヒマス、尙ホ此ノ際委員長ニ御願致シテ置キマスガ、午前中ノ時間モモウ三十分程シカアリマセヌカラ、此ノ肥料ノ配給ノ問題ニ付キマシテ、只今眞鍋サンカラ色々御話ノアリマシタコトニ關聯致シマシテ、私ハ商工大臣ノ御出席、若クハ大臣デナカレバ商業組合ヲ擔當シテ居ラレマス政府委員ノ、御出席ヲ、午後ノ初メニ御願致シマシテ、今ノ全肥商聯ノ問題ニ付テ少し御詳シテ置キタイト思ヒマスノデ、左様御計願ヒタイ、ソコデ大臣ニ御詳致シマスガ、此ノ法案ニ依リテ新會社ガ出来マシタ所デ、先ヅ主トシテ「碓安デアリマス」ガ、明年度ノ碓安ノ内地ノ配給ニ付テ非常ニ不安ヲ持ッテ居リマス、年度ハ勿論此ノ八月ヨリ來年ノ七月ニ終ル年度デアリマス、先日政府委員ニ御詳致シマシタ所ガ、其ノ點ニ付テハ尙ホマダハツキリシテ居ラスヤウデアリマス、即チ明

年度ノ肥料年度ニ於ケル肥料ノ供給ト云フコトニ付キマシテハ、確信ヲ持ッテ居ルト云フコトヲ申上ゲタ次第デアリマス、細カクイ數字ニ付キマシテハ、或ハ別ノ機會ニ於テ見込ヲ申上ゲテモ宜シイデアリマスガ、是ハ又事務ノ當局カラ御聞き下サツテモ、或ル程度ハ御分リ下サララウ、斯ウ云フヤウナ考テ居リマス、是ダケヲ申上ゲテ置キマス

○河野委員 ソレハ事務當局カラ御説明願ヘレバ結構デアリマスケレドモ、併シ私ガ不思議ニ思ヒマスノハ、先日ノ十五年年度ノ物動計畫ヲ説明サレキ業議院ノ本會議ノ秘密會ニ於テ申サレタ數字ト只今大臣ノ申サレタ數字トノ間ニハ非當ニ食違ヒガアル、本法案ニ依ツテ新會社ガ出来ル爲ニ、ソクナキナ數字ガ一遍ニ生レテ來ルト私ハ考ヘラレマセス、尙ホソレガ今内地ニ於テ大體二百萬ト云フヤウナ、是ハ大綱ミ數字ガ結構デアリマスガ、サウ云フ數字ガ生レテ來ルトハ、夢想ガ私ハ付カナイノデアリマスガ、一ツ御説明ヲ願ヒタイ

○重政政府委員 今大臣ノ申サレマシタノハ、本邦内ト云フ趣旨ニ御取リテ願ヒマス、更ニ申上ゲマシレバ、内地及北朝鮮及滿洲ノ關東州ヲ加ヘテ大綱ミ「ラウ」ン「ン」ト云フコトニ御取リテ願ヒマス

○河野委員 ドウモ政府ノ答辯ガ時ニ朝鮮ガ外レテ居ツタリ、入ツテ居ツタリ滿洲ガ外レテ居ツタリスルノデ困リマスガ、今ノ政府委員ノ御話デ大體内地、朝鮮、滿洲方ニテ約二百萬ト云フコトニ致シマス、一體是等ノ地區ヲ括メテ二百萬ト碓安ヲ確定シテ、然ラバ明年度ニ於ケル碓安ノ供給ハ、無論細カナ數字ハ要リマセヌ、大綱ミデ結構デスガ、ドノ程度ニ農家ノ需要ヲ滿セルカ、即チ米、麥ハ依然トシテ今年ノ八割ニ對シテ明年ハ九割ト云フヤウナコトニナルノカ、私ノ想像デハ、今ノ程度ノ數字ヲ以テ致シマシテハ、到底サウ云フ數字ニナツテ來ナイト云フヤウニ心配スルノデアリマスガ、然ラバソレ等ノ數字ガドウ云フ見合セニナルノカ、先日モ此處デ申シマシタ通り、昭和十五年肥料年度ノ碓安ノ需要量ハ二百五十萬ト云フアリマス、政府ガ一昨年アツタリカラ、大體計數字入レテ見込シテ居ツタ數字ガ二百五十萬ト云フアリマス、サウ致シマシテモ、常識ニ考ヘテ五十萬ト不足デアリマス、即チ約二割ノ不足デ、依然トシテ米麥八割、一般農作物六割ノ觀察分ノ補給ト云フコトニナルノデアリマスケレドモ、是等ニ付テハドウ云フコトニナリマスカ

○重政政府委員 昔「ア」ン「モ」ニア「増産及配給統制法」ヲ出シマシタ時、其ノ數字ハ、年々二十萬ト碓安ノ増加ガ、過去ノ實績ニ徵シテアルト云フ見方デアリマスガ、事變後ニ於キマシテハ、消費ノ節約ヤリ、消費ノ合理化ヤリマシテ、サウシテ今日ニ至ツテ居ルノデアリマス、十二年ト十三年ヲ比較致シマス、四萬程程度積エテ、アレダケノ増産ヲヤツタト云フコトニナツテ居ルノデアリマス、平時ノ場合ニ於キマシテハ、只今河野委員ノ言ハレタ通りデアリマスガ、斯ウ云フ事變下デアリマスノ、色々有機質肥料ヲ無機質ノ方ニ轉換サスル速度等、色々原因ガアリマス、サウ云フモノハ出来ルダケ我慢ヲシテ賣フト云フヤウナ程度デ考ヘテ見マシレバ、只今ノ二百萬

年度ノ豫算ヲ見マスルト、外安輸入ニ對スル補助助成金ト云フモノノ計上ガナイノデアリマス、所ガ外安ノ輸入ヲ致シマスニハ、少クトモ二百二十圓前後掛カルト云フコトハ、先日政府委員ノ御説明ノ通りデアリマス、所デ之内地ニ持ッテ參リマシテ、現在ノ碓安ノ公定價格デ之ヲ賣却致シマスレバ、ドウシテモ會社ガ適當リ百圓以上ノ損ヲシサケレバナリマセヌ之ヲ十萬圓輸入致スニシマシテモ、一千圓以上ノ金方要ルヤウデアリマス、所ガ先日來大臣ノ段々ノ各委員會ニ於ケル御説明ニ依リマシテモ、大豆粕ガ非常ニ品不足デアル、之ニ對シテ魚粕ヲ以テ充テルト申サレマスケレドモ、魚粕亦快シテ賣價デハアリマセヌ、朝鮮ノ魚粕ヲ持ッテ參リマシタ所ガ、種エタ所デ僅カ三萬圓カ五萬圓ノ問題デアリ、窒素成分カラ言ヒマスレバ問題デアリマセヌ、ソコデ少クトモ二十萬圓ト碓安ヲ明年度入レルノデナケレバ到底農村ノ満足スベキ、又我國ノ食糧政策ノ上ニ満足スベキ窒素成分ヲ得ルコトハ、絶對不可能ト私ハ思フノデアリマス、所ガ今申シマスヤウニ、豫算ノ上ニハ四萬五萬圓ノ助成金方要ルノデアリマスガ、其ノ金ノ計上ガアリマセヌ、而シテ此ノ法律ニ依ツテ出来マスル會社ガ、外國カラ之ヲ輸入スルコトニナツテ居リマスケレドモ、輸入シテ碓安ヲ會社ガ配給スルニ致シマシテモ、ソレダケノ金方會社ニアル苦ハアリマセヌ、ドノ點カラ參リマシテモ、現在ノ政府ノ豫算ノ組ミ方ヲ以テ致シマシテハ、此ノ八月以降ノ碓安ノ供給ニ對シテ、又再ビ今年ト同様ニ麥ハ七割トトカ八割トトカ、米ハ何割トトカ、麥ハ何割トトカ、ウロコトニナリマシテ、非常ニ消極裏面ノ

政策デアリマシ、何處マデ行ツテモ肥料ニ不安アリト云フコトニナルノデアリマス、先日大臣ガ本會議デ、明年度ニハ全然心配ハサセナイト云フコトヲ仰シヤイマシタケレドモ、其ノ大臣ノ御言明ヲ如實ニ裏書スルヤウナ事實ガ、ドノ點カラ見テモナイノデアリマス、之ニ對シテ大臣ハドウ云フ考デ、明年度ノ肥料ハ心配サセナイト云フヤウナコトニ御進メニナルノデスカ、御説明ヲ願ヒタイト思ヒマス

消費可能量ガアレバ、只今御述ニナリマシタヤウナ主要食糧ニ付テ何割トカ云フヤ...

ウナ話ヲシ、政府モ一部此ノ話ニ携ウテ居ラレ...

吾々トシテモ非常ニ感心シナイノデアリマ...

硬手段ヲ執ルヤウニ略、確定シテ居ルヤウ...

ラスウ云フ者ハ假借ナク、情實ナク嚴重ニ...

ナイ、去年ノ暮アタリハ滿洲ニ麻袋ガナイ...

會社ノ重役ヲシテ居ラレル人ガ相當達クノ...

先ノ變更ガアツタカドウカト云フヤウナ...

ラステルルコトガ宜シト思フ、況シテ全...



少連フ所モアルカモ知レマセスガ、全國四十カ所ノ縣デアリマス...

所ハ知リマセスガ、他ノ機會ニ於テ能ク...

ナル方向ニ向ツテ解決ノ途ヲ開イテ行キ...

ニ付キマシテ、其ノ要領ニ付テ一應御答...

參酌致シマシテ、サウシテ中間機關ノ爲ニ...

スガ、之ニ關聯シテ簡單ナラバ許シマス...

要ハ増産スルコト云フコトガ喫緊ナ急務ナ...

カト云フコトニ付テハ、私ハ今以テ不...



テ其ノ「コークス」ノ廢瓦斯ヲ有用ニ利用シテ居ラスカ、或ハソレヲ「ボイラー」デ石炭ノ代リニ焚イテシマツテ居ルカ、其ノ實情ハ...

テ行ク、即チ製鐵ノ原價ヲ安クシテ行クト云フコトモ最モ望マシク、又一面ニハ農業方面ニ澤山ノ肥料ヲ供給スルコト云フコト...

サシテ鐵キタイト思フノデアリマス、ソレダケ御願申上ゲマス。○藤原國務大臣 他ノ機會デモ度々申上ゲ...

シテ、政府ハ必要ト認メレバ政府ノ權力ヲ以テ其ノ「パテント」ヲ讓與セシメルコトモ...

ラヌ理由ハナカラウト私ハ思フ、斯ウ云フコトハ須ク端のニ肥料ニ付テハ農林省ニ專...

ヒマス。○河野委員 サウ致シマス、今年ノ燒燐石ノ輸入數量ト來肥料年度ノ燒燐石ノ輸入...

コトヲ實ハ考ヘテ居ルノデアリマス、普通ノ増損ト云フコトモ助成金等ノ關係ニ於テ...

リ掛ケスデ済ムト云フ大體考ヲ致シテ居ルノデアリマス、是ハ特殊燒燐ヲ普通燒燐ニ混入...

依ツテ大體二百萬噸程度ノモノヲヤル、過  
磷酸ニ付テハ、是モ政府ノ行政ノ操作ニ依ツ  
テ今年ヨリモノノ程度ノ配給ヲ増スコトガ  
出來ル、加里鹽ニ付テモ大體今年同様若ク  
ハ場合ニ依ツテラバソレヨリ良クナルカモ  
知レズト云フ程度ノコトハ見込ミ得ルコト云  
フナウニ了スルノデアリマスガ、チウシ  
マストモ肥料問題ハ有價ノ問題ニナリマス、  
ソコデ有價ノ問題トシマシテハ、今年ヨ  
リモノモ稍増加シタ数字ヲ見込ムルコトノ  
出來ルト云フコトハ、滿洲ノ大豆ノ操作ヲ  
合法的ニ行ケバウマク行ケラウト云フ  
ヤウニ吾々ハ想像スルノデアリマスガ、是  
ハ一ニ懸ツテ專管公社ノ組織、專管公社ト  
有價配給株式會社トノ間ノ連絡、是等ノ  
問題ガ重點ニナルト思フノデアリマスガ、  
此ノ點ニ付テ先日來大臣ノ御示ノヤウニ、  
滿洲ノ大豆ノ操作アルトカ、誰ガヤツテシ  
ルトカ云フヤウナコトデナシニ、モウ少シ  
踏込シテ大豆ノ中心ニシタ日滿間ノ連絡ヲ  
實ニスルニ適當ナル方策ヲ講ズル、當時  
適當ナル方策ヲ講ズル必要ガアルト思フ  
デアリマスガ、之ニ付テ對策部長ハドウ  
考ニナツテ居ルカ、更ニ堆肥ノ獎勵デア  
マス、是モ今年ノ間ニハ合ヒマセスケレド  
モ、少クモ肥料年度ノコトヲ考ヘマス  
レバ、堆肥ノ獎勵ト云フコトヲ相當ヤラ  
ケレバナラス、而モ是ハ現在ノ實情デア  
リ方面ニ於テ非常ニ憂慮スベキ事情デア  
リマスノデ、堆肥ハ今年ヨリモ寧ろ來年ハ今  
ノ儘ニハ減リマシテモ殖エルトハ中々難  
シカラウ、斯ウ思ヒマスケレドモ、堆肥  
ニ付テハ特別ニ何カ御考ニナツテ居ルコト  
アリマスガ、此ノ二點ニ付テ同テ置キ  
テイト思ヒマス

○重政政府委員 大豆粕ノ來肥料年度ニ於  
ケル問題ニ付キマシテハ、只今御述ニナリ  
マシタヤウニ、今年ノヤウナ話ツタコトニ  
ハ恐ラクナラナイダラウト私ハ考ヘルノデ  
アリマス、併シソレハ滿洲ニ於ケル大豆ノ作  
柄ト云フコトガ根本ノ問題ニナリマスノデ、  
此ノ作柄ガ適當デアルト云フコトヲ前提ニ  
致シマシテ考ヘマスレバ只今御述ニナツタ  
通りデアリマス、滿洲國トコナラトノ關係  
ヲ一層緊密ニシ、更ニ專管公社トコナラ  
有價配給株式會社トノ關係ヲ一層緊密ニ致シマシテ、  
サウシテ此ノ大豆粕ノ輸入、大豆ノ出題等  
ニ付テ十分ナ努力ヲ致サナケレバナラスト  
云フコトハ只今御述ニナツタ通りデアリマ  
ス、只今御述ニナリマシタ趣旨ニ則ツテ滿  
洲國トコナラトノ連絡ニ付テ具體的ニ一ツ  
研究ヲ致シテ適當ナ處置ヲ講ジタイト考ヘ  
テ居リマス

○重政政府委員 大豆粕ノ來肥料年度ニ於  
ケル問題ニ付キマシテハ、只今御述ニナリ  
マシタヤウニ、今年ノヤウナ話ツタコトニ  
ハ恐ラクナラナイダラウト私ハ考ヘルノデ  
アリマス、併シソレハ滿洲ニ於ケル大豆ノ作  
柄ト云フコトガ根本ノ問題ニナリマスノデ、  
此ノ作柄ガ適當デアルト云フコトヲ前提ニ  
致シマシテ考ヘマスレバ只今御述ニナツタ  
通りデアリマス、滿洲國トコナラトノ關係  
ヲ一層緊密ニシ、更ニ專管公社トコナラ  
有價配給株式會社トノ關係ヲ一層緊密ニ致シマシテ、  
サウシテ此ノ大豆粕ノ輸入、大豆ノ出題等  
ニ付テ十分ナ努力ヲ致サナケレバナラスト  
云フコトハ只今御述ニナツタ通りデアリマ  
ス、只今御述ニナリマシタ趣旨ニ則ツテ滿  
洲國トコナラトノ連絡ニ付テ具體的ニ一ツ  
研究ヲ致シテ適當ナ處置ヲ講ジタイト考ヘ  
テ居リマス

○重政政府委員 大豆粕ノ來肥料年度ニ於  
ケル問題ニ付キマシテハ、只今御述ニナリ  
マシタヤウニ、今年ノヤウナ話ツタコトニ  
ハ恐ラクナラナイダラウト私ハ考ヘルノデ  
アリマス、併シソレハ滿洲ニ於ケル大豆ノ作  
柄ト云フコトガ根本ノ問題ニナリマスノデ、  
此ノ作柄ガ適當デアルト云フコトヲ前提ニ  
致シマシテ考ヘマスレバ只今御述ニナツタ  
通りデアリマス、滿洲國トコナラトノ關係  
ヲ一層緊密ニシ、更ニ專管公社トコナラ  
有價配給株式會社トノ關係ヲ一層緊密ニ致シマシテ、  
サウシテ此ノ大豆粕ノ輸入、大豆ノ出題等  
ニ付テ十分ナ努力ヲ致サナケレバナラスト  
云フコトハ只今御述ニナツタ通りデアリマ  
ス、只今御述ニナリマシタ趣旨ニ則ツテ滿  
洲國トコナラトノ連絡ニ付テ具體的ニ一ツ  
研究ヲ致シテ適當ナ處置ヲ講ジタイト考ヘ  
テ居リマス

テレバナラス問題デアリマスカラ、此ノ際  
明瞭ニ致シテ置キタイト思ヒマスノデ、對  
策部長カラ御説明ガアリマス共ニ、主管  
局長ノ御出席ヲ委員長ヲ通ジテ御願シテ置  
キマシテ、是モ此ノ際明瞭ニシテ置キタイ、  
何分是等ガ全部遅レテ居リマスノデ、ソレ  
等ガ全部肥料ノ配給不調滑ノ原因トナツテ  
居ルノデアリマスカラ、斯ウ云フ機會ニ吾  
等トシマシテハ政府ヲ贊助シ、難達スルコ  
トガ必要ト思ヒマスノデ、然レバ委員長  
ニ御取計ヒテ願ヒタイト思ヒマス

○重政政府委員 魚肥ニ付キマシテハ、  
朝鮮カラ少クも十萬噸ノ魚ノ内地ニ入レ  
ルト云フコトニ付キマシテハ、相當程度私  
ハ確信ヲ持ツテ居ルノデアリマス、現ニ朝  
鮮ニ於キマシテハ大羽鱈ノ蒐集、是ガ内地  
ヘノ送出一朝鮮デハ一生懸命ニツツテ居ル  
ヤウナ次第デアリマス、唯其ノ値段ノ問題  
デアリマスガ、是ハ朝鮮ノ大羽鱈ダケノ價  
格ヲ公定致シマスコトハ何デモナイコトデ  
アルノデアリマスガ、同時ニ内地ノ魚ノ價  
格ヲ公定スル必要ガアルト云フ御要求ガ非  
常ニ多クデアリマス、私此ノ點ニ對シテハ  
ハ多少ノ意見ヲ持ツテ居ルノデアリマスガ  
レドモ、併シ現在ノ情勢ニ鑑ミテ、是ハ速ニ價  
格ヲ公定スル必要ガアルト云フ風ニ考ヘマ  
シテ、吾々ノ所デモ十分研究ヲ致シテ、目下其  
ノ關係方面ト相談ヲ致シテ居ルヤウナ譯デ  
アリマス、是マデ御承知ノヤウニ内地ノ魚ハ  
方々ニ獲レマシテ、ソレガ集荷ヲセラレテ配  
給セラレルト云フ段階ニナルノデアリマスガ  
ラ、此ノ集荷ノ擔荷ヲ一日モ早ク整ヘルト  
云フコトガ必要デアリマス、水産  
當局ニ於テハ其ノ擔荷ヲ一日モ早ク整ヘル  
コトニ專念ヲ致シテ居ルヤウナ次第デアリマ

○重政政府委員 大豆粕ノ來肥料年度ニ於  
ケル問題ニ付キマシテハ、只今御述ニナリ  
マシタヤウニ、今年ノヤウナ話ツタコトニ  
ハ恐ラクナラナイダラウト私ハ考ヘルノデ  
アリマス、併シソレハ滿洲ニ於ケル大豆ノ作  
柄ト云フコトガ根本ノ問題ニナリマスノデ、  
此ノ作柄ガ適當デアルト云フコトヲ前提ニ  
致シマシテ考ヘマスレバ只今御述ニナツタ  
通りデアリマス、滿洲國トコナラトノ關係  
ヲ一層緊密ニシ、更ニ專管公社トコナラ  
有價配給株式會社トノ關係ヲ一層緊密ニ致シマシテ、  
サウシテ此ノ大豆粕ノ輸入、大豆ノ出題等  
ニ付テ十分ナ努力ヲ致サナケレバナラスト  
云フコトハ只今御述ニナツタ通りデアリマ  
ス、只今御述ニナリマシタ趣旨ニ則ツテ滿  
洲國トコナラトノ連絡ニ付テ具體的ニ一ツ  
研究ヲ致シテ適當ナ處置ヲ講ジタイト考ヘ  
テ居リマス

○重政政府委員 大豆粕ノ來肥料年度ニ於  
ケル問題ニ付キマシテハ、只今御述ニナリ  
マシタヤウニ、今年ノヤウナ話ツタコトニ  
ハ恐ラクナラナイダラウト私ハ考ヘルノデ  
アリマス、併シソレハ滿洲ニ於ケル大豆ノ作  
柄ト云フコトガ根本ノ問題ニナリマスノデ、  
此ノ作柄ガ適當デアルト云フコトヲ前提ニ  
致シマシテ考ヘマスレバ只今御述ニナツタ  
通りデアリマス、滿洲國トコナラトノ關係  
ヲ一層緊密ニシ、更ニ專管公社トコナラ  
有價配給株式會社トノ關係ヲ一層緊密ニ致シマシテ、  
サウシテ此ノ大豆粕ノ輸入、大豆ノ出題等  
ニ付テ十分ナ努力ヲ致サナケレバナラスト  
云フコトハ只今御述ニナツタ通りデアリマ  
ス、只今御述ニナリマシタ趣旨ニ則ツテ滿  
洲國トコナラトノ連絡ニ付テ具體的ニ一ツ  
研究ヲ致シテ適當ナ處置ヲ講ジタイト考ヘ  
テ居リマス

キマス

○熊谷委員長 商工省ノ政府委員ガ今來ルト言フテ居リマスガ、少シ間ガアラウト思ヒマスカラ、暫時休憩設シマス

午後二時四十分休憩

午後二時四十九分開議

○熊谷委員長 休憩前ニ引續キマシテ開會致シマス、商工省ノ政府委員モ御出席ニナリマセヌ、今日ハ此ノ程度ニ於テ散會致シマシテ、明日ハ午後一時カラ開會致スコトニ致シマス、今日ハ是ニテ散會致シマス

午後二時五十分散會

衆議院日本肥料株式会社法案  
委員會議錄第五回中正誤

頁段行 誤 正  
四六 四 一五 竹田政府委員 竹内政府委員

昭和十五年三月十五日印刷

昭和十五年三月十六日發行

衆議院事務局

印刷者 内閣印刷局

第七十五回帝國議會

日本肥料株式會社法案委員會會議錄(速記)第十回

付託議案  
日本肥料株式會社法案(政府提出)  
(第八九號)  
農會法中改正法律案(政府提出)  
(第一〇三號)

會議

昭和十五年三月十六日(土曜日)午後三時十分開議

出席委員左ノ如シ

- 委員長 熊谷 直太君
- 理事成島 勇君 理事山田 六郎君
- 理事原 德兵衛君 理事河野 一郎君
- 土屋 寬君 森田重次郎君
- 小野 寅吉君 田中 邦治君
- 吉植 庄亮君 小平 重吉君
- 田中 好君 野溝 勝君
- 平野 力三君 村上 元吉君

同日委員眞鍋儀十君、國光五郎君及松村光三君辭任ニ付其ノ補闕トシテ土屋寬君、田中好君及村上元吉君ヲ議長ニ於テ選定セリ

三月十五日農會法中改正法律案(政府提出)ノ審查ヲ本委員ニ付託セラレタリ

出席國務大臣左ノ如シ

- 農林大臣 島田 俊雄君
- 厚生大臣 吉田 茂君
- 出府政府委員左ノ如シ
- 農林政務次官 岡田喜久治君
- 農林省臨時農 重政、誠之君
- 村對策部長 妹川 武人君
- 商工省振興部長 妹川 武人君

本日ノ會議ニ上リタル議案左ノ如シ

日本肥料株式會社法案(政府提出)

農會法中改正法律案(政府提出)

○熊谷委員長 ソレデハ是ヨリ開會致シマ  
ス—武知運信政務次官

○武知政府委員 此ノ場合御許ヲ得マシテ、去ル五日ノ本會議ニ本案ガ上程サレマシタ時ニ、長野長廣君カラ選信當局ニ對スル御質問ガアツタノデアリマス、丁度其ノ日ハ、他ノ委員會等ノ爲ニ、大臣ガ出席ヲ致シテ居リマセヌノデ、長野君ノ質問ニ對シテ御答辯スル機會ガアリマセヌデシタ、只今委員長ノ御計ヒニ依リマシテ發言ヲ許サレマシタノデ、此ノ機會ニ御答ヲ申上ゲマス

○熊谷委員長 ソレデハ厚生大臣ガ見エマシタカラ成島君ニ發言ヲ許シマス

○成島委員 東京市ノ屎尿ノ處理問題ハ、帝都ノ保健衛生ノ見地カラ考ヘマシテモ、洵ニ重大ナルデアリマス、今日大體ニ於テ東京市内ニ於テ一日ニ排泄サレル量ハ約三萬五千石デ、ソレハ事變前マデハ少量ノ投棄ト淨化ト、アトノ大部分ハ自動車或ハ船舶ニ依ツテ、東京府下ノ農耕地及ビ千葉、茨城、埼玉、神奈川等ノ近縣ニ輸送サレテ居ツタ、我が千葉縣ノ如キハ一日五千石餘ノ配給ヲ受ケテ居ツタノデアリマス、所ガ事變以來、ガソリンガ非常ニ統制サレマシタ結果、近縣ニ輸送スル量ハ減ジ、一方海洋投棄ノ量ガ殖ニテ居ルノデアリマス、最近私ガ調査シタ所ニ依リマスト、今日市内ヨリ排泄サレル三萬五千石ノ内、約一萬八千石ガ海ニ投セラレテ居リマス、而モ是ハ遠方マデ搬出シテ投棄スルコトニナツテ居ルノデアリマスガ、船頭ノコトデアリマスカラ、ツイ簡單ニ處分スルコトヲ考ヘテ、近海ニ捨テリマシマス、爲ニ内灣ノ業者ハ非常ナル影響ヲ受ケテ居ルノデアリマス、殊ニ海苔ノ採取等ニ從事スル者ハ非常ナ打撃ヲ受ケテ居リマス、又私ハ千葉縣デアリマスガ、浦安方ノ漁師ニハ容易ナラヌ影響ヲ與ヘテ居リマス、ノミナラズ、一朝帝都ニ惡疫デモ流行シタ場合ニ於キマシテハ、是ハ重大ナル問題ニナツテ來ルト思フノデアリマス、此ノ際此ノ處置ニ付テ何トカ厚生大臣ニ御考ガアレバ、承ツテ置キタイト思ヒマス

○吉田國務大臣 東京市ノ屎尿ノ問題ニ付キマシテハ、御話ノ如キ事情ノアリマスコトハ承知致シマシテ、種々苦慮致シテ居ルノデアリマス、市當局、警視廳當局トモ打合せマシテ、色々方策ヲ講ジテ居ルノデアリマスガ、遠海ニ投棄スベキ部分ヲ内灣ニ投棄シテ居ルト云フコトニ付キマシテハ、御話ノヤウナ單純ナ投棄ニ從事スル人達ノ不精ト云フコトバカリデナシニ、非常ナ分量ノモノヲ沖ニ棄テマスダケノ船ノ不足ト云フヤウナコトニ、原因ヲ致シテ居ルヤウニ見ケラレルノデアリマス、其ノ方ノ訓練ト云フコトモ、時局柄非常ニ困難デアリマシテ、十分ニ參ツテ居リマセヌコトハ甚ダ遺憾ニ存ジテ居リマス、今日肥料問題等モ深刻ニ行詰ツテ居ル場合デアリマスカラ、之ヲ活用致シマスコトガ出來マスナラバ、一舉兩得ナノデアリマスガ、是ハ又「ガソリン」ノ不足ト云フヤウナコト、是モ十分參ツテ居リマセヌ、船ノ方ハ大キイ船ヲ一噸ニ拵ヘテ、直グ明日カラ間ニ合フト云フコトハ難カシイノデアリマス、差當リ一番力ヲ入レテ折ツテ見タイト思ツテ居リマスコトハ、「ガソリン」ノ供給ノ不足ヲ何トカ解決ヲ致シマシテ、サウシテ近縣ニ供給スル分量ヲ殖ヤシテ參ル途ヲ考ヘテ、打合せヲシテ居ルヤウナ次第デアリマス、尙ホ是ハ目先近海投棄ノ量ガ減ルト云フダケノ話デアリマシテ、之ヲ輕減スルト云フ所マデ—只今申シマスヤウナ近縣ニ肥料トシテ供給スルト云フ所マデ

第六類第十一號 日本肥料株式會社法案委員會會議錄 第十回 昭和十五年三月十六日

ハ到達シ得マセズガ、併せて根本的二十分ナ考ヲ運ラヌ必要ガアリマス、ソレハドウ云フ方法ガ宜イカト云フコトヲ今日申上デ...

熊谷委員長 大臣ヲ呼びニヤツテ居リマスカラ一寸待ツテ下さいソレハ河野君...

數料ヲ、其ノ肥料配給ニ依ツテ得ル利益ノ中カラ出ス、斯ウ云フコトニ致シマスヨリ...

河野委員 サウシマスト少シ話ハハツキリシテ參リマシタガ、全肥商聯ハ仕事ハ...

○河野委員 凡ノ私ハ從來ノ自由主義時代、自由取引時代ニハ共同購入ト云フヤウナコトニ依ツテ利益ガアリ、又之ヲ共同保管スルコトニ依ツテ利益ガ得ラレ、共同配給スルコトニ依ツテ利益ガ得ラレルト云フノデ、今日ノ肥料ノ如キハ買方大キキナ口ヲ開ケテ待ツテ居ル、一日千秋ノ思ヒ得テ居ル、保管スルト云フヤウナコトハ殆ドナク、得ナイト云フヤウナ窮乏時代ニ、一體保管ト云フコトハ私ハナカラウト思フ、又同時ニ公道價格制度ニ依ツテ元ハ幾ラダ、或ハ卸ハ幾ラダ、小賣ノ口錢ハ幾ラダト決ツテ居ル際ニ、共同購入ニ依ツテ何等ノ利益ハ得ラレト来ナイ、大量ヲ買フカヲ安ク買ヘル、共同購入スルカヲ斯ウ云フ利益ガアルト云フヤウナ場合ニ於テハ、私ハサウ云フコトガ言ヒ得ルノダト思フ、私ハサウ云フ場合ニ於テハ、私ハナカラウト思フ、ハ活用サレルモノノダト思フ、然ルニ今日ノ肥料ノ如クニ、小賣口錢ハ幾ラ、卸ノ口錢ハ幾ラ、隨テ是等ノ配給價格ハ幾ラダト決ツテ居ルモノニ共同購入ノ必要モナケレバ共同販賣ノ必要モナイ、事務的ニドウ云フ配給方法ガ最モ國家、農民ノ爲ニ妥當ナリヤト云フ點ニ於テハ、私ハ考ヘラレベキコトデアツテ、ソレ以外ハ私ハ考ヘラレベキコトデアツテ、ソレ以外ハ私ハ考ヘラレベキコトデアツテ、ソレ以外ハ私ハ考ヘラレベキコトデアツテ...

商業組合精神ニ依テ指導スルト云フヤウナコトハ、是ハ私ハ非常ナ錯誤ガアルノチヤナイカト思フ、サウ云フコトヲヤルコトニ依ツテ誰カ益スルナラバ宜シ、ソレニ依ツテ非常ニ農家ガ益スルカ、商人ガ非常ニ得ラスルト云フコトガアルナラバ、吾々ハ考ヘナケレバナラヌコトデアリマスケレドモ、百姓ハ何モノソナコトヲ要求シテ居ラヌ、誰モサウ云フコトヲ考ヘテ居ラヌ、誰モサウシテ吳レト云フコトヲ頼マナイ、肥料商又然リダラウト思フ、別ニ肥料商ガ自分ノヤツテ居ル商業組合ノダト云フコトメテ、商業組合ヲ商賣スルノダト云フコトヲ希望シテ居ル商人ハアルマイト思フ、唯ハ少イシ、個々ニヤツテ居ッテハ數量モ少イカラ、三人、五人最モ多キヲ集メテヤラデヤラウデハナイカ、若クハ郡單位デヤラウデハナイカト云フヤウナ申合セ、地方ノ實情ニ應ジテ之ヲヤツテコソ初メテ機宜ヲ得タル處置デアル、ソレヲ一貫シタル精神ニ依ツテ、地方ハ地方デ小賣商業組合ヲ作レ、縣ニ圓卸商業組合ヲ作レ、之ヲ體メテ全肥商聯ヲ作レ、此處デ商人ガ一ツノ勢力ヲ持ツト云フヤウナ考ヘ方ハ非常ニ舊式ナ考ヘ方デアツテ、サウ云フコトハ、今ノ國家、農民何人モ要求セザル考ヘ方デアルト私ハ思ハザルヲ得ズ、ソレデアリマス、今御示シノヤウニ共同購入ヲヤツテ所ガ利益ガナイ、共同保管シテ所ガ保管スルヤウナ品物ガナイト云フヤウナ場合ニ、一體卸商業組合、全肥商聯、小賣商業組合ノヤルベキ使命ト云フコトハ、肥料配給ノ部門ニ於テハ私ハナカクナツテ居ル、斯ウ考ヘルノデアリマスガ、何カ外ニアリマシタラ御示シテ願ヒタイト思ヒマス。

ヒマス  
○妹川政府委員 只今ノ河野サンノ御意見、デゴザイマスガ、至極吾々モ同感スル點ガ多イデアリマス、確ニ今御述ベナリマシタヤウニ自由主義經濟時代ト、計畫化サレテ参リマシタ經濟ノ時代ニ於テハ、共同購入、共同保管ト云フヤウナコトヲ持ツ重要ハ、大變進ツテ參リマシタ思ヒマス、若シ吾々ガ極端ニ計畫化サレタ經濟ヲ想像シマスナラバ、共同購入ノサウ云フヤウナ仕事ハ、段々ト意味ヲ持タナクナルカトハ存ジマス、此ノ點ニ於テハ商業組合モ産業組合モ計畫化サレタ經濟ニ於テハ、共同購入、共同保管ト云フヤウナコトヲ行ハ、ハハリ全國ノ統制ヲシマシテ、サウ云フヤウナ中核機關モ設ケマシテ、之ヲ指導シテ行ク、サウ云フコトニ致シテ宜イト考ヘマシマシマシタヤウナ事情デゴザイマス。

○河野委員 一體只サハ手數料ノ少イ體カラスモノヲ、商業組合、全肥商聯ノヤウナモノヲ作ツテ經營ヲ掛ケナケレバナラヌ理由ガ何處ニアルカ、是ガ私ノ疑ヲ持ツ點デアリマス、一體サウ云フ組合ヲ作リ、サウ云フ制度ヲ作ツテ、仍テ以テ損失スル首擔ト云フモノハ相當多イデアリマス、今日ノ商業組合一依テ保ツテ縣ノ商業組合ニナカレバ、縣ノ商業組合ニ依テ保ツテ四縣ノ商業組合ニ依テ保ツテ、サウシテ組合一錢トカ一錢五厘ト云フヤウナモノヲ取ラレテシマツタナラバ、全ク卸商トシテ殘ル所ハ無クナツテシマフ、又單位産業組合、商業組合若クハ小賣商人ニシマシテモ同様デアリマス、同時ニ今申上ゲテ又政府ノ方デモ御認ニナリマスヤウニ、一體サウ云フヤウナ有ツテモ無クテモ宜イヤウナモノノ爲ニ、全肥商聯ガ今日多額ノ拂込ヲシテ、多額ノ資金ヲ之ニ費セテ、サウシテ之ニ經費ヲ使ツテ居ラナケレバナラヌ理由ト云フモノガ吾々分ラヌ、ソレヲ唯商工省ガ自分ノ都合デ、自分ノ監督上指導上必要ナラバ、全肥商聯ノ經費ハ全部商工省ガ補助シテオカリナレバ宜イ、之ヲ商人ノ負擔ニテオヤリセルト云フコトハ即チ私ハ今日ノ時勢ニ合ハナイコトダト思フ、政府デサウ云フ機關ガ入用ナラバ全肥商聯ニ補助金ヲ出シテ、政府ノ經費デ以テケレバ宜イ、然ルニサウデモナシニ全肥商聯ニ加入シロ、私ハイツモ例ニ舉グルノデアリマスガ、此處ニオテ居デニナル小平君、縣卸商業組合ノ最高幹部理事長デ、アナタノ方加入シロコト言ツツツテ居ラレル一人デ、吾々來ルモノカト言ツツテ居ラレル一人デ、吾々モ全く同意見ヲ持ツテ居ル一人デアリマス、ソレニ對シテ政府ガ強制的ニ府縣ノ役人ニ對シテ、オテノ縣ハ加入シナイ、加入スルヤウニ能ク言ヘト云フヤウナ通牒ヲ出シテ居ル、加入シテ何カ負擔ヲスルカケノコトガアルナラバ吾々モ加入スル、加入ノ動議モスル、所ガ加入シテ所ガ、シナイ所ガ、配給シテ買フ數量ハ同ジデアラ、別ニ何モ變テ言集テ申サウデアリマスケレドモ、御利益ハナイ、御利益ノナイ所ニ資金ヲ供給スルハナイ、商工省ガ幾ラ命令シテ所ガソレニ依ツテ何モ思フハナイ、吾々ハ唯産業組合一點張テ言ウテ居ルモノデハナイ、ガ併シ大臣ガオ見エニナリマシタガ御

忙シイ大臣ノ時間ヲ取ルノハ、遺憾デアリマスカラ、何レ大臣ノ質問ガ済シテ後ニ廻シマスケレドモ、兎ニ角サウ云フヤウナ今日口錢ガ少クテ困ツテ居ル際ニ、別ニ商工省ノ役人様ノマサカ道樂チヤナカラウケレドモ、農林省ガ全肥商聯ヲ持ツテ行クカラ、俺モ全肥商聯ヲ持ツテ行クンダ、ソレデ肥料ノ配給ハ一通リ片付クンダト云フヤウナ考ヘ方ハ止メテ貰ヒタイ、サウ云フコトヲヤルカラ益、農民ハ迷惑スル、ソレニ依ツテ誰モ喜ブ者ハナイ、商人モ喜バナケレバ百姓モ喜バナイ、誰モ喜バナイモノヲ一部ノ東京ノ商人、商工省ノ役人サシタケ全肥商聯々々々ト擔ギ廻ラレレコトハ迷惑千萬デアルト云フコトヲ申上ゲテ、何レ火曜日ノ午前十時カラ此ノ委員會ガアリマスカラ、ソレマデ私ノ申上ゲテコトヲ十分ニ御研究戴キマシテ、其ノ際ニ私ハ時間ヲ取リテ更ニ御詳詳細細ニ進メテ行キタイト思ヒマス、大臣ガ御見エニナリマシタカラ、私ノ質問ハ此ノ程度デ止メテ置キマス。

○熊谷委員 河野君、アナタ大臣ニ對スル質問ガマダ、大分殘ツテ居マスカ  
○河野委員 私人ノ方ニ譲リマス  
○熊谷委員 河野君、アナタ大臣ニ對スル質問ガマダ、大分殘ツテ居マスカ  
○森田委員 大臣ハ御忙シサウデゴザイマスカラ、私出來ルダケ短ク御專致シタイト思ヒマス、ソレハ破安ノ増産ニ對スル大臣ノ御考ヲ御伺シタイノデアリマス、今日我ガ日本ノ國ノ統後ニ於テ爲スベキ政治上ノ施設ハ、非常ニ多イト思ヒマス、就中此ノ食糧問題ト云フモノガ、最モ重要ナ問題ニナツテ居ルノデアリマスガ、其ノ食糧ノ確保致シマスル、殘餘ノ五割ノ混合瓦斯ノ燃

力ハ、約七割ニ該當スルモノダト云ハレテ居ルノデアリマス、サウ致シマスル後ノ三割ハ石炭ナリ何ナリテ補給スレバ宜シイデアリマスルカラ、若シ此ノ鐵工場カラ出ル瓦斯ヲ利用スル爲メ、國策會社デアル日鐵等ニ、今ノ硫酸、アンモニヤラ造ル工場ヲ併設致シマスルト、會社全體ノ經營ノ合理化ガ圖ラレマス關係上、生産費ガ低下致シテ參ルノデアリマス、サウ致シマス、鐵其ノモノノ生産費モ低下スルノデアリマスカラ、此ノ點カラ考ヘマシテモ、日本ノ現在ノ低物價政策ニ合致スル所以デアリマスカラ、此ノ點ノミヲ考ヘマシテモ、私ハ是ハ既行シテ附設致スベキモノダト考ヘテ居ルノデアリマス、而モサウ云フヤウナ利益ガアル一方、此ノ五割ノ水素ヲ利用致シマシテ、百萬圓ノ増産ガ出來ルト云フコトニナリマスレバ、日本ノ肥料界ヲ今日ノヤウナ窮地ニ陥レズニ、私ハ濟シテモナカト思フノデアリマス、デアリマスカラドウカ今ノ根本國策トシテモ、産業ノ合理化ヲ圖ラナケレバナラナイト云フ一點、更ニ現下ノ日本ノ肥料界ノ中ノ、最モ根本的ナ問題トナツテ居ル破安ノ窮乏状態ヲ救フ意味ニ於テモ、斯ウ云フヤウナ産業ノ合理化ヲ圖リ、破安ノ製造工場ヲ今ノ國策會社ニ併設スルヤウナ形ニ於テ、私ハ速カニ實施セラレベキコトダ、是ガ最モ必要ナコトダト私ハ考ヘテ居ルノデアリマスガ、之ニ關シテ農林大臣フウ云フ風ナ御考ヲ御伺シマシタコトデアリマスガ、御所見ヲ御伺シタイノデアリマス。

○島田國務大臣 製鐵事業ノ工程ノ上ニ於テ出來ル一種ノ瓦斯ヲ利用シテ、之ヲ以テ破安ノ製造ニ向ケルト云フ御考ニ付キマシ

ナゴトヲ承テ居ルノデアリマス、併シナ  
ガラナゼンレガ實現セラレナカワツノデア  
ルカト言ヒマス、要スルニ日本ノ國ノ國  
策會社ト云フモノハ、ソレ自體經營ヲ採算  
ガ採レルヤウナ形デ、政府カラ補助ヲ得テ  
居ルノデアリ、其ノ意味ニ於テ何モ事ヲ好  
シデサウ云フモノヲ附設シテ、面倒ニスル  
必要ハナイダラウト云ツクヤウナコトガ、一  
ツノ此ノ施設ノ實現サレナカワツク惡條件ニ  
ナツテ居ルンダト認イテ居ルノデアリマ  
ス、サウシマス、是ハ相當大キイ問題  
ダト私ハ考ヘルノデアリマス、ナゼカト言  
フト今日農民其ノ他ノ下級ノ方々ガ、日本  
ノ國策ノ上カテ制ヲ受ケ、其ノ結制ニ苦  
シミツマモ尚且國策ニ順應セントシテ居  
ル、然レニ日本ノ國策會社トモ目シテ居  
ルモノガ、只今申上ゲマシタヤウナ、唯經  
營上煩雜アルカラト云ツクヤウナ意味  
デ、日本ノ根本國策トシテノ低物價政策ニ  
順ズル產業ノ合理化ガ出來ナイト云フヤウ  
ナコトニナリマス、是ハ相當苦ト致シ  
マシテハ、考慮ヲセナケレバナラナイ問題  
ヲ含シテ居ルト考ヘルノデアリマス、農林  
省ニ於テドウカ此ノ點ニ付キマシテハ、十  
分一ツ思ヒヲ致シテ下サイマシテ、此ノ案  
方通過致シマシタラバ、即時調査下サ  
イマシテ、此ノ實現ヲ國策ヲ裁キタイ思  
フノデアリマスガ、此ノ點ニ付キマシテ  
意見ヲ御同致シマシテ、サウシテ私ノ質問  
ヲ打切りタイと思ヒマス

○島田國務大臣 私ハ只今御尋ノヤウナ意  
味ヲ含シテ先程御答ヲシタノデアリマス、  
大藏大臣カラモ商工大臣カラモ、アタタノ  
御質問ガアツタコトヲ聞イテ居リマスガ、  
私ハ技術家デナイカラ、サウ云フコトガ出

○野澤委員 大體大臣ノ誠意アル御答辯ニ  
對シテ、私ハソレ以上ハ言ヒタクナイノデア  
リマスガ、モウ少シ具體的ニ私ハ對策部長カ  
ラ一ツ御答辯ヲ願ツテ、ソレヲ打切りタイ  
ト思フノデアリマス、實際ニ潤滑ニ行カナイ  
ト云フコトハ過般來同僚諸君カラモ述べラ  
レテ居ルノデアリマスガ、實際現在ノ配給  
機構ト云フモノガ全ク複雑ナノデアリマス、  
斯ウ云フ配給機構ノ複雑サデハ、申キアナ  
ク迷方幾ラ命令ヲ出シテモ、實際問題トシ  
テハ潤滑ニ行キマセヌ、デアリマスカラ、  
若シサウ云フ指圖ニ從ハナイヤウナ所ノ關  
係機關ガアツタラバ、其ノ機關ニ對シテ  
ハ、例ヘバ業者デアリナラバ免許證ヲ取上  
ゲルトカ何トカ、副金位デナクシテ行政處  
分ニ付サナケレバ、トモ駄目デス、デア  
リマスカラ此ノ點ハ先程來アタタガ仰シヤ  
ル通り、農民ノ手ヘ其ノ必要ノ時期ニ速ク  
届クヤウニシナケレバナラヌト云フ誠意ヲ  
示サレ、又サウ云フ方針デ行クト云ハレテ  
居リマスカラ、若シサウ云フ潤滑ツク者ガ  
アツタラバ、免狀デモ免許デモ取上ゲル  
ト云フ其ノ決意、サウシテドウ云フ方向ニ  
流スト云フ決意ヲ一ツ御示願ヒタイ

○重政政府委員 勿論私ト致シマシテハ、  
是ハ内容ニ依ルコトデアリマス考ヘマス  
ガ、惡質ナルモノニ付キマシテハ、取替ル  
方ノ監督權ノ發動モ辭サナイト云フ覺悟ヲ  
持ツテ居リマス、ノミナラズ問題ハ處分ヲ  
スルト云フコトガ第一義デハ勿論ナイノデ  
アリマス、敏速ニ潤滑ニ需要地ニ運ブト云

來ルナラバ結構ダカラ、謂ベテヤウテ見ヨ  
ウ、斯ウ云フコトヲ御答シテ居リマス  
カラ、サウ云フ風ニ御答承ヲ願ヒマス、研  
究シテ見マス

○森田委員 ソレ便宜シウゴザイマス  
○熊谷委員 野澤君、アタタハ簡單デ  
スカ

○野澤委員 私人一點ダケデス

○熊谷委員 潤滑ニ願ヒマス

○野澤委員 春肥ノ需要最盛期ニ直而致シ  
マシテ、肥料ノ配給ガマダ潤滑ニ行ツテ居  
ラナイノデアリマス、農林當局ハ非常ニ御  
努力ヲサレテ居ルヤウデアリマスガ、一體  
現在ノ農林省ノ御考慮ニ行ツテ居ルナラ  
バ、春肥最盛期ノ現下ニ於テハ、モウ配給  
制當量ト云フモノハ、ソレノ各機關ニ  
指圖サレマシテ制當ヲサレテモ宜イノデア  
リマスガ、此ノ制當ガ潤滑ニ行キマセヌ、  
私ハ具體的ニ長野縣ノ事情ヲ申上ゲマス、  
長野縣ナドハ、彼處ハ沖積土壌、火山灰土  
壤デアリマス、特ニ今マデ窒素成分ヲ以テ  
ヤツテ來土地デアリマス、故ニ酸性土壌  
デアリマスガ、此ノ酸性土壌ニ潤滑ニ行  
クニハ石灰肥料ガ必要ナノデアリマス、  
然ルニ斯ウ云フヤウナ點ニ付キマシテモ、  
ダ其ノ各肥料ノ制當數量ガ潤滑ニ配給ヲサ  
レテ居ナイノデ、農家ト致シマシテモ非常  
ニ困フテ居リマス、當局ハ肥料ハ減ベタ農  
家ノ手齊ニ必要ノ時期ニ早ク届タウニス  
ルノガ本法案ノ趣旨デアルト云フコトヲ言  
ハレテ居リマスガ、實際ハ所ノ如キ状態ニ  
アリマス、此ノ實際ノ状態ヲ當局ハ何ト見  
ラレカ、其ノ事實ガアツタコトヲ申サレバ、  
農林對策部長ノ通牒、即チ若シ各配給  
機構ノ機關ニ於テ其ノ指圖ヲ怠リ、或ハコ

チラノ方針ニ關ハナイヤウナモノニ對シマ  
シテハ臨時處置ヲ斷行スルニ意思アリト云  
フヤウナ御通牒ヲ出サレテ居ルノデアリマ  
スガ、果シテ其ノ通牒ガ徹底シテ居ルカド  
ウカ、又其ノ通牒ノ臨時處置ヲ斷行スル意  
思アリト云フコトニ對シマスル具體的ナ方  
法ニ對シテ、此處デ御説明ヲ願ヒタイと思  
ヒマス

○重政政府委員 只今御述ニナリマシタ通  
牒ノ件ハ、屢、御質問ガアツタノデアリマ  
スガ、是ハ此ノ通りヤル積リデ居リマス  
○野澤委員 其ノ通りニナル積リデ居リマ  
スト云フケレドモ、實際ニ春肥ノ配給制當  
量ハ手許ニ著イテ居ラス、ソレヲドウスル  
ノデゴザイマス

○重政政府委員 肥料ガ手許ニ著イテ居ラ  
スト云フ御話デアリマスガ、ソレハ、限月  
ハ何時ノモノデアツテ、ドウ云フ取扱カト  
云フコトヲ一々調ベル必要ガアルト思フ  
デアリマスガ、私ノ記憶シテ居マリス所デ  
ハ、恐ラク破安ノ如キハ相當長野縣ニ行ツテ  
居ルト云フ大體見込デ居ルノデアリマスガ、  
是ハ具體的ノ問題ハ一ツ至急ニ取調ベマシ  
テ、苟モ中間ニ於テサウ云フヤウナ做活間  
滑ニ流レルコトガ阻止セラレテ居ルト云フ  
ヤウナ事情ガアリマスモノニ付キマシテハ、  
能ク地方長官ノ方トモ協調ヲ致シマシテ、  
應請ノ處置ヲ執リタイ考ヘマス

○島田國務大臣 只今ノ野澤君ノ御質問ノ  
大體ノ趣意ハ別トシマシテ、具體的ノアチ  
タノ點ノ事實等ニ付テハ、是ハ政府トシテハ、  
此ノ肥料ノ配給ニ付テハ、先般來度々申上  
ゲマスヤウニ努力ヲシテ其ノ期ニ遅レナイ  
ヤウニ、適當ノ配給ハ出來ルヤウニヤウテ  
居ルト云フコトヲ申上ゲテ居ルノデアリマ

フコトガ、何處マデモ第一義ノ問題デアリ  
マスノデ、サウ云フ點ニ付テ積極的ニ促進  
ヲスルヤウナ方法ヲ執リマス同時ニ、只  
今御話ノアリマシタヤウナ都合ナル惡質  
ナルモノニ付キマシテハ、場合ニ依リマシ  
テハ一時配給ノ停止ヲ命ズル、或ハ又極メ  
テ惡質ノモノニ付キマシテハ、只今御話ノ  
ヤウナ營業ノ免許ヲ停止若クハ之ヲ取消ス  
ト云フヤウナ、最後ノ手段マデ行クコトヲ  
辭サナイ積リデ、私ハ居ルノデアリマス

○野澤委員 當局ノハツキリシタ御答辯ガ  
アリマシタカラ打切りマス

○熊谷委員 平野君

○平野委員 私人一應大臣カラ御答辯ヲ得  
テ居リマスノデ、細カイ事ハ申シマセヌ  
ガ、二三點ニ付テハ御答辯ヲ致シテ  
置カナケレバナリマセヌコトハ、對策部長  
カラ大體承ツタノデアリマス、此ノ點ダケハ大  
臣デアナイ私ハドウモハツキリ答辯出來  
ヌ、斯ウ仰シヤウテ居ル點ガアルノデス、  
ソレハ斯ウ云フ點デアリマス、現在政府ノ  
考ヘテ居リマス破安ノ増産政策ニ付テ、大  
體三千万圓ノ豫算ヲ計上シ、會社ノ内容ニ  
付テハ十分調査ヲシテ、臨時措置法ニ依  
テ増産命令ヲ出ス、是ダケノ措置ヲ以テ行  
ケバ大體肥料ト云フモノハ生産出來ルノ  
ダ、斯ウ云フ概念マデハ對策部長ノ御答辯  
ニ依ツテ明ニナツタ、此ノ點ハ私共ト致シ  
マシテモ相當ニ安心ハ致シタノデアリマス  
ガ、併シ對策部長ノ最後ノ御答辯トシテ、  
ソレダケノ方法ニ依ツテ一應出來ルト云フ  
理窟ニハナルノデアリマス、最後ニ電力ト石  
炭ノ供給ガ豐富デナケレバ、ヤハリ是亦斷  
言ヲスルコトガ出來ヌ、斯ウ云フ御答辯デ  
アリマス、ソレデハ結局不安デハナイカ、

怪シイデハナイカ、斯ウ云フコトニナルノ  
デアリマス、ソコ大臣ニ於ケレマシテハ  
屢、安心ヲセヨト云フコトヲ申サレテ居ル  
ノデアリマスケレドモ、實ニ是ダケノ方  
法ニ加フルノニ、電力石炭ト云フモノノ絶  
對必要量ト云フモノハ、絕對ニ潤滑ニ合セ  
テ、破安ノ増産ニ付テハ來肥年度カラハ  
十分デアリマシタコトヲ云フコトヲ、此ノ委員會  
ニ於テ大臣カラ極メテ率直ニ私ハ御答辯ヲ  
願ツテ置キタイと思フ、若シ今私ガ申上ゲ  
マシタ是ダケノ方法ニ加フルト云フコトヲ  
以テスレバ大丈夫デアルト云フコトヲ  
イナラバ、吾々ハ今日地方農村カラ、如何  
ニアタタガ議會ニ於テ大臣カラ色々答  
辯ヲ取ツテ居ラレドモ、結局肥料ハ現實ニ  
來スコトヲ如何せん、之ニハ一タマリモナ  
イノデス、敢テ理窟ヲ言フノデアリマセ  
ヌガ、政府當局者ハ大丈夫ダト云フ、農村  
ノ方カラハ肥料ガ來ヌト云フ、板挟ミニナ  
ルノハ吾々デアリマシテ、吾々ハ少クトモ  
此ノ肥料委員會ニ於テ大臣ガ聲明シテ、來  
年度カラハ肥料ハ大丈夫ダト云フコトヲ言  
フ限リニ於テハ、大臣カラモツト具體的ニ  
此ノ限リニ於テハ、石炭ノ如キ破安製造  
ニ必要ナルモノハ、絕對ニ國務大臣ノ立場  
ニ於テ取ツテ潤滑ニ合ハセル、重政對策部長  
ガ聲明シタヤウニ、此ノ破安ノ對策ハ大臣  
夫ダト云フコトヲ、先づ大臣カラ率直ナル  
御聲明ヲ得テ置キタイ

○島田國務大臣 此ノ點ニ付キマシテハ、  
私ハ先般來本提案ノ際本會議場ニ於テモ來  
年度ノ肥料ニ付テハ申上ゲタ、方法ニ付テ  
具體的ニ、電力ヲ石炭ヲ云々ト云フコト  
ヲ、石炭若シテハ電力ニ依ルニアラザル  
方法ニ依ツテハ、御満足ニナラナイ譯デアリ

マスガ、アタタノ地方ニ對スル特別事情ト  
云フヤウナコトニ付キマシテハ、是ハ如何  
デゴザイマス、委員會ノ質問應答デナシ  
ニ、委員會ヲ離レテ對策部長ニ、直接話ヲ  
聽イタリ調ベサシタリシテ御覽ニナル方ガ、  
早分リヲスルノデハナイカト思ヒマスガ、  
如何デスカ

○野澤委員 ソレハ獨リ長野縣バカリデハ  
ナイノデス、實ハ香川縣カラモ要望ガアリ、  
靜岡縣ノ方カラモ要望ガアリマシテ、ソレ  
ソレ各地方トモ非常ニ困難ヲ來シテ居ル譯  
デス、デアリマスカラ、アタタノ方デハ誠  
意ヲ以テヤラレテ居ツテモ、途中ノ中樞機  
關或ハ其ノ他ノ機關ニ於テ何處カニ故障ガ  
アルト思フ、デアアルカラ重政部長ガアノ通  
牒ヲ出シタノデスガ、其ノ通牒ノ趣旨ガマ  
ダ徹底シマセヌカラ、私ハ其ノ趣旨ヲ徹底  
スルヤウニシテ貰ヒタイ、ソレニハ只今ア  
ナタガ申サレタ通り、ドウ云フヤウナ方法  
デアラカト云フコトヲ、具體的ニ御示ヲ願  
フナラバ、私達ハ是カラ地方ヘ歸リマシテ  
モ、農民ニ對シマシテ當局ノ誠意ヲ具體的  
ニ申述ベテ、農民ヲ安心セシムルコトガ出  
來ルト云フ譯デアリマスカラ、斯ウ云フ點、  
例ヘバ受渡ノ遅レタモノニ對スル處置方法  
ニ付キマシテハ、ドウ云フコトヲ考ヘテ居  
ルト云フヤウナコトヲ、具體的ニ御答辯ヘ  
レバ、ソレヲ打切りマス

○島田國務大臣 只今ノヤウナ御意見ト云  
ヒマスガ御尋ニ付キマシテハ、對策部長モ  
申上ゲマシタヤウニ、事實ヲ取調ベマシテ、  
サウシテ其ノ配給シタモノガ萬一申途ニ停  
マツテ居ルト云フヤウナコトガアリマスナ  
ラバ、ソレガ至急ニ流レテ行クヤウニ、到  
達スルヤウナ措置ヲ急速ニ執ルヤウニ致シ

マスカ、サウデハナイデセウ、政府トシテ  
ハ此ノ會社モ出來、色々ノ關係カラ考ヘマ  
シテ、大體來肥年度ニ於ケル肥料ニ付テ  
ハ確保ノ確信アリ、斯ウ云フコトヲ國務大  
臣ガ本會議場ニ於テ述べテ居ルノデアリカ  
ラシテ、之ニ對シテ尙ホ念ヲ押サレレバ、結  
局念ヲ押サレルコトハ明日ノコトヲ言フ  
ト云フコトニナルカラ、念ヲ押サレレバ結  
局不明瞭ニナル、斯ウ云フコトニ私ハ落  
ルコトヲ思フカラ、國務大臣トシテ聲明シ  
タコトヲ眞直ニ御聽取ヲ願ヒタイ、自分  
ガ此ノ職ニ居ル限りハ明肥年度ニ於ケル  
肥料ニ付テハ確保ノ確信アリ、是ダケ申上  
ゲテ置キマス

○平野委員 ソレハ大臣ガサウ云フ風ニ仰  
シヤレバ大體ハ宜シイト云フ風ニ最初ハ思  
ツタノデス、ソレ以上ニ御聽スルコトハ、或  
ハ失禮カモ知レヌト云フ位ノコトハ考ヘテ  
居リマス、併シナガラ事實ヲ如何せん、實  
際問題トシテ責任ヲ以テ當ルカラ唯安心シ  
ロト云フ以上ニ私ハ承リタイ、而モ大臣ハ  
只今破安デナクテモ宜イデハナイカト云フ  
ヤウナ御話ガアリマシタガ、是ハ私ハ洵ニ  
疑問ナラヌ、ドンナ肥料デモ宜イデハナ  
イカト仰シヤラレガ、現ニ豆粕トカ其ノ  
他ト云フモノハ相當ニ不安ノ形勢ガアル、  
大臣ハ御見エニナラナカワツタガ、現下ノ我  
國ノ肥料政策ト云フモノハ、何ト云フデモ  
破安重點主義ナンデス、而モ此ノ破安重  
點主義ハ、大體ニ於テ現在工場ノフルニ  
ヤレバ出來ルノダト云フ事實ヲ、當局ハ  
吾々ニ聲明シテ居ル、隨テサウナレバ石炭  
ト電力サハアレバ出來ルノダ、隨テ石炭ト  
電力ト云フモノハ十分之間ニ合セルノダ

ト云フ一ツノ言明ガナケレバナラヌト思フ、尙ホ私ガ疑ヲ持チマスノハ斯ウ云フ事ナラズ、私ガ重政對策部長ニ答辯ヲ願フ...

○島田國務大臣 來年度ノ肥料、殊ニ破安ニ關スル點ニ付キマシテハ、只今マデ申上...

○平野委員 ソレデハ對策部長ニ一ツ... 此ノ前御聽シタルデアリマスガ、破安ニ對シテ電力ヲ必要トシテ使フシマツタナラ...

○島田國務大臣 是等ノ點ハ私モ一應御答シタコトガアリマスシ、對策部長カラモ御...

ウシテヤルカ、斯ウ云フヤウニ御尋ニナルト、ドウモソレニ對シテハ此ノ場合ハ答辯ヲ差控ヘル外ハ仕方ガナイデアリマス...

○平野委員 最後ニ、モウ答辯ハ宜シイノデスガ、大臣ニ希望ヲ申上ゲテ置キマス、大臣ノ御答辯ハ速記録ナドヲ見マシテモ洵...

○島田國務大臣 其ノ只今ノ平野君ノ御言葉ハ諒政シマシタ、尙ホ私ノ申上ゲルコトガ不明瞭デアラ、斯様ナ御批評ヲ受ケ...

○熊谷委員長 サウ認メマス、ソコデ今度ハ日程ノ方ノ御相談デス、明日ハ租稅ノ法案ガ上リマスカラ、是ハ殆ドコチラノ方...



# 第七十五回帝國議會 日本肥料株式會社法案委員會會議錄(速記)第十一回

付託議案  
日本肥料株式會社法案(政府提出)  
修正法律案(政府提出)  
(第一〇三號)

## 會議

昭和十五年三月十九日(火曜日)午前十時二十分開議

出席委員左ノ如シ

- 委員長 熊谷 直太君
- 理事 成島 勇君 理事 山田 六郎君
- 理事 原 徳兵衛君 理事 河野 一郎君
- 土屋 寛君 森田 重次郎君
- 小野 寅吉君 田中 邦治君
- 村上 國吉君 吉植 庄亮君
- 小平 重吉君 野濤 勝君
- 石坂 繁君 平野 力三君
- 村上 元吉君

三月十七日委員西川貞一君辭任ニ付其ノ補  
關トシテ世耕弘一君ヲ議長ニ於テ選定セリ  
同月十八日委員小平重吉君辭任ニ付其ノ補  
關トシテ倉元一君ヲ議長ニ於テ選定セリ  
同月十九日委員倉元一君辭任ニ付其ノ補  
關トシテ小平重吉君ヲ議長ニ於テ選定セリ  
出席國務大臣左ノ如シ

農林大臣 島田 俊雄君

- 出席政府委員左ノ如シ
- 農林政務次官 岡田喜久治君
- 農林省山林局長 田中 長茂君
- 農林省臨時農 重政 誠之君
- 村對策部長

本日ノ會議ニ上リタル議案左ノ如シ  
日本肥料株式會社法案(政府提出)  
農會法中改正法律案(政府提出)  
熊谷委員長 ソレデハ前會ニ引續キマシ  
テ、日本肥料株式會社法案外一件ノ委員會

## 農林大臣

○島田國務大臣 此ノ場合本委員會ニ付託  
ニナツテ居リマス農會法中改正法律案ニ付  
キマシテ提案ノ理由ヲ述ベタイト存ジマス  
農會ハ多年我國ノ農業ノ改良發達ニ努メ  
來リマシテ、殊ニ時局下ニ於テ生産ノ確保  
其ノ他農業上ノ各般ノ施設ヲ行ヒツツアル  
ノデアリマスガ、時局ノ推移ニ對應シ、其  
ノ機能及ビ機構ヲ整備強化致シマスコトハ  
極メテ必要ト存ジマス、即チ農業ノ指導榮  
勵ト共ニ適切ナル統制ヲ行フテ參ルコトガ  
必要ト相成ツテ參ツクデアリマス、又重  
要農産物ノ生産ノ確保、其ノ他農業上ノ施  
設ハ、部落ニ於キマスル農業ニ關スル團體  
ノ活動ニ依ツ所ガ極メテ多クデアリマス、  
隨テ是ト農會トノ連絡ヲ周帶ニ致シマス、  
トハ、農會ノ機能ヲ發揮シ、是等團體ノ活  
動ヲ促進スル所以下存スルデアリマス  
以上ノ趣旨ニ依リマシテ本法律案ヲ提出  
シタ次第デアリマスガ、今改正ノ要點ニ付  
テ御説明申上ゲマスレバ、第一ニハ農會ノ  
施設トシテ農業ノ統制ヲ爲シ得ルコトトシ  
タ點デアリマス、而シテ統制ノ内容トスル  
所ハ主トシテ農業生産ニ關スル統制、或ハ  
農用資材ノ施用ノ統制等デアリマス、尙ホ  
之ニ關シテ必要アル場合ハ、行政官廳ニ於  
テ農會ヲシテ統制ヲ行ハシムルコトトシ、  
又是等ノ統制ヲ確保スル爲、必要アリマス  
場合ハ市町村農會ノ會員ニ對シ、之ニ從フ  
ベキ旨ノ命令ヲ爲シ得ルコトトシタ點デア  
リマス、第二ニハ部落ノ農業ニ關スル團體ガ

## 農會ニ加入シ得ルコトト致シタコトデアリ

マス、即チ農事實行組合等、部落ノ農業ニ  
關スル團體ノ加入ノ途ヲ拓キ、農會ノ機能  
ノ徹底ヲ圖ルコトト致シタ點デアリマス、  
何卒慎重御審議ノ上可決セラレンコトヲ切  
望致シマス  
○熊谷委員長 ソレデハ是ニテ暫時休憩致  
シマス  
午前十時二十五分休憩

## 午後一時十八分開議

○熊谷委員長 ソレデハ午前一引續キ開會  
致シマス、河野君ヨリ極短カキ時間簡單  
ナ質問ヲサレルヤウデアリマスレカラ、委  
員長ハ之ヲ已ムヲ得ザルモノト認メマシテ  
許可致シマス——河野君

○河野委員 極ク簡單ニ一點タケ御尋シマ  
スガ、肥料ノ資源不足ノ折柄、自給肥料ノ  
増産ヲ圖ルコトハ最も重大ナコトト存ジマ  
ス、政府ノ所管ニ於キマスル國有林ノ下草  
竝ニ落葉等ヲ最も有効適切ニ利用スル必要  
ガアルト存スル思フデアリマスガ、之ニ  
付テ特ニ政府ハ從來ヨリモ一層寬大ニ且ツ  
又獎勵的ニ是等ヲ活用サレルヤウニソレ  
ノレ地元町村ト密接ナル連絡ヲ取ツテ御進  
ミ願ヒタイト思フデアリマスガ、之ニ對  
シテ山林局長ノ御意見ヲ特ニ此ノ際御伺シ  
テ置キタイノデアリマス

○田中政府委員 御承知ノ通り從來委託林  
制度ヲ以テマシテ相當便宜ヲ圖ツテ居リマ  
スガ、尙ホ私個人トシテハ少クモ農業ト林

## 業トノ連絡ヲ密接ニスルト云フ考ヲ以テ御

趣旨ニ副フヤウ今後一層努力致シタイト思  
ツテ居リマス  
○熊谷委員長 ソレデハ質問ハ是テ終了致  
シマシテ、是ヨリ討論ニ移リマス——山田  
君  
○山田委員 日本肥料株式會社法案ニ付キ  
マシテ修正意見ヲ提出致シタイト思フノデ  
アリマス、其ノ修正ハ  
第七條第四項トシテ左ノ一項ヲ加フ  
肥料業ヲ監督スル官廳ノ官吏トシテ者ハ  
其ノ職ヲ退キタル後五年間日本肥料株式  
會社ノ役員ト爲ルコトヲ得ズ、但シ主務  
大臣ニ於テ特ニ必要アリト認メタルトキ  
ハ此ノ限ニ在ラス  
此ノ一項ヲ追加致シタイトデアリマス、此  
ノ追加ノ理由ニ付キマシテハ幾多ノ先例ガ  
アリマスカラ、是以上ノ説明ハ省略致スコ  
トニ致シマス  
尙ホ附帶決議ヲ附シタイトデアリマス、  
茲ニ朗讀致シマス

- 附帶決議
- 一、政府ハ速ニ肥料ノ國家管理ヲ斷行ス  
ベシ
- 二、政府ハ主要農産物ノ生産ニ對シ他ノ  
總テテノ物資ニ優先シテ各種肥料ノ供  
給ヲ確保スベシ
- 三、政府ハ中央地方ヲ通シ各種肥料配給  
機構ヲ整備シ敏捷且ツ圓滑ナル配給ニ  
遺憾ナキヲ期スベシ
- 四、政府ハ有機質肥料ノ供給及價格ノ適

正ニ付更ニ徹底ヲ期スベシ  
五、政府ハ速ニ肥料ノ配給ヲ圓滑ニシテ...

肥料問題ノ重要性ニ付テハ今更申スマデ  
モアリマセシガ、目下ノ重大時局ノ上ヨリ...

アリマセシレバ、農産資源ノ確保ニ一大難題  
ヲ來シ、國家ノ運命ヲ危カラシムル虞ガ...

今日マデノ統制政策ハ何レモ不徹底デア  
リマス、成果ノ面白カラザルモ當然デ...

有シ得ル故ニ、政府ハ各方面ニ互ツテ徹底  
セル統制ヲ強行シテ、肥料國策ノ基礎ヲ...

肥料ノ配給ニ付テハ種々ナル摩擦ガアリ  
マスガ、是亦一大英斷ヲ以テ一元化ヲ圖...

肥料ハ日本ノ農業ノ根幹デアリマス、原料  
資材ノ獲得、肥料ノ品質ノ改善、生産工程...

以上申上ゲマシタヤウニ本年度ノ肥料ハ  
有機質、無機質トモ、農民ノ豫想以上ノ不...

政府ハ先年確安増産ノ爲ニハ色々ノ法律ヲ  
出シテ居リマス、確安増産及ビ配給統制法...

量ヲ政府ガ必ズ請合フト云フナラバマダ  
モノコトデアリマスガ、政府ノ答辯ニ依...

百三十万噸位ハ是非必要デアルト考ヘテ  
居ルノデアリマスガ、政府ノ内地ニ於ケ...

以上申上ゲマシタヤウニ本年度ノ肥料ハ  
有機質、無機質トモ、農民ノ豫想以上ノ不...

於テノ配給機構トシテハ最モ適切ナルモノ  
デアルト考ヘテ居ルノデアリマスガ、一日  
モ早く是等ノ組織ヲサレバコトヲ私ハ要望  
致シマス

次ニ私ガ政府ニ建言致シタコトハ、我  
國ノ農業上最モ必要ナル窒素、磷、加里  
ノ三要素肥料ニ付テ新イ研究ヲ進メテ戴  
キタイト云フコトデアリマス、即チコソ十  
數年間ト云フモノハ、窒素肥料ニ對シマシ  
テ、化成肥料ト云フモノガ出來マシタケレ  
ドモ、其ノ他ノ窒素專門ノ肥料ニ付キマシ  
テハ、餘リ新イ肥料ハ出來テ居リマセス、  
是ハ甚ダ遺憾デアリマス、ドウカ斯云フ  
風ノ肥料問題ニ對スル相當ナル機關ヲ設  
クマシテ、農村ニ多量ニ、而モ廉價ニ肥料ノ  
配給ノ出來ルヤウニ肥料ノ製造ヲ私ハ研究  
シテ戴キタイト思ヒマス

尙ホ肥料問題ノ最後の解決ハ、只今ノ  
附帶決議ニモアリマスガ、全肥料ノ國家管  
理ヲクハ肥料ノ國營ヲ理想デアルト考ヘテ  
居リマス、ドウカ實明ナル農林大臣ハ、在  
任中ニ此ノ重大問題ヲ解決スルコトヲ私ハ  
要望シテ置キマス

尙ホ大臣方只今居ラレナクナツテ甚ダ遺  
憾デアリマスガ、私ハ最後ニ政府ニ對シマ  
シテ要望ヲ致シ、且ツ大警告ヲ發シテ置キ  
マス、本年度政府ノ制當肥料ハ、全體ヲ通  
ジテ内地所要數量ノ約六七割ニ過ギナイノ  
デアリマス、其ノ上政府ハ米穀六百萬石増  
收ヲ命ジテ居ルノデアリマス、國民ハ此ノ  
制當計畫ガ完全ニ配給サレナラバ、戰時  
下食糧確保ノ爲命懸ケテ政府ニ協力致シマ  
スガ、萬方一ニモ是ガ實行サレナカツテ場  
合ハ、國民ハ一齊ニ立ち上リ、政府信ヲ  
ニ足ラズ、米內閣倒潰スベシトノ聲ハ必  
ズヤ勃發スルト考ヘテ居リマス、國內ニ土  
地ノ返還、小作爭議等ガ勃發シ、收拾スベカ  
ラザル状態ニ陥ルコトヲ覺悟シテ戴キタイ  
デアリマス、若シ萬一此ノ計畫通りノ肥  
料ヲ配給シナイト云フコトニナリマシタラ  
バ、斯云フコトニナルコトハ明カナル  
所デアツテ、現ニ私共ノ方デモボウノサ  
ウ云フ傾向ガアリマス、即チ此ノ配給ガ拙  
ク行キマシタラバ、私ハ此ノ問題ハ米內  
閣ノ命取りニナルト思フ、米內閣ノ命  
ヲ懸ケテ之ニ努力スベキ問題デアラウト私  
ハ信ズルノデアリマス、此ノ際島田農相ハ  
勿論、ドウカ此ノ問題ニ満足ヲ與ヘルヤウ  
ニ解決サレテコトヲ切望致シマシテ、私ハ  
本案ニ賛成致シマス

〇熊谷委員長 次ハ野野君  
〇河野委員 私モ所屬ノ會派ヲ代表致シマ  
シテ、本案ヲ修正並ニ附帶決議ヲ附シテ贊  
成ノ意向ヲ表スルデアリマス、此ノ機會ニ  
一言討論ヲ致シテ置キタイト思ヒマス、大  
體同僚ヨリノ御意見ヲ盡キテ居ル考ヘマ  
スケレドモ、特ニ一言申上ゲテ置キタイコ  
トハ、此ノ内閣ハ前内閣ノ後ヲ引受けテ、  
議會中ニ出來マシタ内閣デアリマス爲ニ、  
此ノ重大ナル時局ニ當ツテ、自ラ政策ヲ確立  
シテ議會ニ臨ムコトモ出來ナケレバ、更ニ  
又農村ノ重大ナル各種ノ問題ニ對シテ、内  
閣ノ獨自ノ革新政策、又ハソレニ對處ス  
ベキ政策ヲ以テ臨ンデ來ルコトノ出來ナイ  
コトハ、非常ニ御同情申上ゲテ置キタイマ  
ス、肥料ト云ヒ、米ト云ヒ、孰レモ彌縫姑  
息ナル米穀對策、肥料對策ガ萬全デアルトハ  
此ノ米穀對策、肥料對策ガ萬全デアルトハ  
恐ラク島田農相其人モ御考テハナカラウ  
ト私ハ思フノデアリマス、併シ事情ハ如何

ズヤ勃發スルト考ヘテ居リマス、國內ニ土  
地ノ返還、小作爭議等ガ勃發シ、收拾スベカ  
ラザル状態ニ陥ルコトヲ覺悟シテ戴キタイ  
デアリマス、若シ萬一此ノ計畫通りノ肥  
料ヲ配給シナイト云フコトニナリマシタラ  
バ、斯云フコトニナルコトハ明カナル  
所デアツテ、現ニ私共ノ方デモボウノサ  
ウ云フ傾向ガアリマス、即チ此ノ配給ガ拙  
ク行キマシタラバ、私ハ此ノ問題ハ米內  
閣ノ命取りニナルト思フ、米內閣ノ命  
ヲ懸ケテ之ニ努力スベキ問題デアラウト私  
ハ信ズルノデアリマス、此ノ際島田農相ハ  
勿論、ドウカ此ノ問題ニ満足ヲ與ヘルヤウ  
ニ解決サレテコトヲ切望致シマシテ、私ハ  
本案ニ賛成致シマス

デアルニ致シマシテモ、迫ツテ來ル所ノ事  
態ハ決シテ島田農相ニ同情モシナケレバ、  
政府ノ才人ノ同情スル譯ニモ參ラスノデ  
アリマス、何トシテモ聖職下ニ於テ必要ナ  
ル食糧資源ノ確保ト云フコトハ、絕對のナ  
問題デアリマス同時ニ、今日ノ農村ノ  
事情カラ致シマシテ、此ノ儘ノ情勢ヲ  
以テ進ミマシラバ、先日來委員諸君ヨリ  
展、申サレマスル通りニ、肥料ヲ中心ニシ  
テ重大ナル時局ガ、先ヅ以テ全國農村ヨリ  
勃發シテ來ルノ吾々ハ想像スルニ難ク  
ナイノデアリマス、其ノ時ニ當ツテ果シテ  
政府ハドウ農民ニ對シテ言開キト申シマス  
カ、說明ノ言葉ガアルデセウカ、恐ラク此  
ノ議會ヲ通過シテ、此ノ委員會ヲ通過シテ、政  
府ノ申サレタヤウナ方法デアハ其ノ時ニハ既  
ニ追付カナイ、其ノ時ノ對策ニハ斯云フ  
ヤウナモノデアハハ合ハナイ、即チ少少ト  
モ吾々ガ先ヅ附帶決議ノ第一項ニ掲ゲテ居  
リマス通りニ、肥料ノ國家管理ヲ速ニ斷行  
シテ、政府ノ最高ノ權力ニ於テ、強權ニ  
於テ先ヅ肥料ノ總テノ問題ヲ解決シ、國家  
ノ責任ニ於テ解決スルゲケノ方途ヲ速ニ講  
ズルコトニシテ置カレマセスコトハ、其  
ノ事態ニ臨ムニ非常ニ窮地ニ陥ルコトト私  
ハ思フノデアリマス、第一ニ私ハ政府ガ  
此ノ議會ニ肥料國家管理ノ方策ヲ以テ御座  
ミナル意氣ト、準備トヲ缺イテ居ルダラ  
ウコトヲ非常ニ遺憾ニ考ヘルモノデアリマ  
ス、政府ニ於テハ速ニ次期議會マデ是等  
ノ方策ノ萬全ヲ期サレ、準備ヲ行ハレテ御  
座ミナランコトヲ先ヅ強ク要望サレテ御  
得スノデアリマス、此ノ原案ニ依リマスレ  
バ、非常ニ消極的デアツテ、非常ニ姑息デ  
アリマスルコトハ、私ガ各機會ニ於テ申上

ゲタ通りト思フノデアリマス、ドウカ其ノ  
意味ヲ政府ハ十分ニ體サレマシテ、本案ニ  
依ツテモ、運用ノ如何ニ依ツテハ、或ハ國  
家管理ニ近イ所マデ行キ得ルノデハナカラ  
ウカトモ私思フノデアリマススケレドモ、是  
ハ一ニ大臣ノ御決意如何デアリマス、吾々  
民間ニ於キマシテハ、大臣ニ其ノ決心ト用  
意トヲ持ラレテコトヲ御願スル次第デアリ  
マス、ト同時ニ肥料問題ニ對シテ最近幾ラ  
カ農林省以外ノ各省ニ於テモ理解ヲ持ツテ  
來ラレタヤウデアリマス、例ヘバ通信省ニ  
於ケル電氣ノ問題、商工省ニ於ケル石炭ノ  
問題等幾ラカ見ルベキモノハアリマスケレ  
ドモ、ソレヲ以テシテモ尙ホ大藏省方面、  
其ノ他對滿事務局方面ニ於テ、多少遺憾ニ  
感ゼザルヲ得ナイ點ガアリマスノデ、政府  
部内ニ於テハ、從來ノ肥料ニ對スル認識ヲ  
茲ニ一變致シマシテ、一切ノ物資ニ優先シ  
テ肥料生産ニ必要ナル資材ヲ供給スルコトヲ  
コトニ國論ヲ統一シテ、政府ノ政策ノ唯一  
ニ掲ゲラレヤウニ、又島田農林大臣ハ此  
ノ方向ニ現内閣ヲ導クヤウニ一段ノ努力ヲ  
願ヒタイト思ヒマス同時ニ、關係政府委員  
各位ニ於ケレマシテモ島田農相ニ協力シ  
テ、ソレ等ノ整備ニ萬全ヲ期スルヤウニ一  
段ノ御努力ヲ要スルコトヲ御願スル次第デア  
リマス、更ニ是等ノ中央機關ノ整備ト相俟  
ツテ、地方ニ於キマスル配給系統——先程  
モ小平君カラ論ゼラレマシタ通り、産業組  
合ト肥料商業組合之ニ付キマシテハ、先日モ  
商工省ノ政府委員等御座シタノデアリマス  
ガ、商工省ノ認識ガ全ク吾々ノ認識ト違ヒ、  
是等ニ對シテ根本的ニ是正ヲ願ハナケレバ  
ナラズ點ガアルノデアリマススケレドモ、是  
ハ議會後ニ於テ農林、商工兩省ニ於テ十分

懇談セラレルト云フコトデアリマスカラ、  
是等ニ私ハ御願ヲシマシテ、一切ノ問題ヲ  
此ノ機會ニ解決シテ、少イ物資ヲ潤滑ニ配  
給スル爲ニハドウシテモ配給機構ノ一元化  
ヲ期サナケレバナラズ、單ナル産業組合、イ  
デオロギーノ商業組合、イデオロギーニ  
因ハレテ、此ノ問題ヲ其ノ渦中ニ投ジ、配  
給ノ不潤滑ヲ來スコトハ甚ダ遺憾デアリマ  
ス、十分是等ノ點ニ付テモ御努力ヲランコ  
トヲ御願スルデアリマス

更ニ特ニ強ク申上ゲテ置カナケレバナリ  
マセスコトハ、私ハ元來委員會ニ於テ問題  
ヲ後日ニ殘スコトハ非常ニ嫌ヒデアリマス  
ケレドモ、會期迫リテ折柄、尙且ツ肥  
料問題幅濶ノ折柄、餘リニ政府委員ヲ委  
員會ニ訂付ケニスルコトハドウカト考  
ヘマスノデ、多少質問ヲ差控ヘテ居ル點モ  
アルノデアリマス、又結論ヲ見ズシテ政府  
ヲ信賴シテ此案ニ賛成スル點モアルノデ  
アリマス、即チ有機質肥料ノ問題、玉粕、  
撒種ノ價格ノ問題ハ、先日來政府委員ヨリ  
展、御説明ニハナリマスケレドモ、尙且ツ解  
決ニハ至ツテ居リマセス、魚肥ノ價格ノ問  
題モ然リデアリマス、殊ニ玉粕ノ平衡資金  
ニ關シマシテハ先日來此ノ委員會デモ問題  
ニナリマシタヤウニ、決シテ公正ヲ取扱テハ  
アリマセス、今日ノ農村、更ニ今年秋ニ於  
ケル米價ノ決定ノ際等ハ非常ニ重大化スル  
平衡資金ノ問題等ハ非常ニ重大化スル  
虞ナシト致シマセス、是等ハ速ニ政府ニ於  
テ適當ナル方策ヲ講ズル必要ガアルト思フ  
ノデアリマス、何時マデモ平衡資金ヲ取ツ  
テ居ルト云フコトハ絕對ニ許サレマセス、  
而モ有機質肥料株式會社ノ内容等ニ至ツテ  
ハ、大ニ吾々ハ論ジナケレバナラズ點ガ多

多アルノデアリマスケレドモ、是等ハ一ニ  
政府ノ監督ニ信頼致シマシテ、此ノ際之ヲ  
多ク言フコトヲ差控ヘテ居ルノデアリマス、  
隨テ政府ニ於ケレマシテモ吾々ノ意ノアル  
所ヲ十分御汲取戴キマシテ、有機質肥料株  
式會社ノ監督ヲ更ニ一段ト強化シ、尙且ツ  
ナカラムルコト同時ニ、配給ニ於テ支障ナ  
カラシムルコトガ必要デアリマス、是即チ  
附帶決議第四ニ於テ、有機質肥料ノ價格ヲ  
適正ナラシメ更ニ配給ニ於テ萬全ヲ期スル  
必要ガアルト附シテ居ル次第デアリマスノ  
デ、是等ニ付テハ十分吾々ノ意ノアル所ヲ  
汲取ツテ、尙且ツ過チナカラムルヤウニシ  
テ戴キタイト思フノデアリマス、元來農村  
ニ於キマスル人的資源ノ不足ノ折柄、堆肥  
マセス今日ニ於キマシテハ、ドウシテモ有  
機質肥料ニ期待スルモノガ多イノデアリマ  
ス、單ニ滿洲カラ豆粕ガ來ナイカラ確安ニ  
置代ヘル、確安ガ出來ナイカラ豆粕ヲ持ツ  
テ來ルト云フヤウナ、政府ノ便宜ノ手段、  
便宜の「イデオロギー」ニ依ツテ變ヘラレ  
モノデアハナイ、本質的ニ一段ノ稻作ニハ堆  
肥三百貫要ル、三百貫出來ナイカラ、之ニ  
對シテ豆粕ヲ置代ヘル、豆粕ハ三枚要ルト  
云フコトデ、少クトモ如何ニシテ生産ヲ確  
保スルカト云フ見地カラ出テ來ル肥料ノ配  
給並ニ適當デナケレバナラズ管デアリマス、  
然ルニ便宜のナリ申上ゲタヤウナ考ヘ方  
ハ吾々ノ絕對ニ許サレ所デアリマス、是  
等ニ付テハ特ニ二分ナル希望ヲ附スルモ  
ノデアリマス、更ニ飼料ト肥料トノ關係デ  
アリマス、是ハ昨年一箇年間ニ於テ政府ニ  
於テ飼料關係ト肥料關係ト行政ニ於テ混淆  
ガアツタ、特ニ私ガ昨年ノ議會以來強ク主

張シテ居ツタノハ、飼料ノ配給ノ官吏ノ申  
ニ吾々ノ全ク探ラザル官吏方居ツテ、其ノ  
官吏ニ依ツテ我國ノ飼料政策ハ全ク根柢カ  
ラ混亂シタト云フコトハ事實デアリマス、  
是等ニ付テハ人ヲ傷ツケルカラ申シマセ  
ガ、其ノ内容ニ至ツテハ實ニ唾棄スベキモ  
ノガアル、十分ニ現島田農林大臣ハ是等ノ  
點ヲ監督セラレテ、尙且ツ遊戯ノ官吏  
ノ火遊ビニ依ツテ民間ノ迷惑ヲ來サザルヤ  
ウ、一部ノ商人ト結託シ、相通ジテ飼料ノ  
配給ノ全ク混亂セシメ、其ノ影響ガ肥料ノ配  
給ニ禍スルヤウナコトハ、全然吾々ノ排擊  
シナケレバナラズ點デアリマスノデ、特ニ  
サウ云フ點ニハ留意セラレ、更ニ又進ンデ  
現在ノ肥料飼料ノ關係官ニ付テモ最優秀ノ  
官吏ヲ以テ之ニ充テルコトニ萬全ノ努力ヲ  
シテ戴キタイ、如何ニ立派ナ法律ヲ作りマ  
シテモ、現在ノ時局ニ於キマシテハ人ヲ誤  
リマスナラバ、其ノ法律ノ效果ハ半減、三  
分ノ一ニナルコトハ申スマデモアリマセ  
ス、隨テ新會社ノ重役ニ對スル人事ニ付テ  
十分ナル注意セラレルト同時ニ、將來ニ  
於ケル飼料關係ニ付テハ特段ノ監督ヲ  
セラレルト同時ニ、是等ノ人事ニ當ツテハ  
十分ナル注意セラレシコトヲ強ク希望ス  
ル次第デアリマス、最後ニ新會社ノ指導更  
ニ其ノ内側ニ於キマスル人事、是等ニ付  
テハ從來日本確安ヲ作りマシタ當時ノ事  
情、更ニ又過價配給株式會社ヲ作りマ  
シタ當時ノ事情、是等ノ事情トハ全ク遠  
ワケ、今新ナル會社ヲ作りマシテアリマ  
ス、隨テ是等ノ會社ヲ富集的ノ人事ヲ作  
ルコトハ、折角立派ニ必要ナル法律ヲ作リ  
マシテモ、是等ノ富集的ノ人事デアリマ  
スナラバ、法律ハ全クナキニ等シイコトニ

質肥料、或ハ有機質肥料ヲ始メ内外地ヲ通シテノ生産關係、或ハ増産計畫ト配合セ...

ルト云フ状態アリマス、又屬精モ同様デアリマス、三陸或ハ近海ノ一等ノ十四貫...

リマセシガ、兎モ角サウ云フ一ツノ見方モアル、ソレト今一ツハ、御承知ノ如ク、ソ...

ノ不安方誰トハナシニ農民間ニ傳テ行ツテ結局ニ開相場ガ起ツテ來テ、價格ニ非...

ビヲ以テ之ニ賛成ヲシタノデアリマス、ドウカ當局ニ於キマシテハ折角本委員會ニ於テ...

致シマシタケレドモ、結局本法案ノ内容ハドウシテモ生産ニマデ國家權力ノ「メス」...

ツタ事務當局ノ言ヲ信ジマシテ、私ハ本案ニ賛成スルモノデアリマス、マダ申上ゲ...

ガ不足、唯一ノ頼ミデアル肥料ガ不足デア...

テ、或ハ土地制度ノ問題、或ハ農業經營上ノ問題等一聯ノ農業政策ニ對シテ再檢討ガ加ヘラレナケレバナラス時期ニ當リマシテ、此ノ法案ノ提案ヲ見マシテ、而シテ肥料ノ供給確保上ニ新ナル段階ヲ劃セント致セラレマシタコトニ付キマシテハ、私ハ當局ノ努力ニ對シテ満足ノ敬意ヲ表スルモノデアリマス、併シテ此ノ肥料ノ供給十分ニ確保致シマスル爲ニハ、何トシテモ肥料ノ國營或ハ肥料ノ國營管理ト云フモノガ出來ナケレバ十分デアルトハ申サレナイデアリマス、隨テ先般此ノ法案ニ對スル附帶決議トシテ、其ノ第一項ニ政府ハ速ニ肥料ノ國營管理ヲ斷行スベシト云フ一項目ガ加ヘラレマシタコトハ、洵ニ當然ノコトデアルト申サレバナリマセズ、斯様ナ觀點カラ此ノ法案ヲ檢討致シテ見マシムト、未ダ決シテ十分ナリトハ申サレナイデアリマス、法案内容ニ付テハ細カナル議論ヲ致シマスルコトハ差控ヘマスルガ、法案第十一條ニ肥料製造供給確保上ニ必要ナル事業ニ付テ肥料ノ製造業者ニ對シテ其ノ製造工場ノ經營ノ管理ヲ爲スコトヲ會ズルコトガ出來ルト云フ規定ヲ設ケテアルノデアリマスガ、併シテ此ノ條文中ニハ肥料ノ製造業者者ト協議ノ上ト云フ言葉ガアルノデアリマス、密ニ憂ヒマス所ハ果シテ此ノ重大ナル肥料ノ製造上ニ於テ肥料製造業者トノ協議ガ困難ニ、或ハ故違ニ相調ヒ、而シテ此ノ十一條ノ目的ガ容易ニ達成シ得ルヤ否ヤト云フコトデアリマス、此ノ條文ガ設ケラレマシタ結果ニ於テ殆ド用ヲ爲サザルヤウナコトニナリハシナイカト云フコトヲ憂ヘザルヲ得ナイノデアリマス、併シテ此ノ法案ガ目的ト致シテ居リマ

スル所ノ肥料ノ供給確保、其ノ配給ノ回滑ト云フ担ヒ所ハ何人ト雖モ異存ハナイノデアリマシテ、吾々ハ此ノ法案ノ實施ニ依ツテ先般河野委員モ指摘セラレマシタヤウニ、此ノ法案程度ヲ以テ致シマシテモ、是ガ實施ニ十分ナル留意ヲ用ヒマス場合ニ於キマシテハ、相當實施ノ事ヲ得ルノデアルト云フコトヲ期待致シマシテハ、此ノ法案ニ對スル事變以來農材ガ此ノ時局目的完達ノ爲ニドノ位ノ協力ヲ致シテ居ルカ、實ニ其ノ熱誠努力ト云フモノハ涙ダマシモノガアルノデアリマス、即チ多クノ壯丁ハ應召ヲサレテ戰場ニ渡ツテ居リ、牛馬ノ徵發ニ依ツテ著シク畜力ヲ不足致シマシテ、此ノ努力不足ニ加フルニ更ニ肥料ノ配給ニ非常ニ不安ナルモトガアル、然ルニ一方政府ハ農産物ノ飛躍的増産計畫ヲ立テテ居ラレドアルマス、即チ昭和十五年度ノ増産計畫ハ米ノ七千五萬石、小麦ノ一千二百萬石ト云フ飛躍的増産計畫デアアルノデアリマスガ、今私ガ申上ゲマシタヤウニ、人ノ應召、牛馬ノ徵發ニ因ル所ノ努力ノ不足、更ニ肥料ノ不足、更ニ又農業生産資料ノ不足、或ハ地下足袋デアルトカ、其ノ他ノ資料ガ不足致シテ居リマスル時ニ、非常ナル増産計畫ヲ立テ、是ガ實現ヲ期スルト云フコトハ容易ノ業デハナイデアリマス、而シテ現在ノ農村ガ此ノ差當ツテ不安ヲ感ゼテ居ル所ノ肥料ニ對シマシテ如何ニ切實ナルカハ、只今野澤君モ農村カラ直接送ツテ參ラレタ所ノ手紙ヲ則讀サレタノデアリマスガ、私共ニ對シマシテモ幾通モノ手紙ガ此ノ議會中ニ參ツテ居ルノデアリマス、即チ其ノ懇ヘテ參リマス所ハ、最小限度ノ肥料ハ是非トモ供給シ

此ノ際政府ニ對シマシテ現下肥料政策ノ重要性ニ鑑ミ、私ノ所見ヲ申上ゲマシテ、政府ニ希望致シ警告ヲ發シテ置キタイト思フノデアリマス、最初ニ本案ニ對スル贊成ノ内容ニ付テ申上ゲマシテ、次ニ私ノ信ズル希望ト警告ヲ申上ゲタイノデアリマス、贊成ヲ致シマスル理由ハ、本案ハ固ヨリ不滿意デアハラマスルガ、其ノ内容ガ漸次吾々ノ希望ニ相違近クマシテ來タコト云フ點デアリマス、即チ日本肥料株式會社ハ五千萬圓ノ資本金ノ上ニ二億五千萬圓ノ肥料價額ヲ發行致シマシテ、肥料製造會社ニ向ツテ投資ヲ行ヒ、管理ヲ行ヒ、指導ヲ行ヒ、又自ら生産工場ヲ設置シ、或ハ肥料會社ヲ買収シ、移出、移入、輸出、輸入、其ノ他ノ事業ヲ行ヒマシテ、肥料製造會社ノ生産品ト云フモノヲ一手ニ此ノ會社ガ買占メルコトガ出來ルト云フコトニナリマシタコトハ、少クとも肥料專賣制ニ移行致シマスル所ノ前提デアルトシテ私ガ贊成スル所ノ理由ナラズデアリマス、又本委員會ニ於キマシテ政府ノ御答辯ニ依リマスナラバ、今議會新ニ三千万圓ノ肥料ニ對スル所ノ補助助成金ヲ豫算ニ計上セラレマシテ、此ノ三千万圓ノ金ヲ使ヒマシテ、現在生産「コスト」ト價格ノ間ニ「ギャップ」ノアリマスル所ノ所謂生産費ガ、或ル程度マデ其ノ販賣價格ニ對シマシテ接近スルト云フヤウナ方法ヲ講ゼラレルコトニ依ツテ、所謂價格政策ノ上ニ於ケル所ノ増産ノ點ニ相當考慮ヲ拂ハレタコト云フ點ニ付テハ、少クとも是亦肥料專賣ニ對スル所ノ一前提デアルト私ハ思フノデアリマス、尙ホ特ニ政府ハ臨時措置法ニ於キマシテ肥料製造會社ニ對シテ増産命令ヲ行

フコトガ出來ルト云フコトヲ言明セラレテ居リマスル點ハ、是ハ相當吾々モ喜ビニ堪ヘナイ所デアリマス、尙ホ本委員會ニ於キマシテ、現在我國ノ確安ノ生産能力ト云フモノハ其ノ工場ヲフルニ發揮スルナラバ、二百四十萬石ニ近イ所ノ設備ガアルト云フコトヲ明ニサレタコト云フコトハ、是ハ少クとも確安生産ト云フ點ニ對シテ吾々ハ實行不能デアリマス、私ハ以上ノ諸點ガ明ニナツタデアリマス、私ハ以上ノ諸點ガ明ニナツタデアリマス、併シテ本案ニ贊成スルノデアリマシタケレドモ、然ラバ我國ノ肥料政策ト云フモノガ安全デアラカドウカト首ヒマスナラバ、ソレハ未ダ以テ安全ナリト云フコトガ出來ナイノデアリマス、何ガ故ニ安全ナリト云フコトガ出來ナイカト申シマシレドモ、委員會或ハ本會議ヲ通過ジテ明ニナリマシタコトハ、ソレハ事實デアリマスニシテモ、政府ノ答辯ヲ聽イテ居リマスニシテ、是等ノ點ヲ裏付ケルガタケラ確乎不動タル所ノ答辯ガナイノデアリマス、其ノ第一點ヲ何ニ求メルカト申シマスレバ、増産政策デアリマス、私ハ現在我國ノ増産政策ト云フモノニ對シテ、何ト云ツテモ根本的ニ政府ノ考ヘナケレバナリナイコトハ、容葉肥料ノ玉座ヲ占メテ居リマス所ノ確安ノ増産デアリマス、所ガ此ノ問題ニ付テハ農林大臣及ビ政府委員ニ於テハ、若シ確安ガ足ラナカウタ場合ハ他ノ肥料ニ於テ補ハバ宜シイノデハナイカ、例ヘバ豆粕魚肥等ニ依ツテ補ハバ宜イノデハナイカト云フヤウナ答辯ガアリマスガ、之ヲ能ク考ヘテ見マシテ、政府ハ確安ガ足ラヌカラト云ツテ豆粕魚肥輸入シヨウト云フ、豆粕ノ輸入ガ旨ク行カナクナレバ、今度ハ確安

ルニ使テ確安工場ニ流シタラバ、即チ電力ヲ確安製造ニ絶對優先ニ取ツタ場合ニ於テハ、我國ノ他ノ産業ニ於テドウ云フ影響ガアルカ、之ニ對シテ政府ノ御答辯ト致シマシテハ、完全ナル調査ガナイト云ハレテ居ル、私ハ敢テ問ヒタイ、問ウタノデアリマス、サウ云フヤウナ調査ガナイト云フヤウナコトデアリマシテハ、マダ完全ニ確安ノ増産ト云フコトニ對シテ、眞劍ナル態度ガナイノデハナイカト問ヒマシタ所ガ、若シ確安ニバカリ完全ニ電力ヲ取ツタ場合ニ於テハ、他ニ社會問題ガ起ルカモ知レヌト云フヤウナ御答辯デアリマス、併シ私ラシテ率直ニ申上ゲシムルナラバ、肥料ガナクシテ米ガナクナル位、深刻ナ社會問題ハナイノデアツテ、他ノ如何ナル社會問題發生ヨリモ、少タトモ肥料ガナイト云フ、米致政策ヨリ以上ニ最モ大キナ社會問題ガナイト云フ點ニ於テハ、私ハ農林當局ノ再認識ヲ是ニ於テ要求シテ置キタイト思ヒマス、即チ如何ニスルカ、要ハ今日ノ確安肥料政策ト致シマシテハ、先ヅ何ト云フテモ工場設備ノナイモノニ造レト云フコトハ不可能デアリマスケレドモ、確安工場ニ電力石炭ヲ最優先ニ取ツテ來テ、之ヲ「フル」ニ活動セシムルト云フコト位可能デアツテ、而モ是レ位現在ノ我國ノ國策ノ上ニ重大ナル問題ハナイト思フノデアリマスガ、是ハ要ハ國務大臣タル所ノ島田農林大臣ノ決意ト決心、政府當局ノ之ニ對スル眞劍ナル態度チ「アレバ出來ル」ノデアリマスカラ、吾々ハ本案ニ賛成致シマシテ以上ハ、絶對ニ此ノ確安ノ増産計畫ニ對シテハ、政府ハ斷テ責任ヲ負ハルベキモノデアルト云フコトヲ、此處ニ固ク政府ニ對シテ希望ト警告

ヲ致シマシテ、増産政策ニ對スル所ノ所見ヲ申上ゲタノデアリマス、次ニ私ガ申上ゲタイノハ配給機構ノ問題デアリマス、此ノ配給機構ノ問題ニ付キマシテモ、農林大臣竝ニ重政政府委員ハ、或ル委員ノ質問ニ對シテ、新工夫ヲ考ヘツアルカノ如キ答辯ヲセラレテ居リマス、又或ル委員ノ質問ニ對シテハ、サウ云フコトハ餘リ考ヘテ居ラヌト云フヤウナ意味ノ答辯デアリマス、不明瞭デアリマス、然ルニ今日肥料政策ノ破綻ノ最大原因ト云フモノハ、同僚議員諸君カラ提申サレマシタヤウニ、此ノ配給機構ニ不備ニアリマス、政府ハ一體配給機構ニ對シテ、何かヤル積リナカ、ヤラナイ積リカト云フコトガ明確デナクシテ、私ハ委員會ヲ終了致シマシタコトガ遺憾デアリマス、遺憾デアリマスガ、此ノ討論ノ機會ニ私ハ時間ヲ與ヘラレマシテ、少クとも政府ハ此ノ問題ヲ委員會ニ於テハ明確ニシナカワタト雖モ、肥料政策ノ根幹デアルカラ、是非トモ甚ニ確手タル方針ヲ立テテ、此ノ肥料會社ノ成立ト共ニ、此ノ配給機構ニ對スル所ノ新シイ對策ヲ樹立サルベキモノデアルト云フコトヲ、固ク希望スルノデアリマス、今日私ハ二三ノ事例ニ付テ此ノ問題ヲ更ニ當局ニ對シテ御認識ヲ深メタイト思フノハ、山梨縣、長野縣方面ニ於キマシテハ、御承知ノ如ク米麥重要主義ノ結果、桑ニ對シマシテハ六割ノ確安ヨリ貫ヘナカワタ、十ノ所ヲ六ヨリ貫ヘナカワタ、十俵要ル所ヲ六俵ヨリ來ナイノデアリマス、カラ、其ノ一俵ノ價值ガ如何ニ農民ノ爲ニ貴重ナルカト云フコトハ論ヲ俟タナイ、其ノ貴重ナルモノガ今日ノ營利機構デアル所ノ商人ノ手ニ流レタノデアリマスカラ、其

ノ一俵ノ公定價格ハ約四圓デアリマシテモ、十圓或ハ十二、三圓デ以テ羽根ガ生エテ飛ブヤウニ賣レタノデアリマス、少クとも今日ノ營利機構ノ所謂商人ニ對シテ斯ウ云フヤウナ肥料ガ流レマスルナラバ、ソコニ團取引ガ行ハレ、團取引ノ結果ハ完全ニ肥料ガ農民ニ參ラナイト云フコトハ、是ハ私ガ嘆スルマデモナイノデアリマス、而モ山梨縣ニ於キマシテハ肥料問題ニ對シテハ飯室事件ト云フ事件ガ起ツテ居リマス、是ハドウ云フ事件デアルカト申シマス、豆粕肥料ガ統制ニナラナイ前ニ於キマシテ、山梨縣ノ肥料業者ガ此ノ豆粕ヲ高ク賣ツタト云フノデ、九、一八ノ物價停止令ニ違反スルト云フノデ、縣ガ肥料商ヲ檢査シタ、其ノ檢査ヲ致シマシタ結果ハ、山梨縣ハ肥料ヲ持ツテ行クト縛ラレト云フ結果、統制外ノ肥料ガ殆ド入ラナイ状態ニナリマシテ、豆粕ハ二月ノ下旬ニ確安ノ不足ヲ補フ爲ニ一万一千石ノ割當ガアリマシタケレドモ、僅ニ千石ヨリ入ツテ居ラナイト云フヤウナ現状デアリマシテ、今ヤ山梨縣ニ於ケル所ノ養蠶地帯ノ農民ハ、一步誤リマスナラバ如何ナル情勢ニ立至ルカモ知レナイト云フヤウナ情勢ニアルト云フコトニ付テ、政府ハ十分ナル御認識ガアルカドウカ、若シ此ノ點ニ對シテ十分ナル認識ヲ持タレテ、而シテ此ノ配給機構ト云フモノヲ御考ヘナリマスルナラバ、眞ニ此ノ邊ニ於テ政府ガ配給機構ト云フモノヲ唯曖昧ニシテ、産業組合ニ依ルカ、商業組合ニ依ルカ何レニ依ルカト云フコトヲ委員會ニ於テ隱微トシテ、本會議ヲ済マシレル苦ハ斷ジテナイト思フノデアリマスカラ、何卒此ノ點ニ付キマシテ十分ナル研究ヲサレマシテ、新機構ニ對シテ大

膽ナル所ノ、何物ニモ因ハレズ、國家ノ大局カラ是ガ正シイト云フ案ヲ考ヘラレマシテ、ソレニ向ツテ斷行セラレンコトヲ此ノ際特ニ希望スルノデアリマス

最後ニ私ハ一言附言ヲ致シマシテ私ノ討論ヲ終リタイト思フノデアリマスガ、要スルニ我國ノ農業ハ肥料ナクシテハ成立タナイ、而シテ肥料政策ガ破綻致シマスルナラバ食糧政策ノ破綻ト云フコトモ火ヲ踏ルヨリ明カデアリマス、農林大臣竝ニ非常時局ニ對シテ當局ニ居ラレマスル所ノ農林省政府委員諸氏ハ、少クとも此ノ點ニ付テ眞ニ我ガ日本ノ國家興亡ノ中心ヲ握ツテ居リマスル所ノ地位ニアラレルノデアリマスルカラ、議會ノ答辯ト云フコトハ餘リ吾々ハ問題ニ致シマセズ、又法律案ノ條文ノ如キハ私ハ此處テ敢テ問ヒマセズ、眞ニ今日ノ我が食糧政策ト農業政策ヲ誤ラザルヤウ、敢テ職權ニ立ツテ居リマスル所ノ將兵諸士ヨリ尙ホ以上ノ勇敢ナル所ノ態度ト、眞劍ナル態度ヲ以テ肥料政策ニ御當リ願ヒタイト云フコト御願シ、且ツ希望ヲ致シマシテ、私ハ政府ニ對シテ重大ナル警告ヲ發スルノデアリマス、若シ不幸ニシテ此ノ肥料政策ヲ誤ラレルガ如キコトガアルナラバ、唯單ニ農林大臣ノ責任トカ、政府ノ責任デアルト云フバカリデナク、眞ニ我ガ國家ノ一大事デアツテ、吾々モ其ノ責任ノ重大ナルモノアルラ感ズルガ故ニ、敢テ官ヲ大ニ致シマシテ、農林當局ニ肥料政策ノ重大性ヲ絶叫致シマシテ、甚ニ警告スル所以デアルト云フコトヲ能ク御承蒙キタイノデアリマス、以上簡單デアリマスガ私ノ所信ヲ申上ゲマシテ本案ニ對シテ賛成ヲ致シマス（拍手）

○熊谷委員長 是テ討論ハ終結致シマシタ、

是ヨリ採決ニ入リマス、山田君提出ノ修正案ニ賛成ノ諸君ハ御起立ヲ願ヒマス

〔議員起立〕

○熊谷委員長 起立議員——次ニ右ノ修正案ノ殘リノ原案ニ付テ採擇致シマス、修正案以外ノ原案ハ、原案通り可決シテ御異議アリマセスカ

〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ

○熊谷委員長 御異議ナイト認メマス、其ノ通り決定シマス

次ニハハ附帶決議デアリマスガ、附帶決議ハ一カラ五マデアリマス、之ニ付テモ採決ヲシテ置イタ方ガ宜カラウト思ヒマス、之ニ御贊成ノ方ノ御起立ヲ願ヒマス

〔議員起立〕

○熊谷委員長 滿場異議ナシ、其ノ通り決定シマス、是テ日本肥料株式會社法案ノ委員會ノ決議ハ決定シタノデアリマス、十一日間ニ互リマシテ大變ニ御苦勞ヲ掛ケマシタモウ一ツ故ニ付託サレマシタ農會法中改正案デアリマスガ、是ハ明日午前十時開會スルコトニ致シマス、左様御承知ヲ願ヒマス、本日ハ是ニテ散會致シマス

午後三時散會

第六期第十一號 日本肥料株式會社法案委員會會議錄 第十一回 昭和十五年三月十九日

第七十五回帝國議會

日本肥料株式會社法案委員會會議錄(速記)第十二回

付託議案(審查終了ノモノヲ除ク) 農會法中改正法律案(政府提出) 第一〇三號

會議

昭和十五年三月二十日(水曜日)午前十時三十分開議

出席委員左ノ如シ

- 委員長 熊谷 直太君
- 理事 成島 勇君 理事 山田 六郎君
- 理事 原 徳兵衛君 理事 河野 一郎君
- 土屋 寛君 森田重次郎君
- 小野 寅吉君 長野 長廣君
- 村上 國吉君 小平 重吉君
- 田中 好君 牧野 良三君
- 野溝 勝君 石坂 繁君
- 平野 力三君 村上 元吉君

三月十九日委員世耕弘一君及田中邦治君辭任ニ付其ノ補闕トシテ牧野良三君及長野長廣君ヲ議長ニ於テ選定セリ

出席國務大臣左ノ如シ  
農林大臣 島田 俊雄君

出席政府委員左ノ如シ  
農林政務次官 岡田喜久治君  
農林省農務局長 土屋 正三君  
農林書記官 梶原 茂喜君

本日ノ會議ニ上リタル議案左ノ如シ  
農會法中改正法律案(政府提出)

○熊谷委員長 ソレデハ農會法中改正法律案ノ委員會ヲ開會致シマス、大臣ハ樞密院ノ方ニ參ラレテ居ルサウデアリマスカラ、此ノ場合政府委員ニ御質問ノアル方カラ先ニ御願致シマス——森田君

○森田委員 此ノ案ニ付キマシテハ、二三内容ヲ明ニ致シテ置キタイト思ヒマスノデ、第六類第十一號 日本肥料株式會社法案委員會會議錄 第十二回 昭和十五年三月二十日

御伺致シタリノデアリマス、先ヅ一番先ニ御伺致シタリコトハ、第三條第一號中ニ及統制ノ三字ヲ加ヘルト云フデアリマスガ、此ノ統制ノ内容トナルモノハ生産物ノ販賣ヲ含ムノデアリ、主ニ生産方面ノミニ統制ヲ加ヘルモノダト云ツクヤウナコトヲ一應伺ツテ居ツタリデアリマスガ、生産物ノ販賣ニ對シテハ絕對ニ統制ヲ加ヘナイノデアリカ、之ヲ最初ニ簡單ニ御尋致シマス

○土屋政府委員 生産物ノ販賣ト申シマスガ、配給統制ト申シマスガ、其ノ方面ノコトハ他ノ法制ニ依ツコトニナルグラウト思ヒマス、例ヘバ一例ヲ米ニ取ツテ申シマスレバ、米ノ配給統制ハ、米ニ必要ナル方面カラ立案セラレマシテ——法律ニナリマスカ、何ニナリマスカ、或ル制度ガ出來ルト致シマシテ、其ノ制度ヲ遂行シテ行ク場合ニ、農會ガ之ニ關係スルコトガ必要ナラバ或ハ關係スルト云フコトニナルグラウト思ヒマス、他ノ例デ申上ガマスト、例ヘバ軍需品ノ供出デアリマス、或ハアルコー原料ノ甘藷ノ供出デアリマス、是等ノモノニ付キマシテハ現在農會ガ既ニヤウテ居ルノデアリマス、是ハ此ノ法律ガ出來マスト云フト、モットヤル程度ガ強クナルコトモアルグラウト思ヒマス、要スルニ販賣方面ニ付テ農會ノ統制ガ及ブト申シマシテモ、販賣ソレ自身ヲヤルコトハナイ、ソレハ他ノ機關ガヤルノガ適當デアラウト思ヒマスガ、其ノ販賣ノ方法ニ付テ農會ガ或ル程度關與スルコトハ、絕對ナイトハ言ヘナ

イダラウト思ヒマス、併シ只今御話ノ通り、此ノ改正ハ無論販賣ヲ主トシテヤウタモノデハナイノデアリマシテ、生産統制ニ主力ヲ置イテ考ヘテ居ルモノデアリマス

○森田委員 今ノ御説明デスト、ハツキリシタヤウナナイヤウナコトニナルノデアリマス、私ハ今マデモ自治的ニヤウテ居ルト云ツクヤウナコトニ付テハ、無論ハ異存ノナイコトデアリマス、唯其ノ方法トシテハ罰金マデ附シテ行政廳ノ命令ニ依ツテヤルト云フコトニナツテ居ルノデアリマスカ、米ハ別ト致シマシテ、他ノ麥デアルトカ、其ノ他雜穀デアルトカ云ツクヤウナモノノ生産物ノ販賣ニ對シテハ、場合ニ依ツテハ此ノ統制令ノ罰則マデ適用スル場合ヲ豫想スルコトガ出來ルカドウカ、此ノ點ヲハツキリ致シテ置キタイト思ヒマス

○土屋政府委員 只今申上ガマシク通り、配給ノ方面ノコトハ其ノ生産物ノ必要ニ應ジマシテ、ソレム(考ヘラレルト思ヒマス、麥デアリマス、例ヘバ小麦ナラ小麦ニ付テハ、一體ドウ云フ風ナ配給方法ヲ執ツタラ宜イカト云フコトハ、小麦ノ生産ノ狀況ニ消費ノ狀況ニ基礎ヲ置キマシテ、自ラソコニ方法ガ生レテ參リマス、其ノ方法ヲ動かシテ參リマシマス際ニ、農會ガソレニ關係スル場面ガ出テ來ルモノト、出テ來ナイモノトガアルノデアリマス、其ノ農會ニ關係スル場面ガ出テ來ルモノガアルマスト、此ノ統制ガ場合ニ依ツテハ働クコトガアル

○森田委員 ハツキリトアルカ無イカト云ツクヤウナコトヲ實ハ御伺シタリノデスガ、三十一條ノ二ノ場合、ソレカラ四十條ノ二ト云フ場合ト關聯サセテ見マスト、先ヅ三十一條ノ二ニ依ツテ、「行政官廳必要アリト認ムルトキハ」云々ト云フ此ノ統制命令ガ出ル譯デス、其ノ統制ナルモノノ内容ノ中ニ販賣ヲ含ムト云フコトニナリマスレバ、其ノ命令ニ服從セザル場合ハ四十條ノ二ニ依ツテ罰金以下ノ罰金又ハ科料ニ處セラレル場合ガ、是ハ稀有ノ場合デアアルカモ知ラスガ、最後ノ賣刀ヲ抜イタ場合ニサウ云フコトガアルノカナイノカ、アルナラアル、ナイナラナイト云フ其ノ點ヲハツキリサシテ置キタイト思ヒマス

○土屋政府委員 アルカナイカ、ハツキリ言ヘト云フ御話デアリマスガ、サウ云フコトガナイトハ言ヘスト思ヒマス

○森田委員 サウ致シマスト、是ハ私ハ唯漠然ト大臣ノ答辯デ、生産ヲ主トシテヤウテ行クノダ、斯ウ云フコトハ、立法當時ニ於テハソレハ唯大臣ノ趣意ハ斯ウナグト云フコトデ宜イデアリマセウ、併シ將來是ハ永久的ニ布カレル法律ナノデアリマスカラ、必要ガアルトヤハリ刀ヲ抜ク場合モアルト云フ意味デ拵ヘタ法律デ、結局統制ナルモノノ内容ニハ物ノ販賣ノ場合モ含ムモノダ、斯ウ云フ解釋ヲセナケレバナラヌヤウナ御答辯ダト私ハ思フノデスガ、ソレハサウ解釋シテ宜シイノデアリマスガ

○土屋政府委員 此ノ法律ノ解釋カラ申シ





シマシテハ、モツト強イ、モツト程度ノ高  
マツタモノニ其ノ組織内容ヲ充實セシメナ  
ケレバイカモノノダト考ヘテ居ル、果シテ  
農林省ハ今ノ豫算ノ程度ヲ初カラ御満足ナ  
サツカ、或ハソレ以上ノ要求ヲナスツ  
クニ拘ラズ、財政上已ムヲ得ナイトシテ、  
斯ウナツクデアルカ、若シサウダト致シ  
マスナラバ、最初農林省ノ抱イテ居ラレタ  
農會ヲ充實セシムベキ理想内容ト云フモノ  
ヲ、ドウ御立テニサツテオイデニサツカ  
其ノ點ヲ一ツ伺ヒタイ

○土屋政府委員 森田サンノ御話ノヤウ  
ニ、一万一千五百六十ノ市町村農會、三万二  
千餘人ノ實務員、是ガ農會ノ本體デアルト  
云フナラバ、確ニ貧窮ヲ大キナ仕事ハ出來  
ナイ、併シ私考ヘマスノ、是ハ私ノ獨斷  
カモ知レマセムガ、農會ト云フモノハ技術  
員ヲ養育シテ居ルハナシ、會長副會長デ  
マス下カ、其ノ農會ノ有力者ガ農會ニ眞劍  
ニ打込シテ仕事ヲサツテ居ル、現在サウ云  
フ所デナケレバ農會ノ成績ハ舉ラナイ、農  
會ノ成績ノ擧グテ居ルノハ、成績優秀ナ技  
術員ノ居ル所ニハ速ヒアリマセムガ、其ノ  
町村ノ有力者ガ農會ノ役員ニナリマシテ、  
一心ヲ打込シテサツテ居ル所ガ、初メテ立  
派ナ成績ヲ擧グテ居ルノデアリマス、殊ニ  
今回ノ改正法ガ幸ニ御協賛ヲ得ラレマスレ  
バ、部落ガ農會ノ會員ニナル次第デアリマ  
ス、部落ノ區長ト云ヒマスカ、ソレ等ノ團  
體長諸君ハ從來テモ熱心ニサツテ居ツタ  
デアリマスガ、尙ホ一層熱心ニサツテ仕事  
ヲヤル、實際農會ノヤツテ居ル仕事ハ、實  
務ハ御承知ノ通り大體部落ガヤツテ居ル  
デアリマシテ、農會ハ唯連絡デアリマス  
カ、指導トカ云フコトヲヤツテ居ルノデア  
リマスガ、此ノ程度ノ人間デ、私ハ決シテ  
十分デアルトハ申シマセム、貧窮デアリ  
マスガ、是ガ農會ノ陣容ノ總テハナイ、  
今申上ゲマシタ通りゴザイマスカラ、是  
デヤツテ行ケナイコトハナイト思ヒマス  
尙ホ吾々ノ考ヘテ居リマシタ豫算ノ本ヲ  
示セト云フ御話ゴザイマスガ、是ハ一寸  
樂屋話ニナツテ申上ゲニタイノテ勸解ヲ願  
ヒマスガ、私共決シテ此ノ數字ヲ満足ハシ  
テ居ラナイノデアリマス、今年ハ是デ已ム  
ヲ得マセムガ、漸次充實シテ行ケヤウニシ  
タイト思ヒマス

○森田委員 此ノ點ニ付キマシテハ農林省  
ト致シマシテ、餘程強腰ニ掛ラナケレバ  
ラナイモノダト私ハ思フノデアリマス、之  
ヲ實際實行スルト云フ段ニナリマス、今  
ノ組織ハ進モ今局長サンノ仰セラレタヤ  
ウナ工合ニ旨ヲ行キマセム、ソレハ局長チ  
ンノ立場カラ見ルト、サウ辯解シナケレバ  
ナラナイカラ、サウ云フ御答辯ヲナサルノ  
ダラウト私ハ思フノデアリマスガ、實際實  
務ニ携ツテ、一村ノ計畫ヲ立テルト云フコ  
トニナルト、ソレハ相當大キイ仕事デス、  
役場ナド相當人數ガ居ツテ、之ヲヤレト  
言ハレテモ容易デナイ、況ンヤ此ノ小人數  
ノ方々、今マデノ單ナル生産指導ニ本當  
ノ指導ガケデアツタナラバハ別デアリマ  
スケレドモ、計畫ト云フモノハ餘程大勢ヲ  
達觀シテ、其ノ村ノ土地ノ狀況カラ、努力  
ノ狀況カラ、有ルモノヲ配シ合セテヤラ  
ナケレバナラナイ仕事デアリマスカラ、一  
ツノ農會ニ於ケル企業院ノヤウナ役割ヲ持  
ツ構成ニナルモノダト私ハ思フノデアリマ  
ス、故ニ私等ト致シマシテハ、若シ那樣ナ  
法律ヲ拵ヘテ、唯作レバ其ノ内ニドウニカ  
ナツテ行ケラウト云フ御考ナラ別デアリ  
マスガ、併シ本當ニ農村ノ生産統制ト配給  
統制ヲ徹底的ニヤラウト云フ御考デアリマ  
シタナラバ、進モ今ノヤウナ組織デアリケ  
ナイト思フ、此ノ點ニ付テハ、一ツ十分思  
フ致シテ、相當内容ヲ伴フモノニ來年度ハ  
ヤツテ載キタイト云フ希望ヲ持ツテ居リマ  
ス、ソレハ希望デアリマスカラ、其ノ位デ  
打切ツテ置キマスガ、次ニ主體上ノ關係ニ  
於テ色々交錯シタ場面ガ出テ來ルト思フ、  
先ツ第一ニ御伺シタイコトハ、農會ガ斯ウ  
云フコトヲヤルト致シマシテ、從來ノ經濟  
更生委員會、アレトノ關係ハ一體ドウ云フ  
風ニナルノデアリマセウカ、其ノ點ヲ伺ヒ  
タイ

係ハ持ツテ居ラス、ソコデ此ノ法律ガ出來  
ルト、無理ニデモ農會ノ手ヲ經ナケレバ  
ラスノダト云ツタヤウナ形ニサレハシナイ  
カ、サウ云フコトニナルト、何カ知ラ今マ  
デ出荷組合デ直接市場ニ出シテ居ツタモノ  
ガ、農會ノ手ヲ經テ農會ニ更ニ一ツノ口錢  
ノヤウナモノヲ出スト云フヤウナコトニナ  
ルト、斯ウ云フ法律ガ出來タ爲ニ、寧ロ中  
間ノ口錢ヲ取ル場面ヲ一ツ作ル、サウ云  
フ屋上屋ヲ架スルヤウナ形ニサツテ、結局  
生産者ノ利害關係カラ見レバ何等ノ利益ガ  
ナイベカリデナク、却テ損ヲスルト云フヤ  
ウナコトニナラナイカ、殊ニ從來ノヤウニ  
抽象的ナ漢語トシテ斯ウ云フ法律ガ出來  
ト、得テサウ云フ場合ガアルカラ、果シテ  
是ガ林檎ノヤウナモノニマデ今ノ販賣統制  
ガ及ブト云フコトニサツテ、無理ニデモ農會  
ト云フヤウナモノガヤルト云ヘバ、通レヤ  
ウガナイヤウナ形ニナラナイカ、サウ云フ  
形ニナラナラナル、ナラナイナラナラナイ  
ト、此處デハツキリサシテ載キタイト思ヒ  
マス

○土屋政府委員 其ノ點ハハツキリ申上ゲ  
マスガ、左様ナコトハシナイ積リデアリ  
マス、唯今日ノ生鮮食料品ノ配給ノ問題  
デゴザイマスガ、其ノ消費地ハ六大都市  
ト關門ト北海道デアリマスガ、ソレニ仕向  
ケマス所ノ生鮮食料品、青果物、或ハ林檎  
モ其ノ中ニ入ルカモ知レマセムガ、之ニ付  
キマシテハ系統農會ガ配給ノ計畫ヲ立テ  
場合ニハ青森縣モ其ノ中ニ入ル、併シナガ  
ラ左様ナコトガアリマシテモ、出荷ソレ自  
身ニ付テハ、農會ハ何等關係ゴザイマセム、  
其ノ農會ノ決メテ計畫ニ依ツテ、産業組合  
ナリ從來ノ出荷團體ナリガ出セバ宜シイ、

○熊谷委員 宜シウゴザイマス  
○田中委員 現在ニ於テ農業團體ガ頗ル多  
イ、ソレカラ是ガ爲ニ農民ノ負擔ガ非常ニ  
重イト云フコトハ、是ハ各所ニ於テ論ゼラ  
レテ居リマス、是ハ何トカシテ統制チレナ  
ケレバナラヌガ、ソレハドウ云フヤウナ方  
法ニ依レバ宜イカト云フコトニ付キマシテ  
ハ、昨年ノ地方行政ノ改正ノ場合ニ於テモ  
相當論議セラレタノデアリマス、所ガ今回  
農會法ニ御出シニナリマシテ、其ノ第十六  
條ノ二ニ於テ、農業團體ヲ農會ノ會員ニス  
ルコトガ出來ル、斯様ナ制度ニセラレヨウ  
トシテ居ラレル、罔ヨリ斯ノ如キ五十六種  
カアル農業團體ガ出テ來タト云フノハ、是  
ハヤハリ農業ガ分化セラレマシタ當然ノ事  
柄デアリマシテ、已ムヲ得ナイコトト思ヒ  
マス、又各ノ團體ガ出來タト云フコトモ、  
其ノ成立ノ原因或ハ發達ノ過程ニ於テツレ  
ゾレノ理由ガアルコトト思フノデアリマス  
ガ、今回思切ツテ十六條ノ二ニ依ツテ統制  
ヲセラレヨウト云フノハ、ドウ云フヤウナ團  
體ヲドウ云フ風ニ統制ヲナサルノデアルカ  
ト云フコトヲ御伺シタイノデアリマス  
○土屋政府委員 十六條ノ二ニ依リマシテ  
農會ノ會員トナリ得ル農業ニ關スル團體ノ  
範圍ハ、勅令ヲ以テ決メテ決メテアリマスガ、其  
ノ決メマシ場合ニ於テ今考ヘテ居リマス心  
持ハ、是ハ一般ノ農業團體ニシタイト思  
フノデアリマス、ナウ云フ意味ハ御承知ノ  
通り、部落ニハ養蠶組合デアルトカ、養魚  
組合デアルトカ、或ハ養蜂組合デアルトカ  
色々ナ組合ガアリマスガ、最も有力ナル  
ハ養蠶實行組合ト思ヒマスガ、サウ云フ  
特殊ノ仕事目的トシテ組織サレテ居リマ  
ス所ノ團體ハ、此ノ農會ニ此ノ際加入セサ  
ヨウトハ考ヘテ居リマセム、一般ノ農業  
團體、三十戸、四十戸、五十戸等ノ部落ト  
申シマスガ、ソレヲ基礎ト致シマシタ團體  
デ、農會組合トカ農會組合トカ農會實行組  
合トカ、地方ニ依リマシテ様々ノ名稱ヲ持  
ツテ居リマスガ、左様ナ一般ノ農業團體ニ  
シテ部落ヲ地區トスルモノ、ソレヲ此ノ町  
村農會、市農會ノ會員ニシタイト云フ風ニ  
考ヘテ居リマス

○田中委員 一般ノモノト特殊ノモノト  
言ハレマスガ、是ハ區別出來マスガ、私ハ恐  
ラウ出來ナイト思フ、部落ヲ入レルト言ハ  
レマスルナラバソレハ分ルノデス、部落ヲ  
今度ノニハ御入レニナラスノデスカ、御入  
レニナルノデスカ  
○土屋政府委員 部落ト云フト大小色々  
アリマシテ、ハツキリシテ觀念デゴザイマセ  
ムガ、簡單ニ申セバ部落ヲ入レル積リナ  
デアリマス、ソレデ一般ノ團體ト特殊團體  
ト區別ガ出來ナイノチヤナイカト云フ御  
デアリマシタガ、養蠶組合トカ或ハ養蜂組  
合、養蠶組合トカ云フ特殊ノ看做アリマス  
モノハ入レナイ、斯ウ云フ意味デアリマス  
○田中委員 サウシマス勅令案ハ出來テ  
居ナイノデスカ、是ハ是非御配リ願ハナ  
ツテ、其ノ農會ノ計畫ト云フモノハ、諮問  
機關ノ形ニ於テ經濟更生委員會ニ掛ケテ、  
大體ソレノ諒解ヲ得テ實行ニ移スノダ、斯  
ウ云フコトニ承ツテ宜シウゴザイマスカ  
○土屋政府委員 實行機關、諮問機關ト云  
フト、又言葉デ間違フトイケマセムカラ、  
心持ヲ申上ゲマスガ、統制ノ計畫ハ農會ガ  
致シマス、ソレヲ致シマスノニ農會ガ勝手  
ニ致シマセムデ、經濟更生委員會ニ諮リマ  
ス、經濟更生委員會ニハ、御承知ノ通り農  
村ノ各種ノ代表者ガ出テ居リマスカラ、ソ  
コデ十分練ツテ貰ヒマシテ、ソレデ宜カラ  
ウト云フコトニナレバ、ソレヲ農會デ總會  
或ハ總代會ニ於テ決議ヲ致シマシテ、ソコ  
シテ行政官廳ガ認可ヲ致シマス、ソコデ  
初メテ農會ガ統制ガヤレル、實際ノ統制ノ  
内容、例ヘバ共同作業トカ何トカヤリマ  
スノハ、是ハ結局部落ニヤツテ貰フコトニ  
ナルダラウト思ヒマス、農會ハ統制ノ主體  
デハゴザイマスガ、ソレヲ實際致シマスノ  
ハ、農會自身ガヤルト云フヨリモ、寧ロ部  
落等ニヤツテ貰フ、斯様ニ考ヘテ居リマス  
○森田委員 内務省ノ關係ガ町村ヲ主體ニ  
シタ計畫、サウ云ツタヤウナコトニ付テモ、  
實ハモウ少シ御伺シタイ點ガアリマスガ、  
其ノ點ハ後ニ致シマス、モウ一點私言落シ  
タコトヲ御伺シテ置キマス、是ハ私ノ地  
方ノ實情デアリマスガ、此處デハツキリシテ  
置カナイト、又色々ゴトノガ起リハシナ  
イカト思フノデアリマスノ念ノ爲ニ申上  
ゲマス、青森縣ハ御承知ノ通り林檎ノ生産  
地デアリマス、サウシテ從來農會ト云フモ  
ノトハサウ密接ノ關係ハナイノデス、殊ニ  
販賣等デアリ別箇ニ出荷組合ト云フモノガ出  
來テ居リマシテ、必ズシモ農會ト密接ノ關

ト云フト、先刻申シマシテ原料甘藷ノ配給、左様ナ方面ニ於キマシテハナリ必要ニ應ジテハ此ノ統制ノ働クコトモアリ得ル、其ノ點ガ從來ト一寸變ル點デアリマスガ、併シ大體ニ於テハ御意見ノ通りデアリマス、

○田中委員 ソコガ非常ニ不明確ナデス、私ガ聽イテ居ルハ農會ヲシテ爲サシメラルル統制範圍如何ト云フコトヲ聽イテ居ルノデス、其ノ點ガモウ少シ明確ニ承リタイ、即チ本法ノ規定ニ依ツテ農會ヲシテ統制ヲ爲サシメラルル範圍如何、生産ノ方面デアルトカ配給デアルトカ、配給ハ入ラナイノデアルトカ云フ點ヲ明確ニシテ貰ヒタイ、アナクノ今ノ御説明デハ廣イ範圍デアツテ其ノ中デ統制ヲスル、其ノ統制ヲスル場合ニ農會ヲシテ統制ヲセシムルコトガ必要ナ場合ニハ農會ヲシテヤラシメル是デハ答辯ニハナラヌト思フ、此ノ法律ニ依ツテヤラレル所ノ統制ノ範圍ヲ伺ヒタイ

○土屋政府委員 此ノ法律ニ依ツテ農會ノ致ス統制ノ範圍ハ何カト云フ御質問デアリマス、是ハ第一ガ農業ノ生産ニ關スル統制、農業ノ生産ニ關スル統制ハ、内容ヲ申上ゲマス、病害蟲ノ驅除、ソレカラ必要ニ應ジテハ作付ノ調整、作付時期ノ統制、ソレカラ品種ノ統制、種苗ノ統制、共同作業、新種ナコトガ農業ノ生産ニ關シテ考ヘラレマス、ソレカラ第二ハ農業資材ノ使ヒ方ニ關スル統制、是ハ農業資材ノ施用ノ統制、施肥標準ノ統制デアルトカ、農器具ノ利用ノ統制デアルトカ、ソレカラ第三ハ生産物ノ處理ニ關スル統制、是ハ生産物ノ調整規格等ノ統制、斯様ナ方面ニナリマス、殘ル所ハ配給統制トノ關係デアリマスガ、是ハ先刻申上ゲマ

シタ通りデアリマスシテ、配給統制ハ他ノ法製ニ依ツテ出來ル、併シナガラ農會モ全然關係シナイノチヤナイ、農會ノ關係スルハハ配給統制ト云フヨリ寧ろ集荷或ハ出荷ノ統制ト云フ方面ニハ農會モ關係スルコトモアリ、併シナガラ農會ガ配給ノ現業、詰リ販賣ト云フヤウナ經濟行爲ハナリナイ、斯様ニ考ヘテ居リマス

○田中委員 今申サレマシタ生産若ハ農器具ノ使用、利用或ハ生産物ノ處理ト云フヤウナ事柄ハ、産業組合デヤラレル事項ト私ハ思ヒマスガ、左様ナコトヲ農會ニヤラシメラレルト、農會ノ職能ト産業組合ノ職能トヲドウ云フヤウナ範圍ニ於テ限定セラレヨウトスルノデアルカ、是ハ非常ニ不明確デアル、殊ニ農事實行組合ト云フヤウナモノハ、今回ノ統制ヲスルニ付テ非常ニ大キナ役目ヲ勤メルモノト私ハ推測スル、併シナガラソレハドウカト申シマス、産業組合員デアル、ソレモヤハリ農會ノ方ニ十六條ノ二ニ依ツテ農會員トシテ利用セラレルト云フコトニナリマス、産業組合ト農會ノ職能區分ト云フモノハ至ツテ不明瞭ニナリマスシテ、ドウ云フ結果ニナルカト申シマス、農會ニ包含サセザレバ生産ノ統制ハ不十分ダト云フコトニナルシ、ソレカラ包含サセマシレバ産業組合ノ分野ニ農會ガ喰込デ行クコトニナリ、兩者ノ系統ヲコソガラカテカセノチヤナカラウカ、斯ウ云フコトヲ懸念スルノデゴザイマスガ、是ハ明確ニ兩者ハ分テラレルトデアリマス

○土屋政府委員 産業組合ハ專ラ經濟方面ノ仕事ヲ擔任致シマシテ、サウシテ加入脫退ガ自由ナ團體、是ハ中上ゲルマデモナイコトデアリマスガ農會ノ方ハ一般ニ強制加入

デアリマシテ、農業ノ改良發達ヲ圖ル全農業者ノ構成團體デアリマスカラ、自ラ其ノ間ニ分野ハ違ツテ居ル、現在デモ違ツテ居ルシ、將來モ違ツテ居ルト思ヒマス、概括的ニ言ヘバ、産業組合ハ專ラ經濟方面ヲ擔當スル、農會ノ方ハ技術方面、若クハ行政方面ヲ擔當スルグラウト思ヒマス、農事實行組合ハ産業組合ノ會員デアリマスガ、今回ハ農會ノ會員ニナリ得ル途ヲ開イタ、一方ニ於テハ産業組合ノ會員トナリ、ソコデ兩方ノ會員ニナリマシテ相互ノ連絡調整ガ是デウマク行クノデハナカラウカト考ヘテ居リマス

○田中委員 農務局長ノ御意見ハ、兩方ノ性質ガ違フ、加入脱退ノ點、是ハ當然ノコトデアルシ、一方ハ經濟行爲ヲヤルシ、農會ハ主トシテ技術行爲ヲヤル、是ハ本ニ書イテアル通りデアル、所ガ今言ヒマスル所ノ生産行爲或ハ生産物ノ處理ト云フコトハ、是ハ技術モアレバ經濟モアル、經濟ノ事柄ハ産業組合、技術ノ事柄ハ農會、ソソナクハ八出來ルモノチヤナイ、技術ノ可否ヲ判断スルニ付テハ經濟ガ入ラザラ得ナイ、經濟ノ問題ヲ論究スルニ付テハ技術ノ問題ガ關係セザラ得ナイ、斯ウ云フ關係ニアルモノト思フ、ソレヲ技術ハ農會デアル、經濟ハ産業組合デアルト云フヤウナ抽象的ノ觀念デヤツテ居ラレト云フコトハ非常ナ間違ヒデハナカラウカ、殊ニ今御説明ニナリマシタ農事實行組合ト云フモノガ、産業組合ノ統制ヲ受タル、命令兩頭ニ出ツテ農會ノ統制ヲ受タル、命令兩頭ニ出ツテ場合ハ此ノ農事實行組合ハ如何ニスルカ、是ハドウスルコトモ出來ハシナイ、斯

吾ノ地方ニ於キマシテハ中々産業組合ノ方ガ強クテ言フコトヲ聞キマセ、併シ聞ク間カスト云フコトヲ局長ト争ウテ居リマシテモ仕方ナイデスカラ、止メテ置キマス

〔委員長退席、成島委員長代理著席〕

ソコデ私考ヘルノハ、アベコベニ農會ニ統制權ヲ與ヘラレルナラバ、産業組合ニモ統制權ヲ與ヘニナルト云フ方ガ宜イノデハアルマイカ、承ル所ニ依リマスト産組ノ中央會カラモ同ジヤウナ陳情ガ來テ居ルサウデスカ、之ヲ御與ヘニナルコトニ依ツテ生産ノ行爲ハ農會ガヤルシ、或ハ配給ノ方モ農會ガヤルカモ分ラヌ、併シナガラ産業組合モヤルノダ、斯ウ云フ兩建デア出デニナル方ガ實際ニ聞ニ合フノデアアルマイカ、斯様ニ思フ、併シ局長ハ、サウチヤナイ、農會ハ行政機關デアアル、産組ハ經濟機關デアツテ性質ガ違フト云フヤウナ法理論デ以テ御答ニナルカモ知レマセ、ソレハ私ハドチラデモ宜イト思フ、今強ヒテ農會ト産業組合トノ學問上ノ區別ヲシヨウト思フカラ、行政機關デアルトカナイトカ、脫退ヲ一方ハ許シテ一方ハ許シテナイト云フヤウナ問題ニナリマスケレドモ、是モヤハリ統制力ヲ附與スルト云フヤウニ相成リマスルナラバ、ヤハリ農會或ハ産業組合各ノ立場ニ於テ、所謂農業統制ヲ爲スニ便利デアラウ、斯ウ考ヘマスガ、之ニ對スル御意見ヲ伺ヒタイ

シハ甚ダ宜シクナイコトデアリマスカラ、喧嘩ヲシナイヤウニ大イニオモヘテメナケレバナラヌト思フ、ソコデ産業組合ニ何ガ故ニ統制權ヲ與ヘナイカト云フ御質問ニ對シテハ、是ハ統制ハヤハリ一本ノ方ガ宜イト思フ、二ツアルト間違ヒマス、ソソナクバドチラテ取ルカト云フコトニナレバドウモ農會ヲ取ツタ方ガ宜イ、敢テ法理論ヲ言フノデハナイガ、考ヘ方トシテハ、先程私ノ答辯ヲ序デニ仰シヤツテ戴イタヤウデスカ、ヤハリサウ云フ考デ、ドチラガヤルカト云ヘバ農會ガヤル方ガ宜イダラウ、統制ハ一本ガ宜シイ、斯様ニ考ヘテ此ノ改正法律案ヲ出シタヤウナ次第デアリマス

○田中委員 農會ノ一ツニ統制スルト云フコトニ於テ、産業組合ニ對スル抗爭ヲ激烈ニナラシムルト云フコトデアレバ餘程御注意ニナラナケレバナラヌト私ハ思フ、ソレハ今地方デハ村長ガ農會長ヨリ産業組合長ノ方ガ偉イ人ガヤツテ居ルト思フ、サウシテ村長ガ何ト云ハワガ、農會長ガ何ト云ハワガ、ナニ俺ガヤルンダト云ツテ、經濟力ヲ持ツテ居ル産業組合長ガ村ノ政治ニ干渉スルヤウナ場合モアリ得ルノデアリマスカラ、唯法律上ノ見地ノミニ立ツテ、農會ヲシテ統制セシムルノガ宜イト言ハレマシテモ、ソレデハ他トノ間ニ摩擦ガ起ルト云フコトヲ申上ゲテ置キマス

次ニ第六條ノ二ニ於テ「行政官廳必要ナリト認ムルトキハ農會ニ對シ農會ノ統制ニ關スル施設ニ關シ必要ナル命令ヲ爲スコトヲ得」ト云フコトガ規定サレテ居ル、固ヨリ此ノ統制ニ關スル命令ハ國策ノ線カラ出マシテ命令ヲ出スニ違ヒナイト思フガ、國家ノ大局カラ見テスウ云フ農產物ガ必要デア

ル、ソコデ農會ニ對シテスウ云フモノヲ作レ、斯ウ云フコトヲ仰シタルニ違ヒナイト思フ、其ノ間ニ於テ、行政官廳カラ命令スル所ノ生産物ト、農會自身ガ計畫シテ居ル所ノ生産物トハ、必ズシモ一致スルモノデハナイト私ハ思フ、例ヘバ甲ノ村ニ於テハ麥ヲ作ラウトシテ居ルノニ、麥デハイケナイカラ何ヲ作レ、或ハ乙ノ村デハ小麦ヲ作ル管デアツタノニソレハイケナイカラ之ヲ作レ、斯ウ云フヤウナコトヲシナケレバ生産統制ハ出來得ナイ、ソコデ農會ノ計畫ト統制ソレハ御認ニナルコトグラウト思ヒマス、此ノ場合ニ於キマシテ農會デハ所謂適地適產主義ヲ採ツテ居ル、所ガ統制命令ハソレハイケナイカラ斯ウ云フモノヲ作レト云フヤウニ仰シタル場合ニ於テモ、尙且ツ農會ハ之ヲ忍バナケレバナラナイ、斯様ナ命令ヲナサルノデアリマスカラ、今回ノ改正案ノ一部ニ於テス様ナ統制命令ヲ出ス場合ニ於テ、農會ガ損失ヲ蒙ツタ場合ニ於テハ補償ヲスルノデアルト云フ位ヲ規定ハ御入レニナルベキ管ダト思フニ拘ラヌ、何等損失補償ノ途ガナイ、ノミナラズ其ノ命令ニ服從シナカツタ場合ニ於テハ科料カ罰金カニ處セラレ、斯ウ云フノデゴザイマスガ、是ハ如何ニモ殘酷ナヤウニ思ヘル、此ノ補償ノ點ニ付テハ何等考ヘテ居ラレナイノカ、其ノ點明確ニ御答辯願ヒタイ

（成島委員長代理著席、委員長退席）

○土屋政府委員 産業組合ト農會トノ相互關係ハ、先刻私ガ申上ゲマシタノハ或ハ理想論カモ知レマセ、サウ云フコトガナイトハ言ヘナイダラウト思フ、現實問題トシテ喧嘩ヲヤツテ居ル所ハ相當アリマス、併シ第六類第十一號 日本肥料株式會社法案委員會議錄 第十二回 昭和十五年三月二十日

ルト仰シヤイマスガ、ソレハ、或ハ實際問題トシテハ、協議セラレカモ知レマセヌガ、併シソレハ法律論デナクシテ實際ノト云フダケノ話デ餘リ御答辯ヲ信用スルニ行カス、結局第六條ノ「二行キマシテ」行政官廳必要アリト認ムルトキハ農會ニ對シ農會ノ統制ニ關スル施設ニ關シ必要ナル命令ヲ爲スコトヲ得」トアリマス、又サウ云フヤウナ統制ヲ命令スルコトニ依ツテ初メテ立法ノ趣旨ニ行クノダラウト思フ、ヤウテ與レルナラヤウテ與レ、ヤラナイナラヤウテ與レモ宜イト云フコトデハ、折角ノ農業統制ハ出來ナイ、ドウシテモ權力ヲ以テヤラナレバナラス、權力ヲ以テヤル場合ニ於キマシテハ、地元ノ計畫ト相反スルコトハ想像スルニ難クナイ、此ノ場合ト雖モヤハリ損失ヲ補償シテヤラナイ、損失補償ヲ要スルヤウナ統制命令ハヤラナイト云フコトハ、言ヒ被ケデハナイカト想像スルノデアリマス、而モソレニ對シテ唯統制ヲヤレト云フヤウナコト位ナラ宜イガ、命令ニ服從シナイ場合ハ刑罰ヲ以テ臨ム、一種ノ公用徴収式ノヤリ方デアラウト思ハレル、ソレヲヤラシテ來ルト云フコトハ、丁度農會ガ行政官廳タル性質ヲ持テ居ル、斯種ナ政府ノ考ニ違ヒナイノデアリマスカラ、是ハ公用徴収ノ原則ニ基キマシテ、何等カノ損失補償ノ規定ヲ輸入レニナル御考ハナイカドウカ、其ノ點ヲ御同シテ置キマス

○岡田政府委員 只今ノ點ニ付キマシテ私カラ一寸御答シテ置キマス、万ノ際ニ於テハ補償ノ規定ヲ設ケナレバナラスヤナク、如何ニモ議論トシテノ建前カラ申セバ御尤モヤウニ思ヒマス、ソコガ實ハ此ノ施設ニ増シマシテ政府ノ考ヘテ居リマ

ス所デアリマシテ、要スルニ萬事ガ農業ニ關スルヤウナ施設事業デアリマスガ爲ニ、所謂助長行政ノ建前ヲ以チマシテ總テノコトヲヤウテ行クト云フコトガ、根本ノ心構ヘデナクチヤラナイト思ヒマス、デアリマスカラ、補償ヲドウシテモミナナレバナラスト云フヤウナ窮困ナ理窟チミタコトデアツクノデハ、擬シテソレヲヤウテ見テモ實際問題ハウマク行クノデナイト云フヤウニモ考ヘラレマス、隨テ實際問題トシマシテハ、左様ナ嚴密ナ補償トカ何トカ言ハレナケレバナラスヤウナコトニ付キマシテハ、是ハ運用上、實施上、適切ニ考ヘテ行キマシテ、サウ云フコトノナイヤウニ致シタイ、斯ウ云フ程度ニ於テヤウテ行キタイ要スルニ運用ノ妙ニ歸シテ行キタイト云フコトニ大體ノ心持ヲ置イタノデアリマス、總テノ考ヘ方ガ斯様ナ産業上ノ助長行政ノ手段デアリマスガ、若シ嚴密ナ法律ノ缺陷ヲ申シマスレバ、色々ナコトガアラウト思ヒマスガ、サウ云フ程度デアツクテ行キタイト云フコトデ方針ヲ立テ居ルノデアリマスカラ、此ノ點御諒承願ヒタイト思ヒマス

○岡田政府委員 御尋ノ問題ハ確ニ豫テカラ研究ヲ要スル問題デアリマシテ、一ツノ問題トシテ常ニ探上ゲラレテ居ルコトハ明カデアリマス、今回ノ改正ハ、農業ニ對スル統制ト云フ時代的要求ニ即應シタ一ツノ施設ヲヤルコトヲ主ト致シマシタ爲ニ、其ノ他農會ニ關スル諸般ノ改正ノ點ナドニ付キマシテハ、必ズシモ之ニ關レルコトニ致サナカツクノデアリマス、若シサウ云フコトニナリマス、農會ニ付キマシテモ或ハ相談ヲシマセスト、民事上ノ問題デスカラ、ウツカリハ返事ガ出來マセスカラ、能ク關係ノ方面ト相談ヲシテ御答致シマス、ソノ問題ハ、確ニ御意見トシテハサウダラウト思フ、併シ實際統制ヲヤウテ居ル例ハ、貿易組合法或ハ商業組合法、工業組合法ト云フヤウナ法律事實ニ於テ統制ヲヤウテ居ル、併シ是等ノ統制ニ於テモヤハリ損害ノ規定ハナイノデス、ガカラ隨テコウチモ損害ノ補償ヲ考ヘナカツク、此ノ程度デアリマシマス

仔細ノ點ニ付キマシテハ色々ト探上ゲテ問題トスベキモノガナイデモアリマセヌガ、當面ノ問題ハ時局要求ノ農業統制ニ關スルコトヲ主ト致シマシタ爲ニ、差當ツタ非常ニソレニ對シマシテ不自由ノ限リハ、必ズシモ廣ク其ノコトニ互ルコトヲ致サナカツクノデアリマス

○岡田政府委員 是ハ私ガ餘リ農業專門家チヤナイノニ斯ウ云フコトヲ言フノハドウカト思ヒマスガ、現在ノ農會法ハ不備ノ頗ル多イモノダト私ハ思ウテ居リマス、斯ウ云フヤウナ改正ヲ御出シニナル時ニハ大ニ劃期的ノコトヲオヤリニナツテ宜イト思ヒマスケレドモ、統制一點張デオヤリニナツクノデアリマスカラ、今後ノ御研究ヲ特ニ願ツテ置キマス、最後ニ此ノ統制ニ從事スル吏員、是ハ先程モ問題ガ出テ居リマシタガ、其ノ中デ特ニ農業技術員ノ問題ニ關シマシテ、餘リニモ農林省ノ御考ト言ヒマスガ、認識ガ足ラナイノチヤアルイカト私ハ思フノデアリマス、地方ニ行ツテ見マスト、實際農業ノ指導獎勵ヲヤウテ居ルモノハ農業技術員デス、是ハ中々能ク働イテ居リマス、縣農會ノ技術員ニ致シマシテモ、町村農會ノ技術員ニ致シマシテモ實ニ能ク働イテ居ル、殊ニ今次ノ事變下ニ於キマシテハ軍需ノ用農産物ノ供出ノ幹線トカ、或ハ經濟更生ノ指導トカ、實際夜日モ寢ズニ働イテ居ルヤウニ思ウテ、私共ハソレ等技術員ト會見致シマス時ニハ全ク敬意ヲ拂フヤウナ次第デアルノデアリマスガ、天職ノ如ク心得テヤウテ居リマス、然ルニ其ノ農會ノ爲ニ日夜擔當スル所ノ技術員ト云フモノハ非常ニ惠マレテ居ナイ、農務局長ノ御考察カラスレバ、或ハ行政法上官吏ニナルカモ分ラ

○岡田政府委員 町村農會技術員ノ待遇ニ付キマシテ、洵ニ有難イ御話ヲ承リマシタ、特ニ地方ノ實情ヲ認識セラレマシテ、農會技術員ガ此ノ時局下ニ於キマシテ一段ノ奮勵努力ヲ致シマシテ、農業上ニ對スル非常ナ貢獻ヲシテ居ルト云フコトニ付キマシテ御認メ下サイマシテ、隨テ之ニ對スル一層ノ待遇ノ向上トカ、或ハ又施設ノ擴充トカニ付キマシテノ要望ヲ致サレマシタコトハ、洵ニ御尤モデアルト存ジマス、御承知デモアリマセウガ、全ク今日ノ農會ノ技術員ニ付キマシテハ、マダノ其ノ待遇ニ於キマシテモ、或ハ其ノ數ニ於キマシテモ、諸般ノ點ニ於テ甚ダ不十分デアリマス、殊ニ從來是ガ甚ダ以テ認メラレナイ状態ニアツタノデアリマスガ、併シナガラ最近ニ至リマシテハ、能ク此ノ事ガ謂ハバ天下ノ問題トナリマシテ、殊ニ議會ノ問題トナリマシテ、兎ニモ角ニモ最近ニ至リマシテ非常ニ是ガ人員ノ増設或ハ待遇ノ向上ト云フコトニ付キマシテ、豫算上ニ於キマシテハ其ノ

○岡田政府委員 是ハ私ガ餘リ農業專門家チヤナイノニ斯ウ云フコトヲ言フノハドウカト思ヒマスガ、現在ノ農會法ハ不備ノ頗ル多イモノダト私ハ思ウテ居リマス、斯ウ云フヤウナ改正ヲ御出シニナル時ニハ大ニ劃期的ノコトヲオヤリニナツテ宜イト思ヒマスケレドモ、統制一點張デオヤリニナツクノデアリマスカラ、今後ノ御研究ヲ特ニ願ツテ置キマス、最後ニ此ノ統制ニ從事スル吏員、是ハ先程モ問題ガ出テ居リマシタガ、其ノ中デ特ニ農業技術員ノ問題ニ關シマシテ、餘リニモ農林省ノ御考ト言ヒマスガ、認識ガ足ラナイノチヤアルイカト私ハ思フノデアリマス、地方ニ行ツテ見マスト、實際農業ノ指導獎勵ヲヤウテ居ルモノハ農業技術員デス、是ハ中々能ク働イテ居リマス、縣農會ノ技術員ニ致シマシテモ、町村農會ノ技術員ニ致シマシテモ實ニ能ク働イテ居ル、殊ニ今次ノ事變下ニ於キマシテハ軍需ノ用農産物ノ供出ノ幹線トカ、或ハ經濟更生ノ指導トカ、實際夜日モ寢ズニ働イテ居ルヤウニ思ウテ、私共ハソレ等技術員ト會見致シマス時ニハ全ク敬意ヲ拂フヤウナ次第デアルノデアリマスガ、天職ノ如ク心得テヤウテ居リマス、然ルニ其ノ農會ノ爲ニ日夜擔當スル所ノ技術員ト云フモノハ非常ニ惠マレテ居ナイ、農務局長ノ御考察カラスレバ、或ハ行政法上官吏ニナルカモ分ラ

○岡田政府委員 是ハ私ガ餘リ農業專門家チヤナイノニ斯ウ云フコトヲ言フノハドウカト思ヒマスガ、現在ノ農會法ハ不備ノ頗ル多イモノダト私ハ思ウテ居リマス、斯ウ云フヤウナ改正ヲ御出シニナル時ニハ大ニ劃期的ノコトヲオヤリニナツテ宜イト思ヒマスケレドモ、統制一點張デオヤリニナツクノデアリマスカラ、今後ノ御研究ヲ特ニ願ツテ置キマス、最後ニ此ノ統制ニ從事スル吏員、是ハ先程モ問題ガ出テ居リマシタガ、其ノ中デ特ニ農業技術員ノ問題ニ關シマシテ、餘リニモ農林省ノ御考ト言ヒマスガ、認識ガ足ラナイノチヤアルイカト私ハ思フノデアリマス、地方ニ行ツテ見マスト、實際農業ノ指導獎勵ヲヤウテ居ルモノハ農業技術員デス、是ハ中々能ク働イテ居リマス、縣農會ノ技術員ニ致シマシテモ、町村農會ノ技術員ニ致シマシテモ實ニ能ク働イテ居ル、殊ニ今次ノ事變下ニ於キマシテハ軍需ノ用農産物ノ供出ノ幹線トカ、或ハ經濟更生ノ指導トカ、實際夜日モ寢ズニ働イテ居ルヤウニ思ウテ、私共ハソレ等技術員ト會見致シマス時ニハ全ク敬意ヲ拂フヤウナ次第デアルノデアリマスガ、天職ノ如ク心得テヤウテ居リマス、然ルニ其ノ農會ノ爲ニ日夜擔當スル所ノ技術員ト云フモノハ非常ニ惠マレテ居ナイ、農務局長ノ御考察カラスレバ、或ハ行政法上官吏ニナルカモ分ラ

○岡田政府委員 町村農會技術員ノ待遇ニ付キマシテ、洵ニ有難イ御話ヲ承リマシタ、特ニ地方ノ實情ヲ認識セラレマシテ、農會技術員ガ此ノ時局下ニ於キマシテ一段ノ奮勵努力ヲ致シマシテ、農業上ニ對スル非常ナ貢獻ヲシテ居ルト云フコトニ付キマシテ御認メ下サイマシテ、隨テ之ニ對スル一層ノ待遇ノ向上トカ、或ハ又施設ノ擴充トカニ付キマシテノ要望ヲ致サレマシタコトハ、洵ニ御尤モデアルト存ジマス、御承知デモアリマセウガ、全ク今日ノ農會ノ技術員ニ付キマシテハ、マダノ其ノ待遇ニ於キマシテモ、或ハ其ノ數ニ於キマシテモ、諸般ノ點ニ於テ甚ダ不十分デアリマス、殊ニ從來是ガ甚ダ以テ認メラレナイ状態ニアツタノデアリマスガ、併シナガラ最近ニ至リマシテハ、能ク此ノ事ガ謂ハバ天下ノ問題トナリマシテ、殊ニ議會ノ問題トナリマシテ、兎ニモ角ニモ最近ニ至リマシテ非常ニ是ガ人員ノ増設或ハ待遇ノ向上ト云フコトニ付キマシテ、豫算上ニ於キマシテハ其ノ

○岡田政府委員 是ハ私ガ餘リ農業專門家チヤナイノニ斯ウ云フコトヲ言フノハドウカト思ヒマスガ、現在ノ農會法ハ不備ノ頗ル多イモノダト私ハ思ウテ居リマス、斯ウ云フヤウナ改正ヲ御出シニナル時ニハ大ニ劃期的ノコトヲオヤリニナツテ宜イト思ヒマスケレドモ、統制一點張デオヤリニナツクノデアリマスカラ、今後ノ御研究ヲ特ニ願ツテ置キマス、最後ニ此ノ統制ニ從事スル吏員、是ハ先程モ問題ガ出テ居リマシタガ、其ノ中デ特ニ農業技術員ノ問題ニ關シマシテ、餘リニモ農林省ノ御考ト言ヒマスガ、認識ガ足ラナイノチヤアルイカト私ハ思フノデアリマス、地方ニ行ツテ見マスト、實際農業ノ指導獎勵ヲヤウテ居ルモノハ農業技術員デス、是ハ中々能ク働イテ居リマス、縣農會ノ技術員ニ致シマシテモ、町村農會ノ技術員ニ致シマシテモ實ニ能ク働イテ居ル、殊ニ今次ノ事變下ニ於キマシテハ軍需ノ用農産物ノ供出ノ幹線トカ、或ハ經濟更生ノ指導トカ、實際夜日モ寢ズニ働イテ居ルヤウニ思ウテ、私共ハソレ等技術員ト會見致シマス時ニハ全ク敬意ヲ拂フヤウナ次第デアルノデアリマスガ、天職ノ如ク心得テヤウテ居リマス、然ルニ其ノ農會ノ爲ニ日夜擔當スル所ノ技術員ト云フモノハ非常ニ惠マレテ居ナイ、農務局長ノ御考察カラスレバ、或ハ行政法上官吏ニナルカモ分ラ

○岡田政府委員 是ハ私ガ餘リ農業專門家チヤナイノニ斯ウ云フコトヲ言フノハドウカト思ヒマスガ、現在ノ農會法ハ不備ノ頗ル多イモノダト私ハ思ウテ居リマス、斯ウ云フヤウナ改正ヲ御出シニナル時ニハ大ニ劃期的ノコトヲオヤリニナツテ宜イト思ヒマスケレドモ、統制一點張デオヤリニナツクノデアリマスカラ、今後ノ御研究ヲ特ニ願ツテ置キマス、最後ニ此ノ統制ニ從事スル吏員、是ハ先程モ問題ガ出テ居リマシタガ、其ノ中デ特ニ農業技術員ノ問題ニ關シマシテ、餘リニモ農林省ノ御考ト言ヒマスガ、認識ガ足ラナイノチヤアルイカト私ハ思フノデアリマス、地方ニ行ツテ見マスト、實際農業ノ指導獎勵ヲヤウテ居ルモノハ農業技術員デス、是ハ中々能ク働イテ居リマス、縣農會ノ技術員ニ致シマシテモ、町村農會ノ技術員ニ致シマシテモ實ニ能ク働イテ居ル、殊ニ今次ノ事變下ニ於キマシテハ軍需ノ用農産物ノ供出ノ幹線トカ、或ハ經濟更生ノ指導トカ、實際夜日モ寢ズニ働イテ居ルヤウニ思ウテ、私共ハソレ等技術員ト會見致シマス時ニハ全ク敬意ヲ拂フヤウナ次第デアルノデアリマスガ、天職ノ如ク心得テヤウテ居リマス、然ルニ其ノ農會ノ爲ニ日夜擔當スル所ノ技術員ト云フモノハ非常ニ惠マレテ居ナイ、農務局長ノ御考察カラスレバ、或ハ行政法上官吏ニナルカモ分ラ







レドモ、一タビ老後ノコトヲ考ヘテ見ルト  
農山漁村ニ入込シテ、全ク昭和ノ二宮尊徳  
先生ノヤウナ献身犧牲ノ活動ヲ爲シ、又家  
ニ於テハ子弟ノ教養マデモ爲シテ行カナケ  
レバナラナイノデアリマス。其ノ老後  
ノコトハ十分安心ヲ與ヘルヤウニ施設シテ  
置ク必要ガアリハシナイカ、之ニ付テハ多  
少例外、特別ナ方法ニ依ツテモ、相當安  
心ノ出来ルヤウナ恩給ノ制度ヲ作ル必要ガ  
アリハシナイカ、斯ウ云フコトヲ私ハ多年  
主張シテ居ル者デアリマスガ、當局ハドウ  
御考ニナワテ居リマスカ、又之ニ對スル御  
企圖ガアレバ御伺ヒ致シマス。

○土屋政府委員 農會ノ技術員優遇ノ一ツ  
ノ方法トシテ、之ニ恩給ヲヤルヤウニシテ  
ラドウカト云フ御意見ハ、御意見トシテハ  
私共モ同意デアリマス、唯官吏デゴザイマ  
スカラ、現在ノ恩給法ヲ直チニ適用スル譯  
ニモ多ク思ヒマスガ、之ニ付テハ何等  
カノ方法ヲ考ヘテ見タイト思フテ居リマス、  
御承知デアリマスガ、現在帝國農會ニ  
於キマシテ、是ハ恩給デハアリマセス、一  
時金デアリマスガ、退職死亡給與金制度ヲ  
設ケテ居リマシテ、九千四百十三人、約一  
万人ベカリ加盟シテ居リマス、此ノ退職給  
與金ノ率ハ官吏ヨリモ若干宜イヤウデアリ  
マス、之ヲ例ヘバ政府ガ助成デモ致シマシ  
テ、モツト強クスルト云フコトモ一ツノ方  
法デハナイカト思フテ居リマスガ、問題ヲ  
將來ニ殘シテ研究シタイト思フテ居リマス  
○長野委員 次ニ、農會ガ生産ニ對シテ積  
極的ニ指導シ、時ニハ監督モスルト云フコ  
トニナリマス、茲ニ農業ニ必要ナ資材ノ  
コトトカ、或ハ其ノ他生産ニ必要ナ諸條件  
ソレ等ヲ經濟的ニ評價シテ其ノ生

産ノ作業ト、其ノ結論タル收穫販賣ト云フ  
一貫シテ關係ニ於キマシテ、農會ガ農家ノ  
收益ニ付テ相當關心ヲ持ツ必要ガアリハシ  
ナイカ、ソコデ問題ハ、生産物ノ評價ト云  
フコトデアリマス、之ニ對シテ農會ガ相當  
意見ノアル態度ヲ持ツテ居ナイト、命令ヲ  
出シテ、其ノ命令ニ依ツテ農家ハドンク  
働イテ生産シテ販賣シテ、所ガドウモ引合  
ハナイ、斯ウナワテ来ルト茲ニ非常ナ矛盾  
ガ出来ル、ソコデ農會トシテハ、来ナラ来  
野菜ナラ野菜ハ、フレダケノ適正價格ヲ保  
持スベキモノデアリカト云フコトガ問題ニ  
ナワテ来ルデアリマス、私ノ御尋セント  
スルコトハ、是カラノ農會活動ノ上ニ於キ  
マシテ、生産物ノ適正價格ニ付テ如何ナル  
方法デ評價セシムル御考デアリカ、先般ノ  
高田議員ニ對スル農林大臣ノ御答辯デハ需  
給關係ニ基テ價格決定一本槍デアリマスガ、  
是デハ進モ農民トシテハ危險千萬デアリマス、  
ソコデ需給關係以外ニ生産費ヲ基調トスル  
經濟的根據ニ立ツテ方法ニ依リ生産物價格  
ヲ決定シテ行ク必要ガアルト思フ、ソレハ  
ドウ云フ風ニ御考ヘテ居リマスカ

○土屋政府委員 農産物ノ價格決定方針ノ  
問題ト承リマシタガ、是ハソレソレノ作物  
ニ依テ方法ガ違フダラウト思ヒマス、米  
ニ付キマシテハ、御承知ノ米穀統制法ニ依  
リマシテ生産費ト家計米價ト兩方カラ見合  
ヒマシテ適正價格ヲ決定スルコトニナル、  
所ガヤハリ將來モ繼續セラレコトニナル  
ト思ヒマス、ソレカラ先般小麦、大麦、裸  
麥等ノ公定價格ヲ決定マシタ、是ハ主トシ  
テ生産費ノ調査ヲ致シマシテ、其ノ生産費  
ノ調査ヲ基礎ト致シマシテ、ソレニ他ノ對  
抗作物等トノ釣合等ヲ考ヘテ決定ヲ致シマ

シタ、恐ラク多クノ農産物ハ此ノ方式デ行  
クダラウト思ヒマス、隨ヒマシテ十五年度  
ノ豫算ニハ左様ナモノノ調査費ヲ農林省ト  
シテ若干要求シテゴザイマス、ソレカラ青  
果物ノヤウナ生鮮食料品ニナリマス。其ノ  
是ハ品物ノ性質上只今ノヤウナ生産費カラ  
割出シテ幾ラト云フコトニ公定價格ヲ決メ  
ルコトハ餘程困難ダト思ヒマス、ソコデ是  
ハ重要供給ノ關係デ自ラ落付ク所ニ落付ク、  
但シソレニハ現在ノヤウナ配給機構デハ、  
斷手ニ品物ガ不揃ヒニ市場ニ出ルト云フノ  
デハ動搖ガ激シイカラ、動搖ノ幅ヲ詰メル  
ト云フ意味ニ於テ計画的ノ出荷ヲスルヤウ  
ニシヨウト云フノガ、先般閣議デ決定ニナ  
リマシタ生鮮食料品ノ配給統制ノ對策デア  
リマス

（委員長退席、山田委員長代理著席）  
○委員長退席、山田委員長代理著席  
斯様ナ方法ニ依リマシテ、ソレソレノ物ニ  
依リマシテ價格決定ノ方式ガ違フテ行クダ  
ラウト思ヒマス、何レニ致シマシテモ、生  
産費ヲ割ルト云フヤウナ低價ノ所、如何ニ  
低價ト云フ風ニ御考ヘテ居リマス  
○長野委員 ソコデ私ハ現在ノ農産物價格  
ノ動キニ付キマシテ感スル所ガアルカラ、  
特ニ此ノ御考ヲ申上ゲテ御考デアリマス、例  
ヘバ野菜類ノ如キ、又野菜ノ中デモ温室物ト  
云フヤウナモノニナリマス。東京市内  
ナドデハ料亭トカ或ハ一流旅館トカ、斯ウ  
云フモノガ行ツテ非常ニ其ノ價值ヲ引上ゲ  
ルデアリマス、是ハ全ク亂調子デアリマ  
ス、高價賣レテ居ルカラ農民ハソレガ爲ニ  
儲ケテ居ルカト云フト、ソレハ中間ノ商人、  
市場等ノ儲デアリマシテ、農民ハ左様ニマ  
デ参ラスノデアリマス、所ガソレハ良イ場

料ノ供給ノ不都合ナ場合ニ於テ、此ノ農業經  
濟ノ決定ノ不利ナル運命ニ對シテ當局ハ  
何等カノ御計畫ガアルカ、御用意ガアルカ、  
斯ウ云フ問題デアリマス  
○土屋政府委員 只今ノ御質問ハ非常ニ難  
カシイ質問デアリマシテ、一寸御答ニ苦シ  
ムデアリマスガ、今日ノ農業生産ノ状況  
ヲ見マスト、長野委員ノ御話ノ通り色々  
ナ方面ニ於テ肥料モ足ラナイシ、努力モ足ラ  
ナイシ、土地モ十分デアナイシ、生産條件  
ガ惡化致シテ居リマス、然ルニモ拘ラズ一  
生懸命ニナツテ食糧其ノ他ノ農産物ヲ粒々  
辛苦シテ作ツテ居ル農民ノ努力ニ對シマシ  
テハ、國民ハモウ全部頭ヲ下ゲテ感謝シナ  
ケレバナラヌモノダラウト思フテ居リマス  
ソコデ私共其ノ生産物ノ價格ヲ決定致シ  
マスルニ付キマシテハ、消費者ノ方面ヲ代  
表スル方面デハ唯モウ安イコトヲ望ムデ居  
リマス、併シ吾々ハ唯其ノ徒ラナル低價價  
政策ノ聲ニ引摺ラレテ居リテハナイノデア  
リマス、併シナガラ高價價ハイケマセス、  
高價價ニ依ツテ生産ヲ制スルト云フコト  
ハ是ハ吾々ハ避ケナケレバナラヌト思ヒマ  
スガ、併シ適正價格ハドウシテモ執ラス  
必要ガアル、ソレカラ又若シ適正價格  
ガ非常ニ高クナルト云フナラバ、生産費ヲ  
下ゲルヤウニシテ宜シ、肥料ニ對シテ  
數千萬圓ノ金ヲ出シテ肥料ノ値上ヲサセナ  
イト云フノモ其ノ一ツダラウト思ヒマス、  
其ノ外色々ト勞働力ノ調節デアリマストカ、  
各種ノ方面ニ政府ノ力ヲ用テ居リマスコトハ、  
何レモソレヲナラシメバ生産費高クナ  
ルト云フコトニナララウト思フデアリ  
マスガ、之ヲ要スルニ一寸譯ノ分ラヌコト  
ヲ申上ゲタヤウデアリマスケレドモ、今日

ノ状態ニ於キマシテハ、生産物ノ價格ハ、  
徒ニ高價政策ヲ保持シテ生産ヲ制スル  
ト云フコトハ避ケナケレバナラヌケレドモ、  
併シナガラ何處マデモ是ハ適正ナ、農家ノ  
引合ノ程度ノ價格ニスル必要ガアル、ソレ  
ガ若シ非常ニ高價價ニナルトスレバ、政  
府トシテハ他ノ方策ヲ講ジテ生産費ヲ引下  
ゲルコトヲ爲サベキデハナカラウト云フ  
風ニ考ヘテ居ルデアリマス  
○長野委員 若シ其ノ他ノ方策ト云フモノ  
ガ此處デ御説明出来レバ一ツ承リタイト思  
ヒマス  
○土屋政府委員 ソレハドウモ私ニハ絶對  
的ニ説明スルコトハ一寸難カシイノデア  
リマスガ、例ヘバ無機質肥料ニ對シテ助成  
金ヲ出シテ居リマス、是ナドハ若シアノ助  
成金ヲ出サナケレバ、少クモアレダケハ  
肥料ノ價格ハ上ル譯デアリマスカラ、ソレ  
ヲ上ゲナイコトニシテ肥料ノ價格ヲ現狀  
持ニシタト云フモノ、生産費高クシナイ  
ト云フ一ツノ政策ノ現ハレデアラウト考ヘ  
テ居リマス

見解ヲ承リタイ  
○土屋政府委員 雪害ニ對シテ冷害或ハ早  
害ト同様ナ考慮ヲ拂ハナケレバナラヌト云  
フコトハ、長野委員ノ御話ノ通りデアリマ  
ス、從來政府ノヤウテ居リマスルノハ、雪  
害ノ起キマシタ場合ニ農業倉庫デアリマス  
トカ、或ハ農業生産ノ方面ノ助成金ヲ出シ  
テ居リマスト、繼續的ニハ雪害ノ研究ヲ  
致シマシテ、ソレカラ麥類ノ菌核病ノ豫防  
ナリ、或ハ桑園ノ菌核病ノ豫防ナリ、サウ  
云ツテ方面ニ若干ノ經費ヲ支出シテ居ル程  
度ノモノデアリマス、ソレダケデ足レリト  
ハ考ヘテ居ラナイノデアリマス  
○長野委員 ソコデ私ハ雪害ノ實情カラ考  
ヘマシテ、政府トセラレテハ相當積極的ニ  
是ガ救済ノ經費ヲ御組ニナルコトガ必要  
デハナイカト思ヒマス、ソコデ明年度カラ  
ハ徹底的ニ是ガ救済經費ノ計上ヲ希望致シ  
タイト思ヒマス、同時ニ私ハ雪害ニ對スル  
所ノ雪害豫防、防除ニ對スル研究ヲモウ少  
シ科學的ニスル必要ガアリハシナイカ、之  
ニ對シテドウ云フ御考デアリマセウカ、更  
ニ雪害ニ比スベキ或ハ旱害ニ比スベキ非常  
ナ慘害ヲ農作物ニ及ボスモノニ稻ニ於テ稻  
熱病ガアリマス、此ノ稻熱病ハ北海道或ハ  
長野縣、高知縣、九州一帶、最近ニ於テ高  
知縣ノ如ク此ノ慘害ヲ受ケルコト實ニ五千  
町歩、是ガ二箇年モ積イタモノガ、之  
ニ對シテ當局トシテ應援ノ處理ニ付テ非  
常ニ御懇切ニシテ御イタコトハ、地方民モ  
非常ニ感謝シテ居リマス、ケレドモ、是ガ  
農業保險ノ中ニニテラレナカク、ソコデ  
七十三議會デ農林大臣ガ致政次官ハ私ノ質  
問ニ對シテ此ノ數字ノ調査ヲ致シテ、  
近々命令ニ依ツテ指定スベキモノノ中ニ

加ヘル、農業保險事故ノ中ニ加ヘル、斯ウ  
云フ御話デアアツクデアリマスガ、其ノ後  
本問題ニ付テハ勿論調査ハ進マレテ居ル  
ト思ヒマスガ、如何ナル經過ニナワテ居  
ルマスカ、同時ニ又之ヲ保險ノ中ニ加ヘラ  
ルト云フコトニ對シテノ御意見、是ハ冷害  
モ同様デアリマスガ、併シテ御同致シタイ  
○土屋政府委員 雪害ニ付キマシテ、是ガ  
防止ニ付テ尚ホ研究スルヤウニト云フ御意  
見ハ能ク承ツテ、左様ニ致シタイト思ヒマ  
ス、今日雪害ニ關スル調査研究ヲ徳カ山形  
縣ニ於キマシテヤウテ居ルデアリマス、  
私ハ詳細ク知リマセヌノデ、内容ヲ申上ゲ  
ルトガ出来ナイノヲ甚ダ恐縮ニ存ジマス  
ガ、政府トシテモ或ル程度者手シテ居リマ  
ス、將來モ繼續シ更ニ擴張致シタイト考  
ヘテ居リマス、ソレカラ農業保險ノ稻熱病ノ  
關係デゴザイマス、是ハ御述べニナリマシ  
タヤウナ御話デアリマシタコトハ私共知シ  
テ居リマス、既ニ稻熱病ト併シテ農業保險  
ノ問題ニナリマシタ冷害對策ノコト、此ノ  
冷害對策ノ方ニ付キマシテハ既ニ或ル程度  
ノ調査ヲ了シマシテ、調査會ノ小委員會ハ  
開イタノデアリマスガ、議會ガ開カレマシ  
タノデ、總會ヲ開カレズニ居リマスカラ、  
議會デモ済ミマシタラズニ總會ヲ開イデ、  
冷害對策ヲ立テ、稻熱病ハ其ノ次ノ調査會  
ガアルカナイカト云フコトハ何分ニモ問題  
ガ重大デアリマスカラ、一寸此ノ處デ私ノ  
意見ヲ申上ゲマセヌノデ、何レ調査會ノ議  
ニ掛ケテ上テ適當ノ方策ヲ立テタイト思フ  
テ居リマス  
○長野委員 此ノ稻熱病ハ東北方面ヲ研究  
中デアルト云フコトハ洵ニ満足致シマス、

件シ東北ハ主トシテ根葉共冷エル冷熱病ト云フノデハナイカト思ヒマス、然ルニ西南地方ハ多シト、霖雨ト鬱熱、此ノ多温高温ト云フコトガ原因ニナツテ、其ノ蔓延モ實ニ夥シモノガアリマス、就キマシテハ新橋ナ暖イ地方ニ於ケル稻熱病ノ傳播強ニ其ノ損害ノ數字的調査ト云フモノヲ特ニオヤリニナル必要ガアルヤウニ考ヘマス、此ノ點ニ付テ御明答ヲ願ヒマス。

**○土屋政府委員** 御尤モ存ジマス、只今稻熱病ノ試驗ハ農林省ガ直營デヤリマシタリ、府縣ニ全額補助ヲ致シマシタリ、各地デヤツテ居リマス、其ノ試驗ノ方ハ今ノ寒冷ノ地方ノミナラズ温暖ノ地方モアルノデソレ等ノ成績等ニ付テハ恐ラク試驗場等ニハ調査ガアルト思ヒマス、若シナケレバ早速ニ取極メルヤウニ致シタイト思ヒマス、尙ホ序ニ申上ゲマスガ、稻熱病ノ根本的ノ問題ニ付テハ只今申シマシヤウニ試驗研究ハ續ケテ居リマスガ、米穀増産ノ上ニ稻熱病ヲ退治スルコトガ必要デアリマスノデ、昭和十四年度ニモ相當ノ經費ヲ取リマシテ、是ハ主トシテ「ボルドー」液ヲ掛ケルデアリマスガ、此「ボルドー」ノ藥劑ノ購入費、噴霧器ノ購入費ノ助成ヲ致シマシ、十五年度ニ於テモ相當ノ面積ニ對シマシテ之ヲ續行スル積リテ、本豫算並ニ追加豫算ニ相當ノ經費ヲ計上致シテ居リマス。

**○長野委員** 此ノ農會ノ生産統制ニ活動スベキ分野ノ一ツニ肥料ノ施用ト云フ問題ガゴザイマス、ソレデ之ヲ地域的ニヤルニシテモ米麥重心主義ヲ立テルニシマシテモ、愈、此ノ肥料ヲ施用スル場合ニ之ヲ監督シ、指導スルコト云フコトガ出來ナカクツナラバ、到底此ノ肥料ト云フモノノ統制ノ完

成ハハ主トシテ「ボルドー」液ヲ掛ケルデアリマスガ、此「ボルドー」ノ藥劑ノ購入費、噴霧器ノ購入費ノ助成ヲ致シマシ、十五年度ニ於テモ相當ノ面積ニ對シマシテ之ヲ續行スル積リテ、本豫算並ニ追加豫算ニ相當ノ經費ヲ計上致シテ居リマス。

**○長野委員** 此ノ農會ノ生産統制ニ活動スベキ分野ノ一ツニ肥料ノ施用ト云フ問題ガゴザイマス、ソレデ之ヲ地域的ニヤルニシテモ米麥重心主義ヲ立テルニシマシテモ、愈、此ノ肥料ヲ施用スル場合ニ之ヲ監督シ、指導スルコト云フコトガ出來ナカクツナラバ、到底此ノ肥料ト云フモノノ統制ノ完

成ハハ主トシテ「ボルドー」液ヲ掛ケルデアリマスガ、此「ボルドー」ノ藥劑ノ購入費、噴霧器ノ購入費ノ助成ヲ致シマシ、十五年度ニ於テモ相當ノ面積ニ對シマシテ之ヲ續行スル積リテ、本豫算並ニ追加豫算ニ相當ノ經費ヲ計上致シテ居リマス。

**○長野委員** 此ノ農會ノ生産統制ニ活動スベキ分野ノ一ツニ肥料ノ施用ト云フ問題ガゴザイマス、ソレデ之ヲ地域的ニヤルニシテモ米麥重心主義ヲ立テルニシマシテモ、愈、此ノ肥料ヲ施用スル場合ニ之ヲ監督シ、指導スルコト云フコトガ出來ナカクツナラバ、到底此ノ肥料ト云フモノノ統制ノ完

成ハハ主トシテ「ボルドー」液ヲ掛ケルデアリマスガ、此「ボルドー」ノ藥劑ノ購入費、噴霧器ノ購入費ノ助成ヲ致シマシ、十五年度ニ於テモ相當ノ面積ニ對シマシテ之ヲ續行スル積リテ、本豫算並ニ追加豫算ニ相當ノ經費ヲ計上致シテ居リマス。

**○長野委員** 此ノ農會ノ生産統制ニ活動スベキ分野ノ一ツニ肥料ノ施用ト云フ問題ガゴザイマス、ソレデ之ヲ地域的ニヤルニシテモ米麥重心主義ヲ立テルニシマシテモ、愈、此ノ肥料ヲ施用スル場合ニ之ヲ監督シ、指導スルコト云フコトガ出來ナカクツナラバ、到底此ノ肥料ト云フモノノ統制ノ完

成ハハ主トシテ「ボルドー」液ヲ掛ケルデアリマスガ、此「ボルドー」ノ藥劑ノ購入費、噴霧器ノ購入費ノ助成ヲ致シマシ、十五年度ニ於テモ相當ノ面積ニ對シマシテ之ヲ續行スル積リテ、本豫算並ニ追加豫算ニ相當ノ經費ヲ計上致シテ居リマス。

**○長野委員** 此ノ農會ノ生産統制ニ活動スベキ分野ノ一ツニ肥料ノ施用ト云フ問題ガゴザイマス、ソレデ之ヲ地域的ニヤルニシテモ米麥重心主義ヲ立テルニシマシテモ、愈、此ノ肥料ヲ施用スル場合ニ之ヲ監督シ、指導スルコト云フコトガ出來ナカクツナラバ、到底此ノ肥料ト云フモノノ統制ノ完

成ハハ主トシテ「ボルドー」液ヲ掛ケルデアリマスガ、此「ボルドー」ノ藥劑ノ購入費、噴霧器ノ購入費ノ助成ヲ致シマシ、十五年度ニ於テモ相當ノ面積ニ對シマシテ之ヲ續行スル積リテ、本豫算並ニ追加豫算ニ相當ノ經費ヲ計上致シテ居リマス。

**○長野委員** 此ノ農會ノ生産統制ニ活動スベキ分野ノ一ツニ肥料ノ施用ト云フ問題ガゴザイマス、ソレデ之ヲ地域的ニヤルニシテモ米麥重心主義ヲ立テルニシマシテモ、愈、此ノ肥料ヲ施用スル場合ニ之ヲ監督シ、指導スルコト云フコトガ出來ナカクツナラバ、到底此ノ肥料ト云フモノノ統制ノ完

成ハハ主トシテ「ボルドー」液ヲ掛ケルデアリマスガ、此「ボルドー」ノ藥劑ノ購入費、噴霧器ノ購入費ノ助成ヲ致シマシ、十五年度ニ於テモ相當ノ面積ニ對シマシテ之ヲ續行スル積リテ、本豫算並ニ追加豫算ニ相當ノ經費ヲ計上致シテ居リマス。

**○長野委員** 此ノ農會ノ生産統制ニ活動スベキ分野ノ一ツニ肥料ノ施用ト云フ問題ガゴザイマス、ソレデ之ヲ地域的ニヤルニシテモ米麥重心主義ヲ立テルニシマシテモ、愈、此ノ肥料ヲ施用スル場合ニ之ヲ監督シ、指導スルコト云フコトガ出來ナカクツナラバ、到底此ノ肥料ト云フモノノ統制ノ完

成ハハ主トシテ「ボルドー」液ヲ掛ケルデアリマスガ、此「ボルドー」ノ藥劑ノ購入費、噴霧器ノ購入費ノ助成ヲ致シマシ、十五年度ニ於テモ相當ノ面積ニ對シマシテ之ヲ續行スル積リテ、本豫算並ニ追加豫算ニ相當ノ經費ヲ計上致シテ居リマス。

**○長野委員** 此ノ農會ノ生産統制ニ活動スベキ分野ノ一ツニ肥料ノ施用ト云フ問題ガゴザイマス、ソレデ之ヲ地域的ニヤルニシテモ米麥重心主義ヲ立テルニシマシテモ、愈、此ノ肥料ヲ施用スル場合ニ之ヲ監督シ、指導スルコト云フコトガ出來ナカクツナラバ、到底此ノ肥料ト云フモノノ統制ノ完

示シマスト所有權ノ部分ガ全體ノ二割、ソレカラ永小作權ノ部分ハ八割、即チ千圓ノ土地ニ付テ八百圓ハ永小作權者ノ持分デアリ、二百圓ガ地主ノ持分デアルト云フ程、永小作權ガ尊重セラレテ居ルノデアリマス、斯様ナ意味ニ於テ、此ノ永小作問題ハ單ナル輕イ意味ノ取扱、普通ノ小作地ニ幾ラカ力ヲ入レテト云フ程度ノモノデハ不十分デアル、是非トモ單行法ニ依ルカ、或ハ民法ノ儼然タル改正ヲ認メルカ、何カノ方法ヲナケレバ、此ノ永小作問題ノ重要性ニ付テ法改正トハ認メ得ナイト云フヤウニ考ヘマス、此ノ點ニ付テ何カノ御方針デモ定テ居レバ伺フテ置キタイト思ヒマス。

**○土屋政府委員** 永小作問題ニ付テハ、長野委員ノ御話ノ通りノ事情ガゴザイマス、昭和二十三年ト申シマシテモ幾ラモゴザイマセスカラ、政府デハ速ニ之ニ對スル方針ヲ決定セネバナラスト思ツテ居リマス、只今幸ヒ若干ノ豫算モ取レマシタカラ、ソレニ依ツテソレノ地方ノ専門家ニ委嘱シテ調査ヲ致シテ居ルノデアリマス、尙ホ先般官制ニ基テ農地審議會ト云フ委員會ガ農林省ニ置カレマシテ、之ニハ司法當局モ入ツテ居リマスシ、又學者モ入ツテ居リマス、此ノ委員會ニ於テ各方面ノ知識ヲ集メ、適當ナル對策ヲ樹立スルヤウニ致シタイト考ヘテ居リマス。

先決的ノ要件ガト考ヘマシテ、先程局長カ御答申上ゲマシタヤウニ、地方ニ於ケル經驗家ニ委嘱スルト同時ニ、現在本省ヨリ出來得ル限リ人ノヤリ線ヲ付ケテ、各關係地方ニ出張シテ調査ヲ實施致シマシ、アリマス、恐ラク六月頃ニハ一應ノ調査ガ概マルデアラウト云フ期待ヲ持ツテ居ル譯デアリマス、隨テ其ノ調査ガ一應整備致シマシレバ、ソレ等ヲ基トシテ農地審議會等ニ適當ナ案ヲ附議致シマシテ、結論ヲ得ル譯ニ致シテ居ル譯デアリマス。

**○長野委員** 又大臣ニ御致シタイト思ヒマス、今同ノ農地法改正ハ、時局ノ要求ナル所ノモノデアリマシテ、是ハ是非必要ナコトガト思ヒマス、然ルニ此ノ農會ガ生産統制ノ方面ニ足ヲ踏入レテ、サウシテ國家ノ意思ニ副ウテ之ヲ農民ニ要求スル、又指導監督スルコト云フコトニ相成ツテ参リマス、茲ニ農民ノ立場ヲ考ヘテ見ル必要ガアルト思フノデアリマス、固ヨリ農民ハ、今日ノ場合、國家本位ニ立脚シマシテ、或ル程度マデハ個人ノ利益ヲ犧牲ニシテ、銜接ニ於ケル國民軍ノ建前ヲ十分ニ打立テテ此ノ非常時局ノ突破ニ貢獻シテ行ク必要ガアルト思ヒマス、私ハ此ノ點ヲ十分ニ基調トシテ次ニ御答申上ゲタイト思フノデアリマス、ソレハ農民ニ對シテモ、工業等ノ場合ニ見ルガ如ク補償制度ヲ考慮スル必要ガアリハシナイカト云フコトデアリマス、只今農務局長ニ御答申上ゲマシタガ、詰リ適正價格ヲ決定スルコト云フコトニ付テハ、今日肥料ガ偏在ヲシテ農作物ノ當然要求スル種類ノ肥料ヲ供給スルコトガ出來ナイ、或ハ分量ニ於テモ



全體ニ對シテノ問題トシテ考ヘテ見マシタ  
時ニ議論トシテハ考ヘ得ルコトデアツテモ、實  
行トシテ殆ド不可能デアリ、斯ウ云フコトニ  
陷ル問題デアルトシマス、是ハ中々ソ  
レニ對スル返事トカ云フコトニ付テハ困難  
ナコトデアラウト思フノデアリマス、故ニ  
農業ノ對策ト致シマシテハ、是ハ種々ノ點  
カラ非難攻撃ガアルニ拘ラズ、補助獎勵ト  
云フヤウナ意味ノ俗ニ言フ助長政策ト云フ  
コトヲヤウテ居ルノデアリマシテ、例ヘバ  
農會ノ指導ト云フコトニ付キマシテモ、大  
體カラ言ヘバ、農會ハ詰リ農村自體ニ於テ  
ナルコトデアツテ、農會ノ役員、農會其ノ  
モノガ農村ニ融ケ込シテ、農會ガ即チ農民  
デアリ、斯ウ云フヤウニ融ケ込シテ行  
クベキ筋合ノモノデアツテ、其ノ内輪ニ  
於テ此ノ農會ガ指導シ統制ヲスルト云フヤ  
ウナ場合ニ於キマシテハ、農會ニ對シテハ  
政府トシテ補助ヲ與ヘ、又指導スルニ付  
テハ指導ニ付テモ多少ノ物資ノニモ援助ヲ  
與ヘテアルト云フヤウナコトデアリマシテ、  
肥料ニ付キマシテモ、例ヘバ肥料ノ會社ニ  
助成ヲシテサウシテ安ク肥料ヲ供給サセ  
ル、ソレハ肥料ノ工業ニ對シテノ補助デハ  
ナイカ、斯ウ云フコトヲ申シマケレドモ、  
ソレナラバ直チニ肥料ノ國家管理ヲシ專  
ヲスル、斯ウ云フ風ニ一足飛ニ行ケルカト  
云フト、ソレハ事實ニ於テハ中々サウ行ケ  
ナイ、サウスルト、農會ニ對シテハ高イ肥  
料ヲ買ツテモ宜イカラ補償スレバ宜イチヤ  
ナイカト云フト、ドレダケノ費用ヲ使ツテ  
ド云フ風ニ補償スレバ満足ガ行クカト  
云フコトハ、事實ノ問題トシテハ頗ル困難  
デアリ、ソレ故ニ色々ナリ今ノ御議論ノヤ  
ウナ議論モアルケレドモ、現在ノヤウナヤ

リ方ヲ續ケテ行ツテ——或ル程度ニ於テ變  
換ノ機會ガ來ル時ガアルカモ知レマセケ  
レドモ、現在ニ於テハ先ヅ是マデノヤリ方  
ヲ以テヤツテ行ク、隨テ、農林省ノ豫算ヲ御  
覽ニナルト御承知ノヤウニ非常ニ項目ガ廣  
ク夏ツテ居リマシテ、洵ニ總花ノヤウナ風  
ニナツテ居ツテ、被處ニモ少シ、此處ニモ  
少シト云フ風ニナツテ不徹底極マルト、斯  
ウ云フヤウニ攻撃ヲシ、又毎年ノ豫算編成  
ノ時ニハ、サウ云フ意味ノコトヲ以テ大藏  
省アタリト折衝スル時ニハ、數ノ多イニ  
忙殺サレテ居ルコト云フ位ナ次第デゴザイマ  
スガ、ソレナラバ全然效力ガナイカト云ヒ  
マス、ソレナラバ全然效力ガナイカト云ヒ  
マス、相當ナ效力、或ハ寧ろ偉大ナル效力  
ガアルト私ハ認メテ居ル、其ノ偉大ナル効  
力ガアルト云フコトハ此ノ補助ヲ廢ス、或  
ハソレヲ變ヘテアルト云フ場合ヲ考ヘタナ  
ラバ、殆ド我國ノ農業ト云フモノハ今日ノ  
ヤリ方ヲ中絶スルトカ、或ハ外ニ轉換スル  
ト云フコトニナルト非常ニ變革ヲ起シテ來  
ルモノデアツテ、現狀ニ對シテ救フベカラ  
ザル不安ヲ持來スモノデアラウト考ヘルノ  
デアリマス、隨テ私ハ只今ノ長野君ノ御議  
論ニ對シテハ反對スル理由ハナイ、反對ヲ  
スル理由ハナイケレドモ、ソレナラバ贊成  
デアルナラバ實行ヲ致スカ、斯ウ云フコトハ  
バ、實行ハ殆ド出來難イ、斯ウ云フコトハ  
是ハ農村ノ事情ヲ研究スレバスル程、殊ニ  
我國ノ農村事情ヲ研究スレバスル程、殊ニ  
上ゲルコトガ實際的ダ、斯ウ云フヤウニ自  
分ハ考ヘテ居ルノデアリマス、先刻農務局  
長ノ御答ヲシ、政府委員ガ御答シマシタ永  
小作權ノ問題ニシテモ、是ハ昨日モ大石君  
カラ長野縣ノ事情ヲ説イテ、私ハソレヲ聞

イテ居ツタノデアリマス、此ノ事情ナドハ、  
私ハ法律ノ方ノ出身ノ者デアリマスケレド  
モ、唯聞イタダケデハ頭ニ入ラナイ、之ヲ  
私ハ前ニモ聞イテ居ツタガ、今日モ詳シク  
聞イタカラシテ、其ノ點ヲ自分ガ能ク吞込  
ムヤウニ研究シテ、ソレニ對スル對策ニ付  
テハ自分モ考ヘ、又農地審議會ト云フモノ  
ニ掛ケテモ、之ニ付テハ何等カノ處置ヲ考  
究スルノ必要ガアルナト云フコトダケハ分  
リマシタケレドモ、ソレガ能ク理解セラレ  
カト云ツテ、直ダソレヲ掌ヲ返サウナ  
解決ヲスルト云フコトハ、事實トシテハ相  
當ニハ困難ヲ伴フ事柄デアラウト思フノデ  
アリマス、只今ノ御議論ニ對シテ贊否ヲ言  
ヘ、サウシテ反對ナラバ反對ノ理由ヲ述  
ベヨト言ハレバ、私ハ今日ノヤウナコトヲ御  
答トシテ、反對ヲスル理由ハナイイガ、ソレ  
ニ付テ實行ノ上ニ甚ダ困難ガアル、殆ド不  
可能ニ近イ困難ガアルト云フコトヲ申上  
ゲテ御答ニシテ置キタイ、斯様ニ考ヘルノデ  
アリマス

トシタ御尋デアツタ事ハソレハ其ノ通りト  
思ヒマス、ソコデ私ハ漢トシナイハツキリ  
シタ御伺ヲ致シタイト思ヒマス、詰リ純理  
トシテ贊成デアルガ一般的ニハ行ヒ得ナイ  
ト言ハレル、所ガ愈、是カラ生産統制ヲ行  
フコトニナリマス、例ヘバ今マデ桑ヲ作  
ツテ居ル所ヘモ稻ヲ作レ、嵩ニ向ツテ水ヲ  
注イデ灌溉ノ出來ル所ヘハ稻ヲ栽培シロ、  
斯ウ云フ所謂食料生産ト云フ意味ニ於テ強  
ク要求シナケレバナラヌ場合ガ出來ル、  
實ハ私ノ御伺シタイト思フノハソコナンデ  
ス、詰リ生産統制ノ上ニ於テ農家ノ經營計  
畫ノ一部ニ變更ヲ加ヘ、サウシテ是レノ  
コトヲヤレト云フ場合ガ出來ナケレ  
バナラス、私ハサウ云フ必要ガ必ズ起  
ルト思フ、其ノ場合ニ於テ或ハ肥料ノヤリ  
方ニ於テ、肥料ノ分量ニ於テ其ノ他各  
般ノ生産條件ヲ加ヘ行フ上ニ於テ、一定ノ  
制縛ヲ加ヘル必要ガ必ズ起ツテ來ル、  
殊ニ土地利用ノ上ナドニ於テハ相當ニ要  
求ヲサレナケレバナラヌト思ヒマス、詰リ  
原則トシテ贊成セラレタ以上ハ、左様ナ一  
定ノ計畫ニ依ツテ、其ノ作物ノ種類ニ依リ  
其ノ授下セル肥料其他ノ諸材料ノ分量ニ依  
ツテ、大體ニ於テ制限ヲ加ヘルヤウニ農家  
ニ對シテ要求シタ場合ニ、其ノ要求ニ基  
テ、農家ガ國家本位ニ依ツテ働イテ、而モ  
其ノ結果ハ非常ニ損失ニナルト云フ場合ガ  
アリ得ルノデス、其ノ場合ニ於テ國家ハ當  
然之ニ對シテ相當ノ補償ヲサナケレバナラ  
ヌコトハ、工業ニ對シテ補償制度ヲ設ケテ  
居ル其ノ實際ニ比較シテ考ヘタ時ニ私ハ當  
然ダト思フ、私ガ大臣ニ御尋ヲ申シマシタ  
ノハ、詰リ斯ル局限セラレタ統制ヲ行フ場  
合ガ將來起ツタ時ニ於テ必要ガアルデハナ

イカト云フコトノ問題ニ付テノ御伺ヲシタ  
譯デアリマスカラ、決シテハ實際ヲ無視  
シタモノデハナイシ、又私ノ申シタノハ理  
窟ニ偏シタモノデハナイト思フ、洵ニ理論  
ノ通ツタ實際問題デアリ、又是ダケノコト  
ヲ政府トシテ御考ニナラナケレバ、到底此  
ノ變轉極リナキ自然ト經濟ノ下ニ於テ翻弄  
サレテ居ル農民ニ向ツテ、此ノ上犠牲ヲ加  
ヘシメルコトハ到底出來ナイノデアルト考  
ヘラレルノデアリマス、左様ナ狭イ範圍ニ  
於テハ如何デセウカ

○島田國務大臣 御質問ガ非常ニ婉曲デア  
リマシタカラ、私ハ婉曲ナ點ニ付テ一般  
ニ御答シタノデアリマスガ、只今御話ノヤ  
ウナ例ヘバ或ル事情ノ爲ニ桑ヲ拔イテ三極  
ヲ植エルトカ、或ハ桑畑ノ間ニ甘藷トカ菘  
菜ヲ作ルトカ云フヤウナ場合ニ於テ、ソレ  
ガ今マデノヤリ方ト變ツテ、ソレガ爲ニ非  
常ニ農家ニ迷惑ヲ及ボシタリ、或ハ利益ハ  
アルケレドモ非常ニ手數ガ掛ル、斯ウ云フ  
ヤウナ場合ニハ、御承知ノヤウニ是マデ  
モ種子ノ世話ヲスルトカ、苗木ノ世話ヲス  
ルトカ、或ハソレ等ノソレノ事情ニ付  
テ色々ナ名目ニ依ツテ補助ヲ與ヘタリ、或  
ハ獎勵ヲスルト云フヤウナヤリ方ヲシテ居  
ルノデアリマス、隨テ今度農會ガ此ノ法  
改正ニ依ツテ或ル生産ノ統制ヲ行ツテ、サ  
ウシテ是マデヤリ居ツタ作物ノ品種ヲ變  
ルトカ、或ハ品種ヲ變ヘルトカ、斯ウ云フコ  
トノ爲ニ農家ニ損害ヲ起シ迷惑ヲ生ズルト  
云フヤウナ場合ニ對シテハ、是ハ政府ノ大體  
ノ方針ニ從ツテヤツタ事柄ニ付テ左様ナ場  
合ガ起リ、損ノ行クヤウナ指導ハ政府トシ  
テハシナイ筈デアリマスケレドモ、萬一サ  
ウ云フコトガ起リマシタ時ニハ、天災地變

ニ因ル災害ノ善後處置ニ付テ色々ノ仕事ヲ  
シテ居ルト同ジヤウナ意味ニ於キマシテ、  
又一般ニ考ヘマシテモ左様ナ場合ニ付テハ  
政府トシテハ相當ニ處置ヲシナケレバナラ  
ス、是ハ私ハ當然ナコトデアラウト考ヘテ  
居リマス、ソレガ即チ今日マデ農林豫算  
ノ費目ガ非常ニ澤山ニ分レテ居ル所以モ其  
處ニアルノデアリマス、ソレハ是マデモヤ  
ツテ居ルコトデアリ、今後ト雖モ、殊ニ此  
ノ法ノ實施ノ上ニ於テ起ルヤウナ事情ニ付  
テハ當然考ヘテ行カナケレバナラヌコトト  
ス様ニ考ヘテ居リマス

○長野委員 只今ノ御答辯ニ依リマス、  
左様ナ局限セラレタ場合ニ於テ、結果ヨリ  
見テ相當ノ損失ヲ受ケタ場合ニ於テハ、將  
來補助其ノ他ノ方法デ救済等ニ準ジテ  
相當考ヘルベキデアルト云フ御答辯ニ對シ  
マシテハ非常ニ満足ニ思ヒマス、ドウゾ一  
ツ此ノ農會法ノ改正ニ伴ヒマシテノ結果ト  
シテ行ハレル農會ノ活動ニ付キマシテハ十  
二分ニ農民ノ經營ノ立場カラ、又生活ノ立  
場ニ立タレマシテ、大臣ノ只今マデ御セラ  
レマシタ全ク事情ヲ根據ニシテ、又農民ノ  
聲ヲ尊重セラレマシテ、萬遺憾ナク此ノ統  
制ノ行ハレルヤウニシテ誠キタイノデアリ  
マス、大臣ニ是ダケノ御願ヲ申上ゲテ、大  
臣ニ對スル質問ハ私ハ之ヲ以テ終リト致シ  
マス

○島田國務大臣 此ノ場合私ハ他ノ委員會  
カラ呼ビニ參ツテ居リマスカラソレニ行キ  
マス、又時間ノ許ス限り出席シテ御答ヲ致  
シタイト思ヒマスガ、此ノ際私トシテ一言  
希望ヲ述べ置キマスノハ、此ノ農會法ノ  
改正法律案ハ或ル意味カラ見マスト微温的  
デアリ、不徹底デアルト云フコトガ言ハレ  
ルデアラウト思フノデスガ、他ノ見方  
カラ申シマス、マダ此ノ程度ノモノデモ  
非常ニ行キ過ギテ居ルト云フ意見モアラウ  
ト考ヘ居ルノデアリマスガ、現時ノ我國ノ  
事情カラ考ヘマシテ、此ノ生産配給部ニ  
於ケル法規ノ上ニ多少ノ進歩ヲ加ヘ、改革  
ヲ加ヘルト云フコトノ上カラ見マス、本  
法案ノ如キハ蓋シ其ノ點ニ付テ一歩ヲ踏  
出シテ居ルモノトス様ニ考ヘマシテ、是ハ  
農會方面ニ於ケル多年ノ希望ニハ十分副  
ナイモノガアルトハ考ヘマスケレドモ、併  
シナガラ尙ホ之ヲ基礎ト致シマシテ將來各  
方面ニ對シテ相當ニ進歩ヲ見ルコトガ出來  
ルヤウニ考ヘマスノデ、今日ハ其ノ意味ニ  
於テ御審議ヲ願ヒマシテ、一方不徹底不十  
分デアルト云フヤウナ點ニ付キマシテハ、  
其ノ非難ハ或ハアラウト想像致シマスガ、  
不徹底デアルト云フヤウナ點ガ即チ一方ニ  
於キマシテハ丁度適當ノ程度デアルト云フ  
ヤウニモ考ヘラレル大次第デアリマスカラ、  
尙ホ十分御審議ノ上、此ノ議會ニ於テ是非  
トモ成立シマスマウニ御心配願ヒタイト  
思ヒマス

○野澤委員 議事進行ニ關シテ——大臣ノ  
御言葉ハ能ク分リマスガ、是ハ農村關係法  
案トシテハ一番遅ク出シタ法案デ、大臣ノ  
急ガレルノモ結構デスガ、私達トシテモ憤  
重審議致シマシテ大臣ノ期待ニ副ヒタイト  
思ヒマスケレドモ、他ノ委員會ヘ行カレテ  
シマツテハ困ル、ドウカ大臣ハ此ノ法案ヲ  
通過サセタイト御考ヲナシ、成ベク此ノ席  
ヲ外サナイヤウニ御願シタイト思ヒマス、  
左様委員長カラ大臣ノ居ラレル内ニ希望シ  
テ置イテ下サイ

○島田國務大臣 能ク承リマシタ

マカ、實ハ今朝程モ遠國ノ方カラ數名出  
テ參リマシテ、肥料ノ問題ニ付テ殆ド見當  
ガ付カヌカラ縣ニ行ツテ交渉ヲシテ見タケ  
レドモ、縣モ殆ド見當ガ付イテ居ラス、本  
年ノ一月カラ七月マデノ肥料ニ對シテハ何  
トカ先ノ豫定數量ハ出來ルト云フケレドモ  
東北地方ハ全ク違ツテ居リマスルカ、四  
月一杯ニ出テ五月ノ田植ニ合ハナカウツ  
タナラバ、六月ニナツテ田地ニ肥料ヲ入  
レルトコトガ出來ナイ、之ヲ縣ニ參リマス、  
縣ノ豫想デハ前年ノ半額位シカ出來ナイト  
思フ、ソレ以上ノ肥料ヲ望ンデ見タ所ガ到  
底不可能ナルト云フ話ノヤウデアリマス、  
ソコデ是等ノ人々ガ參リマシテ言フニ、  
是ハ仕方ガナイ、國家ノ爲ニ一町村デ千依  
ヤ千五百依覆リ不足ハ仕方ガナイト思フケ  
レドモ、肥料ガナイ爲ノ覆リ不足ハ此ノ節  
柄論メニクイ、何トカ是ハ肥料ヲ買ツテ、セ  
メテ去年位ノ作ヲ取リタイ、何カ工夫ハア  
ルマイカ、農林省ヘ行ツテ御願スレバ出來  
ルト云フ話モアルカラ一緒ニ行ツテ見レト  
言フ、ソコデ農林省ヘ行ツテ肥料ノ方ノ人  
ニ交渉シテ見マシタガ、結局肥料ハ減ルダ  
ラウ、一月カラ七月マデノ全數量ニ付テハ  
豫定ノ數量ガ出來マセウガ、四月一杯ト云  
フヤウナコトニシテ計算スレバ相當ハ減  
ルダラウト云フ話、ラウスルト東北六縣ノ如  
キハ、麥ノ米ダノ、サウ云フモノノ増産ノ  
中ニ加ヘテアルカドウカト云フコトヲ見ツ  
一ツ御願シタイ、若シ加ヘテアルトスレバ  
今日ノヤウナ肥料配給ノ計畫デハ到底ナリ  
得ナイト云フコトヲ御認メニナルカドウカ  
若シドウシテモ此ノ増産計畫ヲ飽マデモヤ  
ラネバナラスト云フ固イ決意ガアルナラバ  
此ノ肥料問題ニ付テ何カ打開ノ途ハナイカ

例ハ暖カナ地方デアレバ追肥モ間ニ合フ  
サウ云フ地方ハ六月以降ノモノヲ廻シテ  
東北ノヤウニ早ク植付ケナケレバナラス所  
ハ、植付ケタ後カラ追肥ヲヤルコトハ却  
テ作物ノ爲ニ害ガアルト云フヤウナ心配ノ  
アル地方ニ對シテハ、先ヅ其ノ方ニ應急的  
ニ與ヘル、色々地方的ノ選イ早イト云フコ  
トヲ御願スルヤウナ何カ一ツノ方法ガナイ  
カト云フコトヲ先ヅ御察致シタイ

○土屋政府委員 肥料ノ問題ハ山田サン御  
話ノ通り、地方ニ於テハ随分困ツテ居ルト  
思ヒマス、唯私ハ直接肥料配給ノ仕事ヲヤ  
ツテ居リマセウノデ、今ノ御質問ニ對シテ  
十分ニ御答ガ出來ナイデアリマスガ、關  
係ノ政府委員ヲ只今捜シニヤツテ居リマス  
ノデ、其ノ上テ御答致シタイト思ヒマスガ  
私共ノ増産計畫ト肥料トノ關係ニ付キマシ  
テハ、金肥デ申シマス米麥デハ別、其ノ  
他ノ肥料六割ト云フモノガ與ヘラレルト云  
フ前提ノ下ニ、此ノ増産計畫ガ出來テ居リ  
マス、サウシテ東北地方ニ付キマシテハ一  
月乃至七月ノ配給ヲシマス際ニ、特ニ最初  
ニ餘計ナルヤウニ考ヘタト云フコトヲ係ノ  
者カラ實ハ話ヲ聞イテ居ルデアリマス、  
併シ擬ニ計畫通りノ肥料ガ參リマシテモ、  
増産ヲスルコトハ中々容易デアナイと思ヒマ  
ス、ソコデ例ヘバ米ニ付テハ増産計畫ノ中  
ニ、結局比較的少イ肥料ヲ能率ヲ上ゲルニ  
ハ、肥料ノ經濟的ノ施用ヲスル以外ニ方法  
ハナイデアリマス、昭和八年デアリマシ  
タカ、帝國農會ノ優良農家ノ肥料ノ消費ノ  
實情ヲ調査セタモノヲ見マス、可ナリ優良  
農家ト普通農家ノ間ニハ開キガアルヤウデ  
アリマス、ソレハ優良農家デアリマスカラ  
全部理想通りニハ參リマセウガ、併シ今日

ノ肥料ノ使ヒ方ニ付テハ改善ノ餘地ハ相當  
アルデアリマス、ソレヲ改善スルヤウニ  
各部若シテ若干ノ經費ヲ配付致シマシテ、肥  
料ノ施用ノ合理化ヲスルコトモ、十五年度  
ノ追加豫算トシテ只今御案議ヲ仰イデ居ル  
最中デアリマス、増産ノ問題ト肥料ノ問題  
ニ付キマシテハ、私共モ非常ニ苦慮シテ居  
ルト云フコトヲ申上ゲマシテ、御諒解願  
ヒタイト思ヒマス

○山田委員 ソレハ肥料ノコトニ付テハ能  
ク御分リニナラヌト云フコトハ分ツテ居リ  
マスルガ、荷モ増産ヲシヨウト云フ計畫ヲ  
立テテ、之ヲドウシテモ實現シヨウトスル御  
決心ガアル限リハ、ソレニ最モ必要ナ、最  
モ大ナル關係ノアル肥料ヲドウスルカト云  
フコトヲ、先ヅ第一ニ考ヘナケレバナラ  
ヌコトヲ御願スルデアリマス、デアリマス  
カラ肥料ハ他ノ方面デ取扱ツテ居リマシテ  
モ、ヤハリ其ノ肥料ノ配給ノ他ニ對シマ  
シテハ、十二分ニアツタノ方デ御願ニナラ  
クテハナラヌ管ダト私共ハ信ジテ居ルノデ  
デアリマス、肥料ガヒウナウモ米ハ種ル  
管ダト云フ理窟ハ立アツタナイト思ヒマス、  
デアリマスカラ其ノ點ニ對シマシテハ若シ  
御調査ガ不完全デアレバ、斯ウ云フ設モア  
ルガ一體ドウナルカト云フコトヲ絶エズ十  
二分ニ御調査下スツテ、ドウシテモ此ノ目  
ノ達成ニ向ツテ進マケレバナラスト思ヒ  
マス、其ノ點ヲ一ツ御懸キシタイ、今一ツ  
ハ其ノ配給等ニ付テノ豫算ガ極メテ狂ツテ  
居ル、是ハ東北ハ肥料ガ早ク要ルト云フ爲  
ニ非常ニ農民ガ心配シテ居ルデアリマス  
ガ、空費肥料ノ如キモノハ先ニ配給シテ見  
テ所ガ、四月マデノ間ノ内地ノ生産ガ減ツ  
テ居ル、滿洲カラ來ル豆粕ノ如キハ餘リニ

宜シイデアリマス、石灰窒素ヲ多ク使ツ  
テ居ツタ地方デハ石灰窒素ガ半分ヨリ來ナ  
イカラ、其ノ代リニ硫酸ヲ以テ補フト云フ  
コトガ出來マスレバソレ間ニ合フデア  
リマス、併シ空費肥料ヲ多ク使ツテ居ル地  
方ニ半減サレテ、オ前ノ方ハ空費肥料ヲ使  
ツテ居ルノダカラ半分デ我慢シテ置ケト云  
フヤウナ結果ニナツテシマフ、是ハ肥料ノ  
配給上非常ニ不公平ガ起ルノデハナイカト  
思ヒマシテ、其ノ事モ色々話シテ見マシタ  
ガ、ドウモ今日ノ所デハ中々要領ヲ得マセ  
ス、斯ウ云フヤウナ不公平ナ配給ガ行ハレ  
ルト云フコト、又増産ヲドウシテモヤラウ  
ト云フコトニ付テハ肥料ノ配給ヲ確保シテ  
ケレバナラス、是ハ極メテ暖昧デアリマス、  
今一ツハ御話ノ中ニ肥料ノ經濟ヲ圖ツテ  
云フ御話ガアツタデアリマスガ、今日ノ  
農林省ノ指圖ハ、肥料ノ不經濟ニナルヤウ  
ニ御計畫ニナツタカト思フ程、肥料ヲ不經  
濟ニ使ハナケレバナラヌヤウナ増産ニ落チ  
テ居ルデアリマス、是ハドウ云フ譯カト  
云フト、非常ニ配合肥料ヲ多クシテ、半數  
以上ノ配合肥料ニナツテシマヒマシタカラ、  
之ヲ若シ配合肥料デナクシテ單肥ニナツテ  
居レバ、其ノ地方々々ニ依ツテ、或ル地方  
ハ磷酸ヲ相當多ク使フ、或ル地方デハ窒素  
ヲ相當多ク使フト云フコトガ出來マス、  
又其ノ地元デ出來ル肥料ニ配合シテ使ツテ  
金肥ヲ節約スルコトモ出來ル、併シ配合肥  
料ヲ非常ニ多ク造ツテソレヲ配給サレマシ  
タカラ、是ハドウスルコトモ出來ナイ、肥  
料ノ經濟ヲヤルコトガ出來ナイカラ、ソツ  
クリ其ノ合併シタルモノヲ其ノ儘使ハサル  
ヲ得ナイト云フデアリマス、ソナ  
肥料ノ不經濟ナコトハナイデアリマス、

併シ本年ノ配合肥料ハ非常ニ大キイデア  
リマス、大キイ配合肥料ヲ配給致シテ、今  
度ハ有機肥料ノ方モ思フ程手ニ入ラス、出  
來ナイカラ有機肥料ヲ減ララスト云フ、有機  
肥料ヲ減ラシテ單肥ヲ賣フ、單肥ト交換ス  
ルト云フト、驚クベキコトハ三分ノ一ノ單  
肥ニ對シテ合シテ與レト云フ、一万依ノ配合  
ニ對シテ合シテ與レト云フ、三依與ヘルカラ  
ソレ間ニ合セト云フ譯デアル、是ハ私  
共ノ縣全體ガサウ云フ風ニナツテ居リマス  
ルガ、驚クベキモノデアリマス、一万依最  
初配給致シマシタモノヲ、ソレニ對シテ三  
千依間ニ合シテ與レト云フ、是ハ東北ハ  
殆ド皆サウナツテ居ルヤウデアリマス、宮  
城モ岩手モ其ノヤウデアリマス、ソレハド  
ウ云フ譯カト云フト、有機肥料ガ減ツタノ  
ダカラ有機肥料ガ減ツタダケ無クナツテシ  
マフ、所ガ有機肥料ヲ若シ半分賣ツテ居レ  
バ五割減價シイ譯デアリマスガ、ソレガ  
三分ノ一デアル、二千五百ニ對シテ八百三十  
ト云フ數字ニナツテ居リマスカラ丁度三分  
ノ一デス、三分ノ一ニ肥料ガ減ツテシママ  
ト云フコトニナルノデスカラ、是ハ實ニ驚  
クベキ減價方デス、是等ニ對シマシテハ農  
務局ノ方ニ於キマシテモ極力肥料ノ配給ノ  
公平適正ヲ圖ルト云フコトニ全力ヲ注イ  
デ、増産ト云フヤウナコトハ到底此ノ調  
子デハ出來ルモノデアナイ、是ハ已ムヲ得  
ナイコトデアリマス、唯前年ノ一割減價止  
メル、ソレモ吾々ノ所ニ來テ連中ノ言ヒ分  
ハ、國家ノ御方針ナラ減ルノモ已ムヲ得  
ナイケレドモ、ソレハ成ベクハ減ラシタ  
ナイト思フ積リデアルカラ、何分ニモ頼ム  
ト云フ、是ハ容易ナラヌコトデアリマス  
ガ、結局サウナリマセウ、是ハ已ムヲ得

ナイコトデアリマスガ、是非此ノ機會ニ  
其ノ點ヲ御願致シマシテ御配慮願ヒタイ、  
斯ウ考ヘルデアリマス、ドウゾ増産ヲス  
ルト云フ建前ノ上カラ、全責任ヲ負ツテ肥  
料ノ配給ヲ公平ナラシメ、而シテ最モ近キ  
將來ニ肥料ノ確定數量ヲ發表スルト云フコト  
ニ付テ御配慮願ヒタイ、ソレニ付テノ  
御意見ヲ伺ヒマス

○土屋政府委員 肥料問題ニ付キマシテ御  
熱心ナル御話ヲ承リマシテ、御尤モト存ジ  
マス、私共農林省ノ司ル者ト致シマシテ  
ハ、肥料ノ供給ニ付キマシテハ、農民ト全  
然同じ立場ニ考ヘテ居ルデアリマス、肥料  
ノ部局ト能ク相談ヲ致シマシテ、地方ノ實  
情ニ合フヤウニ處理致シタイト思ヒマス

○熊谷委員長 野濱君

○野濱委員 私ハ簡單ニ二三點質問致シ  
イト思ヒマス、農會法ハ大正十一年ニ實施  
以來、昭和六年ト昭和九年ト二回ニ互ツテ  
改正サレテ居リマスガ、支那事變開始マツテ  
以來、日本ノ農業機構全體ニ互ツテ再檢討  
ヲ加ヘ、再出發ヲシナケレバナラヌ時代ニ  
入ツタト思フデアリマス、特ニ日本農業  
機構ハ明治維新以來急激ナル農業文化ノ發  
展ニ依リマシテ、農村ニ色々派生的團體  
ガ出來テ來マシテ、農業經營、農業政策ノ  
上ニ不合理ガアル、今日農村ニ於ケルオ百  
姓ノ言葉ヲ聽クナラバ、斯ウモ團體ガアツ  
タノデハヤリ切レヌ、是デハ農事ニ從事ス  
ルドコロカ、會合々々ニ進歩サレテ居ル、是  
デハ増産計畫モ何モアツタモノデアナイ、  
實ニ農民ハヤリキレヌト云ツテ喧シイ上カラ  
不合理ナ方針ニ非常ニ不満ヲ持ツテ居ルノ  
デアリマス、私達モ其ノ農民ガドウシテ不  
滿ヲ持ツカト云フコトハ能ク分ルデアリ

ルニ、農業機構整備ノ一段階トシテ大體之  
正法案ノ内容ニ付テ私ハ質疑ヲ爲シタイ  
思ヒマス、若シ私自身了解ヲ得ナイト、  
結果ニ於テ農民ノ不幸不慮ガ一層激成スル  
虞アリマスノデ、私ハ以下二三點ニ互ツ  
テ率直ニ質問シマス

第一點ハ農會法第一條ニ「農會ハ農業ノ  
改良發達ヲ圖ルヲ以テ目的トス」トアリ、第  
三條ニ行キマシテハ、農會ノ目的ヲ達スル  
爲ニ五ツノ内容ガ列擧シテアリマス、  
ソコデ改良發達ヲ目的トスルコト云フコトデ  
アツタナラバ、統制ヲスルト云フコトガ、  
果シテ農業ノ改良發達ニナルカドウカト云  
フコトニ對シテ、私ハ疑問ヲ持ツコトデアリ  
マス、ドウシテ疑問ヲ持ツコト云フコト、改  
良發達ト云フコトニナルト、今日農産物ヲ  
販賣シ得ル農民ハドテラカト云ヘバ、交易  
經濟ニ浸透シ統制化シテ農民デハナイ、  
農民ハ寧ろ個人主義的デアリマシテ、資本  
的農業機構ニ成長シテ居テ農民ダケニ、  
中々協同主義、全體主義ノ線ニ向フ統制ニ  
對シマシテハ、完全ニソレヲ理解シ得ナイ  
點ガアルデアリマス、其ノ點ニ對シテ私  
ハ考テ及ボス時ニ、先ツ容易ニ統制ノ困難  
ヲ想起スルモノデアリマス、結局農民ニ對  
シテ此ノ統制ヲ何處マデモヤラウト云フコ  
トニナリマスルト、栽培統制ヲシナケレバナ  
ラスト思フデアリマス、先程來同僚ノ質  
問ニ依リマスルト大臣ハ生産統制ニ重點ヲ  
置クデアリマス、他ノ方面ノ統制マデハ及  
ボサナイト云フ御話デアリマシタガ、結局  
生産統制ト云フコトハ、栽培統制カラヤウ  
テ來ナケレバ生産統制ハ解決シナイト思ヒ  
マス、サウナルト栽培統制ヲヤル場合、先

程申シマシタ白山農民ノ氣持カラ見テ斯ウ  
云フコトガ起ツテ來ル、農民ハ今日或ル程  
度自由ニ農作物ヲ選擇シ作ツテ居リマシテ、  
利益ノアル方面ヘソレヲ賣ツテ居ワタノデ  
アリマス、マダソレ以上ノ買手ガアルナラ  
バ其ノ方面ニモ賣ツテ居ワタノデアリマス、  
ソレガ今度ハ勝手ニ利益ノアル方ヘ賣ルコ  
トガ出來ナイト云フコトニナル、所謂生産  
出荷ノ計畫化ト云フコトニナツテ來マスカ  
ラ、結局作物ノ栽培統制ヲヤラレルトコト  
ナルデアリマス、其ノ場合先程長野君ノ  
意見モアリマシタ、農業ガ一ツノ國防産業  
ノ線ニ沿ヒ、戰時農業體系、即チ農業ノ綜  
合計畫化スルコトガ當然デアルト私ハ思ヒ  
マスガ、此ノ場合政府ガ農民ニ對シテ無條  
件ニ利潤追求ヲサセルコトヲ抑ヘテ行クノ  
デアリマスケレドモ、他ノ物價ノ水準ガ上  
ツテ來テ、此ノ農産物價ノミガ或ル一定値  
ニ足路ヲスル――言葉ヲ換ヘテ言フナラ政  
府ノ獨自意見ニ依ル公正價格ト申シマセウ  
カ、適正價格ト申シマセウカ、サウ云フモ  
ノデ抑ヘラレルト云フコトニナルト、是ハ  
實ニ問題ナシデアリマス、私ハ農民ノ利潤  
追求ヲ獎勵スル意味デ云フコトデアリマス、農  
業經濟ニハ彈力ガナイ、他ノ職業ニハ相當  
彈力ガアリマス、其ノ彈力ノナイ百姓ニ斯  
ウ云フ統制法ヲ無條件ニ實施シテ、果シテ  
ソレガ栽培統制ノ目的ヲ達シ得ラレマス  
カ、又栽培統制ノスルトナレバ共同作業、共  
同耕作ニマデ此ノ統制ガ計畫化サレテ行ク  
ノハ必要ノデアリマスガ、此ノ場合大臣ノ  
答辯ガ、公正價格、適正價格ヲ以テ或ル一  
定ノ補償ヲスルト言ヒマスガ、其ノ適正價  
格ノ決定ニ當リマシテハ私ハ農民ガ從來ナ  
リ來ツタヤウナ價格經濟ノ維持ニ不安ガア

ルト思フデアリマス、若シ此ノ不安ノ點  
ヲ解決シ得ル自信ガアルトスルナラバ、此  
ノ際私ハ大臣ノノ曖昧ノ答辯、又ハ當局  
ノ曖昧ノ適正價格論ガデハ承服シ得ナ  
イ、モツト之ニ對スル具體的ナ案ガナラ  
ハナラスト思フデアリマス、ソコデ此ノ  
第六條第一條トニ關聯シテ私ハ質問スル  
ノデアリマスガ、先程來同僚諸君ノ質問ニ  
對シテ當局ノ言ハレル公正價格トハ一體下  
ウ云フ風ニスルノデアルカ、ドウ云フ點デ  
公正價格ヲ決定メテ行クノデアルカ、例ハバ  
農作物以外ノ物價ト混シ合ヒマシテ決メル  
トシテ、茲ニ一例ヲ示セバ、他ノ物價ガ上  
ツタカラ、其ノ率デ十錢ヲ上ゲル、其ノ十錢  
ヲ上ゲルコトハ結構デアリマスガ、其ノ時  
ニ唯單ニ十錢ヲ上ゲルト云フダケデハ私ハ  
安心ガ出來ナイデアリマス、ナゼカナラ  
バ、其ノ時ノ勞働賃金ノ状態、米ノ點、或  
ハ其ノ他生活必需品ノ物價ノ値上リ、或ハ肥  
料ノ値段、或ハ其ノ他生活ニ關係シタ一切  
ノ問題、例ハ娛樂關係デアルトカ、或ハ  
交通關係デアルトカ、サウ云フ一切ノ點ヲ  
混シ合セズニ、此ノ公正價格、適正價格ヲ  
ドウ云フ風ニスシテ一體決メルノデアルカ、  
ソレヲハツキリト指示シテ下サイ、政府ハ從來  
デモヤウテ來タ、從來デモ政府ノ農作物獎  
勵ニ當ツテ獎勵金ヲ出シテ來タト云フヤウ  
ナ先程ノ農林大臣ノ御答辯デアリマス、  
長野君ハ非常ニ御満足致サレテ居ルキ  
ウデアリマスケレドモ、私ト政シマシテハ  
其ノ事ト此ノ事トハ違フデアリマス、今  
同ノハ計畫性ヲ持ツテ居ル、從來ノハ計畫  
性ヲ持ツテ居リマシテモソレハ強度ナ  
計畫性ヲ持ツテ居ラナイ、ソレハ農會ニ統  
制權ガナカツタカラ強度ナ計畫性ヲ持テ得

ルコトガ出來ナカツタノデアリマスガ、今  
度ハ強度ノ計畫性ヲ私ハ持テ得ルコトガ出  
來得ルト思ヒマス、ソレデアラダケニ其ノ  
内容ヲ一層明シシテ置カナイト、本法案ヲ  
通過シタ後ニ於キマシテ、此ノ計畫生産  
強化ノ第六條ノ改正立法案ガ、私達ノ期待  
ト反スルキウナ場合ニ閉會シタナラバ、農  
民ニ對シテ相當私達ハ面目玉ヲ失墜スルト  
思フデアリマス、デアリマスカラ此ノ點  
ヲ明シシテ戴キタイト思フデアリマス、  
以上適正價格ノ點ト、計畫生産強化ノ場合  
ニ於ケル補償ニ對スル御意思、此ノ二ツニ  
付テ御話願ヒタイト思ヒマス

○土屋政府委員 適正價格ノ點ハ、從來ハ  
御承知ノ通り商工省ニ物價委員會ガアリマ  
シテ、其ノ物價委員會ニ於テ或ル場合ハ部  
會ヲ設ケ――或ル場合ニ付テハ部會ハ設ケ  
マセマスガ、部會ヲ設ケテ審議ヲ致シマス、審  
議ヲ致シマス場合ニ專門委員會ヲ設ケマシ  
テ、專門委員ノ意見ヲ聽イテ、審議ヲシテ  
居ツタノデアリマス、今回ハ物價委員會ヲ  
改組致シマシテ、價格ノ問題ニ付キマシテ、  
價格形成委員會、是ハ商工大臣ガ會長ニナ  
ツテ、ソレニ專門委員會ガ置カレル譯デア  
リマス、從來ト違ヒマシテ今度ハ農林省  
産物ノ價格ヲ決定スル專門委員會ハ農林省  
ニ置クコトニナツテ、農林省的ノ色彩、換  
言スルト生産者ノ立場ニ於ケル色彩ガ從來  
ヨリモズツト濃厚ニナルノチヤナカラウカ  
ト思ヒマス、ソレカラ方法デアリマスガ、  
是ハ米ニ付テハ御承知ノヤウニ法律ノ規定  
ニ依ツテ價格ガ決定スル、是ハ物價委員會  
ニ關係ナク、未發給額法ニ依ツテ決定マル  
デス、其ノ他ノモノニ付キマシテハ大體ニ  
於テ生産費ガ基礎ニナリマシテ、一例ヲ舉

チマスレバ種類ノ價格ヲ決メマス時ニ、小  
麥ノ生産費ヲ調査スル、其ノ生産費ヲ調査シ  
マス際ニ、勞賃、資材、土地ノ資本利子、  
公課ト云フヤウナモノヲ大體計算ニ入レテ  
生産費ヲ決メル、又經濟界ノ變動、生活費  
ノ昂騰ト云フコトモ自ラ生産費トナツテ價  
格ノ上ニ現レテ來ルノデアラウト思ヒマス、  
是ハ將來モ此ノ方針デアリマスカラ、從來  
ヨリモ實情ニ即シテ決定ガ出來ルヤウニナ  
ルデアラウト云フ風ニ考ヘテ居リマ  
ス、適正價格ノ點ハ左様ニ御答辯願ヒタイ、  
ソレカラ後ノ補償ノ點デスガ、是ハ私實ハ  
大臣ノ御答辯ヲ解釋シテ申上ゲルノデ、或  
ハ違フテ居ルカモ知レマセマスガ、先刻大臣  
ノ長野君ニ對シテ答辯セラレマシタノハ、  
一般論トシテ、理論トシテハ是ハ考ヘ得  
ルガ、實行ハ困難デアラウ、更ニ第二段ノ  
答辯ハ、併シ具體的ノ場合ニ、政府ノ命令  
ニ依ツテ生産シタ、所ガ其ノ命令ニ依ツ  
テ生産シタニ拘ラズ、其ノ爲ニ損ヲシタ、  
斯ウ云フヤウナ場合ニ於テハ、天變地異ノ  
場合ニ於テサヘモ政府ハ救済スルノデア  
カラ、左様ナ場合ニ於テハ、特殊ノ場合ト  
シテ政府トシテモ考慮シナケレバナラズ  
ラウ、斯様ニ大臣ハ答辯セラレタヤウニ私  
ハ聽イテ居リマス

○土屋政府委員 青果物ニ付テハ、生産費  
率ト果實デアリマスガ、之ニ付テハ特殊ノ  
事情ガアルト云フ所カラ、九・一八ノ規定  
モ適用ニナツテ居リマセス、ソレカラ適正  
價格ヲ作ルコトハ困難ト思ヒマス、馬鈴薯  
デアルトカ、甘藷トカ云フヤウナモノニナ  
リマス、或ル程度決メラレルカモ知レマ  
セマスガ、大根トカ人参、或ハ林檎、梨ト云  
フモノヲ一々適正價格ヲ決メルコトハ困難  
デアリマス、ソコデ只今ノ方策ト致シマシ  
テハ、左様ナモノニ付テハ、適正價格  
ヲ決メマセス、適正價格ヲ決メナイデ  
自然價格ニ任セ、詰リ需要供給ノ關係デ  
落付ク所ニ落付ク、今ノ自然價格ハ暴騰暴  
落ガアリマス、是ハナゼ左様ナ暴騰暴落ガ  
アルカト云フト、アル時ニハウソク市場ニ  
殺到シ、其ノ爲ニ非常ニ暴落ヲスル、サウ  
云フコトヲ恐レル爲ニ、今度ハ供給ガ少イ  
時ニハ不必要ニ高ク買ツテ居リマス、サウ  
シテ暴落シタ場合ノ用意ニ備ヘル爲ニ平素  
ノ價格ガ自然價格ヨリモ高ク取引サレル、  
デアリマスカラ、供給ガ平均的ニ供給セラ  
レルナラバ、暴騰暴落ガナイカラ、適正ナ  
所ニ自然價格ガ落付クデアラウ、斯ウ云フ  
ヤウナ考カラ、供給ノ比較的平均的ニ行フ  
ヤウニナルト云フコトガ、先般閣議決定  
ニナツタ次第デアリマス

○野澤委員 アナタノ仰シタル通り青果物  
ニ對スル値ニ付テハ、非常ニ面倒デアルカ  
ラ此處デ適正價格ハ中々決メラレナイ、斯  
ウ云フ譯デスネ、サウナルト此ノ統制ニ關  
シテデアリマスガ、結局青果物ニ對シマシ  
テハ、農會デハ他ノ農産物ト違ツテ、之ニ  
對シテハ一切手ヲ觸レマセスカ

○土屋政府委員 青果物ニ付テハ、生産費  
率ト果實デアリマスガ、之ニ付テハ特殊ノ  
事情ガアルト云フ所カラ、九・一八ノ規定  
モ適用ニナツテ居リマセス、ソレカラ適正  
價格ヲ作ルコトハ困難ト思ヒマス、馬鈴薯  
デアルトカ、甘藷トカ云フヤウナモノニナ  
リマス、或ル程度決メラレルカモ知レマ  
セマスガ、大根トカ人参、或ハ林檎、梨ト云  
フモノヲ一々適正價格ヲ決メルコトハ困難  
デアリマス、ソコデ只今ノ方策ト致シマシ  
テハ、左様ナモノニ付テハ、適正價格  
ヲ決メマセス、適正價格ヲ決メナイデ  
自然價格ニ任セ、詰リ需要供給ノ關係デ  
落付ク所ニ落付ク、今ノ自然價格ハ暴騰暴  
落ガアリマス、是ハナゼ左様ナ暴騰暴落ガ  
アルカト云フト、アル時ニハウソク市場ニ  
殺到シ、其ノ爲ニ非常ニ暴落ヲスル、サウ  
云フコトヲ恐レル爲ニ、今度ハ供給ガ少イ  
時ニハ不必要ニ高ク買ツテ居リマス、サウ  
シテ暴落シタ場合ノ用意ニ備ヘル爲ニ平素  
ノ價格ガ自然價格ヨリモ高ク取引サレル、  
デアリマスカラ、供給ガ平均的ニ供給セラ  
レルナラバ、暴騰暴落ガナイカラ、適正ナ  
所ニ自然價格ガ落付クデアラウ、斯ウ云フ  
ヤウナ考カラ、供給ノ比較的平均的ニ行フ  
ヤウニナルト云フコトガ、先般閣議決定  
ニナツタ次第デアリマス

○野澤委員 サウナルト結局大臣ノ御答辯  
ト農務局長ノ御答辯トハ、後デ速記ヲ見ナ  
ケレバ此處デハウキリハ申サレマセマスガ、  
ドウモ少シ違ツテ居ルト思ヒマス、併シソ  
レハ速記ヲ見テ上デ又質疑スルコトニシマ  
ス、ソコデ私ノ聽キタイコトハ、出荷ノ計  
畫統制ハ農會デヤツテ行ク、サウナツテ  
來ルト從來ノ農會ノ命令ヲ受ケテヤル所ノ  
地區内ニ於ケル農會ニ關スル團體、農事實  
行組合、或ハ農家組合、或ハ地方ニ依ツテ

○土屋政府委員 青果物ニ付テハ、生産費  
率ト果實デアリマスガ、之ニ付テハ特殊ノ  
事情ガアルト云フ所カラ、九・一八ノ規定  
モ適用ニナツテ居リマセス、ソレカラ適正  
價格ヲ作ルコトハ困難ト思ヒマス、馬鈴薯  
デアルトカ、甘藷トカ云フヤウナモノニナ  
リマス、或ル程度決メラレルカモ知レマ  
セマスガ、大根トカ人参、或ハ林檎、梨ト云  
フモノヲ一々適正價格ヲ決メルコトハ困難  
デアリマス、ソコデ只今ノ方策ト致シマシ  
テハ、左様ナモノニ付テハ、適正價格  
ヲ決メマセス、適正價格ヲ決メナイデ  
自然價格ニ任セ、詰リ需要供給ノ關係デ  
落付ク所ニ落付ク、今ノ自然價格ハ暴騰暴  
落ガアリマス、是ハナゼ左様ナ暴騰暴落ガ  
アルカト云フト、アル時ニハウソク市場ニ  
殺到シ、其ノ爲ニ非常ニ暴落ヲスル、サウ  
云フコトヲ恐レル爲ニ、今度ハ供給ガ少イ  
時ニハ不必要ニ高ク買ツテ居リマス、サウ  
シテ暴落シタ場合ノ用意ニ備ヘル爲ニ平素  
ノ價格ガ自然價格ヨリモ高ク取引サレル、  
デアリマスカラ、供給ガ平均的ニ供給セラ  
レルナラバ、暴騰暴落ガナイカラ、適正ナ  
所ニ自然價格ガ落付クデアラウ、斯ウ云フ  
ヤウナ考カラ、供給ノ比較的平均的ニ行フ  
ヤウニナルト云フコトガ、先般閣議決定  
ニナツタ次第デアリマス





スル外ニ、國家トシテハ斯ウ云フ改正ヲ致シマス以上ハ、全體ノ綜合計畫トモ言フベキモノガナケレバナラズト思フノデアリマス、蓋シソレハ農業ノ新シイ時代ノ推移、殊ニ事變下ニ於ケル農業經營ガ劃期的ニ變テ來テ居リ、又變リツツアル、其ノ變化ニ即應フスル爲ニハ、ドウシテモ國家ノ綜合計畫ガ立ツテ居ラナケレバナリマセズ、ソコデ問題ニナルノハ耕地ノ問題デアリマス、耕地ニ付テハ開墾或ハ交換分合ト云フヤウナ方法モアリマセウシ、或ハ又農會ノ改正ニ依ツテ生産統制ニ付テハ一ツノ狙ヒドコロハ、作付ノ統制ヲスルト云フコトヲ先程仰シヤツテ居リマス、其ノ作付ノ統制ヲスル以上ハ、部落ヲ單位トスル共同耕作ト云フヤウナモノガ非常ニ重要ナモノニナツテ來ララウト思ヒマス、一サウ云フ風ニ國家全體トシテノ農業ノ新シイ綜合計畫ニ付テ論ジマスナラバ、多クヲ論ジナケレバナラズノデアリマス、其ノ時間ガ掛リマスカソレハ省略致シマス、此ノ法案實施上ニ付テ農林省トシテ國家全體ニ對スル日本農業ノ綜合ノ新シイ計畫ト云フモノハドウ云フ風ニ立テテ居ラレカ、來年度増産計畫ト云フヤウナモノニ付キマシテハ別ニ承ツテ居ル所モアリマス、私ノ今申上ゲマシタ全體ノ綜合計畫ニ付テ農林省ノ今日ノ計畫ヲ承リタイ

○土屋政府委員 ソレハ又非常ニ難シイ御質問デゴザイマシテ、農林省全體ノ農業ノ計畫ニ付テドウ云フ風ニ計畫ヲ持ツテ居ルカト云フコトハ、一寸私御答辯致シタイノデアリマスガ、今日農林省デヤツテ居リマス例ハ昭和十五年度ノ豫算ニ現ハレマシタ農林省ノ方針ヲ綜合シテ考ヘテ見マス

ト、何ト云フテモ今日ハ食糧ノ生産ト云フコトニ重點ヲ置イテ居ルノデハナカラウカト思ヒマス、豫算ノ大部分ハ食糧問題ニ注カガ注ガレテ居ルヤウデアリマス、隨ヒマシテ十五年度ノ農林省ノ政策ハ、食糧ノ充實ト云フコトニ重點ガ注ガレテ居ルノデハナイカト思フテ居リマス、此ノ法律改正案ニ關聯致シマシテ、農林省ガ日本ノ農業ニ付テドウ云フ革新ノ考ヲ持ツテ居ルカト云フコトニナリマス、ドウモ一寸問題ガ大キ過ギテ私ガ答辯スルコトハ適當デナイト存ジマス、カキ御承テ願ヒマス

○石坂委員 問題ガ大キ過ギテ答辯ガ出來ナイト云ハレバ、是ハ別ニ大臣ニ聽キマシ、併シナガラ今日ノ時局下ニ於テノ農業ノ綜合ノ全體ノ計畫ハ、是ハドウシテモ立ツテ居ラナケレバナラズト私共ハ考ヘテ居リマス、唯今農務局長カ御話ノ、蓋當ツテノ事變下ニ於ケル農林省トシテノ明年ノ豫算ノ上ニ持ツテ居ル所ノ計畫ハ、何トシテモ食糧確保ニ主力ヲ注ガナケレバナラス、斯ウ云フヤウナ御趣旨ノヤウデアウタノデアリマス、是ハ當面ノ問題トシテハ當然ダト思ヒマス、而モ斯ノ如ク農會法ヲ強化致シマシテ生産統制ヲシヨウト云フ此ノ目的ノ中ニハ、單ニ食糧ノ確保ト云フコトヲ主トシテ考テアルバカリデナク、私ハヤハリ此ノ農會法強化ニ依ツテ生産ヲ統制スル、而シテソレニ依ツテ單ニ食糧ノ確保バカリデナク、農産物全體ノ確保ト云フコトニ進ンデ行カナケレバナラズデアラウ、斯様ニ考ヘマス、言葉ヲ換ヘテ申シマスナラバ、此ノ聖職目的完遂ノ爲ニ如何ナル方向ニ日本ノ農業ヲ持ツテ行カト云フコトハ、非常ニ重要ナ問題ニナツテ來ナケレバナラ

ス、モウ少し具體的ニ申シマスレバ、例ヘバ臺灣ニ於キマシテハ前議會ニ臺灣米穀管理特別會計法案ト云フモノヲ出シマシテ、臺灣米ヲ總督府デ管理シ、米作偏重ニナツテ居ル臺灣ノ農業ヲ、熱光トニ恵マレテ居ル特別地域デアラカ、臺灣ニ特殊作物ノ栽培ヲ殖ヤサリ、斯ウ云フ計畫ヲ別ニヤツテ居ルヤウデアリマシテ、單ニ臺灣朝鮮ニ於テバカリデナク、私ハヤハリ日本内地ニ於テモ左様ナル線ニ沿フヤウナ計畫ハ、アツテ然ルベキダト考ヘテ居ルノデアリマス、サウ云フ意味カラ申シマシテ、私ハ此ノ生産ノ統制ヲ強化スルト云フコトハ、一層必要ニナツテ來ル所トモ思フノデアリマスガ、今私ガ申上ゲマシタヤウナ趣旨ニ於テモ、此ノ農會法ヲ強化サレルト云フ一ツノ理由ガアラウト思ヒマスガ、如何デアリマス

○土屋政府委員 御話ノ通りデアリマス、今日ノ時局下ニ於テハ生産力ノ維持擴充ガ一番必要ダト思ヒマス、農業ノ方面ノ生産ニ付キマシテモ色々ナ要求ガアリマス、併シナガラ生産條件ハ毎度御話ノアル通り、非常ニ良好デアルト申上ゲ兼テ、土地ト云ヒ、勞力ト云ヒ、資材ト云ヒ、各方面ニ生産ノ惡條件ガアリマス、其ノ生産ノ惡條件ノ下ニ於テ農村ノ生産力ヲ維持シ、之ヲ増進シテ行カト云フコトニハ、ドウシテモ必要ナモノヲ作ル重點主義、生産ヲヤツテ行カナケレバナラズト思ヒマス、ソレニハ或ル程度統制ガ必要デヤナイカ、當面ノ問題トシテハ、食料品モゴザイマセウ、ソレカラ工業原料品、或ハ軍需方面ニ使ヒマス物、或ハ液體燃料ノ補充ニナルモノ、サウ云フヤウナ生産モゴザイマセウ、

或ハ又外貨獲得ノ爲ニ必要ナル輸出農産物モゴザイマセウ、斯様ナルモノノ生産ヲシマスニハ、若シ農村ニ不用不怠ノモノガ假定シナケレバナラズ、全體ノ心持トシテハ農村ノ生産力ノ維持増進ト云フ見地カラ、ドウシテモ今日ノヤウナ立法ガ必要デアルト云フコトハ、一ツノ此ノ法律案ノ立案ノ大キナ理由ニナツテ居ルコトハ石坂サシ御話ノ通りデアリマス

○石坂委員 洵ニ當然ノコトデアリマシテ、爾カアルベキコトダト考ヘルノデアリマス、然ルニ先程私ガ同ヒマシタ日本全體トシテノ農業ノ綜合ノ計畫ト云フヤウナコトニ付キマシテハ、問題ガ大キ過ギテ自分カラハ答ヘラレズト仰セニナリマシタカラ、其ノ點ハ重テ御承テ願ヒマセウガ、只今ノ農務局長ノ御答辯ヲ承リマス、ドウシテモ日本ノ農業經營ト云フモノハ著シク轉化シツツアル、是ハ御認ノコトデアラウト思ヒマス、言葉ヲ換ヘテ申シマスナラバ、從來ノ日本農業ノ經營ト云フモノガ全然個人經營デアツタノガ、團體經營ト申シマス、綜合ノ經營ニ變リツツアル實情デアルト云フコト、自由耕作カラ計畫耕作ト云フモノニ段々轉化シテ行カナケレバナラズト云フ方向ニ進ミツツアルト云フコト、是モ御認下サルコトデアラウト思フノデアリマス、隨ヒマシテ問題ハ國家ノサウ云フ要求カラ生ジタ所、又國家ハ戰時農産物確保ノ爲ニハ、ドウシテモ一ツノ計畫性ヲ持ツタモノデ、先程農務局長ハ若シ現在ノ農村ニ假レ、何カ必要ナモノガアリトスレバト仰セニナツタガ、日本全體ノ政策完遂ノ爲ノ計畫ヲ立テヨウトスレバ、或ル程度必要ナ

モノハ止メサセ、サウシテ今蓋當ツテ非常ニ必要ナモノヲ作ラナケレバナラズト云フコトデ、故ニ統制ノ必要ガ出テ來ル、サウ致シマス、從來トモ自由耕作ト申シマス、個人經營デヤツタモノガ國家ノ國策ノ爲ニ犧牲ヲ蒙ラナケレバナラズト云フコトニナツテ參リマス、ソレカララ受ケル農業ノ損失ニ對スル補償ト云フモノガ、當然考ヘラレテ來ナケレバナラズ、先程農林大臣ノ此ノ點ニ關スル御答辯ヲ承ツテ居リマス、從來トモ補助長政策ヲ執リ或ハ補助ヲヤツテ居ルデハナイカ、サウ云フ場合ニハ考慮シナケレバナラズト云フテ居リマスガ、モウ一步根本的ニ考ヘテ私ハ理論的ニ當然賠償スベキ基礎ガ出テ來ルト思フノデアリマス、其ノ點ニ付キマシテハ大臣ガ御見ニナリマシテカテ重テ御意見ヲ承ルコトニ致シマス、ソコデ私ハ本法案、詰リ農會法ト云フモノヲ強化致シマシテ、之ニ農會ノ統制力ト云フモノヲ與ヘルト云フ理由ノ大ナル所ハ今私ガ申上ゲタヤウナサウ云フ考ヘテ私ハ是認スベキダト斯ウ考ヘテ居リマス、ソレ故ニ此ノ法案ニ出テ來ル六條ノ二ト云フ改正ノ條文モ加ツテ居リマス、更ニソレヲ受ケマシタ三十一條ノ二ト云フモノモ加ツテ居レバ、更ニ加フルニ四十條ノ二及ビ四十條ノ三ト云フ規則ノ規定モ出來テ來ルデハナイカ、斯ウ云フ風ニ實ハ考ヘテ居ルノデアリマスガ、此ノ六條ノ二ト云フモノガナハ是非非常ニ問題ニナル、河野委員カラ資料トシテ要求サレテ居リマスガ、六條ノ二ニ「行政官廳必要アリト認ムルトキハ農會ニ對シ農業ノ統制ニ關スル施設ニ關シ必要ナル命令ヲ爲スコトヲ得」斯ウ云フ條文

ガアルノデアリマシテ、此ノ「必要アリト認ムルトキ」ト云フノハドウ云フ場合ヲ豫想サレテ居ルカ、先程一應質問答辯ガアツタヤウニモ承知致シマス、ケレドモ、其ノ點ハツキリ致シテ居リマセウ、尙ホ其ノ點ニ付テ重テ御意見ヲ承リタイ

○土屋政府委員 農業ノ統制ヲ行ヒマス場合ニ於テハ、大體ニ於テ政府ノ方針ヲ何等カノ形式デ指示致スト思ヒマス、隨ヒマシテ各農會ハソレノ政府ノ方針ニ從ツテ自發的ニ第三條ノ規定ニ依ツテ統制ヲ行ラウト一應ハ考ヘラレレノデアリマス、然ルニ或ル統制ニ付キマシテソレハ農業生産力ノ維持増進ノ爲ニ、ドウシテモ統制ヲ行フコトガ必要ナル、隣リノ農會ハ皆ソレヲ自發的ニヤツタ、所ガ何等カノ理由ニ依リマシテ或ル農會ダケハ之ヲヤラナイ、其ノ爲ニ其ノ郡、其ノ縣ノ農會ガ統制ガ出來ナイト云フヤウナ爲ニ、結局統制ノ圓滿ナル運行ガ出來ナイト云フヤウナコトモ考ヘラレナイコトハアリマセウ、サウ云フ場合ニ於キマシテハ行政官廳ガ、オ前ノ所モ世間般ニ統制ヲヤリナサイ、斯ウ云フ命令ヲ致シマシテ統制ノ完備ヲ期スルコトガ必要デアラウト、斯様ナ考カラ第六條ノ二ヲ置イタノデアリマス

○石坂委員 只今ノヤウナ御答辯ヲ承ツテ居リマス、此ノ六條ノ二ノ規定ニハ非常ニ穩カナル規定ノヤウニ拜聴サレリノデアリマス、ケレドモ、實際ハヤハリ規定トシテ設ケマス、是非非常ニ問題ニナル、河野委員カラ資料トシテ要求サレテ居リマスガ、六條ノ二ニ「行政官廳必要アリト認ムルトキハ農會ニ對シ農業ノ統制ニ關スル施設ニ關シ必要ナル命令ヲ爲スコトヲ得」斯ウ云フ條文

ハ一步進ミ過ギルト他トノ相剋廢止ヲ生ズル、一步退クト生産ノ確保ガ出來ナクナル

○岡田政府委員 只今ノヤウナ御答辯ヲ承ツテ居リマス、今ノ問題ハ大臣カラモ申サレテ居ル譯デアリマス、私共ノ考ハ全ク別意ガナイノデアリマシテ、必要ニ依リト云フコトハ、ドチラカト云ヒマスレバ必要ニムコトハ、得ザル場合ト云フ積リデ運用シタイト云フ譯デアリマス、ダカラ必要ニ依ラレバ何時デモマルト云フ積積性ヲ持ツ場合デハナイ、又必要ニ依リト云フノハ大抵已ムコトヲ以テ、使ハレテ居ルノデハナイカト思ヒマス、是モ其ノ通りデアリマシテ、先刻農

務局長カラモ例ヲ以テ申シマシタ通り、中八九ノモノハ異狀ナク行ツテ居ルガ、事情ガアツテ一様ノ事情カラドウシテモ已ムコト得ナイト云フ場合ニハ、已ムコト得ズ之ニ向ツテ命令ヲ發スル、又農會ニ對シテモ同斷デアリマシテ、類似ノ事情ニ依ツタ場合デアリマス、ドウ云フ場合ニヤルト云フコトヲ例ヲ以テ出セト云ハレマシテモ、今ノヤウナ精神ノ抽象的ニ御答スル外ナイノデハナイカト思ヒマス、後ハ各個ノ場合ニ依ツテ運用スル、ソレデ御承願ヒマス

○石坂委員 只今ノヤウナ提案者ノ氣持ハ私共能ク諒承出來マス、唯非常ニ種ナル場合ノコトヲ豫想致シマシタ規定デアリマシテモ、ウツカリ致シマス、惡口ヲ言フノデハアリマセウケレドモ、澤山ノ地方官又其ノ補佐官アル地位ノ人達ニハ、可ナリ強權的ノ考ノ人ガアルノデアリマシテ、サウ云フ場合ニ動モ致シマス、此ノ命令ヲ出サレトモ限ラズノデアリマシテ、運用ニハ特ニ御注意ヲ願ヒタイト思フノデアリマス、殊ニ此ノ改正ニハ罰則ノ規定ガアル、私共大體論カラ申シマス、農村關係殊ニ農業團體關係ノ法規ナドニハ實ハ罰則ノ規定ハ好マシクナイノデアリマシテ、出來ルダケ當事者ノ協議協調ニ依ツテ問題ヲ解決スルヤウニ致シタイノデアリマス、而モ是ハ命令ヲ出シテ、ソレデ聽カナケレバ罰則、斯ウ云フコトニナツテ居ル、他ノ農業關係ノ法規ハ一ニ承知致シテ居リマセウガ、例ヘバ養蠶實行組合長ナドガ公益ニ反スル、其ノ組合ノ決議ガ公益ニ反スル、或ハ定款ガ公益ニ反スルト云フヤウナ場合

ニ、行政官廳が其ノ會長ノ解職ヲ命ズルト云フヤウナ規定ハアルヤウデアリマスガ、此ノ命令ニ反シタカライキナリ罰則ヲ適用スルト云フヤウナ規定ハナイヤウデアリマス。六條ノ二及三十一條ノ二ハ極メテ種々場合ヲ豫想サレテノ規定デアアルナラバ、四十條ノ二及四十條ノ三ノ罰則ノ規定ハ削除シテ然ルベキデアナイカト思ヒマスガ、此ノ點ニ關シテノ當局ノ御意見ヲ承リタイノデアリマス。

**○土屋政府委員** 農業政策ノ運行ハ濫リニ罰則ヲ以テ臨ムベキモノデアナイト云フ石坂委員ノ御意見ハ、私共モ全然同意デアリマス、從來ノ立法ニサウ云フ例ガナイト云フ御話デアリマスガ、ソレモサウダラウト思ヒマス、ト云フハ、從來農業ノ統制ト云フヤウナコトヲ立法化シタコトハ、恐ラク餘リ例ガナイト思フノデアリマス、ソレデ自然左様ナコトニナツテ居ルノダラウト思ヒマス、私共此ノ法ヲ作りマシテモ無暗ニ罰則ヲ擬定ハス考ハ、毛頭ナイノデアリマス、先刻申上ガマシタヤウニ、大體第三條ノ統制ニ合ハナイ場合、已ムヲ得ザル場合レデ間ニ合ハナイ場合、第三條ナリ、第六條ノ統制ハヤハリ制裁ハアリマスガ、其ノ制裁ハ過意金デアリマス、農會ノ罰則ニ依ツテ過意金ヲ取ル、是デ大體間ニ合フノデアリマス、併シ餘程要質ノ場合、要質ト云フト言葉ガ過ギルカモ知ラセセマスガ、過意金間ニ合ハナイ場合ニハ三十一條ノ二ガ働イテ參リマシテ、ソコデ行政官廳ガ前ハ統制ニ服シナサイト云フ命令ガ出ル譯デアリマス、之ニ依ツテモ尙且ツ命令ニ服シナイト云フ場合ニ、初メテ此ノ罰則ガ

適用ニナルノデアリマスカラ、罰則ノ適用ノアルコトハ極メテ稀デアラウト思ヒマス、ソレナラバ取ツテシマヘバ宜イデアナイカト云フ御意見ガ出ルト思フノデアリマスガ、ヤハリ新様ノ統制規定ヲ致シマス以上ハ、其ノ統制ヲ強化スルニ於テ或ル程度ノ罰則ハ必要デアナカラウカト考ヘマシテ、此ノ程度ノ罰則ヲ挿入スルコトニ致シタイノデアリマス。

**○石坂委員** 罰則ニ關シマシテ、モウ一點承リタイト思ヒマス、今回ノ改正案ニ依リ、十六條ノ二ニ依リマシテ、法人ニアラザル部落ノ團體モ、市町村農會ノ會員トナルコトガ出来るコトトナツテ居リマスガ、其ノ場合ニ於ケル罰則ノ適用ハドウ云フ風ニナリマス。

**○土屋政府委員** 其ノ場合ニ於テハ罰則ノ適用ハ致シマセス、三十一條ノ二ヲ御覽願ヒマス、三十一條ノ二ノ命令ノ發動ヲ致シマスノハ、第十一條ノ規定ニ依ル會員ニ限ルノデアリマス、第十六條ノ二ノ規定ニ依ル新シキ會員ニハ三十一條ノ二ノ發動致シマセス、ソレデ罰則ハ三十一條ノ二ノ發動致シマシク場合ニ限リマスカラ、自然罰則ノ適用ニ合ハナイ場合ハ、ハナテハアリマス、質問ノヤウナ場合ハ、ハナテハアリマス、石坂委員 是ハ立法過程上ノ内論ヲ承ルヤウデ甚ダ恐縮デアリマスガ、ヤハリ立法技術ノ上カラウ云フ點ハ、削除セラレタコトデアリマセウカ。

**○土屋政府委員** 削除セラレタコト云フ譯デモゴザイマセマスガ、左様ナ人格ノナイモノニ罰則ヲ適用スルコト云フコトハ、一寸現在ノ法律觀念デアレハナイト云フヤウナ所カラ、三十一條ノ二ノ規定ヲ十一條ノ規定ニ依ル會員ト、斯様ニ肩書ヲ付ケタ次第デアリマス。

**○石坂委員** 部落ノ法人格ニ付キマシテ御同致シタイノデアリマス、法人ニアラザル部落團體ノ會員ニ對スル罰則ノ規定ノ適用ガアルカナイカト云フコトヲ質問致シマシタ後デ、部落ノ法人格ヲ認メルト云フ議論ヲ立デマスト云フコトハ、如何ニモ罰則ノ適用ガ出来るカラ法人格化セヨト云フ風ニ誤解ヲ受ケヤセカト云フコトヲ心配致シマスガ、決シテサウ云フ趣旨デ此ノ點ヲ申上グルノデアナイノデアリマス、部落ノ活動ヲ本當ニ徹底サセマス爲ニハ、ドウシテモヤハリ部落ヲ法人化スルコトガ必要ガト云フハ、私共ノ持論ナラバデアリマシテ、此ノ點ニ關シマシテハ、內務省當局ニモ承ルベキ點ト思フノデアリマスガ、農林當局ハ農林當局ノ立場カラ殊ニ法人ニアラザル團體——部落ト云フモノヲ、此ノ農會法改正ハ一ツノ會員トスル、大體サウ云フ考ヘ方ヲ居レテ、斯ウ云フヤウナコトモ言ツテ居ルノデアリマス、農會ノ活動ヲ落トスルノガ昔カラ地理的ニ申シマシテモ、歴史的ニ申シマシテモ、シツクリ固マツテ居ルノデアリマス、其ノ團體ノ活動ト云フモノガ一番便利ナラバデアリマス、隨ヒマシテ斯ウ云フ時局ニ於キマシテ隣保相助ノ精神及ビ其ノ實際ヲ發揮スル上ニ於テモ、ソレガ人格ヲ與ヘラレテ居ルコト云フコトハ、非常ニ便利ニナツテ參ルノデアリマスガ、農林當局ハ法人格ヲ與ヘルト云フコトニ付テハ、農林當局ノ立場カラドウ云フ考ヲ持ツテ居ラレルカ承リタイ。

**○土屋政府委員** 部落ニ法人格ヲ與ヘルコトト可否ニ付テノ私共ノ意見ヲ求メラレタノデアリマスガ、私共モ根本ノ考ニ於テハ

畫ガアルヤウデアリマスガ、私共計畫ハ洵ニ結構ダト思ヒマス、併シ果シテサウ云フ風ノ人ガ今日ノ時勢ニ於テ得ラレルデアラウカドウカ、サウ云フ計畫ノ有無、及ビ十分ノ人ガ得ラレルト云フ見透シガ付イテ居ルカドウカ、之ヲ承リタイ。

**○土屋政府委員** 農會ノ技術員ガ大分應召サレマシタリ致シマシテ、ソレデナクテモ十分デナイノ一層手不足ニナツテ參リマシタカラ、臨時ノ技術員ヲヤウナモノヲ置イテ、年額二百圓足ラズノ金デナルコトニシテ居ルノデアリマス、是ハ私共ノ考デアリマシテ居ルノデアリマス、農學校ヲ卒業シテ、家計農事ニ熟イテ居ルト云フヤウナ諸君ガ、大抵ノ村ニ三人十五人——ト云フト多過ギルカモ知ラセセマスガ、一人二人ハアルノデス、サウ云フ人々ヲ動員ヲ致シマシテ、斯様ナ方面ニ使フヤウニシタラドウカト思ツテ居ルノデアリマス。

**○石坂委員** 今ノ問題ハ實際ノ問題トシマシテハ、モウ少シク御調査ト申シマスガ、實情ヲ知ツテ戴キタイト思ヒマス、最後ニモウ一ツデアリマスガ、是ハ此ノ法案ト直接關係アリマセマスガ、先程長野君カラ永小作ノ問題ニ付テ御質問ガゴザイマシテ、是モ單行法ヲ出シテハ、或ハ民法ノ改正ヲスルカ、何レカノ方法ヲ選バナケレバ、ナラナイノデスガ、之ニ對シマシテ農林當局ノ解決方針ニ付テドノ程度マデ進ンデ居リマスガ、ソレヲ御示シテ願ヒタイ。

**○土屋政府委員** 永小作權ノ問題ハ、先般農林省ニ設置セラレマシタ農地審議會ニ對シテ農林省ニ設置セラレマシタ農地審議會ニ對シテ、其ノ準備トシテ、今地方ニ囑託ヲ致シマシタリ、或ハ本省ノ人間ヲ出シマシタリシテ、實情ノ調査ヲ致シテ、是ハ六月頃マデニ調査ガ済ムト思ヒマス、サウストソレヲ整理致シマシテ、農地審議會ニ審議シテ貰フ積リデアリマス。

**○石坂委員** 此ノ永小作、御承知ノ通りニ主トシテ舊藩時代カラノ舊慣行ノアル土地デアリマスガ、別ニ明治時代ニ新シク開發致シマシタ土地ノ狀況ハ、現在ノ民法ノ規定ト實情ト著シク合ハナイ所ガアル、丁度民法ノ立案當時、永小作ト云フモノニ付テ、一體二重ニ所有權ガアルヤウナモノニ付テハドウスルコト云フコトデ、起草委員ノ方々ハ非常ニ苦心サレタノデアリマシテ、其ノ當時地方ノ慣行ヲ一々調査スルコトガタカラシ、アア云フヤウナ風ナ、定ニナツタト承知シテ居ルノデアリマス、私ノ此處ト御願致シタイト思ヒマスノハ、此ノ永小作地デナイ、而モ明治年間出來マシタ開墾地ニ於ケル耕作權ト申シマスガ、小作權ト申シマスガ、是ハ俗ニ申シテ居ル言葉デアリマシテ、法律的ノ用語デアナイノデアリマスガ、實際ハ賣買ガ出來テ居ル地方ガアルノデアリマス、例ヲ申上ガマシテ、熊本縣ニ八代郡ノ那賀村ト云フノガアリマシテ、往年非常ニ小作爭議ガ起ツタ土地デアリマス、其處ハ郡制時代ニ八代郡ガ巨額ノ費用ヲ投ジテ有明海ヲ築堤致シマシタ新地デアリマシテ、郡制廢止後ハ八代町外、二十三箇町村公益事務組合ト云フモノガ地主ニナツテ居リマスガ、其ノ地主デアル公益事務組合ト、小作人トノ關係ハ、表面ハ土地ノ賃借契約ノ公正證書デヤツテ居リマスガ、併シ實際ハ一反ニ付テ三百圓乃至五百圓ノ價格デ、所謂小作人ノ權利ト云フモノガ賣買サレテ居リマス、サウ云フノハ往年ノ永小作ト云フヤウナモノ、或

ハ地上權ト云フヤウナモノニ類似致シマシタ一ツノ法律上ノ權利トシテ、私ハ新シク認メラレテ然ルベキコトト思ヒマス、郡制廢止ニ參リマシテ、娘ノ嫁入ヲ致シマス時ニ、アノ家ハ資産ガ多イト云フノハ小作權ヲ餘計有ツテ居ルト云フ意味デアリマス、法律上ハ賃借借ニナツテ居リマスケレドモ、實際ノ百姓ノ觀念ハ、全ク所有權ト類似ノ觀念ヲ取リモヤツテ居リマス、郡制廢止後ノ信用組合ニ致シマシタ所、其ノ小作權ニ付テ擔保ノヤウニシテ金ヲ貸シテ居ル、斯ウ云フ風ナ實情デアリマスカラ、此ノ農地審議會ニ於テ永小作權ノ解決ニ付テハ、實情ノ調査ガアレバ、今私ガ申上ガマシタヤウナ實情ノ土地ハ、八代ノ那賀村ハ、カカリデナク、岡山縣ナドニモアルデアラウト思フノデアリマス、其ノ他ノ地方ニモアルノデアリマス、其ノ點モ一ツ併セテ考慮中ニ入レテ、實際民法ノ規定ノ中ニ當テマラナイ實情ニアラシキ土地ニ付テモ、新シク一ツノ法制上ノ保護ヲシテ戴キタイ、斯ウ云フ希望ヲ持ツテ居ルノデアリマス、之ニ對シマシテ一應當局ノ御意見ヲ承ツテ置キタイ。

**○土屋政府委員** 只今ノヤウナ問題ハ、私ノ知ツテ居ル所デハ岡山縣ニアルノデアリマス、土地權、底地權トシテ同ジヤウナコトガアル、是ハ土地立法、小作立法ノ問題ト、永小作權ノ問題ト併セテ研究シタイト思ヒマス。

**○石坂委員** 私ハ大臣ニ對シマシテ先程ノ綜合的農業計畫ト云フコトニ付キマシテ、永小作權ノ問題ハ、本日ハソレダケヲ委員長ニ留保願ヒマシテ、私ハモウアリマス。

**○熊谷委員** 大臣ハ今本會議ノ方決議

案ヲ上程スルトカ、上程シタトカ云フコト  
デ、ドウシテモ來ラレナイシ、又其ノ後直  
チニ所用ガアルサウデアリマシテ、當委員  
會ニハ御出席ハ今日ハ困難ダト云フコトデ  
アリマス、ソレデアリマスレバ已ムヲ得ナ  
イコトト思ヒマシテ、今日ハ是ニテ散會ス  
ルコトト致シマス、明日ハ大祭日デモアリ  
マシテ、本會議ガ開ケズ、其ノ他ニ於テ豫  
算委員會モナケレバ、他ノ委員會ハ一ツモ  
ナイト云フコトデアリマスカラ、已ムヲ得  
ズ休會致シマシテ、明後日ノ午前十時ニ開  
會致シマス、本日ハ之ニテ散會致シマス  
午後五時三十一分散會

Table with 4 columns and 1 row. The content is extremely faint and illegible.

昭和十五年三月二十一日印刷

昭和十五年三月二十一日發行

東京証券取引所

印刷者 内閣印刷局



第七十五回帝國議會 日本肥料株式會社法案委員會會議錄速記第十二回

付託議案(審査終了ノモノヲ除ク) 農會法中改正法律案(政府提出) (第一〇三號)

會議

昭和十五年三月二十二日(金曜日)午前十時四十五分開議

出席委員左ノ如シ

委員長 熊谷 直太郎  
理事成島 勇君 理事山田 六郎君  
理事原 惣兵衛君 理事牧野 良三君  
理事河野 一郎君

土屋 宣君 森田重次郎君  
小野 寅吉君 深澤 吉平君  
村上 國吉君 吉植 庄亮君  
小平 重吉君 服部 岩吉君  
世耕 弘一君 野溝 勝君  
石坂 繁君 平野 力三君

三月二十日委員牧野良三君辭任ニ付其ノ補闕トシテ世耕弘一君ヲ議長ニ於テ選定セリ  
同日二十一日委員長野長廣君辭任ニ付其ノ補闕トシテ深澤吉平君ヲ議長ニ於テ選定セリ

同日二十二日委員田中好君及河野一郎君辭任ニ付其ノ補闕トシテ服部岩吉君及牧野良三君ヲ議長ニ於テ選定セリ  
同日二十二日理事河野一郎君ノ補闕トシテ牧野良三君理事ニ當選セリ

出席國務大臣左ノ如シ  
農林大臣 島田 俊雄君  
出席政府委員左ノ如シ  
內務省地方局長 扶間 茂君  
農林省農務局長 土屋 正三君  
農林省水産局長 栗屋 仙吉君  
商工省監理局長 牧 樞雄君  
商工省振興部長 妹川 武人君

本日ノ會議ニ上リタル議案左ノ如シ

農會法中改正法律案(政府提出)

○農會委員長 ソレデハ前會ニ引續キ農會法中改正法律案ノ委員會ヲ開會致シマス

○村上委員 此ノ法案ノ目的即チ農會法ヲ改正セントスル意思ノ政府ニアラセラルマス

○村上委員 此ノ法案ノ目的即チ農會法ヲ改正セントスル意思ノ政府ニアラセラルマス  
點ニ付テハ、私能ク了承シテ居ル積リデアリマスガ、此ノ改正案ニ付テ私ノ考ヲ先ヅ率直ニ言ヘバ、是ハ修正スベキモノデアラト云フ考ヲ持ツテ居ルノデアリマス、隨テ御尋スルコトモ先ヅソレヲ中心ニシタコトニナルノダト云フコトニ御諒承ヲ願フテ置キタイ、詰リ改正案ノ一番ノ狙ヒ所ハ、主トシテ農會ノ生産方面ニ於ケル統制ニ關スル施設ヲヤラサウト云フコトガ、ソレカラ又同時ニ政府ハ農會ニ向ツテ統制ヲ命ズルコトガ出來ル途ヲ開イテ置カウト云フコトガ、隨テ又其ノ農會ノ統制ニ從ハナイ者ガアルナラバ、ソレニ對シテ制裁ヲ加ヘルト云フコトガ、ソレ等ニ關聯シテ部落ニ存在シテ居ル所ノ部落團體ナルモノヲ市町村農會ニ加入セシムルヤウニシヨウ、大要ハ大凡此ノ四ツニナルヤウニ考ヘマス、ソコデ先ヅ御尋ヲシテ置キタイコト

ハ、此ノ改正案ヲ施行スルニ當ツテ、農會法ノ施行規則ヲ改正ニナル御積リデアアルカドウカ、農會法ノ施行規則ノ第一條ノ二ニ市、町村農會ノ會員タルベキ者ノ資格ヲ定メテ居リマスガ、ソレニハ除外ノ場合ガ

認メテアル、是等ハ此ノ改正法ノ施行ト共ニ相當ニ改正サレルベキモノデアリナイカト思ヒマスノデ、先ヅ其ノ點ヲ確メテ置キタイノデアリマス、是ハ大臣デナクテモドナクデモ宜シウゴザイマス

○農原政府委員 現在ノ施行規則ノ第一條ノ二ニ除外スル條項ガアリマスケレドモ、統制ヲ強化シテ行ク上ニ於テ、今少シク此ノ範圍ヲ擴ゲルヤウニ致シタイト云フ意向デ改正ヲ致ス積リデアリマスニ付  
○村上委員 施行規則ヲ改正スルコトニ付テ研究ヲ進メテ居ルト云フデアリマスガ、蓋シ必ズ改正サレルモノデアルト想像致シマス、左様ニシテ施行規則改正ノ結果ハ、農會ニ於テ農業ヲヤツテ居ル者ノ殆ド全部ガ農會員トシテ網羅サレルト云フコトニナツテ來ルト思ヒマス、サウスルト茲ニ一ツ考ヘテ置カナケレバナラヌコトハ、改正法律案ノ第十六條ノ二ニ於テ「町村農會又ハ市農會ノ地域内ノ農業ニ關スル團體ハ第十一條ノ規定ニ拘ラズ命令ノ定ムル所ニ依リ當該町村農會又ハ市農會ニ加入スルコトヲ得」ト云フコトニ改正シヨウト云フ御意思デアリマス、所ガ茲ニ言ツテ居ル所ノ部落團體ノ組織員ト申シマスガ、組合員ト申シマスガ、其ノ部落團體ノ組織員ナル者ハ、同時ニ町村農會ノ會員デアルト云フ譯デス、故ニ部落團體ヲ町村農會ニ加入セシメズトモ、其ノ部落團體ノ組織員ニ對スル農會ノ統制力ハ等シク其ノ組織員ニモ及ブモノダト考ヘラレマス、隨ツテ部落團體ヲ

殊更ニ町村農會ニ加入セシメルノ途ヲ執ラナクテモ、農會ノ爲スベキ統制施設ニ對シテ其ノ農會員、即チ部落團體員ニ對スル所ノ統制力ハ是デ保チ得ル結果ニナルノデアリマス、殊更ニ部落團體ヲ町村農會ニ加入セシメルコトハ甚ダ意味ヲ成サナクナルト云フヤウニ考ヘラレルノデアリガ、其ノ點ニ付テノ御見解ヲ承リタイ

○農原政府委員 御答致シマス、部落團體ノ會員ハ多クノ場合、同時ニ農會ノ會員デアリマスカラ、別段サウ云フ團體ニ加入ノ途ヲ開カナクテモ、統制等ガ十分行キ得ルデハナイカト云フ御意見ト思ヒマスケレドモ、ソレ等ノ團體自體ガ御承知ノヤウニ色々ノ、ソレ等ノ團體自體ガ御承知ノヤウニ色々ノ共同ノ、仕事モヤツテ居ルノデアリマス、隨ヒマシテサウ云フ團體自體ガ行ヒマス仕事、ソレモヤハリ指導シ統制シテ參ルコトガ必要カト存ジマス、同時ニ農會ノ行ヒマス色々ノ指導ナリ統制ガ、十分個々ノ會員ニ徹底致シマス爲ニ、部落ニ於ケルソレ等ノ團體ガ加入致シテ居リマシタガ方便デアリ、且ツ必要デアル、斯様ニ考ヘテ居ル譯デアリマス

○村上委員 畢竟スルニ其ノ部落團體ヲ町村農會ニ加入セシメテ置タト云フコトハ、農會ガ統制ヲ行フ場合ニ於テ便宜デアアル、斯ウ云フ御答辯デアリマス、私モ蓋シサウシタ事カラモ來テ居ルデアウト、是ハ想像セズデハナイ、併シサウシタ事モ其ノ部落ノ團體員タル町村農會ノ會員ニ對シテハ、町村農會ノ統制力ガ及バナケレバナラ

殊更ニ町村農會ニ加入セシメルノ途ヲ執ラナクテモ、農會ノ爲スベキ統制施設ニ對シテ其ノ農會員、即チ部落團體員ニ對スル所ノ統制力ハ是デ保チ得ル結果ニナルノデアリマス、殊更ニ部落團體ヲ町村農會ニ加入セシメルコトハ甚ダ意味ヲ成サナクナルト云フヤウニ考ヘラレルノデアリガ、其ノ點ニ付テノ御見解ヲ承リタイ

スモノデアリ、及び得ルモノト思フ、隨テ部...

○島田國務大臣 前段述べられた村上君ノ御意見ニ付キマシテハ、既ニ他ノ委員ノ質...

○島田國務大臣 前段述べられた村上君ノ御意見ニ付キマシテハ、既ニ他ノ委員ノ質...

○村上委員 只今ノ私ノ御尋ニ對スル大臣ノ御答...

○島田國務大臣 只今御指摘ノ點ニ付キマシテハ、豫算ノ關係等ヲ御覽下サレバ大體...

農會ニマデ團體ヲ加入セシムルノデアルト云フ途ニ依ラズトモ、生産統制ノ目的ハ完...

○島田國務大臣 只今ノ私ノ御尋ニ對スル大臣ノ御答...

○村上委員 只今ノ私ノ御尋ニ對スル大臣ノ御答...

○島田國務大臣 只今御指摘ノ點ニ付キマシテハ、豫算ノ關係等ヲ御覽下サレバ大體...





是ハ議會ヲ終了致シマシタラバ、他ノ諸問題ト共ニ十分研究ヲ致シテ見タイト思ヒマス。

○野澤委員 誠意アル御答辯ヲ得マシテ、大體了解シタリデアリマスガ、大臣ノ答辯ハ斯ウ云フ風ニ解釋シテ宜シクゴザイマスカ、部落團體ノ統合ハヤラナクテハナラスト云フコトヲ感ジテ居ル、又ヤラウト思フテ居ル、ソレハ議會終了後ニ於テ實行ニ移シタイ積リデアルト云フ風ニ解釋シテ差支アリマセスカ。

○島田國務大臣 實行ニ移スト云フヤウナ意味ニ、直チニ御取リ下サルコトハドウカト思ヒマスガ、兎ニ角此ノ部落團體ノ整備ト云フコトハ、先程村上君ノ御質問中ニモアリマシタヤウニ、是ハ事實必要ト考ヘテ居リマスカラ、サウ云フコトニ付テハ十分此ノ農會法ノ改正ノ機會ヲ以チマシテ、之ヲ實施スル上ニ於テ、其ノ趣意ニ副ウテ進メテ行キタイト考ヘテ居リマス。

○野澤委員 大臣ニ對スル質問ハ是位ニシマス。  
午後零時十五分休憩

午後零時二十七分再開  
○熊谷委員長 休憩前ニ引續キ開會致シマス、御諮リ致シマス、實ハ此ノ法案ニ對スル御質問モ段々進ンデ來マシタケレドモ、尙ホ數人ヲ餘シテ居リマシテ、中々今日中ニ上ラウト云フコトハ困難デアラウト思ヒマスガ、茲ニ皆サント御相談ガアルノデアリマス、即チ一應今日中ニ質問ヲ終了シ、出來マシタラバ討論ニ入り、又更ニ出來マシタルナラバ本會議ニ送付シタイト云フノガ委

○熊谷委員長 是デ暫時休憩致シマス  
午後零時十五分休憩

午後一時四十分再開  
○熊谷委員長 午前ニ引續キ開會致シマス。石坂君

○石坂委員 大臣ハ非常ニ御急ギノヤウデアリマスカラ、極メテ簡單ニ一價額ヲ致シタイト思ヒマス、一昨日ノ私ノ質問ノ中ニ、農會法ヲ改正致シマシテ、主トシテ生産統制ト云フコトヲヤルカラニハ、日本全體トシテノ農業ノ綜合計畫ト云フモノガアラネバナラス、各市町村ニ於テノ農業計畫ハ、其ノ地方々々ノ經濟更生委員會ニ於テ其ノ計畫案ヲ呈請シテ、チウシテ各農會ノ總會又ハ總代會ニ依ツテ其ノ實施ノ方法ヲ決定スル、併シナガラハ日本全體トシテ見タイ時ニ、其ノ計畫ガヤハリ日本全體トシテノ計畫ニ合致スルヤウナモノデナケレバナラスト思フノデアリマス、大キク申シマスト日滿三國ノアロウツ經濟的ノ立場カラスル所ノ農業計畫、之ヲ日本全體カラ申シマス、日本全體トシテノ綜合的ノ計畫ガナケレバナラス、ソレニ付キマシテハ農地ノ根本的ノ改革問題、差當リマシテハ農地

ノ開墾、交換、分合ト云フヤウナ問題、或ハ適地適作ト云フヤウナコトガ又強ク主張サレテ來ナケレバナラスノデアリマス、差當ツテノ明年度ニ於ケル増産計畫ニ付テノ具體案ハ、資料ナリ答辯ニ依ツテ見テコトガ出來タノデアリマスガ、此ノ點ニ關シテ日本全國ヲ一環トシテ所ノ綜合的農業計畫ガ、立案サレテ居ルカドウカト云フ質問ヲ致シマシタ所ガ、農務局長ハ其ノ問題ハ餘リ大キナ問題デアルカラ、自分カラ答辯ハ出來ナイ、斯ウ云フヤウナ御答辯デアッタノデアリマス、一昨日ノ速記録ニモ出テ居リマス、此ノ點ニ關シテ現在ドウ云フ計畫ガ立ツテ居ルカ、又ドウ云フ風ノ方向ニ此ノ計畫ヲ樹立サレヨウトスル御考デアルカト云フコトニ付テノ御意見ヲ承リタイノデアリマス。

○島田國務大臣 此ノ食糧問題、ソレカラ農産物ノ關スル問題ニ付キマシテハ、是ハ御承知ノヤウニ山林、水産、各方面ニ互ツテ居ルデアリマスガ、農業關係ニ付キマシテハ、大體食糧ノ點ニ付テモ内地、朝鮮、臺灣ヲ通ジテ、日滿支ニ關係シテ申シマスレバ、大體各々大方針トシテハ自給自足ト云フ建前ヲ以テ、其ノ間ニ有無相通スル、斯ウ云フヤウナ考ヘ方デ行クベキデアラウ、斯様ニ政府トシテハ考ヘテ居ルノデアリマス、其ノ方針ニ從ツテ内地、朝鮮、臺灣ニ於テハ、大體自給自足ヲ行ケルヤウニシナケレバナラス、其ノ申ニ於テ又内地、朝鮮、臺灣ノ斯ウ内地ト分ケテ考ヘマスルト、是ニ於テモ各々ヤハリ大體自給自足ノ自給自足デアルサウシテ此ノ内地ニ於テ有無相通スルノ方針ニ依ツテ行クベキデ

レガ爲ニ相當ノ豫算モ取ツテ、即チ今回ノ農會法ノ改正ニ付テ指導力ヲ強化シテ、統制セシメルコト云フコトモソコニアルノデアリガ、今申上ルヤウニ災害ノ場合ニ於テモ、是ハ天災等ノ場合ニ於キマシテハ、相當ノ救助ヲスレバデアリマス、人為的ノ或ル方式ヲ變ヘタルヤウナ場合ニ、特殊ノ地域ニ對シテ特殊ノ損害ヲ生ズルコトヤウナモノニ對シテハ、之ニ對シテ或ル程度ノ救済ト云ヒマスカ、補償ト云ヒマスカ、補償ト云フ意味合ノ實質ヲ使フコトハ宜クナイト思ヒマスガ、ソレニ對シテハソレノ對策ヲ講ジテ行カネバナラスシ、又現在サウ云フコトニ付テハソレノ餘リ大キナ不平ノ起ラナイヤウニ、平均ヲ失ハナイヤウナ方針ヲ以テ進シテ居ルト、私ハ信ジテ居ルノデアリマス、全體ニ付テ統制、計畫的ノ經濟ヲスルコトガアルガ、損ヲスルヤウナ指導計畫ヲヤルコトハ抑、失敗ノ始デアツテ、損ヲシナイヤウニシテハナラスト思フ、損ヲシナイヤウニ指導シナケレバナラスノデアリガ、特殊ノ場合ニ付テハソレノ同ツテ居ツタノノ廢メサセテ、賑ニスルト云フヤウナコトガ起ツテ非常ナ損害ガ起ルコト云フヤウナ特殊ノ場合ニ付テハ、特殊ノ處置ヲ考ヘテ實施スベキモノデアナル、斯ウ云フヤウニ考ヘテ居ルノデアリマス。

○石坂委員 大體ニ於テ大臣ノ御答辯ハ分リマシタ、唯私ノ考ヘマス所ハ、現在ノ農會法ニ依ルト、農會ノ目的ハ農業ノ指導、獎勵ト云フコトニ在リ、隨テ指導獎勵ノ段階ニ於テハ助長政策或ハ補助政策デアリヤウナコトヲ思ヒマスケレドモ、大臣御自身ノ御說明ニナツテ居ル通り、時代ノ推

移ニ從ツテ本法案ヲ改正シテ統制ヲ加ヘル、斯ウ云フコトデアリマスカラ、助長或ハ補助ト云フ考ヘ方カラ、モウ一步進ムベキモノデアルト云フノガ私共ノ考デアリマスケレドモ、是以上申上ルガマスコトハ議論ニナリマスカラ、何レ討論ノ時ニソレ等ノコトニ付テモ觸レルコトニ致シマシテ、私ノ大臣ニ對スル質問ハ是デ打ち止マシマス。

○深澤委員 一寸關聯シテ——私本會議ニ於テ大臣ニ質問致シマシタ時、細カキコトハ他ノ機會ニト云フコトデアリマシタガ、決シテ細カクハナイノデアリマスガ、私ハ大臣ノ信念ヲ聽クベシルノデアリマス、所謂現下ノ自由耕作ト云フコトハ、國家ノ見地カラ絕對許サレナイモノデアリマス、隨テ制限耕作ト云フコトハ必然的ノモノデアリマシテ、寧ろ遲キニ失スルモノト私ハ感ズル、ソレレバ耕作農産物ニ對スル疑問ハ前ノ委員モ申述ベマシタヤウニ、高キモノアリ、安キモノアリ、高キモノハ間ハナイガ、安キモノハドウスルト云フ議論ガ自由經濟主義ノ見地カラ出ルモノデアリマス、ケレドモ、私ハソレハ見方ヲ少シ異ニシマスケレドモ、生産條件ノ方面ノミ限ツテは入ツタ大臣ノ信念デアリマス、ソレハ何カ、農業者ガ國家ノ命ズル作物ノ作り方ヲ命ゼラレ、所謂食糧ノ見地カラ言フナラバ、大麥、小麥ヲ作レ、又軍需品カラ言フナラバ、家畜デアルトカ羊共ノ他ノ飼ハレテ居ル家畜、或ハ畜産物ノカゼイン等ト云フモノノ生産ヲ獎勵或ハ個人ノ命ズル、其ノ生産ニハ多ク資材物資ノ供給ト云フ難スコトノ困難ナク問題ガアル、大臣ハ本會議ニ於テノ御說明デアリ、此ノ農會法ノ改正ハ、統制ノ範圍ト云フモノハ生産ノ範圍ニ局限サレルノデア

重ネテノヤウデアリマスルケレドモ御何致ス譯デアリマス  
○島田國務大臣 此ノ點ハ長野君ノ御質問ニ對シテ一應御答申上ゲテ、政府ノ考ヘテ居ル所ヲ御説明願フタラシムノデアリマスガ、サウ云フ問題ニ對シマシテハ政府ハ隨テ各種ノ獎勵或ハ助長ノ方策ニ付テ、相當ノ經費ヲ見積ツテ、農家ガサウ云フモノニ依ツテ計畫經濟ト云ヒマスカ、或ル方針ニ從ツテテ場合ニ、損失ヲ招カナイヤウニスルコト云フコトニ付テ努力ヲシ、又損失ヲ生ズルヤウナ指導ノ仕方ト云フモノハ、原則トシテスベキモノデアリナイノデアリマスカラ、サウ云フコトハ獎勵助長ノ指導ノ仕方ニ依ツテ行カネバナラスモノト考ヘテ、其ノ意味ヲ私ハ長野君ニ御答申シタ、個々ノモノニ對シテ個々ノ補償ヲスルト云フコトハ、是ハ事實不可能デアルカラ、全體ノ指導獎勵ノ途ニ依ツテ農家ガ損ヲ受ケナイヤウニシナケレバナラス、其ノ方針ヲ行クノ外ハナカラウ、斯ウ云フコトヲ申上ゲタ、唯個々ノ場合ニ付テ申上ゲタノハ、桑ヲ抜イテ楮ヲ植エルトカ、サウ云フ場合ニ局部的ニ損耗ヲ生ズルヤウナ特殊ノ場合ニ付キマシテハ、是ハ特殊ナ扱ヲスベキモノデアナル、デアルカラ其ノ特殊な場合ニ付テハ特殊ナ考ヘ方ヲシテ行クベキデアナル、ソレヲ一般的ニ「カバ」シテ行クト云フ獎勵助長ノ策ガアルカラ、目ニ見エテ此ノ段階ダケハ損ヲスル、政府ノ指導、農會ノ指導ニ依ツテ行クベキ損ヲスル、斯ウ云フモノニ對シテ、損ヲシテモソレト云フコトハソレハ農業ノ指導デアリマス、大體トシテハ政府ハ損ヲシナイヤウニ、損ノ起ラナイヤウナ指導ノ仕方ヲシナケレバナラス、ソ

レガ爲ニ相當ノ豫算モ取ツテ、即チ今回ノ農會法ノ改正ニ付テ指導力ヲ強化シテ、統制セシメルコト云フコトモソコニアルノデアリガ、今申上ルヤウニ災害ノ場合ニ於テモ、是ハ天災等ノ場合ニ於キマシテハ、相當ノ救助ヲスレバデアリマス、人為的ノ或ル方式ヲ變ヘタルヤウナ場合ニ、特殊ノ地域ニ對シテ特殊ノ損害ヲ生ズルコトヤウナモノニ對シテハ、之ニ對シテ或ル程度ノ救済ト云ヒマスカ、補償ト云ヒマスカ、補償ト云フ意味合ノ實質ヲ使フコトハ宜クナイト思ヒマスガ、ソレニ對シテハソレノ對策ヲ講ジテ行カネバナラスシ、又現在サウ云フコトニ付テハソレノ餘リ大キナ不平ノ起ラナイヤウニ、平均ヲ失ハナイヤウナ方針ヲ以テ進シテ居ルト、私ハ信ジテ居ルノデアリマス、全體ニ付テ統制、計畫的ノ經濟ヲスルコトガアルガ、損ヲスルヤウナ指導計畫ヲヤルコトハ抑、失敗ノ始デアツテ、損ヲシナイヤウニシテハナラスト思フ、損ヲシナイヤウニ指導シナケレバナラスノデアリガ、特殊ノ場合ニ付テハソレノ同ツテ居ツタノノ廢メサセテ、賑ニスルト云フヤウナコトガ起ツテ非常ナ損害ガ起ルコト云フヤウナ特殊ノ場合ニ付テハ、特殊ノ處置ヲ考ヘテ實施スベキモノデアナル、斯ウ云フヤウニ考ヘテ居ルノデアリマス。

○石坂委員 大體ニ於テ大臣ノ御答辯ハ分リマシタ、唯私ノ考ヘマス所ハ、現在ノ農會法ニ依ルト、農會ノ目的ハ農業ノ指導、獎勵ト云フコトニ在リ、隨テ指導獎勵ノ段階ニ於テハ助長政策或ハ補助政策デアリヤウナコトヲ思ヒマスケレドモ、大臣御自身ノ御說明ニナツテ居ル通り、時代ノ推

移ニ從ツテ本法案ヲ改正シテ統制ヲ加ヘル、斯ウ云フコトデアリマスカラ、助長或ハ補助ト云フ考ヘ方カラ、モウ一步進ムベキモノデアルト云フノガ私共ノ考デアリマスケレドモ、是以上申上ルガマスコトハ議論ニナリマスカラ、何レ討論ノ時ニソレ等ノコトニ付テモ觸レルコトニ致シマシテ、私ノ大臣ニ對スル質問ハ是デ打ち止マシマス。

○深澤委員 一寸關聯シテ——私本會議ニ於テ大臣ニ質問致シマシタ時、細カキコトハ他ノ機會ニト云フコトデアリマシタガ、決シテ細カクハナイノデアリマスガ、私ハ大臣ノ信念ヲ聽クベシルノデアリマス、所謂現下ノ自由耕作ト云フコトハ、國家ノ見地カラ絕對許サレナイモノデアリマス、隨テ制限耕作ト云フコトハ必然的ノモノデアリマシテ、寧ろ遲キニ失スルモノト私ハ感ズル、ソレレバ耕作農産物ニ對スル疑問ハ前ノ委員モ申述ベマシタヤウニ、高キモノアリ、安キモノアリ、高キモノハ間ハナイガ、安キモノハドウスルト云フ議論ガ自由經濟主義ノ見地カラ出ルモノデアリマス、ケレドモ、私ハソレハ見方ヲ少シ異ニシマスケレドモ、生産條件ノ方面ノミ限ツテは入ツタ大臣ノ信念デアリマス、ソレハ何カ、農業者ガ國家ノ命ズル作物ノ作り方ヲ命ゼラレ、所謂食糧ノ見地カラ言フナラバ、大麥、小麥ヲ作レ、又軍需品カラ言フナラバ、家畜デアルトカ羊共ノ他ノ飼ハレテ居ル家畜、或ハ畜産物ノカゼイン等ト云フモノノ生産ヲ獎勵或ハ個人ノ命ズル、其ノ生産ニハ多ク資材物資ノ供給ト云フ難スコトノ困難ナク問題ガアル、大臣ハ本會議ニ於テノ御說明デアリ、此ノ農會法ノ改正ハ、統制ノ範圍ト云フモノハ生産ノ範圍ニ局限サレルノデア

重ネテノヤウデアリマスルケレドモ御何致ス譯デアリマス  
○島田國務大臣 此ノ點ハ長野君ノ御質問ニ對シテ一應御答申上ゲテ、政府ノ考ヘテ居ル所ヲ御説明願フタラシムノデアリマスガ、サウ云フ問題ニ對シマシテハ政府ハ隨テ各種ノ獎勵或ハ助長ノ方策ニ付テ、相當ノ經費ヲ見積ツテ、農家ガサウ云フモノニ依ツテ計畫經濟ト云ヒマスカ、或ル方針ニ從ツテテ場合ニ、損失ヲ招カナイヤウニスルコト云フコトニ付テ努力ヲシ、又損失ヲ生ズルヤウナ指導ノ仕方ト云フモノハ、原則トシテスベキモノデアリナイノデアリマスカラ、サウ云フコトハ獎勵助長ノ指導ノ仕方ニ依ツテ行カネバナラスモノト考ヘテ、其ノ意味ヲ私ハ長野君ニ御答申シタ、個々ノモノニ對シテ個々ノ補償ヲスルト云フコトハ、是ハ事實不可能デアルカラ、全體ノ指導獎勵ノ途ニ依ツテ農家ガ損ヲ受ケナイヤウニシナケレバナラス、其ノ方針ヲ行クノ外ハナカラウ、斯ウ云フコトヲ申上ゲタ、唯個々ノ場合ニ付テ申上ゲタノハ、桑ヲ抜イテ楮ヲ植エルトカ、サウ云フ場合ニ局部的ニ損耗ヲ生ズルヤウナ特殊ノ場合ニ付キマシテハ、是ハ特殊ナ扱ヲスベキモノデアナル、デアルカラ其ノ特殊な場合ニ付テハ特殊ナ考ヘ方ヲシテ行クベキデアナル、ソレヲ一般的ニ「カバ」シテ行クト云フ獎勵助長ノ策ガアルカラ、目ニ見エテ此ノ段階ダケハ損ヲスル、政府ノ指導、農會ノ指導ニ依ツテ行クベキ損ヲスル、斯ウ云フモノニ對シテ、損ヲシテモソレト云フコトハソレハ農業ノ指導デアリマス、大體トシテハ政府ハ損ヲシナイヤウニ、損ノ起ラナイヤウナ指導ノ仕方ヲシナケレバナラス、ソ

レガ爲ニ相當ノ豫算モ取ツテ、即チ今回ノ農會法ノ改正ニ付テ指導力ヲ強化シテ、統制セシメルコト云フコトモソコニアルノデアリガ、今申上ルヤウニ災害ノ場合ニ於テモ、是ハ天災等ノ場合ニ於キマシテハ、相當ノ救助ヲスレバデアリマス、人為的ノ或ル方式ヲ變ヘタルヤウナ場合ニ、特殊ノ地域ニ對シテ特殊ノ損害ヲ生ズルコトヤウナモノニ對シテハ、之ニ對シテ或ル程度ノ救済ト云ヒマスカ、補償ト云ヒマスカ、補償ト云フ意味合ノ實質ヲ使フコトハ宜クナイト思ヒマスガ、ソレニ對シテハソレノ對策ヲ講ジテ行カネバナラスシ、又現在サウ云フコトニ付テハソレノ餘リ大キナ不平ノ起ラナイヤウニ、平均ヲ失ハナイヤウナ方針ヲ以テ進シテ居ルト、私ハ信ジテ居ルノデアリマス、全體ニ付テ統制、計畫的ノ經濟ヲスルコトガアルガ、損ヲスルヤウナ指導計畫ヲヤルコトハ抑、失敗ノ始デアツテ、損ヲシナイヤウニシテハナラスト思フ、損ヲシナイヤウニ指導シナケレバナラスノデアリガ、特殊ノ場合ニ付テハソレノ同ツテ居ツタノノ廢メサセテ、賑ニスルト云フヤウナコトガ起ツテ非常ナ損害ガ起ルコト云フヤウナ特殊ノ場合ニ付テハ、特殊ノ處置ヲ考ヘテ實施スベキモノデアナル、斯ウ云フヤウニ考ヘテ居ルノデアリマス。

○石坂委員 大體ニ於テ大臣ノ御答辯ハ分リマシタ、唯私ノ考ヘマス所ハ、現在ノ農會法ニ依ルト、農會ノ目的ハ農業ノ指導、獎勵ト云フコトニ在リ、隨テ指導獎勵ノ段階ニ於テハ助長政策或ハ補助政策デアリヤウナコトヲ思ヒマスケレドモ、大臣御自身ノ御說明ニナツテ居ル通り、時代ノ推

第六期第十一號 日本肥料株式會社法案委員會會議錄 第十三回 昭和十五年三月二十二日

ルカラ、ソレハ別途ニ考ヘル、斯様ナ御意見  
見デアリマスカ、是ハ今ノ過渡期ニ於ケル  
御答辯ニ、所謂事務の處理ニ於テハ非常ニ  
賢明ノ御答辯ノヤウニ承ツタノデアリマス  
ケレドモ、實際ニ當リマシテ、例ヘバ今マ  
デ物資供給上所謂商工省デテヲ扱ツテ居  
ル現在ノ對策、此處ニ調査シタモノモ持ッ  
テ居リマスカ、生産資材デアル所ノ器具ト  
言ハズ畜畜ニ關聯スル製成品言ハズ肥料條  
件ト言ハズ、有ニル物資ガ何レモ農林省デ  
計畫シテ居ルヤウニ供給シテ居ラレナイノ  
デアリマス、斯ク生産セヨト云ツテ命ジテ  
モ、生産ニハ難スコトノ出来ナイ生産確保  
必需物資ト云フモノガ計畫通り供給セラレ  
ナイ、其ノ結果ハ生産部ニ影響ガ来ル、  
之ニ對スルハ多少生産必需物資ノ供給  
給ノ一貫性ヲ帯ビナイトイケナイ、之ニ對  
スル大臣ノ御信念ハドウデアラカト云フ點  
第二點ハ經濟問題デアリマスカ、生産經濟  
ノ方面ト今度ノ配給消費ニ關スル經濟  
之ニ對シマシテ、此ノ二本建ト云フ御意見  
モ承知シテ居リマス、又大臣ノ御意見ヲ吐  
キ御信念ニ對シマシテモ私ハ推測シ得ルノ  
デアリマス、ソレハ絕對ノ信念デナク當分  
自由カラ制限ニ入ル過渡期ニ於ケル所ノ按  
排トシテハ所謂要領ヲ得ナイケレドモ、已  
ムヲ得ナイト云フ見地カラノ御意見ノヤウ  
ニ拜察スルノデアリマス、ケレドモ農家生産  
者ノ立場ニナリマス、例ヘバ一例ヲ申シ  
マスト、果樹ノ爲ニハ、又農産ノ爲ニハ絲  
モ釘モ得タイケレドモソレガ廻ツテ来ナイ  
隨ツテ産物ソレヲ市場ニ送ルコト困難  
デアリ、生産ニ於ケル所ノ衣服類ヲ修理用  
編織等ヘモ廻ツテ来ナイ、ソレハ農林省デ  
ナクテ商工省ノ扱デアラト云フヤウヲ取環

ガ多クアルノデス、之ヲ改メルニハ集荷ノ  
一貫性、又配給ノ一貫性ト云フモノハ非常  
ニ重要ノ任務役割ト云フモノヲ演ジテ来ル  
ノデアリマス  
此ノ點ニ對スルモツトハツキリシタ思切ツ  
タ斷行力ヲ持ナイト、何時モ商工省ト農林  
省デ事務ノ一貫性ヲ缺イテ居ラレル結果、  
迷惑ヲ受ケル部面ハ所謂生産者ノ團體デア  
リ、生産者ソレ自體ニ來ルト云フ憂ガ多ク  
アルノデアリマス、此ノ點ヲ排除シテ貫ヒ  
タイト云フ私ノ事實カラ見タ點ニ對シテ、  
大臣ノ御意見ヲ聽キタイノデアリマス、更  
ニ併セテ……  
○熊谷委員長 ドウモ關係シテト云フコト  
デスガ、皆サシマダ殘ツテ居ルノデスカ  
ラ、ドウカ簡單ニ要領ヲ得テ御質問ヲ隨ヒ  
マス  
○深澤委員 更ニ併セテ御伺シタイコトハ、  
土地ノ適正面積ノコトデアリマス、日本ノ  
農家ハ一番經濟的ニ合理的ニ適正面積ニ對  
シマシテ、一定ノ農家ガ先程大臣ノ言ハレ  
タヤウニ經濟的ニ損ノ行カナイヤウニ生産  
シナケレバナラナイト云フコトニナリマス  
レバ、強制命令ヲ出ス場合ハ、ソコニ農耕  
地ト又農業者ノ按排、之ニ對スル御信念ヲ  
一ツ御伺キシタイノデアリマス、更ニ今一  
ツデアリマスガ、農家ガ農作物ヲ賣ル場合  
ニ斯ウ云フ例ガアリマス、北海道デアリマ  
スガ、九・一八價格所謂商工省デ出スアノ  
價格ト、ソレカラ陸軍省デ買フ價格ニ一貫  
性ヲ缺イテ居ルノデアリマス  
○熊谷委員長 ドウモ關係シタ質問ト云フ  
コトハ出来マセウデスカラ、其ノ邊デ  
御止めニナツテ又別ニ……  
〔賛成〕ト呼フ者アリ

○深澤委員 之ニ對スル大臣ノ御意見ヲ伺  
ヒタイ、陸軍デハ五圓五十錢デアリマスル  
ノ他而九・一八價格六圓五十錢買フト云  
フヤウニ一貫シテ居ラス、斯様ニ一貫性ヲ  
缺クト云フコトハ如何ニ此ノ農會ノ強制命  
令ト云フモノヲ出シマシテモ、此ノ經濟方  
面ニ於テ違フト云フコトニナリマス、豫  
期ノ成績ヲ得テ、之ニ對スル所ノ大  
臣ノ御考ヲ伺ヒタイ、アトハ事務的ニ別ノ  
政府委員ニ御伺致シマス  
○島田國務大臣 只今ノ御質問ニ對シテハ  
他ノ機會ニ於テ御答シタ積リデアリマス  
ガ、其ノ農産物價ノコトニ付キマシテハ、  
又農用專門ノ必要資材ノコトニ付キマ  
シテハ、是ハ其ノ價格等ニ付テハ先日モ申  
上ケタヤウニ、物價審議會ト云フモノガ出  
來、又物價形成委員會ト云フモノガ出來  
共ノ物價形成委員會ノ一部門トシテ農林省  
ニ専門委員會ト云フモノガ出來テ、之ニ依  
ツテ適正ナル價格ヲ決定メテ、ソレヲ公定價  
格トシテ採用スルト云フヤウナ方針ヲ政府  
ガ執ルコトニナリマシタカラ、此ノ官制ナ  
リ、制度ガ實施セラレニ當リマシテハ、  
只今御話ノヤウナ事柄ノ矛盾ト云フヤウナ  
點ノ憂ノナクナルヤウニ、或ハ絶無トハ行  
カナイマデモ、其ノ憂ノ非常ニ少クナルヤ  
ウニ實施ヲシテ行カヌニナルデアラウ、  
又シタイト考ヘテ居リマス、ソレカラ集荷  
カラ配給ノコトニ付テハ、是ハ肝要ナ事柄  
デアリ、ハ相違ナイノデアリマスガ、今回  
ノ農會法ノ改正ニ於テハ、農會ヲシテ從來  
ノ活動ヲシテ居ルヤウナ縮メルト云フ意  
味デハナイガ、併シナガラ所謂統制ト云フ  
モノハ生産部門ニ對スルコトヲ主眼トシテ  
居ルノデアリ、其ノ以下ノ配給ノ問題ニ付

テハハ別途ニ考究シテ、其ノ方針ヲ立  
テ實施スルヤウニ致シタイ、斯ウ云フ風  
ニ御答シテ居ル譯デアリマス、ソレヲ附  
却シテ居ル譯デアリマス、此ノ際ハ農會ニ  
對シテ是ガケノ改正ヲ行ヒ、サウシテ是ガ  
ケノ農會活動ノ基礎ヲ鞏固ニ致シマシテ、  
他ノ一面ニ於テ配給ノ問題ニ付テハ更ニ考  
究ヲ致シマシテ、確實ナル立案ヲシテ、之  
ヲ實行ニ移シテ行カヌニ致シタイ、斯ウ  
云フ風ニ考ヘテ居ル次第デアリマス  
○熊谷委員長 河野君  
○河野委員 極ク簡單ニ大臣ニ數點ヲ御尋  
シタイノデアリマスガ、此ノ改正案ノ第三  
條ノ二項ト第六條ノ二項トノ關係ヲ承リタ  
イノデアリマス、別ニ頂戴致シマシタ農會  
法中改正法律案命令事項要綱、其ノ一ニ依  
リマス「農業ノ統制ニ關スル施設ヲ行フ場  
合ニ於テハ之ニ關スル規程及實施方法ヲ定  
メ總會又ハ總代會ノ議決ヲ經ルコト」ト云フ  
ヤウニナツテ居リマス、此ノ本法ノ改正案  
中ノ第六條ノ二ニ該當致シマス「行政官廳  
必要アリト認ムルトキハ農會ニ對シ農家ノ  
統制ニ關スル施設ニ必要ナル命令ヲ爲  
スコトヲ得」此ノ命令ヲ農會ガ頂戴致シマ  
シタ場合ニハ、其ノ命令ニ對シテ改メテ總  
會又ハ總代會ノ議決ヲ經ルヲ必要ト致シマ  
スカ、致シマセウカ御答願ヒマス  
○梶原政府委員 御答ヲ致シマス、其ノ總  
會並ニ總代會ノ議決ヲ經ルヤウニ致シタイ  
考デアリマス  
○河野委員 成ベク時間ヲ省略シマスヤウ  
ニ一ツ明瞭ニ御答願ヒタイノデアリマス、  
サウスト今ノ御答辯ハ行政官廳ガ必要ア  
リト認メテ、農會ニ出シテ統制命令ヲ發シタ  
モノハ、其ノ統制命令ヲ農會ニ於テハ之ヲ總

會又ハ總代會ノ議決ヲ經テ實施ニ移ルノ  
ト云フヤウニ解釋シテ宜シト云フ御答辯  
ニ私ハ諒承致シマスガ、サウナリマシタ場  
合ニ、行政官廳ガ必要アリト認メタ命令、  
其ノ命令ニ對シテ總代會ガ同意ノ決議ヲシ  
ナカウテ、總代會ハ其ノ實施ニ對シテ其ノ  
地方々々ノ農會ニ於テ反對ノ決議ヲサレ  
マシタ場合ニハ、實施上支障ヲ来スコトニ  
ナルト思ヒマスガ、斯ウ云フ場合ハドウナ  
リマスカ  
○梶原政府委員 總代會デ決議ヲ致サナイ  
ト云フヤウナ場合ニ於キマシテハ、現在農  
會法ノ條項中ノ監督規定ニ依リマシテ、監  
督ヲ致シテ参リタイ、斯様ニ考ヘテ居リマ  
ス

○河野委員 是ガ消極的ナ問題デアリマス  
レバ、監督規定ニ依リマシテ決議ヲ取消  
ス、決議ノ不當云々ト云フコトデ行ケマセ  
ウケレドモ、行政官廳ノ命令ハ積極的ニ何  
何セヨト云フコトデ、之ヲヤラセナケレバ  
ナラヌトデアリマスカラ、決議ヲ取消シタ  
所ノ時期ノ目的ハ達セラレナイ、政府ノ方  
ガ斯ウ云フコトヲヤレト云フテ命令シタ所  
ガ、其ノ農會ノ總代會若クハ總會ガ政府ノ  
命令通りヤルコトハ、地方ノ不爲デアルト  
云フヤウニ意見ガ對立シタ場合ニハ、政府  
所期ノ目的ガ達セラレナイコトニナル、斯  
ウ云フ場合ニハ、其ノ農會ニ對シテ此ノ四  
十條ノ二ノ罰金デアルトカ何トカ云フ箇條  
ハ無論適用ニナラヌト思フ、此ノ罰則規定  
ガ適用ヲナラナイト云フコトニナリマス、  
農會自身ガ政府ノ命令ニ同意ヲスル、政府  
ノ命令ト農會ノ總代會若クハ總會ノ意思ガ  
合致スルニアラザレバ、所期ノ目的ヲ達ス  
ルコトガ出來ナイト云フコトニナルト思ヒ

マスガ、如何デアリマスカ  
○島田國務大臣 此ノ罰則ノ點ハ萬已ムヲ  
得ナイ時ノ準備ニ置イテ居ルノデアリマス  
ガ、只今ノヤウナ場合ニハ、ソレハ理窟カ  
ラ言ヘバ起リ得ルコトデアラト思フケレド  
モ、主務官廳トシテ之ニ命令ヲ出スト云フ  
ヤウナ場合ニハ、中央ノ所謂農會系統ノ中  
央機關ナリ、サウ云フモノニ十分諒解ヲサシ  
メ、サウシテヤツテ行ハレル程度ノモノヲ  
命令シテ行カト云フコトニナリマスカラ、  
事實ニ於テ農會ガ其ノ命令ニ服従シナイト  
カ、或ハ違ツテ決議スルカ云フコトガ  
行ハレルヤウナコトハナイ、サウ云フコト  
ガアツテハ此ノ目的ハ實際ニ達セラレナイ  
ノデアリマスカラ、其ノ點ハ十分事前ノ工  
作ト云ヒマスカ、ソレニ依ツテ理解ヲセシ  
メテ、サウシテ是デ行ケルト云フ程度ノモ  
ノヲ以テ進メテ行カトガ肝要デアラウト  
考ヘテ居リマス

ス者ガアレバ、今大臣ノ御説明ニナリマシ  
タヤウニ、ソレハ萬々一ノ場合デアルケレ  
ドモ、斯ウ云フ風ナコトガアル、而モ三十  
條ノ二ノ中ニ行政官廳必要アリト認ムルト  
キハ第十一條ノ規定ニ依ル町村農會ノ言フ  
コトヲ總テト云フ條項ガ附イテ居ルノデア  
ラリマス、今大臣ノ御答辯ノヤウナコトニ  
ナリマス、六條ノ二ノ條件ハ全然要  
ラナクナツテシマフ、寧ろ私ハ政府ガ  
六條ノ二項ヲ御入レニナツタ所以ハ、  
農會ノ中ニ、政府ガ命令ヲシナケレバヤ  
サウナ農會ガアルト云フヤウナ場合ニ、  
必要ガアツテ此ノ六條ノ二ト云フ條項ガ入  
リテ居ルヤウニ解釋スル、サウデナシニ、今  
大臣ノ御示ノヤウナコトデアリマス、私  
モ大臣ト意見ハ同様デアリマスガ、凡ソ現  
在ノ國家事情ニ於テ、農産部ニ於テ必要  
ナコトハ政府ノ認識モ農會ノ認識モ違ハ  
ズ、假令違ヒガアツテモ農會ノ首腦部ヲ呼  
ンデ話セバ分ル、分ツタコトヲ自治的ニ、  
第三條第一號中ニ「及統制」ト云フ字ヲ加ヘ  
テ、サウシテ會員ヲ統制スルコトニ依ッ  
テ、其ノ所期ノ目的ヲ達セラレルノデハナ  
イカト私ハ思フノデアリマス、所ガ唯疑問  
ニ思ヒマスノハ、六條ノ二ノ中ニ「行政官廳  
必要アリト認ムルトキハ」ト云フコトガ書イ  
テアル、此ノ必要アル場合ト云フコトハ、今  
私ガ申上ケタヤウニ、官廳ノ命令ガナケレ  
バ農會自身ガ總會ニヤウナ農會ガアルト云  
フヤウナ、相當大キナ重要ナル國策遂行上  
必要ナル問題ト云フヤウナ場合ニ、六條ノ二  
ト改正案ガ必要ニナツテ来ルノデハナイカ  
ト私ハ思フノデアリマス、モウ一遍此ノ點  
ニ對シテ御説明願ヒタイ

○島田國務大臣 大體ハ河野君ノ言ツテ居  
ルコトガ出來ナイト云フコトニナルト思ヒ

ラレルコトト、私ノ考ヘテ居ル解釋ノ仕方  
トハ一致シテ居ルト思ヒマスガ、此ノ農會  
法ノ改正ニ依ツテ統制ノ規定ガ出來タカ  
ラ、何デモ天降リ式ニ押付ケテ行カ、斯ウ  
云フヤウナ立法ノ精神ノ考ヘ方デナイト云  
フコトヲ、私ハ先程申上ケタノデアリ、併  
シナガラ事實ニ於テハ此ノ程度ノ改正ヲ加  
ヘテ陣容ヲ農會トシテ總ヘテ置ク必要ガア  
ル、是ハ農會ニ實際ニ携ツテ居リ、實際ニ  
農會ノ運用ニ當ツテ居ラレル當局ノ方々ト  
シテハ——河野君モサウデアラウト思ヒマ  
スガ、ソレ等ノ當局ノ方々トシテハ、此ノ  
程度ノモノガアルコトガ、ヤハリ實際ノ運  
用ノ上ニ於テ問題ニナリ、又必要デアル、  
斯ウ私ハ常識的ニ考ヘテ居ルノデアリマス、  
法文ヲ正確ニ理解シ考ヘマス、是ハ非  
常ナ窮屈ナ嚴重ナ規定ニモ解釋出來マスカ  
ラシテ、運用ノ如何ニ依ツテ、是ガ間格  
分レラ次第デアリマシテ、運用ノ手心、考  
ヘ方トシテハ、先刻申上ケタヤウナ次第  
デアリマス、隨テ社ハ左様ニ持ツテ居ツテ  
モ、此ノ改正デ統制ノ力ヲ與ヘテ、サウシ  
テソレニ或ル程度ノ強制力ヲ與ヘル、例ヘ  
バ命令デアルト云フコトデアレバソレニ從  
フ、自由ナラ自由ニヤリタイト云フヤウ  
ナ程度ノ場合ガ相當多イト思フノデスガ、  
サウ云フ場合ニハ政府ノ命令ノ形ヲ以テ行  
ケバ、是ガ一齊ニ行カト云フヤウナ場合  
ガ、隨分多カラウト考ヘルノデアリマス、  
是ハ寧ろ其ノ衝ニ當ツテ經驗ヲ持ツテ居ラ  
レル方々ノ意味カラ行ツテ、相當運用上農  
會ノ基礎ナリ、指導獎勵ノ力ガ強クナリ、  
又實際ノ成績ヲ得ルモノト、斯様ニ考  
ヘテ居ルノデアリマスガ、私ハ精神解釋而

ヲ以テ御答ヲ致シテヤウナ大第アリマス  
 カラ、左様ニドウ御答ヲ願ヒマス  
 ○河野委員 私人大臣ト氣持ハ全ク同ジデ  
 アツテ、此ノ改正案其ノモノニ付テハ大體  
 私モ賛成ナリデアリマス、唯一點ニドウ  
 シテモ結ンデ解ケナイ點ハ、今申上ゲテヤ  
 ウニ、第六條ノ二項云フ此ノ條項ノ必要ナ  
 ソ以、而モ之ヲ必要トシテヤリマシタ所  
 ガ、別ニ御示ニナリマシタ勅令要綱ト兩方  
 見合ハシテ見ルト、ドウシテモ矛盾ガ起ツ  
 テ來ル、是ハ今言フヤウナ精神解釋テ行ケ  
 マシテ、大臣ガ今ノ精神解釋デオナリニナ  
 ヲツテ、愈々運用致シマス場合ニハ、又色々ナ  
 事能ガ起ツテ來ルコトヲ吾々ハ豫想スルノ  
 デアリマス、是ハ他ノ時局下ニ於ケル法律  
 ニ於テ何レモ深山例ハアルデアリマスガ、  
 サウ云フ際ニ、ドウシテモ考ヘテ置カナケ  
 レバナラスト思フデアツテ、吾々ガ此ノ  
 點ヲ強ク申シマスノハ、農會法自身、農會  
 ノ精神ニ付テ、今日マデノ歴史ノ上ニ於テ  
 モ、私ハ大ニ此ノ際政府ニ一ツ申上ゲテ  
 御考慮ヲ願ヒタイト思フデアリマシテ、  
 農會ハ何處マデモ農民自身ノ利益代表  
 團體デアリ、農家ノ福利ヲ増進スル爲ニ作  
 ヲテ居ル團體ト云フコト今日マデ來タ、  
 併シナガラ此ノ精神タルヤ、外國ノ個人主  
 義的ナモノデアリマシテ、農家自身ノ  
 福利ヲ増進スルコトハ、日本ニ於テハ取リ  
 モ直サズ國家ノ福利ヲ増進スルコト云フコト  
 ハ間違ヒナイ所デアル、ソコニ一體性ガア  
 ルコトデアリマスカラ、農會ニ對シテ政府  
 ガ行政官廳ガ特別ニ必要ガアツテ命令ヲシ  
 ナケレバナラスト云フヤウナ事態ノ起ツテ  
 來ルト云フコトハ、相當深ク考慮セラレタ

場合ニ斯ウ云フ必要ガ起ツテ來ララウ  
 ト私ハ思フデアリマス、又サウ云フ必要  
 性ガ今日アルト御認定ニナルカラ、此ノ改  
 正ノ六條ノ二項ト云フモノヲ御入レニナツ  
 タノデヤナカラウカト思フデアリマス、  
 サウシマス六條ノ二項ト、只今申上ゲマシ  
 タ第三條ノ二項ト此ノ勅令要綱デヤリマス  
 ト、總代會若クハ總會ト行政官廳ト意見  
 ガ對立スル場合ガアリ得ルト私ハ思フデア  
 リマス、若シ萬々一ニモサウ云フ事能ガ  
 アツタラ或ハ非常ニ遺憾デアリ、何處マデ  
 モ農會自身ノ自主性ヲ持タシテ行ケベキ  
 デ、私ハ今日ノ農會ニ於テ、農會行政ノ運  
 營ニ於テ、政府ト非常ニ相反シタ方向ニ進  
 ミ、日本ノ農會ハ非常ニ不埒ナモノガ多ク  
 テ、政府ガ命令ヲ以テ之ヲ束縛シ、命令ヲ  
 以テ之ヲ束縛シナケレバイカニヤウナ、過  
 去ニ於テ農會ニ實績ガアリ實情ガアリマシ  
 タナラバ、私ハ甘シシテ之ニ賛成スル者デ  
 アリマスガ、帝國農會以下我國ノ農會ノ悉  
 クガ政府ノ命令ニ對シ、官廳ノ命令ニ對シ  
 テ積極的ニ協力致シツツアル實情カラ見マ  
 シテモ、農會ソレ自身ニ不心得ガアツタリ、  
 又ハ統制違反ヲスルヤウナ農會ハ全國ニ絶  
 對ニナカラウト私ハ思フデアリマス、唯  
 偶、二ノ農會ニ於テサウ云フ風ニ行カナカ  
 ヲツ場合ハ、是ハ多數ノ申上ケラカテアリ  
 ト思フデアリマス、ソコデ農會ガ今何  
 改正案ノ如クニ及統制ヲ第三條ニ加ヘ、第  
 三十一條ノ二項ニ行政官廳必要アリト認ム  
 ルトキハ第十一條ノ規定ニ依ツテ農會ノ言  
 フコトヲ農會員ハ聽ケト、斯ウ云フ統制規  
 定サヘアリマスレバ、以テ我國ノ農村ヲ指  
 導スル上ニ於ケマシテ、戦時農業態勢ヲ完  
 成スル上ニ於テ安全ナリト私ハ思フデア

ナ使命ガ此ノ中ニ含まレテ居ルノガラウト  
 云フコトハ、十分想像シ得ラレルト思フ  
 デアリマス、極メテ消極的ナ考ナラバ、第  
 三條ノ第二項ノ指導獎勵ノ下ニ統制ト云フ  
 ヲ文字ヲ加ヘテ、サウシテ政府ガ之ヲ指導獎  
 勵致サルナラバ、其ノ目的ガ達セラレル  
 ノデアリマスガ、ソレデハ極ラナイデ、モ  
 ウ一ツ此ノ第六條ノ第二項ニ持ツテ行ツ  
 此ノ規定ヲ加ヘラレタト云フコトハ、非常  
 ナ大キナ積極的ナ使命ガ此ノ中ニ含まレテ  
 居ル、斯ウ解釋シ得ザレバ此ノ問題ハ意義  
 ヲ成サスト思フデアリマス、所ガ今大臣  
 ノ御話デハ極メテ是ハ消極的ニモ見エ、又  
 積極的ニモ見エルヤウナ御答辯デアリマシ  
 テ、是ハ只今大臣ノ御答辯ノ時ニハ、サウ云  
 フ解釋ヲ受ケテ居リマスガ、一旦是ガ法律  
 トナツテ現ハレテ來マシタ、今後ニ是ガ活キ  
 テ行キマス、今日ノヤウナ大臣ノ只今ノ精  
 神のヤウナ解釋ト云フモノハ何處カヘナ  
 クナツテシマツテ、此ノ法律ト云フモノニ對  
 スル所ノ疑義ガ益々深クナツテ行ク、サウ云  
 フ累々將來ニ及ボサナイヤウニ、ハツキリ  
 ト致シテ置ケコトガ、今日吾々爲政者トシ  
 テ當然執ルベキ方針デアリ、斯ウ云フ疑ノ  
 多イヤウナ規定ヲ設ケテ置ケコトハ、當業  
 者モ一番困リマス、斯ウ云フモノハモウ少  
 シハツキリサセテ置イタ方宜イノデハナ  
 イカ、サウシテ積極的ナ大キナ使命ヲ持ツ  
 テ居ルトスラナラバ、是ハ只今河野君カラ  
 モ御話ニ相成ツタヤウニ、例ヘバ米ノ増産  
 ガ是ダケ、併シ是ダケデハドウシテモ米ノ  
 生産ガ足りナイカラ、モウ少シ他ノ方ノ作  
 物ヲ減シテ米ノ方ノ作物ヲ多クスルコトカ、  
 或ハ家畜類ニ於テモサウ云フヤウナ政策モ  
 執ラレルデアリマスカラ、サウ云フ政策

リマス、ソコニ唯六條ノ二項ヲ御入レニナ  
 ル、而モ是ガ非常ニ複雑ナル場合ヲ豫想ス  
 ルコトニナリマスコトハ、其ダ吾々ハ了解  
 ニ苦シム點ナリデアリマス、隨テ大臣ニ於  
 カレマシテモ今申上ゲマシタ點ヲ十分御考  
 置ラ下サイマスレバ、恐ラタ吾々ノ申上ゲ  
 ルコトト、現下ノ實情ト御考下サイマス  
 レバ、吾々ノ申上ゲルコトガ御諒承出來ル  
 ト思フ、何分粗聞勿々ノ際ニ此ノ案ヲ大臣  
 ガ御覽ニナツテ、サウシテ現下ノ實情カラ  
 見テ必要タラウト云フコトヲ御提出ニナツ  
 タト考ヘマスガ、更ニ一應御直シ戴キマ  
 シテ、一ツ善處シテ戴キタイト申上ゲテハ  
 甚ダ失禮デアリマスガ、ドウモ私達ノ考  
 ヘテ居ル私達ノ申上ゲルコトノ方ガ正シ  
 イヤウナ氣持ガアルデアリマス、唯併シ  
 是ヲシモ時局下デアリマスカラ、絕對ニ自  
 己ノ主張ハ捨テナイト云フノデアリマセ  
 スガ、サウ云フ風ニシテ戴イタ方農會ノ  
 自主權、農會ヲシテ自主的ニ國家ノ現狀ニ  
 協力セシムルコト云フコトガ、今日ノ我ガ農  
 會ノ發達ノ歴史カラ見テモ、私ハ執ルベキ  
 途デアラウト云フヤウナ考ヘ方ヲ致シマス  
 ノデ、非常ニ此ノ點ニ拘泥ハルヤウデアリ  
 マスガ、更ニ御考ヲ願ヒ、此ノ機會ニ尙ホ  
 御答ヲ戴キマスレバ結構デアリマス、尙ホ  
 次ノ機會マデニ御考慮ヲ願ヒマシテ御答辯  
 ラ戴イテモ結構デアリマスガ、ドウシテモ  
 サウ云フヤウナ方向ニ行ツテ戴キタイト  
 思ツテ、尙ホ外ニモ申上ゲタイコトモア  
 リマスガ、時間ガアリマセムカラ私ハ結  
 論ケケテ茲ニ申上ゲル次第デアリマス、  
 尙ホ此ノ機會ニ、同僚小申委員カラ強ク希  
 望シテ居リマスコトハ、是モ吾々ト致シ  
 マシテハ最モ妥當ナ意見ガト考ヘマスノ

情モアラウト考ヘテ居リマスノデ、此ノ六  
 條ノ只今御指摘ノ要ヲラヌデハナイカト言ハ  
 レタ規定モ挿入スル、是ハ非常ニ研究シテ  
 挿入シタ規定デアリマスカラ、此ノ事ヲ一  
 言申上ゲテ置キマス、ソレカラ市農會ノ場  
 合ニ於ケル大キナ都市ノ區ノ如キモノニ付  
 キマシテハ、御話ノヤウナコトガアルコト  
 ハ承知致シテ居リマス、隨テ之ニ付キマシ  
 テハ尙ホ十分考慮致シマシテ、適當ナ處置  
 ヲ出來ルモノナラヤリタイト思ヒマス  
 ○農務委員 簡單ニ大臣ニ御答シタイト  
 思ヒマス、私ノ御答シタイト思ヒマス點  
 ハ、只今同僚ノ河野君カラ御答ニナリマシ  
 テ、大體諒承致シタノデアリマスガ、只今  
 ノ大臣ノ御答ニ依リマシテモ、今日ノ如  
 キ國家未會有ノ大時局下ニ在ツテハ、從來  
 ノヤウナ唯農會ノ指導獎勵ト云フ立場ダケ  
 ニハ任セテ置カナイデ、モウ少シ積極的ニ  
 此ノ時局ニ對應スルコトガ出來ルヤウニ、  
 農會法ニ依ツテ農會ノ活動ヲ認メテ行ク、  
 隨テ此ノ統制ノ命令ニ關スル問題デアリマ  
 スガ、精神のナ只今ノ大臣ノ御話ハ能ク分  
 ツテ居ルノデアリマスケレドモ、只今大臣  
 ノ御答辯ヲ伺ヒマス、第六條ノ二項ト云  
 フモノハ政府自ラガ進シテヤツタト云フヨ  
 リ、寧ろ農會方面カラ仕事ヲスルニ都合ガ  
 好カラウト云フヤウナ、一方農會方面カラ  
 斯ウ云フヤウナ規定ヲスルコトヲ意圖サレ  
 タカノヤウニモ受取レルノデアリマス、併  
 シナガラ此ノ農會ト云フモノハ實ニ今日ハ  
 政府ノ御指導、積極的ナ命令ガナクとも、  
 政府ノ方針ニ依ツテ十二分ニ活動シテ居ル  
 ト思フノデアリマス、ソコデ今一步進シテ  
 農會ト云フモノガ農民ヲ指導シテ、サウシ  
 テ國策ニ關フ爲ニハ、モウ少シ積極的

マデ必要ニ依ツテハ執行タノダ、其ノ  
 意圖デテ此ノ條項ヲ入レタノダ、斯ウ云  
 フコトニナツテ參リマスレバ、茲ニ問題ニ  
 ナツテ居リマス所ノ國家ノ爲ニサウ云フ命  
 令ヲ受ケテ生産統制ヲスル場合ニハ、ソレ  
 ニ依ツテ生産所ノ農家ノ損害ト云フモノ  
 ノ又國家ガ之ニ對シテ補償ヲシテヤルト云  
 フ所ノ方法モ考ヘテ行カナケレバナラナ  
 イ、是ハ既ニ大臣ニ於テモ相當其ノ對策ヲ  
 講ズル考タ、斯ウ御答辯ニナツテ居リマス  
 ニ應ズル爲ニ、此ノ命令ヲ受ケテヤツタ場  
 合ニハ、當然ニハ補償制ヲ設ケテ置カナケ  
 レバ相成ラス、サウデナケレバ農家ト云  
 フモノハ此ノ國策ニ眞ニ協力シテ行クコ  
 トガ出來ナイガラウ、サウ云フコトガ考  
 ヘラレルノデアリマス、此ノ點ニ付キマ  
 シテモ消極的ナ、農會ガ仕事ヲ容易イダ  
 ラウト云フヤウナ程度ノ御考ヲ、何處マ  
 デモ御持チニナツテ居ルナラバ、是ハモ  
 ウ加ヘラレテ、之ヲ農林大臣ガ十分ニ農會  
 度ノモノナラバ十分ニ私ハ目的ガ達シ得ラ  
 レル、斯ウ考ヘルノデアリマス、之ニ付キ  
 マシテハ河野君ニ對シテ御答辯ガアリマシ  
 タカラ能ク分ツテ居リマスガ、尙ホ此ノ  
 點ヲ一ツ明確ニシテ戴キタイト思ヒマス、  
 ソレカラ第四十條ノ第二項ニ、所謂刑罰  
 ノ規定ガ加ヘラレタト云フコトハ、即  
 チ第六條ノ第二項及比第三十一條ノ第二項  
 ト云フモノガ規定サレマシタ結果トシテ、  
 此ノ刑罰ガ加フテ來タモノト解釋ニ考ヘマ

ス、サウ致シマスレバ尙更以テ此ノ第六條  
 ノ第二項ト云フモノニハ、モウ一ツ大キナ  
 使命ガアルト云フコトモ返返ツテ考ヘテ見  
 ナケレバナラナイ、此ノ第六條ノ第二項ヲ  
 加ヘラレタ點ニ於テ一層明カデアリ、斯様  
 ニ此ノ法文ノ改正ヲ當然解釋シテ行ケベキ  
 モノガト考ヘマス、此ノ點ニ付キマシテ大  
 臣ノ御答ヲ承ツテ置キタイ  
 ○島田國務大臣 此ノ第六條ノ二ノ改正案  
 ノ趣意ニ付キマシテハ、先刻河野君ノ意見  
 ニ對シテ私ハ一應御答申シタノデアリマス  
 ガ、是ハ見方ニ依リマシテ、農會自身ノ方  
 カラ見テ此ノ規定ガアルコトガ、農會ノ活  
 動ノ上ニ於テ便利デアリ、又其ノ方ガ宜  
 イ、斯ウ云フコトガアルト云フ場合ニ付テ  
 申シタノデアリマスガ、尙ホ他ノ一面ニ於  
 キマシテ、此ノ時局下ニ於テ云々ト云フコ  
 トヲ申上ゲタ、時局下ニ於テ非常ニ緊要ナ  
 ル農産物ニ關スル事情ニ關シマシテ、政府  
 ガ是非トモ此ノ事ハヤラネバナラス、所謂  
 國策トシテ強行シテモヤラネバナラスト云フ  
 ヤウナコトヲ思ツテ居リマスヤウナ場合ニ、  
 若シ是ガ單純ナル指導獎勵ト云フヤウナコ  
 トヤ、此ノ第三條ノ二ノ規定ニ依ツテヤ  
 命令事項ト云フヤウナコトノ範圍ヲ超エテ  
 居ルヤウナ場合ニ於ケマシテハ、ヤハリ第  
 六條ノ二ノ規定ニ依ツテ、農會ニ對シテ政  
 府ハ斯ウ云フコトヲヤルカラソレヲ命令ス  
 ル、斯ウ云フ場合モ起ツテ來ルコトガ想像  
 出來ルノデアリマシテ、サウ云フヤウナ意  
 味カラ致シマシテ、是ハ農務部ハ農會方面  
 ノコトニ付テ經驗ガアリ、十分ニ考慮ヲ  
 ル方デアリマスカラ、此ノ規定ヲ立案シタ意  
 味ヲ能ク解味サレバ、此ノ規定ハ農會ノ  
 將來ノ活動ノ上ニ於テ、決シテ政府ガ干渉ス

デ、此ノ機會ニ大臣ニ二分デアリマスカ  
 ラ御諒ヲ願ヒタイト思ヒマス、大都市ニ於  
 キマシテ、例ヘバ一例ヲ——例ヲ自分ノ  
 縣ニ取ツテハ失禮デアリマスガ、我が神  
 奈川縣ノ横濱市ノ如キハ、横濱市農會ガ  
 アリマシテ、其ノ市農會ノ下ニ今度ノ改正  
 案ニ依リマシテ都府團體ガ加入スル場合ニ  
 ハ非常ニ廣汎ニ互リマスノデ、ドウシテモ  
 横濱市ノ中ノ區ヲ單位トシテ行政機關ガア  
 ルガ、區ヲ單位トシテ農會ヲ御認ニナルコ  
 トガ適當デハナイカト私ハ思フ、即チ是ハ  
 都府農會トハ違ツテ、大臣御承知ノ通り、  
 東京其ノ他ノ大都市ニ於ケマシテ、區ノ行  
 政地域ノアル所ハ區農會ト云フモノヲ御認  
 ニナツテ、之ヲ一行政區劃ニナルコトガ、  
 農會ヲ統制シ、農村ヲ指導スル上ニ於テ是  
 非必要デアナイカト私ハ思フデアリマス、  
 是ハ行政區劃カラ申シマシテモ、今日ノ十  
 三大都市、大都市ニ之ヲ町村ト同様ニ一農  
 會トスル、而モ其ノ農會ノ中ニ部落ヲ入レ  
 ルト云フコトニナリマス、非常ニ廣範圍  
 ニナツテ、統制等モ付キ難クナリマスカラ、  
 此ノ點ニ付テ特ニ御考ヲ願ヒ、此ノ點速ニ  
 サウ云フ方向ニ行カレルヤウニシテ戴キタ  
 イト云フコトヲ附加ヘテ申上ゲマシテ、私  
 ハ一應質問ヲ終リマス  
 ○島田國務大臣 只今河野君ノ最後ニ申サ  
 レマシタ點ハ政府トシテモ尙ホ能ク考ヘマ  
 ス、考ヘマスガ、此ノ事變ノ斯ウ云フ際ニ  
 大キナ増産計畫ヲヤリ、生産方面ニ大キナ  
 カヲ注ガナケレバナラスト云フヤウナ場合  
 ニ於ケマシテハ、農會自身ノ諒解ノ下ニ政  
 府トシテ之ニ或ル命令ノ形ヲ以テ、所謂命  
 令ヲ發シテソレヲ實際ニ移スト云フコト  
 ハ、農會自體モ亦ヤリ易イト云フヤウナ事









○石坂委員 農民組合ノ農會加入ノ件ニ付キマシテ、平野若トノ關係ヲ整理答ガフタノデアリマス、モウ一步進ニ付テモ...

○土屋政府委員 一般的ノ農事團體ト申上テマシテ、特殊ノ仕事ヲヤルモノハ...

○野澤委員 農務局長ノ御答辯中農民組合ガ特殊ナモノデアリヌ...

○土屋政府委員 農務局長ガ農民組合ト云フモハ能ク分ラヌト...

○土屋委員 只今ノ御説ヲ承ツテ一寸妙ニ感シタノデアリマス...

○土屋政府委員 農民組合ノ農會加入ノ件ニ付キマシテ、平野若トノ關係ヲ整理答ガフ...

○土屋政府委員 私ハ別ニ答辯ヲ變更シテ積リハナイノデアリマス...

○平野委員 農務局長ガ農民組合ト云フモハ能ク分ラヌト...

○土屋政府委員 農務局長ガ農民組合ト云フモハ能ク分ラヌト...

○平野委員 ソレハ改正ノ趣旨ハ私ガ今申上ゲタヤウニナル...

ノ思想トシテ、農會ニ對スル考へ方ハ只今私ガ申上テヤウナ考へ方ニナリツツアル、私ハ寧ろ新タシテ初メテ我國ノ農村行政政府ト連絡ヲ取ル上ニ於テ農會ハ成程良イモデアルト云フコトニナル、又産業組合ト農會ハ非常ニアルガ、産業組合ハ御承知ノ通り村カラ選舉サレタ役員ガヤツテ居ルノデアリマセス、又産業組合ノ規則デハ經濟更生ト云フモノガ出来テ居ルノデアツテ、其ノ村デ誰ガ出ル、彼ガ出ルト云ツタ所デ、農會ノヤウナ公平ナル選舉區ヲ認メテ居ルモノデハナイ、優良ナル産業組合ニアツテハ相當優良デアラウガ、不良ナルモノニ至ルト云フ事情ニアラガ、農會ハ其ノ點ニ於テハ公平ニ其ノ村ノ全部ヲ代表シテ居リ、相當部カ出ラ出来テ居ルモノデアツテ、此ノ農會ニ今申上テヤウナ農事ニ於ケル百般ノ全責任ヲ負ハセテ、政府ノ政策ガ農會ヲ通ジテ農民ニ如キモノデアルト通ズルト云フマデニ行ケル所ニ現在及ビ將來ノ農業政策ノ新シ味ガアルト思フ、此ノ意味ニ於テ私ハ本案ニ賛成セントスル考デアリマスガ、農林省モヤウ云フ思想ニ於テ考ヘテ居ルノダト云フコトヲ明ニシテ置キタイト思フノデアリマス

○土屋政府委員 農業生産ノ方面ニ於ケル農會ノ使命ニ付テ只今平野委員ノ御述ニナリマシタ點ハ私共同感ノ點ガアリマスノデ、其ノ御趣旨ハ諒ト致シマス

○平野委員 モウ一點此ノ稻熱病ノ問題ニ付テ一寸伺フテ置キタイ、此ノ稻熱病ト云フモノハ農業保險法案ガ上程サレタ當時ニ防ゲルモノデアルト云フ意味カラ、保險ノ對象カラ削ツテアル、所ガ實際問題トシテハハ防ギ得ナイデス、是ハ防ゲル防ゲナイト云フコトハ嘗テ議會ニ於キマシテモ相當押問答ヲシタノデスガ、現實ニ防ゲテ居ナイデス、ナゼ防ゲテ居ナイカト云フコトハ時間ノ關係上説明ヲ省略シマスガ、畢竟スルニ噴霧器ガ足ラナカクツタ云フヤウナ事情モアリマセケレドモ、稻熱病ト云フモノハ噴霧ノ間ニヤツテ來ルモノデアツテ、學術的ニ試験管ノ中ニ入レテスウヤレバ防ゲルト云フ議論デアリマスレドモ、事實ハ防ゲテ居ナイ、此ノ結果ハ農業保險ガ制定サレテ今日マデノ間ニ明瞭ニナツテ居ルト思フノデアリマスレドモ、近ク此ノ稻熱病ヲ農業保險ノ對象トシテオ入レナツタラドウカ、斯ウ思フノデアリマスガ、之ニ對スル御所見ヲ承リタイ

○土屋政府委員 稻熱病ト農業保險ノ關係ニ付キマシテハ、先般議カ此ノ委員會デ長野サンノ質問ニ應答シタ答デアリマスガ、農業災害保險並ニ共済制度調査會ニ於テ研究スルコトニ致シテ居リマス

○平野委員 ソレハ無論御研究ヲ願ハナケレバナリマセスガ、明ニ願フテ置キタイト思フコトハ、防ゲルノダト云フ當局ノ御意見、議員ノ方デハ防ゲスド云フ、此ノ二ツノ議論ガ對立ヲシテ、實ハ農業保險ノ第一回ノ委員會ニ於テハ議員ノ方ガ負ケテ政府ノ方ガ勝ツヤウナ形ニナツテ居ルノデス、實ハ懇談會モ二日モ開イテ相當ヤツタ、所ガ現實ハ防ゲテ居ナイ、是ハドチラガ勝ツタ負ケタト云フヤウナ議論ヲスベキ場合デモゴザイマセスガ、兎ニ角防ゲナイモノデアルト云フ此ノ事實ヲ此處テ明ニ願フテ置キタイト思ヒマス

○土屋政府委員 非常ニ無理ナ答ヲ要求サレテ困ルノデアリマスガ、稻熱病ハ防ゲルカ防ゲナイカト云フコトハ別問題トシテモ、何處マデモ防ガナケレバイヤカス、ソコデ來年度ノ増産計畫ニハ稻熱病其ノ他ノ病氣、虫モ入ツテ居リマスレドモ、防除ノ爲ニ藥劑並ニ噴霧器ノ購入費ニ對シテ、相當額ノ助成ヲ要求シテアリマス、農林省トシテハ是ハ何處マデモ防ガナクバイヤカス、防ガナバ未ノ收穫ニ害ガアルト云フ考ヲシテ居ルモノト御承知ヒタイト思ヒマス、保險ノ問題ニ付キマシテハ先程申上テマシタヤウニ、尙ホ進シテ調査會ニ於テ研究スル積リデアリマス

○平野委員 更ニ申上テマスガ、是ハ實際カト云フコトハ、私此處テ斷言スルダケノ勇氣ガナイノデ、平野君ノ御意見ハ參考トシテ十分承ツテ置キマス

○平野委員 斷言ヲ願フコトニナリマス問題ハ固ヨリ難カシイデスガ、是ハ失禮デスガ農務局長ハ其ノ時分ニ農林省ニオ居テニナラスノデ、餘リ御認識ガナイカモ知レマセスケレドモ、吾々ガ防ゲナイカウツタニ拘ラズ當局ハ防ゲルト云フ御意見デアツタ、其ノ後ノ實踐ヲ見テ防ゲテ居ナイト云フ此ノ事實ハ、農林省ノ方ガ吾々ノ意見ニ頭ヲ下ゲラレタラドウカト思フ、嚴密ナ意味デハ防ゲルト云フ議論モアリマセウガ、兎ニ角防ゲナイノダト云フコトヲ一ツ明ニシテ置クテ、其ノ次ニ農業保險ニ入レルカ入レヌカト云フ段階ヲヤツテ貰ヒタイ、是ハ増産計畫ノ主張セラレル所ノ農務局長トシテハ、ナハリ相當責任アルコトデスカラ、唯單ナル答辯デナクモウ一回御親切ニ御答辯ヲ願ヒタイ

○土屋政府委員 小賣價格ノ高イ原因ニ付キマシテハ、私ダケデ御答辯申上テ居ルノハ、少シ出過ぎテ居ルト思フノデアリマスガ、私ノ考ダケヲ述ベサシテ置キマス、青果物ノ價格ガ非常ニ高イト云フノハ、私共ノ考デハ、之ニ付テ公定價格ヲ決メレバ安クナルカモ知レマセスガ、併シ是ハ事物ノ性質上、ドウモ公定價格ヲ決メル譯ニハ參ラスモノデス、然ラバ何ガ故ニサウ云フ青果物ノ價格ガ高イノデアルカ、是ハ結局市場ニ對スル供給ガ不調デアルカラ高イ、ソレデ市場ノ需要ト云フモノハ、非常ニ高價ナ特殊ノ青果物ハ別問題デアリマスガ、所謂惣菜物デアリマス、大體都市ノ大キサニ從ツテ需要ハ大體ニ分ツテ居ル、ソレニ供給ガ或時ニハ一度ニドツト行クシ、或時ニハ少シシカ行カナイト云フヤウナ關係デ、ソコデ非常ニ物ノ澤山來タ時ニ、大キナ損ヲシナイヤウニ、物ノ少ク來タ時ニ、平素ノ必要ヨリモ高ク取引サレルトニナルト云フ點ガ一ツデアリマス、ソレカラ今一ツハ、何ト申シマシテモ、青果物ハ腐敗シ易イ物デアリマスカラ、途中ノ配給機構ガ複雜デアリマス、賣業者ガ澤山出マスカラ、其ノ廢棄物ノ負擔ヲ賣レル品物ガシナケレバナリト云フコト、モウ一ツハ、中間機構ノ色々ナ口錢トカ、手數料ト

カ、此ノ三ツガ重ナリ合ツテ、結局小賣價高クナルト云フコトニナルダラウ、先づ斯種ニ考ヘテ居ルノデアリマス、ソコデ各省デ以テ寄集フテ、此ノ原因ヲ除去シナケレバナラストナフテ、農林省デハ出賣ノ方ヲ受持タウト云フノデ、是ハ三月一日ノ閣議デ決定シ、ソレニ基キマシテ、十五年度追加預算トシテ御審議ヲ願フテ居ルノハ、只今牧野サンノ御答辯ヲ聞クノ金額デアリマス、是ハ生果物ニ付テ申シマス、生果、生果實ノ如キ重要ナル物、言葉ハ適當デナイガ、大衆ノモノ、ソレガ今マデノ狀態ハ、勝手ニ出賣ガ出賣シテ居リマス、或ル時ニハドカウト出ル、ソレヲ勝手ニ出賣ガ出來ナイヤウニシヨウ、出賣時ニハ、出賣組合デアルトカ、事業組合デアルトカ、色々ノ從來ノ出賣者ガ依然トシテ出賣スルノデアリマスガ、其ノ連中ガ勝手ニ出賣スルコトニシナイデ、或ル一定ノ出賣計畫ニ基キ出賣スルコトニシヨウ、其ノ出賣計畫ハドウシテ決メルカ、全國及ビ地方ニ於テ、主務大臣ノ指定スル統制法人、是ガ出賣物ニ付テハ農會ヲ考ヘテ居リマス

○土屋政府委員 非常ニ無理ナ答ヲ要求サレテ困ルノデアリマスガ、稻熱病ハ防ゲルカ防ゲナイカト云フコトハ別問題トシテモ、何處マデモ防ガナケレバイヤカス、ソコデ來年度ノ増産計畫ニハ稻熱病其ノ他ノ病氣、虫モ入ツテ居リマスレドモ、防除ノ爲ニ藥劑並ニ噴霧器ノ購入費ニ對シテ、相當額ノ助成ヲ要求シテアリマス、農林省トシテハ是ハ何處マデモ防ガナクバイヤカス、防ガナバ未ノ收穫ニ害ガアルト云フ考ヲシテ居ルモノト御承知ヒタイト思ヒマス、保險ノ問題ニ付キマシテハ先程申上テマシタヤウニ、尙ホ進シテ調査會ニ於テ研究スル積リデアリマス

○土屋政府委員 非常ニ無理ナ答ヲ要求サレテ困ルノデアリマスガ、稻熱病ハ防ゲルカ防ゲナイカト云フコトハ別問題トシテモ、何處マデモ防ガナケレバイヤカス、ソコデ來年度ノ増産計畫ニハ稻熱病其ノ他ノ病氣、虫モ入ツテ居リマスレドモ、防除ノ爲ニ藥劑並ニ噴霧器ノ購入費ニ對シテ、相當額ノ助成ヲ要求シテアリマス、農林省トシテハ是ハ何處マデモ防ガナクバイヤカス、防ガナバ未ノ收穫ニ害ガアルト云フ考ヲシテ居ルモノト御承知ヒタイト思ヒマス、保險ノ問題ニ付キマシテハ先程申上テマシタヤウニ、尙ホ進シテ調査會ニ於テ研究スル積リデアリマス

○土屋政府委員 非常ニ無理ナ答ヲ要求サレテ困ルノデアリマスガ、稻熱病ハ防ゲルカ防ゲナイカト云フコトハ別問題トシテモ、何處マデモ防ガナケレバイヤカス、ソコデ來年度ノ増産計畫ニハ稻熱病其ノ他ノ病氣、虫モ入ツテ居リマスレドモ、防除ノ爲ニ藥劑並ニ噴霧器ノ購入費ニ對シテ、相當額ノ助成ヲ要求シテアリマス、農林省トシテハ是ハ何處マデモ防ガナクバイヤカス、防ガナバ未ノ收穫ニ害ガアルト云フ考ヲシテ居ルモノト御承知ヒタイト思ヒマス、保險ノ問題ニ付キマシテハ先程申上テマシタヤウニ、尙ホ進シテ調査會ニ於テ研究スル積リデアリマス

○土屋政府委員 非常ニ無理ナ答ヲ要求サレテ困ルノデアリマスガ、稻熱病ハ防ゲルカ防ゲナイカト云フコトハ別問題トシテモ、何處マデモ防ガナケレバイヤカス、ソコデ來年度ノ増産計畫ニハ稻熱病其ノ他ノ病氣、虫モ入ツテ居リマスレドモ、防除ノ爲ニ藥劑並ニ噴霧器ノ購入費ニ對シテ、相當額ノ助成ヲ要求シテアリマス、農林省トシテハ是ハ何處マデモ防ガナクバイヤカス、防ガナバ未ノ收穫ニ害ガアルト云フ考ヲシテ居ルモノト御承知ヒタイト思ヒマス、保險ノ問題ニ付キマシテハ先程申上テマシタヤウニ、尙ホ進シテ調査會ニ於テ研究スル積リデアリマス

○土屋政府委員 非常ニ無理ナ答ヲ要求サレテ困ルノデアリマスガ、稻熱病ハ防ゲルカ防ゲナイカト云フコトハ別問題トシテモ、何處マデモ防ガナケレバイヤカス、ソコデ來年度ノ増産計畫ニハ稻熱病其ノ他ノ病氣、虫モ入ツテ居リマスレドモ、防除ノ爲ニ藥劑並ニ噴霧器ノ購入費ニ對シテ、相當額ノ助成ヲ要求シテアリマス、農林省トシテハ是ハ何處マデモ防ガナクバイヤカス、防ガナバ未ノ收穫ニ害ガアルト云フ考ヲシテ居ルモノト御承知ヒタイト思ヒマス、保險ノ問題ニ付キマシテハ先程申上テマシタヤウニ、尙ホ進シテ調査會ニ於テ研究スル積リデアリマス

○土屋政府委員 非常ニ無理ナ答ヲ要求サレテ困ルノデアリマスガ、稻熱病ハ防ゲルカ防ゲナイカト云フコトハ別問題トシテモ、何處マデモ防ガナケレバイヤカス、ソコデ來年度ノ増産計畫ニハ稻熱病其ノ他ノ病氣、虫モ入ツテ居リマスレドモ、防除ノ爲ニ藥劑並ニ噴霧器ノ購入費ニ對シテ、相當額ノ助成ヲ要求シテアリマス、農林省トシテハ是ハ何處マデモ防ガナクバイヤカス、防ガナバ未ノ收穫ニ害ガアルト云フ考ヲシテ居ルモノト御承知ヒタイト思ヒマス、保險ノ問題ニ付キマシテハ先程申上テマシタヤウニ、尙ホ進シテ調査會ニ於テ研究スル積リデアリマス